

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第317集

## 川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書

—北上川上流改修事業（白山築堤）に係る発掘調査—



(財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター

ページ	行・図・表	誤	正
P 21	第9図	環壕屋敷	環壕屋敷
P 24	32行目	進めたが	進めたが
P 47	第30図	遺構外出土遺物	遺構内出土遺物
P 283	第151図	SB21・22 堀立柱建物跡	SB21・22 堀立柱建物跡
P 370	第202図	右上304	誤植トル
P 386	第21表	図番1・2 品種 (碗)	図番1・2 品種 (碗)
P 391	第211図	図番17 出土位置布堀	図番17 出土位置布堀
P 426～ 428・433		キャプション 完堀	キャプション 完堀
P 438		キャプション 付屋施設	キャプション 付属施設

# 川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書

—北上川上流改修事業（白山築堤）に係る発掘調査—

## 序

岩手県には旧石器時代を始めとする数多くの埋蔵文化財包蔵地が各地にあり、平成11年現在で、10,000カ所を超える遺跡が確認されています。これら先人が残した文化遺産を保存し、後世に伝えて行くことは、県民に課せられた重大な責務であります。

一方、本調査の原因となりました河川改修事業を例に上げるまでもなく、現代社会を豊かにし、快適な生活をおくるための地域開発もまた、県民の切実な願いであり、重要な施策であります。このような埋蔵文化財の保護、保存と開発との調和も、今日的な課題となっております。

(財)岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、北上川の治水を目的とした、北上川上流改修事業による白山地区の築堤工事に関連して平成8年度と平成9年度に発掘調査を実施した川岸場Ⅱ遺跡の調査結果をまとめたものであります。調査によって、縄文時代晩期の竪穴住居跡や土器埋設遺構と同期の大量の遺物、近世の豪族屋敷と伊達藩の御蔵場跡関連の掘立柱建物跡や同期の陶磁器など貴重な資料を提供することができました。この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査および報告書作成にご援助とご協力を賜りました建設省東北地方建設局岩手工事事務所や前沢町教育委員会をはじめとする関係各位に衷心より謝意を表します。

平成12年2月

財団法人 岩手県文化振興事業団  
理事長 船越昭治

## 例 言

1. 本書は、北上川上流改修事業（白山築堤）に係る胆沢郡前沢町白山字川岸場に所在する川岸場Ⅱ遺跡の発掘調査報告書である。
2. 今回の発掘調査による成果は、平成8・9年度の岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第266・282集の「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報」にて公表してきたが、本書を正式な報告とする。
3. 本遺跡の岩手県遺跡番号はN E47-0190。遺跡略号はKKⅡ-96、KKⅡ-97である。
4. 発掘調査期間及び調査面積と調査担当者は以下のとおりである。

平成8年7月11日～11月5日	4,000㎡	小山内 透・山口 俊規
平成9年7月7日～11月21日	2,000㎡	小山内 透・七田 芳直
5. 整理及び執筆と編集は小山内が担当した。
6. 分析・鑑定及び委託業務は次ぎの方々に依頼した。（敬称略）

樹種同定 木工会「ゆい」・石質鑑定 花崗岩研究会・赤色顔料 岩手県立博物館  
基準点測量 東園技術・写真測量（株）シン技術コンサル・航空写真（株）東邦航空  
保存処理（株）ニッテツ・ファイブ・プロダクツ 釜石文化財保存処理センター
7. 本報告書挿入中に使用した土色表記は、農林省農林水産技術会議事務局、財団法人日本色彩研究所色票監修「新版標準土色帖」1990年版を使用した。
8. 本書に使用した地図は、建設省国土地理院発行の50,000分の1（水沢）と前沢町都市計画図の2,500分の1（大曲）及び前沢町川岸場の地籍図である。
9. 発掘調査及び案内整理にあたっては下記の機関並びに方々からご指導・ご助言を賜った。記して感謝の意を表する次第である。（順不同、敬称略、平成9年度時所属）

前沢町教育委員会・阿部 一（前沢町教育委員会）・菅原 修（岩手町教育委員会）  
和泉 昭一（秋田県二ツ井町教育委員会）・栗沢 三男・栄 一郎・櫻田 隆・柴田 陽一郎・高橋 忠彦  
高橋 学・谷地 薫（以上秋田県埋蔵文化財センター）
10. 発掘調査による出土品及び記録資料は岩手県埋蔵文化財センターに保管している。

## 凡 例

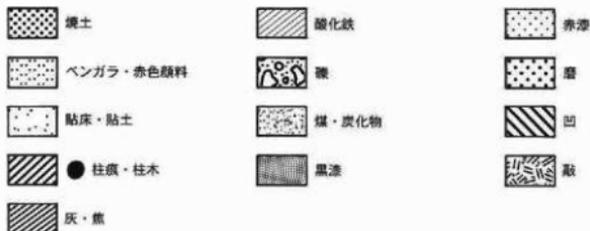
1. 本報告書に収載した遺構実測図に付した方位は、国家座標第X系による座標北を示す。
2. 遺構・遺物の種別を表す略号は以下のとおりである。

S I…竪穴住居跡 S B…掘立柱建物跡 S H…建物跡等 S K I…竪穴状遺構 S K…土坑類  
S R…埋設土器 S D…堀、溝跡 S F…土塁 S N…焼土遺構 S E…湧水池、肥溜め跡等  
S A…柱穴列 S K P…柱穴 S W…土間状遺構 S Q…列石、集石、敷石状遺構 S Z…石垣  
S X…畝間状遺構、その他 R P…土器 R Q…石器 R W…木製品 R M…金属製品 S…礎
3. 遺構番号は種別毎の検出順に連番としたが、精査過程あるいは整理段階において欠番となったものや略号を変更したものもある。変更した遺構は以下のとおりである。

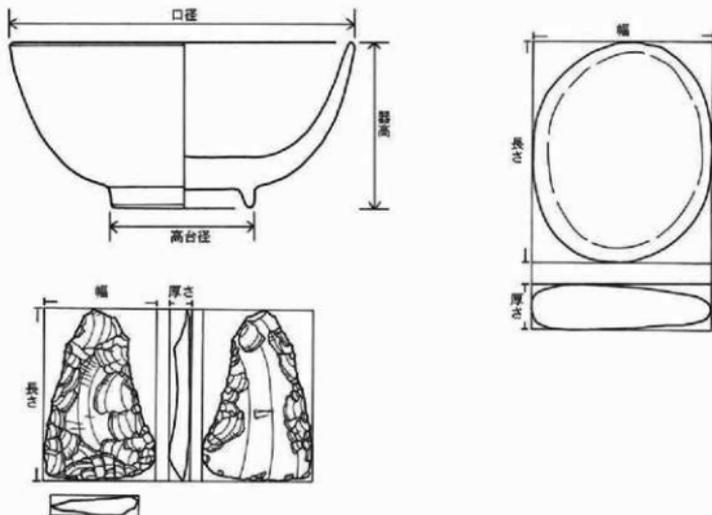
S D14→S B14 S D17→I9→S B11・12 S X02・S H02→S H02 S Q14→S H11  
S Q12・13→S H12 S Q15→S H13 S Q16→S H14 S Q11→S K02 S Q01南側→S Q17  
S Q1B→S Q18 S X03→S Q05 S Q04・05→S Q04 S Q10→S Q07・10  
S Q07・08→S Q08 S X31→S K I 05 S X36→S K51 S X35→S K52

S X 37→S I 03 A区中央畑跡→S X 01 A区西側畑跡→S X 02 A区1号沢跡→S X 03  
A区南側畑跡→S X 04

4. 近世の柱穴一覧表中のA~Hの分類は以下の注記を表す。  
 A…5YR4/8(赤褐色)焼土 A' …10YR1.7/1(黒色)炭化物多量 B…10YR2/2(黒褐色)5cm大礫多量  
 C…10YR3/2(黒褐色)3cm大礫少量 D…10YR2/2(黒褐色)地山ブロック多量 E…10YR3/1(黒褐色)  
 F…2.5YR3/1(黒褐色)砂質 G…10YR2/2(黒褐色)地山ブロック少量 H…10YR3/3(暗褐色)
5. 土層注記は基本層位にローマ数字、遺構埋土はアラビア数字を用い、掘乱(木根等)はKで表示した。
6. 観察表中の法量は推定値を( )で、残存値を〈 〉・[ ]で表示した。
7. 挿図中に使用したスクリーン・トーンは以下のとおりである。



8. 陶磁器の高台径と石器の法量は以下のとおり計測した。



# 目 次

序  
例言  
凡例

## [本 文]

<p>第1章 調査に至る経緯・経過……………1</p> <p>第2章 位置と環境……………4</p> <p>  第1節 位置と立地……………4</p> <p>  第2節 遺跡の概観……………4</p> <p>  第3節 遺跡の基本層序……………9</p> <p>  第4節 周辺の遺跡……………9</p> <p>第3章 調査の概要と整理方法……………15</p> <p>  第1節 調査経過と整理経過……………15</p> <p>  第2節 調査方法……………17</p> <p>    (1) グリッドの設定……………17</p> <p>    (2) 粗掘と精査……………17</p> <p>    (3) 遺構・遺物の記録……………19</p> <p>  第3節 整理方法……………19</p> <p>    (1) 遺構図面……………19</p> <p>    (2) 遺物……………20</p> <p>    (3) 写真……………20</p> <p>第4章 検出遺構と出土遺物……………22</p> <p>  第1節 縄文時代の遺構と遺物……………22</p> <p>    (1) 竪穴住居跡……………22</p> <p>    (2) 土坑……………27</p> <p>    (3) 埋設土器……………30</p> <p>    (4) 遺構外出土遺物……………53</p> <p>      A. 土器……………55</p> <p>      B. 石器……………151</p> <p>      C. 土製品……………226</p> <p>      D. 石製品……………227</p>	<p>  第2節 中・近世～近代の遺構と遺物……………263</p> <p>    (1) 環濠屋敷……………263</p> <p>      A. 普請地形的遺構……………263</p> <p>      B. 母屋関連の遺構……………274</p> <p>      C. 付属施設等の遺構……………291</p> <p>    (2) 御歳場跡……………302</p> <p>      A. 普請地形的遺構……………302</p> <p>      B. 建物跡・A区柱穴群……………305</p> <p>      C. 土坑類……………326</p> <p>      D. その他の遺構……………329</p> <p>    (3) B区の遺構……………336</p> <p>      A. 竪穴状遺構・肥溜め跡……………336</p> <p>      B. B区柱穴群……………336</p> <p>    (4) 中・近世の遺物……………339</p> <p>      A. 中世陶磁器……………339</p> <p>      B. 近世陶磁器……………339</p> <p>      C. 漆器・木製品……………386</p> <p>      D. 石製品……………386</p> <p>      E. 銭貨・金属製品……………386</p> <p>第5章 自然科学的分析……………396</p> <p>  1. 樹種同定……………396</p> <p>  2. 赤色顔料……………403</p> <p>第6章 まとめ……………410</p> <p>  第1節 縄文・弥生時代の遺構と遺物……………410</p> <p>  第2節 近世の遺構と遺物……………411</p> <p>報告書抄録……………578</p>
---	--

## 挿 図 目 次

第1図	工事計画図	2	第52図	遺構外出土遺物(土器33)	78
第2図	岩手県全体図	3	第53図	遺構外出土遺物(土器34)	79
第3図	遺跡位置図	5	第54図	遺構外出土遺物(土器35)	80
第4図	地形分類図	6	第55図	遺構外出土遺物(土器36)	81
第5図	周辺地形と調査区	7・8	第56図	遺構外出土遺物(土器37)	82
第6図	基本土層図	10	第57図	遺構外出土遺物(土器38)	83
第7図	周辺遺跡分布図	11	第58図	遺構外出土遺物(土器39)	84
第8図	グリッド設定図	18	第59図	遺構外出土遺物(土器40)	85
第9図	時期別ブロック図	21	第60図	遺構外出土遺物(土器41)	86
第10図	縄文時代の遺構配置図	23	第61図	遺構外出土遺物(土器42)	87
第11図	S I 01-02竪穴住居跡	25	第62図	遺構外出土遺物(土器43)	88
第12図	S I 03-04竪穴住居跡	26	第63図	遺構外出土遺物(土器44)	89
第13図	S K 27~29-31~33土坑	28	第64図	遺構外出土遺物(土器45)	90
第14図	S K 47-51~53土坑	29	第65図	遺構外出土遺物(土器46)	91
第15図	S R 02-03-06~09-11埋設土器	32	第66図	遺構外出土遺物(土器47)	92
第16図	S R 12-14-15埋設土器	33	第67図	遺構外出土遺物(土器48)	93
第17図	遺構内出土遺物(土器1)	34	第68図	遺構外出土遺物(土器49)	94
第18図	遺構内出土遺物(土器2)	35	第69図	遺構外出土遺物(土器50)	95
第19図	遺構内出土遺物(土器3)	36	第70図	遺構外出土遺物(土器51)	96
第20図	遺構内出土遺物(土器4)	37	第71図	遺構外出土遺物(土器52)	97
第21図	遺構内出土遺物(土器5)	38	第72図	遺構外出土遺物(土器53)	98
第22図	遺構内出土遺物(土器6)	39	第73図	遺構外出土遺物(土器54)	99
第23図	遺構内出土遺物(土器7)	40	第74図	遺構外出土遺物(土器55)	100
第24図	遺構内出土遺物(土器8)	41	第75図	遺構外出土遺物(土器56)	101
第25図	遺構内出土遺物(土器9)	42	第76図	遺構外出土遺物(土器57)	102
第26図	遺構内出土遺物(土器10)	43	第77図	遺構外出土遺物(土器58)	103
第27図	遺構内出土遺物(土器11)	44	第78図	遺構外出土遺物(土器59)	104
第28図	遺構内出土遺物(土器12)	45	第79図	遺構外出土遺物(土器60)	105
第29図	遺構内出土遺物(石器)	46	第80図	遺構外出土遺物(土器61)	106
第30図	遺構内出土遺物(土・石製品)	47	第81図	遺構外出土遺物(土器62)	107
第31図	遺物包含層ブロック区分図	54	第82図	遺構外出土遺物(土器63)	108
第32図	遺構外出土遺物(土器13)	58	第83図	土器分類図1	146
第33図	遺構外出土遺物(土器14)	59	第84図	土器分類図2	147・148
第34図	遺構外出土遺物(土器15)	60	第85図	土器分類図3	149・150
第35図	遺構外出土遺物(土器16)	61	第86図	遺構外出土遺物(尖頭器1)	159
第36図	遺構外出土遺物(土器17)	62	第87図	遺構外出土遺物(尖頭器2)	160
第37図	遺構外出土遺物(土器18)	63	第88図	遺構外出土遺物(石器1)	161
第38図	遺構外出土遺物(土器19)	64	第89図	遺構外出土遺物(石器2)	162
第39図	遺構外出土遺物(土器20)	65	第90図	遺構外出土遺物(石器3)	163
第40図	遺構外出土遺物(土器21)	66	第91図	遺構外出土遺物(石鏃)	164
第41図	遺構外出土遺物(土器22)	67	第92図	遺構外出土遺物(石匙1)	165
第42図	遺構外出土遺物(土器23)	68	第93図	遺構外出土遺物(石匙2)	166
第43図	遺構外出土遺物(土器24)	69	第94図	遺構外出土遺物(石鏃1)	167
第44図	遺構外出土遺物(土器25)	70	第95図	遺構外出土遺物(石鏃2)	168
第45図	遺構外出土遺物(土器26)	71	第96図	遺構外出土遺物(石鏃3)	169
第46図	遺構外出土遺物(土器27)	72	第97図	遺構外出土遺物(不定形1)	170
第47図	遺構外出土遺物(土器28)	73	第98図	遺構外出土遺物(不定形2)	171
第48図	遺構外出土遺物(土器29)	74	第99図	遺構外出土遺物(不定形3・異形)	172
第49図	遺構外出土遺物(土器30)	75	第100図	遺構外出土遺物(磨製・環状石斧)	173
第50図	遺構外出土遺物(土器31)	76	第101図	遺構外出土遺物(打製石斧1)	174
第51図	遺構外出土遺物(土器32)	77	第102図	遺構外出土遺物(打製石斧2)	175

第103回	遺構外出土遺物(打製石斧3)	176
第104回	遺構外出土遺物(打製石斧4)	177
第105回	遺構外出土遺物(磨石1)	178
第106回	遺構外出土遺物(磨石2)	179
第107回	遺構外出土遺物(磨石3)	180
第108回	遺構外出土遺物(磨石1)	181
第109回	遺構外出土遺物(凹石2)	182
第110回	遺構外出土遺物(凹石3)	183
第111回	遺構外出土遺物(凹石4)	184
第112回	遺構外出土遺物(石皿1)	185
第113回	遺構外出土遺物(石皿2)	186
第114回	遺構外出土遺物(砥石)	187
第115回	遺構外出土遺物(石鏝)	188
第116回	遺構外出土遺物(有孔鏝)	189
第117回	遺構外出土遺物(円盤状土製品1)	229
第118回	遺構外出土遺物(円盤状土製品2)	230
第119回	遺構外出土遺物(円盤状土製品3)	231
第120回	遺構外出土遺物(円盤状土製品4)	232
第121回	遺構外出土遺物(円盤状土製品5)	233
第122回	遺構外出土遺物(土偶1)	234
第123回	遺構外出土遺物(土偶2)	235
第124回	遺構外出土遺物(土偶3)	236
第125回	遺構外出土遺物(土偶4)	237
第126回	遺構外出土遺物(土偶5)	238
第127回	遺構外出土遺物(土偶6)	239
第128回	遺構外出土遺物(その他土製品1)	240
第129回	遺構外出土遺物(その他土製品2)	241
第130回	遺構外出土遺物(円盤状土製品1)	247
第131回	遺構外出土遺物(円盤状土製品2)	248
第132回	遺構外出土遺物(円盤状土製品3)	249
第133回	遺構外出土遺物(円盤状土製品4)	250
第134回	遺構外出土遺物(円盤状土製品5)	251
第135回	遺構外出土遺物(円盤状土製品6)	252
第136回	遺構外出土遺物(円盤状土製品7)	253
第137回	遺構外出土遺物(古棒)	254
第138回	遺構外出土遺物(石剣・石刀)	255
第139回	遺構外出土遺物(独結石・石冠)	256
第140回	遺構外出土遺物(石孔・環状石製品)	257
第141回	遺構外出土遺物(玉類・岩版・その他)	258
第142回	川岸編周辺地帯図	264
第143回	大室原歌敷地平面図	265-266
第144回	調査前現況地形図	267-268
第145回	近世の遺構配置図	269-270
第146回	阿波原歌敷遺構配置図	271-272
第147回	S D01溝跡・S D02・03・04堀跡・S F01・02土塁	275-276
第148回	S Z 01石垣	277-278
第149回	S E 01湧水池・S Z 02石垣	279
第150回	母堀部分の遺構配置図	281-282
第151回	S B21・22掘立柱建物跡・S A10・11柱穴・S W01	283
第152回	S B 23掘立柱建物跡・S N01～03横土遺構	284
第153回	付属施設部分の遺構配置図	289-290
第154回	S F01・02建物跡・S A03～06柱穴列	291

第155回	S Q01・02・06・10列石状遺構	297
第156回	S Q03・17～20列石状遺構	298
第157回	S K I 01整穴状遺構・S K08・09土坑	300
第158回	S K01・02・10土坑	301
第159回	御蔵跡遺構配置	303-304
第160回	S D21堀跡・S D20・22・23溝跡・A2号穴跡	306
第161回	S B01掘立柱建物跡	308
第162回	S B02・03掘立柱建物跡	309
第163回	S B11・12掘立柱建物跡	313-314
第164回	S B13掘立柱建物跡・S B146掘立柱建物跡	317-318
第165回	S H11～13建物跡	320
第166回	S H14建物跡	322
第167回	A2・3・5～7区柱穴群	323
第168回	A1・2・7・8区柱穴群	324
第169回	S K15・26・30・34・35土坑	328
第170回	S K37～40・45土坑	330
第171回	S X01・02竪間状遺構	331-332
第172回	S X03竪間状遺構・S X04竪間状遺構	333-334
第173回	調査区南側(B区)遺構配置図	335
第174回	S K I 05整穴状遺構・S E05肥溜め跡	337
第175回	B区柱穴群	338
第176回	中世礎石	344
第177回	近世礎石1(礎)	345
第178回	近世礎石2(礎)	346
第179回	近世礎石3(礎・湯敷石礎)	347
第180回	近世礎石4(礎)	348
第181回	近世礎石5(礎)	349
第182回	近世礎石6(溝・湯敷石礎・蓋)	350
第183回	近世礎石7(皿)	351
第184回	近世礎石8(皿)	352
第185回	近世礎石9(皿)	353
第186回	近世礎石10(皿)	354
第187回	近世礎石11(皿)	355
第188回	近世礎石12(鉢)	356
第189回	近世礎石13(その他)	357
第190回	近世陶器1(碗)	358
第191回	近世陶器2(碗)	359
第192回	近世陶器3(筒・蓋・蓋類・徳利・瓶)	360
第193回	近世陶器4(皿)	361
第194回	近世陶器5(鉢)	362
第195回	近世陶器6(鉢)	363
第196回	近世陶器7(鉢)	364
第197回	近世陶器8(甕)	365
第198回	近世陶器9(甕)	366
第199回	近世陶器10(甕)	367
第200回	近世陶器11(指鉢)	368
第201回	近世陶器12(指鉢)	369
第202回	近世陶器13(行平土版・瓶・焙爐)	370
第203回	近世陶器14(香炉類・灯明台・仏火瓶)	371
第204回	近世陶器15(火鉢類)	372
第205回	近世陶器16(焼炉類)	373
第206回	近世陶器17(その他)	374

第207回	木製品	387
第208回	石製品1(石臼・石鉢)	388
第209回	石製品2(砥石)	389
第210回	古銭1	390
第211回	古銭2	391
第212回	金属製品1(釘)	392
第213回	金属製品2(柳管・その他)	393
第214回	金属製品3(その他)	394

第215回	縄文・弥生時代時期別遺構配置図	412
第216回	近世建物跡配置図	415
第217回	御蔵場交通図	416

### 表 目 次

第1表	周辺遺跡一覧表	12
第2表	遺構内出土土器観察表	48
第3表	遺構内出土土器計測表	52
第4表	遺構内出土土器品観察表	52
第5表	遺構内出土土器品観察表	52
第6表	遺構外出土土器観察表	109
第7表	遺構外出土土器計測表	190
第8表	遺構外出土土器品観察表	242
第9表	遺構外出土土器品観察表	262
第10表	S B21・22柱穴一覧表	285
第11表	S B23・S A10・11・母屋柱穴一覧表	286

第12表	S A03・04・05・06・付属施設柱穴一覧表	293
第13表	S B01柱穴一覧表	307
第14表	S B02柱穴一覧表	310
第15表	S B03柱穴一覧表	311
第16表	S B11・12柱穴一覧表	312
第17表	S B13柱穴一覧表	316
第18表	A区柱穴一覧表	325
第19表	B区柱穴一覧表	336
第20表	中・近世陶器類観察表	375
第21表	木製品観察表	386
第22表	金属製品観察表	395

### 写真図版目次

写真図版1	航空写真1(遺跡遠景)	
	航空写真2(遺跡近景)	421
写真図版2	航空写真3(調査前全景)	
	調査前近景(N→)	422
写真図版3	'96調査終了全景(環濠北側)	423
写真図版4	調査終了近景C区(環濠北側)	424
写真図版5	'96調査終了近景A区(御蔵場跡)	
	'97調査終了近景A区(御蔵場跡)	425
写真図版6	S I 01・02竪穴住居跡	426
写真図版7	S I 03竪穴住居跡	427
写真図版8	S I 04竪穴住居跡	428
写真図版9	S R 02・03・06・07埋設土器	429
写真図版10	S R 08・09・11・12・14・15埋設土器	430
写真図版11	遺物出土状況1	431
写真図版12	遺物出土状況2	432
写真図版13	S D02・04堀跡・S F 01・02土塁	433
写真図版14	S D03・21堀跡	434
写真図版15	S Z 01・02石垣	435
写真図版16	S E 01・02湧水池・S D 01・06溝跡・礎石門跡	436
写真図版17	母屋跡全景・S W 01上開状遺構	437
写真図版18	付属施設跡全景(環濠東側北側)	
	S K 101竪穴遺構・S Q 01・17列石状遺構	438
写真図版19	御蔵場跡(A区)終了近景	439
写真図版20	S B 01~03竪立柱建物跡	440
写真図版21	S B 11~14竪立柱建物跡	441
写真図版22	S I 11~14建物跡	442
写真図版23	S K 27~29・31~33・47・51・52土坑	443
写真図版24	S K 01・02・15・26・30・53土坑	444
写真図版25	S K 34・35・37~40・45土坑	445

写真図版26	S X 01・02・04竪開状遺構・S X 03遺状遺構	
	S Q 21・23・24集石	446
写真図版27	S K 105竪穴状遺構・S E 05肥溜め跡	447
写真図版28	遺構内出土遺物1(土器1)	448
写真図版29	遺構内出土遺物2(土器2)	449
写真図版30	遺構内出土遺物3(土器3)	450
写真図版31	遺構内出土遺物4(土器4)	451
写真図版32	遺構内出土遺物5(土器5)	452
写真図版33	遺構内出土遺物6(土器6)	453
写真図版34	遺構内出土遺物7(石器・土・石製品)	454
写真図版35	遺構外出土遺物1(土器7)	455
写真図版36	遺構外出土遺物2(土器8)	456
写真図版37	遺構外出土遺物3(土器9)	457
写真図版38	遺構外出土遺物4(土器10)	458
写真図版39	遺構外出土遺物5(土器11)	459
写真図版40	遺構外出土遺物6(土器12)	460
写真図版41	遺構外出土遺物7(土器13)	461
写真図版42	遺構外出土遺物8(土器14)	462
写真図版43	遺構外出土遺物9(土器15)	463
写真図版44	遺構外出土遺物10(土器16)	464
写真図版45	遺構外出土遺物11(土器17)	465
写真図版46	遺構外出土遺物12(土器18)	466
写真図版47	遺構外出土遺物13(土器19)	467
写真図版48	遺構外出土遺物14(土器20)	468
写真図版49	遺構外出土遺物15(土器21)	469
写真図版50	遺構外出土遺物16(土器22)	470
写真図版51	遺構外出土遺物17(土器23)	471
写真図版52	遺構外出土遺物18(土器24)	472
写真図版53	遺構外出土遺物19(土器25)	473

写真図版54	遺構外出土遺物20(土器26)	474	写真図版106	遺構外出土遺物72(石器35)	526
写真図版55	遺構外出土遺物21(土器27)	475	写真図版107	遺構外出土遺物73(石器36)	527
写真図版56	遺構外出土遺物22(土器28)	476	写真図版108	遺構外出土遺物74(石器37)	528
写真図版57	遺構外出土遺物23(土器29)	477	写真図版109	遺構外出土遺物75(石器38)	529
写真図版58	遺構外出土遺物24(土器30)	478	写真図版110	遺構外出土遺物76(石器39)	530
写真図版59	遺構外出土遺物25(土器31)	479	写真図版111	遺構外出土遺物77(石器40)	531
写真図版60	遺構外出土遺物26(土器32)	480	写真図版112	遺構外出土遺物78(石器41)	532
写真図版61	遺構外出土遺物27(土器33)	481	写真図版113	遺構外出土遺物79(石器42)	533
写真図版62	遺構外出土遺物28(土器34)	482	写真図版114	遺構外出土遺物80(石器43)	534
写真図版63	遺構外出土遺物29(土器35)	483	写真図版115	遺構外出土遺物81(石器44)	535
写真図版64	遺構外出土遺物30(土器36)	484	写真図版116	遺構外出土遺物82(石器45)	536
写真図版65	遺構外出土遺物31(土器37)	485	写真図版117	遺構外出土遺物83(石器46)	537
写真図版66	遺構外出土遺物32(土器38)	486	写真図版118	遺構外出土遺物84(石器47)	538
写真図版67	遺構外出土遺物33(土器39)	487	写真図版119	遺構外出土遺物85(石器48)	539
写真図版68	遺構外出土遺物34(土器40)	488	写真図版120	遺構外出土遺物86(石器49)	540
写真図版69	遺構外出土遺物35(土器41)	489	写真図版121	遺構外出土遺物87(石器50)	541
写真図版70	遺構外出土遺物36(土器42)	490	写真図版122	遺構外出土遺物88(石器51)	542
写真図版71	遺構外出土遺物37(土器43)	491	写真図版123	遺構外出土遺物89(石器52)	543
写真図版72	遺構外出土遺物38(土器1)	492	写真図版124	遺構外出土遺物90(石器53)	544
写真図版73	遺構外出土遺物39(石器2)	493	写真図版125	遺構外出土遺物91(石器54)	545
写真図版74	遺構外出土遺物40(石器3)	494	写真図版126	遺構外出土遺物92(石器55)	546
写真図版75	遺構外出土遺物41(土器4)	495	写真図版127	遺構外出土遺物93(石器56)	547
写真図版76	遺構外出土遺物42(石器5)	496	写真図版128	遺構外出土遺物94(石器57)	548
写真図版77	遺構外出土遺物43(石器6)	497	写真図版129	遺構外出土遺物95(石器58)	549
写真図版78	遺構外出土遺物44(土器7)	498	写真図版130	遺構外出土遺物96(石器59)	550
写真図版79	遺構外出土遺物45(石器8)	499	写真図版131	遺構外出土遺物97(石器60)	551
写真図版80	遺構外出土遺物46(石器9)	500	写真図版132	遺構外出土遺物98(石器61)	552
写真図版81	遺構外出土遺物47(石器10)	501	写真図版133	遺構外出土遺物99(石器62)	553
写真図版82	遺構外出土遺物48(石器11)	502	写真図版134	遺構外出土遺物100(石器63)	554
写真図版83	遺構外出土遺物49(石器12)	503	写真図版135	遺構外出土遺物101(石器64)	555
写真図版84	遺構外出土遺物50(石器13)	504	写真図版136	遺構外出土遺物102(石器65)	556
写真図版85	遺構外出土遺物51(石器14)	505	写真図版137	遺構外出土遺物103(石器66)	557
写真図版86	遺構外出土遺物52(石器15)	506	写真図版138	遺構外出土遺物104(石器67)	558
写真図版87	遺構外出土遺物53(石器16)	507	写真図版139	遺構外出土遺物105(円盤状土製品1)	559
写真図版88	遺構外出土遺物54(石器17)	508	写真図版140	遺構外出土遺物106(円盤状土製品2)	560
写真図版89	遺構外出土遺物55(石器18)	509	写真図版141	遺構外出土遺物107(円盤状土製品3)	561
写真図版90	遺構外出土遺物56(石器19)	510	写真図版142	遺構外出土遺物108(円盤状土製品4・土器1)	562
写真図版91	遺構外出土遺物57(石器20)	511	写真図版143	遺構外出土遺物109(土器2)	563
写真図版92	遺構外出土遺物58(石器21)	512	写真図版144	遺構外出土遺物110(土器3)	564
写真図版93	遺構外出土遺物59(石器22)	513	写真図版145	遺構外出土遺物111(土器4)	565
写真図版94	遺構外出土遺物60(石器23)	514	写真図版146	遺構外出土遺物112(土器5・その他土製品1)	566
写真図版95	遺構外出土遺物61(石器24)	515	写真図版147	遺構外出土遺物113(その他土製品2・円盤状土製品1)	567
写真図版96	遺構外出土遺物62(石器25)	516	写真図版148	遺構外出土遺物114(円盤状土製品2)	568
写真図版97	遺構外出土遺物63(石器26)	517	写真図版149	遺構外出土遺物115(円盤状土製品3)	569
写真図版98	遺構外出土遺物64(石器27)	518	写真図版150	遺構外出土遺物116(円盤状土製品4)	570
写真図版99	遺構外出土遺物65(石器28)	519	写真図版151	遺構外出土遺物117(円盤状土製品5・土器1)	571
写真図版100	遺構外出土遺物66(石器29)	520	写真図版152	遺構外出土遺物118(石器2・石刀・後結石・石刃)	572
写真図版101	遺構外出土遺物67(石器30)	521	写真図版153	遺構外出土遺物119(玉類・岩版・その他)	573
写真図版102	遺構外出土遺物68(石器31)	522	写真図版154	近世遺物1(木製品)	574
写真図版103	遺構外出土遺物69(石器32)	523	写真図版155	近世遺物2(石製品)	575
写真図版104	遺構外出土遺物70(石器33)	524	写真図版156	近世遺物3(金属製品1)	576
写真図版105	遺構外出土遺物71(石器34)	525	写真図版157	近世遺物4(金属製品2)	577

## 第1章 調査に至る経緯・経過

### 1. 調査に至る経緯

川岸場Ⅱ遺跡の発掘調査は、北上川水系の治水・利水機能の調和を図ると共に、河川環境の管理・保全を目的として進められている北上川上流改修事業・白山地区築堤に伴う緊急発掘調査である。

北上川は、岩手県・宮城県の間をまたがり、その源は岩手県北部の岩手町御堂に発し、流路東側の北上山地および西側の奥羽山脈から発する大小の支川を多数合わせて岩手県のほぼ中央部を北から南へ縦断し、一関下流の狐禅寺狭窄部を経て宮城県に入り、その後、宮城県津山町柳津地先で旧北上川を分派し、この地点からやや下流で北上川は東流して追津湾に、旧北上川はそのまま南流して石巻湾へ注いでいる。

流域内には、岩手県盛岡市・北上市・水沢市・前沢町・一関市、宮城県登米町・津山町・石巻市などを始め、全体で9市45町8村の市町村があり、流域内にはおよそ150万人の人々が生活している。

北上川水系は、本川の流況に影響を与える大小の支川が各所で合流するため、洪水流出が急激な特性もっており、川岸場Ⅱ遺跡の所在する前沢町白山地区上流域では、奥羽山脈から雫石川、和賀川、胆沢川などが、北上山地からは中津川、猿ヶ石川、人首川などが合流し、また一関市狐禅寺地区の狭窄部により、洪水の流下が著しく妨げられ、狭窄部の上流域に遊水現象を生じるなど、過去幾多の洪水で多大な被害を被ってきた。

近年になって北上川上流部の5大ダム、および下流部の北上大堰等の大規模治水事業が完成するとともに、関連遊水地事業や貯留ダム建設など多くの治水・利水対策事業が推進されている。一方では東北新幹線および東北縦貫自動車道が開通したことにより、ますます経済・文化の中心地域として重要な位置を占めると共に、社会経済の発展に伴う人口・資産の増加等から、従来にも増して高い安全性と地域保全が強く望まれている。

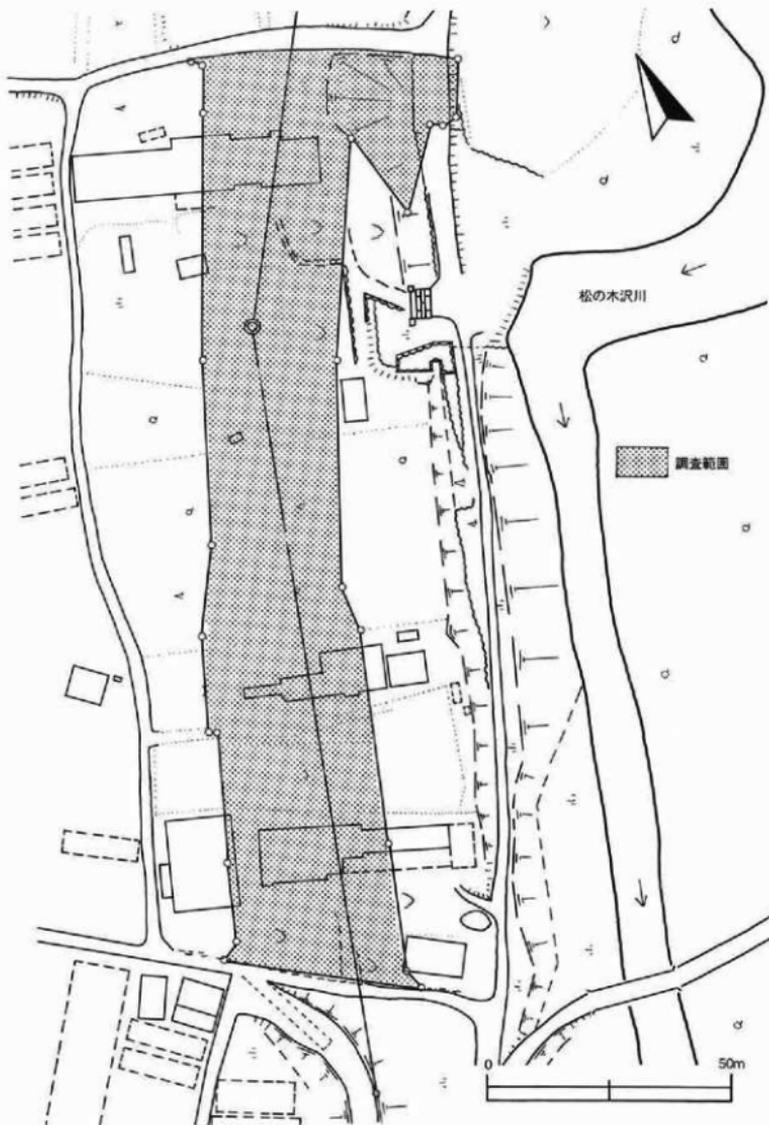
### 2. 調査の経過

川岸場Ⅱ遺跡の発掘調査実施については、建設省東北地方建設局岩手工事事務所と岩手県教育委員会事務局との協議・調整に基づいて、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業とすることとなった。

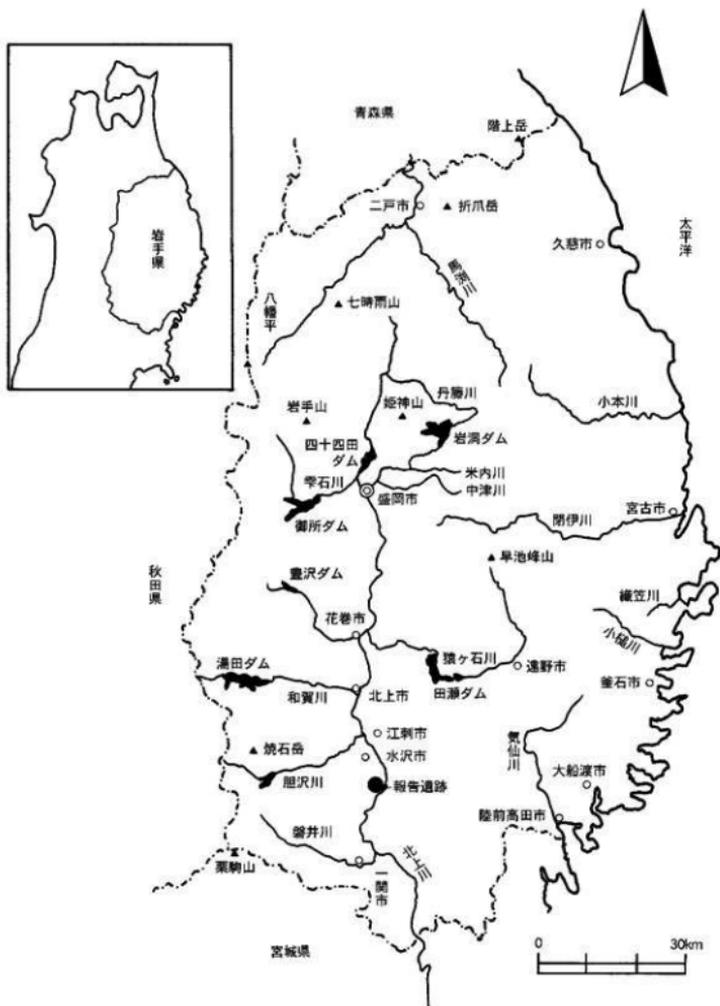
平成8年度の調査については、平成8年7月1日付契約により、面積6,000㎡を調査対象として同年7月11日から野外調査を開始した。しかし、当初予想していなかった近世伊達藩大肝入の屋敷跡と御蔵場跡の存在が確認されたことなどから、平成8年度の野外調査は4,000㎡の調査を行い11月5日で終了し、調査未了となった2,000㎡については次年度に調査を行うこととなった。

平成9年度は、同年6月30日付契約により7月7日から11月21日までの間に、2,000㎡を調査し、2年度にわたる野外調査を一切終了した。なお、2年度にわたる調査の成果として、縄文時代から弥生時代初頭、並びに近世屋敷跡に係る遺構・遺物が大量に出土したことから、これらの整理・保存作業は平成10年度に行うこととなった。

平成10年度の整理・保存作業は、同年4月1日付契約により4月1日から平成11年3月31日までの間に行い、本報告書として刊行する運びとなった。



第1図 工事計画図



第2図 岩手県全体図

## 第2章 位置と環境

### 第1節 位置と立地

川岸場Ⅱ遺跡は岩手県胆沢郡前沢町白山字川岸場に所在する。遺跡の所在する前沢町は岩手県南の西側内陸部に位置し、西側の奥羽山脈と東側の北上山地に挟まれた南北に長い北上盆地にある。この盆地はこれを南に流下する北上川によって盛岡以北を上流域、盛岡～前沢間を中流域、前沢以南を下流域と3区域に区分されている。前沢町はこの中流域の南端に位置し、北は水沢市、東は東山町、南は平泉町、西は胆沢町と衣川村と境を接している。同町は近代以降3度の統廃合を経て現在に至るものだが、遺跡の位置する白山地区は近世の山六日入村である。

本遺跡は前沢町のほぼ中央、北上川の右岸で東日本旅客鉄道前沢駅の北東約4.5km、北上川に注ぐ松の木沢川との合流地点付近に位置し、胆沢川によって形成された胆沢扇状地の東側縁辺部の低位段丘(水沢段丘)かつ、北上川緩谷平野上に立地する。遺跡の位置する経緯度は北緯39度4分14秒・東経141度10分10秒である。

奥羽山脈は東北地方の脊梁をなし、北上川は岩手県の動脈と言われている。北上川は岩手県内を南北にのびる北上低地帯を南流し、宮城県石巻市で太平洋にそそぐ、全長249km、流域面積10,150km<sup>2</sup>の東北地方有数の河川である。流路は低地帯の東側に偏り、また北上川にそそぐ支流のうち大きな河川のほとんどが奥羽山脈に源をもつことから、扇状地や段丘の発達には奥羽山脈側に接する西側が良好である。これらの扇状地は北上川の支流で開析され、良く発達した河岸段丘や扇状地、河岸平野および起伏量の小さい丘陵地が互に入り組み構造となっている。

本遺跡の所在する前沢町においてもこの傾向はそのまま現れ、南流する北上川によって分断される西部と東部は著しい対照を示している。西部地域は胆沢町の若柳、市野々を扇頂部とする広大な胆沢扇状地の東部に位置する。この扇状地は南端の高位面段丘である一宮坂段丘(西根段丘)から、中位段丘の胆沢段丘(村崎野段丘)、低位の水沢段丘(倉ヶ崎段丘)と続き、中位段丘はその比高で順次低位の上野原、横道、堀切、福原の4段丘に細分され、これらの北と東に接して低位段丘である水沢面が広がる。この水沢面は北常から北下巾付近にかけて南北約1.5kmの沖積低地が東西にはしり谷底平野を形成する。水沢市姉妹地区から前沢町白鳥川にいたる地区は、国道4号線西方の段丘から流出する小河川による開析が進み、無数の沖積地を形成するとともに削り残された多くの微高地が存在する。一方、東部地域は北上山地が近くに迫る丘陵地帯で、標高90m以上の侵食面と標高50～90mの段丘面が認められ、多くの小支谷によって分断されている。

本遺跡は胆沢扇状地の低位段丘である水沢段丘の東側縁辺部南端に立地する。東側には北上川に注ぐ松の木沢川が南流し、その川岸に下る東側は傾斜をなし、他方は開けた平野となっている。遺跡は北上川の旧河道でもある自然堤防上にあり、標高は約30m、松の木川との比高は約3m、現況は宅地と畑地跡である。

### 第2節 遺跡の概観

川岸場Ⅱ遺跡は北上川の旧河道でもある自然堤防上にあって、東側は松の木川に向かい低い段丘産となり、他方は開けた平野となっている。遺跡は古くから縄文時代(晩期)～弥生時代前葉の遺物が多量に表採される遺物包蔵地、そして近世から続く環濠屋敷(通称大室屋敷)と近世伊達藩の御蔵場跡として周知されているものである。平成10年度には今次調査区に接する西側を本事業に関連した町事業としての町道建設に係



第3図 遺跡位置図



第4圖 地形分類圖



第5図 扇辺地形と調査区

る調査が実施され、また本遺跡南側には川岸場Ⅰ遺跡が隣接しており、昭和32年に故草間教授(岩手大学)によって発掘調査が行われ、さらに平成9年には前沢町教育委員会が町道改良工事に伴って発掘調査を実施している。今回の調査区は遺跡の中央部分を南北に縦断する範囲で、北側に環濠屋敷、中央部に御蔵場跡、中央部から南側にかけて縄文・弥生時代の遺物包蔵地となっていた。現況は宅地と畑地であり、調査の結果南側は近世以降の造成整地が行われており、プライマリーな状態の遺物包含層の範囲は約240m程であった。

以上:今次の調査を含め川岸場Ⅰ・Ⅱ遺跡は、5次におよぶ発掘調査が行われており、縄文時代晩期～弥生時代の大量の遺物と若干の遺構が検出・出土している。これまでの発掘調査の成果から、川岸場Ⅰ遺跡では後期末～晩期後葉、川岸場Ⅱ遺跡については晩期中葉～弥生時代が主体時期と考えられるが、出土遺物等から見て川岸場Ⅰ・Ⅱ遺跡は同一の複合遺跡であり、各個は遺跡内での時期別の場の推移として捕らえられる。

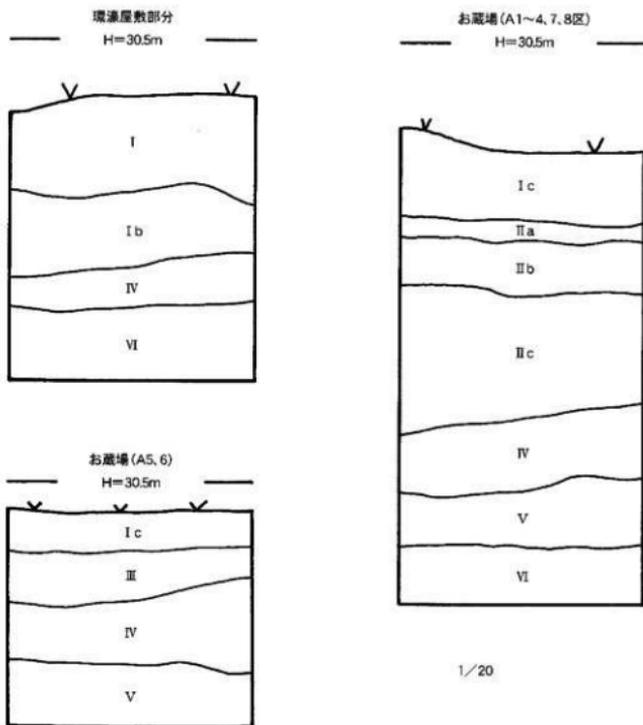
### 第3節 遺跡の基本層序

遺跡の層序は、近世から現代まで度重なる造成整地により、削平あるいは盛上されているため、場所によって様相は異なる。北側環濠屋敷部分(C区)は削平整地、中央部の御蔵場部分(A区)では東側高位部は削平整地、西側低位部は削平後盛上整地、御蔵場の南側(B区)も同じく削平後盛上整地がなされていた。C区の層序はⅠ層表土下はⅣ層(暗褐色土)、A区では北東部でⅠ層表土下にⅢ層(遺物包含層)が残存するが、南東部ではⅠ層下はⅥ層砂礫層(旧川底)となっており、A区西半とB区ではⅠ層下は3層に細分されるⅡ層(近世の盛上整地層)があり、このb・c層は本来はⅢ層を構成していたものであるため、多量の縄文時代の遺物を含む。これ以下はC区同様にⅣ層(暗褐色土)、Ⅴ層(褐色土)、Ⅵ層(砂礫層)となっている。Ⅱ層以下の各層が遺構検出面で、プライマリーな状態の遺物包含層はⅢ層のみ、Ⅳ層以下は基本的には無遺物層となっている。

### 第4節 周辺の遺跡

現在、前沢町内では約70ヶ所の遺跡が確認されている。川岸場Ⅱ遺跡を中心とする第7図には、このうち43遺跡が存在する。図副中にあるように、北側に接する水沢市では発掘調査および試掘調査等が多数行われているため、多くの遺跡が確認されているが、前沢町内では本調査された遺跡はほとんどなく、分布調査等によって所在が確認されているものも少ない。調査の実施された主な遺跡としては本遺跡のほか、隣接する川岸場Ⅰ遺跡(2)と県指定史跡の明後沢遺跡(41)、そして西館(20)など若干の中世城館があるのみである。

時代別に見てみると旧石器時代では図副外であるが、石刃が数点見つかったという記録が残っている白鳥永沢遺跡がある。縄文時代では中期の小林繁長遺跡(3)、晩期の本遺跡と川岸場Ⅰ遺跡、弥生時代では本遺跡で遺物が出土している。古墳時代から奈良時代の遺跡については確認例はまだない。平安時代では上記の明後沢遺跡があり、平安時代末から中世にかけては安倍氏関連の城柵と藤原氏関連の館跡、そして柏山氏関連の城館が多数ある。近世の遺跡は本遺跡のほかは、塚が若干見られる。

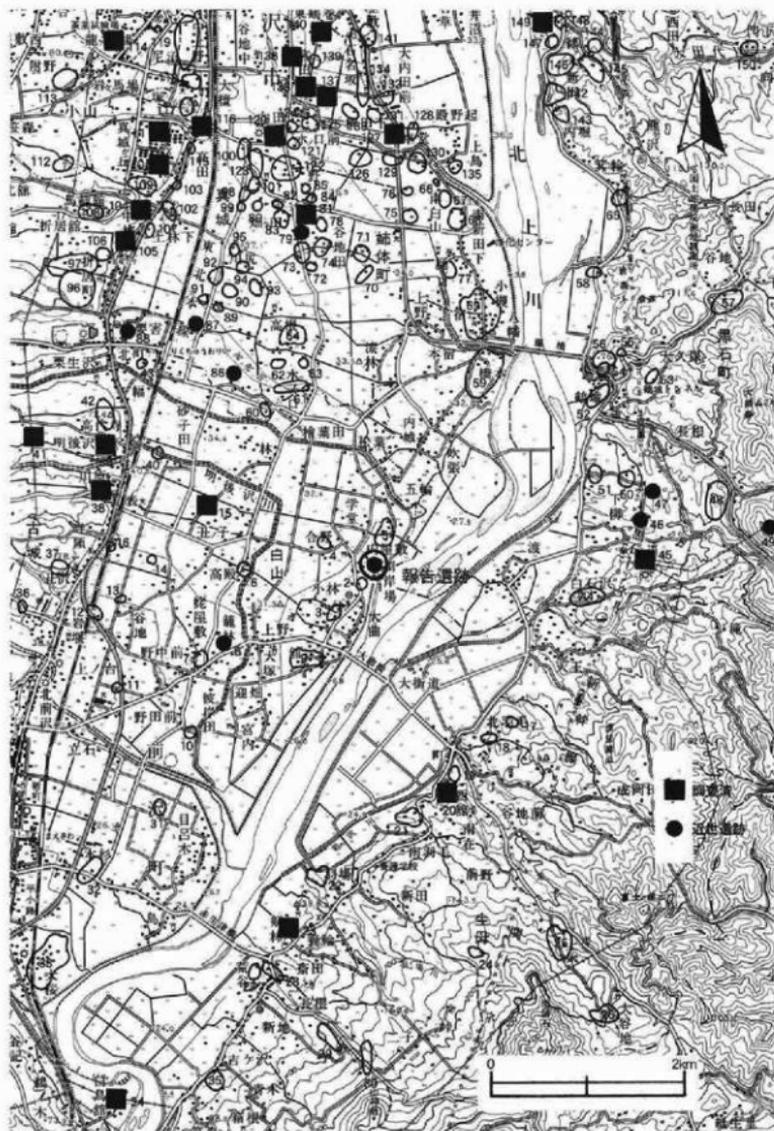


1/20

PKII 基本土層

I	10YR2/2	黒褐色	締まり有り、粘性有り、竹垣多量、近世～現代の表土	
Ib	10YR2/3	黒褐色	締まり極めて有り、粘性有り	
Ic	10YR2/3	黒褐色	締まり有り、粘性有り、20cm次の小礫少量、近・現代の表土	
IIa	10YR4/6	褐色	締まり有り、粘性有り、調査区全体に部分的に見られる	} 近世整地層
Ib	10YR3/3	暗褐色	締まり有り、粘性有り、2～5cm次の小礫少量、厚減した縄文土器残層	
IIc	10YR2/2	黒褐色	締まり有り、粘性有り、2～3cm次の小礫多量、縄文遺物多量	
III	10YR2/1	黒色	締まり有り、粘性有り、プライマリーな縄文遺物包含層	
IV	10YR3/4	暗褐色	締まり有り、粘性有り、厚減した縄文土器残層	
V	10YR4/5	褐色	締まり有り、粘性有り	
VI	10YR2/3	黒褐色	締まり極めて有り、粘性無し、砂礫層、遺跡全体の見られる基礎層、旧川底？	

第6図 基本土層図



第7図 周辺遺跡分布図(平成9年度版)

第1表 周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	時代	遺構・遺物	文献
1	川岸場Ⅱ	前沢町白山字川岸場	縄・弥・近	豊穴・住居、埴輪土器、器立住居跡、真文土器(後期)、弥生土器、陶器(古)	
2	川岸場Ⅰ	前沢町白山字川岸場	縄文・古代	注口土器、壺、高坏、皿、瓶子	
3	小林繁長	前沢町白山字繁長	縄文	縄文土器(中期)、石路、土偶	
4	合野	前沢町白山字合野	古代	土師器、石斧	
5	内原敷	前沢町白山字内原場	平安	土師器	
6	古城方八方	前沢町古城方八方	縄文	縄文土器	
7	田高	前沢町白山字田高	縄文	縄文土器(中期・晩期)	
8	田高Ⅱ	前沢町白山字田高59～76	縄文・平安	陥穴、土坑、井戸跡、門跡柱穴、石斧、土師器、須恵器	2
9	大森牛城(上麻生城)	前沢町白山字内館	縄文・中世	縄文土器、土楨	
10	安倍館	前沢町宮内字阿部館	中世	土師器	
11	上ノ台	前沢町古城字上ノ台	古代	土師器	
12	亀田	前沢町古城字亀田	平安	土師器、須恵器	
13	栗峯	前沢町古城字栗峯	古代	土師器	
14	内ノ町	前沢町古城字内ノ町西	平安・中世	土師器、須恵器、陶器、砥石	
15	中城(櫻山城)	前沢町古城字水神西17～43	中世	堀、土塁、郭	
16	寺廻沖	前沢町古城字寺廻沖	古代	土師器	
17	登瀛羽毛経塚	前沢町牛母字塚の腰	近世		
18	北羽毛	前沢町牛母字北羽毛	縄文	石器	
19	一字一石経塚	前沢町牛母字西館	近世	石碑、石礎	
20	内館(西館)	前沢町牛母字西館	縄文・中世	郭、堀、土塁、石礎、石器	
21	南在	前沢町牛母字南在	縄文	土楨、縄文土器	
22	羽場館	前沢町牛母字羽場	中世		
23	古館	前沢町白山字古館	中世	堀	
24	赤館	前沢町牛母字赤	縄文	石棒	
25	牛母水上	前沢町牛母字一渡	縄文	縄文土器(中期)、石楨、石斧、石造	
26	大谷地	前沢町牛母字大谷	弥生(?)	石器	
27	生母宿	前沢町牛母字生母	弥生	大甕、石斧、石匙、土偶	
28	赤生津城(東館)	前沢町牛母字赤生津	中世		
29	乙刈道	前沢町牛母字乙刈道折地	縄文	縄文土器(後・晩期)	
30	赤間館	前沢町牛母字赤間	縄文	土楨	
31	竹沢	前沢町字北久保	平安	須恵器	
32	日風木杉本	前沢町杉本	古代	土師器、壺	
33	大坂	前沢町大坂	平安	土師器、須恵器	
34	白鳥館	前沢町字白鳥館	中世	郭、空堀、土塁	
35	笹森	前沢町牛母字青木	縄文	土楨	
36	雷神Ⅱ	前沢町古城字機道	縄文	縄文土器(前期)、石器	
37	古城上野	前沢町古城字上野	古代	縄文土器(中期)、土師器、石斧、石皿、球状石器	
38	九郎館	前沢町古城字南上野	中世	堀、郭、平場	
39	宗角館	前沢町字穂沢	中世		
40	都合下	前沢町古城字都合下	平安	土師器、須恵器	
41	明後沢	前沢町古城字明後沢	奈良	豊穴住居、布目瓦、唐椀瓦、甍瓦	1
42	八郎館(高代寺)	前沢町古城字高代寺	平安・中世	堀、郭、土師器、須恵器	
43	北館	前沢町古城字北館	平安・中世	土師器	
44	白石沢	水沢市黒石町字白石沢	縄文	縄文土器(前期)、チップ	
45	柳沢館遺跡	水沢市黒石町字下柳	中世	堀、道、土塁、棒状瓦、鉄滓	11
46	丸森路塚	水沢市黒石町字下柳	中・近世	経塚(素焼き壺・礎)	
47	十三方塚	水沢市黒石町字下柳	中・近世	塚	
48	金山沢	水沢市黒石町字金山沢	縄文	縄文土器	
49	藤塚山	水沢市黒石町字山内	中・近世	経塚	
50	丹波山	水沢市黒石町字下柳	縄文～中世	縄文土器、土師器、須恵器	
51	下柳館(下谷木館)	水沢市黒石町字下柳	中世	土塁、空堀、郭、平場	
52	藤城	水沢市黒石町字藤城	縄文・平安	縄文土器(後・晩期)、須恵器	
53	大久保	水沢市黒石町字大久保	縄文	石楨、石造	
54	黒石	水沢市黒石町字黒石	縄文	縄文土器(前期)	
55	黒石中館	水沢市黒石町字藤城	縄文	縄文土器(中期)	
56	藤城館(黒石古館)	水沢市黒石町字藤城	平安・中世	平場、土師器、須恵器、石楨	
57	下良田	水沢市黒石町字谷地	縄文	縄文土器(前・中期)、石楨	
58	岩手姫神社	水沢市黒石町字大御神	平安	社跡	
59	横本	水沢市黒石町字横本	弥生	弥生土器	
60	(117年新規)	水沢市真城字	古代	土師器、須恵器	
61	(117年新規)	水沢市真城字	古代	土師器、須恵器	
62	(117年新規)	水沢市真城字	古代	土師器、須恵器	

番号	遺跡名	所在地	時代	遺構・遺物	文献
63	(H7年新規)	水沢市真城字	古代	土師器、須恵器	
64	(H7年新規)	水沢市真城字	古代	土師器、須恵器	
65	観音堂Ⅱ	水沢市黒石町字内堀	縄文	縄文土器、石器	
66	北白山Ⅰ	水沢市師体町字北白山	平安	土師器、須恵器	
67	北白山Ⅱ	水沢市師体町字北白山	平安	土師器、須恵器	
68	北白山Ⅲ	水沢市師体町字北白山	平安	土師器、須恵器	
69	西館	水沢市師体町字天神林	古代	平場	
	高橋館		古代	平場	
	松川館		古代	平場	
	内館(下跡体城本丸)		古代	平場	
70	鳥田Ⅰ	水沢市真城字鳥田	平安	土師器、須恵器	
71	鳥田Ⅱ	水沢市真城字鳥田	平安	土師器、須恵器	
72	ヶヶ館Ⅰ	水沢市真城字谷地田	平安	土師器	
73	ヶヶ館Ⅱ	水沢市真城字谷地田	平安	土師器	
74	ヶヶ館Ⅲ	水沢市真城字谷地田	平安	土師器	
75	日廻	水沢市師体町字日廻	平安	土師器、須恵器	
76	根無	水沢市師体町字根無	平安	土師器、須恵器	
77	樋ノ口	水沢市師体町字樋ノ口	平安	土師器、須恵器	
78	中平東	水沢市真城字中平	平安	土師器、須恵器	
79	中平西	水沢市真城字中平	平・中・近	竪穴住居、土坑、溝、土塁、中郭	12
80	中平西	水沢市真城字中平	平安	土師器、須恵器	
81	中平	水沢市真城字中平	平安	造上、土師器	
82	畑田Ⅰ	水沢市真城字畑田	平安	土師器、須恵器、陶器	
83	畑田Ⅱ	水沢市真城字畑田	平安	土師器、須恵器	
84	裏谷地	水沢市真城字裏谷地	平安	土師器	
85	畑田裏谷	水沢市真城字畑田	平安	土師器、須恵器	
86	粟林	水沢市黒石町八反町	中・近世	一字一石塚	
87	谷塚	水沢市真城字谷地	中・近世	竪、土塁、中郭、土師器	
88	折居館(表書)	水沢市真城字表書	中・近世	溝、土塁、中郭	
89	二ツ湖南	水沢市真城字二ツ湖	平安	溝跡、土師器、須恵器	12
90	二ツ湖北	水沢市真城字二ツ湖	平安	須恵器	
91	谷地館	水沢市真城字土手	平安	土師器	
92	ノノ瀬	水沢市真城字ノノ瀬	平安・中世	土師器、須恵器、陶器	
93	土手南	水沢市真城字土手	平安	土師器、須恵器	
94	土手北	水沢市真城字土手	平安	土師器、須恵器	
95	真城落合	水沢市真城字落合	平安	土師器	
96	堤ヶ沢Ⅰ	水沢市真城字堤ヶ沢	平安	土師器、須恵器	
97	堤ヶ沢Ⅱ	水沢市真城字堤ヶ沢	平安	土師器、須恵器	
98	館Ⅰ(中野城)	水沢市真城字館	中世	土器、灰郭、平場	
99	館Ⅱ	水沢市真城字館	平安	土師器、須恵器	
100	金田Ⅰ	水沢市真城字金田	平安	土師器、須恵器	
101	金田Ⅱ	水沢市真城字金田	平安	須恵器	
102	(H7新規)	水沢市真城字	古代	土師器	
103	堤尻下	水沢市真城字堤尻下	中世	陶器	
104	中林A	水沢市真城字中林	平安	溝跡、縄文土器、石器、土師器、須恵器	9
105	中林B	水沢市真城字中林	平安	竪穴住居、溝跡、土坑、柱穴、土師器、須恵器	9
106	中林東	水沢市真城字中林	平安	土師器、須恵器	
107	中林下	水沢市真城字中林下	平安	土師器、須恵器	
108	馬籠館	水沢市真城字馬籠館	中世	石の礎、仏壇用祭壇	
109	浜田	水沢市真城字浜田	縄文・平安	縄文土器、土師器、須恵器	
110	真城が丘団地	水沢市真城字雷神	平安	土師器、須恵器、磁石、炭化米、粟、クルミの実	
111	雷神Ⅰ	水沢市真城字雷神	平安	竪穴住居、土坑、土師器、須恵器	6
112	南笹森	舘沢町小山字南笹森	縄文	縄文土器、石器	
113	野野森	舘沢町小山字野野森	縄文・中世	縄文土器、陶器	
114	鹿ヶ尾場	水沢町鹿ヶ尾場	縄文・平安	縄文土器、土師器、須恵器	3
115	高田	水沢市真城字高田	平安	土師器、須恵器	
116	人塚	水沢市真城字人塚	平安	竪穴住居、土師器、須恵器	10
	堤尻館(堤尻沢館)		中世	平場	
117	上野	水沢市真城字上野	平安	土師器、須恵器	
118	若江館(四郎館)	水沢市真城字南	中世		
119	須江	水沢市真城字須江	平安	土師器、須恵器	
120	北野Ⅳ	水沢市真城字北野	縄文・平安	竪穴住居、土坑、縄文土器、土師器、石器	14

番号	遺跡名	所在地	時代	遺構・遺物	文献
121	北野Ⅰ	水沢市真城字北野	平安	土師器、須恵器	
122	北野Ⅱ	水沢市真城字北野	平安	土師器、須恵器、陶器	
123	北野Ⅲ	水沢市真城字北野	平安	土師器、須恵器	
124	向田	水沢市姉妹町字向田	平安	土師器	
125	水の口	水沢市姉妹町字水の口	平安	須恵器	
126	水ノ口前	水沢市水ノ口	平安	土師器	
127	姉妹車堂Ⅱ	水沢市姉妹町字車堂	平安	溝跡、土坑、柱穴、土師器、須恵器	4
128	姉妹車堂Ⅲ	水沢市姉妹町字車堂	平安	土師器、須恵器	
129	元天神前Ⅰ	水沢市姉妹町字元天神前	縄文	石版	
130	元天神前Ⅱ	水沢市姉妹町字元天神前	平安	土師器、須恵器	
131	寺西南	水沢市佐倉河字寺西	平安	土師器、須恵器	
132	大内田前	水沢市姉妹町字大内田	平安	土師器、須恵器	
133	小水ノ口	水沢市字水ノ口	平安	土師器、須恵器	
134	上姉体城(船)	水沢市姉妹町字田	中世	空堀、複郭、平場、土器	
135	上島	水沢市姉妹町字上島	平安		
136	林前Ⅰ	水沢市姉妹町字林前	平安	竪穴住居、土坑、土師器、須恵器、土器須恵器環	6・7-13
137	林前Ⅱ	水沢市姉妹町字林前	平安	竪穴住居、土坑、土師器、須恵器	6・7
138	林前高館	水沢市姉妹町字林前	縄文・平安	竪穴住居、素掘井戸跡、溝跡、土師器、須恵器	10
139	林前館	水沢市姉妹町字林前	中世	中郭	
140	北余目	水沢市姉妹町字北余目	平安	溝跡、土坑、土師器	8
141	石名坂	水沢市姉妹町字石名坂	縄文	縄文土器、石版	
142	鶯ノ木新田南	水沢市字鶯ノ木新田	縄文	縄文土器	
143	大沢	水沢市字鶯ノ木新田	縄文	縄文土器(前・晩期)	
144	鶯ノ木新田	水沢市字鶯ノ木新田	縄文・平安	縄文土器(前期)、土師器、須恵器	
145	鶯ノ木新田上	水沢市字鶯ノ木新田	縄文	チップ	
146	鶯ノ木新田法師塚	水沢市黒石町字鶯ノ木新田	中世	塚	
147	鶯ノ木南内池	水沢市黒石町字鶯ノ木	縄文・弥生	縄文土器、アメリカ方式石斧、すり切石斧	
148	鶯ノ木館	水沢市黒石町字鶯ノ木	中世	空堀、複郭、台塚、平場	
149	鶯ノ木吉	水沢市黒石町字鶯ノ木	縄文	縄文土器(前・晩期)、土師器、須恵器、打製石斧、碧玉、柱穴ピット	
150	黒田助城	水沢市真城字黒田助	縄文・中世	縄文土器、石版、堀、平場	

#### 参考文献

- 『明後沢遺跡第4次発掘調査概報』1978年 前沢町教育委員会
- 岩手県前沢町文化財報告書第4集『田高Ⅱ遺跡発掘調査報告書』1997年 前沢町教育委員会
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第243集『能ヶ馬場遺跡発掘調査報告書』1996年  
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 水沢市埋蔵文化財センター報告書第3集『姉妹車堂Ⅱ遺跡発掘調査報告書』1995年  
(財)水沢市文化振興財団水沢市埋蔵文化財調査センター
- 水沢市埋蔵文化財センター報告書第6集『雷神Ⅰ遺跡発掘調査報告書』1995年  
(財)水沢市文化振興財団水沢市埋蔵文化財調査センター
- 水沢市文化財報告書第15集『水沢遺跡群範囲確認調査 昭和60年度発掘調査概報』1985年 水沢市教育委員会
- 水沢市文化財報告書第18集『水沢遺跡群範囲確認調査 昭和62年度発掘調査概報』1987年 水沢市教育委員会
- 水沢市文化財報告書第19集『水沢遺跡群範囲確認調査 昭和63年度発掘調査概報』1988年 水沢市教育委員会
- 水沢市文化財報告書第22集『水沢遺跡群範囲確認調査 平成2年度発掘調査概報』1991年 水沢市教育委員会
- 水沢市文化財報告書第25集『水沢遺跡群範囲確認調査 平成4年度発掘調査概報』1993年 水沢市教育委員会
- 水沢市文化財報告書第28集『柳沢遺跡』1994年 水沢市教育委員会
- 水沢市文化財報告書第29集『水沢遺跡群範囲確認調査 平成6年度発掘調査概報』1995年 水沢市教育委員会
- 水沢市文化財報告書第30集『水沢遺跡群範囲確認調査 平成7年度発掘調査概報』1996年 水沢市教育委員会
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第272集『北野Ⅳ遺跡発掘調査報告書』1998年  
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

文献番号以外は岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧 1997年 岩手県教育委員会による

### 第3章 調査の概要と整理方法

#### 第1節 調査経過と整理経過

《平成8年度》

初年度の発掘調査は、平成8年7月11日から11月5日まで行った。

7月11日午前10時、発掘機材を搬入し、プレハブ事務所設置等の準備作業を行う。

7月24日まで雑物撤去を行い、25日には委託していた調査区北側の環濠屋敷部分の現況地形測量のための写真撮影が行われた。同日午後から8月9日までは試掘トレンチを掘り、層序等の確認を行ったところ、調査区北側の環濠屋敷部分（C区）では近世に削平整地されたものと思われ、表上下は無遺物層（IV層）であることが判明した。また同地区は地主が移転時に神社、鳥居、100年以上の庭木を電機により移動していたため、各所に掘り起こしによる擾乱が認められた。その範囲は約500㎡程で北側部分のおよそ1/4を占めていた。調査区中央部（A区）から南側では、前年度の県文化課の試掘結果から、かなりの遺物層が見込まれていたとおり、表土下に縄文時代（晩期）の遺物が多量に包含される厚さ20cm～1m以上の黒ボク土が存在することを確認した。調査区南側（B区）では昭和の宅地造成による擾乱がひどく、遺物包含層の遺存状態は不良であった。

8月以降の表土除去は試掘の結果から重機を使用することとし、8月前半はC区の擾乱盛土の除去、後半はC区、A区、B区と表土除去を進めた。

8月6日基準杭が打設される。

8月中旬から9月上旬は、現況で確認されたC区北端の堀（SD02-04）、土塁（SF01-02）や北東部の庭部分の溝（SD01）と土塁（SF02）、および石垣（SZ01）などの普通地形的遺構の精査を行う。

9月上旬には、あわせてC区の遺構検出作業を行った。C区北側では建物跡の基礎痕跡と思われる集石、列石、敷石状遺構など、南側では母屋跡と思われる柱穴群が多数検出された。

9月中はC区北側の精査を行ったが、昭和30年代に建てられた宅地の造成により遺存状態が悪く、礎石は認められず、調査区外に延びることもあって集石類から建物跡等の想定は困難を極めた。

9月17日、調査区内で運末にされたと思われる子供のいたずらを発見。被害はC区のSF02土塁の掘削と遺構プレートの破壊であった。

9月下旬にはA区の近世面での検出作業を行った。環濠屋敷と御蔵場跡を区画する堀跡1条（SD03）とお蔵跡と思われる布掘り掘立柱建物跡2棟、礎石建物跡と推定されるグリ石の基礎痕跡を数棟分確認した。

10月中旬までは母屋部分の柱穴の精査を行ったが、移転時の擾乱のため東西縁辺がやや不確かであった。下旬にはA区の近世遺構の精査開始。

10月25日には建設省、文化課、当センターの担当者による終了確認を行ったが、A区の近世遺構が精査中で、残り期間から見てもA・B区の縄文時代についての調査は不可能と判断されたことから、協議の結果、縄文時代については次年度の調査とすることとなった。

10月31日、C区のSZ01石垣の立面図の写真測量と終了全景の空撮を行う。

11月5日には堀跡などの埋め戻しと越冬のためA区にはシートをかけて土盛りを行い、機材等を撤去して平成8年度の野外調査を終了した。

整理作業は11月6日から平成9年3月31日まで行った。

遺構図面の点検と第2原図の作成及び遺構写真の整理は整理期間の始めの11月に行い、遺物は、野外調査の主体が近世であったこともあって、主として近世の遺物について整理作業を行い、それ以外の時代の遺物については洗浄までとした。12月までは各種遺物の洗浄と保存処理遺物（木製品・金属製品・古銭）の処理（錆び落とし）および実測と写真撮影を行い、平成9年1月から3月までは陶磁器の接合・仕分け・分類・実測・写真撮影と作業を進めた。

《平成9年度》

平成9年度の調査は、7月7日から11月21日まで行った。

7月7日、発掘機材を搬入し、プレハブ事務所等の設置を行う。

7月11日からB区の遺物包含層の精査を開始。下旬にはB区の遺物包含層の大半は近・現代の宅地造成の盛土であることが判明。ただし、前沢町教育委員会が行った川岸場1遺跡と接するB区南西端の一部はプライマリーと思われる状況を呈する模様だ。この南西端の包含層から上半部を欠く深鉢（R P01）が出土し、深鉢内の埋土中には骨片が微量含まれていた。包含層中の出土とあって掘り方を確認することはできなかったが、直立状態の埋設土器であった可能性が高い。また盛土中にはコンテナ40箱分の遺物が含まれていた。

8月上旬にはB区の遺構精査と併せてA区の遺物包含層の精査を開始。現況の地形は平坦であるものの、近世から現代の整地や攪乱があちこちにあるため、これらをできるだけ避けて基本十層ベルトを設定して区割りを行い、A1～8区と便宜的に区分けした。包含層の掘り下げはA区の南側から行った。

9月上旬にはA1区で堀跡（S X04）と思われる平行する畝状の溝を多数検出。またA1・2区で3条の沢の落ち込み（A1・2・3号沢）を確認する。土器片は落ち込みの下層ほど大きい。中旬以降は天候不順の雨が多くなったため、遺構精査が行えず、雨の合間に包含層の掘り下げを行う以外、遺物洗浄が作業の主体となり、進行にかなりの支障をきたすようになった。下旬にはA1～4・7・8区の包含層は近世の御蔵場造成による盛地層であることが判明。

10月にはいと整地層除去を終えたA2・3・4・7区の遺構検出と精査を開始。下旬にはA1・2号沢もプライマリーな状態ではないことが判明。A3号沢の下位では廃棄されたと思われる数個体分の弥生土器が一括出土した。またA3号沢の東側調査区境では直立状態の埋設土器と思われる弥生土器（甕）が出土したが、黒色土の包含層ということもあって掘り方のプランは確認できなかった。この土器の取り上げ後、土器内に蓋形土器が落ち込んでいた事が判明し、さらに埋土中にはわずかながら骨片が含まれていた。1号沢については東側に御蔵場を囲うと思われる堀跡（S D21）を確認、中央部には斜面に直交して平行する浅い溝状の遺構を検出、門跡出入り口か。2号沢以北では掘立柱建物跡もしくは布掘り掘立柱建物跡と思われる柱穴列と溝跡を検出する。A5・6区では一部に集中して包含層中から埋設土器と思われるものが認められた。中旬からは柱穴と平行して埋設土器と土坑類の精査を行う。9月の天候不順の影響がここに来て遺構精査の進捗に現れる。忙しい。

11月、引き続き遺構精査を懸命に行う。6日には建設省、文化課、当センターの担当により、終了確認を行う。この時点でも多数の遺構が精査中であり、埋設土器の集中するA5区の包含層精査も残っており、期間内での終了は不可能であることから、協議の結果2週間の調査延長と言うこととなった。

19日、実測と写真を残すのみとなる。同日、終了全景の空撮を行い、実測作業の終わった南側から安全対策のため埋め戻しを開始する。

21日、午前中で作業を終え、機材を撤収し、野外調査をすべて終了した。

整理作業は11月22日から平成10年3月31日まで行った。

遺構図面の点検と第2原因の作成及び遺構写真の整理は整理期間の始めの11月に行い、遺物は未洗浄の土器約170箱の洗浄を主作業とし、合わせてこの年の野外調査で出土した近世遺物の整理を前年度同様に優先して行った。3月下旬には遺構内出土遺物についての注記も行った。

#### 《平成10年度》

平成10年4月1日から平成11年3月31日までの一年間、通年の室内整理作業を行った。10月までは調査員1名を含めスタッフは13名、以降は4名が分担して作業に当たった。

平成10年4月1日時点での作業の進捗状況は、遺構の第2原因作成と近世の掲載分の遺物の実測、縄文～弥生時代の遺物の洗浄と仕分け・注記、そしてアルバム整理と台帳作成までを終了している。

4月から6月までは、縄文～弥生時代の土器の接合と石質復元を主作業として、遺構と近世遺物のトレースと図版作成を平行して行った。

5月中旬までには石器の細分類と登録(約1,800点)、同じく土・石製品についても登録(約550点)を行い、6月から石器、7月から土・石製品の実測を開始。登録した遺物は種別毎に随時パソコン入力を行った。6月下旬には鑑定委託した石質鑑定(約2,000点)を行う。

7月上旬には石器と石製品の写真撮影を行った。同じく接合復元作業を終えた土器の1次選別と登録(約1,800点)を行い、引き続き実測・採拓等を開始した。

7～10月の期間は主として各種遺物の実測が作業の主体となる。

7月中頃には近世の遺物についての作業(図版と観察表の作成)、9月下旬には遺構についての作業(図版と写真図版)をすべて終了した。

9月には土・石製品の実測を終了し、10月からトレースを開始、あわせて実測図未掲載分石器(約1,000点)の計測作業を行った。

11月中旬をもってすべての実測を終了する。これ以降作業の主体は遺物のトレースとなり、平成11年の2月まで行った。

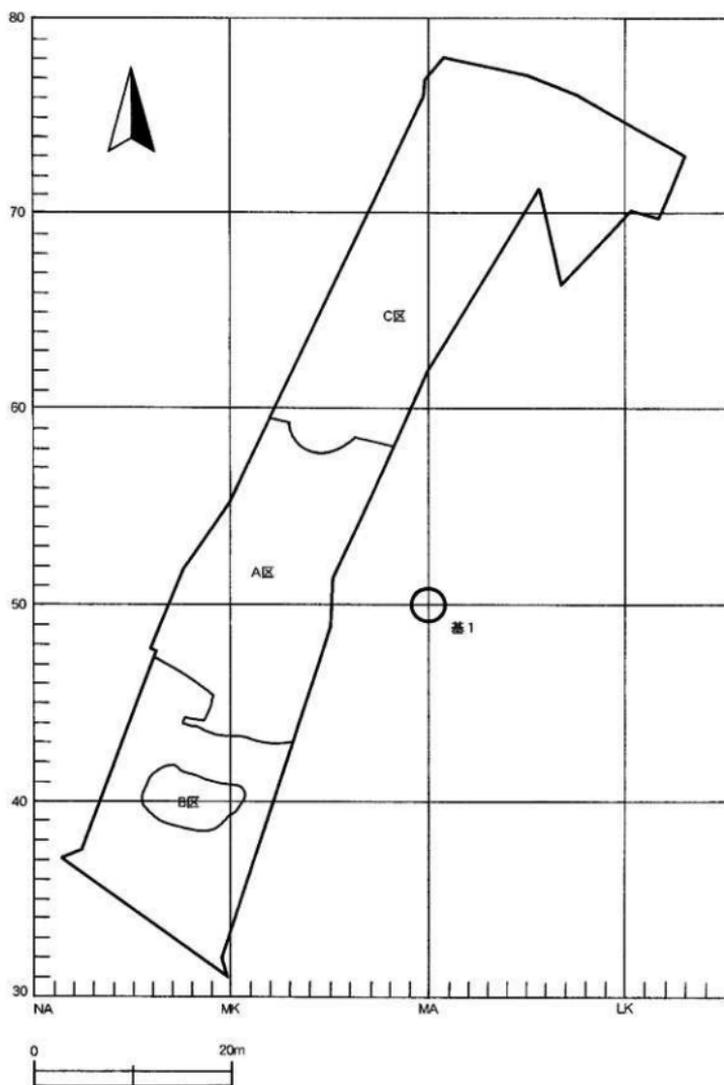
12月以降には種別単位でトレースの終了したものから随時図版作成を行い、あわせて遺構外出土遺物の写真撮影を行った。

3月には遺物の写真図版作成と各種図版類の点検を行い、月末に収納してすべての作業を終了した。

## 第2節 調査方法

### (1) グリッドの設定

グリッドは用地内に基点を設け、国家座標第X系に乗るようにこれを通る座標北をもとめて基準線とし、これと平行及び直行するラインを4m間隔で引き、4m×4mの方眼(グリッド)を設定した。実際にはラインの交点に杭を打設して区別を行った。グリッドの呼称は、2桁のアラビア数字と2文字のアルファベット大文字の組み合わせで、基点をMA50として南北方向は基点から北へ昇順する数字(51・52・53・・・)、南へ降順する数字(49・48・47・・・)、東西方向は基点から西に(MB・MC・MD・・・MT・NA・・・)、東に(LT・LS・LR・・・LA・・・)と付し、各グリッドの南東隅の杭でグリッド名を呼称することとした。なお、基点(MA50)とした国家座標第X系における座標値は(X=-103,100,000 Y=29,090,000)である。



第6図 グリッド設定図

## (2) 粗掘と精査

粗掘は平成8年度の試掘によって方針を決めた。C区では地主が移転時に地所の掘り起こしをした土取り穴を利用して層序の確認をしたところ、遺物包含層は認められず、表土下が近世面、A・B区では表土下に近世の整地層と思われる薄い褐色土層を部分的に確認できたことから、表土（近世面まで）と攪乱土の除去は基本的には重機を使用することとした。排土は用地内の調査区外にキャリアで運び、平成8年度で表土除去は終わっている。実際の作業の進行はC区の攪乱土、表土、SD02・04掘跡内の埋め立て土、B区の盛土と表土、A区の表土という順で粗掘を行った。

遺構精査は、基本的には竪穴住居跡は4分法、土坑類と埋設土器は2分法、堀・土塁・溝跡と建物跡の基礎痕跡と思われる集石・列石等は適宜ベルトあるいはトレンチを設定し、覆土の観察を行った。柱穴状ピットは検出面で埋土の土色と土性を記録することとし、掘り下げ中に認められた特記事項を併せて記録した。

遺物包含層については、調査当初のトレンチの断面観察では明瞭な層位区分が適わなかったため、上層観察用の大ベルトを設定して8区画し、各区画内ではグリッドラインにさらにベルトを残して層位の把握と遺構の検出に努めながら掘り下げを行うこととした。実際には、層位の区分が適わず、包含層の厚さが平均的には約30cm程であったことから10cm単位で上・中・下とし、遺物は残しながら掘り下げ、状況を観察しつつ復元可能な個体以外は随時遺物を取り上げている。層位の区分が適わず、また遺構の確認されなかったグリッドについては随時ベルトは撤去している。A1～3号沢についても同様に掘り下げを行い、層位を把握できた分に関しては算用数字で層位をふたつた。

遺物の取り上げは、遺構内出土は遺構名と埋土層位を記入し、遺構外包含層では大ブロックとグリッド単位で層位を記入し、上記のとおり細分できなかった場合は上・中・下を付して取り上げている。なお、遺構内外とも出土地点を計測した遺物については取り上げ番号も記入した。

## (3) 遺構の記録

遺構の記録は、主に実測図作成と写真撮影により、作図に表現できないことはフィールドカードに記録している。図面は遺構の平面形、焼土、ベンガラ、遺物出土状況等を記録した平面図、及び断面形、覆土の堆積状態を記録した断面図を作成し、適宜エレベーション図も作成した。また石垣については立面図も作成した。作図は主として簡易遣り方測量を準用し、堀・土塁・溝等の長大な普請的遺構については光波トラを併用した平板測量で作図した。調査前の現況地形図と石垣の立面図については写真測量を委託した。作図の縮尺は原則的には1/20とし、埋設土器等の微細図は1/10、普請的遺構は1/50とした。

写真は、遺構検出時の確認状況、埋土堆積状態、遺物出土状況、完掘状態というように精査の段階毎に必要なに応じて撮影を行っている。フィルムは35mmのモノクロとリバーサル、さらにモノクロは6×7判のものも使用した。また、遺跡遠景、調査終了全景は航空写真撮影を行った。

## 第3節 整理の方法

図面の点検・遺物の洗浄・写真の整理は、原則的には現場で野外調査と平行して行うこととしたが、後半は煩雑な調査に追われ、一部は野外調査の終了後に行った。また平成9年度では遺物が多量であったため、そのほとんどは帰セン後の冬場の整理で洗浄を行った。

### (1) 遺構

遺構図面は、点検後必要に応じて第2原図を作成した。挿入中の縮尺は竪穴住居跡と竪穴状遺構は1/60、

掘立建物跡と建物跡は平面図は1/100、断面図は1/80、土坑類は1/40、埋設土器と炉・焼土等は1/20、堀・土塁等の普請的遺構は平面図は1/250、断面図は1/60、石垣立面図・列石等は1/40、竝間状遺構等は1/80、柱穴状ピットは1/125を原則とし、任意の縮尺についてはスケールを付している。

なお、使用したスクリーン・トーンの種類は凡例の通りである。

## (2) 遺物

遺物は洗浄後、種別ごとに仕分けを行った。陶磁器と石器・石製品は野外調査中にほぼ洗浄を終え、石器類は製品と未製品の仕分けと大まかな選別も野外調査中に終わっている。土器と陶磁器は接合・復元後、実測や拓本の必要なものを選択して注記・登録し、石器・石製品類と土製品類はおよそ全点を登録した。

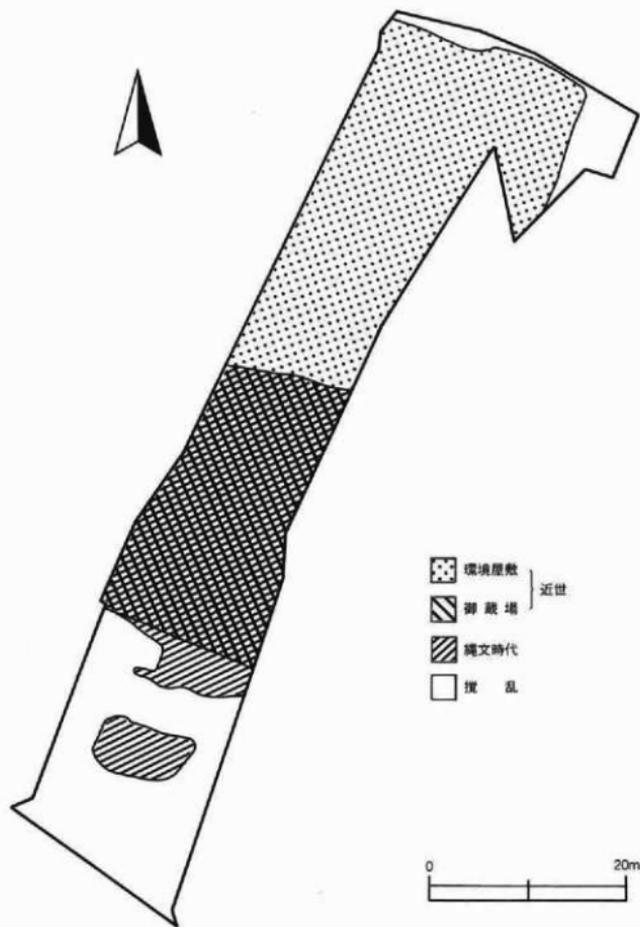
報告書に記載した遺物は、登録した中からさらに選択して実測・トレース・写真撮影・図版作成と作業を進めた。作業は、調査員が仕事の計画と指示・点検、整理作業員が実際の仕事というように分担している。

報告書に記載した遺物の選択基準は、土器は完形品のすべてと接合復元できた大部分、口縁部と体部の破片資料は文様モチーフの明瞭なものを優先し、文様単位がある程度把握できる大きさのもの、底部資料は高台および網代痕等のあるものの一部である。同一遺構の破片資料は床面出土のものをできるだけ使用し、同じ文様の破片は重複記載のないようできるだけ避けている。遺構外出土の土器については、総量でコンテナ(35×45×30cm)約210箱分もあり、整理期間にも限りがあることから、破片資料に関してはプライマリーな状態であったA5・6区の包含層出土のものを中心に選択し、他の地区の整地層出土のものは補填的に抽出した。石器は器種形態の判別可能なものを類別し、各種類ごとにサンプリング的に抽出して時間の許す限り実測し、残りは計測表と写真のみとした。土製品・石製品は基本的に出土した全点、陶磁器は幕末から近代のものは除き、接合・復元後、器形を復元できるものを選択し、これにない器形および文様がある場合には破片も抽出した。

挿図中の縮尺は、土器・陶磁器・礎石器・木製品・金属製品は1/3、土製品類・石製品類は1/2、剥片石器は2/3、古銭と玉類は原寸を原則としているが、任意の縮尺についてはスケールを付している。

## (3) 写真

野外調査中に撮影した写真は、フィルムの規格ごとにモノクロはネガアルバムに、リバーサルフィルムはスライドファイルに整理した。いずれも撮影順に整理して台帳に記載した。遺物は登録したものを陶磁器、石器類、遺構内出土土器、遺構外出土土器の順で35mmフィルムで撮影し、同様に整理した。なお、遺物の撮影は当センターの写真技師が当たった。



第9図 時期別ブロック図

## 第4章 検出遺構と出土遺物

2ヶ年にわたる発掘調査では、縄文時代・弥生時代・古代・中世・近世・時期不明の6時期の遺構と遺物が検出・出土した。この6時期は出土遺物から時期の明確な遺構、遺物の出土はないが形態から時期が判断された遺構、時期の明確な遺構との重複関係から時期の判断された遺構、単独で検出され時期が明確でない遺構などがあり、統一された明確な根拠に基づくものではない。また、弥生時代・古代・中世については明確な遺構は確認されておらず、遺構外から出土した遺物のみである。

調査区を含めた遺跡全体は、近世に環濠屋敷と伊達藩の御蔵場造営のための整地造成がなされており、削平整地のされた調査区北半(C区)は環濠屋敷関連の遺構と遺物、中央部(A区)は御蔵場関連の遺構と遺物、それに整地層中には大量の縄文時代の遺物、そして若干の縄文時代の遺構と狭小な遺物包含層、南部(B区)は近代の遺構と整地層中に多量の縄文時代の遺物が含まれていた。

時代別遺構数量は以下のとおりである。

### 縄文時代

竪穴住居跡4棟(S I 01~04) 土坑10基(S K 27~29・31~33・47・51~53)

埋設土器10基(S R 02・03・06~09・11・12・14・15)

### 近世以降

掘立柱建物跡10棟(S B 01~03・11~14・21~23) 建物跡6棟(S H 01・02・11~14)

竪穴状遺構2棟(S K I 01・05) 土坑類15基(S K 01・02・08~10・15・26・30・34・35・37~40・45)

堀跡4条(S D 02~04・21) 土壘2条(S F 01・02) 溝跡6条(S D 01・06・20・22・23)

石垣2カ所(S Z 01・02) 列石状遺構9基(S Q 01~03・06・10・17~20) 敷石状遺構3カ所(S Q 04・07・08)

集石5カ所(S Q 05・09・21・23・24) 土間状遺構1基(S W 01) 焼土遺構3基(S N 01~03)

柱列6基(S A 03~06・10・11) 湧水池等2カ所(S E 01・03) 肥溜め跡?1基(S E 05)

畝間状遺構3カ所(S X 01・02・04) 道状遺構1カ所(S X 03) 近世整地跡3カ所(A 2・3号沢跡・S D 15)

以下、時期別毎の地区ごとに検出した遺構・遺物について述べる。

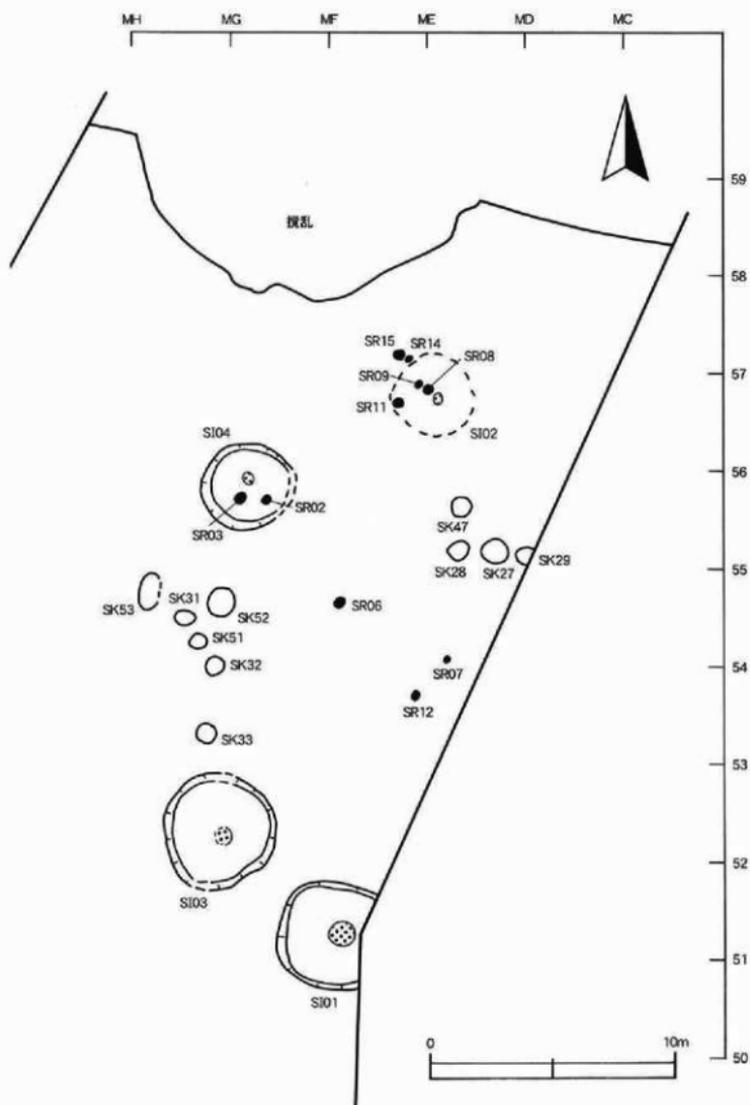
### 第1節 縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構は大量の遺物が出土したにもかかわらず、近世以降に大々的な造成整地がなされたことで削平されたものと思われ、種類・数量とも多くはない。遺構は御蔵場内北東部のA 5・6区でのみ検出され、土坑と埋設土器では占地にややまとまりが認められた。

#### (1) 竪穴住居跡

##### S I 01竪穴住居跡(第11・17・18・29図、写真図版6・28・34)

調査区中央部A 6区のME・MF・50・51グリッドに位置し、検出面はIV層面である。本遺構は表土を除去した近世整地面で不整な礫混じりの黒褐色土の落ち込みと石組み炉を確認したものである。平面形・規模は東側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、平面形は径4~4.5mの大略円形を呈すると思われる。壁は外傾して立ち上がり、現存する壁高は約15cmを測る。埋土は基本的に黒褐色土の単層で、炉周辺には焼土が混じる。床面はやや凹凸があり、西側は一部貼床とされていた。検出した範囲の床面積は10.4m<sup>2</sup>を測る。柱穴は6基検出され、配置・規模・深さからP 2・3・5が主柱穴と考えられる。炉は20cm大の河原



第10図 縄文時代の遺構配置図

石を用い、北側を一部開いて円形に組んだ石組炉である。石組内は浅く窪められ、焼土の赤色変化は弱い。

遺物は大コンテナ1箱分の土器片と石鏃4点、石鏃・磨石各1点とフレーク数点が出土し、深鉢形土器3個体と鉢形土器1個体が復元できた。5は同一個体で内面には赤色顔料が全体的に付着していた。

#### S102竪穴住居跡 (第11図、写真図版6)

調査区中央部A5区のMD・ME56グリッドに位置する。本遺構はⅢ層遺物包含層を一段(約10cm)掘り下げたところ、径2m前後の暗褐色の落ち込みを確認した。包含層の精査時に残っていたベルトでは立ち上がりは確認できず、当初土坑と考えて精査したものだが、石組炉を検出したため竪穴住居跡と判断したものである。石組炉周辺にはSR08・09・11埋設土器があり、位置関係から重複しているものと思われる、本遺構が古い。平面形・規模は壁が確認できなかったため全容は不明であるが、本遺構に伴うと思われる柱穴の配置から径3～4m前後の規模と推定され、埋土はⅢ層に類するものと思われる。床面は炉周辺の中央部が浅く窪むもののおおむね平坦で堅締である。柱穴は周囲に近世のSB02・03孤立柱建物跡があるなかで、位置・埋上・深さからP761・796が本遺構に伴うものと考えられる。炉は10cm前後の河原石を用いて略方形に組んだ石組炉で、南西側はやや小粒の石が2重に組まれていた。焼土の赤色変化は弱い。

遺物は上記のような状況を呈していたため、Ⅲ層包含層として取り上げを行ったことから、確実に本遺構に伴うものを判断できない。SR14・15出土の石器は本遺構に伴うものである可能性が高い。

#### S103竪穴住居跡 (第12・18・19・29・30図、写真図版7・28・29・34)

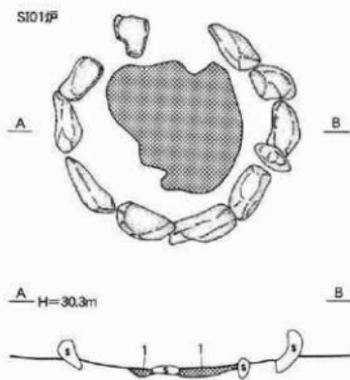
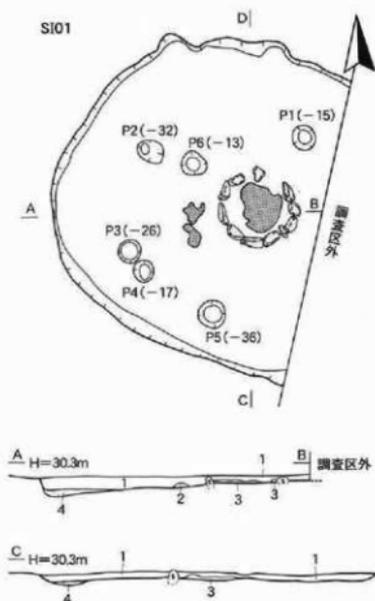
調査区中央部A6区のMF・MG51・52グリッドに位置し、検出面はⅣ～Ⅴ層である。南東側にはS101が隣接し、これと同様に表土を除去した近世整地面で不整な黒褐色土の落ち込みを確認したものである。本遺構を東西に寸断するようにSB14の布掘りが切る。平面プランは近世の削平整地によるためか、ぼけた感じの不整な略円形で、規模は径約4.7m程である。壁は外傾して立ち上がり、現存する最大壁高は南側で約18cm、平均は約10cm程である。埋土は黒褐色土の単層で、小礫が若干混じる。床面は大平がⅥ層に達し、凹凸が著しい。床面積は16.4㎡を測る。柱穴は11基検出され、配置・深さ等からP1・6・9が主柱穴と考えられ、また配置からSB14布掘り内の南側に1基存在したと思われる。炉は地床炉が床中央部に60cm程に広がるが、西側はSB14により消失していた。焼土の赤色変化は5YR3/2(暗赤褐色)とやや強く、厚さ4～5cm程である。

遺物は大コンテナで1箱分の土器片と石鏃1点、小型の磨製石斧1点、石皿1点、円盤状石製品1点、フレーク数点が出土した。32・33は南側の床面から出土した小型の壺形土器である。

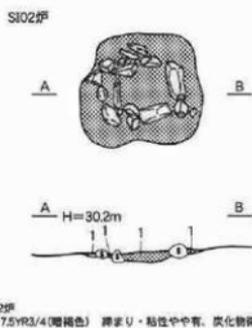
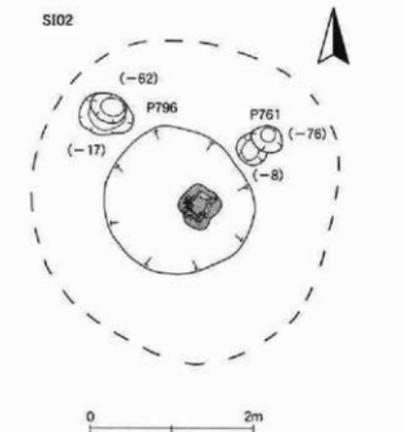
#### S104竪穴住居跡 (第12・20～23・29・30図、写真図版8・29・30・31・34)

調査区中央部A5・6区のMF・MG55・56グリッドに位置する。本遺構の埋土を掘り込んでSR02・03埋設土器が有り、これらの断ち割りを行った際に多量の遺物が出土したことから、なんらかの遺構が存在すると考えられたものである。基本土層ベルトを挟んでA5区のⅢ層遺物包含層の掘り下げを行ったところ浅い沢状の落ち込みであったため、その延長と判断して精査を進めたが、石組炉を確認して竪穴住居跡と判明したものである。東端はSB14の布掘りで破壊されている。基本土層ベルトの断面観察からは掘り込み面はⅣ層面であることを確認した。平面形・規模は径約4mの円形を呈する。壁はやや外傾して立ち上がり、壁高は約35cmを測る。埋土は黒褐色系の3層からなり、埋土上位の中央に多量の遺物が含まれる。床面は平坦で堅締、床面積は推定約10.5㎡である。柱穴は炉を囲む円形配置で8基検出された。炉は10～20cm大の河原石を用いて円形に組んだ石組炉で、焼土の赤色変化はやや強い。

遺物は大コンテナで2箱分の土器片と石鏃4点、円盤状石製品1点、フレーク多数が出土し、床面中央か

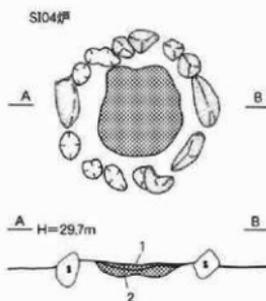
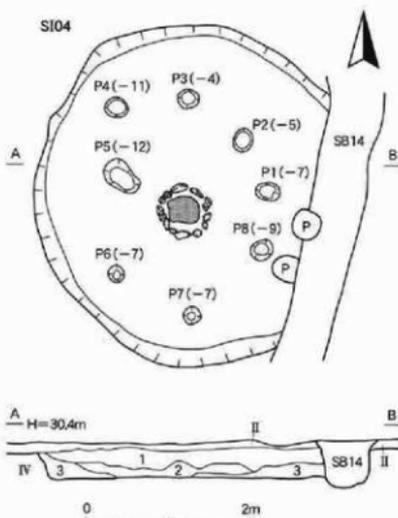
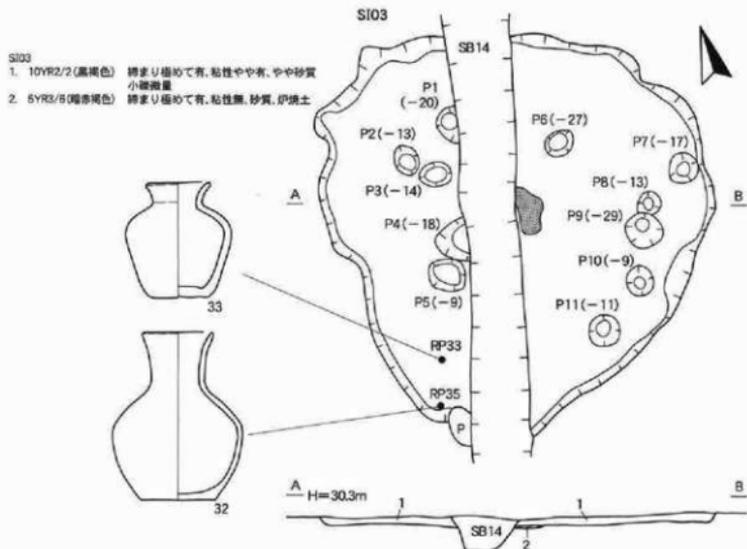


SI01P  
1. 7.5YR3/3(暗褐色) 締まりやや有, 粘性有, 伊焼土



SI02P  
1. 7.5YR3/4(暗褐色) 締まり・粘性やや有, 炭化物微量, 伊焼土

第11図 SI01, 02竪穴住居跡



SI04炉

- 5YR3/4(暗赤褐色) 締まり・粘性有、炉焼土
- 7.5YR3/4(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、赤色炭化強い焼土

SI04

- 10YR3/2(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、土礫少量、炭化物全体的に微量
- 10YR2/3(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、土礫少量、コブシ大の炭礫量、炭化物全体的に微量
- 10YR2/2(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、炭化物微量

第12図 SI03、04竪穴住居跡

ら粗製の深鉢形土器の上半1点、埋土中では注口土器1点と皿形土器1点、掘り込み面の上位で小型の壺形土器2点と鉢形土器1点が復元できた。

## (2) 土坑類

### SK27土坑 (第13・24図、写真図版23・31・32)

調査区中央部A6区のMD55グリッドに位置し、検出面はV層面である。平面形は円形を呈し、開口部径約130cm、底部径約120cmを測る。断面形は皿状を呈し、深さ約22cmを測る。埋土は黒褐色系の3層からなり、中位には遺物がやや多く含まれる。底面はVI層に達し、小礫で凸凹している。遺物は土器片がやや多くフレークが若干出土し、土器片は地文のみのものが多い。

### SK28土坑 (第13・24図、写真図版23・32)

調査区中央部A6区のMD55グリッドに位置し、検出面はV層面である。本遺構はSKP850に切られる。平面形は楕円形、長軸方向は東西である。開口部110×60cm、底部100×45cmを測る。壁は垂直ぎみに立ち上がり、深さ約25cmを測る。埋土は黒褐色系の2層で、下位にはコブシ大の礫が少量混じる。底面はVI層に達し、やや凸凹している。遺物は少量の土器片とフレークがわずかに出土し、土器片は地文のものが多い。

### SK29土坑 (第13・24図、写真図版23・32)

調査区中央部A6区のMC・MD55グリッドに位置し、検出面はV層面である。平面形は南東側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、略楕円形を呈すると思われる。長軸方向は北東—南西である。開口部の長軸は約140cm、短軸は推定110cm前後、底部は100×80cm程と思われる。断面形は鍋形を呈し、深さ約40cmを測る。埋土は黒褐色系6層に細分され、全体的にコブシ大の礫が少量混じる。底面はVI層に達するが、おおむね平坦である。遺物は土器片がやや多くとフレークがわずかに出土し、土器片は地文のものが多い。

### SK31土坑 (第13・24図、写真図版23・32)

調査区中央部A6区のMG54グリッドに位置し、検出面はIV層面である。平面形は楕円形を呈し、長軸方向は東西である。開口部100×70cm、底部75×50cmを測る。壁は外傾して立ち上がり、深さ約40cmを測る。埋土は基本的には黒褐色の単層であるが、黄褐色土が混じり上位中央に多く、人為的堆積と思われる。底面はVI層に達し、やや凸凹している。遺物は土器片がやや多くとフレークがわずかに出土した。

### SK32土坑 (第13・25・30図、写真図版23・32・34)

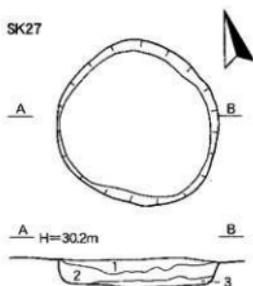
調査区中央部A6区のMG54グリッドに位置し、検出面はIV層面である。平面形は略円形を呈し、開口部径約100cm、底部径約80cmを測る。断面形は平鍋形を呈し、深さ約20cmを測る。埋土は黒褐色土の単層である。底面はVI層に達し、やや凸凹している。遺物は土器片が少量と円盤状石製品が2点、フレークがわずかに出土した。

### SK33土坑 (第13図、写真図版23)

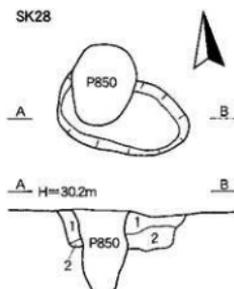
調査区中央部A6区のMG53グリッドに位置し、検出面はV層面である。SKP851に切られる。平面形は略円形を呈し、開口部径約70cm、底部径約60cmを測る。断面形は皿形を呈し、深さ約15cmを測る。埋土は黒褐色土の単層である。底面はVI層に達し、凸凹している。遺物は出土しなかった。

### SK47土坑 (第14・25図、写真図版23・32)

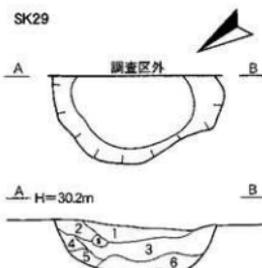
調査区中央部A6区のMD55グリッドに位置し、検出面はV層面である。平面形は隅丸長方形基調で、長軸方向はおよそ東西である。開口部110×80cm、底部85×60cmを測る。壁は底面から明瞭な稜をもたずに立ち上がり、深さ約50cmを測る。埋土は黒褐色系の6層に細分される。底面はVI層に達し、明瞭な平坦



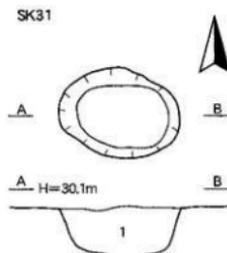
- SK27
1. 10YR2/1(黒色) 締まり・粘性有、炭化物・小礫微量
  2. 10YR3/1(黒褐色) 締まり・粘性有、土器多量、小礫微量
  3. 10YR2/3(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、小礫微量



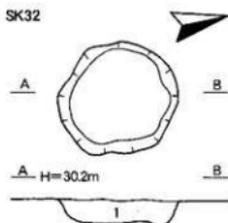
- SK28
1. 10YR2/3(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有
  2. 10YR3/2(黒褐色) 締まり・粘性有、やや砂質、コブシ大の礫微量



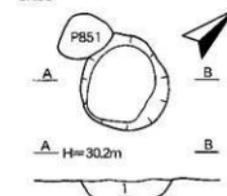
- SK29
1. 10YR2/2(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、炭化物微量
  2. 10YR2/3(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有
  3. 10YR3/2(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、コブシ大の礫微量
  4. 10YR3/3(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有
  5. 10YR2/2(黒褐色) 締まり・粘性有
  6. 10YR3/2(黒褐色) 締まり極めて有、粘性やや有、やや砂質、コブシ大の礫微量



- SK31
1. 10YR2/2(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、コブシ大の礫微量、黄褐色土混入(上位に多い)



- SK32
1. 10YR2/2(黒褐色) 締まり極めて有、粘性有、小礫微量(中央部に多い)



- SK33
1. 10YR2/2(黒褐色) 締まりやや有、粘性有、小礫微量



第13図 SK27~29・31~33土坑

面はなさない。遺物は土器片がやや多くとフレークがわずかに出土し、羽状文のものが比較的多い。

**SK51土坑 (第14・25図, 写真図版23・32)**

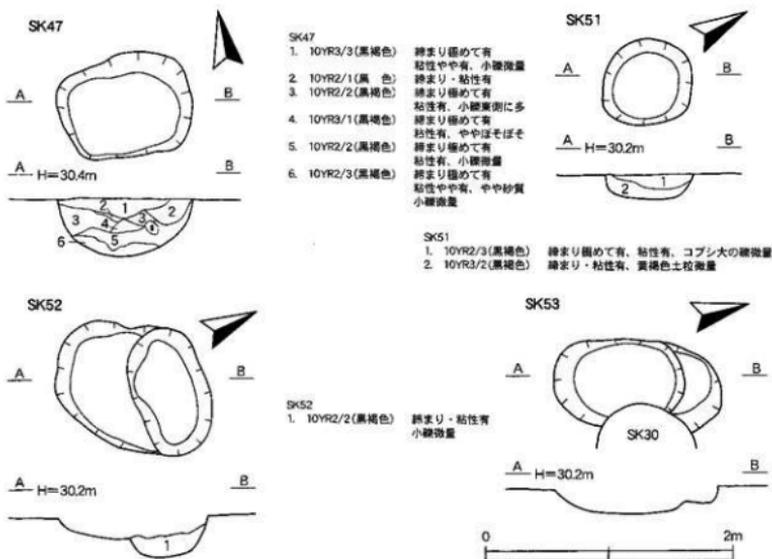
調査区中央部A6区のMG54グリッドに位置し、検出面はIV層面である。平面形は略円形を呈し、開口部径約70cm、底部径約55cmを測る。断面形は鍋形を呈し、深さ約20cmを測る。埋土は黒褐色系の2層からなり、上位にはコブシ大の礫が若干混じり、底面はVI層に達し、明瞭な平坦面をもたない。遺物は地文のみの土器片とフレークがわずかに出土した。

**SK52土坑 (第14・25図, 写真図版23・32)**

調査区中央部A6区のMG54グリッドに位置し、検出面はIV層面である。平面形は不整な楕円形を呈し、長軸方向はおよそ南北にある。規模は開口部で130×100cm、北側にさらに一段10×60cmの楕円形の掘り込みがあるが、土坑の重複かもしれない。壁は北側の下段はやや鋭角的、南側の上段は緩やかに外傾して立ち上がる。深さは上段部は約15cm、下段では約35cmを測る。埋土は黒褐色系土である。底面はVI層に達し、上下段とも緩やかに中央部に窪む。遺物は土器片が少量とフレークがわずかに出土した。

**SK53土坑 (第14・25・29図, 写真図版24・32・34)**

調査区中央部A6区のMG54グリッドに位置し、検出面はIV層面である。本遺構はSK30に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸方向はおよそ南北にある。規模は開口部で135×70cm前後、北側にテラス状の段をもつが、これも土坑の重複の可能性がある。底部では80×60cm前後を測る。壁は底面から明瞭な稜をもたずに緩やかに外傾して立ち上がり、深さ約20cmを測り、テラス部分とは10cmの差がある。遺物は地文のみの土器片が少量と石炭1点、フレークがわずかに出土した。



第14図 SK47・51～53土坑

### (3) 土器埋設遺構

#### S R02埋設土器 (第15・26図, 写真図版9・33)

調査区中央部A6区のMF55グリッドに位置し、Ⅲ層中で検出した。本遺構はⅢ層遺物包含層を一段掘り下げたところで確認したもので、S I04竪穴住居跡の埋土を掘り込んで埋設されていた。この土器は整地の際の圧迫によるためか、口縁部から肩部部分が内側につぶれた状態であった。掘り方の平面形は55×45cmの略円形を呈し、確認面からの深さは約30cmを測る。底面はS I04竪穴住居跡床面には達せず、掘り込みは中央最深部からは緩やかに、壁はやや明瞭な稜をもって立ち上がる。上器は掘り方中央に正位に埋設され、底部は底面に接する。埋土は2層からなり、1層は土器内の埋土、2層は裏込め土である。いずれも近世の整地造成によるためか堅くしまっている。1層中には微量の骨片が含まれていた。

埋設土器はほぼ完形で器高約45cmの粗製の深鉢形土器であるが、口縁部に僅かながら裝飾が加えられている。器形は内湾する肩部から口縁部が長く外傾して立ち上がり、口縁部には数条の平行沈線が巡らされ、口唇部には指頭状圧痕による小波状口縁となっている。

#### S R03埋設土器 (第15・26・30図, 写真図版9・33・34)

調査区中央部A6区のMF55グリッドに位置し、Ⅲ層中で検出した。本遺構はⅢ層遺物包含層を一段掘り下げたところでS R02と近接して確認したもので、S I04竪穴住居跡の埋土を掘り込んで埋設されていた。やはり整地の際の圧迫によるためか、口縁部から肩部部分が内側につぶれた状態であった。掘り方の平面形は65×50cmの不整な略円形を呈し、確認面からの深さは約40cmを測る。底面はS I04竪穴住居跡床面には達せず、掘り込みは土器の形にそって一回り大きく、北側の上位はやや広めに掘り込まれている。土器は掘り方南寄りに正位に埋設され、底部は底面より若干浮いている。埋土は2層からなり、1層は土器内の埋土、2層は裏込め土である。いずれも近世の整地造成によるためか堅くしまっているが、2層はややぼそぼそしている観がある。1層中には微量の骨片が含まれていた。

埋設土器はほぼ完形で器高約45cmの粗製の深鉢形土器であるが、口縁部に僅かながら裝飾が加えられている。器形は内湾する肩部から口縁部が長く外傾して立ち上がり、口縁部には数条の平行沈線が巡らされ、口唇部には指頭状圧痕による小波状口縁となっている。

#### S R06埋設土器 (第15・27図, 写真図版9・33)

調査区中央部A6区のME54グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出した。確認時にはほとんど原型を止めておらず、破砕状態で馬蹄形を呈していたが、近世の整地の際の圧迫によるためか、土器上半部は内側に落ち込み、埋土中位から出土した。状況から本遺構もS R02・03同様にⅢ層中に掘り込み面があったものと思われる。掘り方の平面形は径約45cmの略円形を呈し、確認面からの深さは約30cmを測る。掘り込みはⅤ層には達せず、土器の形にそって一回り大きく、土器は西壁寄りに正位で埋設されていた。埋土は締めまりのある黒褐色土の単層で骨片が微量含まれていた。埋設土器はほぼ完形で器高約38cmの粗製の深鉢形土器である。

#### S R07埋設土器 (第15・27・29図, 写真図版9・33・34)

調査区中央部A6区のMD54グリッドに位置し、表土直下のⅣ層面で検出したが、近世の削平整地によって上位が消失していた。遺存する状況から本遺構もⅢ層中に掘り込み面があったものと思われる。残存部での平面形と規模は、掘り方は径約30cmの略円形を呈し、検出面からの深さは約20cmを測る。掘り込みはⅤ層には達せず、土器の形にそって一回り大きく、土器は北西壁寄りに正位で埋設されていた。埋土は2層からなり、1層は土器内の埋土、2層は裏込め土である。いずれも近世の整地によるためか堅くしまっている。1層中には炭化物・焼土粒・骨片が微量含まれていた。

埋設土器は上半部が消失しているが、遺存部分は地文のみの深鉢形土器である。

#### S R08埋設土器 (第15・27図, 写真図版10・33)

調査区中央部A5区のME56グリッドに位置し、表土直下のⅢ層に相当する面で検出した。確認時には近世の削平整地によるためか、およそ旧状を止めていると思われたのは口縁部のみで、逆位で埋設された深鉢形土器の大半が消失しているように見られた。七器の出土層位と状況からは埋設七器と断定しがたいものであったが、土器内にベンガラが広がりが見られたことから埋設土器遺構と判断した。本遺構の下位からは石組炉が検出されており、規模は不明ながら竪穴住居跡と推測され、状況から本遺構が新しい。また周辺には同形・同文で、類する状況で検出されたS R09・11・14・15の5基も分布している。平面形と規模は、確認面および断面の観察からも明確な掘り方は確認できなかったが、掘削された上層には掘り込みが存在していたものと思われる。検出されたベンガラは18×12cm程の広がり、掘り方の南西側の底面に位置すると思われる。ベンガラ周辺の埋土中からはやや大きな骨片が微量出土している。

精査段階では深鉢形土器と思われた埋設土器は、口径約45cmの大型の浅鉢形土器で、底部は近世の削平整地により消失していた。内湾する肩部から口縁部には所謂変形工字文、体部には地文が施される。

#### S R09埋設土器 (第15・27図, 写真図版10・33)

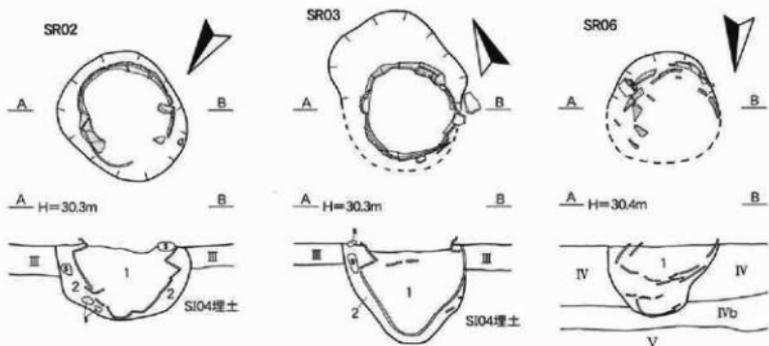
調査区中央部A5区のME56グリッドに位置し、表土直下のⅢ層に相当する面でS R08と隣接して検出した。確認時にはやはり近世の削平整地によってか、およそ旧状を止めていると思われたのは口縁部のみで、逆位で埋設された深鉢形土器の大半が消失しているように見られた。土器の出土層位と状況からは埋設土器と断定しがたいものであったが、隣接するS R08等周辺の5基と状態が類似することから埋設土器遺構と判断した。本遺構も位置関係からS I02竪穴住居跡と重複するものと思われ、こちらが新しい。平面形と規模は、確認面および断面の観察からも明確な掘り方は確認できなかったが、掘削された上層には掘り込みが存在していたものと思われる。

埋設土器は、口径約45cmの大型の浅鉢形土器である。検出当初はS R08と平行して精査していたこともあって深鉢形土器と考えていたもので、S R08同様に底部は近世の削平整地により消失しており、内湾する肩部から口縁部には所謂変形工字文、体部には地文が施される。

#### S R11埋設土器 (第15・28図, 写真図版10・33)

調査区中央部A5区のME56グリッドに位置し、表土直下のⅢ層に相当する面で検出した。北東1mの地点にはS R09がある。確認時にはこれも近世の削平整地によってか、およそ旧状を止めていると思われたのは口縁部のみで、逆位で埋設された深鉢形土器の大半が消失しているように見られた。土器の出土層位と状況からは埋設土器と断定しがたいものであったが、S R08同様に土器内にベンガラが広がりが見られたことから埋設土器遺構と判断した。本遺構も位置関係からS I02竪穴住居跡と重複するものと思われ、こちらが新しい。掘り方残存部の平面形は、径60cm前後の不整な略円形を呈し、確認面からの深さは約10cmを測る。掘り込みは中央部が窪み浅い皿形で壁との明瞭な稜をもたない。土器は掘り方の中央に逆位で埋設され、掘り方底面よりもやや浮いている。埋土は黒褐色系の3層とベンガラ1層の4層に細分され、1層以外にはベンガラが混じる。プランの西端に位置する検出面のベンガラは25×12cm程の広がり、埋土中のベンガラは南西にあり、5cm程のひろがりである。また埋土中からは骨片が微量出土している。

埋設土器は、口径約35cmのやや大型の浅鉢形土器である。検出当初はS R08・09と平行して精査していたこともあって深鉢形土器と考えていたものである。底部はやはり近世の削平整地により消失しており、内湾する肩部から口縁部には所謂変形工字文、体部には地文が施される。



SR02

1. 10YR2/2 (黒褐色) 締まり極めて有  
粘性有、骨片微量
2. 10YR2/1 (黒色) 締まり極めて有  
粘性有、中やばもほそ

SR03

SR03

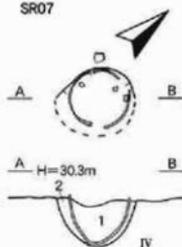
1. 10YR2/2 (黒褐色) 締まり極めて有  
粘性有
2. 10YR2/1 (黒色) 締まり極めて有  
粘性有、中やばもほそ

SR06

SR06

1. 7.5YR2/2 (黒褐色) 締まり有・粘性有  
骨片微量

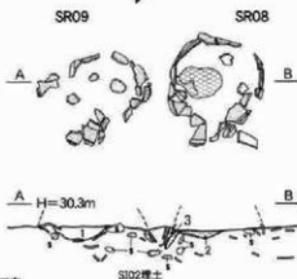
SR07



SR07

1. 7.5YR3/1 (黒褐色) 締まり極めて有  
粘性有、砂質  
灰化物・焼土粒微量
2. 10YR2/1 (黒色) 締まり・粘性極めて有  
砂質、コブシ穴の最少量

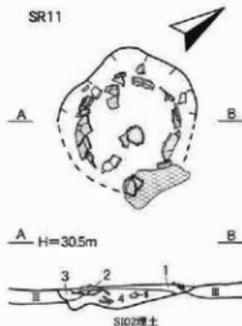
SR09



SR08・09

1. 10YR2/3 (黒褐色) 締まり・粘性有  
黄褐色土少量
2. 7.5YR2/3 (黒褐色) 締まり有、粘性無  
ベンガラ少量  
骨片微量
3. 2.5YR3/5 (暗赤褐色) ベンガラ

SR11



SR11

1. 10YR2/2 (黒褐色) 締まり極めて有  
粘性有、小礫微量  
ベンガラ・骨片微量
2. 2.5YR3/5 (暗赤褐色) ベンガラ
3. 10YR2/2 (黒褐色) 締まり・粘性有  
ベンガラ少量
4. 10YR2/3 (黒褐色) 締まり・粘性有  
ベンガラ微量



第15図 SR02・03・06～09・11埋設土器

### SR 12埋設土器 (第16・28図, 写真図版10・33)

調査区中央部A 6区のME53グリッドに位置し、表土直下のIV層面で検出したが、近世の削平整地によって上位が消失していた。遺存する状況から本遺構もⅢ層中に掘り込み面があったと思われる。残存部での平面形と規模は、掘り方は径40×30cmの楕円形を呈し、検出面からの深さは約13cmを測る。掘り込みはV層には達せず、土器の形にそって若干大きく、土器は中央に正位で埋設されていた。埋土は2層からなり、1層は土器内の埋土、2層は裏込め土である。いずれも近世の整地によるためか堅くしまっている。1層中には骨片が微量含まれていた。埋設土器は上半部が消失しているが、遺存部分は地文のみの深鉢形土器である。

### SR 14埋設土器 (第16・28・29図, 写真図版10・33)

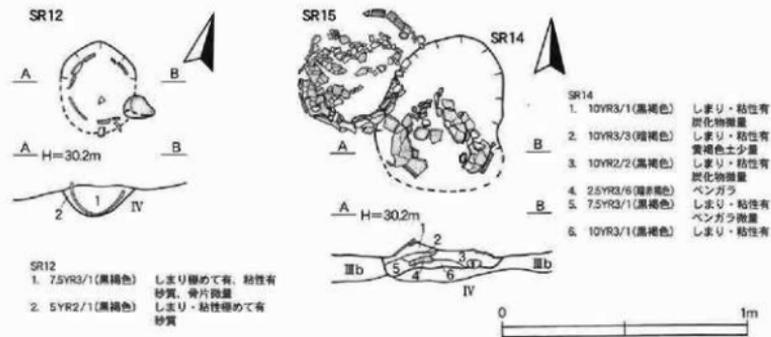
調査区中央部A 5区のME57グリッドに位置し、表土直下のⅢ層に相当する面でSR 15と重複して検出された。掘り方にSR 15がかぶることから本遺構が古い。確認時にはやはり近世の削平整地によるためか、旧状を止めていなかったが、比較的土器の遺存度合いは良好に見られた。本遺構も土器内にベンガラの広がりが見られたことから埋設土器遺構と判断した。掘り方残存部の平面形は、60×50cm前後の楕円形を呈し、確認面からの深さは約7cmを測り、掘り込みは浅い皿形を呈する。土器は掘り方の南寄りに逆位で埋設され、掘り方底面よりもやや浮いている。埋土は黒褐色系の5層とベンガラ1層の6層で、上位には炭化物が微量混じる。プランの南西にあるベンガラは10cm程の広がりがあり、埋土中から骨片が微量出土している。

埋設土器は、口径約40cmの大型の浅鉢形土器である。底部はやはり近世の削平整地により消失しており、内湾する肩部から口縁部には所謂変形工字文、体部には地文が施される。

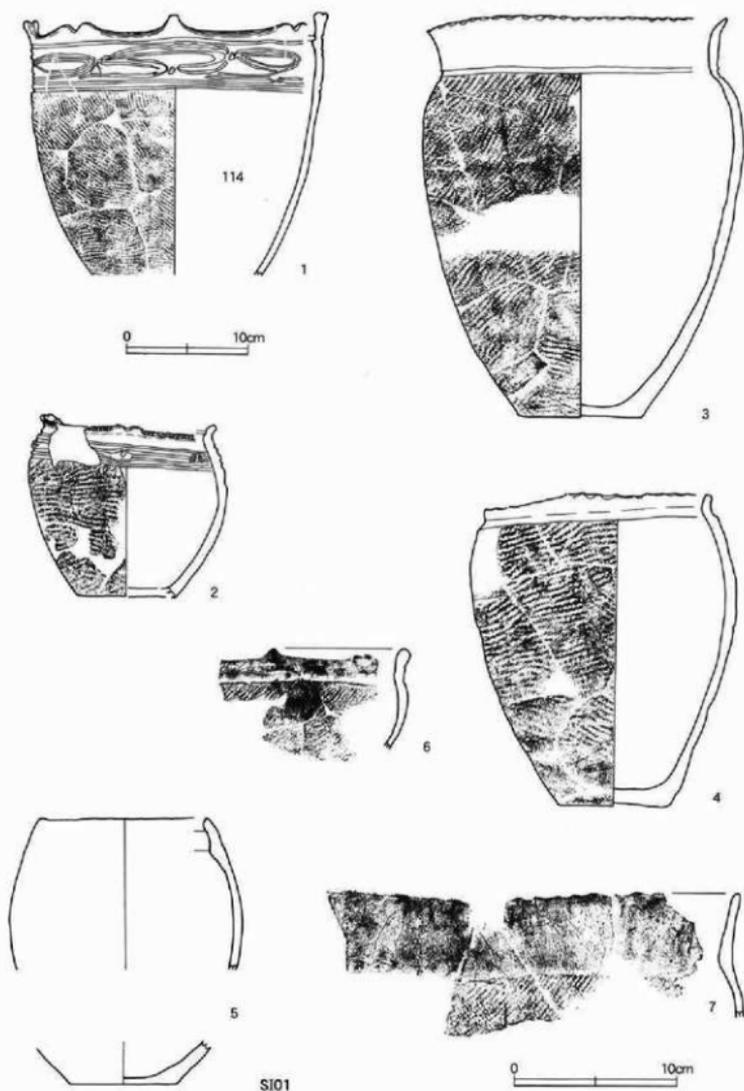
### SR 15埋設土器 (第16・28・29図, 写真図版10・33・34)

調査区中央部A 5区のME57グリッドに位置し、表土直下のⅢ層に相当する面でSR 14と重複して検出した。本遺構が新しい。確認時にはやはり近世の削平整地によるためか、旧状を止めず、つぶれた状態で細かく破砕していたが、底部を欠くのみで比較的土器の遺存度合いは良好であった。本遺構ではベンガラは確認できなかったものの、周辺の5基と状態が類似することから埋設土器遺構と判断した。平面形と規模は、確認面および断面の観察からも明確な掘り方は確認できなかったが、掘削された上層には掘り込みが存在していたものと思われる。埋土中からは骨片が微量出土している。

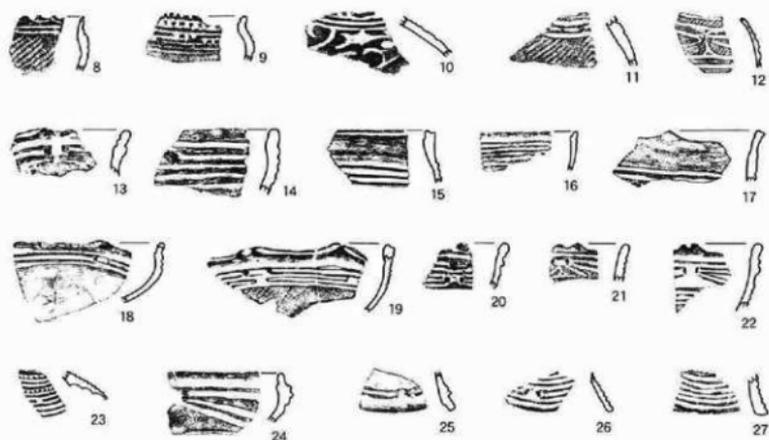
埋設土器は、口径約40cmの大型の浅鉢形土器である。底部を欠くのみであったが、細かく破砕していたため復元状態は良好ではない。内湾する肩部から口縁部には所謂変形工字文、体部には地文が施される。



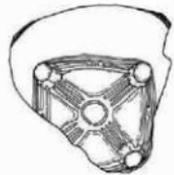
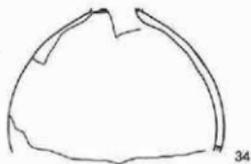
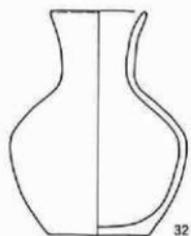
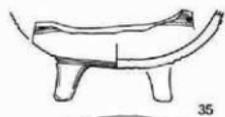
第16図 SR 12・14・15埋設土器



第17回 遺構内出土遺物（土器1）



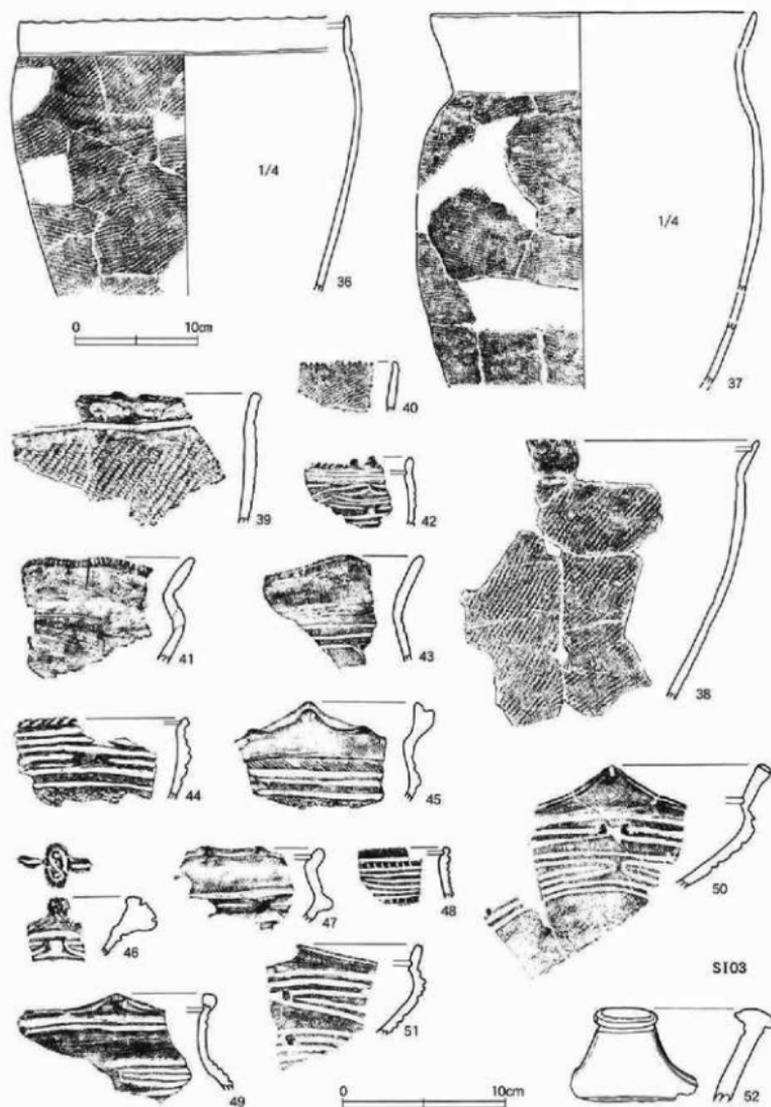
SI01



SI03



第18図 遺構内出土遺物（土器2）



第19図 遺構内出土遺物(土器3)

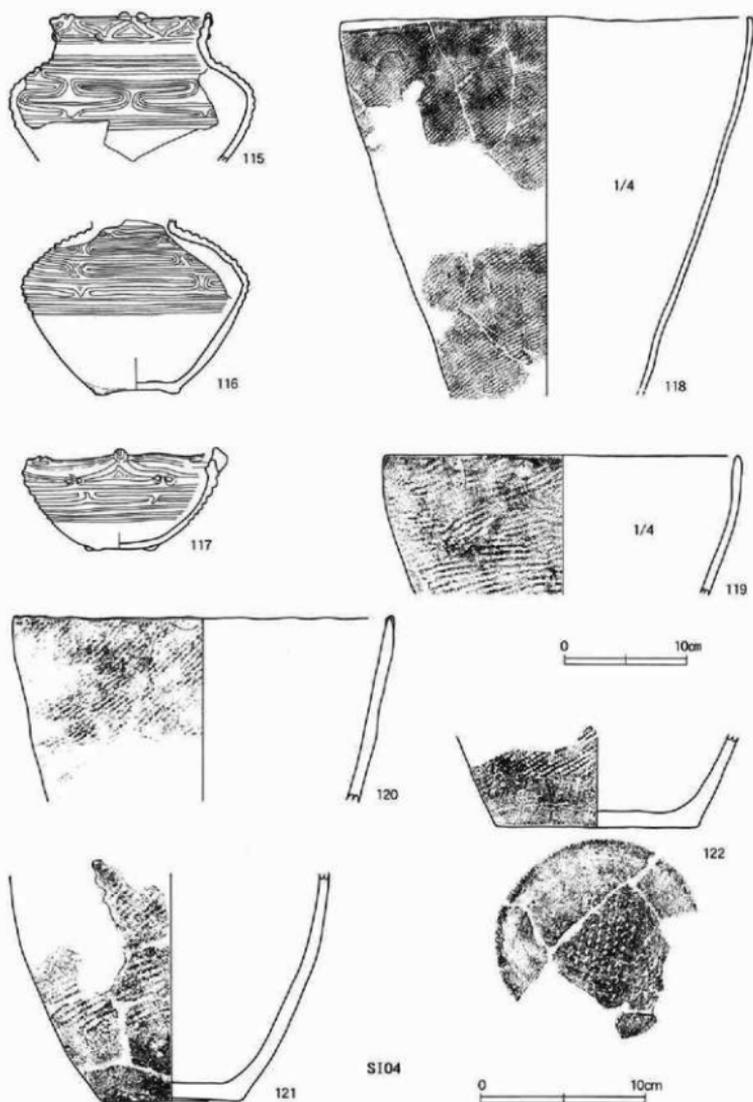


S104

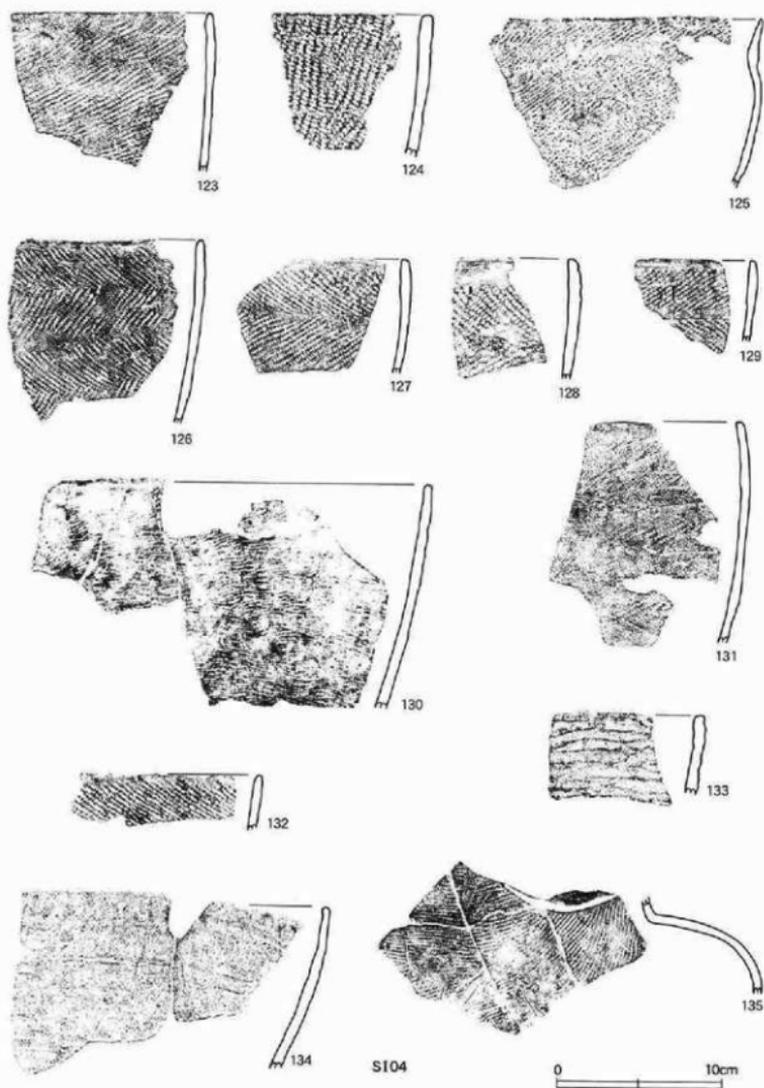
第20回 遺構内出土遺物 (土器 4)



第21圖 遺構内出土遺物(土器5)



第22図 遺構内出土遺物（土器6）

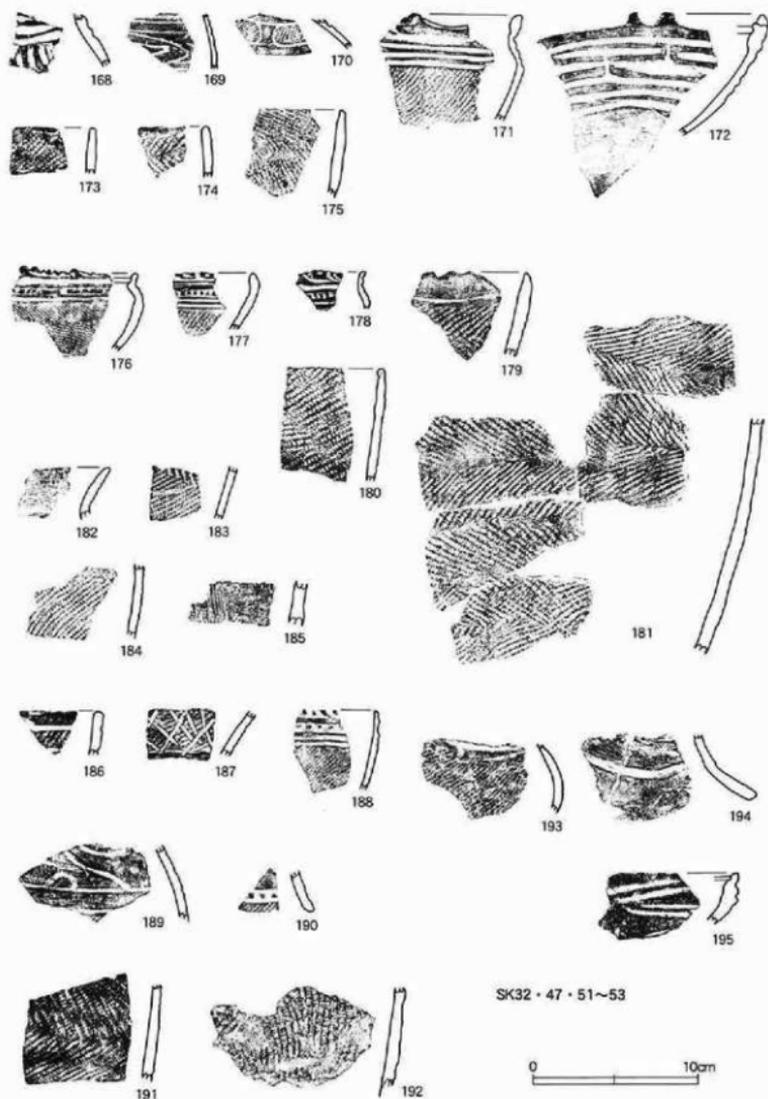


第23図 遺構内出土遺物（土器7）

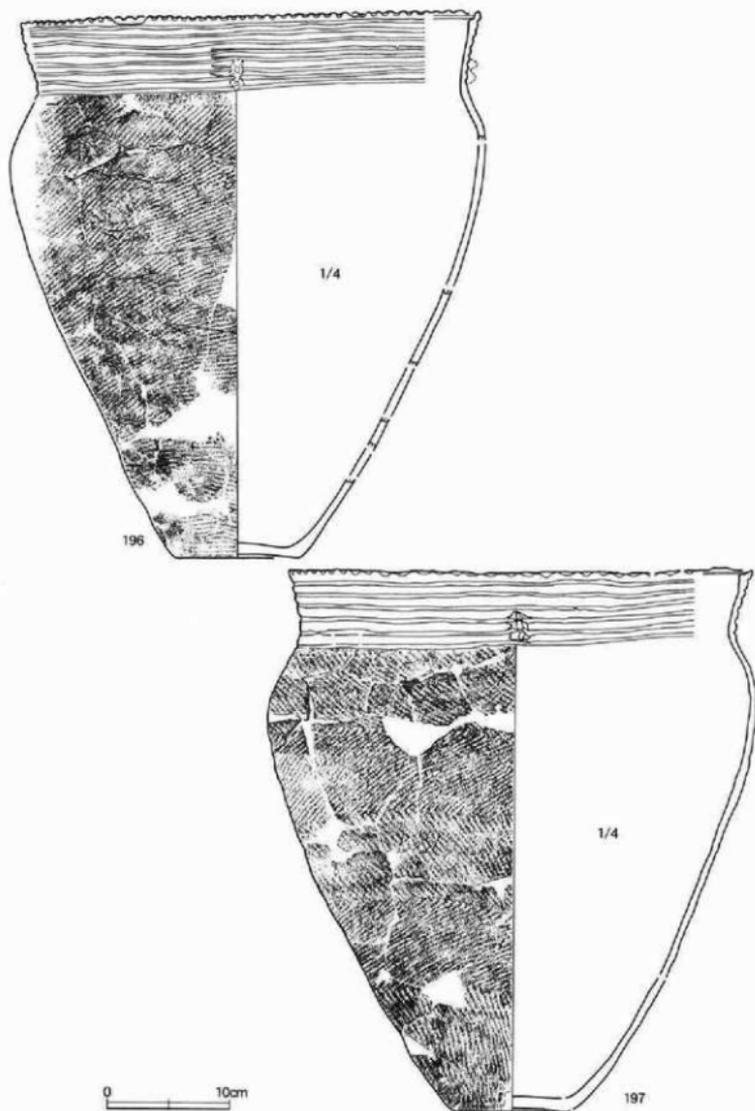


SK27~29・31

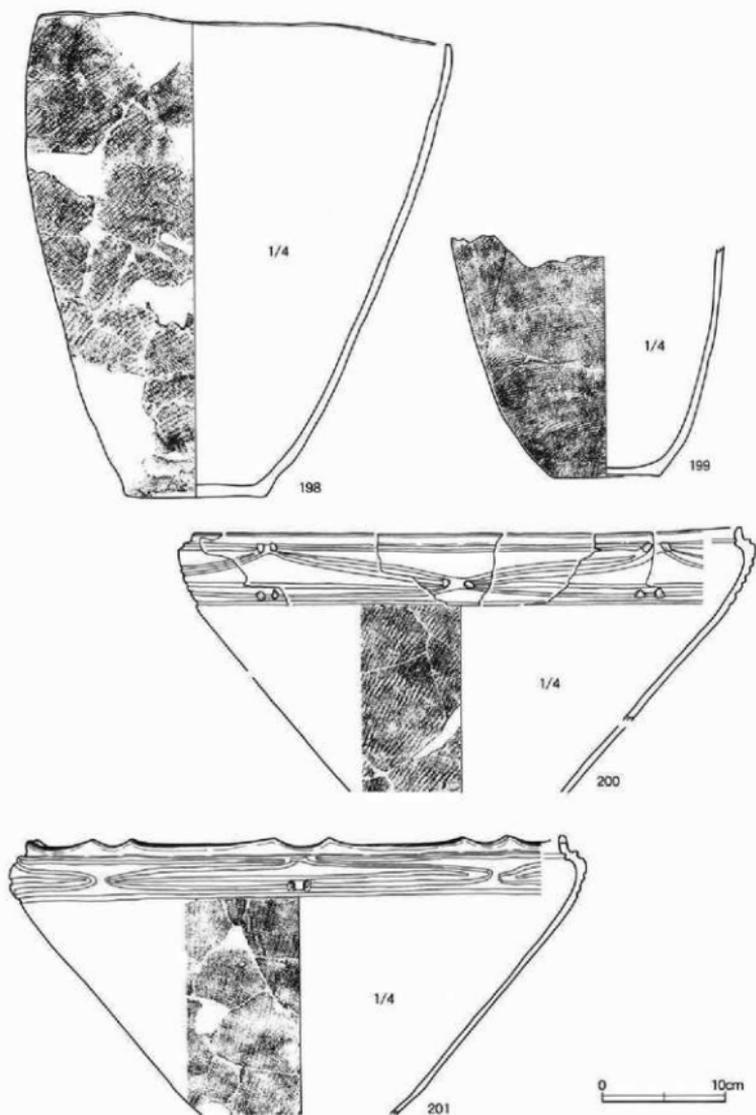
第24図 遺構内出土遺物（土器8）



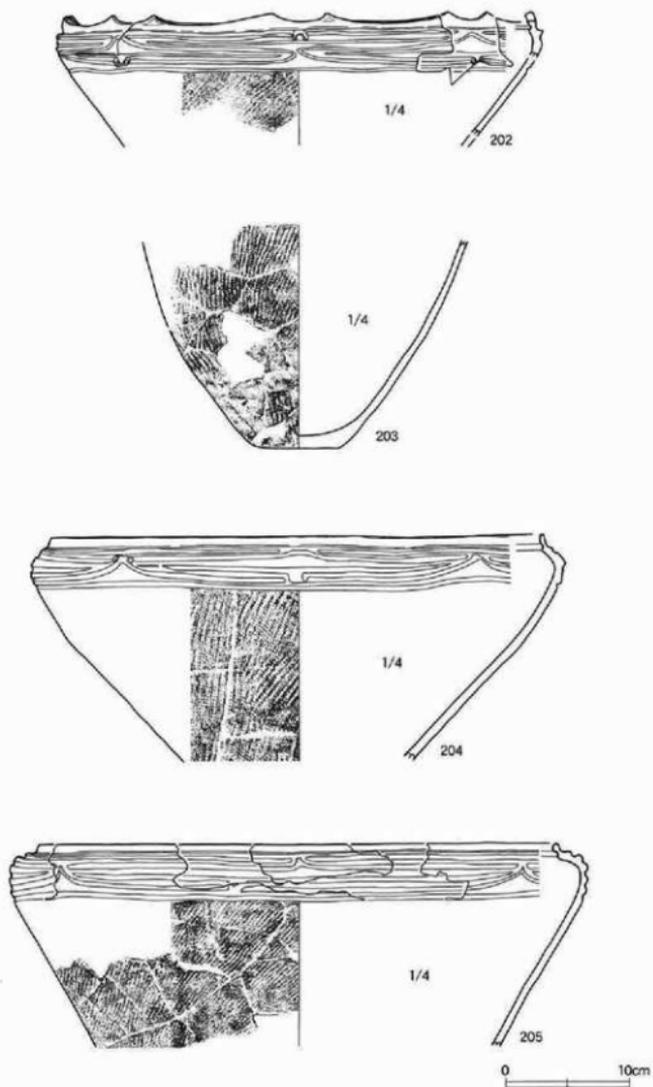
第25図 遺構内出土遺物（土器9）



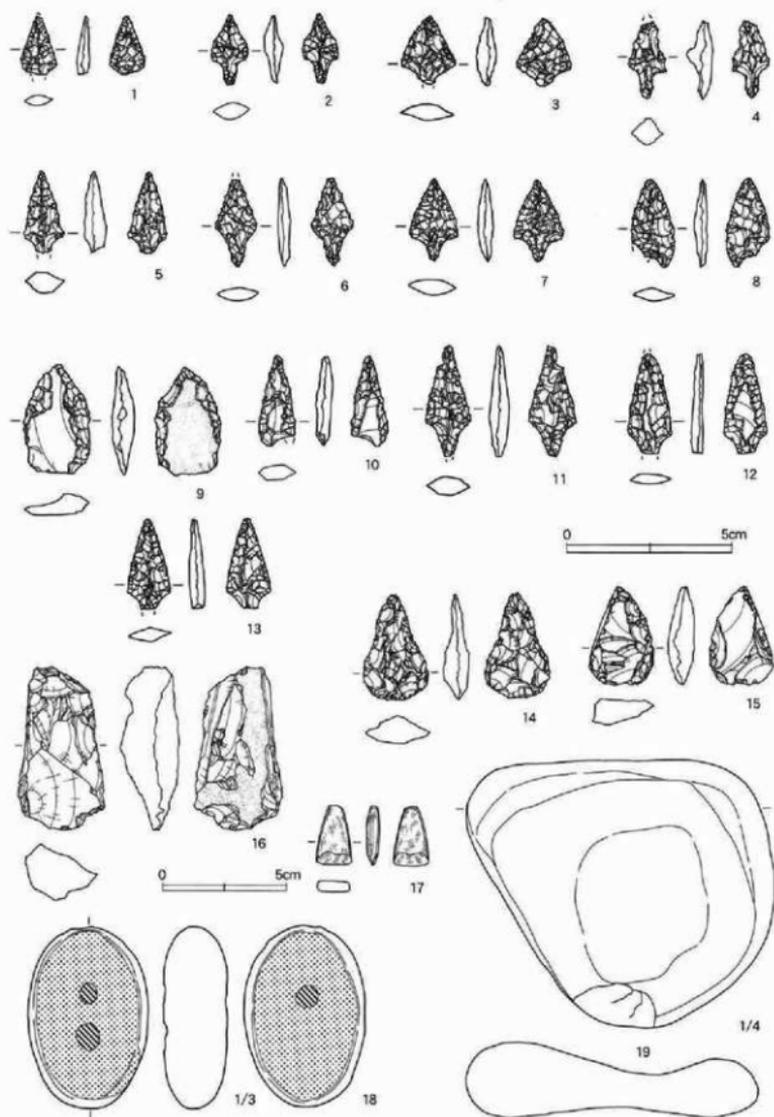
第26図 遺構内出土遺物 (土器10)



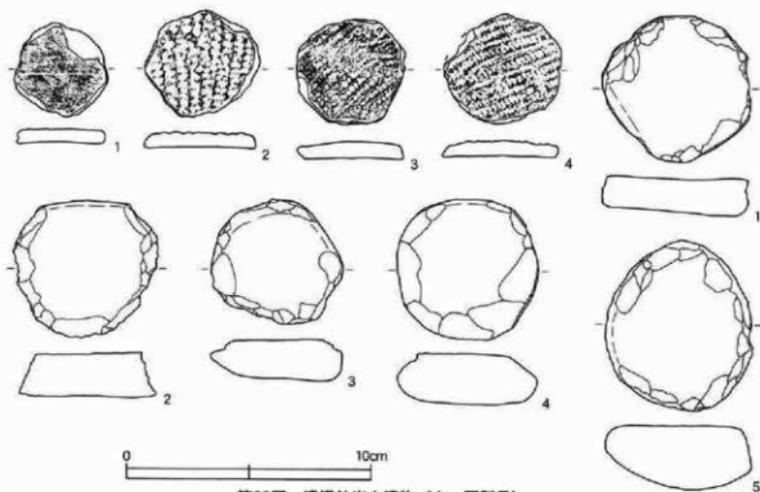
第27図 遺構内出土遺物（土器11）



第28図 遺構内出土遺物（土器12）



第29圖 遺構内出土遺物(石器)



第30圖 遺構外出土遺物（土、石製品）

第2表 遺構内出土土器観察表

図番	位置・層位	器種	部位	分類	文様の特徴
1	S 101 埋土	鉢	底縁欠	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、A・B突起4単位、工字文(沈線)、LR
2	S 101 埋土	鉢(小型)	完形	Ⅲ-5	口唇刻み、口縁内沈線、B突起4単位 工字文(沈線・突起)、LR
3	S 101 埋土	深鉢	完形	Ⅲ-5	口唇刻み、頸部沈線、口縁無文、LR
4	S 101 埋土	深鉢	完形	Ⅲ-5	口唇指頭圧痕、口縁無文、LR
5	S 101 埋土	深鉢?	口縁・底部	Ⅵ	無文、内面赤色塗付
6	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、A・B突起、口縁無文、LR
7	S 101 埋土	深鉢	口縁部	Ⅵ	口唇指頭圧痕、口縁無文、LR
8	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	口唇刻み、口縁弧状・平行沈線、LR、内面スス
9	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	口唇刻み、口縁連続文・羊歯状文・平行沈線・LR?
10	S 101 埋土	壺	肩部	Ⅲ-3	沈線の半浮彫的文様、外面書き・赤色塗彩
11	S 101 埋土	壺?	胴部	Ⅲ-3	平行沈線、刺突状短沈線、LR
12	S 101 埋土	壺	肩部	Ⅲ-4	沈線区画の磨消焼文(工字文系)、LR
13	S 101 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、B突起、工字文
14	S 101 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅲ-5	平行沈線、貼瘤(工字文?)
15	S 101 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、平行沈線、磨き
16	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線、外面赤色塗付、内面スス
17	S 101 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅲ-5	平行沈線、A突起
18	S 101 埋土	碗形	口~胴部	Ⅲ-5	口縁内沈線・平行沈線・刺突状短沈線(一部工字文状) A・B突起、内外磨き
19	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、A・B突起、工字文(沈線・貼瘤)、RL?
20	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、突起、工字文(沈線・貼瘤)
21	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	突起、変形工字文(沈線)、貼瘤
22	S 101 埋土	鉢	口縁部	Ⅳ	口唇・口縁内沈線、B突起、変形工字文、貼瘤、赤色塗彩
23	S 101 埋土	壺	肩部	Ⅲ-5	平行沈線、刺突状刻み
24	S 101 埋土	浅鉢	口縁部	Ⅳ	変形工字文(沈線)、貼瘤、磨き
25	S 101 埋土	台付鉢	台部	Ⅲ-5	半浮彫的な工字文、磨き
26	S 101 埋土	台付鉢	台部	Ⅲ-5	平行沈線、一部工字文(貼瘤)
27	S 101 埋土	台付鉢	台部	Ⅲ-5	平行沈線
28	S 103 埋土	浅鉢	底縁欠	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線、工字文(貼瘤)、LR
29	S 103 埋土	鉢	口縁欠	Ⅲ-5	工字文(沈線)3単位、丸底風、LR
30	S 103 埋土	鉢	口縁欠	Ⅲ-5	平行沈線、連続状沈線、外面磨き
31	S 103 埋土	鉢	半完形	Ⅵ	LR
32	S 103 床面	壺	完形	Ⅵ	無文、雑な磨き
33	S 103 床面	壺	完形	Ⅵ	無文、底部木象嵌?
34	S 103 埋土	壺	胴部	Ⅵ	無文、外面磨き、赤色塗彩?
35	S 103 埋土	脚付浅鉢	底部	Ⅲ-5	平行沈線、内底丸文沈線、工字文(沈線・貼瘤) 方形底部+四脚、磨き
36	S 103 埋土	深鉢	口~胴部	Ⅲ-5	口縁内沈線、口唇指頭圧痕小波状、口縁無文、磨き、LR
37	S 103 埋土	深鉢	口~胴部	Ⅵ	口縁無文、LR+R.L.?
38	S 103 埋土	鉢・深鉢	口~胴部	Ⅵ	口縁無文、LR
39	S 103 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅲ-5	突起、口縁無文、頸部沈線、LR
40	S 103 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅵ	口唇刻み、沈線、R、外面スス付着
41	S 103 埋土	壺	口縁部	Ⅵ	波状口縁、口唇刻み、無文、内外スス付着
42	S 103 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口縁内沈線、口唇刻み、B突起、特殊工字文(沈線)?
43	S 103 埋土	深鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇沈線、平行沈線(工字文?)、波状口縁、磨き
44	S 103 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口縁内沈線、口唇刻み、半浮彫的な平行文(磨消)、RL?
45	S 103 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、沈線区画の刻み列、体部地文、磨き
46	S 103 埋土	鉢	口縁部	Ⅳ	口唇・口縁内沈線、沈線文A突起、変形工字文、赤色塗彩
47	S 103 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅳ	口唇・口縁内沈線、山形小突起、半浮彫的な平行文
48	S 103 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅳ	口縁内沈線、平行沈線(変形工字文?)、刻み(磨消上)
49	S 103 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅳ	口唇・口縁内沈線、大・小突起、変形工字文、内外面磨き 赤色塗彩?
50	S 103 埋土	浅鉢	口縁部片	Ⅳ	口唇・口縁内沈線、波状口縁、変形工字文(貼瘤)、LR

図番	位置・層位	形種	部位	分類	文様の特徴
51	S 103 埋土	浅鉢	口縁部片	IV	口唇・口縁内沈線、波状口縁、変形工文字(貼瘤)、LR
52	S 103 埋土	浅鉢	口縁波頂部	IV	口唇・口縁内沈線、波頂部突起沈線、磨き、赤色塗彩
53	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-1	隆帯・沈線文、RL?
54	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-1	沈線、大波状口縁、口縁上端刻み列、無文
55	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-1	低い隆帯上刻み列、無文
56	S 104 埋土	深鉢	胴部片	II-1	縄文地文上平行沈線、刻み列、LR
57	S 104 埋土	深鉢	胴部片	II-1	沈線文
58	S 104 埋土	深鉢	胴部片	II-1	沈線区画の磨消縄文、LR
59	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-2b	沈線文(微降忌線)、貼瘤、口縁上端RL
60	S 104 埋土	深鉢	胴部片	II-2b	沈線区画の磨消縄文、貼瘤、RL?
61	S 104 埋土	深鉢	胴部片	II-2b	沈線区画の磨消縄文、貼瘤、RL
62	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-2b	沈線文、刺突列上貼瘤、口縁上端R、磨き
63	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	頂部に刻みの台状突起、沈線区画の刻み列(短沈線列)
64	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	頂部に刻みの台状突起、沈線区画の刻み列(短沈線列)
65	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	頂部に刻みの台状突起、沈線区画の刻み列(短沈線列)
66	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	口唇刻み、沈線区画の刻み列(刺突列)
67	S 104 埋土	深鉢	胴部片	II-3b	沈線区画の刻み列(刺突列)と磨消縄文、LR
68	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	波状口縁、口縁上端隆帯、無文
69	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	頂部に刻みの台状突起、沈線文、羽状縄文
70	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	頂部に刻みの台状突起、沈線区画の磨消縄文、LR
71	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II	条線文?
72	S 104 埋土	深鉢	胴部片	II	瘤状の条線文
73	S 104 埋土	深鉢	口縁部	II-3b	沈線区画の磨消縄文(入籠帯状文?)・一部充填縄文 山形突起、LR
74	S 104 埋土	注口	注口部	II	無文、磨き
75	S 104 埋土	鉢	口～胴部	III-1	平行沈線、十字状沈線、波頂部刻みの台状突起、磨き
76	S 104 埋土	鉢	口縁部	III-1	平行沈線、短沈線、口唇刻み小波状口縁、三文文、LR
77	S 104 埋土	注口	注口部	III-1	二文系系沈線、小波状口縁
78	S 104 埋土	鉢	口縁部	III-2	口唇刻み小波状口縁、半浮彫的羊歯状文、LR
79	S 104 埋土	鉢	口縁部	III-2	口唇刻み小波状口縁、半浮彫的羊歯状文、RL
80	S 104 埋土	鉢	口縁部	III-2	平行沈線、口唇刻み小波状口縁、連珠文、RL
81	S 104 埋土	鉢	口縁部	III-2	平行沈線、浮彫的な突起列、連珠文、LR
82	S 104 埋土	鉢・深鉢	口縁部	III-2	浮彫的な突起列、連珠文、直線的な羊歯状文、LR
83	S 104 埋土	鉢	口縁部	III-2	平行沈線、口唇刻み、B突起、直線的な羊歯状文、LR
84	S 104 埋土	鉢	口縁部	III-2	浮彫的な突起列、連珠文、RL?
85	S 104 埋土	鉢?	口縁部	III-2	刺突状短沈線、浮彫的な突起、口唇刻み、沈線文、磨き
86	S 104 埋土	蓋?	口縁部	III-2	沈線、縄文充填、RL、磨き
87	S 104 埋土	皿	兜形	III-2	平行沈線、連珠文、直線的な羊歯状文、磨き
88	S 104 埋土	注口	注口部	III-2	浮彫的文様、連珠文、外面磨き
89	S 104 埋土	注口	注口部	III-2	浮彫的文様、浮彫的な突起、連珠文
90	S 104 埋土	香炉	天上部	III-2	刺突列、連珠文(羊歯状文?)、外面磨き
91	S 104 埋土	香炉	胴部	III-2	半浮彫的文様、連珠文、RL
92	S 104 埋土	鉢	口縁	III-3	刻み列、沈線区画の半浮彫的磨消縄文、LR
93	S 104 埋土	鉢	口縁	III-3	刻み列、B突起、沈線区画の半浮彫的磨消縄文、LR
94	S 104 埋土	鉢・深鉢	口縁	III-3	平行沈線、刻み状の小山形口縁、LR
95	S 104 埋土	鉢	口縁	III-3	平行沈線、沈線区画の刻み列、刻み状の小山形口縁、RL
96	S 104 埋土	鉢・深鉢	口縁	III-3	平行沈線、小山形口縁、左下がり、横短短沈線
97	S 104 埋土	鉢	口縁	III-3	平行沈線、小山形口縁、RL
98	S 104 埋土	鉢	口縁	III-3	平行沈線、小山形口縁、沈線区画の刻み列、LR
99	S 104 埋土	鉢	口縁	III-3	平行沈線、小山形口縁、刺突状短沈線列、LR
100	S 104 埋土	台付鉢	胴部	III-3	刺突状の連珠文、L
101	S 104 埋土	台付鉢	台部片	III-3	沈線文、透かし、列点文、磨き
102	S 104 検出面	台付鉢	台部片	III-3	沈線文、刻み列?、磨き
103	S 104 埋土	台付鉢	台部片	III-3	沈線文、磨き

図番	位置・爵位	器種	部位	分類	文様の特徴
104	S I04 埴土	台付鉢	底部	Ⅲ-3	沈線文、LR
105	S I04 埴土	台付鉢	底部	Ⅲ-3	沈線文、刺突状の連珠文、磨き
106	S I04 埴土	鉢	口縁	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線、山形突起、沈線文・刺突列
107	S I04 埴土	鉢	口縁	Ⅲ-4	口縁内沈線、2個1対突起、縄文施文の工字文、R.L. 赤色塗付、内磨き
108	S I04 埴土	鉢	口縁	Ⅲ-4	口縁内沈線、2個1対突起、口唇刻み、縄沈線の磨消縄文 陰帯ト貼瘤、LR
109	S I04 埴土	深鉢	口縁	Ⅲ-4	貼付状の小山形口縁、平行沈線文、LR
110	S I04 埴土	深鉢	口縁	Ⅲ-4	口縁上端刻み列、沈線文
111	S I04 埴土	深鉢	口縁	Ⅲ-4	口唇刻み状小突起、無文、磨き
112	S I04 埴土	壺	口縁部片	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線、B突起2個、磨き
113	S I04 埴土	壺	口縁	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線、山形突起1個、磨き
114	S I04 埴土	壺	口縁	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線、山形突起1個、磨き
115	S I04 埴土	壺	口〜胴部	Ⅲ-5	口縁内沈線、突起、陰帯三角文、半浮彫的工字文、磨き
116	S I04 埴土	壺	口縁欠	Ⅲ-5	半浮彫的工字文、方形底部瘤状脚4個、赤色塗付、磨き
117	S I04 埴土	脚付浅鉢	完形(半)	Ⅲ-5	口縁内沈線、A突起1・B突起2?、方形底部瘤状脚4個 工字文、磨き
118	S I04 埴土	深鉢	底部欠	VI	地文のみ、RL
119	S I04 埴土	深鉢	口〜胴部	VI	地文のみ、LR
120	S I04 埴土	深鉢	口〜胴部	VI	地文のみ、L
121	S I04 埴土	深鉢	胴〜底部	VI	地文のみ、LR、体部下端磨き
122	S I04 埴土	深鉢	底部	VI	地文のみ、LR、底部刺突、体部下端〜底部磨き
123	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、LR
124	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、LR
125	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、RL
126	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
127	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・R.L
128	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、羽状縄文、縷絡文、LR・RL
129	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、羽状縄文、RL
130	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、縄文施文後軽い撫で(一部)、L
131	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、縷絡文、LR
132	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	地文のみ、R
133	S I04 埴土	深鉢	口縁	VI	無文、外面磨な撫で(横)
134	S I04 埴土	鉢・深鉢	口縁	VI	無文、外面磨な撫で
135	S I04 埴土	壺	胴部片	VI	頸部沈線・磨き、体部地文のみ、LR
136	S K27 埴土	深鉢	胴部片	Ⅱ-3 b	沈線区画の刺突列、(入組帯状文?)
137	S K27 埴土	深鉢	胴部片	Ⅱ-3 b	沈線区画の刻み状の短沈線列
138	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-1	平行沈線、三叉文、磨き
139	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	浮彫的な羊歯状文
140	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	口唇刻みの小山形口縁、直線的な羊歯状文?、LR
141	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	B突起、連珠文(羊歯状文?)、LR
142	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	刻み状小突起、直線的な羊歯状文、LR
143	S K27 埴土	皿	口〜底部	Ⅲ-2	磨消縄文、磨消部に一部刻み状の連珠文、RL
144	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-3	口縁部連珠文、磨消縄文、LR
145	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-3	口唇部半浮彫的文様、沈線区画の磨消縄文、LR
146	S K27 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-3	口縁上端列点文、平行沈線、LR
147	S K27 埴土	壺	口縁部	Ⅲ-3	口唇部浮彫的文様、刻み状連珠文、刺突上列点文、RL
148	S K27 埴土	壺	口縁部	Ⅲ-3	磨消縄文、LR
149	S K27 埴土	壺	口縁部	Ⅲ-3	磨消縄文、連珠文、LR
150	S K27 埴土	注口?	胴部片	Ⅲ-3	胴部上端に浮彫的な突起列、沈線区画の磨消縄文、RL
151	S K27 埴土	深鉢	口縁部	Ⅲ-3	口唇部刻み状の小山形口縁、RL
152	S K27 埴土	深鉢	口〜胴部	VI	地文のみ、LR
153	S K27 埴土	深鉢	胴部片	VI	地文のみ、縷絡文、R
154	S K28 埴土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	羊歯状文

図番	位置・冠位	器種	部位	分類	文様の特徴
155	S K28 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-3	平行沈線、口縁上端刻み列、LR
156	S K28 埋土	鉢	底面	Ⅵ	平行沈線、LR、底面磨き
157	S K29 埋土	鉢	口縁部	Ⅵ	地文のみ、R.L.、折り返し口縁
158	S K29 埋土	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文?、LR・RL
159	S K29 埋土	壺?	胴部片	Ⅲ-2	沈線、沈線区画の刻み状連続文(縦)、磨き
160	S K29 埋土	注口	口縁部片	Ⅲ-2	沈線、刻み状連続文
161	S K31 埋土	鉢	口~胴部	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線、平行沈線、小波状口縁?、刻み列、LR
162	S K31 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇のみ、口縁内沈線、平行沈線、LR
163	S K31 埋土	鉢	胴部片	Ⅲ-4	沈線区画の磨消縄文、LR
164	S K31 埋土	鉢?	口縁部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、小波状口縁、平行沈線 短沈線と突起の低い隆帯、磨き
165	S K31 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線、磨き
166	S K31 埋土	鉢	口~胴部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、2個1対の突起、工字文(沈線)、磨き
167	S K31 埋土	鉢?	口縁波頂部	Ⅳ	波頂部突起、口縁内沈線、磨き
168	S K32 埋土	壺?	胴部片	Ⅱ-2	沈線文
169	S K32 埋土	鉢?	胴部片	Ⅲ-4	沈線区画の磨消縄文、LR
170	S K32 埋土	壺	胴部片	Ⅲ-4	沈線区画の磨消縄文、LR
171	S K32 埋土	鉢	口~胴部	Ⅲ-4	口唇沈線、小波状口縁、平行沈線、LR
172	S K32 埋土	鉢	口~胴部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、2個1対の突起、工字文(沈線)、磨き
173	S K32 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅵ	地文のみ、LR
174	S K32 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
175	S K32 埋土	鉢・深鉢	口縁部	Ⅵ	地文のみ、RL
176	S K47 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	口縁内沈線、B突起と刻み状小山形口縁、羊歯状文、R
177	S K47 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	半浮彫的文様突起、羊歯状文、LR
178	S K47 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的文様突起、羊歯状文?
179	S K47 埋土	深鉢	口縁部	Ⅵ	小山形口縁、沈線、羽状縄文、LR・RL、磨き
180	S K47 埋土	深鉢	口縁部	Ⅵ	地文のみ、RL
181	S K47 埋土	深鉢	胴部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
182	S K51 埋土	鉢	口縁部	Ⅵ	無文
183	S K51 埋土	鉢	胴部片	Ⅵ	地文、羽状縄文、LR・RL
184	S K51 埋土	深鉢	胴部片	Ⅵ	地文、LR、内面スス
185	S K51 埋土	深鉢	胴部片	Ⅵ	葡萄状条痕
186	S K52 埋土	深鉢	口縁部片	Ⅱ-3	沈線・磨消縄文、LR
187	S K52 埋土	深鉢	胴部片	Ⅱ-3	地文上に格子目沈線、LR
188	S K52 埋土	鉢	口縁部	Ⅲ-2	平行沈線、半浮彫の突起・連続文、LR
189	S K52 埋土	壺?	胴部片	Ⅲ-2	沈線区画の磨消縄文、LR?
190	S K52 埋土	台付鉢	台部	Ⅲ-2	連続文、LR、磨き
191	S K52 埋土	深鉢	胴部片	Ⅵ	地文、羽状縄文、RL
192	S K52 埋土	深鉢	胴部片	Ⅵ	地文、RL
193	S K53 埋土	壺	胴部片	Ⅵ	沈線、LR
194	S K53 埋土	台付鉢	台座	Ⅵ	沈線、磨き
195	S K53 埋土	浅鉢?	口縁部	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文
196	S R02	深鉢	完形	Ⅲ-4	貼付状の小山形口縁、平行沈線、貼瘤1個(刺座)、LR
197	S R03	深鉢	完形	Ⅲ-4	小山形口縁、平行沈線、貼瘤1個、羽状縄文、LR・RL
198	S R06	深鉢	完形	Ⅵ	地文のみ、RL
199	S R07	深鉢	胴~底部	Ⅵ	地文、L
200	S R08	浅鉢	底部欠	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線・貼瘤)、LR、赤色顔料付着
201	S R09	浅鉢	底部欠	Ⅳ	口唇・口縁内沈線、2個1対山形小波状口縁 変形工字文(沈線・貼瘤)、LR、赤色顔料付着
202	S R11	浅鉢	底部欠	Ⅳ	口唇・口縁内沈線、2個1対山形小波状口縁 変形工字文(沈線)、LR、赤色顔料付着
203	S R12	深鉢	胴~底部	Ⅵ	地文、RL
204	S R14	浅鉢	底部欠	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線・貼瘤)、LR、赤色顔料付着
205	S R15	浅鉢	底部欠	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線・貼瘤)、LR、赤色顔料付着

第3表 遺構内出土石器計測表

図番	位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1	S I01 埋土	石鏃	1 a	[1.8]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
2	S I01 埋土	石鏃	1 c	2.1	1.1	0.6	0.7	黒曜石
3	S I01 埋土	石鏃	1 a	2.1	1.6	0.5	1.6	チャート
4	S I01 埋土	石鏃	1 c	[2.4]	1.15	0.8	[1.1]	チャート
5	S I03 埋土	石鏃	1 a	[2.5]	1.2	0.65	[1.5]	チャート
6	S I04 埋土	石鏃	1 b	[2.7]	1.2	0.4	[0.9]	頁岩
7	S I04	石鏃	1 c	2.6	1.5	0.5	1.2	頁岩
8	S I04 埋土	石鏃	2 a	[2.7]	1.3	0.4	0.9	頁岩
9	S I04 埋土	石鏃	3 a	3.25	2.05	0.7	4.7	チャート
10	SK53 埋土	石鏃	2 a	[2.8]	1.1	0.5	[1.3]	頁岩
11	SR14	石鏃	1 a	3.5	1.4	0.6	1.7	珪質頁岩
12	SR14 埋土	石鏃	1 d	[3.1]	1.3	0.35	[1.4]	頁岩
13	SR15 埋土	石鏃	1 a	[2.75]	1.3	0.4	[1.3]	メノウ
14	SR07 埋土	尖頭器	1 b	4.35	2.65	1.1	8.3	頁岩
15	S I01 埋土	不定形	3	4.0	2.6	1.05	10.0	頁岩
16	S I01 埋土	石鏃	5	6.7	3.4	2.4	50.1	珪質頁岩
17	S I03 埋土	磨斧	2	2.4	1.4	0.5	3.1	蛇紋岩
18	S I01 埋土	凹石	1	11.1	7.4	3.8	456.3	安山岩
19	S I03 埋土	石皿	2 a	22.0	25.1	6.2	4031.5	安山岩

第4表 遺構内出土土製品観察表

図番	位置・層位	長径	短径	厚さ	重量	周縁加工	文様等
1	S I04 埋土	3.9	3.5	0.55	9.6	打欠	無文・ナデ?
2	S I04 埋土	4.6	4.2	0.6	15.6	部分研磨	LR
3	S I04 埋土	4.4	4.2	0.65	16.6	打欠	LR
4	S I04 埋土	4.8	4.1	0.6	13.6	打欠	RL

第5表 遺構内出土石製品観察表

図番	位置・層位	長径	短径	厚さ	重量	周縁加工	分類	石質
1	S I03 埋土	6.1	6.0	1.5	97.5	打欠	2	珪岩
2	S I04 埋土	5.9	5.7	1.9	100.5	打欠	2 b	安山岩
3	SK32 埋土	5.4	5.1	1.7	74.5	打欠	2	安山岩
4	SK32 埋土	5.8	5.7	2.1	117.3	一部研磨	2 a	安山岩
5	SR03	7.1	6.0	2.6	175.5	一部研磨	2 a	砂岩

#### (4) 遺構外出土遺物

本遺跡から出土した遺物には、縄文土器、弥生土器、石器、土製品、石製品、古代の土師器、須恵器、中・近世の陶磁器類、木製品、古銭・金属製品などがある。古代の遺物については、中コンテナ(35×45×20cm)2箱分の遺物が出土したが、近世の整地造成で削平されたためか遺構は検出されず、遺物も整地層出土ということもあって混拌によるためか摩滅したものが多く判然としない。そこで古代の遺物については本報告から省くこととし、ここでは縄文時代から弥生時代の遺物について記述する。なお中世以降の遺物については次節に記述している。

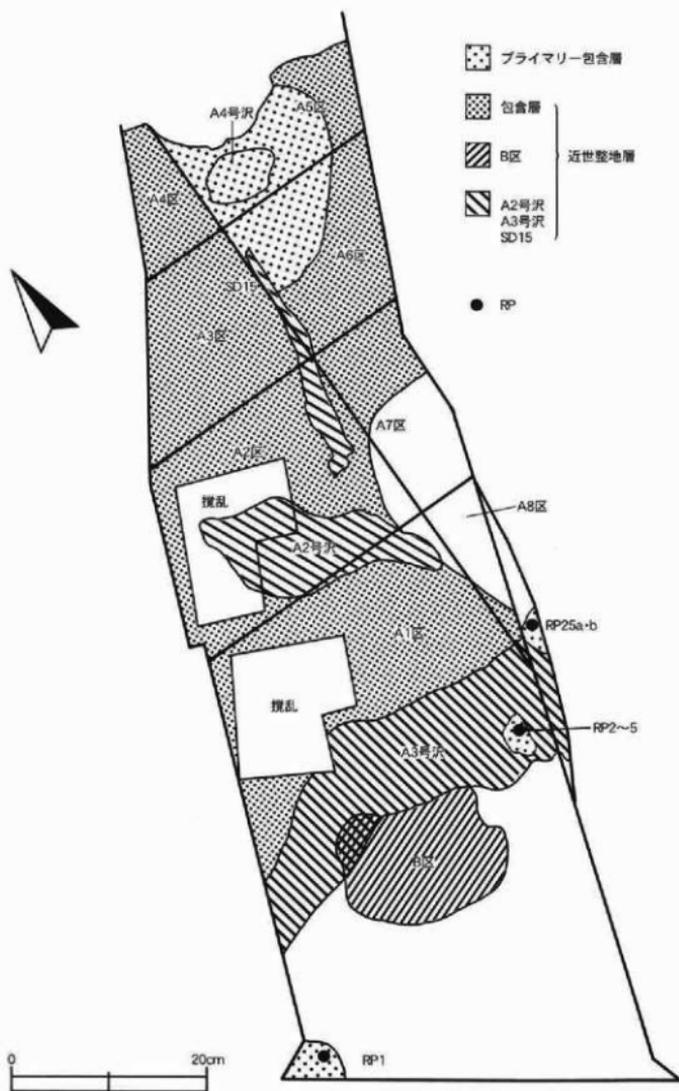
先記のとおり、本遺跡は古くから縄文～弥生時代の遺物が多く表採されている周知の遺跡であり、今回の調査にあたって包含層の層序の把握を念頭において遺物の取り上げを行うこととしたが、調査が進むにつれて大半がプライマリーな状態を呈していないことが判明した。それは近世以降の整地造成によって遺跡内で掘削や盛土という土の移動が頻繁に行われたためと思われる。

まず地形状況としては、現況での調査区は整地造成により平坦な状態を呈していたものだが、調査から判明した整地造成による状況の変化は、調査区北部のC区(環濠屋敷)と調査区南部のB区では、近世面では削平整地されており、Ⅲ層(遺物包含層)はほとんど消失していた。さらにB区中央には近・現代の宅地造成による周囲からの盛土整地が行われていた。調査区中央部のA区(御蔵場跡)では北半と南東部が削平整地、南西部は沢跡と思われる部分の軟弱な土を掘削除去後に埋め立てを行い、盛土整地したものと見受けられた。近世地面の平面的な層の観察から推定される本来的な地形は、Ⅳ・Ⅴ(無遺物層)層が残る調査区西側からⅢ(遺物包含層)層が部分的に残る東側に緩やかに傾斜し、Ⅵ(砂礫層)層が認められた東側の川岸が堤防状の微高地となっており、調査区中央部の埋め立て状況からは西側から東側の川に注ぐ1～3条の沢が存在したものと考えられる。

近世以降の整地造成により遺物の出土分布状況としては、縄文時代と弥生時代の遺物はC区(環濠屋敷)では皆無に等しく、B区では主として宅地造成の盛土中から出土したものが大半を占め、現道に接する南西端部の約10m程のみがプライマリーな状態であった。A区(御蔵場)では削平された北西部(A3・4区)と中央部東側(A6区南半とA7区北半)は遺物が少なく、砂礫層に達したA7区南半とA8区はほとんど無い。最も遺物が多く出土したのはA8区を除く南半部(A1・2区、A2・3号沢跡)であるが、A3号沢跡東部下層の掘削を免れた一部を除いて、大半は埋め立て土と整地盛土中からの出土である。唯一広がりのあるプライマリーな範囲はA区北東部(A5区・A6区北半)であるが、面積的には約200㎡ほどに過ぎない。このA5区の西側部分ではA4号沢跡とした浅い窪みがあり、地形的にはA4号沢跡最深部のMF56・57グリッドから掘削された北側を除く3方向に浅くなり、この土厚に従って遺物の出土量も比例している。ただし、MD・ME56グリッドから出土した遺物については、プランを確認できなかったS102壁穴住居跡に伴うものが含まれる可能性がある。

プライマリー部分での遺物の取り上げは、土層ベルトの観察からも層位の分別が適わなかったため、便宜的に10cm単位の深さで行った。層厚は10～20cm、A4号沢でさらに約10～15cmの深さがあり、上層の薄い部分はⅢ層、厚い部分では上位からⅢ層上・下、さらにA4号沢跡部分では1層・2層と最大4段階に取り上げている。ただしA5・6区でのⅢ層とA3号沢跡東部のⅢ層とは、遺跡全体で1層が削平されているため層序の関連は不明なもので、便宜的にプライマリーな包含層という意味合いのものである。

以下に掲載した遺物の選択基準については前述のとおり、なお個々の遺物の記載は図と表で行い、本文中では出土状況などの概要のみ記している。



第31図 遺物包含層ブロック区分図

#### A. 土器 (第32～82図、写真図版11・12・35～71)

今回の発掘調査で出土した縄文・弥生土器の総量は大コンテナ(35×45×30cm)で217箱である。出土地点(状態)別では、遺構内出土が大コンテナ11箱、包含層出土が大コンテナ37箱(A5区16箱・A6区9箱・A4号沢跡6箱、A3号沢跡東部4箱・B区南西端部2箱)、整地層出土が大コンテナ169箱(近世以降の遺構出土19箱含む)である。このうち接合復元できた完形および形状を推し量ることのできる土器は、整地層という状況はもちろんのこと、包含層の残存状態も良好ではなく、整理の時間的制約もあって約100個体と出土総量に比べて多くはない。必然的に破片資料が多くなり、量的には通常でも精製土器より多く出土する粗製土器やいわゆる半精製土器の地文のみのものが圧倒的多数を占めている。

以下の掲載は、包含層出土土器、整地層出土土器の順で地区とグリッド別にし、包含層分については上記のと通りの取り上げで、便宜的な層位の上位から下位の順、器種は深鉢(甕)・鉢・浅鉢(皿形)・壺・注口土器・その他(壺・香炉形など)の順で、台付きのものはそれぞれの器種の最後というように載せている。ただし、ミニチュア土器については縮尺の関係から最後にまとめた。掲載基準については第3章第3節整理方法に示している。なお器種分類で深鉢・鉢・浅鉢としたもののうち底部を欠くものについては台付きのものもあると思われる。

##### a 包含層出土土器 (第32～72図、写真図版11・12・35～63)

まず遺物包含層の残存状況であるが、細かにみると平面的にはB区南西端のMR34グリッドの道路側の約10㎡、A区南縁を東西に走るA3号沢跡の東部でM140グリッドを中心とする約20㎡と調査区境のMG42・43グリッドの約10㎡、A区北東部のMD56～57・ME54～57・MF54～57・MG54～58グリッドの約200㎡程の範囲がプライマーな状態で残っていた。層位・土厚としては、B区ではIV層上面で道路側から調査区内に薄く最大で約20cm、A3号沢跡では上層は掘削で消失し、M140グリッド付近では沢跡最深部のV層上面に廃棄されたと思われる土器のまとまりが厚さ約10cm、MG42・43グリッドでは沢跡の最深部で約30cm程が残っていた。A区北東部では主としてMF56・57グリッドにあるA4号沢跡の最深部で厚さ約30cm、そこから掘削された北側を除く3方向には薄く残っている。

以上の範囲と土厚の残存状況に従う遺物の量から、必然的に掲載遺物点数も比例している。掲載した包含層出土の土器930点のうち、接合復元できた完形および形状を推し量ることのできたものは約70個体程で、内訳はB区で1個体、A3号沢跡で17個体、残りはA区北東部のものである。

次に各区のグリッド毎に概要を記述するが、A3号沢東端から出土した206・207(RP25a・b)とB区南西端から出土した208(RP1)の土器は、当初整地層との判断ミスから層位の細分を行わず遺構外出土遺物として取り上げを行ったものであるが、土器の状態と出土状況及び土器内の土にわずかながら骨片が認められたことから埋設土器であった可能性が高いものと思われる。207の壺は正立状態、206の蓋は207の上部を押し潰し、内側に入り込むような状態で出土したもので、弥生時代の合口壺棺であったと推定される。いずれも地文のみの粗製土器で、206の蓋は痕跡的な把手をもち、身の部分が笠形状に外に開くもので、器内面にはスガが付着している。207の壺は口縁～頸部が欠損しており、底部中央には径約3cmほどの焼成後の貫通孔がある。208の粗製深鉢は正立ながら北側に傾いたやや斜位の状態出土し、口縁部から胴上部は整地によるものが割れて土器内に崩落していた。

A3号沢跡東部から出土した209～233は主として弥生時代中期のもので、A3号沢跡の東端MG42・43グリッドのIII層出土が209～217、218～233はA3号沢跡のM140・41グリッドのV層上面で一括廃棄と思われる状態で出土したものである。209・215・217は粘土壺をもたない沈線の変形十字文、210～

212・222・223・227・229～232は磨消縄文・充填縄文手法のもので、210・211は変形十字文、222・230は2本沈線で文様区画された連弧状文の上部に三角文が付される。216・226・229は蹄角状の山形沈線文が巡るもので、226と229は1条、216の蓋は把手に2段、身には平行線で1段と山の谷部に刺突文が施される。233の蓋は唯一列点文が施されたもので、上下両端と身の中央に3条巡る。214・224・225は把手のある無文の蓋で、214と224は把手が長く身は笠形状に開き、225は把手が短い倒鉢形である。226・228・233は把手のない倒鉢形の蓋で、文様をもつ226・233はもつ部分がやや直立気味となっている。209・223は蓋の可能性もある。

A区北東部のA5・6区から出土した土器には、縄文時代中期・後期後葉～晩期末葉期（弥生時代初頭?）のものがあり、量的には縄文時代晩期中葉期のものが圧倒的に多く、以下晩期後葉～末葉期、晩期前葉期、後期後葉期と続き、縄文時代中期のものはわずかである。A4号沢跡とした窪みはA5区のMF56・57・MG56・57グリッドにあり、およそMG57グリッド杭付近を最深部として掘削および削平された北側と西側を除く、南側と東側に土厚は薄くなって行く。グリッド単位で大まかな状況を述べるが、遺物量が多く残るA4号沢跡最深部から少なくなる周辺部と進める。

A4号沢跡のあるMF56・57・MG56・57グリッドでは、土厚が最大約35cmと最も厚く残っており遺物量も多い。土器は縄文時代後期後葉～晩期末葉期（弥生時代初頭?）のものがあり、やはり量的には晩期中葉期（C1・2式）のものが多いが、比率的に晩期後葉～末葉期、晩期前葉期、後期後葉期も比較的多く見受けられる。層位の分別が適わなかったため、本来レンズ状の自然堆積であったものを平面的にスライスして取り上げたから、層位的に土器の変遷をたどることはできないが、後期後葉と晩期前葉の土器はほとんどがA4号沢跡からの出土、晩期中葉の上層も下位に前半期（C1式）が多く、上位に後半期（C2式）のものが多くなる傾向にある。MG56・57グリッドでは中葉の土器はさほど多くなく、各期の土器の量的差異は少ない。

A4号沢跡周囲のME56・57・MF55・MG55グリッドでは、A4号沢跡の窪みが東西に長い楕円形なために東側のME56・57グリッドで10～20cmと土厚が比較的あり、南側では10～15cmとやや薄く、MG55グリッドはS104型穴住居跡があるため遺物は少ない。土器はやはり後期後葉～晩期末葉期（弥生時代初頭?）のものがあり、ME56グリッドでは全体的には晩期中葉（C1・2式）のものも多く、後葉は少ない。下層では後期後葉と晩期前葉が多い。晩期末葉（A'～弥生初頭?）の424・425は、Ⅲ層上面（近世整地面）から出土した交点に盛壘をもつ変形十字文のもので、整地造成の際の圧迫によるものかまともにはあるが破砕状態で出土したため、出土状況からは埋設土器と判断できなかったものであるが、隣接して同種の埋設土器（SR08・09・11・14・15）があることから、これらもその可能性が考えられる。ME57グリッドでは中葉前半以前のものはほとんど無く、中葉後半（C2式）から後葉前半（A式）が大半を占め、MF55グリッドでは後期後葉から晩期後葉の各期の土器の量的差異は少ない。MG55グリッドでは晩期中葉後半（C2式）から後葉前半（A式）の土器がほとんどである。

残存する包含層の縁辺になる東部のMD55・56・57グリッドと南部のME54・55・MF・MG54グリッドでは、層厚は約10cm以下と薄く出土遺物量も少ない。MD55グリッドでは北西部が若干残るもので晩期前葉後半（BC式）から中葉前半（C1式）の土器が多く、MD56グリッドでは西側で包含層が一部厚く残っており、全体的には晩期中葉期（C1・2式）の土器が多く、下層では中葉前半（C1式）が多く見られる。MD57グリッドでは晩期中葉後半（C2式）から後葉前半（A式）の土器がほとんどである。ところでMD56グリッドには、前述のとおりプランの確認できなかったS102型穴住居跡があることから、267～273のⅢ層下出土の土器（主としてC1式）はこれに伴うものかもしれない、時期は晩期中葉前半期の可能性

が高いと思われる。ME54・55グリッドは北西半が残るもので晩期前葉（BC式）のものが多く、MF・MG54グリッドでは晩期中葉後半から後葉前半が多い。

**b 整地層出土土器**（第73～81図、写真図版11・12・63～69）

整地層出土では土器に限るとB区出土のものは摩滅がひどく、A区出土、特にSX03(A1号沢跡)とA2号沢跡出土のものは下位ほど、比較的破片が大きく状態もよい。前述のとおり、包含層出土土器の補足的に復元個体を主として掲載している。時期的には縄文時代中期・後期後半～晩期末葉（弥生時代初頭？）・弥生時代前・中期のものがある。

**c ミニチュア土器**（第81・82図、写真図版70・71）

ミニチュア土器としたものは30点あるが、用途・機能というよりは1/3に縮小するとつぶれてしまう、および5cm以下のものを便宜的に集めたものであって明確な分類ではない。したがって前に掲載している中にもミニチュアと思われるものが含まれている。

以上、出土地点毎に出土土器の概要を述べたが、包含層の残存状態は無論のこと、調査担当者の方不足による不手際もあって分層が適わず、出土層位による分類はあまり有意義なものとはなり得ない。そこで以下に示した分類については、大分類は時期区分、小分類は近年の上器編年研究を参考にして従来の土器型式に準じて行っている。なお、各々の詳細については巻末の参考文献等を参照されたい。

**第I群土器**（第83図）縄文時代中期

後葉期の大木9式に比定される土器で、数点のみの出土である。

**第II群土器**（第83図）縄文時代後期。縄文時代晩期・弥生時代の土器に次いで多く出土している。

- 1類 中葉期の土器である。数点のみ出土している。
- 2類 後葉期の土器である。
  - a類 高柳編年瘡付土器第I段階に類似するものである。
  - b類 瘡付第II段階に相当するものである。
- 3類 末葉期の土器である。
  - a類 瘡付第III段階に相当するものである。
  - b類 瘡付第IV段階に相当するものである。

**第III群土器**（第83～85図）縄文時代晩期。遺跡の主体時期となるもので、最も多く出土している。

- 1類 初頭期の大河B式に比定されるものである。出土量は後期の土器よりも少ない。
- 2類 前葉期の大河BC式に比定されるものである。出土量はあまり多くない。
- 3類 中葉期前半の大河C1式に比定されるものである。5類と共に4類に次いで多く出土している。
- 4類 中葉期後半の大河C2式に比定されるものである。最も多く出土している類である。
- 5類 後葉期の大河A式に比定されるものである。4類に次いで多く出土している。

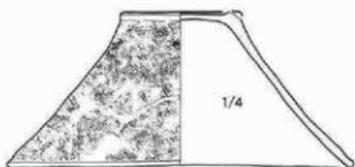
**第IV群土器**（第85図）いわゆる変形工字文をもつI群で、縄文時代晩期末葉期～弥生時代初頭期の大河A'式～砂沢式に比定されるものである。

**第V群土器**（第85図）弥生時代の土器である。縄文時代後期の土器と同程度出土している。

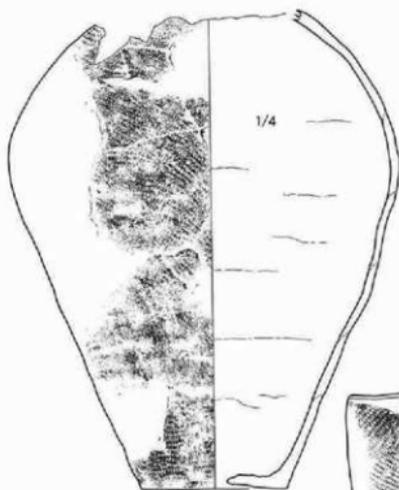
- 1類 前期の小田野編年第I期に類似するものである。
- 2類 中期の小田野編年第II期に類似するものである。

**第VI群土器** 地文のみの時期が特定できないものを便宜的に一括した。

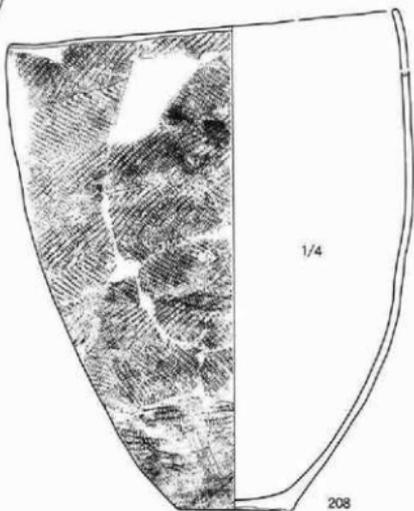
**第VII群土器** ミニチュア土器を仮に一括した。



206



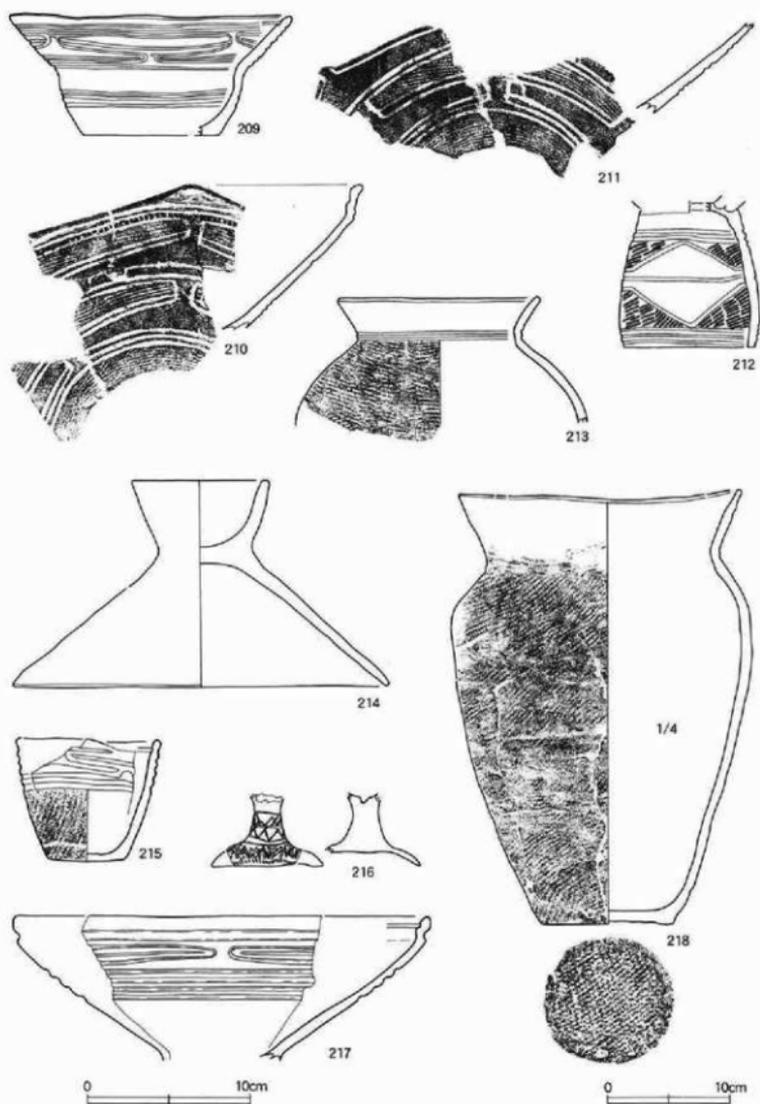
207



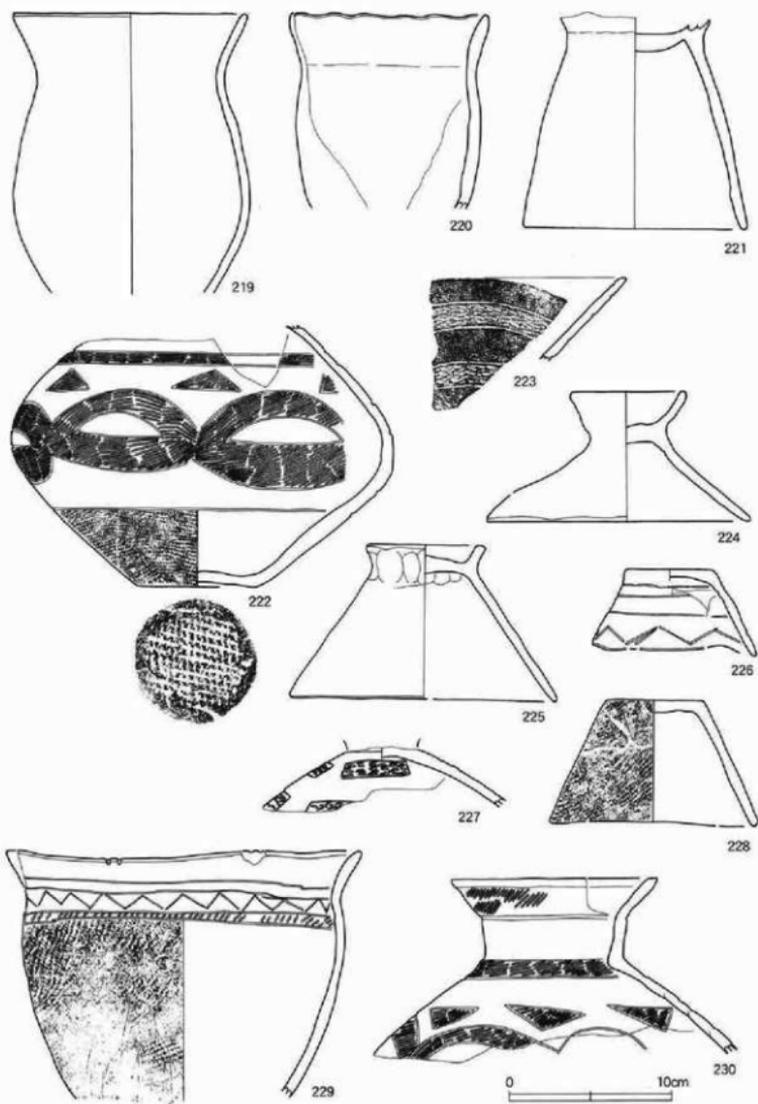
208

0 10cm

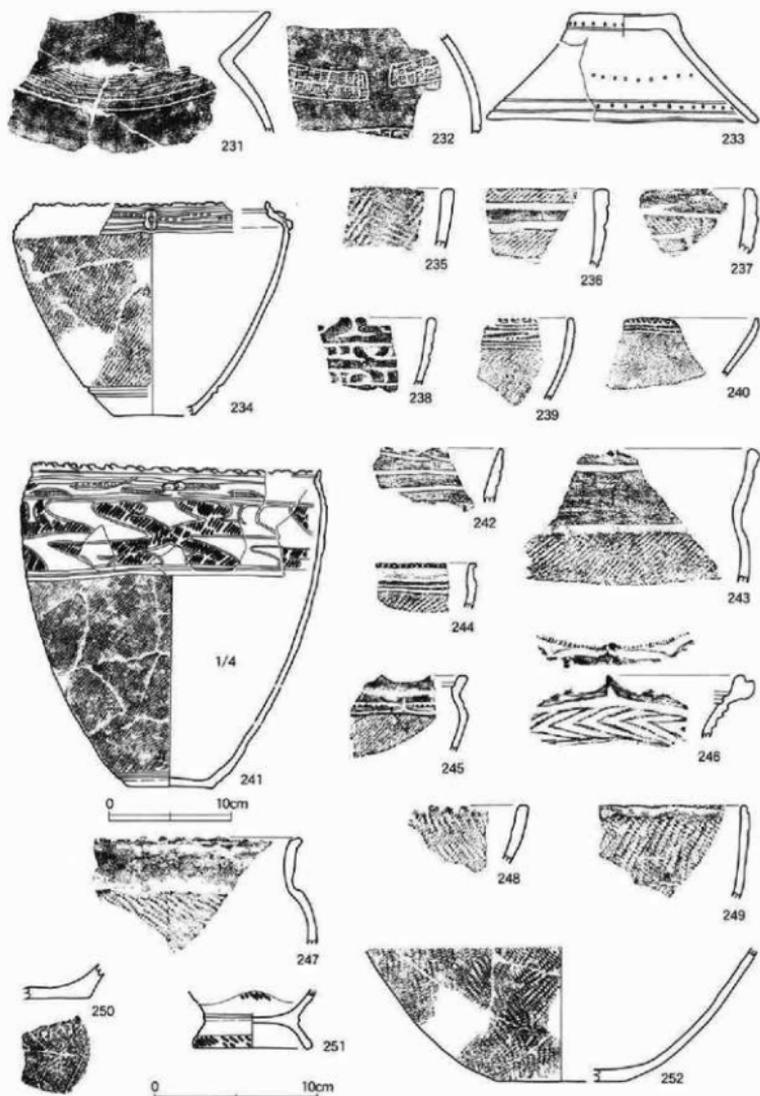
第32圖 遺構外出土遺物 (土器13)



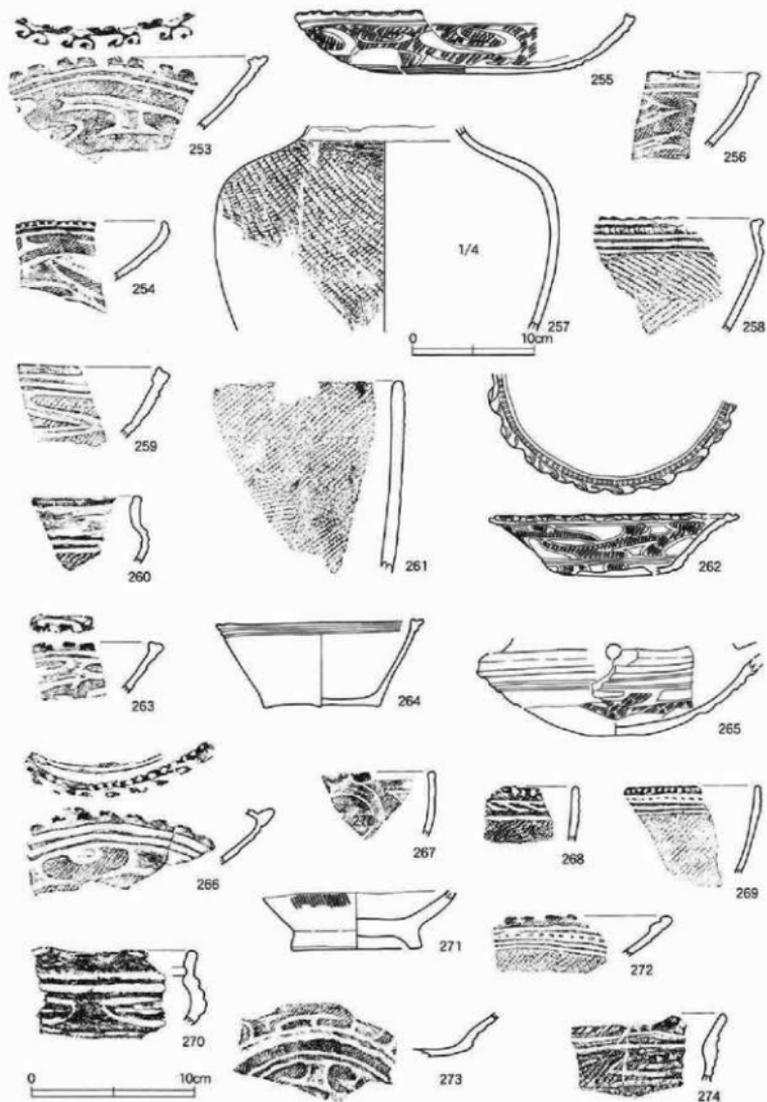
第33圖 遺構外出土遺物（土器14）



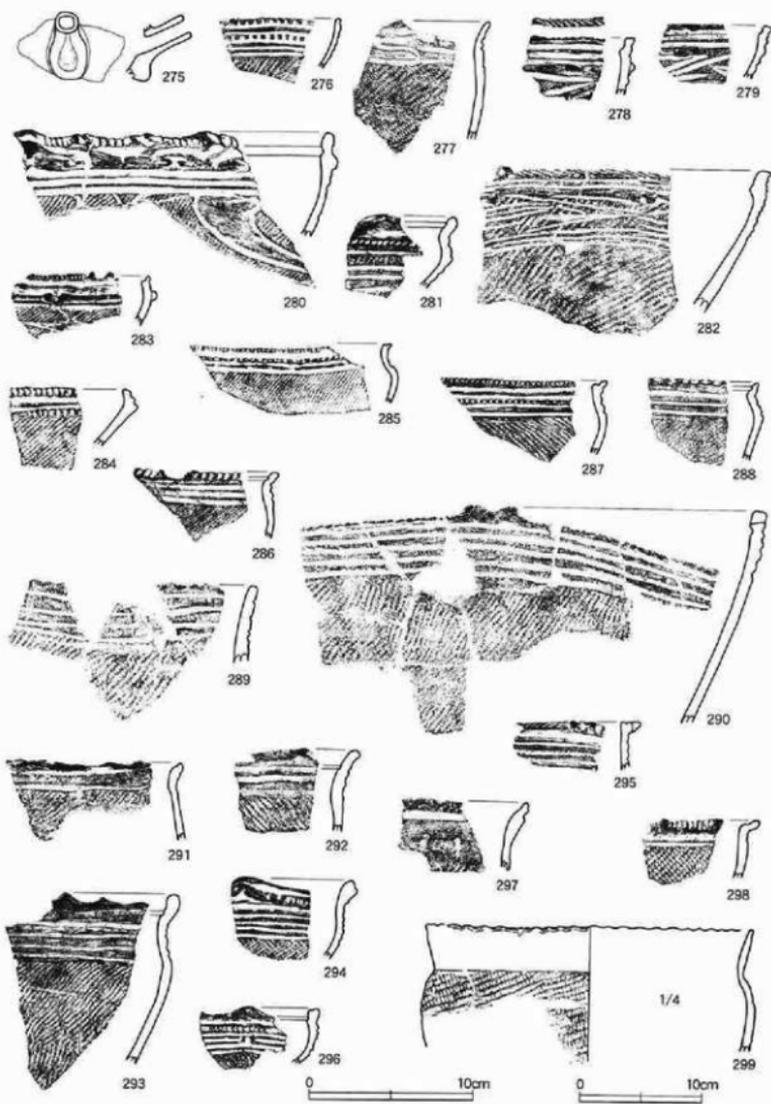
第34圖 遺構外出土遺物（土器15）



第35図 遺構外出土遺物(土器16)



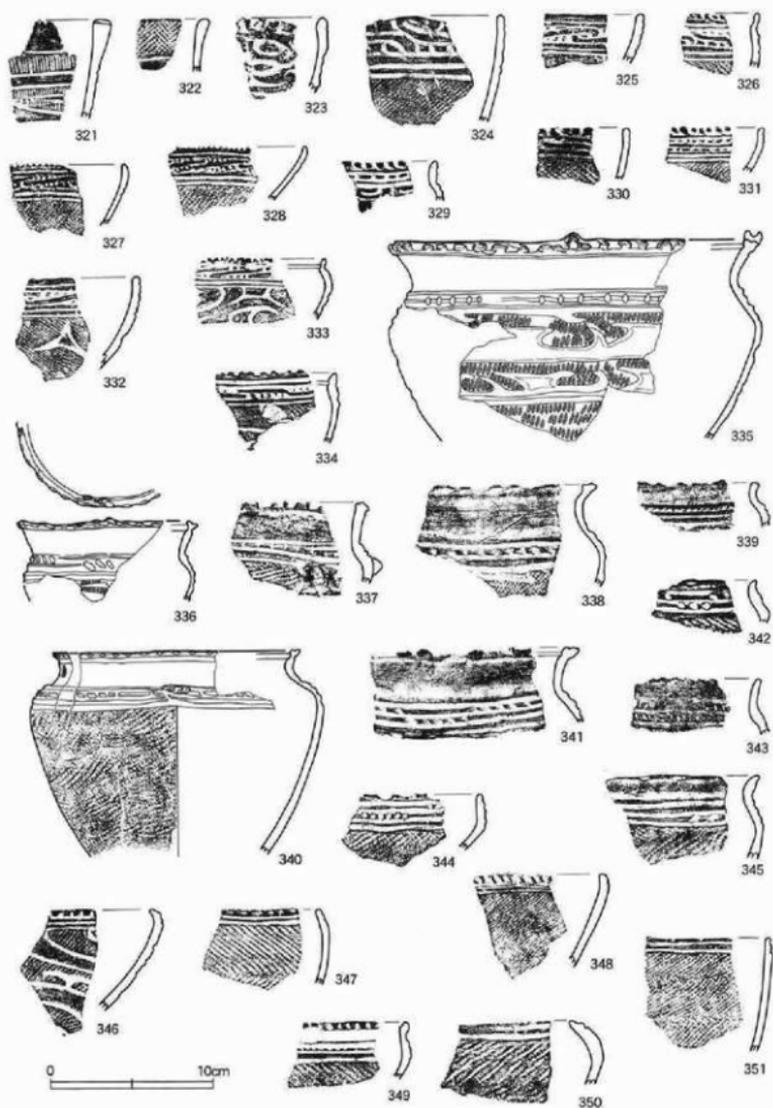
第36圖 遺構外出土遺物(土器17)



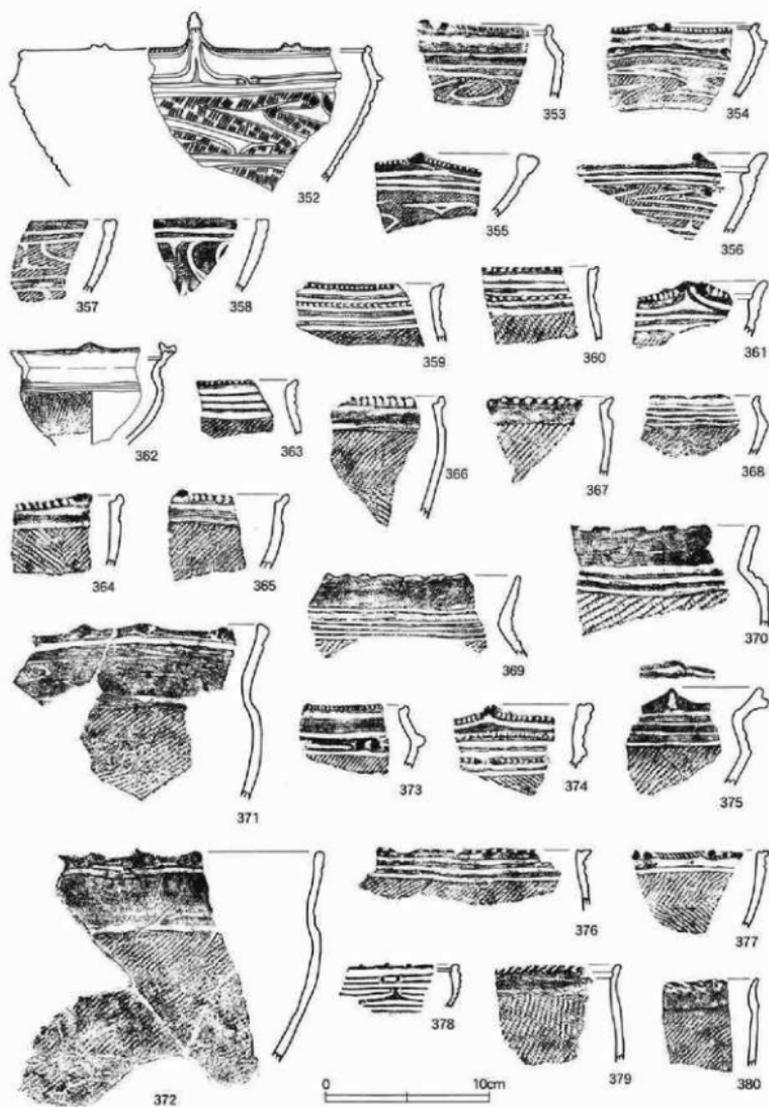
第37圖 遺横外出土遺物 (土器18)



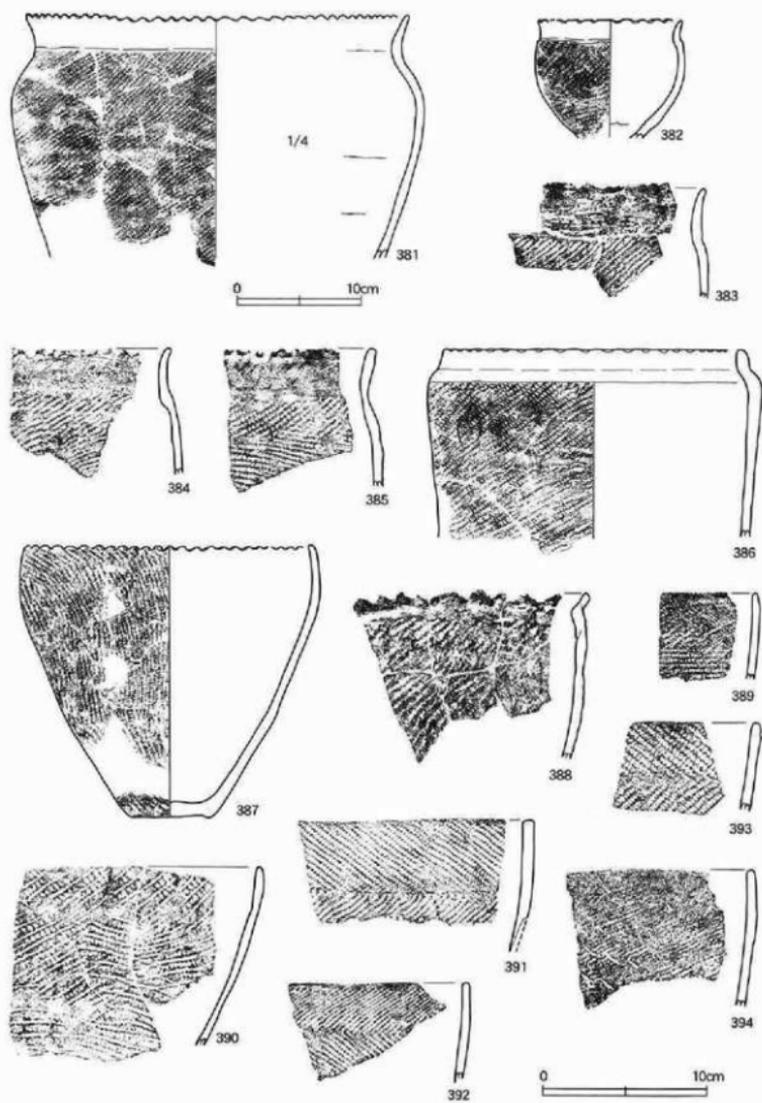
第38圖 遺構外出土遺物 (土器19)



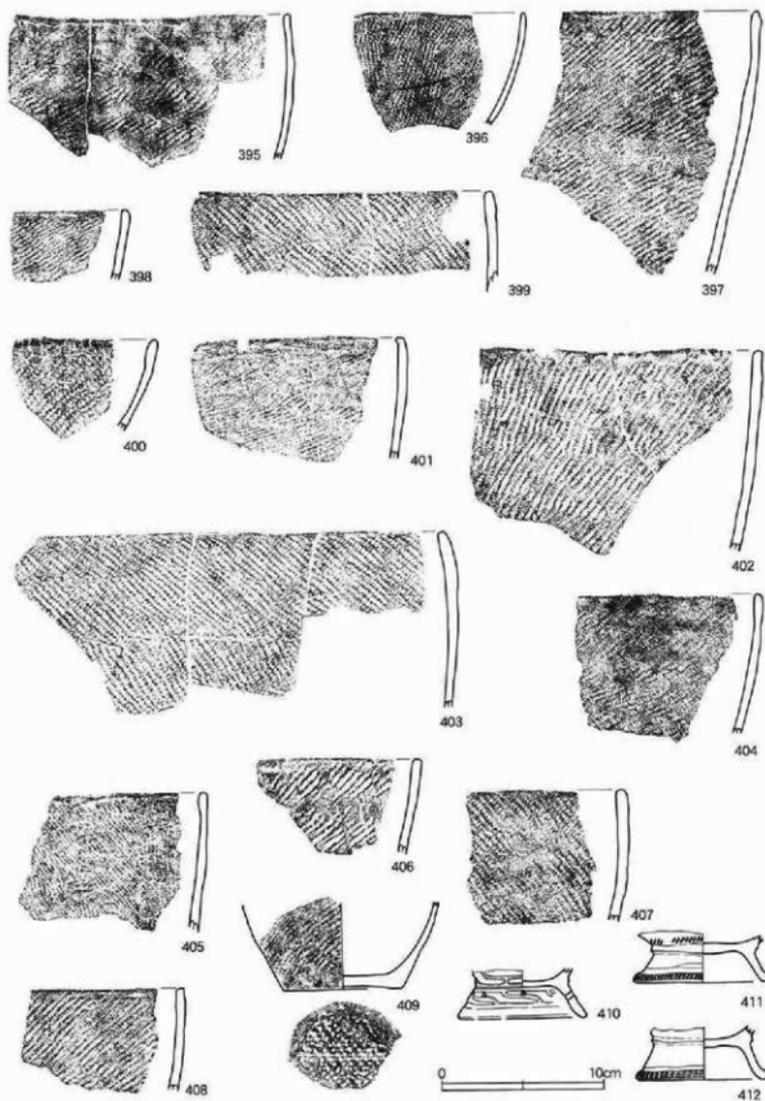
第39圖 遺構外出土遺物 (土器20)



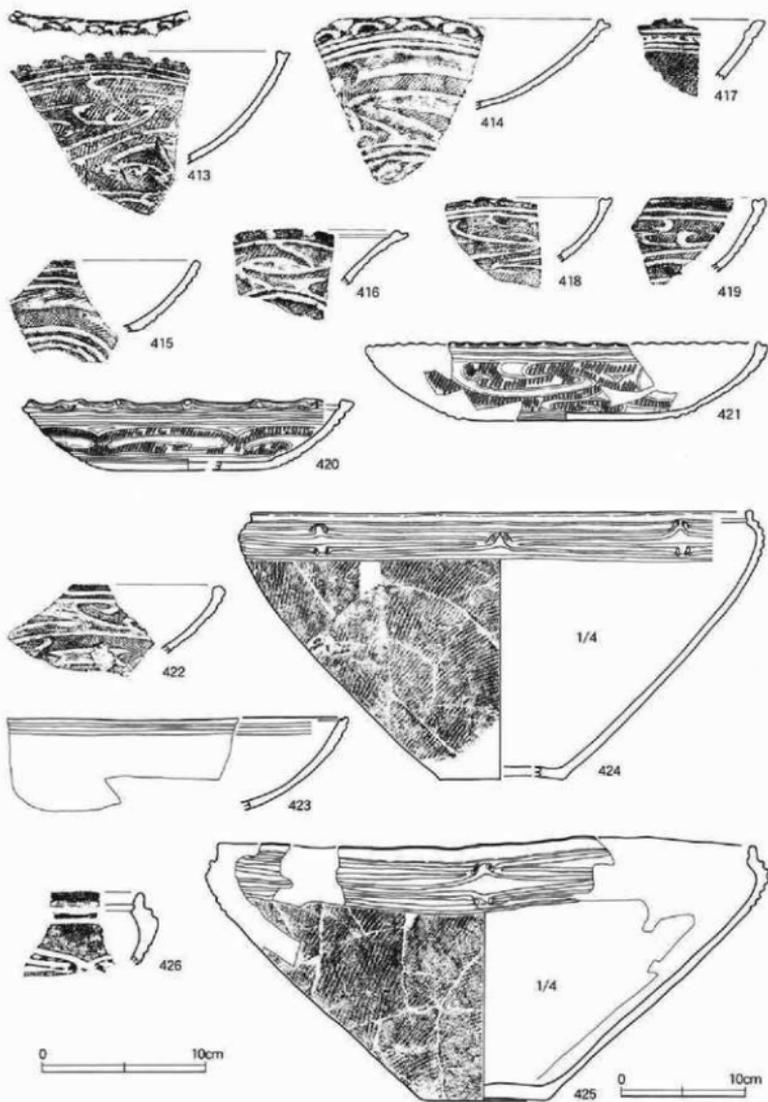
第40圖 遺構外出土遺物(土器21)



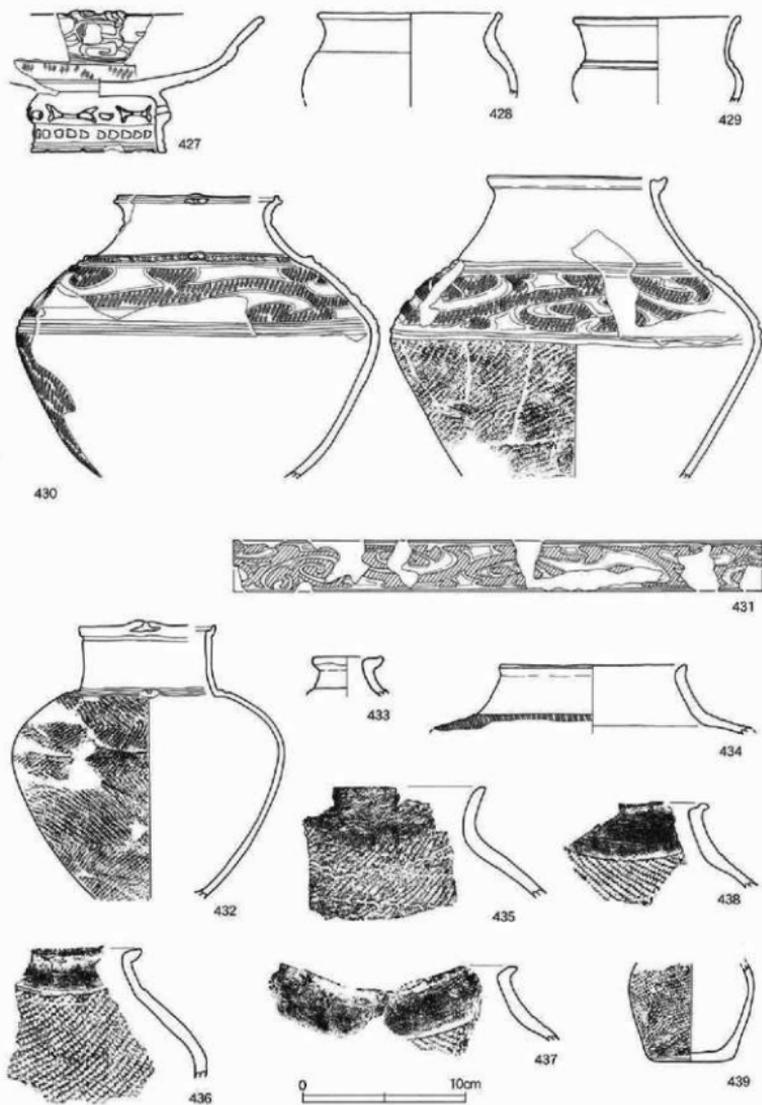
第41圖 遺構外出土遺物 (土器22)



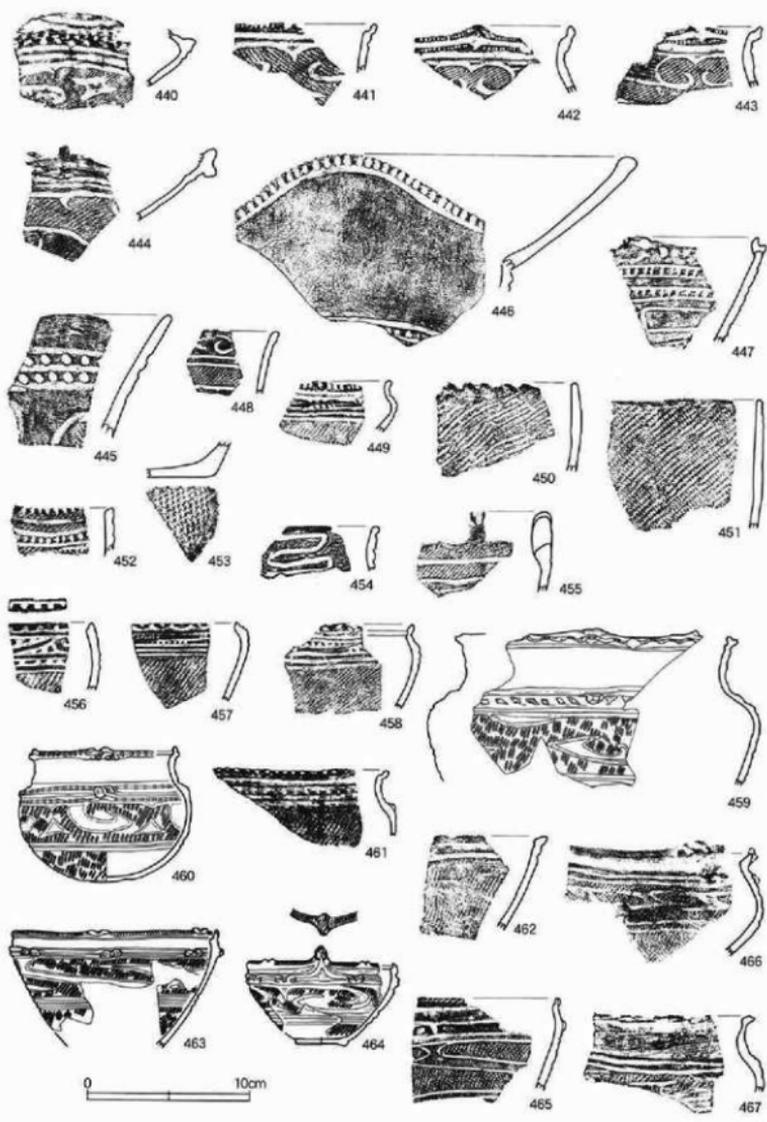
第42図 遺構外出土遺物 (土器23)



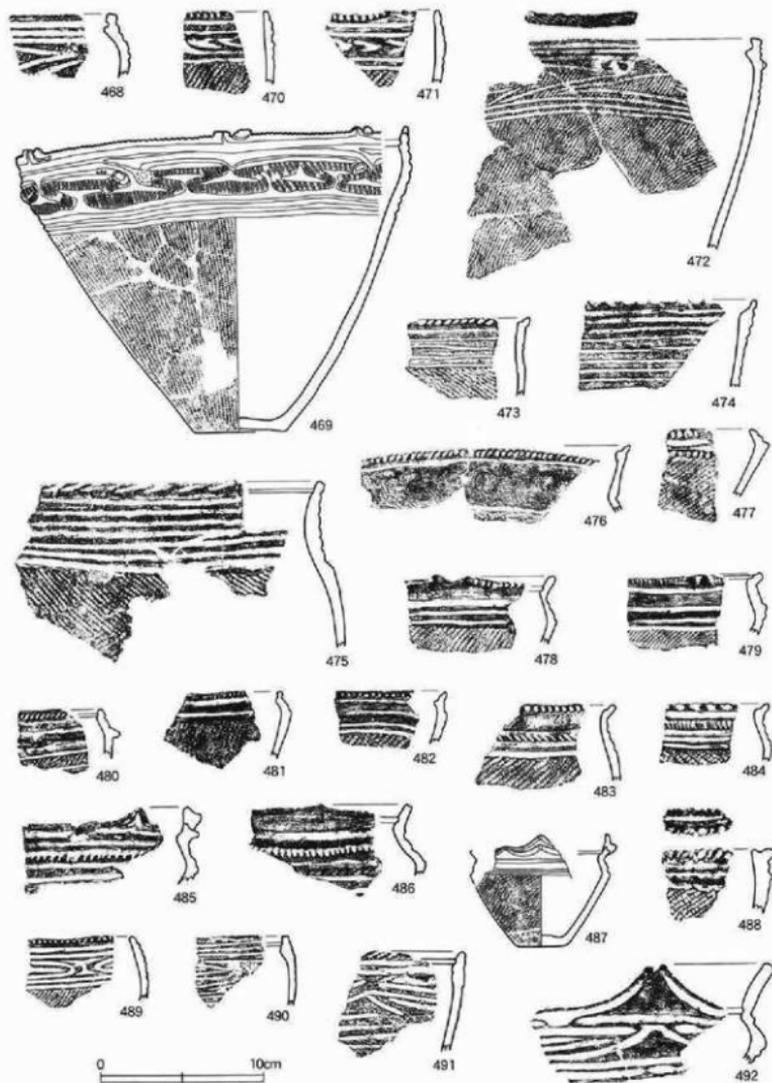
第43圖 遺構外出土遺物（土器24）



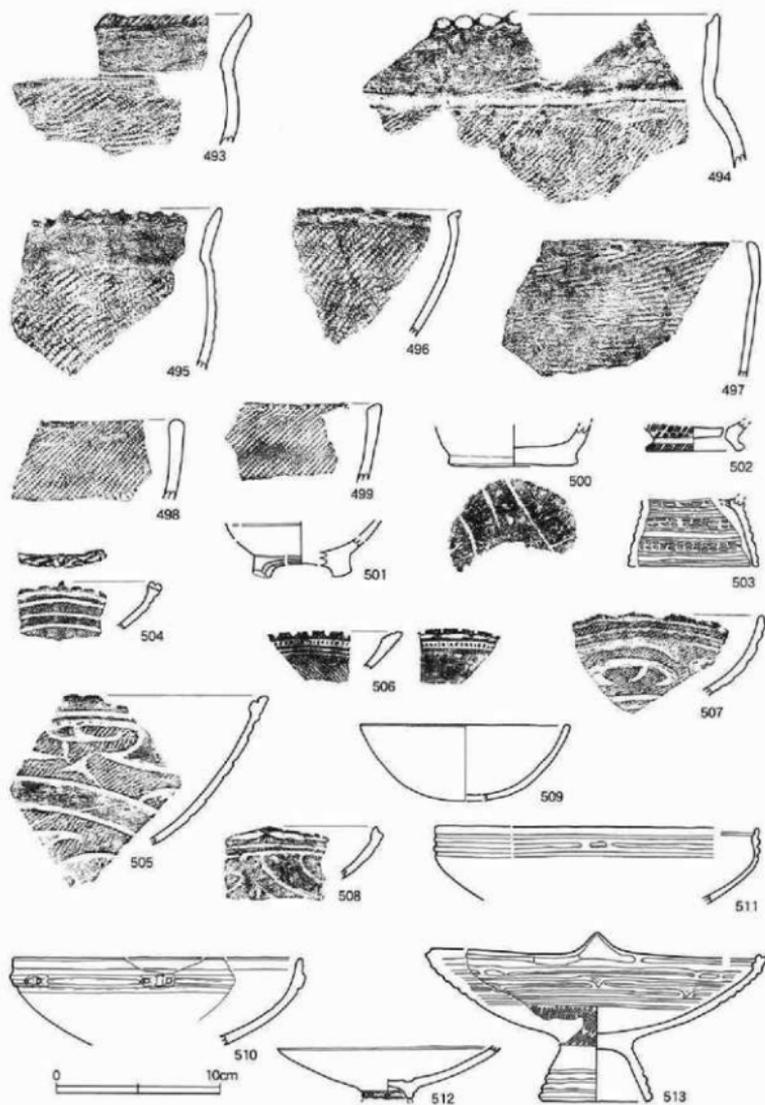
第44圖 遺構外出土遺物（土器25）



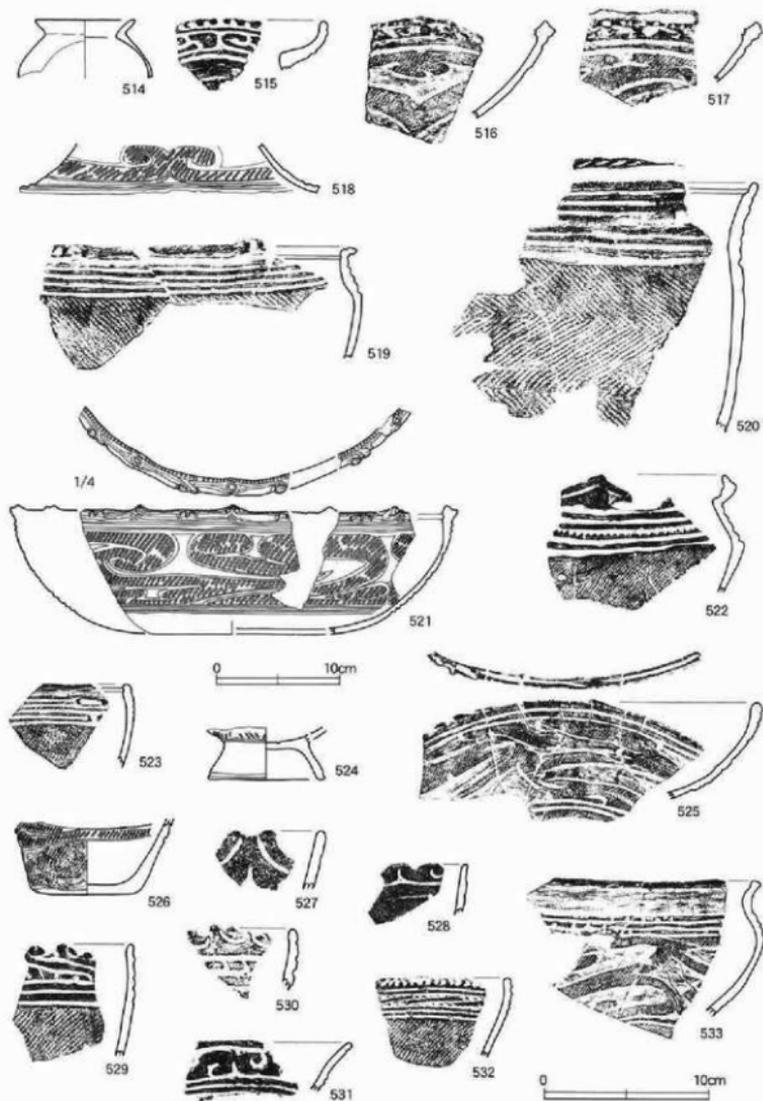
第45圖 遺構外出土遺物 (土器26)



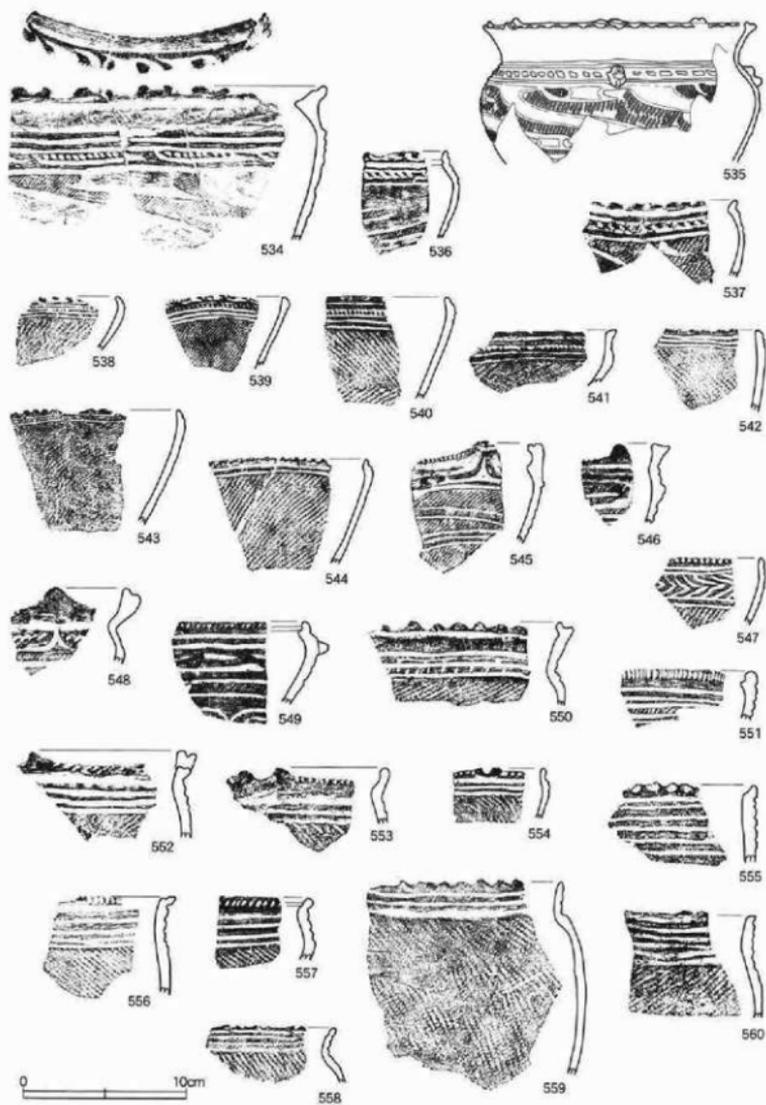
第46圖 遺構外出土遺物 (土器27)



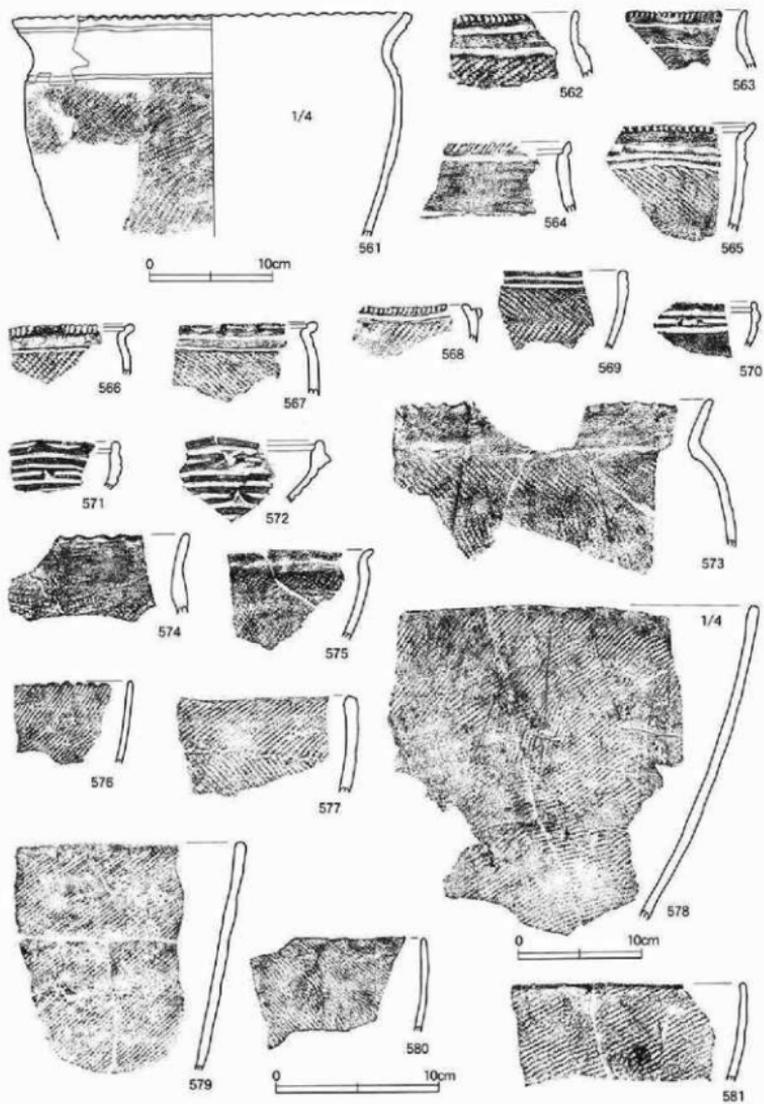
第47圖 遠構外出土遺物 (土器28)



第48回 遺構外出土遺物 (土器29)



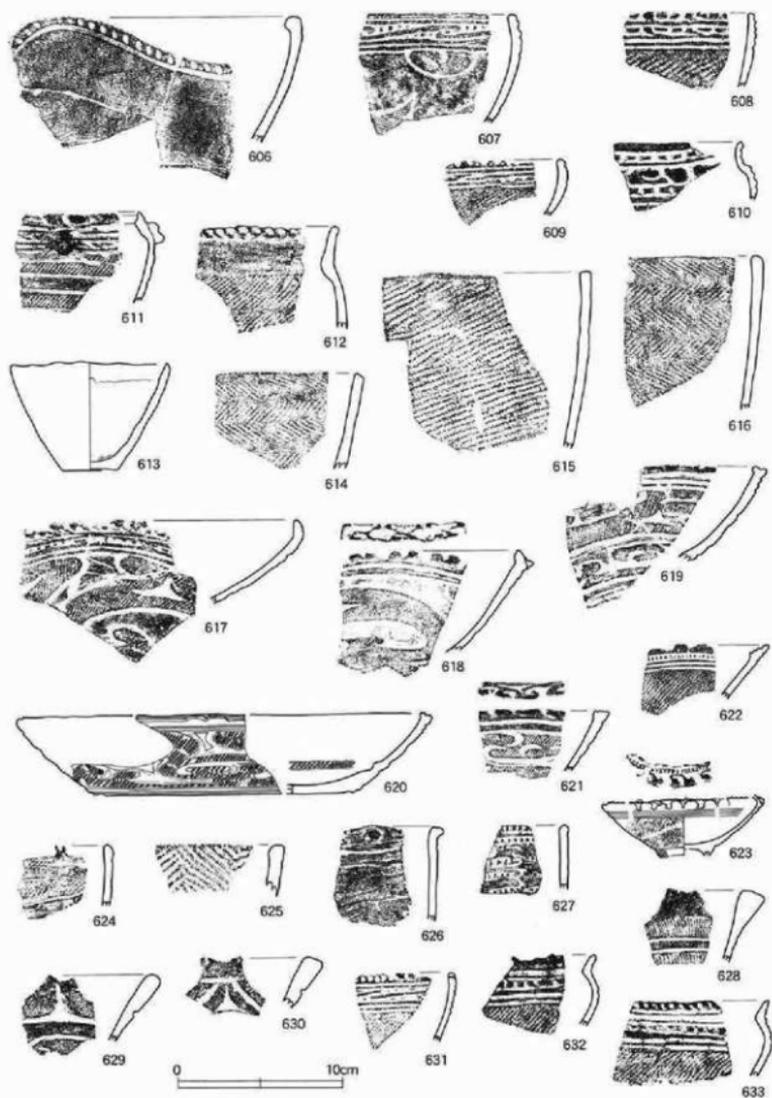
第49圖 遺構外出土遺物（土器30）



第50図 遺構外出土遺物(土器31)



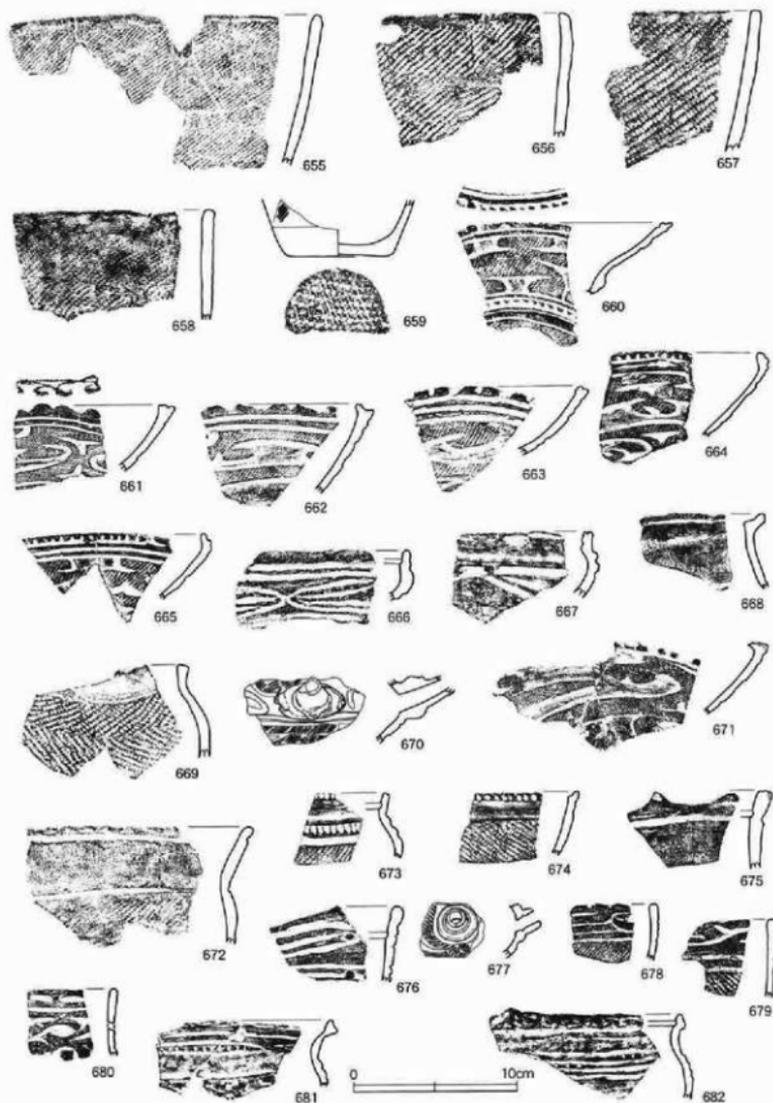
第51圖 遺構外出土遺物(土器32)



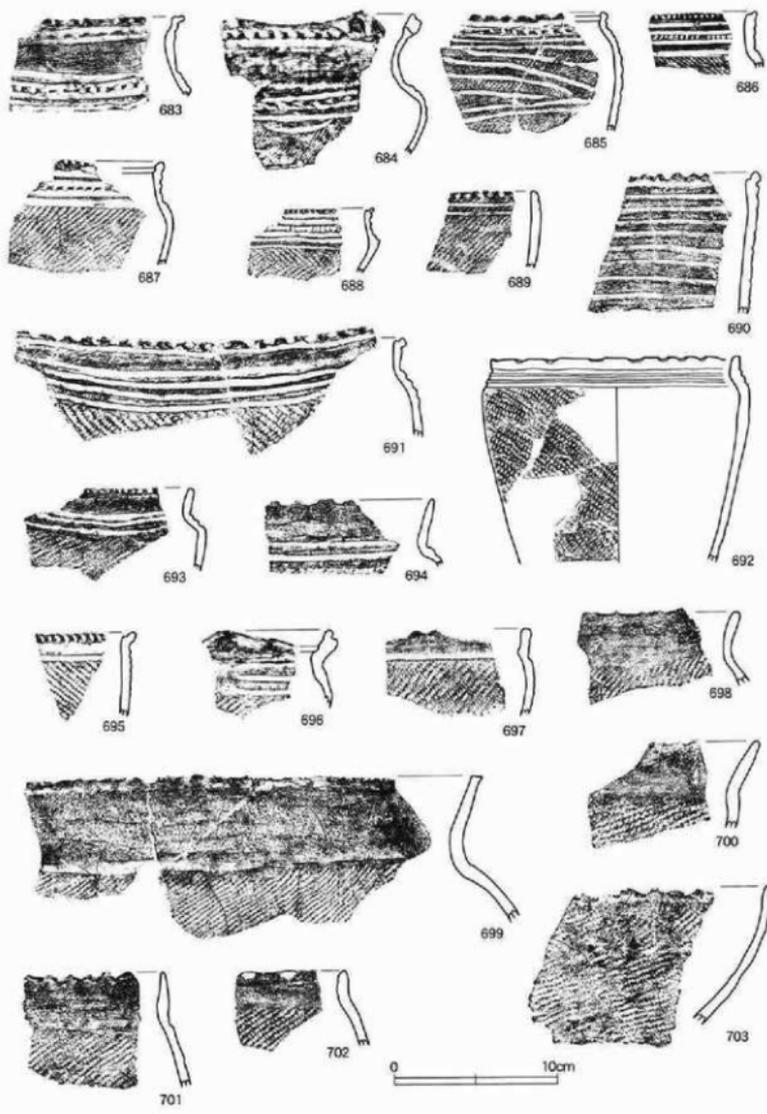
第52圖 遺構外出土遺物（土器33）



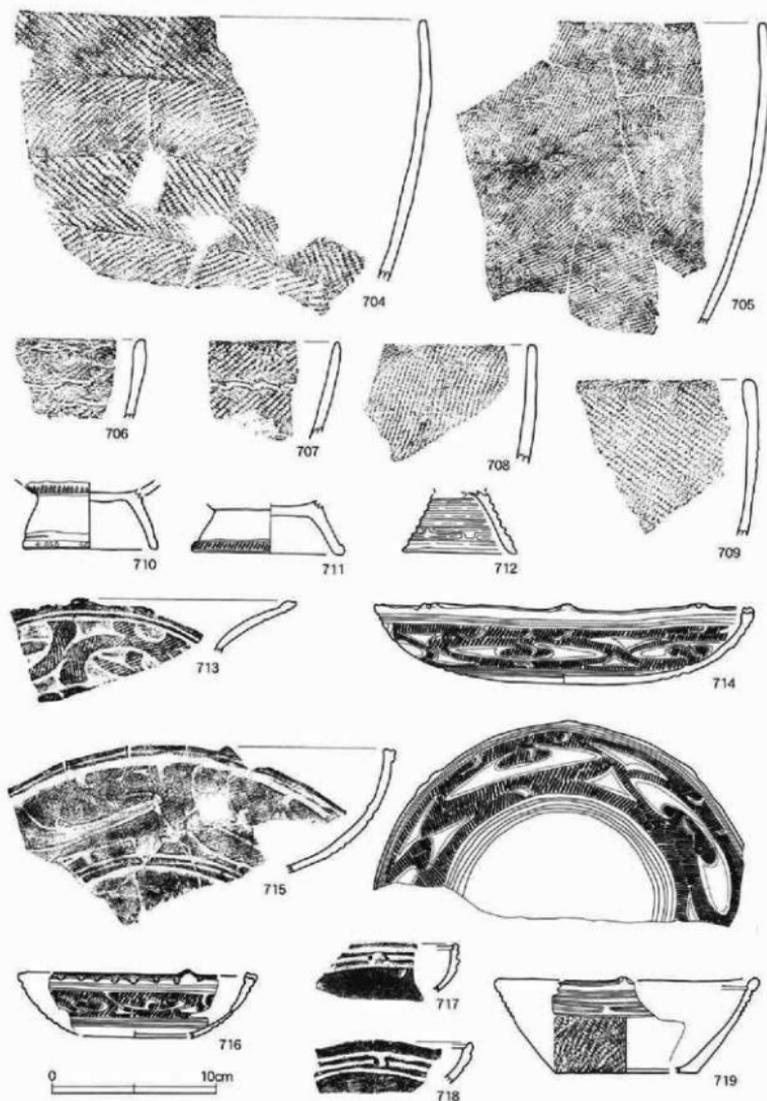
第53圖 遺構外出土遺物（土器34）



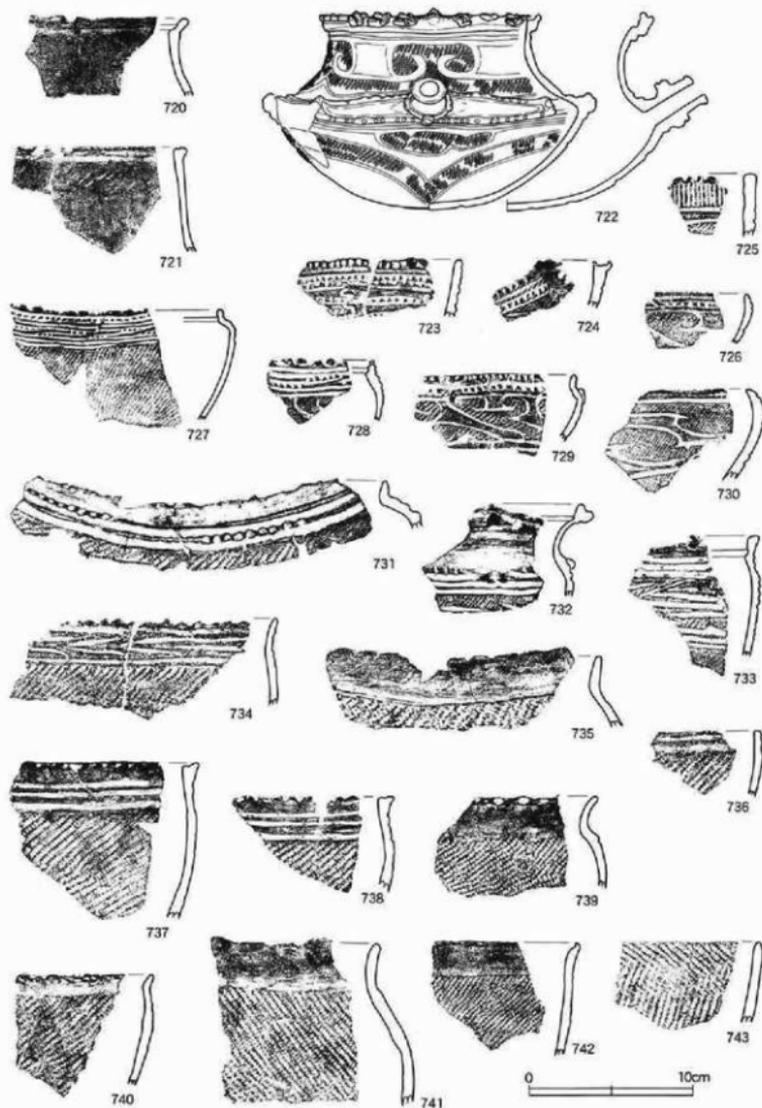
第54図 遺構外出土遺物 (土器35)



第55圖 遺構外出土遺物(土器36)



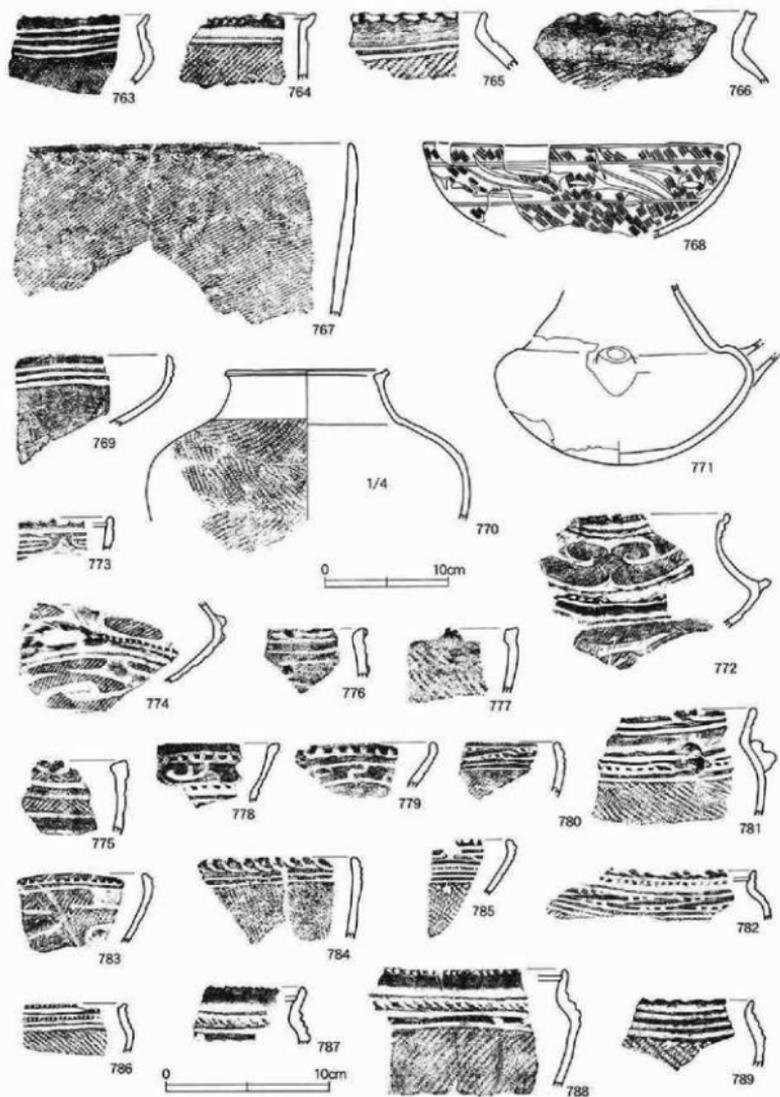
第56圖 透模外出土遺物（土器37）



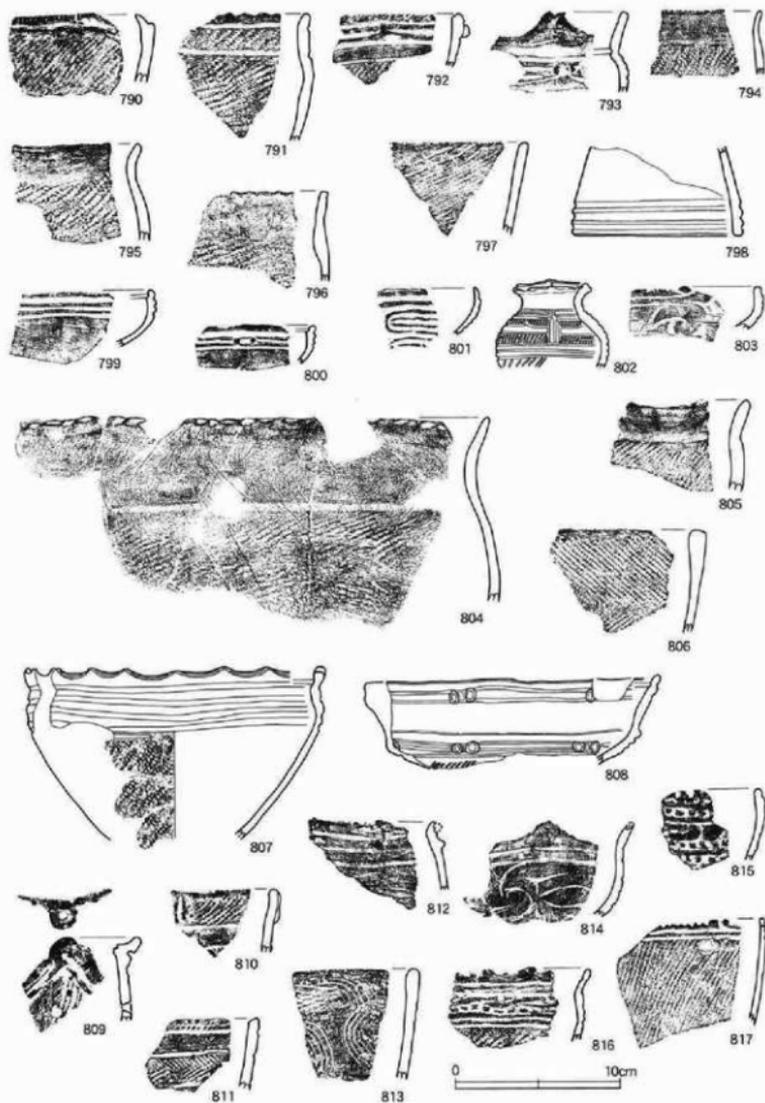
第57圖 遺構外出土遺物 (土器38)



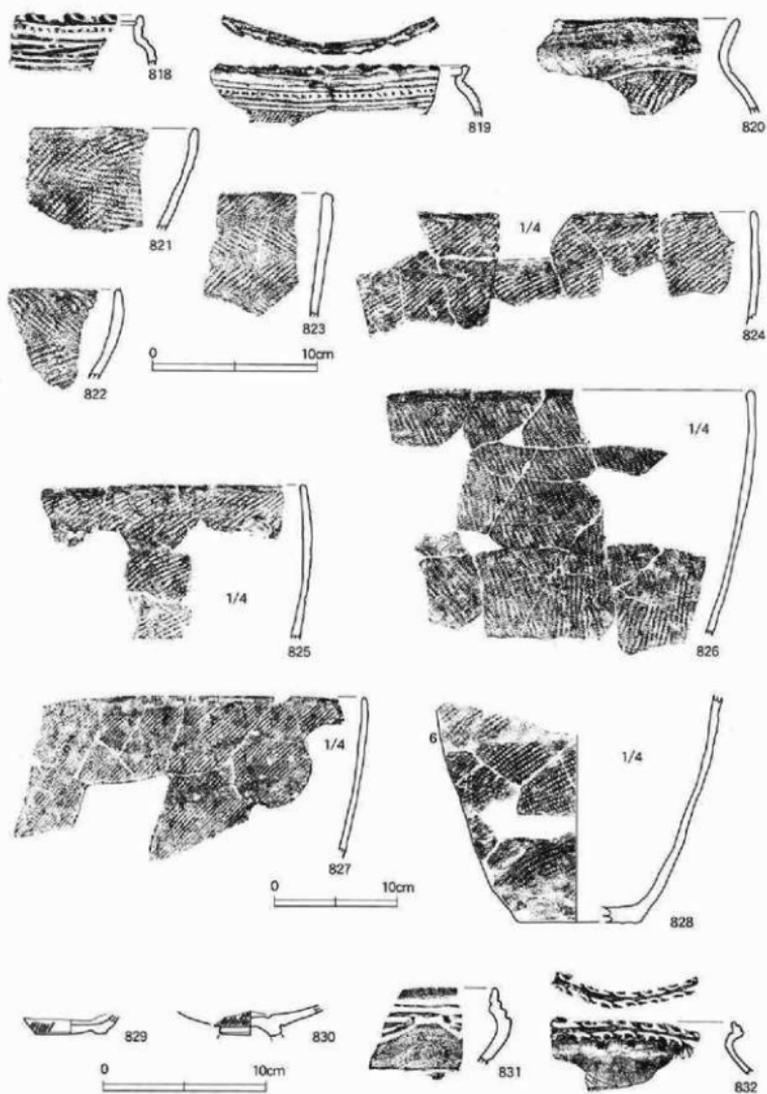
第58圖 遺構外出土遺物 (土器39)



第59圖 遼構外出土遺物 (土器40)



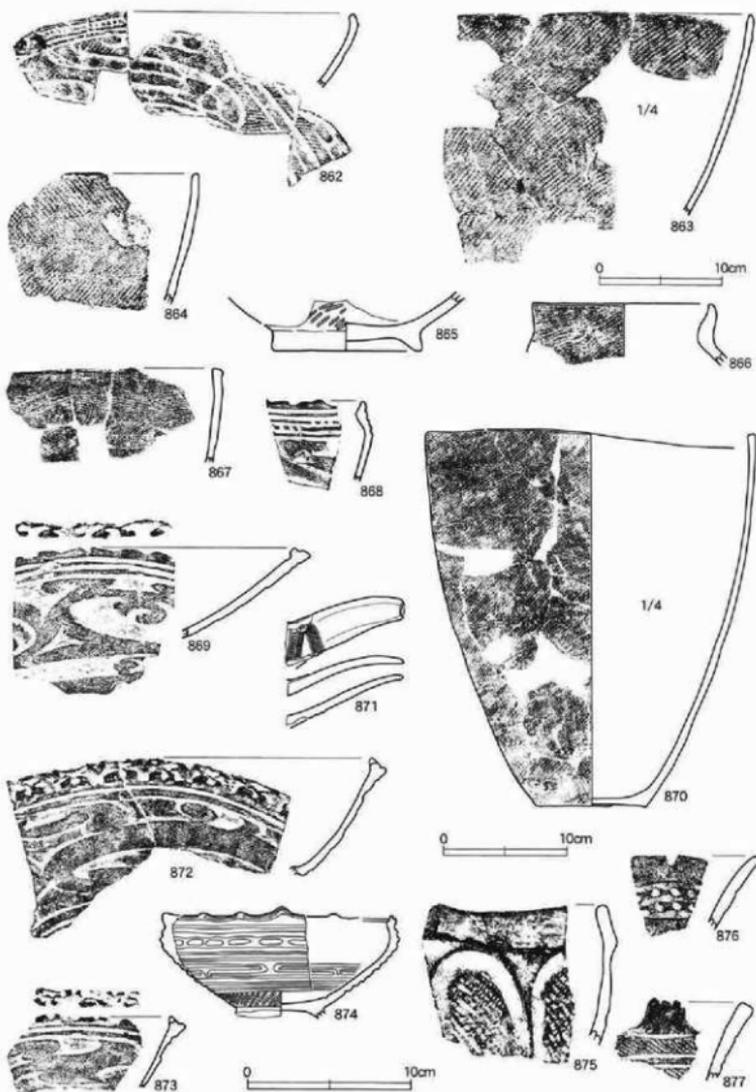
第60回 遺構外出土遺物(土器41)



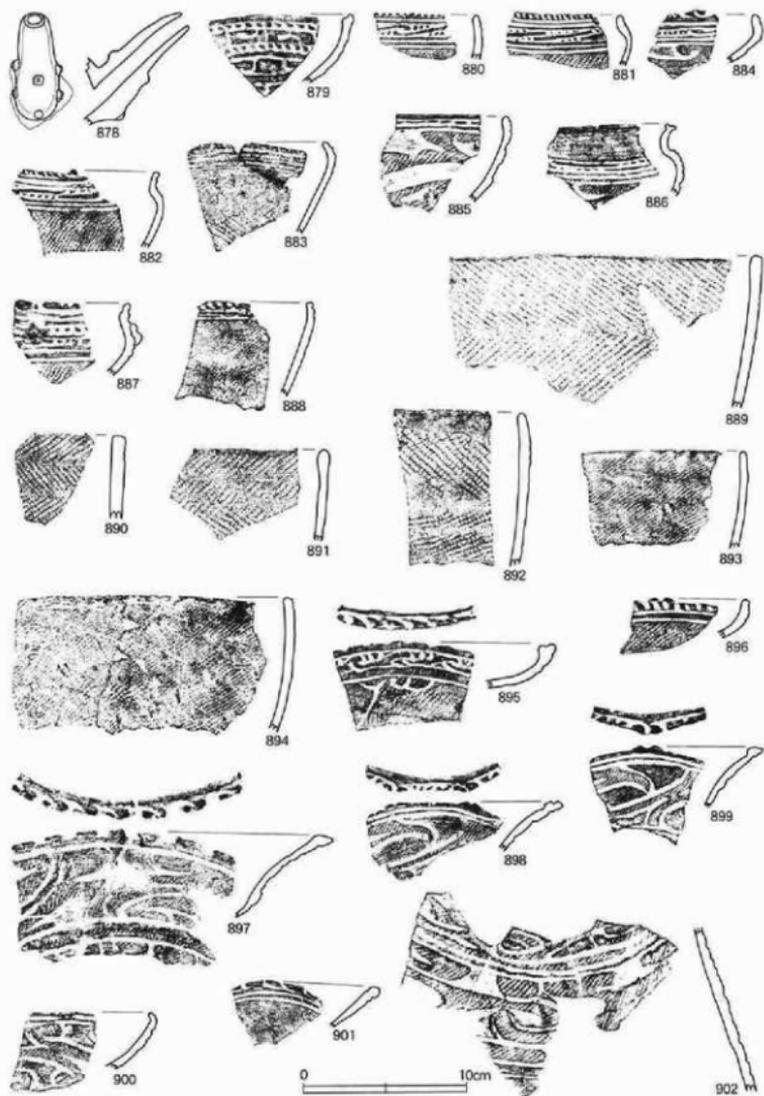
第61圖 遺構外出土遺物 (土器42)



第62圖 遺構外出土遺物 (土器43)



第63図 遺構外出土遺物 (土器44)



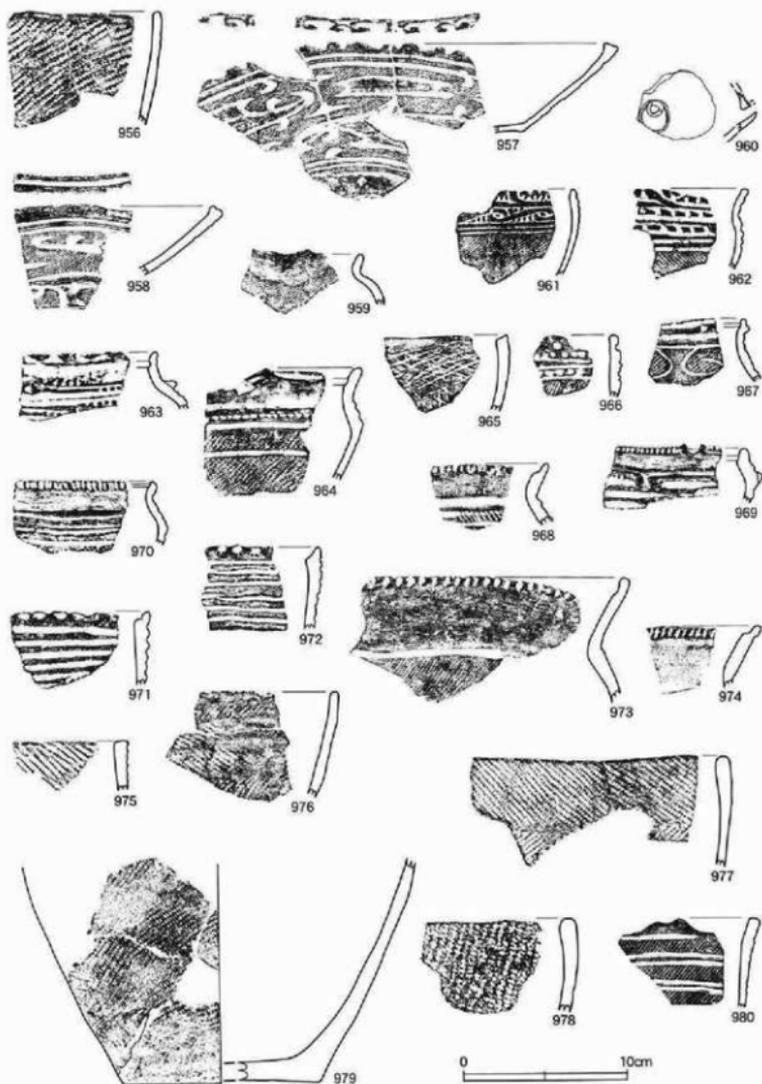
第64図 遺構外出土遺物 (土器45)



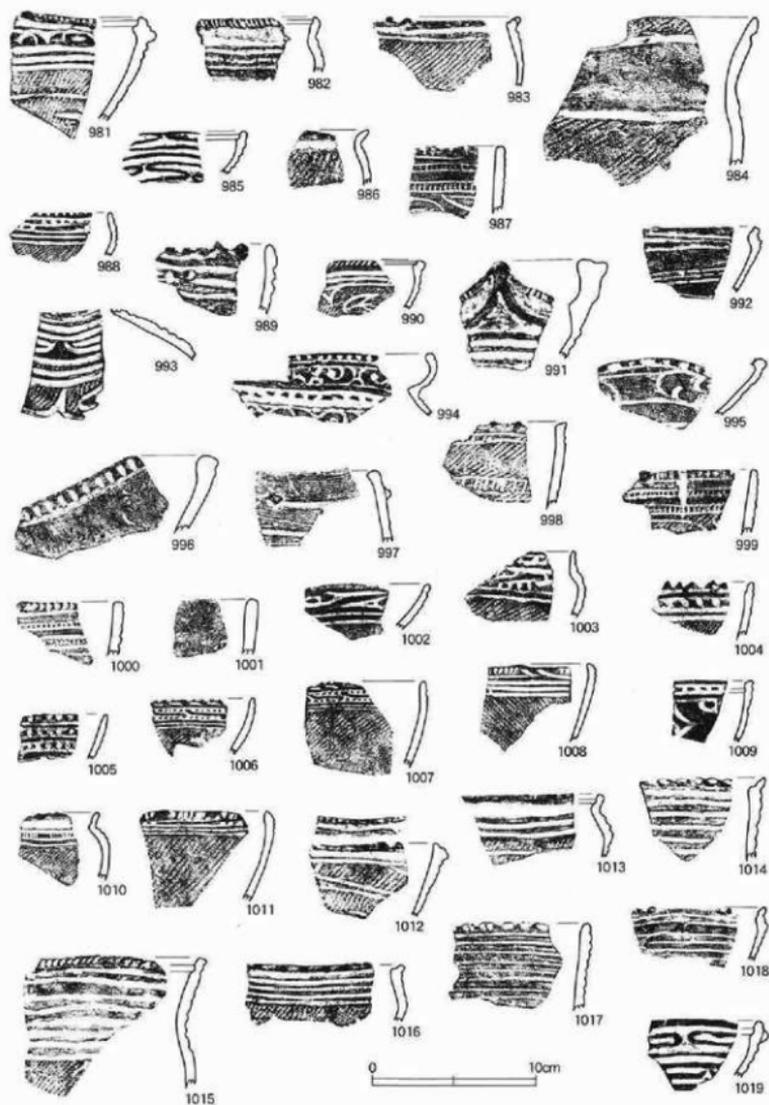
第65圖 遺構外出土遺物(土器46)



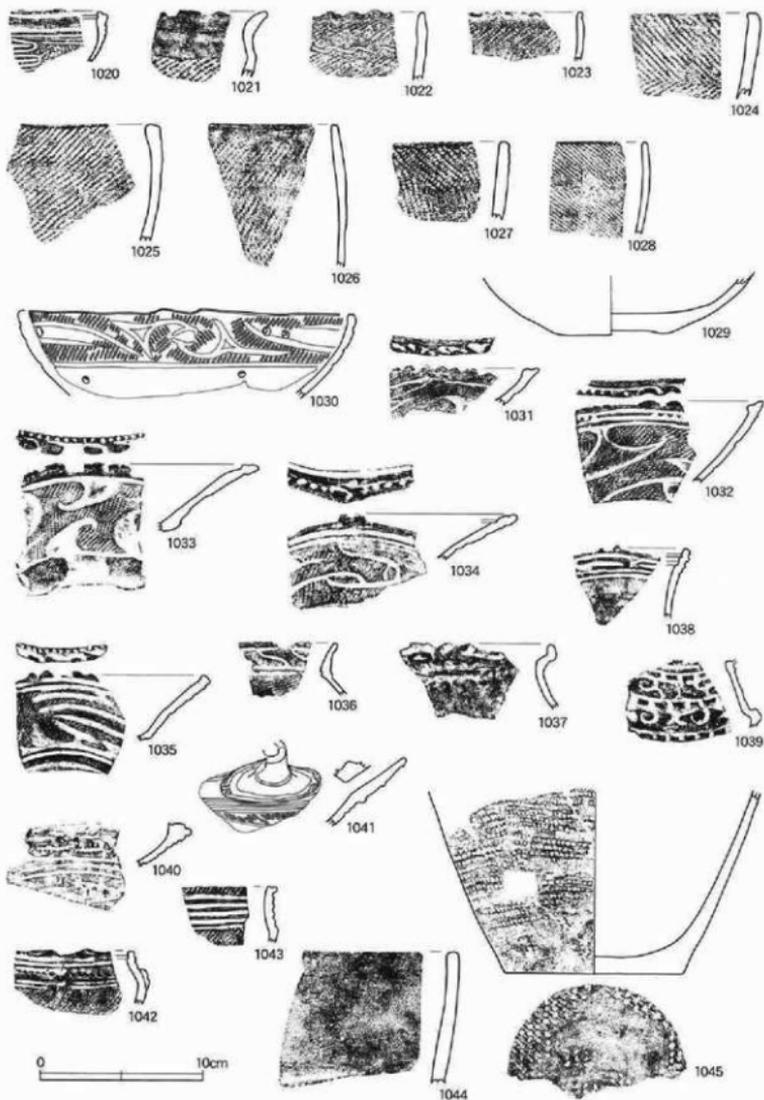
第66圖 遠構外出土遺物（土器47）



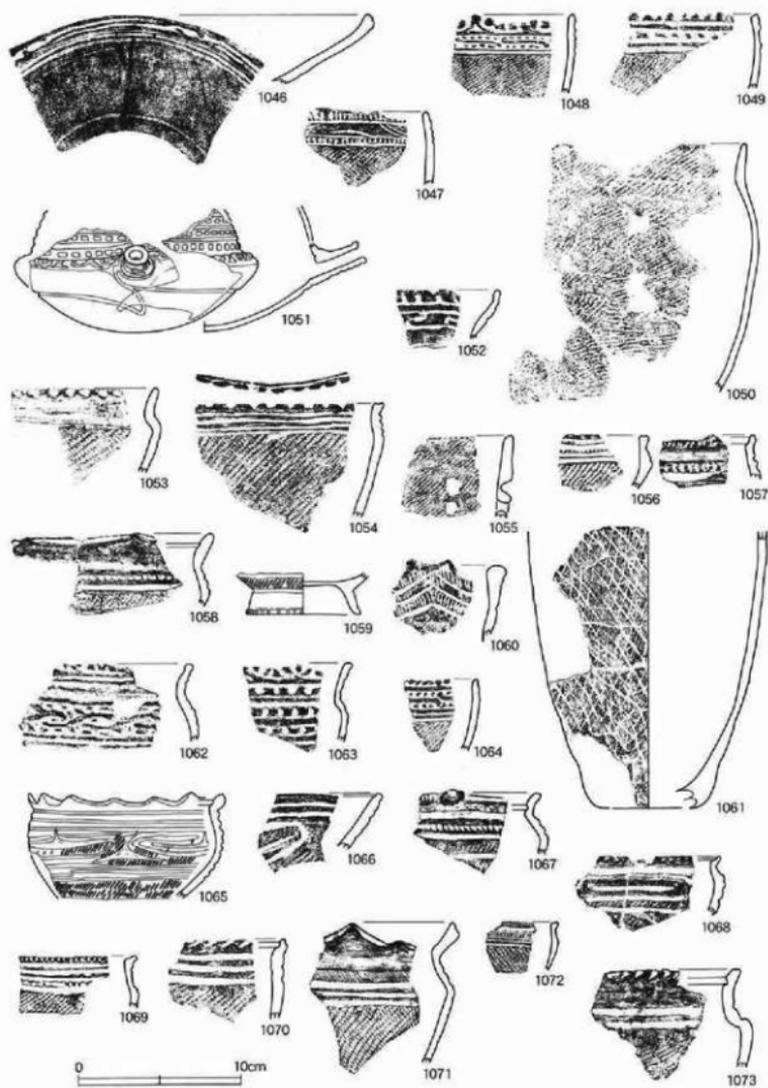
第67圖 遠橋外出土遺物 (土器48)



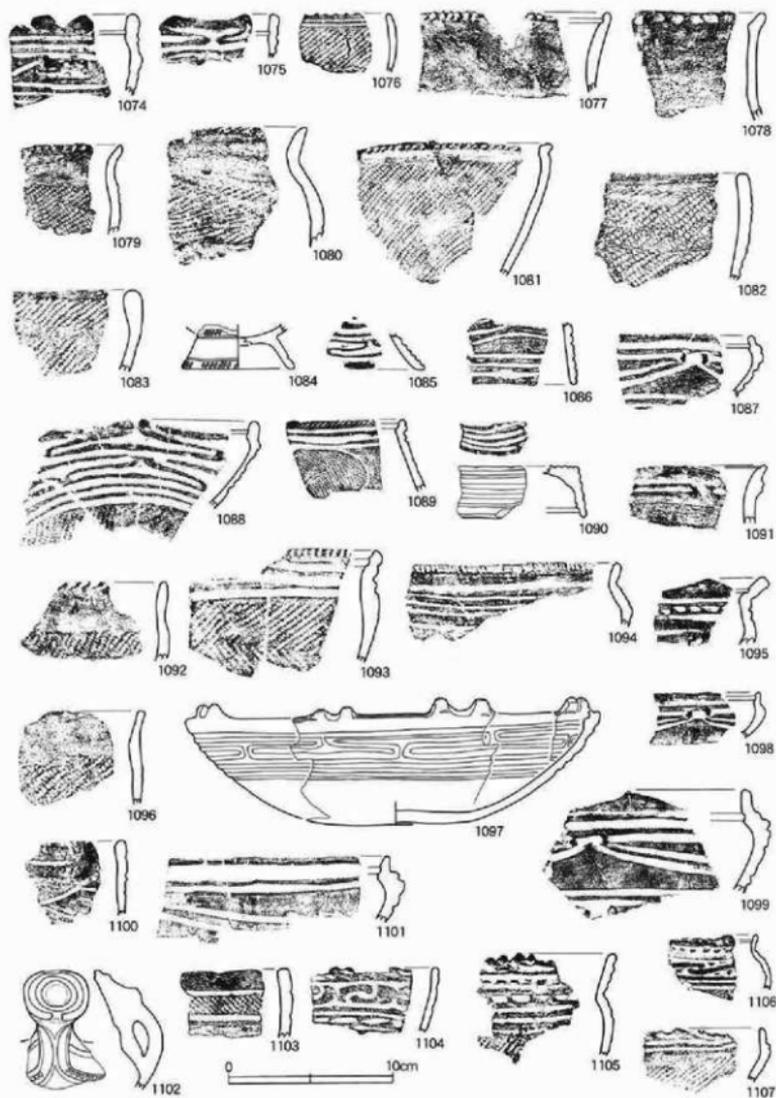
第68圖 遺構外出土遺物(土器49)



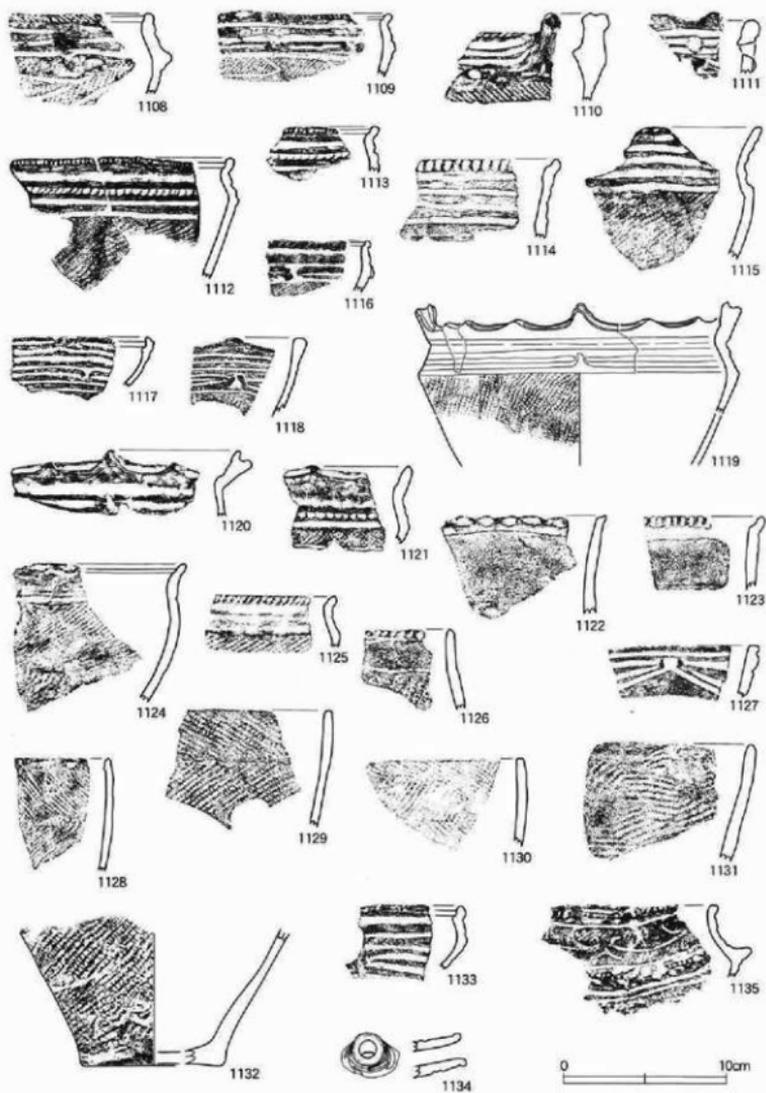
第69回 遺構外出土遺物 (土器50)



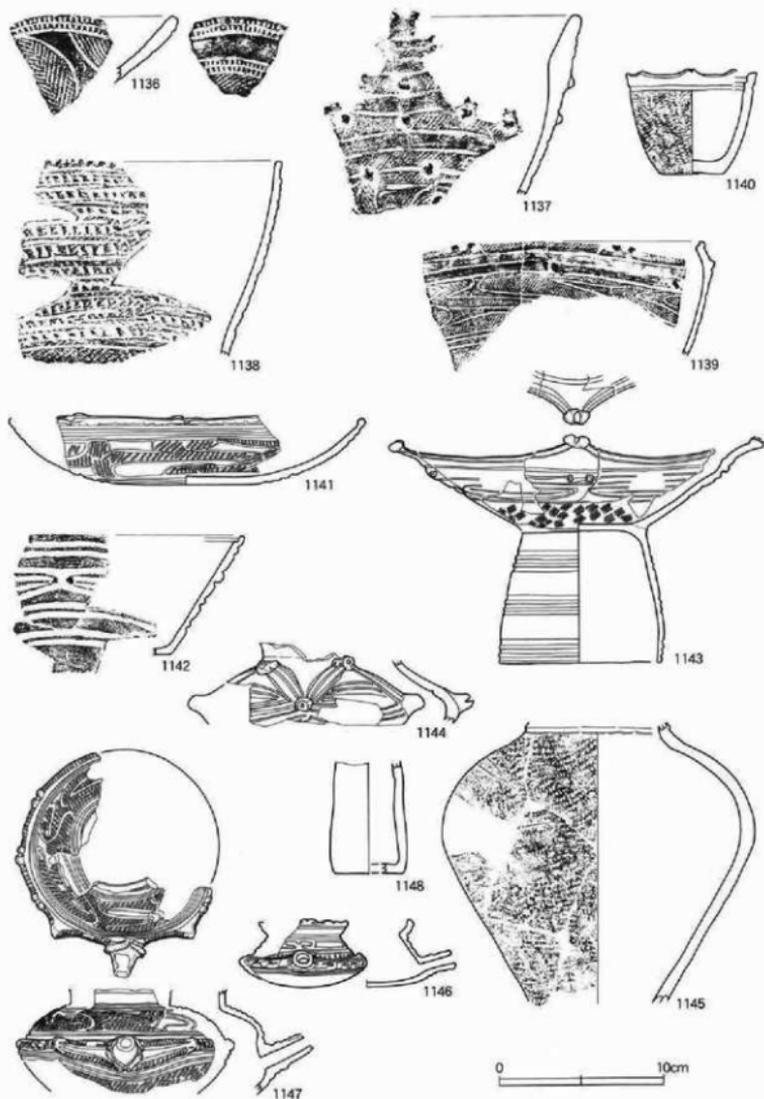
第70圖 遺構外出土遺物(土器51)



第71圖 遺構外出土遺物 (土器52)



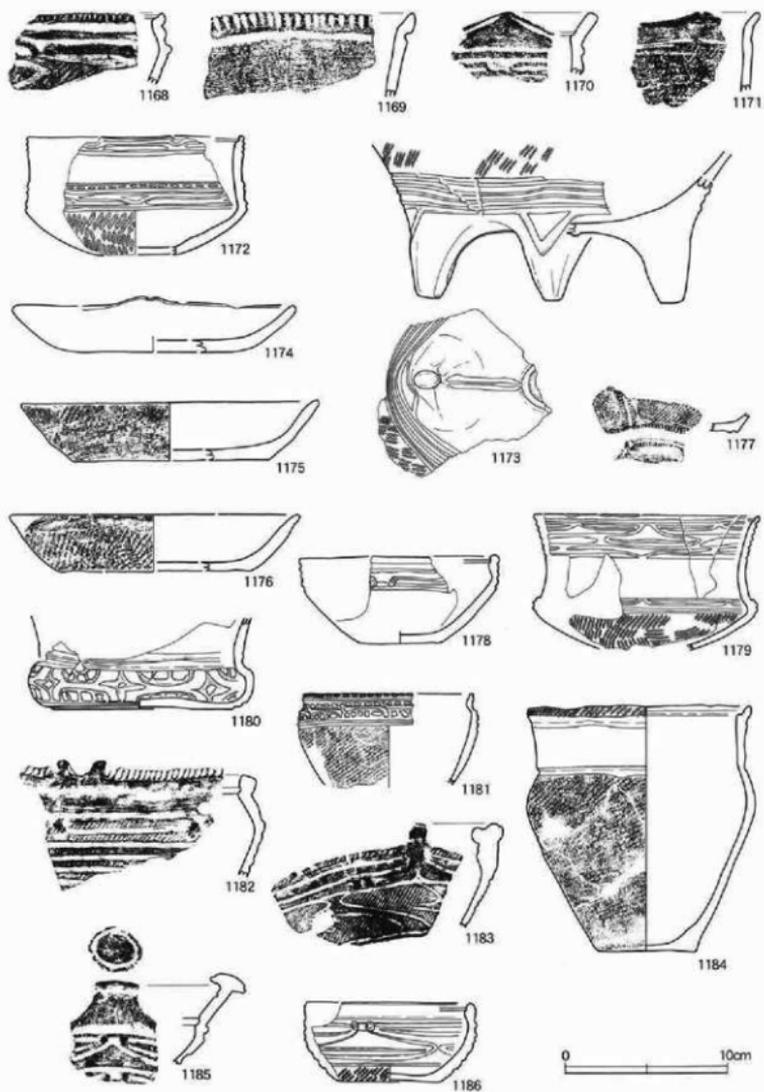
第72圖 遠橋外出土遺物（土器53）



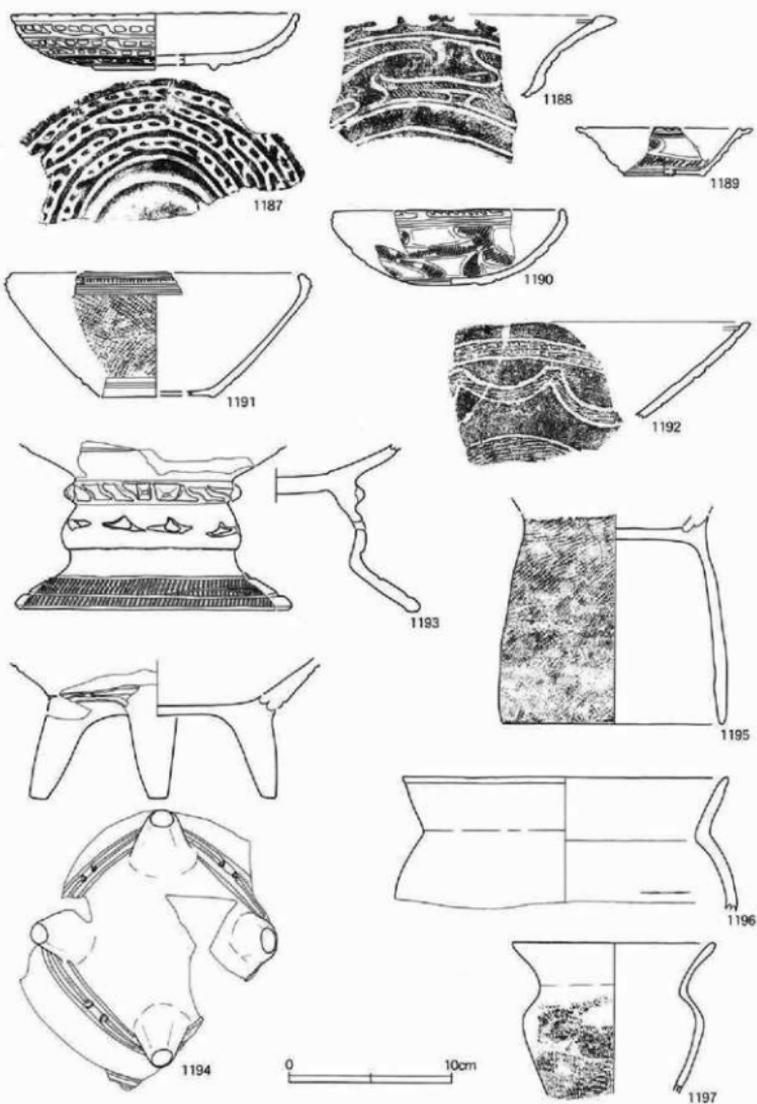
第73图 透模外出土遺物(土器54)



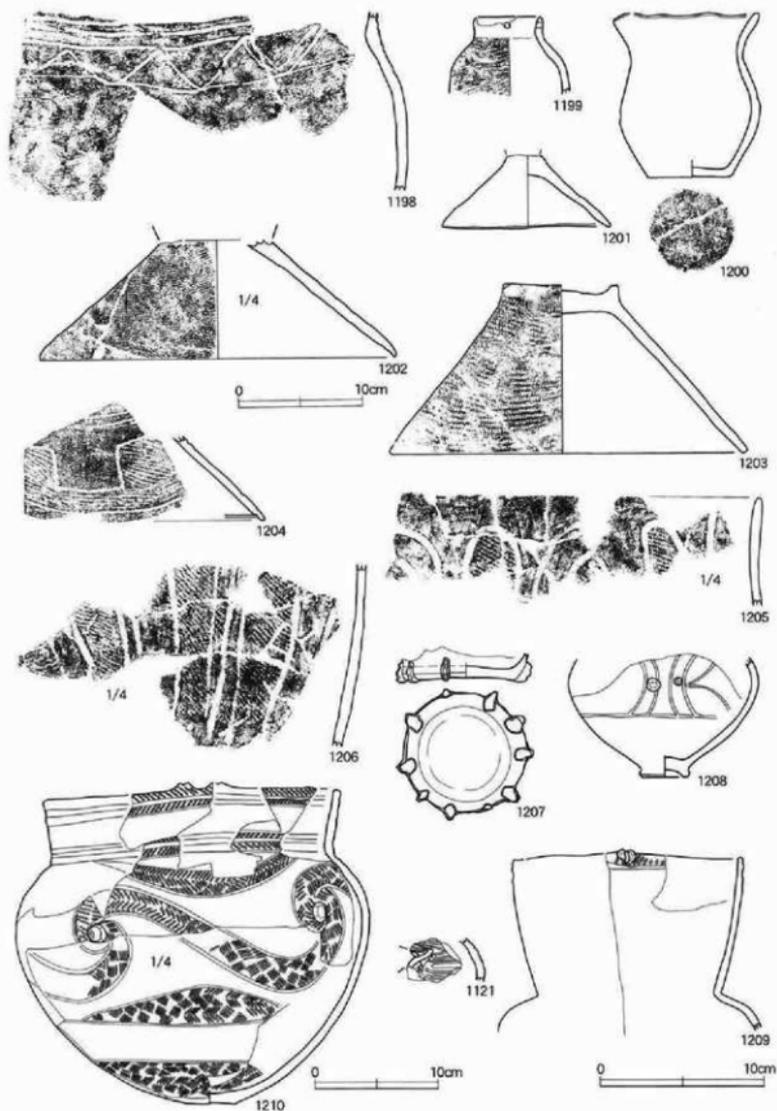
第74回 遺構外出土遺物 (土器55)



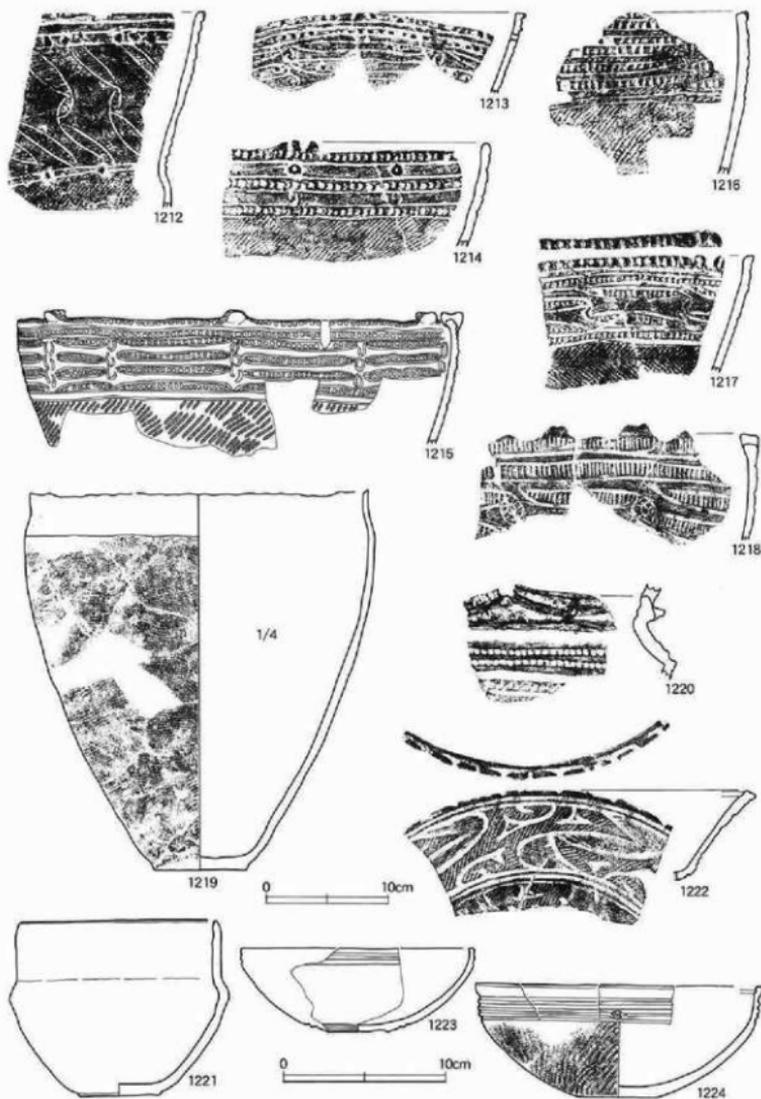
第75図 遺構外出土遺物（土器56）



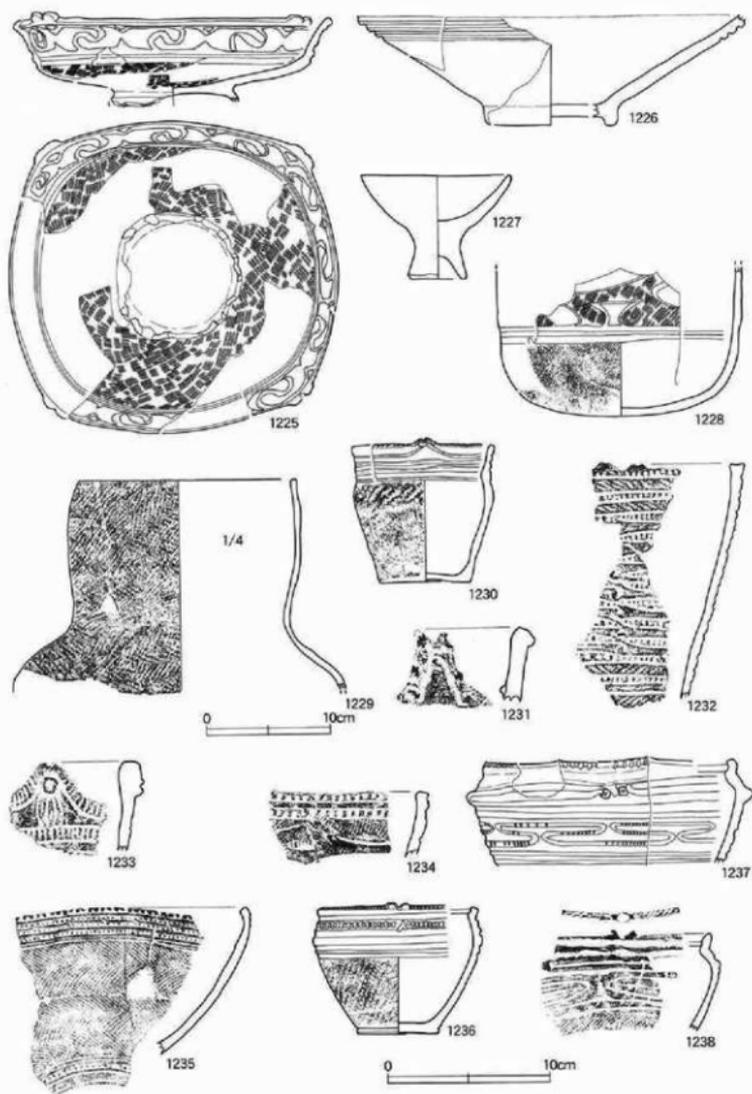
第76図 遠構外出土遺物(土器57)



第77圖 遺構外出土遺物(土器58)



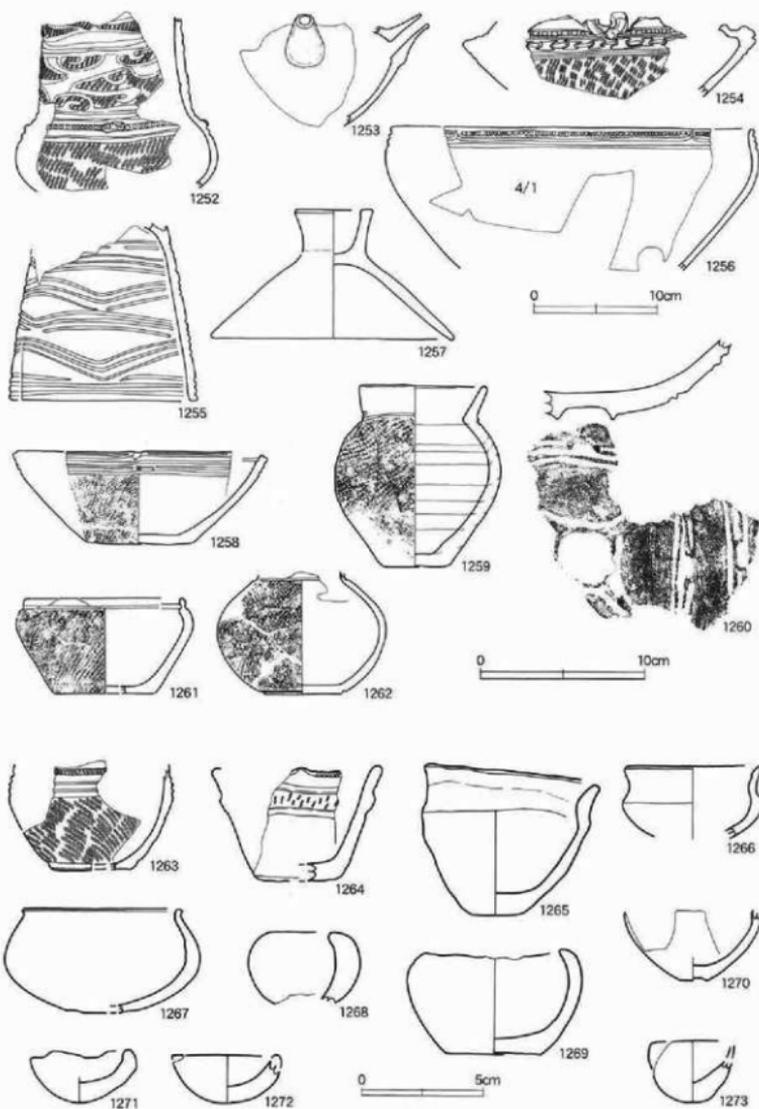
第78圖 遺構外出土遺物(土器59)



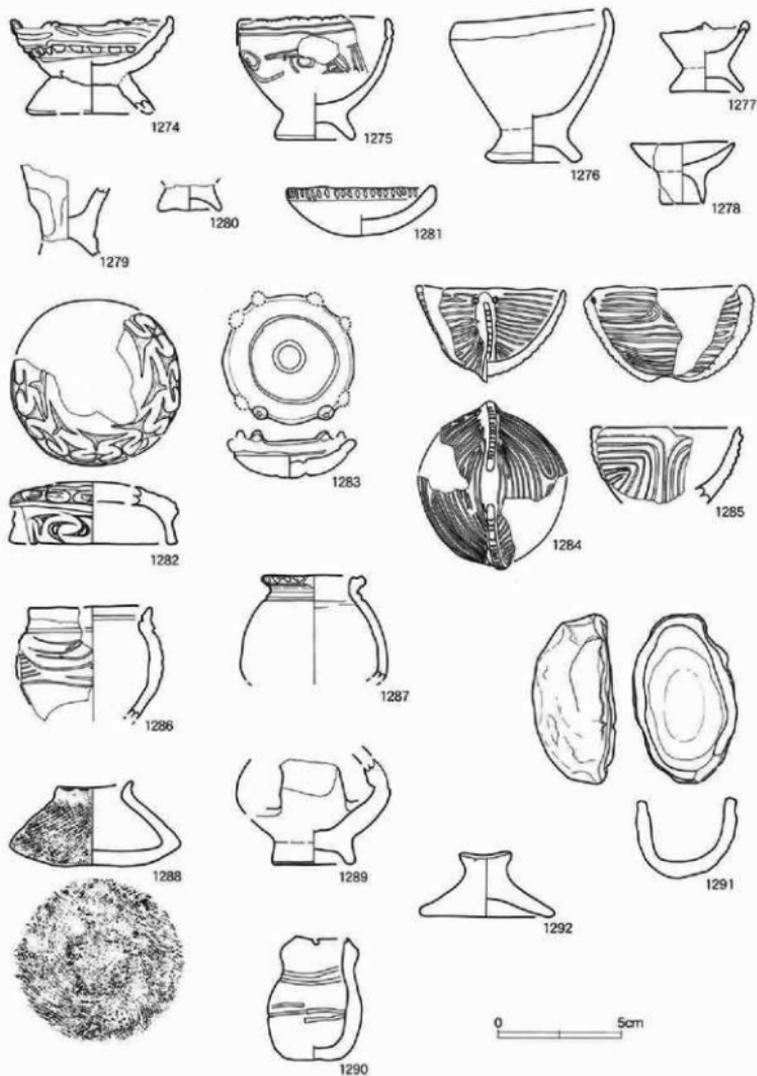
第79圖 遺構外出土遺物(土器60)



第80圖 遺構外出土遺物 (土器61)



第81回 遺構外出土遺物(土器62)



第82回 遺構外出土遺物（土器63）

第6表 遺構外出土土器観察表

図番	位置・局位	器種	部位	分類	横 様 の 特 徴
206	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層 R P 25 b	蓋	完形	V	地文のみ、R L?、施文後一部撫で 内面スス付着
207	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層 R P 25 a	蓋	口縁部欠	V	地文のみ、縁納り、縄文施文後一部撫で 底部木炭痕・地成後の穿孔有、L R
208	B区 MR34 Ⅲ層 R P 01	深鉢	完形	VI	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
209	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層	浅鉢	半完形	V-1	口唇・口縁内沈線、変形工字文(沈線) 平行沈線、地文L R?、金雲母多
210	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層	台付浅鉢	高台欠	V-2	波状口縁、口縁内沈線、沈線区画の磨消 縄文、口縁部沈線間刻み列、L R 金雲母多、内面磨き
211	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層	台付浅鉢?	胴部	V-2	波状口縁、沈線区画の磨消縄文、L R 金雲母多、内面磨き
212	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層	台付浅鉢?	高台部	V-1	平行沈線、磨消縄文・L R、金雲母多
213	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層	蓋	口~胴部	V-1	口縁部無文・磨き、頸部平行沈線、L R 金雲母多
214	A 3号沢跡 MG42 Ⅱ層	蓋	半完形	V	無文
215	A 3号沢跡 MG43 Ⅱ層	鉢	半完形	V-1	工字文(沈線)、L R、口縁内沈線 内面磨き
216	A 3号沢跡 MG43 Ⅲ層	蓋?	把手欠	V-2	山形沈線文、刺突文、把手中央穿孔有
217	A 3号沢跡 MG43 Ⅲ層	台付浅鉢	底部欠	V-1	変形工字文(沈線)、口縁内沈線、磨き
218	A 3号沢跡 M 140 Ⅱ層 R P 5	甕	完形	V	地文のみ、L R、口縁部無文、横方向撫で 底部網代痕
219	A 3号沢跡 M 140 Ⅱ層	甕	底部欠	V	無文
220	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層 R P 3	甕	口~胴部	V	無文、内外面スス付着、小波状口縁
221	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層	台付鉢	台部	V	無文、外面磨き、内面輪痕
222	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層 R P 2	蓋	口縁部欠	V-2	沈線区画の磨消縄文、L R、底部網代痕
223	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層	浅鉢(蓋?)	口縁部片	V-2	口縁内沈線、沈線区画の磨消縄文 区画内横走短沈線、L R、磨き、金雲母多
224	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層 R P 4	蓋	半完形	V	無文、把手内面赤色顔料付着 内外面口縁スス付着
225	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層	蓋	半完形	V	無文、外面撫で、内外面口縁スス付着 把手接合部指頭圧痕
226	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層	蓋	完形	V-2	平行沈線、山形文(沈線)、金雲母多
227	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層	蓋	把手 口縁欠	V-2	沈線区画の磨消縄文、縄文部に刺突列 L R?、金雲母多
228	A 3号沢跡 M 140 Ⅲ層	蓋	完形	V	地文のみ、R L
229	A 3号沢跡 M 141 Ⅲ層	鉢	口~胴部	V-2	頸部平行沈線・山形沈線文、L R 内面磨き、内外面スス付着
230	A 3号沢跡 M 142 Ⅲ層	蓋	口~胴部	V-2	沈線区画の磨消縄文、L R
231	A 3号沢跡 M 141 Ⅲ層	蓋	口~胴部	V-2	口縁部無文、平行沈線、磨消縄文、L R? 内面スス、金雲母多
232	A 3号沢跡 M 141 Ⅲ層	蓋	胴部片	V-2	沈線区画の磨消縄文 区画内縦走短沈線、L R、金雲母多
233	A 3号沢跡 M 142 Ⅲ層	蓋	半完形	V-2	平行沈線、竹管刺突列、外面磨き

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
234	A5 MD56 Ⅱ層上面	鉢	口～底部	Ⅲ-3	口唇刻みの小山形口縁、口縁内沈線 直線的な羊歯状文、L、R、沈線上突起1個
235	A5 MD56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	羽状縄文、R、L
236	A5 MD56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	沈線区画の磨消縄文、L、R
237	A5 MD56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	沈線区画の磨消縄文(入組帯状文?)、R、L
238	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、羊歯状文、内面磨き
239	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的な小山形口縁 直線的な羊歯状文、L、R
240	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、平行沈線、L、R
241	A5 MD56 Ⅱ層	深鉢	完形	Ⅲ-3	浮彫的な突起列、直線的な羊歯状文 口縁内沈線、磨消縄文、L、R、内面磨き
242	A5 MD56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-3	庄痕の山形口縁 右下がりの横走短沈線、平行沈線、ス、ス
243	A5 MD56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形口縁、口唇刻み沈線 口縁部平行沈線間無文・磨き、L、R
244	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み、口縁上端刻み列、平行沈線 L、R
245	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形口縁、口縁内沈線、沈線文と刺突列
246	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	A突起、口唇刻み列 口縁上端隆起帯上突起・沈線 口縁内平行沈線、矢羽状沈線文
247	A5 MD56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁部無文、R、L 内面ス、ス
248	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅳ	刻みの小山形口縁、地文のみ、R、L
249	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅳ	地文のみ、L、R、縦筋り
250	A5 MD56 Ⅱ層	鉢	底部片	Ⅳ	底部木炭痕
251	A5 MD56 Ⅱ層	台付鉢?	台部	Ⅳ	地文L、R、台下端部縄文L、R、磨き
252	A5 MD56 Ⅱ層	鉢?	頸～底部	Ⅳ	地文L、R、上げ底ぎみ
253	A5 MD56 Ⅱ層	浅鉢	口～胴部	Ⅲ-3	浮彫的な突起列、平行沈線 半浮彫的な磨消縄文、L、R、ス、内面磨き
254	A5 MD56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刺突列、半浮彫的な磨消縄文、L、R
255	A5 MD56 Ⅱ層	浅鉢	口～底部	Ⅲ-3	口唇部短沈線状刺突、浮彫的な磨消縄文 内面磨き
256	A5 MD56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形口縁、口唇刻み沈線、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、L、R
257	A5 MD56 Ⅱ層RP11	壺	胴上部	Ⅲ-4	胴部・無文・磨き、L、R
258	A5 MD56 Ⅱ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄痕の小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、刺突列、羽状縄文、R、L・L、R
259	A5 MD56 Ⅱ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線 内面縄文施文の微隆帯、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L、R
260	A5 MD56 Ⅱ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、口縁部無文・磨き 平行沈線、L、R
261	A5 MD56 Ⅱ層上	深鉢	口縁部片	Ⅳ	地文のみ、L、R
262	A5 MD56 Ⅱ層上	浅鉢	半壳形	Ⅲ-3	口唇刻み・半浮彫的な突起列 沈線区画の浮彫的な磨消縄文、内面磨き
263	A5 MD56 Ⅱ層上	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列、沈線区画の磨消縄文 L、R、内面磨き

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
264	A 5 MD56 Ⅱ層上	浅鉢	完形	Ⅲ-5	口唇沈線、平行沈線、内外面磨き 赤色塗彩、方形ぎみ底面・四隅瘤状脚
265	A 5 MD56 Ⅱ層上	注口土器	胴下半部	Ⅲ-3	沈線区画の磨消縄文、I、R
266	A 5 MD56 Ⅱ層上	注口土器	胴部片	Ⅲ-3	肩部半浮彫的突起列、平行沈線 半浮彫的磨消縄文、L、R、赤色塗彩
267	A 5 MD56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	突起、沈線文(二文系?)
268	A 5 MD56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	突起、刻みの小山形口縁、平行沈線 短沈線の連続文風、I、R
269	A 5 MD56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、連続文、平行沈線 L、R
270	A 5 MD56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	IV	山形波状口縁、口唇一部短沈線 口縁内沈線、変形十字文(沈線)
271	A 5 MD56 Ⅱ層下	台付鉢?	底部	VI	高台無文、地文I、R
272	A 5 MD56 Ⅱ層下	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、平行沈線、刺突列、L、R 内面磨き
273	A 5 MD56 Ⅱ層下	浅鉢	底~底部	Ⅲ-3	沈線区画の磨消縄文、I、R、内面磨き
274	A 5 MD57 Ⅱ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	突起、口唇斜め刻み、平行沈線 突起、屈曲沈線文、L、R
275	A 5 MD57 Ⅱ層	注口土器	注口部	Ⅱ-3 b	無文、磨き
276	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	口唇刻み列、平行沈線、連続文、L、R
277	A 5 MD57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-3	庄底の小山形口縁、横短沈線? 弧状沈線文?、L、R、縁筋り
278	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇斜め刻み、平行沈線、突起 沈線区画の磨消縄文、I、R
279	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇斜め刻み、口縁内沈線、平行沈線 屈曲沈線(I、R文系?)、L、R、スス
280	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みのある突起列、口縁内沈線 平行沈線、沈線区画の磨消縄文、L、R
281	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形口縁、口唇短沈線、口縁内沈線 刺突列、沈線区画の磨消縄文、I、R
282	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口~胴部	Ⅲ-4	口唇突起、斜め刻み、口縁内沈線 平行沈線、屈曲沈線(I、R文系) I、R、スス付着
283	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 隆帯上突起・沈線区画の磨消縄文 I、R、内面磨き
284	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み、平行沈線、肩部刻み列、L、R 内面スス
285	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、口縁上端刻み列、平行沈線 刺突列、L、R、内外面スス
286	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	小突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、I、R
287	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、口縁上端刻み列、平行沈線 刺突列、L、R
288	A 5 MD57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄底の小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、L、R
289	A 5 MD57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄底の山形口縁、平行沈線、L、R
290	A 5 MD57 Ⅱ層	深鉢	口縁部	Ⅲ-4	B突起、口唇刻み、口縁内沈線、平行沈線 L、R

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
291	A 5 MD57 Ⅱ肩	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	丘腹の小山形口縁上端刻み列・沈線1条運 類部無文、LR
292	A 5 MD67 Ⅱ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起、口縁内沈線、平行沈線、RL
293	A 5 MD57 Ⅱ肩	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形口縁、口縁内沈線、平行沈線、LR スズ付着
294	A 5 MD57 Ⅱ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形突起、口唇沈線、隆帯上刻み列 平行沈線・刺突列、羽状縄文、RL?
295	A 5 MD57 Ⅱ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、上端隆帯2個1対突起・斜め刻 み列、平行沈線、刺突列
296	A 5 MD57 Ⅱ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	A突起、口唇短沈線?、刺突列 ↑字文(沈線)、地文
297	A 5 MD57 Ⅱ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁上端縄文(LR)・沈線、顔部無文、LR
298	A 5 MD57 Ⅱ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端突起・刻み列 沈線1条運る、LR
299	A 5 MD57 Ⅱ唇	深鉢	口縁部	Ⅲ-4	丘腹の小山形口縁、口縁部無文 地文のみ、LR
300	A 5 MD57 Ⅱ唇	深鉢	口縁部	VI	口縁部無文、顔部沈線1条運る、LR?
301	A 5 MD57 Ⅱ唇	深鉢	口縁部片	VI	口縁部無文、LR
302	A 5 MD57 Ⅱ唇	深鉢	口縁部片	VI	丘腹の小山形口縁、地文のみ、RL
303	A 5 MD57 Ⅱ唇	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL、スズ
304	A 5 MD57 Ⅱ唇	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL、付加条?
305	A 5 MD57 Ⅱ唇	台付鉢?	台部片	Ⅲ-3	沈線の半浮彫的文様、円形透かし 連続文
306	A 5 MD57 Ⅱ唇	浅鉢?	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突列、平行沈線 半浮彫的な磨消縄文(充填)、LR
307	A 5 MD57 Ⅱ肩	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇短沈線状刺突、内面平行沈線 沈線区画の磨消縄文、LR
308	A 5 MD57 Ⅱ唇	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇短沈線、内面平行沈線 沈線区画の磨消縄文、LR
309	A 5 MD57 Ⅱ唇	浅鉢?	口縁部片	Ⅲ-4	口唇短沈線、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、LR
310	A 5 MD57 Ⅱ肩	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-5	変形工字文(縄文施文?) 口唇・口縁内沈線 山形突起・2個1対の小山形突起、LR
311	A 5 MD57 Ⅱ肩	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線、磨き
312	A 5 MD57 Ⅱ唇	台付浅鉢	台下下部	Ⅲ-5	平行沈線、一部↑字文(貼帯)、磨き 底内円文(沈線)
313	A 5 MD57 Ⅱ唇	脚付浅鉢	半圆形	Ⅲ-5	口縁内沈線、2個1対突起 平行沈線・↑字文(半浮彫的) 突起状の4脚、内面磨き
314	A 5 MD57 Ⅱ唇	壺	口縁部	Ⅲ-3	無文、磨き、赤色塗彩
315	A 5 MD57 Ⅱ唇	注口土器	注口部	Ⅲ-3	肩部隆帯上刻み、沈線区画の磨消縄文 RL?
316	A 5 ME56 Ⅱ層上面	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	小突起、口唇刺突列、粘土地、地文
317	A 5 ME56 Ⅱ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈 線上突起、沈線区画の磨消縄文、LR
318	A 5 ME56 Ⅱ層上面	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
319	A 5 ME56 Ⅱ層上面	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
320	A 5 ME56 Ⅲ層上面	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-5	無文、磨き

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
321	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	刻みの内状突起 沈線区画の充填縄文、L
322	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	磨消縄文、羽状縄文、RL
323	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	突起、沈線文(三叉文系?)
324	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、半浮彫的羊歯縄文、LR
325	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	羊歯状文、磨き
326	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 羊歯状文、RL、スス
327	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、羊歯状文、LR 内面スス
328	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、直線的な羊歯状文 LR
329	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの山形口縁、連続文 沈線文(羊歯状文?)、内面スス
330	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	口縁上端刻みの小山形口縁 沈線文(羊歯状文?)・RL
331	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的な突起列、平行沈線、連続文 LR
332	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的羊歯状文、磨消縄文、RL 内面磨き
333	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	小突起と刻み状小山形口縁 直線的な羊歯状文 沈線区画の磨消縄文LR、口縁内沈線
334	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、口縁内沈線 直線的な羊歯状文 沈線区画の磨消縄文RL、スス
335	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口～胴部	Ⅲ-3	山形突起、半浮彫的突起列 刻み状の連続文、磨消縄文、LR 内面磨き
336	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口～胴部	Ⅲ-3	口縁内沈線、半浮彫的突起、平行沈線と 2段交互的刺突、磨消縄文、LR?
337	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列、平行沈線倒刺突列 胴部2個1対突起、LR、内面スス
338	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、胴部無文・磨き 刻み状の連続文、磨消縄文、LR、スス
339	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列、平行沈線、刺突列 内面スス
340	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口～胴部	Ⅲ-3	口唇・口縁内沈線、口縁上端刻み 胴部・無文・磨き、平行沈線、刻み列、LR
341	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、口縁内沈線、平行沈線 2段交互の刺突文、内面スス
342	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇間隔ある刻み、平行沈線 2段交互の刺突文、RL
343	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	広度の小山形口縁、平行沈線 2段交互の刺突文
344	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの山形口縁、平行沈線 2段交互の刺突文、LR
345	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇間隔ある刻み、平行沈線、刺突文 LR、内面スス

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
346	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口縁上端刺突列、沈線区面の磨消縄文 L・R、内面磨き
347	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇軽い丘状、平行沈線、羽状縄文 R・L・R、内面スス
348	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	肩みの小山形口縁、平行沈線、R・L 内外面スス
349	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口縁内沈線、口縁上端刺突列、平行沈線 刺突列、R・L
350	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	V	平行沈線、地文のみ R・L、金雲母多
351	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	間隔ある刻みの小山形口縁、平行沈線 L・R、縁磨り？、内面スス
352	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	大突起1組、口唇刺み列、口縁内沈線 隆着上沈線、沈線区面の磨消縄文、L・R 内面磨き
353	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇刺み列、口縁内沈線 平行沈線、沈線区面の磨消縄文、L・R
354	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇刺み列、口縁内沈線 隆着上沈線・突起、沈線区面の磨消縄文 L・R、内面磨き
355	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起・口唇沈線、口縁上端刺み列 平行沈線、沈線区面の磨消縄文、L・R 内面磨き
356	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	突起、口唇斜め刺み列、口縁内沈線 平行沈線、屈曲沈線文上突起、L・R 内面スス
357	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇小突起、短沈線 沈線区面の磨消縄文、L・R
358	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	小波状口縁、口唇沈線、内面沈線並る 沈線区面の磨消縄文、L・R
359	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刺突列、口縁内沈線、平行沈線 刺突列、L・R、内面磨き
360	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刺み列、口縁内沈線、平行沈線 刺突列、L・R
361	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇刺み列、口縁内沈線 平行沈線、L・R
362	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、山形突起、口縁部磨き 胴上部平行沈線、沈線上突起、L・R 内面磨き
363	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刺み列、口縁内沈線、平行沈線 刺突列、L・R、内面スス
364	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	突起、口縁内沈線、口縁上端刺み列 平行沈線間無文、羽状縄文、L・R・R・L
365	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	突起、口縁内沈線、口縁上端刺み列 頸部無文・磨き、L・R
366	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁上端刺み列、口縁内沈線、羽状縄文 L・R・R・L
367	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	丘状の小山形口縁、口縁内沈線 口縁部無文、L・R
368	A5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	平行沈線、L・R、内面磨き、スス

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
369	A 5 MF56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇凸条列、平行沈線、LR
370	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇凸条列、口縁部無文・磨き 肩帯平行沈線、LR
371	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形口縁、口唇凸条 口縁上端沈線1条迄る 頸部無文・磨き、LR
372	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形小波状口縁、口唇短沈線、平行沈線 沈線間無文、LR
373	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端刻み列 肩帯隆帯上突起・沈線、LR
374	A 5 MF56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	山形口縁、口唇・口縁内沈線、平行沈線 刻み列、肩帯隆帯上突起・刺突列、RL
375	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起、口唇・口縁内沈線、平行沈線 磨き、スス付着、LR
376	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端刻みの突起列 平行沈線、LR
377	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端2個1対突起・刻み列 沈線1条迄る、羽状縄文、LR・RL
378	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	小突起、口唇短沈線、口縁内沈線 工字文(沈線・貼面)、内面磨き
379	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、口縁部無文 LR
380	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	斜め刻みの小山形口縁、口縁部無文、LR 内面スス
381	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口~胴部	Ⅲ-4	刻み状の小山形口縁、口縁部無文、LR
382	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	光形底部文	Ⅲ-4	刻み状の小山形口縁、口縁部無文、RL?
383	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁部無文、LR、スス
384	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁部無文、LR、スス
385	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁部無文 羽状縄文、LR
386	A 5 ME56 Ⅲ層	鉢	胴上半	Ⅲ-4	刻み状の小山形口縁、口縁部無文 地文のみ・RL
387	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	完形	VI	地文のみ、刻み状の小山形口縁、RL 底部上げ底ぎみ、内面スス付着
388	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	汗斑の山形口縁、地文のみ、LR
389	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RI
390	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、異段、R+r
391	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
392	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
393	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・RL、外面スス
394	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、L、縦線り、外面スス
395	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR、縦線り、スス
396	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR
397	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR、内面スス
398	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、L
399	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL、スス
400	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR、内面磨き
401	A 5 ME56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、口縁内側に折り返し 施文後軽く横で

図番	位置・部位	器種	部位	分類	模様の特徴
402	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R、外面スス
403	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
404	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R、外面スス
405	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
406	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L
407	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
408	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
409	A5 ME56 Ⅱ層	深鉢	底部	Ⅵ	地文、R L、底部網代痕
410	A5 ME56 Ⅱ層	台付鉢?	台部片	Ⅲ-2	沈線と円形透かし
411	A5 ME56 Ⅱ層	台付鉢?	台部	Ⅲ	沈線、台下端部縄文 L R、磨き
412	A5 ME56 Ⅱ層	台付鉢?	台部片	Ⅲ	沈線、台下端部縄文 L R、磨き
413	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L R 内外面赤色塗彩
414	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
415	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	平行沈線、磨消縄文、L R
416	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列と刻み、口縁内沈線 沈線区画の半浮彫的磨消縄文、L R 内面磨き
417	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、平行沈線、刻み列、L R
418	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇沈線、沈線区画の磨消縄文 L R、内面沈線巡る、磨き
419	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口唇部片	Ⅲ-4	口唇沈線、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
420	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	半完形	Ⅲ-4	山形口縁、口唇・口縁内沈線、磨消縄文 L R? 底内沈線巡る、内面磨き
421	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-4	口唇短沈線状刻み、小山形口縁 内面磨き・底部沈線1条巡る 沈線区画の磨消縄文 L R
422	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	丘塚の小山形口縁、口唇・口縁内沈線 内面沈線巡る、磨消縄文、L R
423	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部	Ⅲ-5	平行沈線、口縁内沈線、内外面磨き
424	A5 ME56 Ⅱ層 R P 22	浅鉢	先形	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文 (沈線・盛瘤) L R
425	A5 ME56 Ⅱ層 R P 29	浅鉢	先形	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文 (沈線・盛瘤) L R、赤色顔料付着
426	A5 ME56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文 (沈線・盛瘤) 内面磨き
427	A5 ME56 Ⅱ層	台付浅鉢	半完形	Ⅲ-2	浮彫的突起 (列?)、沈線の半浮彫的文様 台座玉拍二又文状透かし、L R?
428	A5 ME56 Ⅱ層	壺	口~胴部	Ⅲ-2	無文、磨き、赤色塗彩
429	A5 ME56 Ⅱ層	壺	口~胴部	Ⅲ-3	頸部平行沈線、内外面磨き、赤色塗彩
430	A5 ME56 Ⅱ層 R P 32	壺	底部欠	Ⅲ-3	口唇・口縁内沈線 頸部・無文・磨き・刻み列と小突起 体上半磨消縄文、沈線、L R
431	A5 ME56 Ⅱ層	壺	底部欠	Ⅲ-3	口縁~頸部・無文・磨き 体上半磨消縄文、L R

図番	位置・部位	器種	部位	分類	横標の特徴
432	A5 ME56 Ⅱ層R P28	蓋	底部欠	Ⅲ-4	刻みのある突起1個、口縁内沈線 平行沈線、頸部無文・磨き 肩部沈線上突起1個、羽状縄文、L R・R L
433	A5 ME56 Ⅱ層	蓋	口縁部	Ⅲ-3	無文、外面磨き、赤色塗彩、頸部隆帯?
434	A5 ME56 Ⅱ層	蓋	口縁部	Ⅲ-4	口縁部無文、磨き、R L
435	A5 ME56 Ⅱ層	蓋	口縁部片	Ⅲ-4	口縁部無文・磨き、L R、線絡り
436	A5 ME56 Ⅱ層	蓋	口縁部片	Ⅲ-4	口縁部無文・磨き、L R
437	A5 ME56 Ⅱ層	蓋	口縁部片	Ⅲ-4	口縁部無文・磨き、R L
438	A5 ME56 Ⅱ層	蓋	口縁部片	Ⅲ-4	口縁部無文・磨き、R L
439	A5 ME56 Ⅱ層R P31	蓋?	胴下半	Ⅲ	地文のみ、L R
440	A5 ME56 Ⅱ層	注口土器	胴部	Ⅲ-3	肩部半浮彫的突起列、磨消縄文、L R
441	A5 ME56 Ⅱ層	注口土器	口縁部片	Ⅲ-4	口唇小突起・刻み列、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、R L、赤色塗彩 内面磨き
442	A5 ME56 Ⅱ層	注口土器	口縁部片	Ⅲ-4	口唇小突起・刻み列、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、R L、赤色塗彩 内面磨き
443	A5 ME56 Ⅱ層	注口土器	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁上端刻み列、磨消縄文 L R、赤色塗彩
444	A5 ME56 Ⅱ層	注口土器	胴部	Ⅲ-4	肩部突起、沈線区画の磨消縄文、L R
445	A5 ME56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	I	波状口縁、沈線間刺突列 沈線区画の磨消縄文、R L?
446	A5 ME56 Ⅱ層下	深鉢	口縁部片	Ⅱ-1	大波状口縁、口縁内側肥厚 口縁上端・頸部沈線区画の刻み列、磨き
447	A5 ME56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	突起、沈線区画の刺突列、沈線文
448	A5 ME56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	三叉文?(沈線)、平行沈線、磨消縄文、L R
449	A5 ME56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、刻みの小山形口縁 直線的な半歯状文、L R
450	A5 ME56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ	刻みの小山形口縁、地文のみ、L R
451	A5 ME56 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ	地文のみ、L R、内面スス
452	A4 号沢跡 ME56 2層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	口唇刻み列、沈線区画の刺突文、L R
453	A4 号沢跡 ME56 2層	鉢	底部片	VI	底部網代痕
454	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	沈線文
455	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	台状突起、口縁内側肥厚 沈線区画の磨消縄文、R L、内面スス
456	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	口縁内沈線・刺突列、羊歯状文、L R
457	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的突起列、直線的な羊歯状文 平行沈線、L R
458	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、刻みの小山形口縁?、口縁内沈線 直線的な羊歯状文、平行沈線、L R
459	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口～胴部	Ⅲ-3	口唇浮彫的突起列、山形突起 口縁内沈線、連続文 沈線区画の磨消縄文、L R
460	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	完形	Ⅲ-3	半浮彫的突起・口唇刻み、口縁内沈線 半浮彫的磨消縄文、隆帯上突起・刻み列 L R、内面磨き
461	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 刺突列、肩部突起、L R

図番	位置・部位	器種	部位	分類	模様の特徴
462	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3	半浮彫的な突起列、口縁内沈線 平行沈線、L・R、内面磨き
463	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	底部欠	Ⅱ-4	口唇B突起・刻み、口縁内沈線 肩部隆帯上沈線・2個1対突起 内面磨き、沈線区画の磨消純文、L・R
464	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口～底部	Ⅱ-4	浮彫の大突起1個、B突起2個、口唇刻み 列、口縁内沈線、肩部隆帯上沈線・突起 浮彫的磨消純文、L・R
465	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇斜め刻み列、口縁内沈線 隆帯上突起、沈線区画の磨消純文、L・R
466	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	半浮彫的突起、平行沈線上突起 沈線区画の磨消純文、L・R、内面磨き
467	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	半浮彫的突起列、平行沈線 沈線区画の磨消純文、L・R、内面スス
468	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口縁内沈線、平行沈線 沈線区画の磨消純文、L・R
469	A5 ME57 Ⅱ層	深鉢	完形	Ⅱ-4	口唇突起・刻みの小山形口縁 口縁内沈線、純文施文の上字文（沈線） 平行沈線、R・L、内面スス
470	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	平行沈線、刻み列、矢羽状沈線文、L・R
471	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	突起、口唇刻み列、平行沈線 矢羽状沈線文、L・R
472	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇斜め刻み列、口縁内沈線、平行沈線 沈線文（変形工字文）、突起、L・R、内面スス
473	A5 ME57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-4	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、R・L
474	A5 ME57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-4	広張の小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線
475	A5 ME57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇斜め刻みの小山形口縁 口縁内沈線、平行沈線、羽状純文、L・R・R・L
476	A5 ME57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線間無文・磨き、地文
477	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	刻みの小山形口縁、平行沈線 肩部刻み列、L・R
478	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	山形突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、磨き、L・R
479	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、L・R、内面スス
480	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口縁上端刻み列、口縁内沈線、平行沈線 肩部隆帯上突起、L・R、内面スス
481	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線間無文・磨き、L・R
482	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線間無文・磨き、L・R
483	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 斜め刻み列、L・R
484	A5 ME57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 刻み列、R・L

図番	位置・部位	器種	部位	分類	模様の特徴
485	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	A突起、口縁上端隆帯上突起 口唇・口縁内沈線、平行沈線 短沈線状刻み列
486	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	山形口縁、口唇・口縁内沈線、平行沈線 短沈線状刺突列、L.R、内面スス
487	A5 ME57 皿層	鉢	完形	Ⅲ-5	山形突起、山形口縁、口唇・口縁内沈線 平行沈線、L.R、内面磨き
488	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端刻み列、平行沈線 L.R
489	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇刻み列、工字文(沈線)、L.R、内面スス
490	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇斜め刻み列、口縁内沈線 平行沈線(変形工字文?)
491	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇斜め刻み列、口縁内沈線 沈線文(変形工字文?)
492	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅳ	波状口縁、口唇・口縁内沈線 変形工字文(沈線、盛瘤)、内面磨き
493	A5 ME57 皿層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁上端斜め刻み列、口縁部無文 頸部沈線1条走る、L.R
494	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	匠底の小山形口縁、頸部沈線1条走る 口縁部無文、L.R
495	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅲ	匠底の小山形口縁、口縁部無文、L.R 内面スス
496	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	V	地文のみ、R.L、金雲母多
497	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L、外面スス
498	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L.R
499	A5 ME57 皿層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L.R
500	A5 ME57 皿層	深鉢	底部片	Ⅵ	地文?、底部木葉痕
501	A5 ME57 皿層	脚付土器	底部	Ⅲ-5	平行沈線、棒状脚(4個)、方形底部
502	A5 ME57 皿層	台付鉢?	台部	Ⅲ	地文L.R、台下端部礫文L.R 底部に焼成後の貫通孔1個
503	A5 ME57 皿層	台付鉢?	台部	V-2	平行沈線、短沈線状刺突列
504	A5 ME57 皿層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	A突起、半浮彫的突起列 沈線区画の磨消純文、L.R 内外面赤色塗彩
505	A5 ME57 皿層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	B突起、口縁内隆帯上刺突列 半浮彫的な磨消純文、L.R
506	A5 ME57 皿層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、口縁内沈線・刻み列 平行沈線、刻み列、R.L、内面磨き
507	A5 ME57 皿層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	匠底の山形口縁、口唇短沈線 幅広沈線の磨消純文、羽状純文、R.L・L.R
508	A5 ME57 皿層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起、口唇短沈線 沈線区画の磨消純文、L.R
509	A5 ME57 皿層	浅鉢	完形	Ⅲ-5	無文、内外面磨き、丸底?
510	A5 ME57 皿層	浅鉢 (台付?)	口~胴部	Ⅲ-5	平行沈線、沈線2個1対の突起 内外面磨き、赤色塗彩
511	A5 ME57 皿層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線・盛瘤 内外面磨き
512	A5 ME57 皿層	台付浅鉢?	底部	Ⅲ-5	無文、内外面磨き、台部再整使用 内底沈線円文

図番	位置・局位	器種	部位	分類	模様の特徴
513	A5 ME57 皿脚	台付浅鉢	外形	Ⅲ-5	山形突起、口唇・口縁内沈線 I字文(沈線)、高台平行沈線・磨き L.R、内面磨き、赤色顔料付着
514	A5 ME57 皿冠	壺	口縁部片	Ⅲ-1	無文、磨き
515	A5 ME57 皿脚	注口土器	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的な文様(沈線)
516	A5 ME57 皿脚	注口土器	胴部	Ⅲ-3	局部浮彫的な突起列、磨消縄文、L.R
517	A5 ME57 皿脚	注口土器	胴部	Ⅲ-3	肩部半浮彫的な突起列・刻み列 沈線区画の磨消縄文、L.R
518	A5 ME57 皿冠	注口土器	胴上部	Ⅲ-3	半浮彫的な磨消縄文、L.R
519	A5 ME57 皿部下	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線 口縁上溝突起・刻み列、平行沈線 中央沈線内浅い斜め刻み列、R.I.
520	A5 ME57 皿部下	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇斜め刻みの小山形口縁 口縁内沈線、平行沈線、羽状縄文、L.R・R.L
521	A5 ME57 皿部下	浅鉢	口~底部	Ⅲ-4	A・B突起、口唇沈線、刻み、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、L.R、内面磨き
522	A5 MF56 皿脚上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	A突起、口唇口縁内沈線、平行沈線 刺突列、L.R、内面スス
523	A5 MF56 皿脚上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、工字文(沈線・盛瘤)、L.R?
524	A5 MF56 皿脚上面	台付鉢	台部	Ⅲ	台部磨き、地文L.R?、底内面円文(沈線)
525	A5 MF56 皿脚上面	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	A・B突起、口唇沈線 沈線区画の磨消縄文、L.R、内面磨き
526	A5 MF56 皿冠	鉢?	胴部下半	Ⅱ	沈線文、R.L
527	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	台状突起、沈線文(三叉文?)
528	A5 MF56 皿冠	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	山形口縁、三叉文系沈線、R.L?
529	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、半角状文、平行沈線、L.R
530	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	山形口縁、口縁上溝状沈線 平行沈線間刺突列
531	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	浮彫的な文様、沈線
532	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	小山形口縁、直線的な半角状文 平行沈線、L.R、内面スス
533	A5 MF56 皿脚	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	口縁内沈線、平行沈線 沈線間交互3段の刺突文 浮彫的な磨消縄文、L.R、磨き
534	A5 MF56 皿脚	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	B突起列、平行沈線、沈線区画の刺突文 磨消縄文、L.R、内面磨き
535	A5 MF56 皿脚	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	A・B突起、口唇半浮彫的な突起列 刻み状の遺珠文、磨消縄文、L.R
536	A5 MF56 皿脚	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	B突起、口縁内沈線、刻み状の遺珠文 磨消縄文、L.R、内面スス
537	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	山形口縁、遺珠文、磨消縄文、L.R、内面スス
538	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列、平行沈線 2段交互の刺突文、L.R、スス付着
539	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、平行沈線、刻み列、L.R
540	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口縁刻み、平行沈線、刻み列、R.L
541	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	小山形口縁、口縁内沈線、平行沈線 刻み列、L.R
542	A5 MF56 皿脚	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、平行沈線、R.L

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
543	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	短みの小山形口縁、平行沈線、LR 内面スス
544	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口～胴部	Ⅲ-3	小山形口縁、平行沈線、LR
545	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起、口唇刻み列、隆帯上突起・沈線 口縁内沈線、沈線区間の磨消縄文 LR、内面磨き
546	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	頂部刻みのA突起、口唇刻み列 平行沈線（縄文施文の工字文?）、LR
547	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、平行沈線、矢羽状沈線文 LR、内面磨き
548	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起、口唇・口縁内沈線 沈線文と刺突列、LR?
549	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 隆帯上横走短沈線 沈線区間の磨消縄文（工字文?）、地文
550	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起、圧痕の小山形口縁 平行沈線刺突列、LR、内面スス
551	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 沈線区間の磨消縄文、LR
552	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起、口唇沈線、隆帯上刻み列 平行沈線、LR
553	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、RL、スス
554	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、短みの小山形口縁、平行沈線、RL
555	A 5 MF 56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	圧痕の小山形口縁、平行沈線
556	A 5 MF 56 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列・突起、平行沈線、RL
557	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線、RL 内面スス
558	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	圧痕の小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、RL
559	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	圧痕の小山形口縁、平行沈線、RL
560	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、平行沈線、LR、スス
561	A 5 MF 56 Ⅲ層	深鉢	胴上部	Ⅲ-4	圧痕の小山形口縁 平行沈線間無文・雑な磨き、LR
562	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	短みの小山形口縁、平行沈線間無文、LR 内面スス
563	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁上短刻み列、平行沈線間無文、LR?
564	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁上短刻み列 平行沈線間無文
565	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 羽状縄文、LR・RL
566	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	小突起、短みの小山形口縁、口縁内沈線 LR
567	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	山形口縁、口唇・口縁内沈線、平行沈線 RL
568	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁上端沈線1条出る 肩突起、LR、内面スス
569	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	平行沈線、羽状縄文、LR・RL
570	A 5 MF 56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、工字文（沈線・磨消）

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
571	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-5	山形口縁、口唇・口縁内沈線 工字文(沈線)
572	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-5	口縁内沈線、底帯上沈線・突起 半浮彫的工字文(沈線)、赤色塗彩、磨き
573	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	丘形の小山形口縁、口縁部無文、R L
574	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	丘形の小山形口縁、口縁部無文、L R 縁飾り、内面スス
575	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	口縁部無文、L R、内面スス
576	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	刻みの小山形口縁、地文のみ、L R 内面磨き
577	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L、スス
578	A 5 MF56 Ⅱ層RP34	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R、外面スス
579	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
580	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R、内外面スス
581	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L、内外面スス
582	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R、内面スス
583	A 5 MF56 Ⅱ層	台付鉢?	台部片	Ⅳ	変形工字文(沈線)
584	A 5 MF56 Ⅱ層	脚付土器	底部	Ⅲ-5	無文、棒状脚(4個×)
585	A 5 MF56 Ⅱ層	台付鉢?	台部片	Ⅳ	変形工字文(沈線・貼輪)、磨き
586	A 5 MF56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	浮彫的な突起列、半浮彫的な磨消縄文 L R
587	A 5 MF56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
588	A 5 MF56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、沈線区画の磨消縄文、L R 内面磨き
589	A 5 MF56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、平行沈線、羽状突の連続文、L R
590	A 5 MF56 Ⅱ層	浅鉢	口~胴縁	Ⅲ-4	突起、口唇斜め刻み、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、L R
591	A 5 MF56 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
592	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	丘形の小山形口縁、口唇沈線、平行沈線 磨消縄文、L R
593	A 5 MF56 Ⅱ層	浅鉢	底部欠	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁部平行沈線 内外面磨き、補修孔有
594	A 5 MF56 Ⅱ層	鉢	口~胴部	Ⅲ-5	口縁内沈線、変形工字文(沈線・貼輪) 磨き
595	A 5 MF56 Ⅱ層	壺	口縁部片	Ⅲ-3	突起、口唇沈線、口縁部無文 頸部・底帯・突起
596	A 5 MF56 Ⅱ層	壺	口縁部	Ⅲ-3	刻み状の小山形口縁、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L R
597	A 5 MF56 Ⅱ層	壺	口縁部	Ⅲ-3	口縁部無文・磨き、L R
598	A 5 MF56 Ⅱ層	壺	口縁部	Ⅲ-5	工字文(底帯・貼輪)、磨き
599	A 5 MF56 Ⅱ層	注口土器	注口部	Ⅲ-1	三叉文(沈線)
600	A 4号沢跡 MF56埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	磨消縄文、羽状縄文、R L
601	A 4号沢跡 MF56埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2	2個1対突起、連続文
602	A 4号沢跡 MF56埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、連続的な半輪状文? 平行沈線、刻み列、R L
603	A 4号沢跡 MF56埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇沈線・刻み列、口縁内沈線 平行沈線、曲沈線文、L R

図番	位置・層位	部種	部位	分類	模倣の特徴
604	A 4号沢跡 MF56 埋土	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、L.R.、絞絡り
605	A 4号沢跡 MF56 埋土	壺	口縁部片	III-4	A突起、口唇・口縁内沈線 口縁部無文・磨き
606	A 4号沢跡 MF56 1層	深鉢	口縁部片	II-1	大波状口縁、口縁内川肥厚 口縁上端沈線区画の刻み列、磨き
607	A 4号沢跡 MF56 1層	鉢	口縁部片	III-2	半歯状文、沈線区画の磨消縄文、L.R.
608	A 4号沢跡 MF56 1層	鉢	口縁部片	III-2	半浮彫的突起、平行沈線、連珠文、L.R.
609	A 4号沢跡 MF56 1層	鉢	口縁部片	III-2	小山形口縁、直線的な半歯状文、L.R.?
610	A 4号沢跡 MF56 1層	鉢	口縁部片	III-2	連珠文、半歯状文、磨き
611	A 4号沢跡 MF56 1層	鉢	口~胴部	III-3	突起、口縁内沈線、平行沈線上縦突起 交互2段の刻突文、沈線区画の磨消縄文 L.R.、内面スス
612	A 4号沢跡 MF56 1層	鉢	口縁部片	III	庄重の小山形口縁、口縁部無文、L.R.
613	A 4号沢跡 MF56 1層	小型鉢	完形	VI	無文、外面磨な磨き
614	A 4号沢跡 MF56 1層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、L.R.・R.L.
615	A 4号沢跡 MF56 1層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、L.R.、外面スス
616	A 4号沢跡 MF56 1層	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、L.R.・R.L.
617	A 4号沢跡 MF56 1層	浅鉢	口~胴部	III-3	B突起と刻み、平行沈線、連珠文 沈線区画の磨消縄文、L.R.、内面磨き
618	A 4号沢跡 MF56 1層	浅鉢	口~胴部	III-3	浮彫的突起列、磨消縄文、L.R.、内面磨き
619	A 4号沢跡 MF56 1層	浅鉢	口縁部片	III-3	口唇沈線、磨消縄文、L.R.
620	A 4号沢跡 MF56 1層	浅鉢	口~底部	III-3	口唇沈線・半浮彫的突起、沈線区画の磨 消縄文、底面・内面磨き、内面縄文施文 の磨消、L.R.
621	A 4号沢跡 MF56 1層	浅鉢	口縁部片	III-3	半浮彫的突起列、磨消縄文、L.R. 内面磨き
622	A 4号沢跡 MF56 1層	浅鉢	口縁部片	III-3	半浮彫的突起列、口縁内沈線、刻み列 平行沈線、刻み列
623	A 4号沢跡 MF56 1層	香炉形	胴部下半	III-3	平行沈線、胴部上端浮彫的突起列 刻み列、高台刻み列、L.R.
624	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	II-3 b	小突起、沈線区画の磨消縄文、L.R.?
625	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	II-2 a	羽状縄文、R.L.
626	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	II-2 b	沈線区画の磨消文?、柳葉状の条線文 粘土層
627	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	II-3 a	沈線区画の刻突文 (A組帯状文風)
628	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	II-3 b	刻みのある台状突起 沈線区画の充塊文 (短沈線)
629	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	III-1	台状突起、三叉文、沈線区画の磨消縄文 L.R.?
630	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	III-1	台状突起、沈線文 (二叉文?)
631	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	III-2	B突起、口唇刻み、直線的な半歯状文、L.R. 内面スス
632	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	III-2	刻み状小山形口縁、平行沈線、連珠文 L.R.、内面スス
633	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	III-2	口唇刻みの小山形口縁、平行沈線 連珠文、L.R.、内面スス
634	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口~胴部	III-3	山形突起、半浮彫的口唇、連珠文 磨消縄文、L.R.、内面磨き

図番	位置・図位	器種	部位	分類	模様の特徴
635	A 4号沢跡 MF56 2層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇刻みの小山形口縁、平行沈線 2段交互の刺突文
636	A 4号沢跡 MF56 2層	深鉢	口~胴部	Ⅲ-3	口唇部突起・刻み 羊歯状文亀(沈線・刺突)、LR
637	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、平行沈線 交互2段の刺突文、LR
638	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	山形口縁、直線的な平衡状文、刺突文 R.L.、内面スス
639	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇部B突起・刻み、連続文 直線的な羊歯状文、平行沈線、LR 内面スス
640	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇半浮彫的突起、平行沈線 沈線刻み状刺突文、R.L.、内面スス
641	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、平行沈線 交互2段の刺突文、R.L.
642	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	小山形口縁、平行沈線、沈線間刺突文 R.L.、内面スス
643	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	2個1対突起、口縁内沈線、刺突列 平行沈線、I.R.、内面スス
644	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、平行沈線 沈線区画の磨消縄文(1字文?)、LR
645	A 4号沢跡 MF56 2層	深鉢	口~胴部	Ⅲ-3	山形口縁、横走短沈線、平行沈線、LR
646	A 4号沢跡 MF56 2層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線間無文、R.L.
647	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ	庄底の小山形口縁、口縁部無文、LR
648	A 4号沢跡 MF56 2層	甕	口縁部片	Ⅲ	口唇刻みの小山形口縁、頸部絨格子、LR
649	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ	刻みの山形口縁、口縁部無文、R.L. 絨格子、スス
650	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	IV	中央刻みの山形突起、口唇沈線 口縁部無文、LR
651	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、I.R.・R.L.
652	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、L.R.・R.L.
653	A 4号沢跡 MF56 2層	深鉢	完形	VI	地文のみ、L.R.、内外面スス
654	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR
655	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、L
656	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、R.L.
657	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR
658	A 4号沢跡 MF56 2層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、L.R.、外面スス
659	A 4号沢跡 MF56 2層	深鉢	底面片	VI	地文、R.L.?, 底部網代痕
660	A 4号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	B突起・刺突列、口縁内沈線、磨消縄文 連続文、L.R.、内面磨き
661	A 4号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	浮彫的突起列、半浮彫的な磨消縄文 L.R.、内面磨き
662	A 4号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	浮彫的な突起列、半浮彫的な磨消縄文 L.R.、内面磨き
663	A 4号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列 沈線区画の磨消縄文、L.R.、内面磨き
664	A 4号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口縁部	Ⅲ-3	口縁上端刻み列、半浮彫的な磨消縄文 L.R.、内面磨き

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
665	A 4 号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口縁上端刻突列、磨消綫文、LR 内面磨き
666	A 4 号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口縁部片	IV	口縁内沈線、変形工字文(沈線・盛面)
667	A 4 号沢跡 MF56 2層	浅鉢	口縁部片	IV	小波状口縁、山唇・口縁内沈線 変形工字文(沈線・盛面)
668	A 4 号沢跡 MF56 2層	壺	口縁部	Ⅲ-3	口縁上端沈線、頸部無文・磨き・隆帯?
669	A 4 号沢跡 MF56 2層	壺	口~胴部	Ⅲ-4	口縁部無文、磨き、羽状縄文、LR・RL
670	A 4 号沢跡 MF56 2層	注口土器	注口部	Ⅲ-3	沈線区面の磨消綫文、LR
671	A 4 号沢跡 MF56 2層	注口土器	胴部	Ⅲ-3	肩突起列、半浮彫的な磨消綫文、LR
672	A 5 MF57 Ⅲ層上面	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄痕の山形口縁、平行沈線無文、LR
673	A 5 MF57 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻みの小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、刺突列、LR
674	A 5 MF57 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁上端刻み列、頸部無文 RL
675	A 5 MF57 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	A突起山形口縁、口縁内沈線、平行沈線 頸部無文、スス
676	A 5 MF57 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	IV	波状口縁、口縁内沈線 変形工字文(沈線・盛面)、磨き
677	A 5 MF57 Ⅲ層	注口土器	注口部	Ⅱ-1	沈線文(磨消?)、LR?
678	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	刻みの山形口縁、沈線文(三叉文系) RL?
679	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	入組三叉文(沈線)、平行沈線、RL
680	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	B突起、入組三叉文(沈線)、平行沈線 横走短沈線、補修孔
681	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	大小突起、口縁内沈線 直線的な羊歯状文
682	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	A・B突起、口縁内沈線、平行沈線 2段交互の刺突文、磨消綫文?
683	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇・口縁内沈線、刻み列、刺突列
684	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	A・B突起、胴部連珠文・突起 沈線区面の磨消綫文、LR
685	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、口縁内沈線、連珠文 沈線区面の磨消綫文、LR、内面スス
686	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 刺突列、RL
687	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇刻み、口縁内沈線、平行沈線 沈線間刻み列、LR
688	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 刺突文、羽状縄文、LR・RL
689	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刺突の小山形口縁、平行沈線、LR
690	A 5 MF57 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄痕の小山形口縁、平行沈線
691	A 5 MF57 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄痕の小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、RL
692	A 5 MF57 Ⅲ層	深鉢	胴上面	Ⅲ-4	山形口縁、平行沈線、RL、内外面スス付着
693	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁部無文、胴部平行沈線 LR
694	A 5 MF57 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄痕の小山形口縁、口縁部無文 胴部平行沈線

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
695	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、沈線1条走る R.L
696	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-4	A突起、山形口縁、口唇・口縁内沈線、L.R 沈線文、内面スス
697	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅳ	中央刻みの山形突起、口唇沈線 口縁部無文、I.R
698	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	圧痕の小山形口縁、口縁部無文、L.R
699	A5 MF57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-5	口唇刻み列、口縁部無文、I.R
700	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	圧痕の小山形口縁、口縁部無文、L.R
701	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	圧痕の小山形口縁、口縁部無文、L.R
702	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	口縁仔痕列、口縁部無文、R.I.
703	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ	圧痕の小山形口縁、地文のみ、L.R 内面スス
704	A5 MF57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L.R・R.L、内面スス
705	A5 MF57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R.L、縦絡り、スス
706	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R.L、横絡り
707	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R.L、縦絡り
708	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L.R
709	A5 MF57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R.L、口縁内側肥厚
710	A5 MF57 Ⅱ層	台付鉢	台部	Ⅱ	沈線、台下端部縄文、地文L.R
711	A5 MF57 Ⅱ層	台付鉢?	台部	Ⅱ	台下端部縄文L.R、磨き
712	A5 MF57 Ⅱ層	台付鉢?	台部片	Ⅱ-5	深い平行沈線と一部工字文
713	A5 MF57 Ⅱ層	浅鉢	口~胴部	Ⅱ-3	口唇突起と刻み、磨消縄文、L.R 内面磨き
714	A5 MF57 Ⅱ層	浅鉢	完形	Ⅱ-3	A・B突起、口唇部道沈線伏刻み 内面底部磨消走る、磨消縄文、L.R
715	A5 MF57 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅱ-4	山形口縁、口唇沈線 沈線区画の磨消縄文、L.R 内面磨き・縄文施文の隆帯
716	A5 MF57 Ⅱ層	浅鉢	半完形	Ⅱ-4	山形突起、半円形的突起列、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L.R
717	A5 MF57 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅱ-5	口縁内沈線、工字文(沈線・隆帯)、磨き
718	A5 MF57 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅱ-5	口縁内沈線、工字文(沈線・隆帯)、磨き 赤色塗彩
719	A5 MF57 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅱ-5	山形突起、平行沈線、口唇・口縁内沈線 工字文(沈線)、L.R
720	A5 MF57 Ⅱ層	壺	口縁部片	Ⅱ-4	2個1対突起、口縁内沈線 口縁部無文・磨き
721	A5 MF57 Ⅱ層	壺	口縁部片	Ⅱ-5	口唇沈線、口縁部無文・磨き
722	A5 MF57 Ⅱ層 RP27	注口土器	完形	Ⅱ-3	口縁部と肩部に浮彫的な突起列 沈線区画の磨消縄文、L.R
723	A4号沈鉢 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	小突起 沈線区画の刺突文(入紐帯状文風)
724	A4号沈鉢 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	波状口縁、液頂部ボタノ状突起 沈線区画の刻み列文様、地文
725	A4号沈鉢 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	刻みのある台状突起 沈線区画の磨消縄文・短沈線文、R.L
726	A4号沈鉢 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2	羊歯状文、沈線区画の磨消縄文、R.L?

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
727	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口~胴部	Ⅲ-3	口唇B突起と刻み、口縁内沈線、連続文直線的な半歯状文、L R
728	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、口縁内沈線、2段交互の刺突文沈線区画の磨消縄文、L R
729	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、刻みの小山形口縁 連続文上突起、沈線区画の磨消縄文、L R
730	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部	Ⅲ-3	平行沈線、沈線上刺突列 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
731	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	小山形口縁、平行沈線 2段交互の刺突文、L R、外面スス付着
732	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部	Ⅲ-3	山形突起、口唇部半円形的突起列 知み状の連続文 平行沈線上2個1対突起 沈線区画の磨消縄文、L R
733	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇突起と斜め刻み、口縁内沈線 平行沈線、屈曲沈線、L R、内面スス
734	A 4号沢跡 MF57 1層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁 平行沈線屈曲沈線、L R
735	A 4号沢跡 MF57 1層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁上端閉隔ある刻み列、口縁部無文 頸部沈線1未通る、L R
736	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	平行沈線、R L
737	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端刻み列、平行沈線 L R
738	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端刻み列、平行沈線 L R
739	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ	丘形の山形口縁、口縁部無文、L R 内面スス
740	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半円形的な突起列、L R、内外面スス 口縁部無文
741	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅳ	刻みの山形口縁、口縁部無文、R L 金雲母多
742	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 口縁部無文、L R
743	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L?
744	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、R L
745	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
746	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
747	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
748	A 4号沢跡 MF57 1層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
749	A 4号沢跡 MF57 1層	台付鉢?	台部	Ⅱ	地文、台下部部縄文L R?、磨き
750	A 4号沢跡 MF57 1層	浅鉢	宍形	Ⅲ-3	口唇部浮彫的な突起列? 浮彫的な磨消縄文、磨き
751	A 4号沢跡 MF57 1層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半円形的な突起列、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
752	A 4号沢跡 MF57 1層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半円形的な突起列、平行沈線、刺突列 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
753	A 4号沢跡 MF57 1層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半円形的突起列、口縁内沈線・刻み列 平行沈線、刻み列
754	A 4号沢跡 MF57 1層	浅鉢	底部	Ⅲ-4	磨消縄文、L R、内面縄文施文隆帯

図番	位置・肩位	器種	部位	分類	模様の特徴
755	A 4号跡 MF57 1層	蓋	口縁部片	Ⅲ-4	口縁部無文・磨き、地文LR
756	A 4号跡 MF57 1層	注口土器	完形	Ⅲ-3	口唇部浮彫的突起列、頸部・無文・磨き 磨消縄文、LR、赤色顔料塗布
757	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	沈線区画の充填縄文、L?、粘土層
758	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	小突起 沈線区画の刺突文（入組書状文風?）
759	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	口縁上縁刻み列、沈線区画の磨消縄文 （入組書状文）、貼瘤、LR?
760	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	突起状の山形口縁、沈線区画の磨消縄文 、沈線文（三叉文系）、LR
761	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、平行沈線 沈線間刻み列、LR、口縁内沈線 内面磨き
762	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口唇刻み、口縁内沈線、平行沈線 刺突状の蓮珠文、LR
763	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、LR
764	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口縁内沈線、口縁上縁刻み列 沈線1条流る、LR
765	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	圧痕の小山形口縁、平行沈線、LR
766	A 4号跡 MF57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、口縁上縁任意列、口縁部無文 LR、ヌス
767	A 4号跡 MF57 2層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R
768	A 4号跡 MF57 2層	浅鉢	半完形	Ⅲ-1	沈線文（玉造三叉文）、LR
769	A 4号跡 MF57 2層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線、磨き
770	A 4号跡 MF57 2層	壺	肩上部	Ⅲ-4	口唇部・無文・磨き、地文のみ 羽状縄文・LR・RL
771	A 4号跡 MF57 2層	注口土器	口縁部欠	Ⅲ-1	無文、外面磨き
772	A 4号跡 MF57 2層	注口土器	胴部	Ⅲ-3	口唇突起・刻み、口縁内沈線 肩部突起・刻み、磨消縄文、LR
773	A 5 MG56 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇刻み状突起、口縁内沈線 変形十字文（沈線）
774	A 5 MG56 Ⅲ層上面	注口土器	胴部片	Ⅲ-3	肩部隆帯上突起・刻み 半浮彫的な磨消縄文、LR
775	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	突起、口縁内側肥厚 沈線区画の充填縄文、RL、LR
776	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	沈線区画の磨消縄文?、LR?、粘土層
777	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	刻みのある台状突起、地文のみ、RL
778	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部	Ⅲ-2	半浮彫的な羊歯状文
779	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	口縁上縁蓮珠文、半浮彫的文様 内面磨き
780	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部	Ⅲ-2	直線的な羊歯状文、LR
781	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、平行沈線、半浮彫的蓮珠文 頸部縦の突起、RL
782	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部	Ⅲ-2	B突起列、口縁内沈線、蓮珠文 半浮彫的な羊歯状文、LR
783	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部	Ⅲ-3	刺突列、磨消縄文、LR、内面磨き
784	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻み状の小山形口縁、平行沈線、RL

図番	位置・局位	器種	部位	分類	模様の特徴
785	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、平行沈線 沈線間刻み列、R L、補修孔
786	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、平行沈線、刺突・刻み列、R L
787	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線間短沈線状の刺突列
788	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線と斜め刻み列、L R
789	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄度の小山形口縁、平行沈線、L R
790	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	口唇沈線、突起、地文のみ、L R、内面スス 口唇刻み列
791	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	庄度の小山形口縁、平行沈線、L R
792	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	隆帯突起・沈線、平行沈線、L R
793	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部	Ⅳ	中央刻みの山形突起、口縁内沈線 変形工字文（沈線・貼瘤）、内外面磨き 内面スス
794	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	口縁部無文、L R、内面スス
795	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	口縁部無文、L R
796	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	庄度の小山形口縁、口縁部無文、L R 内面スス
797	A 5 MG56 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ
798	A 5 MG56 Ⅲ層	台付鉢?	台部片	Ⅳ	平行沈線、内外面磨き
799	A 5 MG56 Ⅲ層	浅鉢	口縁部	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線、磨き
800	A 5 MG56 Ⅲ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線、貼瘤、磨き
801	A 5 MG56 Ⅲ層	浅鉢	口縁部	Ⅲ-5	工字状文（沈線）
802	A 5 MG56 Ⅲ層	壺	胴上部	Ⅲ-4	口唇・口縁内沈線、沈線区面の磨消縄文 L R
803	A 5 MG56 Ⅲ層	注口土器	口縁部片	Ⅲ-1	口唇部突起、曲線的な沈線文
804	A 5 MG56 Ⅲ層上	深鉢	口~胴部	Ⅳ	庄度の小山形口縁、口縁部無文 胴部沈線1条通る、L R
805	A 5 MG56 Ⅲ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇斜め刻み列、口縁部無文、L R
806	A 5 MG56 Ⅲ層上	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
807	A 5 MG56 Ⅲ層上	鉢	底部欠	Ⅲ-5	山形口縁、口唇・口縁内沈線 口縁部平行沈線、L R
808	A 5 MG56 Ⅲ層上	浅鉢 (台付?)	口~胴部	Ⅳ	工字文（隆起線の沈線・貼瘤）、L R 口縁内沈線
809	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	有孔突起、隆帯上粘土瘤・刻み列 沈線文、貫通孔（補修孔）
810	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	口縁上部縦の粘土瘤 沈線区面の磨消縄文（充填）、L R
811	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	沈線区面の充填縄文、羽状縄文、R L
812	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	平行沈線、磨消状縄文、粘土瘤
813	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	磨消状の曲沈線文
814	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	胴部片	Ⅲ-1	沈線文（三叉文系）、内外面磨き
815	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的突起、羊歯状文、連珠文
816	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、羊歯状文、L R
817	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、口唇刻み状小山形口縁 平行沈線、L R、内面磨き
818	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、口縁内沈線 直線的な羊歯状文、連珠文

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
819	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口縁内沈線、口唇半浮彫的な突起列 刻み状の蓮珠文、平行沈線、L R、スス付着
820	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁部無文、頸部沈線1条迄、L R、スス
821	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R、内面スス
822	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、R I.
823	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
824	A 4号沢跡 MG56 埋土	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
825	A 4号沢跡 MG56 埋土	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
826	A 4号沢跡 MG56 埋土	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
827	A 4号沢跡 MG56 埋土	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
828	A 4号沢跡 MG56 埋土	深鉢	胴下半部	Ⅵ	地文のみ、L R、底部上げ底ぎみ
829	A 4号沢跡 MG56 埋土	鉢	底部	Ⅵ	上げ底風の低い台付、地文R L?
830	A 4号沢跡 MG56 埋土	台付鉢	底部	Ⅲ-5	地文I R、台部再利用、底内凹文(沈線)
831	A 4号沢跡 MG56 埋土	浅鉢	口縁部片	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線・粘着)
832	A 4号沢跡 MG56 埋土	壺	口縁部片	Ⅲ-3	口唇半浮彫的文様、頸部無文・磨き
833	A 4号沢跡 MG56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	口唇浮彫的突起、口唇刻み 半浮彫的沈線文、短沈線状突起列 内外面磨き
834	A 4号沢跡 MG56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	平行沈線、沈線間刺突起 半浮彫的な磨き縄文、L R
835	A 4号沢跡 MG56 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇斜め刻み列、口縁内沈線、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L R
836	A 4号沢跡 MG56 2層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
837	A 5 MG57 Ⅱ層上面	壺	胴上部	Ⅲ-3	頸部突起部2条・4突起、磨き、赤色塗彩
838	A 5 MG57 Ⅱ層上面	壺	口縁部片	Ⅲ-5	口唇刻み列、口縁内沈線 半浮彫的工字文(沈線・粘着)
839	A 5 MG57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	大型の山形突起・中央刻みの小山形突起、 沈線区画の充填縄文、L
840	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口～胴部	Ⅲ-2	刻み状の小山形口縁、平行沈線、R L スス付着
841	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻み状の小山形口縁、口縁内沈線 2段交互の刺突文
842	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	小山形口縁、平行沈線、刻み列、R I.?
843	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口～胴部	Ⅲ-3	小山形口縁、蓮珠文 沈線区画の磨消縄文、L R
844	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇部突起・斜め刻み列、口縁内沈線 工字文系(沈線)
845	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口縁部	Ⅲ-5	口唇部山形突起・刻み、口縁内沈線 工字文系(沈線)
846	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁部無文、L R
847	A 5 MG57 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	口唇比翼列、口縁部無文、L R、内面スス
848	A 5 MG57 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、I R・R I.
849	A 5 MG57 Ⅱ層	浅鉢	口～胴部	Ⅲ-3	浮彫的な突起列と磨消縄文、L R
850	A 5 MG57 Ⅱ層	壺	口縁部片	Ⅲ-2	2個1対突起、平行沈線、赤色塗彩 内外面磨き
851	A 5 MG57 Ⅱ層	壺	口縁部	Ⅲ-4	口縁部無文・磨き、L R
852	A 5 MG57 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	縄文施文の工字文(沈線)、L R
853	A 5 MG57 Ⅱ層下	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄底の小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線間無文、地文

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
854	A 5 MG57 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇斜め刻み列、口縁内沈線、平行沈線 変形工字文系(沈線)、LR
855	A 5 MG57 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、口縁上縁帯突起 変形工字文(沈線)、磨き、赤色塗彩
856	A 5 MG57 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	IV	波状口縁・波頂部形突起 口唇・口縁内沈線、変形工字文(帯)
857	A 4号沢跡 MG57 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	羽状縄文、LR・RL
858	A 4号沢跡 MG57 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	山形突起、沈線区画の充填縄文、LR? 粘土磨
859	A 4号沢跡 MG57 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	口唇刻み列、沈線区画の刻突列、L
860	A 4号沢跡 MG57 埋土	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	刻みのある台状突起 沈線区画の羽状縄文
861	A 4号沢跡 MG57 埋土	深鉢	胴上部	Ⅲ-2	半浮彫的突起列、羊歯状文(沈線・刺突) 肩部文様上縁突起1個、LR
862	A 4号沢跡 MG57 埋土	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	連続文、半浮彫的な磨消縄文、LR
863	A 4号沢跡 MG57 埋土	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR
864	A 4号沢跡 MG57 埋土	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、羽状縄文、LR・RL
865	A 4号沢跡 MG57 埋土	台付鉢?	底部	Ⅴ	台部縄文、地文、LR
866	A 4号沢跡 MG57 埋土	蓋	口縁部	V	地文のみ、LR
867	A 4号沢跡 MG57 2層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	磨消文の曲条縄文
868	A 4号沢跡 MG57 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	2層1対の山形口縁、平行沈線、2段交互 の刻み列、沈線区画の磨消縄文、RL?
869	A 4号沢跡 MG57 2層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	浮彫的な突起列、半浮彫的な磨消縄文 LR、内面磨き
870	A 4号沢跡 MG57 2層	深鉢	外形	VI	地文のみ、綾格子、LR、外面スス
871	A 5 MG58 Ⅲ層	注口土器	注口部分	Ⅱ-2 b	刻み列を伴う短い隆起線、粘土磨 赤色塗彩
872	A 5 MG58 Ⅲ層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	浮彫的な突起列 沈線区画の半浮彫的な磨消縄文、RL
873	A 5 MG58 Ⅲ層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	浮彫的な突起列 沈線区画の半浮彫的な磨消縄文、RL?
874	A 6 MD55 Ⅲ層上面	台付浅鉢	台部欠	Ⅱ-5	A突起1個、山形口縁、口唇・口縁内沈線 縁帯上短沈線状刻み、半浮彫的工字文 (沈線)、赤色塗彩、LR、底内凹文(沈線)
875	A 6 MD55 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	I	波状口縁、沈線区画の磨消縄文、LR
876	A 6 MD55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	I	小波状口縁、曲沈線刺突列
877	A 6 MD55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	刻みのある台状突起 沈線区画の磨消縄文、RL
878	A 6 MD55 Ⅲ層	注口土器	注口部	Ⅱ-2 b	貼面文
879	A 6 MD55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	口縁内沈線、連続文、半浮彫的な文様 沈線区画の磨消縄文、LR
880	A 6 MD55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、半浮彫的な羊歯状文 平行沈線、LR
881	A 6 MD55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、直線的な羊歯状文 平行沈線、LR
882	A 6 MD55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	突起、口縁上縁刻み列 直線的な羊歯状文、平行沈線、LR
883	A 6 MD55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、直線的な羊歯状文 平行沈線、刺突文、羽状縄文、LR・RL

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
884	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3	B突起、刻みの小山形口縁、平行沈線 刺突文、沈線区画の半浮彫的磨消縄文 L R
885	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3	連珠文、浮彫的磨消縄文、L R、内面磨き
886	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3	口唇短沈線、口縁内沈線、平行沈線 2段交互の刺突文、磨消縄文、L R
887	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3	突起、刻みの小山形口縁、平行沈線 連珠文上縁突起、口縁内沈線、L R
888	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3	刻みの小山形口縁、平行沈線、L R、 内面スス
889	A 6 MD55 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
890	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
891	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R
892	A 6 MD55 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R
893	A 6 MD55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
894	A 6 MD55 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L、施文後軽く磨で
895	A 6 MD55 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-2	小山形口縁、半宙状文 沈線区画の磨消縄文、L R
896	A 6 MD55 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、連珠文、平行沈線、L R、内面磨き
897	A 6 MD55 Ⅱ層	浅鉢	口～胴部	Ⅲ-3	B突起列、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、L R
898	A 6 MD55 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、半浮彫的な突起列、口縁内沈線 浮彫的磨消縄文、L R
899	A 6 MD55 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、半浮彫的な突起列 浮彫的な磨消縄文、L R
900	A 6 MD55 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	沈線区画の半浮彫的磨消縄文、L R
901	A 6 MD55 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列、平行沈線 口縁内沈線、L R
902	A 6 MD55 Ⅱ層	壺	胴部片	Ⅲ-3	半浮彫的な磨消縄文、L R
903	A 6 MD55 Ⅱ層	注口土器	胴部片	Ⅲ-3	肩部刺突列・半浮彫的な突起列 沈線区画の磨消縄文、L R
904	A 6 MD55 Ⅱ層上	壺	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、平行沈線、沈線区画の磨消縄文 L R
905	A 6 MD55 Ⅱ層上	壺	口～胴部	Ⅲ-2	無文、雑な磨き
906	A 6 MD55 Ⅱ層上	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、沈線区画の半浮彫的磨消縄文 L R、口縁内隆帯上刻み列
907	A 6 MD55 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	突起上刻み、三叉文（沈線） 沈線区画の磨消縄文、R L
908	A 6 MD55 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	口縁上縁連珠文、不整な平行沈線、L R スス
909	A 6 MD55 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、刻みの小山形口縁、平行沈線 連珠文、地文、内面スス
910	A 6 MD55 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの山形口縁、口縁部無文 沈線1条走る、L R
911	A 6 MD55 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ	口縁上縁沈線1条走る、L R
912	A 6 MD55 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ	庄底の小山形口縁、羽状縄文、L R・R L
913	A 6 MD55 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L、異なる原体
914	A 6 MD55 Ⅱ層下	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的な突起列、口縁内沈線、刻み列 平行沈線、刻み列、L R、内面磨き

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
915	A6 MD55 Ⅲ層下	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口縁内沈線、平行沈線 沈線区画の半磨消縄文、LR
916	A6 ME54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、口縁内沈線 直線的な羊歯状文
917	A6 ME54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL
918	A6 ME54 Ⅲ層上面	壺	口縁部片	Ⅲ-2	沈線1条巡る、口縁部無文・磨き
919	A6 ME54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	入組三叉文(沈線)、平行沈線、RL
920	A6 ME54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	連続文、羊歯状文、LR
921	A6 ME54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	連続文、半浮彫的磨消縄文、LR
922	A6 ME54 Ⅲ層	鉢	底部欠	VI	無文
923	A6 ME54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR、内面スス、縫絡り
924	A6 ME54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL
925	A6 ME54 Ⅲ層上	鉢	半完形	Ⅲ-2	口唇刻み、羊歯状文、LR、内面磨き
926	A6 ME54 Ⅲ層上	台付浅鉢	台部欠	Ⅲ-2	平行沈線、入組三叉文、内外面磨き
927	A6 ME54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	沈線区画の磨消縄文、短沈線尖墳文、RL
928	A6 ME54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	連続文、平行沈線、LR
929	A6 ME54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL
930	A6 ME54 Ⅲ層下	深鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL、内面スス
931	A6 ME54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、RL
932	A6 ME54 Ⅲ層下	壺	胴上部	Ⅲ-3	浮彫的突起列、連続文 沈線区画の浮彫的磨消縄文、LR
933	A6 ME54 Ⅲ層下	壺	胴部片	Ⅲ-3	刻み列、半浮彫的磨消縄文、LR
934	A6 ME55 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線、RL
935	A6 ME55 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	波状口縁、波頂部突起、口縁内側肥厚 沈線区画の充満縄文、LR
936	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	ボタン状突起、沈線区画の磨消縄文、LR
937	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	沈線区画の磨消縄文(人組帯状文?)、RL
938	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起列、連続文、半浮彫的文様
939	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、半浮彫的な羊歯状文
940	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、半浮彫的羊歯状文 連続文
941	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	2個1対の突起列、平行沈線、内外面磨き
942	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁、平行沈線 2段交互の刺突文
943	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	小山形口縁、口縁内沈線、平行沈線 刺突文、沈線区画の磨消縄文、LR
944	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁部無文 頸部磨消的沈線1条巡る、LR
945	A6 ME55 Ⅲ層RP6	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、LR
946	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、R.I.?、縫絡り、外面スス
947	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	VI	地文のみ、R
948	A6 ME55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	VI	無文、内外面磨き
949	A6 ME55 Ⅲ層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、半浮彫的磨消縄文、LR
950	A6 ME55 Ⅲ層	壺	口縁部片	Ⅲ-1	突起、磨消縄文、LR
951	A6 ME55 Ⅲ層	注口土器	胴部片	Ⅲ-3	肩部、刺突列・半浮彫的突起列 沈線区画の磨消縄文、LR
952	A6 ME55 Ⅲ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	小山形口縁、半浮彫的な羊歯状文、LR
953	A6 ME55 Ⅲ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	突起、刻みの小山形口縁、平行沈線、LR

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
954	A 6 ME55 Ⅲ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、刻みの小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、刺突文、地文、内面スス
955	A 6 ME55 Ⅲ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	2個1対突起、口唇刻み列 難な平行沈線・刺突文、L R
956	A 6 ME55 Ⅲ層上	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
957	A 6 MF55 Ⅲ層上	浅鉢	口～底部	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、半浮彫的磨消縄文、L R 内面磨き
958	A 6 ME55 Ⅲ層上	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、沈線区画の磨消縄文、L R 内面磨き
959	A 6 ME55 Ⅲ層上	甕	口縁部片	Ⅲ	口縁部無文、L R
960	A 6 ME55 Ⅲ層上	注口土師	胴部片	Ⅲ-1	無文、磨き
961	A 6 MF54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、羊歯状文、R L ? 内面磨き・スス
962	A 6 MF54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	下浮彫的突起列、連続文、平行沈線、R L 内面スス
963	A 6 MF54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、口縁内沈線 平行沈線・突起 刺突文(直線的羊歯状文?)
964	A 6 MF54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	山形口縁、口唇・口縁内沈線、平行沈線 刺突列、L R、内面スス
965	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	網目状磨消紋
966	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3 a	突起・凹形刺突、沈線区画の刺突列、L R ?
967	A 6 MF54 Ⅲ層	注口土師?	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁上端隆帯上突起 沈線区画の磨消縄文、L R
968	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線、刻み列
969	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、刻みの小山形口縁 隆帯上突起・沈線、平行沈線
970	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 平行沈線
971	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	圧痕の小山形口縁、平行沈線
972	A 6 MF54 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	圧痕の小山形口縁、平行沈線
973	A 6 MF54 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み、口縁内沈線、口縁部無文 頸部沈線1条通る、L R、スス
974	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、口縁上端刻み列 口縁部無文、頸部沈線1条通る
975	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、R L
976	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L、内面スス
977	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
978	A 6 MF54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R、内面スス
979	A 6 MF54 Ⅲ層	深鉢	胴下半部	Ⅵ	地文、R L
980	A 6 MF54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	台状突起、平行沈線、L R
981	A 6 MF54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	突起、口唇刻み列、口縁内沈線 口縁上端半浮彫的突起列、平行沈線 沈線文、L R、内面磨き
982	A 6 MF54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線
983	A 6 MF54 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口縁内沈線、平行沈線、L R
984	A 6 MF54 Ⅲ層下	深鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁上端縄文、平行沈線間無文、L R、スス
985	A 6 MF54 Ⅲ層下	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-5	工字文(沈線)、口縁内沈線

図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
986	A 6 MF 51 Ⅲ層下	壺	口縁部片	Ⅱ	口縁部無文, L R
987	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	沈線区画の刺突列, 沈線文(入組文?)
988	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁, 直線的な羊歯状文 平行沈線, L R
989	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的突起列, 平行沈線 刺突文(羊歯状文?)
990	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列, 口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文, L R
991	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	大突起, 口唇刻み列, 口縁内沈線, 隆帯 平行沈線, 内面磨き
992	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	V-1	口唇・口縁内沈線, 隆帯 平行沈線(変形J字文系?), 磨き 金雲母多
993	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	壺	胴部片	Ⅲ-4	平行沈線(変形工字文) 沈線区画の磨消縄文, L R
994	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	注口土器	口縁部片	Ⅲ-2	連続文, 半浮彫的文様
995	A 6 MF 55 Ⅲ層上面	注口土器	胴部片	Ⅲ-3	肩部2個1対の突起列 沈線区画の磨消縄文, L R
996	A 6 MF 55 Ⅲ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-1	大波状口縁, 口縁内倒厚 口縁上端沈線区画の刻み列, 磨き
997	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	沈線文, 櫛歯状の条線文, 粘土瘤
998	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	沈線区画の刺突列, L R, 粘土瘤
999	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	沈線区画の刺突列, 粘土瘤, 沈線文 地文
1000	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	沈線区画の刺突列, 粘土瘤
1001	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	櫛歯状の条線文
1002	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-1	入組三叉文(沈線), 平行沈線
1003	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	半浮彫的な羊歯状文, L R
1004	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	小山形口縁・突起, 刺突状の連続文 平行沈線, L R, 内面スス
1005	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起, 口縁内沈線, 平行沈線, 刺突文 L R
1006	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁, 半浮彫的な羊歯状文 L R
1007	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁, 羊歯状文, R L
1008	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	沈線による突起, 刻みの小山形口縁 平行沈線, R L
1009	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	口縁内沈線, 連続文 半浮彫的文様(沈線)
1010	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	刻みの小山形口縁, 刺突文, 補修孔 内面磨き
1011	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	突起, 刻みの小山形口縁, 平行沈線 刺突文, L R, スス
1012	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線, 口縁上端隆帯上突起 沈線区画の磨消縄文, L R
1013	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列, 口縁内沈線, 平行沈線 刺突文, L R
1014	A 6 MF 55 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	疋原の小山形口縁, 口縁内沈線 平行沈線

図番	位置・部位	器種	部位	分類	模様の特徴
1015	A6 MF55 皿腹	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 不整な平行沈線、LR
1016	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄底の山形口縁、口縁内沈線、平行沈線 沈線内刻突列、I.R、内面スス
1017	A6 MF55 皿唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄底の小山形口縁、平行沈線
1018	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 隆帯上突起、工字文(沈線)、内面スス
1019	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、隆帯上突起・沈線 工字文(沈線)、内面磨き
1020	A6 MF55 皿唇	鉢	口縁部片	V-1	口唇・口縁内沈線、平行沈線 変形工字文、刺突充填、赤色顔料付着
1021	A6 MF55 皿唇	鉢	口縁部片	Ⅲ	刻みの山形口縁、口縁部無文、RL
1022	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅲ	刻みの小山形口縁、RL?、絞絡り
1023	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅲ	刻みの山形口縁、LR
1024	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、羽状縁文、LR・RL
1025	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、LR
1026	A6 MF55 皿唇	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、LR
1027	A6 MF55 皿腹	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、RL
1028	A6 MF55 皿唇	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、RL
1029	A6 MF55 皿腹	鉢	底部	Ⅵ	上げ底風の低い台付、無文
1030	A6 MF55 皿腹	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-1	一部突起状の緩い波状口縁 玉拍三叉文、胴部・内面磨き、補修孔、LR
1031	A6 MF55 皿腹	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、磨消縁文、LR
1032	A6 MF55 皿腹	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、口唇沈線・刻突列 平行沈線・刺突文 沈線区画の磨消縁文、LR
1033	A6 MF55 皿腹	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	B突起列、口唇内刻み列 浮彫的な磨消縁文、LR、内面磨き
1034	A6 MF55 皿腹	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起、口唇刻突列、口縁内沈線 沈線区画の半浮彫的磨消縁文 LR、内面磨き
1035	A6 MF55 皿腹	浅鉢	口~底部	Ⅲ-3	B突起列、口唇内刻み列 沈線区画の半浮彫的磨消縁文、LR
1036	A6 MF55 皿腹	壺	口縁部片	Ⅲ-2	平帯状沈線文、平行沈線、LR
1037	A6 MF55 皿唇	壺	口縁部片	Ⅲ-3	半浮彫的突起、口唇沈線 頸部無文・磨き
1038	A6 MF55 皿唇	壺	口縁部片	Ⅲ-5	B突起、口縁内平行沈線、工字文(沈線) 磨き
1039	A6 MF55 皿唇	注口土器	胴部片	Ⅲ-2	連続文、半浮彫的文様
1040	A6 MF55 皿腹	注口土器	胴部片	Ⅲ-4	肩部隆帯上突起・刻み列 沈線区画の磨消縁文、LR
1041	A6 MF55 皿腹	注口土器	注口部	Ⅲ-3	沈線区画の磨消縁文、RL?
1042	A6 MF55 皿腹上	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	突起、刻みの小山形口縁 平行沈線上突起、刻突列、RL?
1043	A6 MF55 皿腹上	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端刻み列、平行沈線 沈線内刻突列、LR
1044	A6 MF55 皿腹上	深鉢	口縁部片	Ⅵ	無文
1045	A6 MF55 皿腹上	深鉢	腹下半部	Ⅵ	地文、RL、底部刷代痕

図番	位置・層位	種類	部位	分類	模様の特徴
1046	A6 MF55 Ⅲ層上	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-1	玉抱三叉文(沈線)、平行沈線 内外面磨き
1047	A6 MF55 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-3 a	小突起、沈線区画の刻み列、沈線文 羽状縄文
1048	A6 MF55 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	突起、刻みの山形口縁 半浮彫的羊歯状文、LR
1049	A6 MF55 Ⅲ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、平行沈線、連珠文 LR、内面スス
1050	A6 MF55 Ⅲ層下	鉢	胴上部	Ⅵ	地文のみ、LR
1051	A6 MF55 Ⅲ層下	注口土器	口縁部欠	Ⅲ-2	胴上部連珠文、肩部半浮彫的文様
1052	A6 MF55 Ⅲ層下	注口土器	口縁部片	Ⅲ-2	連珠文、半浮彫的文様(沈線)
1053	A4号沢勝 MF55 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄儀の小山形口縁、口縁無文、LR 内面スス
1054	A4号沢勝 MF55 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、口縁上端刺突列、平行沈線 LR、内面スス
1055	A4号沢勝 MF55 2層	深鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、RL、貫通孔・穿孔(被修孔?)
1056	A6 MG54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇沈線、口縁上端刺突列、平行沈線 刻み列、RL
1057	A6 MG54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、刺突文
1058	A6 MG54 Ⅲ層上面	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	山形口縁、口唇・口縁内沈線、平行沈線 刺突列
1059	A6 MG54 Ⅲ層上面	台付鉢?	台部片	Ⅲ	地文LR、台端部刻み列、磨き
1060	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-3 b	台状突起、沈線区画の短沈線文
1061	A6 MG54 Ⅲ層	深鉢	胴下半	Ⅱ	網目状懸糸文、内面磨き
1062	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻み・沈線の突起列、浮彫的な羊歯状文 スス
1063	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、平行沈線、連珠文、内面磨き
1064	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、半浮彫的羊歯状文 LR
1065	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	底部欠	Ⅲ-4	山形口縁、口縁内沈線、平行沈線 縄文施文の工字文、LR、内面磨き
1066	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、平行沈線 縄文施文の工字文、LR
1067	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇沈線・刻み、口縁内沈線 平行沈線、刺突列
1068	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線 隆帯上突起・沈線 沈線区画の磨き縄文、LR
1069	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 刺突列、LR
1070	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁上端斜め刻み列、口縁内沈線 平行沈線、LR
1071	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	大小A突起、口唇・口縁内沈線、平行沈線 斜め刻み列、LR、内面スス
1072	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇沈線、平行沈線、刺突列、RL
1073	A6 MG54 Ⅲ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	刻みの小山形口縁、口縁内沈線 不整な平行沈線、LR、スス

図番	位置・層位	部 種	部 位	分 類	模 様 の 特 徴
1074	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、沈線文、地文
1075	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	突起、口縁内沈線 半浮彫的工字文(沈線)
1076	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	比叡の小山形口縁、平行沈線、L R 内面スス
1077	A6 MG54 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、口縁部無文
1078	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁上端注痕列、口縁部無文、R L?
1079	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	口縁部無文、L R、内面スス 口縁上端刻み列
1080	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	口縁部無文、R L?、スス
1081	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ	口唇沈線、口縁上端刺突起、L R
1082	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
1083	A6 MG54 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅵ	地文のみ、L R
1084	A6 MG54 Ⅱ層	台付鉢?	台部片	Ⅵ	地文、L R、書き
1085	A6 MG54 Ⅱ層	台付鉢	台部片	Ⅲ-5	工字文(沈線・盛線)、赤色塗彩
1086	A6 MG54 Ⅱ層	台付鉢	台部片	V-1	波状沈線、平行沈線、金雲母多
1087	A6 MG54 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線・粘着) 磨き
1088	A6 MG54 Ⅱ層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-5	山形口縁、波頂部突起 陸帯の三角文・交点突起、工字文(沈線) L R、口縁内沈線
1089	A6 MG54 Ⅱ層	注口土器	口縁部片	Ⅲ-4	突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、沈線区画の磨消縄文(充填) 赤色塗彩
1090	A6 MG54 Ⅱ層	蓋	口~底部	V	口縁内沈線、平行沈線
1091	A6 MG54 Ⅱ層上	壺	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内沈線、陸帯上突起・沈線 頸部無文・磨き
1092	A6 MG54 Ⅱ層上	鉢	口縁部片	Ⅲ	口唇刻み列、口縁部無文、L R
1093	A6 MG54 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 羽状縄文、L R・R L
1094	A6 MG54 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線
1095	A6 MG54 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	山形口縁、口唇短沈線、口縁内沈線 平行沈線、刺突起
1096	A6 MG54 Ⅱ層下	鉢	口縁部片	Ⅲ	刻みの小山形口縁、口縁部無文、L R
1097	A6 MG54 Ⅱ層下	浅鉢	完形	Ⅲ-5	2個1対の山形突起8個、口縁-口縁内沈線 半浮彫的工字文(沈線)、内外面磨き
1098	A6 MG54 Ⅱ層下	浅鉢	口縁部片	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線・粘着) 磨き
1099	A6 MG54 Ⅱ層下	浅鉢	口縁部片	Ⅳ	山形口縁、口唇短沈線、口縁内沈線 変形工字文(沈線・粘着)、磨き
1100	A6 MG55 Ⅱ層上面	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	口縁上部突起、沈線区画の磨消縄文 磨消状の赤線文
1101	A6 MG55 Ⅱ層上面	浅鉢	口縁部	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線)
1102	A6 MG55 Ⅱ層	深鉢	突起部分	Ⅱ-1	橋状突起 口縁に刺突(刻み列)を伴う陸帯
1103	A6 MG55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	口唇間隔ある刺突の山形口縁 沈線区画の磨消縄文、R L
1104	A6 MG55 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、半浮彫的文様(沈線)

図番	位置・部位	鋸種	部位	分類	模様の特徴
1105	A6 MG55 Ⅲ屑	鉢	口縁部片	Ⅲ-2	B突起、刻みの小山形口縁、連珠文 平行沈線、L R、内面スス
1106	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	突起、刻みの小山形口縁、口縁内沈線 連珠文、羊歯状文、地文、内面スス
1107	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-3	沈線による突起列、右下がり短沈線 平行沈線、L R
1108	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇斜め刻み列、口縁内沈線 平行沈線肩部突起 沈線区画の唐渦縄文、L R、内面スス
1109	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部	Ⅲ-4	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 隆帯上突起・沈線、屈曲沈線、L R
1110	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	大突起、口唇刻み列、口縁内沈線 平行沈線、隆帯上突起、R1
1111	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部	Ⅲ-4	B突起、口縁内沈線、平行沈線、沈線文 肩部2個1対突起、地文、貫通孔
1112	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 斜突起、L R
1113	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 斜突起
1114	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁上端刻み列、平行沈線
1115	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、平行沈線、L R、スス
1116	A6 MG55 Ⅲ屑	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇刻み列、口縁内沈線、平行沈線 隆帯上突起、沈線
1117	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、工字文(沈線)
1118	A6 MG55 Ⅲ屑	鉢	口縁部	Ⅲ-5	A突起、口唇沈線、変形工字文(沈線) 地文
1119	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口~胴部	Ⅲ-5	大小山形突起、口唇・口縁内沈線 工字文(沈線)、L R、スス付着
1120	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	大・小A突起、口唇・口縁内沈線 工字文系(沈線)、磨き、内面スス
1121	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	山形口縁、口唇・口縁内沈線、平行沈線 斜突起、L R、内面スス
1122	A6 MG55 Ⅲ屑	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	庄模の小山形口縁、沈線1条走る 口縁部無文
1123	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁上端刻み列 平行沈線間無文
1124	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部	Ⅲ-5	庄模の山形口縁、口唇短沈線 口縁内沈線、口縁部無文 肩部沈線1条走る、L R
1125	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁上端刻み列、平行沈線 R L、スス
1126	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅲ-4	口唇刻み列、平行沈線間無文、L R 内面スス
1127	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅳ	変形工字文(沈線・貼附)、磨き
1128	A6 MG55 Ⅲ屑	鉢	口縁部片	Ⅴ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
1129	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅴ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
1130	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅴ	地文のみ、羽状縄文、L R・R L
1131	A6 MG55 Ⅲ唇	鉢	口縁部片	Ⅴ	地文のみ、L R
1132	A6 MG55 Ⅲ唇	深鉢	胴~底部	Ⅴ	地文のみ、結核り、底部木炭痕?、L R

調査番号	位置・形位	器種	部位	分類	模様の特徴
1133	A 6 MG55 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅳ	口縁内沈線、変形工字文(沈線)
1134	A 6 MG55 Ⅱ層	注口土器	注口部	Ⅲ-1	三叉文(沈線)
1135	A 6 MG55 Ⅱ層	注口土器	口~胴部	Ⅲ-4	B突起、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、L R 肩部半浮彫的突起列
1136	A 1 MJ46 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-1	大波状口縁、口縁上端内外面沈線区画の刻み列、沈線区画の充填縄文 羽状縄文、R L、内面刻み列・縄文施文
1137	A 1 MJ44 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	大型の山形突起・小台状突起 沈線区画の磨消縄文、R L、粘土層多
1138	A 1 MI44 Ⅱ層	鉢	口~胴部	Ⅱ-3 a	沈線区画の刺突文(入線帯状文風)、L R
1139	A 1 MI44 Ⅱ層	鉢	口縁部	Ⅲ-4	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 肩部隆着上突起、沈線区画の磨消縄文 L R、内面スス
1140	A 1 MI46 Ⅱ層	鉢	完形	Ⅳ	山形突起、突起上刻み 口縁内外沈線通る、L R
1141	A 1 MK46 Ⅱ層	浅鉢	半完形	Ⅲ-3	L唇2個1対突起、沈線、磨消縄文、L R
1142	A 1 MI44 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅳ	口縁内沈線、平行沈線 変形工字文(沈線・貼輪)、磨き
1143	A 1 MH40 Ⅱ層	台付浅鉢	半完形	Ⅳ	大波状口縁・波頂部刻みのある突起 変形工字文(沈線・貼輪)、台部平行沈線 口縁内沈線、L R?
1144	A 1 MI44 Ⅱ層	壺	胴上部	V	隆帯による三角状文 隆帯上沈線と刺突のある突起 外面磨き
1145	A 1 MH40 Ⅱ層	壺	(口・底欠)	V	地文のみ、L R
1146	A 1 MK46 Ⅱ層	注口土器	口~底部	Ⅲ-2	口唇・胴部浮彫的突起 胴上部浮彫的文様・刻み上の連珠文
1147	A 1 MM46 Ⅱ層	注口土器	口縁・底部 欠	Ⅲ-4	胴部上半曲線的(クランク形)沈線文 胴中央隆着上2個1対突起・刻み、L R
1148	A 1 MI46 Ⅱ層	筒型土器?	底~胴部	Ⅵ	無文、磨き、底部赤色顔料付着
1149	A 2 MJ47 Ⅱ層	深鉢	口縁部片	Ⅱ-1	大波状口縁、口縁内側肥厚 沈線区画の刻み列と充填縄文、R L
1150	A 2 MI47 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 a	沈線区画の充填縄文、羽状縄文、L R・R L 内面スス
1151	A 2 MM51 Ⅱ層	鉢	半完形	Ⅲ-2	連珠文、平行沈線、内外面磨き、丸底
1152	A 2 MK47 Ⅱ層	鉢	半完形	Ⅲ-4	口縁内沈線、縄文施文の工字文(沈線) L R、赤色顔料付着
1153	A 2 MJ47 Ⅱ層	鉢	口縁部片	Ⅳ	ボタン状突起、口唇・口縁内沈線 変形工字文(沈線)、L R、赤色顔料付着
1154	A 2 MH51 表土	胴付土器	底~底部	Ⅲ-5	無文、方形底部・4脚
1155	A 2 MK51 Ⅱ層	浅鉢	口縁部片	Ⅲ-3	B突起列、口縁内沈線 半浮彫的磨消縄文、L R、内面磨き
1156	A 2 MK47 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-3	半浮彫的突起、半浮彫的磨消縄文、L R 内面磨き
1157	A 2 MM47 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-3	2個1対突起、磨消縄文、L R、内面磨き
1158	A 2 MK48 Ⅱ層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-4	口唇刺突列、口縁上端刻み列 沈線区画の磨消縄文、L R

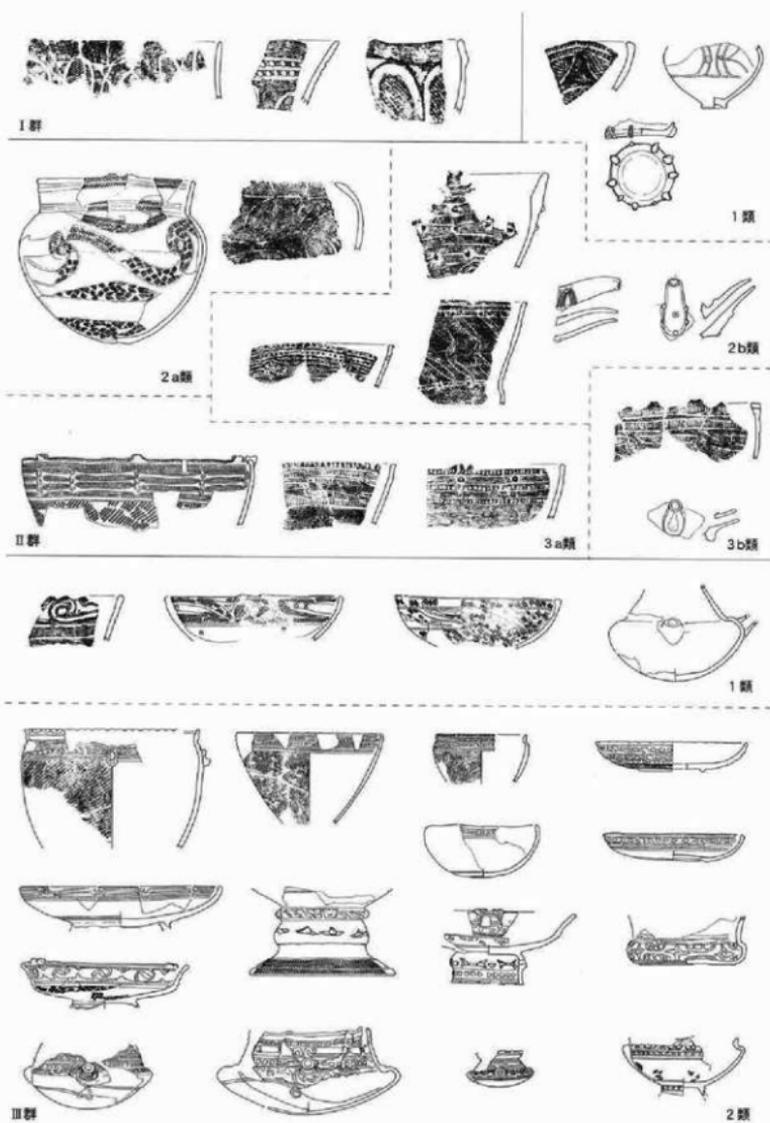
図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
1159	A 2 MH47 II 冠	浅鉢	半完形	III-5	A・B突起、口唇・口縁内沈線 無文・内外面磨き
1160	A 2 MJ47 II 胴	浅鉢	口縁部片	IV	波状口縁、波頂部刻み 口唇・口縁内沈線、平行沈線 工字文(貼輪)
1161	A 2 ML49 II 冠	浅鉢	口～底部	IV	口縁内沈線、変形工字文(沈線)、LR 赤色顔料付着
1162	A 2 MI50 II 胴	浅鉢	完形	III-5	口縁内沈線、工字文(隆起線的) 赤色顔料付着
1163	A 2 ML49 II 胴	浅鉢	半完形	IV	口縁内沈線、変形工字文(沈線)、LR 赤色顔料付着
1164	A 2 MK50 II 胴RP7	浅鉢	完形	V	地文のみ、LR、内面磨きで
1165	A 2 MI51 II 胴	壺	口～胴部	III-4	口縁部無文・磨き、LR
1166	A 2 MH51 II 胴	蓋	口～底部	V	無文
1167	A 2 MH50 II 胴	蓋	口～底部	V-2	沈線文・貫通孔・平行沈線、内面磨き
1168	A 3 MH55 II 胴	鉢	口縁部片	III-4	口唇刻み列、口縁内沈線、隆起上突起 沈線区画の磨消縄文、LR、内面ス
1169	A 3 MH55 II 冠	鉢	口縁部片	III-4	口縁内突起列、口縁上端刻み列 平行沈線間無文
1170	A 3 MI55 II 胴	鉢	口縁部片	III-5	A突起、口唇・口縁内沈線 工字文(沈線・盛輪)
1171	A 3 MH55 II 胴	鉢	口縁部片	V	山形口縁、口縁部無文 頸部隆起的沈線1条走る、LR、ス
1172	A 4 MH58 II 胴	鉢	口～胴部	III-5	口縁内環、変形工字文(沈線) 隆起上短沈線状刻み、LR
1173	A 6 ME52 II 胴	脚付土器	底部	III-5	平行沈線、縦隆起文、棒状脚(4個) 方形底部
1174	A 6 MG52 II 胴	皿(蓋?)	半完形	IV	無文、頂部に對みの山形突起
1175	A 6 MF52 II 胴	皿(蓋?)	口～底部	V	地文のみ、RL、施文後軽く磨で 金雲母多
1176	A 6 MF52 II 胴	皿(蓋?)	口～底部	V	地文のみ、LR、施文後軽く磨で 金雲母多
1177	A 7 MG50 II 胴	鉢?	底部	III-5	平行隆起上刻み列、LR、内面磨き 外面赤色塗彩
1178	A 7 MG51 II 胴	鉢	半完形	III-5	口縁内沈線、工字文(沈線・貼輪)
1179	A 7 MG51 II 冠	鉢	底部欠	III-5	口縁内沈線、口縁・肩部浮彫的工字文 内外面磨き、LR
1180	A 2号沢跡 ML48 II 胴	鉢(蓋)	胴下半部	III-2	口縁～頸部磨き? 胴部浮彫的な羊歯状文系文様
1181	A 2号沢跡 MK48 II 胴	鉢	胴上部	III-2	口縁上端刻み、半齒状文、LR
1182	A 2号沢跡 MJ47 II 冠	鉢	口縁部片	III-4	B突起、口唇部みの小山形口縁 口縁内沈線、肩部隆起上突起 平行沈線、磨消縄文、LR
1183	A 2号沢跡 MJ47 II 胴	鉢	口縁部片	III-4	ボタン状突起1個、B突起、口唇刻み列 口縁内沈線、肩部隆起上突起 沈線区画の磨消縄文、LR
1184	A 2号沢跡 RP18 II 胴	鉢	完形	III-5	平行沈線間無文、口縁上端地文、LR 口縁内沈線、内外面ス

図番	位置・部位	器種	部位	分期	模様の特徴
1185	A 2号沢跡 M J 47 II層	鉢	口縁部片	IV	ボタン状突起、波状口縁 口唇・口縁内沈線 変形工字文(沈線・盛輪)
1186	A 2号沢跡 M I 47 II層	鉢	半完形	IV	口縁内沈線、変形工字文(沈線・盛輪) L・R
1187	A 2号沢跡 MK 47 II層	浅鉢	完形	III-2	刻みの小山形口縁、浮彫的半垂状文
1188	A 2号沢跡 M J 48 II層	浅鉢	口~胴部	III-3	半浮彫的突起列、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、R・L、内面磨き
1189	A 2号沢跡 MK 48 II層	浅鉢	口~底部	III-3	半浮彫的突起、沈線区画の磨消縄文、L・R
1190	A 2号沢跡 MK 48 II層	浅鉢	完形(半)	III-3	口縁上端刻み、平行沈線 沈線区画の磨消縄文、L・R
1191	A 2号沢跡 M L 47 II層	浅鉢	半完形	III-3	平行沈線と細い刻み列、羽状縄文 L・R・R・L
1192	A 2号沢跡 MH 46 II層	浅鉢(蓋?)	口縁部	V-2	口縁内沈線、沈線区画の磨消縄文、R・L 一部区画内刺突列、金雲母多
1193	A 2号沢跡 MH 46 II層	台付鉢	台部	III-2	隆帯上2個1対突起4個・右下がり沈線 透かし、L・R
1194	A 2号沢跡 M I 47 II層	脚付浅鉢	底部	III-5	工字文(沈線・盛輪) 内外面磨き方形底部・四隅棒状脚
1195	A 2号沢跡 MH 45 II層 R P 9	台付鉢?	台部	V	地文のみ、L・R
1196	A 2号沢跡 MH 46 II層	甕	胴上部	V	無文、外蓋撫で磨き、金雲母多、スス付着
1197	A 2号沢跡 MH 45 II層	甕	口~胴部	V	口縁部無文、L・R、スス付着
1198	A 2号沢跡 MH 46 II層	甕	胴部片	V-2	平行沈線、山形沈線文、L・R
1199	A 2号沢跡 MH 45 III層	甕	胴上部	VI	口縁部無文、頸部貫通孔2個、L・R
1200	A 2号沢跡 M I 42 II層	甕	完形	VI	無文、細い波状口縁、磨き磨き
1201	A 2号沢跡 MH 46 II層	蓋	把手欠	V	無文、内外面磨き
1202	A 2号沢跡 M I 47 II層	蓋	把手欠	V	地文のみ、L・R、外面輪襷度
1203	A 2号沢跡 M I 45 II層 R P 10	甕	完形	V	地文のみ、L・R、内外面スス 口縁内赤色顔料付着
1204	A 2号沢跡 MH 46 II層	蓋	口縁部片	V-2	口縁内沈線、沈線区画の磨消縄文、L・R 一部区画内刺突列、金雲母多
1205	B区 MN 39 攪乱	深鉢	口~胴部	I	沈線区画の磨消縄文、L・R
1206	B区 MN 39 攪乱	深鉢	胴部片	I	沈線区画の磨消縄文、R・L
1207	B区 MM 40 攪乱	蓋?	底部	II-1	底部下端に脚状の突起10個
1208	B区 M Q 36 II層	壺	胴~底部	II-1	沈線文、筋線、低く小さい台、磨き
1209	B区 M Q 36 II層	壺	口~底部	II-1	口縁上端に沈線区画で縄文、中央刻み の突起、頸部~肩・無文・磨き、L・R
1210	B区 M Q 36 II層	鉢	完形(半)	II-2 a	2個1対の台状突起 沈線区画の充填縄文(入組帯状文)、入組 部にボタン状付付文、羽状縄文、L・R・R・L
1211	B区 M Q 38 II層	香炉形?	口縁部	II-2 a	沈線文・磨消帯状文
1212	B区 M Q 36 I層	深鉢	口縁部片	II-2 b	沈線区画の充填縄文、入組文、平行沈線 口縁部・頸部粘土磨消、R・L、内面スス
1213	B区 M Q 36 II層	鉢	口縁部	II-2 b	沈線による入組文、残帯、小粘土磨多
1214	B区 M Q 36 II層	鉢	口縁部片	II-3 a	刻みの台状突起、沈線区画の刺突列 粘土磨、L・R
1215	B区 M Q 36 II層	深鉢	口~胴部	II-3 a	口縁突起6個、沈線区画の刺突列、L・R
1216	B区 M Q 36 I層	鉢	口縁部片	II-3 a	口縁突起状粘土磨 短沈線状刺突列の入組帯状文、L・R

図番	位置・層位	器種	部位	分類	構種の特徴
1217	B区 MQ36 1層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	口縁突起状粘土瘤、刻みの小山形口縁 冠沈線状刺突充填の入組帯状文 羽状縄文、L R・R L
1218	B区 MK40 攪乱	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 b	大小の台状突起 沈線区画の冠沈線充填文(入組帯状文)
1219	B区 MQ36 Ⅱ層	深鉢	壳形	Ⅲ-4	小山形口縁、口縁部無文・横で、L R スス付着
1220	B区 攪乱	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	口縁内平行沈線、隆帯の三角文 平行沈線、2重刺突列、L R
1221	B区 MQ36 Ⅰ層	鉢	壳形	Ⅵ	無文、外面磨き、低い台付
1222	B区 MM31 攪乱	浅鉢	口～底部	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、口縁内沈線 半浮彫的磨消縄文(充填?)、L R 内面磨き
1223	B区 MN40 攪乱	浅鉢	半壳形	Ⅲ-4	平行沈線、内外面磨き
1224	B区 攪乱	浅鉢	半壳形	Ⅲ-5	口縁内沈線、平行沈線 工字文(沈線・貼附)、L R、内面磨き
1225	B区 MM40 攪乱	台付浅鉢	台部欠	Ⅲ-2	方形、口縁・四隅2個1対突起、沈線による 半浮彫的文様、台部透かし、L R
1226	B区 MG41 Ⅱ層	台付浅鉢?	胴下半部	Ⅲ-5	平行沈線、内外面磨き
1227	B区 MD40 攪乱	台付鉢 (蓋?)	半壳形	V?	無文
1228	B区 MM39 攪乱	蓋?	胴下半部	Ⅲ-3	磨消縄文、L R、丸底
1229	B区 MQ36 Ⅱ層	壺	L～肩部	V	地文のみ、R L施文後、羽状風に燃り系文
1230	A3号沈鉢 M143 Ⅱ層	鉢	半壳形	Ⅲ-5	口唇刻み・山形突起、平行沈線、L R
1231	S X03 M145 2層	鉢	口縁部片	Ⅱ-2 b	大型の山形突起、口縁内粘土貼付 沈線区画の磨消縄文、L R、粘土瘤多
1232	S X03 M J45 2層	鉢	口～胴部	Ⅱ-3 a	中央刺突・刻みの台状小突起、沈線区画 の刺突充填文(入組帯状文風)、R L
1233	S X03 2層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	台状突起、沈線区画の刻み列の文様 突起部にボタン状の粘土瘤、沈線文
1234	S X03 2層	鉢	口縁部片	Ⅱ-3 a	突起、沈線区画の充填縄文 沈線区画の刺突文、L R
1235	S X03 M J45 2層	鉢	口～底部欠	Ⅲ-2	刻みの小山形口縁、革書状文、羽状縄文 L R・R L、刺突列、内面磨き
1236	S X03 M J45 2層	鉢	半壳形	Ⅲ-4	口唇刻み、2個1対突起、口縁内沈線 平行沈線と刺突列
1237	S X03 3層	鉢	口～胴部	Ⅲ-5	口唇刻み・突起、隆帯上沈線と突起 半浮彫的工字文(沈線・縄文様)、L R? 口縁内沈線・磨き
1238	S X03 MK46 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	B突起、口唇刻み列、口縁内沈線 隆帯隆帯上突起・沈線、工字文(沈線) L R
1239	S X03 M J46 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	A突起、口唇刻み列、隆帯上沈線 平行沈線、L R、内面磨き
1240	S X03 M145 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	A突起、口縁内沈線、隆帯の三角文 平行沈線、斜め刺突列、L R
1241	S X03 MK46 2層	鉢	口縁部片	Ⅲ-5	小山形口縁、平行沈線 短沈線状の刺突列、L R

図番	位置・斜位	器種	部位	分類	模様の特徴
1242	S X03 ML46 2層	脚付浅鉢?	底部	Ⅲ-5	平行沈線(工字文?) 方形底部・四隅稜状脚
1243	S X03 M I 45 2層	鉢	口縁部片	IV	口縁内沈線、変形工字文(沈線)、磨き
1244	S X03 ML46 2層	浅鉢	底部欠	Ⅲ-3	半浮彫的突起列、沈線区画の磨消縄文 L R
1245	S X03 ML46 2層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-3	B突起列、口唇刻み列 半浮彫的磨消縄文、L R
1246	S X03 M I 45 2層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-3	B突起列、沈線区画の半浮彫的磨消縄文 L R、内面磨き、補修孔
1247	S X03 M I 45 2層	浅鉢	口~胴部	Ⅲ-4	A突起、口縁内沈線 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
1248	S X03 2層	浅鉢	口~底部	Ⅲ-4	A突起、口唇沈線、底内縄文施文の縷帯 沈線区画の磨消縄文、L R、内面磨き
1249	S X03 M J 45 2層	脚付浅鉢?	胴下半部	Ⅲ-5	工字文(沈線)、方形状底部・四隅稜状脚
1250	S X03 M J 45 2層	台付浅鉢	台部欠	Ⅲ-5	無文、内外面磨き
1251	S X03 M I 45 2層	台付鉢?	台部	Ⅲ-5	底内門文(沈線) 平行沈線(一部工字文)
1252	S X03 M J 45 2層	壺	胴部	Ⅲ-3	沈線区画の磨消縄文、降帯上刻み・突起 L R
1253	S X03 M J 45 2層	注口土器	胴~注口部	Ⅲ-1	無文、磨き
1254	S X03 MK46 2層	香炉形?	胴部片	Ⅲ-3	透かし、磨消帯浮彫的突起列、透珠文 L R
1255	S X02 2層	台付鉢?	台部	V-1	波状工字文(3本1組沈線)、内外面磨き
1256	S D03 MD56 埋土	鉢	口~胴部	Ⅲ-5	平行沈線、沈線区画に刻み列、内面磨き L R
1257	S D15 MC54 埋土	釜	半圆形	V	無文、内外面雑な磨き
1258	S B14 埋土	浅鉢	口~底部	Ⅲ-5	口唇・口縁内沈線、工字文(沈線・盛線) L R、内面磨き
1259	S K26 埋土	壺	完形	Ⅲ-5	頸部沈線、口縁部無文、磨き、L R
1260	S D21 埋土	脚付鉢	底部	Ⅲ-5	工字文(沈線・盛線)、方形底部 棒状?四脚
1261	S D23 埋土	鉢	口~底部	Ⅲ-4	口縁内沈線、口縁部無文、磨き、L R
1262	P 755 埋土	壺	口~頸部欠	Ⅲ-4	頸部沈線、L R
1263	A 2号沢罽 MK48 Ⅱ層	鉢	口縁欠	Ⅵ-Ⅲ	刻み列、平行沈線、R L
1264	A 2 MK51 Ⅱ層	鉢	口~底部	Ⅵ-Ⅲ	口唇部刻み、山形突起、降帯上刻み 外面雑な磨で
1265	A 3 MK54 Ⅱ層	鉢	完形	Ⅵ	無文、外面雑な磨で
1266	A 5 Ⅱ層	鉢	胴上部	Ⅵ	無文、雑な磨で
1267	A 5 MF56 Ⅲ層	鉢	完形	Ⅵ	無文、内外面磨き、外面赤色顔料塗彩
1268	A 2 MK51 Ⅱ層	鉢	底部欠	Ⅵ	無文、雑な磨で
1269	P 74 埋土	鉢	完形	Ⅵ	無文、外面雑な磨き
1270	A 4号沢罽 MG57 埋土	鉢	胴下半部	Ⅵ	無文、上げ底ごみ
1271	A 2 ML47 Ⅱ層	鉢	完形	Ⅵ	無文、雑な磨で
1272	A 6 ME54 Ⅱ層	鉢	完形	Ⅵ	無文
1273	A 1 M I 43 Ⅱ層	鉢	完形	Ⅵ	無文
1274	A 2号沢罽 MK47 Ⅱ層	台付鉢	完形	Ⅵ-Ⅲ-3	山形突起、平行沈線、刻み状透珠文
1275	A 2号沢罽 ML48 Ⅱ層	台付鉢	完形	Ⅵ-Ⅲ	口唇部刻み、平行沈線、沈線文
1276	A 1 MM46 Ⅱ層	台付鉢	完形	Ⅵ	無文
1277	A 2 M I 47 Ⅱ層	台付鉢	完形	Ⅵ-Ⅲ	山形突起1個、無文

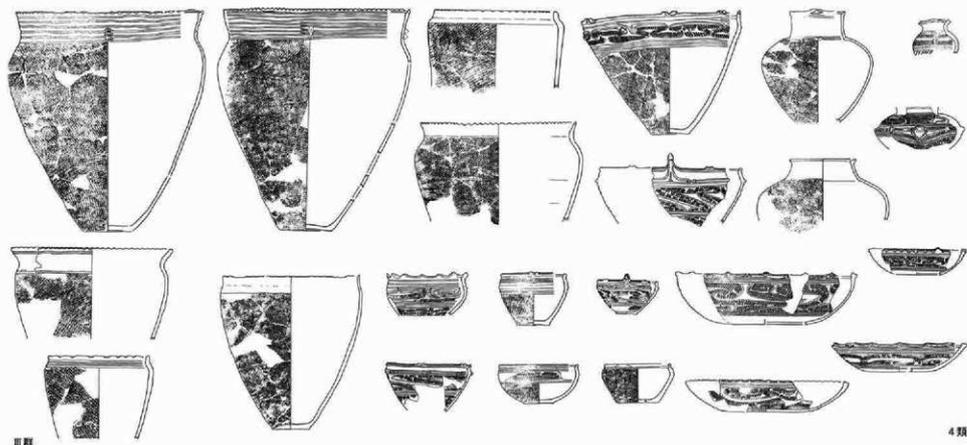
図番	位置・層位	器種	部位	分類	模様の特徴
1278	A 2 MJ 48 II層	台付鉢	完形	Ⅶ	無文
1279	A 2 MF 52 II層	台付鉢	口縁 台部欠	Ⅶ	無文
1280	A 6 MG 54 III層	台付鉢?	台部	Ⅶ	無文
1281	A 5 MD 55 III層	浅鉢	完形	Ⅶ・Ⅲ	無文、内外面棘な磨き、口縁部刻み列
1282	A 2 ML 51 II層	蓋?	完形	Ⅶ	口縁部透かし、胴上部半浮彫的突起 沈線文
1283	A 3 II層	浅鉢	完形	Ⅶ・Ⅲ	山形突起、内外面沈線
1284	A 6 ME 52 II層	鉢?	完形	Ⅶ・Ⅲ-5	縦位粘土粘貼付、口縁部穿孔 平行沈線(工字状文?)
1285	A 2 ML 47 II層	鉢?	口縁部片	Ⅶ・Ⅲ-3	半浮彫的な沈線文
1286	A 2号沢罌 ML 48 II層	蓋	口~胴部	Ⅶ・Ⅲ	隆帯、沈線文
1287	A 5 ME 57 III層	蓋	胴上部	Ⅶ・Ⅲ	外面磨き、胴部平行沈線、口縁部刻み
1288	SX 03 2層	蓋	完形	Ⅶ・Ⅴ	地文のみ、R L
1289	A 6 MD 55 III層下	蓋?	胴下半部	Ⅶ	無文
1290	A 6 MG 52 II層	蓋	完形	Ⅶ・Ⅲ	平行沈線、棘な撫で
1291	B区 MQ 36 II層	舟形?	完形	Ⅶ	無文
1292	A 1 MH 45 II層	蓋	完形	Ⅶ・Ⅴ	無文



第83圖 土器分類圖 1

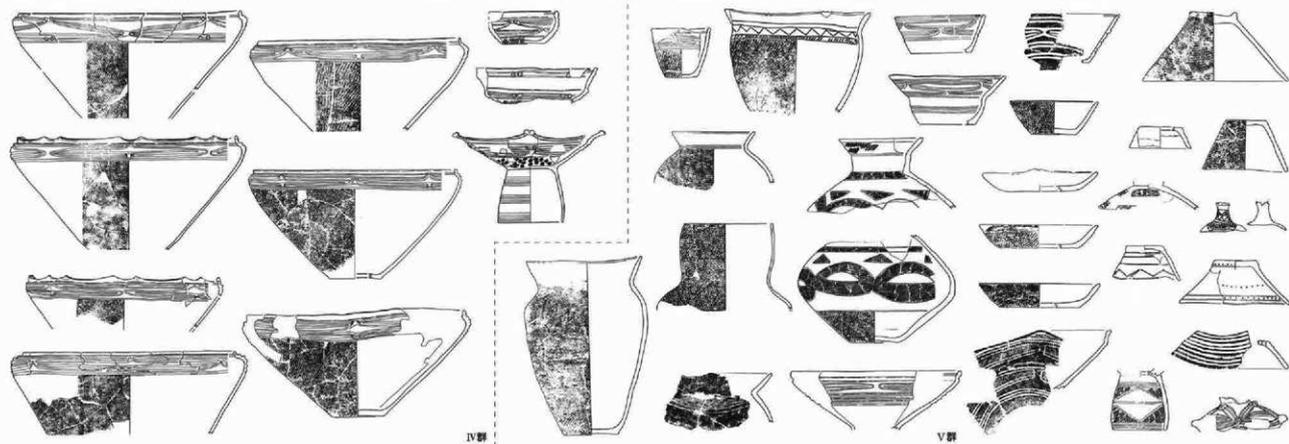
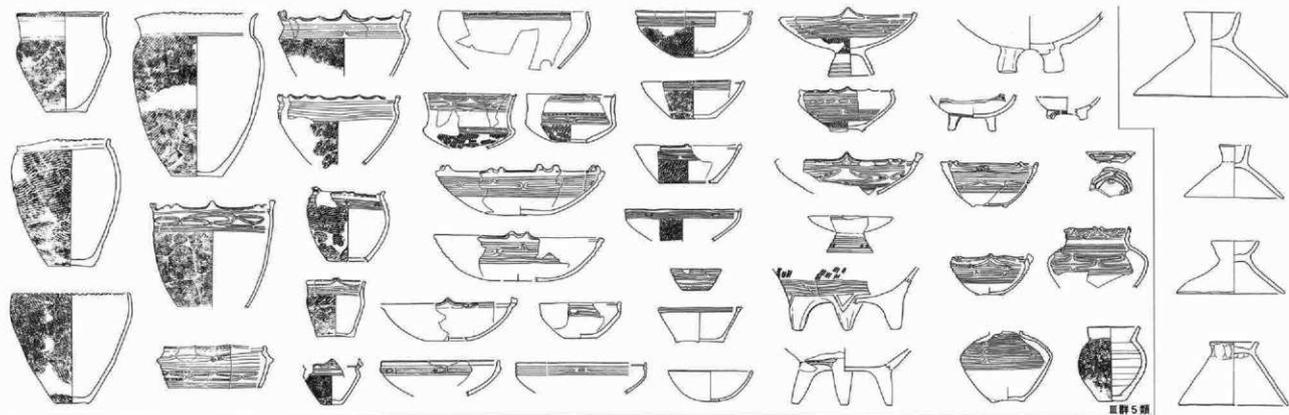


3類



4類

第84図 土器分類図2



第85圖 土器分類圖 3

## B. 石器 (第86~116図、第7表、写真図版72~138)

今回の発掘調査で出土した石器は、二次加工もしくは使用の痕跡の認められる製品等が約2,600点とフレーク類が大コンテナ12箱分である。このうち遺構内出土のものは極めて少なく、ほとんどが遺構外からの出土である。以下の掲載については出土地点別ではなく、形態等によって器種分類を行い、器種毎に細分類した中からサンプリング的に数点を実測して掲載した。大別としては剥片石器類・礫石器類・石核・フレーク・自然礫からなり、器種分類は次の通りとした。剥片石器では、定形石器の尖頭器(棒)石器、石鏃、石錘、石匙、石筥などがあり、これら以外は不定形石器として扱い、全面が加工された異形の石器は異形石器として分類した。なお、フレーク類については微細剥離痕のある剥片も多く認められたが、整地層出土ということもあって使用痕との区別が適わないため本報告からは省くこととした。礫石器類では、磨製石斧、環状石斧、打製石斧(石鋸)、磨・敲石、凹石、石皿、砥石、石鏢などがある。自然礫として取り上げたものは人工的な加工は加えられていないが、石鏢の可能性もある有孔礫である。各種類の出土点数と掲載点数は以下に記載している。なお、器種分類の可能であったものはすべて計測表と写真図版として掲載している。

### 尖頭器(棒)石器(第86・87図、第7表、写真図版72~78)

平面形が所謂槍先形や木葉形の尖頭器に似る厚手のものである。石鏃に次いで多く、460点出土している。形態分類の可能な303点を掲載した。大きき的には石鏃と思われるものもあるが、厚手のものは本類とした。大きく4類、さらに細分できる。

1類、左右がほぼ対称となる木葉形のものである。150点が出土し、器種内での割合は32%を占める。さらに2分できる。

a 基部が尖っているものである。69点中、10点を図示した。類内の最大のものは長さ6.6cm、幅3.7cm、厚さ1.9cm、重量36.5g、最小は長さ2.6cm、幅1.8cm、厚さ1.0cm、重量3.9g、平均は長さ約3.7cm、幅約2.2cm、厚さ約1cm、重量約7.1gである。類内での割合は46%を占める。

b 基部が丸あるいは平らに近いものである。81点中、6点を図示した。類内の最大は長さ6.1cm以上、幅3.2cm、厚さ0.7cm、重量16.1g以上、最小は長さ2.3cm、幅1.7cm、厚さ0.7cm、重量2.2g、平均は長さ約3.6cm、幅約1.4cm、厚さ約1cm、重量約7.9gである。類内での割合は54%を占める。

2類、木葉形で1-b類に類するが、左右対称性がやや崩れているものである。基部形態は基本的に丸形であるが、やや尖るものもある。63点中、8点を図示した。器種内の最大は長さ5.8cm以上、幅3.3cm、厚さ2.5cm、重量22.8g以上、最小は長さ2.5cm、幅1.7cm、厚さ0.7cm、重量2.7g、平均は長さ約3.7cm、幅約2.5cm、厚さ約1.1cm、重量約8.9gである。器種内での割合は13.6%を占める。

3類、やや細身で厚手のものである。39点中、8点を図示した。器種内の最大は長さ6.5cm以上、幅2.5cm、厚さ1.5cm、重量21.2g以上、最小は長さ2.85cm、幅1.5cm、厚さ0.75cm、重量2.5g、平均は長さ約4.4cm、幅約1.9cm、厚さ約1cm、重量約7.7gである。器種内での割合は8.5%を占める。

4類、その他、形が不整で上記に属さないものと厚みを除いては形態・規格が石鏃的なものである。加工途中の未製品と思われるものも含む。51点出土中、6点を図示した。器種内の最大は長さ6cm以上、幅2.2cm、厚さ1.0cm、重量10.1g以上、最小は長さ2.2cm、幅1.6cm、厚さ0.9cm、重量2.8g、平均は長さ約3.7cm、幅約2.2cm、厚さ約1.1cm、重量約11.1gである。器種内での割合は11%を占める。

### 石鏢(第88~90図、第7表、写真図版78~88)

弓矢の先端に着けたと考えられる石器で、基本的に両面加工の左右対称形のものである。出土点数898点と最も多い器種である。形態分類の可能な675点を掲載した。基部の形状で大きく6類、さらに細分できる。

- 1類 有茎の所謂凸基式のものである。539点出土し、器種内での割合は60%を占める。さらに5分できる。
- 基部が角張るものである。107点中、5点を図示した。類内の最大は長さ4.6cm、幅2.4cm、厚さ0.6cm、重量4.6g、最小は長さ1.8cm、幅0.9cm、厚さ0.3cm、重量0.3g、平均は長さ約2.5cm、幅約1.3cm、厚さ約0.5cm、重量約1gである。類内での割合は19.8%を占める。
  - 基部が丸みを有するものである。79点中、6点を図示した。類内の最大は長さ4.2cm以上、幅1.5cm、厚さ0.6cm、重量2.4g以上、最小は長さ1.9cm、幅1.1cm、厚さ0.3cm、重量0.5g、平均は長さ約2.6cm、幅約1.5cm、厚さ約0.5cm、重量約1.5gである。類内での割合は14.6%を占める。
  - 基部が平らなものである。168点中、5点を図示した。類内の最大は長さ4.8cm以上、幅1.6cm、厚さ0.6cm、重量3.4g以上、最小は長さ1.6cm、幅1.0cm、厚さ0.5cm、重量0.5g、平均は長さ約2.6cm、幅約1.3cm、厚さ約0.5cm、重量約1.2gである。類内での割合は31.1%を占める。
  - 基部の張出しが弱いか細身のものである。154点中、7点を図示した。類内の最大は長さ5.7cm、幅1.45cm、厚さ0.75cm、重量3.6g、最小は長さ1.6cm、幅1.0cm、厚さ0.4cm、重量0.5g、平均は長さ約2.6cm、幅約1.2cm、厚さ約0.6cm、重量約1.4gである。類内での割合は28.5%を占める。
  - 基部が十字剣状を呈するものである。31点中、4点を図示した。類内の最大は長さ4.1cm以上、幅1.6cm、厚さ0.6cm、重量2.1g以上、最小は長さ1.8cm、幅1.1cm、厚さ0.5cm、重量0.4g、平均は長さ約2.4cm、幅約1.2cm、厚さ約0.5cm、重量約0.8gである。類内での割合は5.7%を占める。
- 2類 基部が窪む所謂凹基式である。59点が出土し、器種内の割合は6.5%を占める。さらに4分できる。
- 木葉形で基部の挟りが小さいものである。36点中、4点を図示した。類内の最大は長さ4.6cm以上、幅1.5cm、厚さ0.4cm、重量2.1g以上、最小は長さ2.4cm、幅0.9cm、厚さ0.3cm、重量0.7g、平均は長さ約2.7cm、幅約1.4cm、厚さ約0.4cm、重量約1.4gである。類内での割合は61%を占める。
  - 二等辺三角形でV字形の挟りが大きいものである。10点中、4点を図示した。類内の最大は長さ3.7cm、幅1.9cm、厚さ0.4cm、重量2.2g、最小は長さ2.6cm、幅1.2cm、厚さ0.4cm、重量1.1g、平均は長さ約2.3cm、幅約1.3cm、厚さ約0.4cm、重量約0.9gである。類内での割合は16.9%を占める。
  - 側縁に緩い段をもち、挟がやや大きいものである。7点中、3点を図示した。類内の最大は長さ3.3cm、幅1.5cm、厚さ0.4cm、重量1.5g、最小は長さ2.5cm、幅1.4cm、厚さ0.5cm、重量1.1g、平均は長さ約2.8cm、幅約1.5cm、厚さ約0.5cm、重量約1.6gである。類内での割合は11.8%を占める。
  - 五角形状を呈するものである。6点中、4点を図示した。類内の最大は長さ3.9cm、幅1.3cm、厚さ0.6cm、重量2.4g、最小は長さ2.4cm、幅1.6cm、厚さ0.5cm、重量1.4g、平均は長さ約2.7cm、幅約1.5cm、厚さ約0.5cm、重量約1.5gである。類内での割合は10.1%を占める。
- 3類 平基のものである。16点が出土し、器種内の割合は1.8%を占める。さらに3分できる。
- 木葉形様のものである。10点中、3点を図示した。類内の最大は長さ3.45cm、幅1.8cm、厚さ0.6cm、重量3.3g、最小は長さ2.4cm、幅1.6cm、厚さ0.35cm、重量1.1g、平均は長さ約2.7cm、幅約1.7cm、厚さ約0.4cm、重量約1.9gである。類内での割合は62.5%を占める。
  - 二等辺三角形のものである。1点のみ出土した。類内での割合は6.2%を占める。
  - 左右の対称性の崩れたものである。5点中、4点を図示した。類内の最大は長さ2.8cm、幅1.4cm、厚さ0.7cm、重量2.2g、最小は長さ2.0cm、幅1.3cm、厚さ0.4cm、重量1.1g、平均は長さ約2.4cm、幅約1.5cm、厚さ約0.5cm、重量約1.6gである。類内での割合は31.2%を占める。
- 4類 木葉形もしくは菱形を呈するものであるが、尖頭器様石器1-a類より薄手のものである。27点中、

9点を図示した。器種内の最大は長さ3.5cm以上、幅1.6cm、厚さ0.8cm、重量2.9g以上、最小は長さ1.6cm、幅1.0cm、厚さ0.4cm、重量0.4g、平均は長さ約2.7cm、幅約1.5cm、厚さ約0.6cm、重量約1.9gである。器種内での割合は3%を占める。

5類、円基のものである。尖頭器様石器1-b類あるいは2類に類似するが、より薄手のものである。29点出土し、器種内での割合は3.2%を占める。さらに2分できる。

a 左右対称性のあるものである。10点中、4点を図示した。類内の最大は長さ4.0cm、幅1.8cm、厚さ0.7cm、重量3.1g、最小は長さ2.1cm、幅1.2cm、厚さ0.6cm、重量1.5g、平均は長さ約2.6cm、幅約1.5cm、厚さ約0.6cm、重量約2.1gである。類内での割合は34.5%を占める。

b 左右の対称性の崩れたものである。19点中、3点を図示した。類内の最大は長さ3.4cm以上、幅1.8cm、厚さ0.5cm、重量2.5g以上、最小は長さ2.2cm、幅1.3cm、厚さ0.7cm、重量1.9g、平均は長さ約2.5cm、幅約1.6cm、厚さ約0.6cm、重量約2.2gである。類内での割合は65.5%を占める。

6類、アメリカ式石鏃・特殊石鏃および定形性の弱いものである。5点中、4点を図示した。

石鏃(第91図、第7表、写真図版88~93)

穿孔するための石器で、295点出土している。形態分類の可能な214点を掲載した。つまみの有無で2大別され、鏃部の形状で細分できる。

1類、つまみ状の頭部を有するものである。111点が出土し、器種内の割合は37.6%を占める。さらに3分できる。

a 多少とも整形された明確なつまみ部を有し、棒状の鏃部をもつものである。75点中、6点を図示した。類内の最大は長さ6.5cm以上、幅2.4cm以上、厚さ1.2cm、重量11.8g以上、最小は長さ2.2cm、幅1.0cm以上、厚さ0.3cm、重量0.6g以上、平均は長さ約3.4cm、幅約1.8cm、厚さ約0.7cm、重量約3.7gである。類内での割合は67.5%を占める。

b 全体的に2次加工されるが、つまみ部の作出が明確でなく、幅広の頭部から鏃先端部への稜線が直線的なものである。23点中、4点を図示した。類内の最大は長さ4.5cm以上、幅2.1cm、厚さ0.9cm、重量6.1g以上、最小は長さ2.1cm、幅1.2cm、厚さ0.7cm、重量2.1g、平均は長さ約3.5cm、幅約1.6cm、厚さ約0.9cm、重量約3.8gである。類内での割合は20.7%を占める。

c 木葉形に近い尖頭器様のものである。13点中、4点を図示した。類内の最大は長さ4.2cm以上、幅1.5cm、厚さ0.9cm、重量4.0g以上、最小は長さ1.8cm、幅0.9cm、厚さ0.65cm、重量0.8g、平均は長さ約2.5cm、幅約1.4cm、厚さ約0.8cm、重量約2gである。類内での割合は11.7%を占める。

2類、不定形剥片の一端を加工して簡易な鏃部を作り出したものである。33点中、4点を図示した。器種内の最大は長さ5.2cm以上、幅2.9cm、厚さ1.2cm、重量13.0g以上、最小は長さ2.5cm、幅1.1cm、厚さ0.7cm、重量1.2g、平均は長さ約3.3cm、幅約1.9cm、厚さ約0.8cm、重量約4.4gである。器種内での割合は11.2%を占める。

3類、細身で棒状のものである。1a類の破損品が含まれるかもしれない。70点中、3点を図示した。器種内の最大は長さ5.6cm以上、幅1.4cm、厚さ1.0cm、重量5.8g以上、最小は長さ1.8cm、幅0.6cm、厚さ0.4cm、重量0.4g、平均は長さ約3.3cm、幅約0.9cm、厚さ約0.7cm、重量約2gである。器種内での割合は23.7%を占める。

石匙(第92~93図、第7表、写真図版93~96)

薄手の剥片につまみを有するものである。90点が出土している。形態分類の可能な65点を掲載した。剥

片に対するつまみの位置によって3大別、刃部の形態でさらに細分できる。

1類、つまみと刃部が平行する所謂縦型石匙である。28点が出土し、器種内での割合は31%を占める。さらに3分できる。

- a つまみの対極に尖頭部を有するものである。17点中、7点を図示した。類内の最大は長さ9.6cm以上、幅4.3cm、厚さ1.1cm、重量33.3g以上、最小は長さ4.5cm、幅2.5cm、厚さ0.8cm、重量5.0g、平均は長さ約5.8cm、幅約2.7cm、厚さ約0.8cm、重量約10.1gである。類内の割合は60.7%を占める。
- b つまみの対極が丸みを帯びるものである。7点中、2点を図示した。類内の最大は長さ8.3cm以上、幅3.3cm、厚さ1.5cm、重量16.1g以上、最小は長さ4.9cm、幅1.8cm、厚さ0.5cm、重量3.4g、平均は長さ約5.4cm、幅約2.4cm、厚さ約0.9cm、重量約9.9gである。類内の割合は25%を占める。
- c つまみの対極が直線的なものである。4点中、3点を図示した。類内の最大は長さ7.1cm以上、幅5.0cm、厚さ1.4cm、重量28.4g以上、最小は長さ4.7cm、幅2.0cm、厚さ0.7cm、重量5.7g、平均は長さ約6cm、幅約3.5cm、厚さ約1.1cm、重量約17.5gである。類内の割合は14.3%を占める。

2類、つまみと刃部が直行する所謂横型石匙である。18点が出土し、器種内での割合は20%を占める。さらに2分できる。

- a 直刃のものである。刃部の両端もしくは一端に尖頭部を有するものもある。(①) 7点中、3点を図示した。類内の最大は長さ4.9cm、幅7.1cm、厚さ1.2cm、重量21.7g、最小は長さ2.6cm、幅5.7cm、厚さ0.7cm、重量6.2g、平均は長さ約3.4cm、幅約4.9cm、厚さ約1.1cm、重量約11.9gである。類内の割合は38.9%を占める。
- b 凸刃のものである。刃部の両端もしくは一端に尖頭部を有するものもある。(①) 11点中、4点を図示した。類内の最大は長さ6.55cm、幅4.1cm以上、厚さ1.45cm、重量22.6g以上、最小は長さ1.8cm、幅1.7cm、厚さ0.3cm、重量0.8g、平均は長さ約3.7cm、幅約4.2cm、厚さ約0.9cm、重量約11.1gである。類内の割合は61.1%を占める。

3類、つまみが刃部に対して斜めにあるものである。19点が出土し、器種内での割合は21.1%を占める。さらに2分できる。

- a 直刃のものである。刃部の両端か一端に尖頭部を有するものもある。(①) 4点出土した。類内の最大は長さ4.25cm、幅6.3cm、厚さ1.3cm、重量30.7g、最小は長さ2.8cm、幅6.2cm、厚さ0.7cm、重量9.2g、平均は長さ約3.2cm、幅約5.4cm、厚さ約1cm、重量約14.3gである。類内の割合は21%を占める。
- b 凸刃のものである。刃部の両端もしくは一端に尖頭部を有するものもある。(①) 15点中、4点を図示した。類内の最大は長さ6.65cm、幅6.95cm、厚さ1.4cm、重量39.2g、最小は長さ2.4cm、幅3.9cm、厚さ0.6cm、重量4.7g、平均は長さ約4cm、幅約5.1cm、厚さ約1cm、重量約16.3gである。類内の割合は78.9%を占める。

石匙(第94~96図、第7表、写真図版96~99)

ほぼ左右対称で、所謂ヘラ状を呈するもので、99点出土した。形態分類の可能な94点を掲載した。形態から大きく4類、さらに細分できる。

1類、基部が細く刃部の広い所謂撥形のものである。48点が出土し、器種内での割合は48.5%を占める。さらに2分できる。

- a 刃部が直線的なものである。38点中、7点を図示した。類内の最大は長さ12.1cm、幅5.0cm、厚さ3.2cm、重量209.1g、最小は長さ4.0cm、幅3.1cm、厚さ1.2cm、重量12.9g、平均は長さ約7.6cm、幅約

4.1cm、厚さ約1.9cm、重量約68gである。類内の割合は79.2%を占める。

- b 刃部が弧状のものである。10点中、4点を図示した。類内の最大は長さ13.1cm、幅6.3cm、厚さ3.2cm、重量228.6g、最小は長さ4.1cm、幅2.1cm、厚さ1.0cm、重量9.5g、平均は長さ約7.6cm、幅約4.1cm、厚さ約1.9cm、重量約69.4gである。類内の割合は20.8%を占める。

2類 基部が尖る二等辺三角形を呈するものである。20点が出土し、器種内での割合は20.2%を占める。さらに2分できる。

- a 刃部が直線的なものである。14点中、4点を図示した。類内の最大は長さ11.1cm、幅5.2cm、厚さ2.6cm、重量151.1g、最小は長さ4.8cm、幅3.1cm、厚さ1.2cm、重量13.3g、平均は長さ約7.3cm、幅約3.6cm、厚さ約1.7cm、重量約47.2gである。類内の割合は70%を占める。

- b 刃部が弧状のものである。6点中、4点を図示した。類内の最大は長さ12.35cm、幅3.9cm、厚さ2.0cm、重量80.1g、最小は長さ6.4cm、幅3.4cm、厚さ1.4cm、重量24.3g、平均は長さ約9cm、幅約4.2cm、厚さ約1.9cm、重量約70.2gである。類内の割合は30%を占める。

3類 平面形が楕円形状のものである。10点中、4点を図示した。器種内の最大は長さ9.3cm、幅4.5cm、厚さ1.65cm、重量74.9g、最小は長さ4.7cm、幅3.2cm、厚さ1.5cm、重量21.3g、平均は長さ約6.4cm、幅約3.5cm、厚さ約1.6cm、重量約33.2g前後である。器種内での割合は10.1%を占める。

4類 基部と刃部の幅がほぼ等しい所謂短冊型のものである。7点中、3点を図示した。器種内の最大は長さ9.8cm、幅3.7cm、厚さ1.8cm、重量74g、最小は長さ6.4cm、幅3.3cm、厚さ1.6cm、重量34.5g、平均は長さ約7.6cm、幅約3.6cm、厚さ約1.7cm、重量約52.5gである。器種内での割合は7%を占める。

5類 基部が欠かかっている分類不能のものである。10点出土した。

#### 不定形石器(第97～99図、第7表、写真図版99～106)

上記以外の剥片石器を一括した。石鏃と尖頭器に次いで多く208点が出土しているが、上記器種の破損品が含まれている可能性もある。形状と刃部の形態から細分した。

1類 やや定形性が認められるもので、ほぼ全周に2次加工が施されているものである。104点が出土し、器種内での割合は50%を占める。さらに4分できる。

- a 形状および加工が尖頭器の2類に類似するが、尖頭部をもたないが、非常に鈍角なものである。61点中、5点を図示した。類内の最大は長さ5.4cm以上、幅3.3cm、厚さ0.9cm、重量16.3g以上、最小は長さ2.6cm、幅1.8cm、厚さ0.6cm、重量2.6g、平均は長さ約4cm、幅約2.8cm、厚さ約1.1cm、重量約11.4gである。類内の割合は58.6%を占める。

- b 円形に近く、周縁部の加工が粗いものである。18点中、5点を図示した。類内の最大は長さ5.8cm、幅5.2cm、厚さ1.6cm、重量37.7g、最小は長さ2.6cm、幅2.2cm、厚さ0.9cm、重量4.4g、平均は長さ約3.9cm、幅約3.6cm、厚さ約1.2cm、重量約18.5gである。類内の割合は17.3%を占める。

- c 指頭大のもので周縁部の加工が比較的丁寧なものである。5点出土した。類内の最大は長さ3.3cm、幅1.5cm、厚さ0.6cm、重量3.2g、最小は長さ2.0cm、幅1.8cm、厚さ0.7cm、重量2.3g、平均は長さ約2.5cm、幅約1.7cm、厚さ約0.8cm、重量約3.1gである。類内の割合は4.8%を占める。

- d 形状はa類に類似し、やや大きく加工が粗いものである。尖頭器の未製品の可能性が高い。20点中、5点を図示した。類内の最大は長さ7.3cm、幅4.1cm、厚さ2.2cm、重量45.9g、最小は長さ3.9cm、幅5.6cm、厚さ1.25cm、重量21.9g、平均は長さ約5.4cm、幅約4cm、厚さ約1.6cm、重量約29.2gである。類内の割合は19.2%を占める。

2類、剥片の2～全縁に加工があるもので、定形性に欠けるものである。43点が出土し、器種内での割合は20.7%を占める。さらに4分できる。

a 全縁に加工のあるものである。5点出土した。類内の最大は長さ8.7cm、幅5.7cm、厚さ2.0cm、重量106.2g、最小は長さ2.5cm、幅1.9cm、厚さ0.7cm、重量3.9g、平均は長さ約5.7cm、幅約3.8cm、厚さ約1.5cm、重量約47.9gである。類内の割合は11.6%を占める。

b 二等辺三角形形状で、2長辺に加工があるものである。12点中、5点を図示した。類内の最大は長さ7.0cm以上、幅3.2cm、厚さ1.0cm、重量25.3g以上、最小は長さ3.3cm、幅3.1cm、厚さ1.35cm、重量11.8g、平均は長さ約4.7cm、幅約2.7cm、厚さ約1cm、重量約10.3gである。類内の割合は27.9%を占める。

c 長方形剥片の両長辺に加工があるものである。7点中、2点を図示した。類内の最大は長さ5.6cm、幅2.65cm、厚さ1.0cm、重量20.2g、最小は長さ4.6cm、幅2.8cm、厚さ1.0cm、重量10.6g、平均は長さ約4.1cm、幅約2.6cm、厚さ約0.9cm、重量約10gである。類内の割合は16.3%を占める。

d 形状不定、あるいは他の器種の破損品か。19点出土し、5点を図示した。類内の最大は長さ8.3cm以上、幅4.9cm、厚さ1.4cm、重量67.2g以上、最小は長さ1.65cm、幅3.6cm、厚さ0.6cm、重量3.4g、平均は長さ約3.9cm、幅約3.1cm、厚さ約0.9cm、重量約11.7gである。類内の割合は44.2%を占める。

3類、剥片の一縁辺に加工があるもので、部分的なものが多い。61点中、6点を図示した。器種内の最大は長さ9cm、幅6cm、厚さ2.3cm、重量96.3g、最小は長さ2.3cm、幅1.9cm、厚さ0.7cm、重量2.4g、平均は長さ約4.9cm、幅約3.3cm、厚さ約1.1cm、重量約17.2gである。器種内での割合は29.3%を占める。

#### 異形石器(第99図、第7表、写真図版106)

4点が出土した。いずれも枝状の部分を作り出しているものである。

#### 磨製石斧(第100図、第7表、写真図版107・108)

基本的に全体が研磨された石斧である。34点出土した。小型の3点を除きすべて破損している。形態分類の可能な18点を掲載した。形態から2大別できる。

1類、断面形が楕円形となる所謂乳棒状のものである。自然面を残すものもある。7点中、2点を図示した。器種内の最大は長さ11.6cm以上、幅4.4cm、厚さ2.5cm、重量198.9g以上、最小は長さ9.5cm、幅4.5cm、厚さ3.1cm、重量185.3g、平均は長さ約9.4cm、幅約4.8cm、厚さ約2.8cm、重量約208.9gである。器種内での割合は20.6%を占める。

2類、両側縁が研磨された所謂定角式のものである。一部自然面を残すものもある。12点中、7点を図示した。器種内の最大は長さ16.35cm以上、幅4.5cm、厚さ3.0cm、重量359.2g以上、最小は長さ3.55cm、幅1.9cm、厚さ0.75cm、重量8.5g、平均は長さ約9.1cm、幅約4.4cm、厚さ約2.4cm、重量約184.3gである。器種内での割合は35.3%を占める。

#### 環状石斧(第100図、第7表、写真図版108)

2点が出土した。いずれも約半分が欠損している。1603の中心は両側から挟られているが、貫通しておらず、加工の際に壊れたものである可能性もある。

#### 打製石斧(第101～104図、第7表、写真図版108～115)

長方形に近い棒状礫や亜角礫、あるいは大型の剥片などに2次加工した打製の石斧あるいは石鎌である。94点出土している。形態分類の可能な70点を掲載した。形状で3大別できる。

1類、着柄のための挟りを有しないもので、厚手の棒状のものが多い。33点中、5点を図示した。器種内の最大は長さ21.6cm以上、幅7cm、厚さ2cm、重量410.7g、最小は長さ10.3cm、幅4.4cm、厚さ1.7cm、

重量75.4g、平均は長さ約13cm、幅約6cm、厚さ約2.9cm、重量約305gである。器種内での割合は35.1%を占める。

2類 着柄が深るための袢りを有するもので、いわゆる石鍬と思われるものである。25点が出土し、器種内での割合は26.6%を占める。さらに2分できる。

a 基端部側に穿まる所謂撥形のもので、扁平なものが多い。14点中、4点を図示した。類内の最大は長さ19.8cm以上、幅7.8cm、厚さ1.6cm、重量228.8g、最小は長さ8.8cm、幅6.7cm、厚さ3.7cm、重量197.9g、平均は長さ約13cm、幅約6.3cm、厚さ約2cm、重量約229gである。類内の割合は56%を占める。

b a類に類するが、袢りがやや大きく、所謂分銅状を呈するものである。11点中、6点を図示した。類内の最大は長さ26.7cm、幅10.8cm、厚さ3.0cm、重量660.4g、最小は長さ6.7cm、幅4.8cm、厚さ3cm、重量63.7g、平均は長さ約14.2cm、幅約8.1cm、厚さ約2.2cm、重量約290gである。類内の割合は44%を占める。

3類 拳大より大きい礫の一部に簡単な加工したものである。1673は破損しているため詳細は不明であるが、細い先端部を有するものかもしれず、仮に本類とした。12点中、5点を図示した。器種内の最大は長さ12.3cm、幅10.5cm、厚さ5.9cm、重量995.5g、最小は長さ7.5cm、幅7cm、厚さ3.9cm、重量219.6g、平均は長さ約10.1cm、幅約9.7cm、厚さ約3.9cm、重量約484gである。器種内での割合は12.8%を占める。

磨・敲石(第105～107図、第7表、写真図版115～127)

およそ拳大の自然礫を利用し、擦る・敲く・潰すといった機能を有する石器である。凹石と複合するものも多くあり、便宜的に使用頻度の多さによって分類した。磨・敲石としたものは170点出土している。形態分類の可能な152点を掲載した。形状と使用痕跡の状態で細分した。

1類 円礫もしくは使用により円形となったものである。楕円形(卵形)が多く、棒状に近いものもある。

122点中、10点を図示した。器種内の最大は長さ15.6cm、幅9cm、厚さ7.8cm、重量1655.1g、最小は長さ5.5cm、幅4.5cm、厚さ4.1cm、重量107.7g、平均は長さ約10cm、幅約7.9cm、厚さ約5.6cm、重量約642.7g前後である。器種内での割合は71.8%を占める。

2類 角状礫もしくは円礫の側面使用などにより、磨面が稜をもつものである。16点中、6点を図示した。器種内の最大は長さ16.6cm以上、幅10.2cm、厚さ5.9cm以上、重量1367.6g、最小は長さ7cm、幅4.8cm、厚さ6cm、重量261.1g、平均は長さ約11cm、幅約7.7cm、厚さ約5.7cm、重量約697.5gである。器種内での割合は9.4%を占める。

3類 扁平な礫を用いたものである。7点中、3点を図示した。器種内の最大は長さ13.1cm、幅8.8cm、厚さ3.3cm、重量581.9g、最小は長さ8.1cm、幅8.0cm、厚さ1.9cm、重量175.4g、平均は長さ約10.7cm、幅約8.7cm、厚さ約2.5cm、重量約362gである。器種内での割合は4.1%を占める。

4類 敲石もしくは明瞭な敲打痕があるものである。6点出土している。器種内の最大は長さ16.2cm、幅5.6cm、厚さ4.3cm、重量625.4g、最小は長さ9.5cm、幅8cm、厚さ6.5cm、重量801.9g、平均は長さ約13cm、幅約6.4cm、厚さ約4.4cm、重量約579.2gである。器種内での割合は3.5%を占める。

5類 所謂半円状扁平打製石器である。1点のみで仮にこの類とした。直線状をなす側縁部に加撃による剥離痕と研磨痕が併存する。

凹石・鏝の巢石(第108～111図、第7表、写真図版127～133)

自然礫に1個から数個のくぼみを有する石器である。円礫(卵形)・棒状礫などがあり、表裏両面・片面・側面に窪みがあるが、表裏両面にあるものが多い。磨石や砥石と複合するものもあり、使用頻度によつ

て各種に分類した。凹石は95点、蜂の巣石は1点が出土した。

1類 拳大からの自然石に窪みのあるものである。31点中、10点を図示した。器種内の最大は長さ16.5cm、幅4.9cm、厚さ4.5cm、重量495.6g、最小は長さ3.8cm、幅3.7cm、厚さ1.2cm、重量20g、平均は長さ約10.9cm、幅約7.4cm、厚さ約4.4cm、重量約378.3gである。器種内での割合は32.6%を占める。

2類 自然石で磨石や砥石と複合するものである。49点中、10点を図示した。器種内の最大は長さ20.3cm、幅15.4cm、厚さ8cm、重量2351.3g、最小は長さ7.5cm、幅7.3cm、厚さ4.6cm、重量366.2g、平均は長さ約11.2cm、幅約8.4cm、厚さ約5.6cm、重量約687.4gである。器種内の割合は51.6%を占める。

3類 人頭大のずんぐりした自然石に多数の窪みのある所謂蜂の巣石である。1点出土した。

#### 石皿(第112・113図、第7表、写真図版134・135)

中央をくぼめた皿形の石器である。脚付きのものはなく、使用頻度によるものか窪みのないものもある。22点出土したが、完形品はない。形態分類の可能な20点を掲載した。整形と形状で分類できる。

1類 平面形が楕円形に整形されたものである。中央部が鳥状の所謂中高石皿が1点ある。8点中、4点を図示した。器種内での割合は36.4%を占める。

2類 整形していない人頭大の扁平な自然石を利用したものである。12点が出土し、器種内での割合は54.5%を占める。磨面の形状から2分できる。

a 磨面がくぼんでいるものである。使用の結果よりも自然なものが多い。8点中、6点を図示した。類内の最大は長さ30.8cm、幅18cm、厚さ10.7cm、重量6500g、最小は長さ9.2cm、幅14.7cm、厚さ3.7cm、重量748gである。類内の割合は66.7%を占める。1923は赤色顔料が付着していた。

b 使用頻度によってか、磨面が平坦なものである。4点中、2点を図示した。類内の最大は長さ25.8cm、幅14.8cm、厚さ5.6cm、重量3931.4g、最小は長さ13.1cm、幅15.5cm、厚さ3.5cm、重量956.1gである。類内の割合は33.3%を占める。

#### 砥石(第114図、第7表、写真図版136)

磨製石斧等の石器などの研磨に使用された石器である。形には定形性がなく、比較的大きな安山岩質のものが利用されている。断面がU字やV字形になった数条の溝状のくぼみをもつものと全体的に湾曲して面的に磨面をもつものがある。また略円形の凹をもつものもある。棒状の短軸を半周から全周する溝をもつものもあり、有溝石錘の可能性も考えられる。5点出土している。

#### 石鏝(第115図、第7表、写真図版136~138)

おもり(鏝)として用いられたと考えられる石器である。紐で緊縛するために各種鏝に二次的な加工を加えたものほとんど手を加えずに用いたものがある。

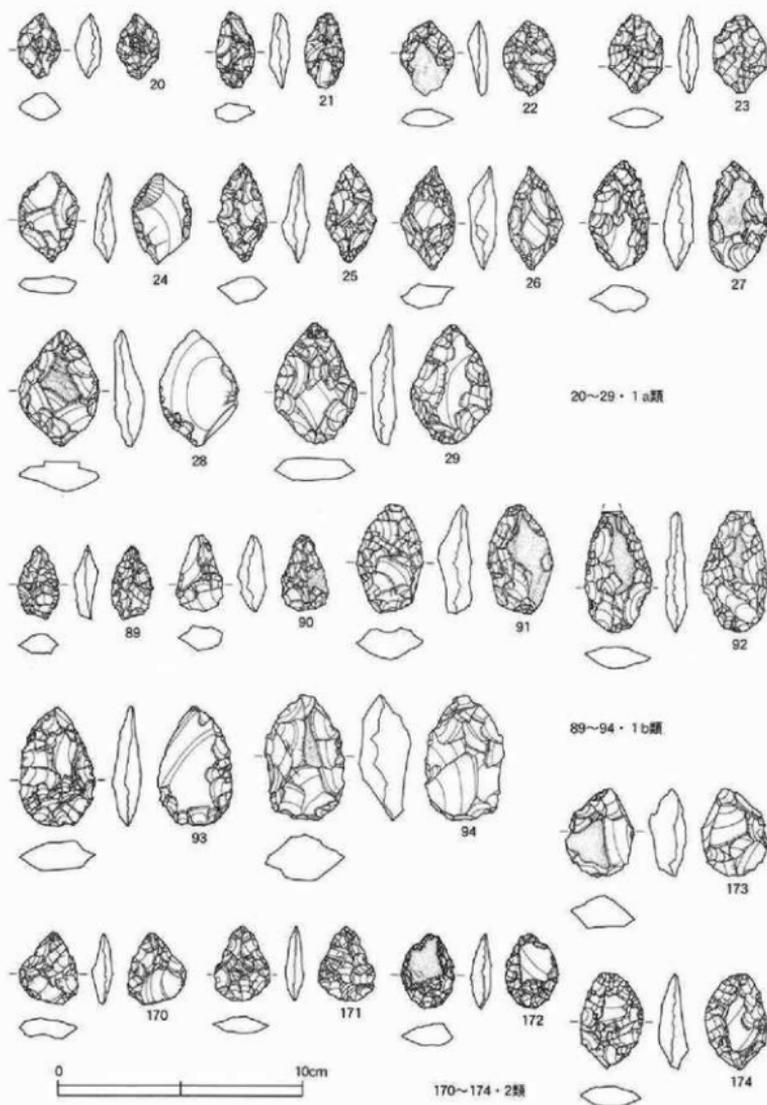
1類 鏝の両端を欠いたいわゆる打欠石鏝である。やや扁平な自然鏝が多い。17点中、7点を図示した。作りかけか一端のみ欠いたものも2点ある。

2類 挟りのある自然鏝を利用し、一部加工を加えたものである。3点出土した。

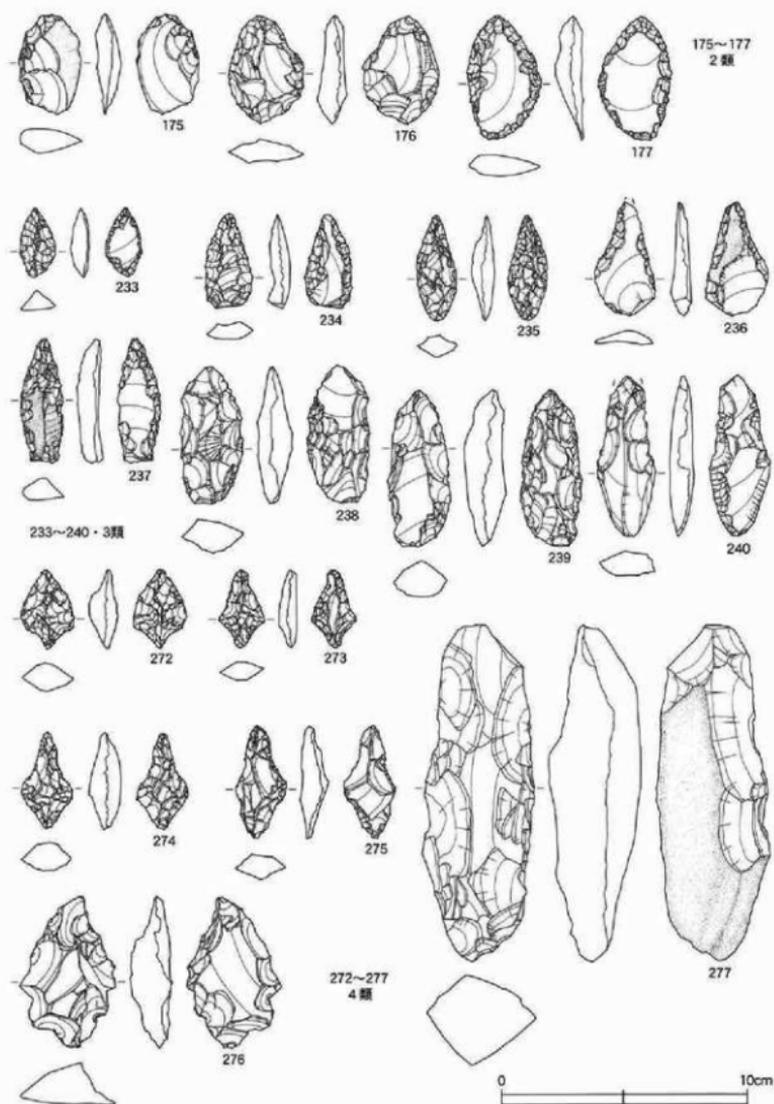
3類 有溝石鏝である。1点出土した。

#### 有孔鏝(第116図、第7表、写真図版138)

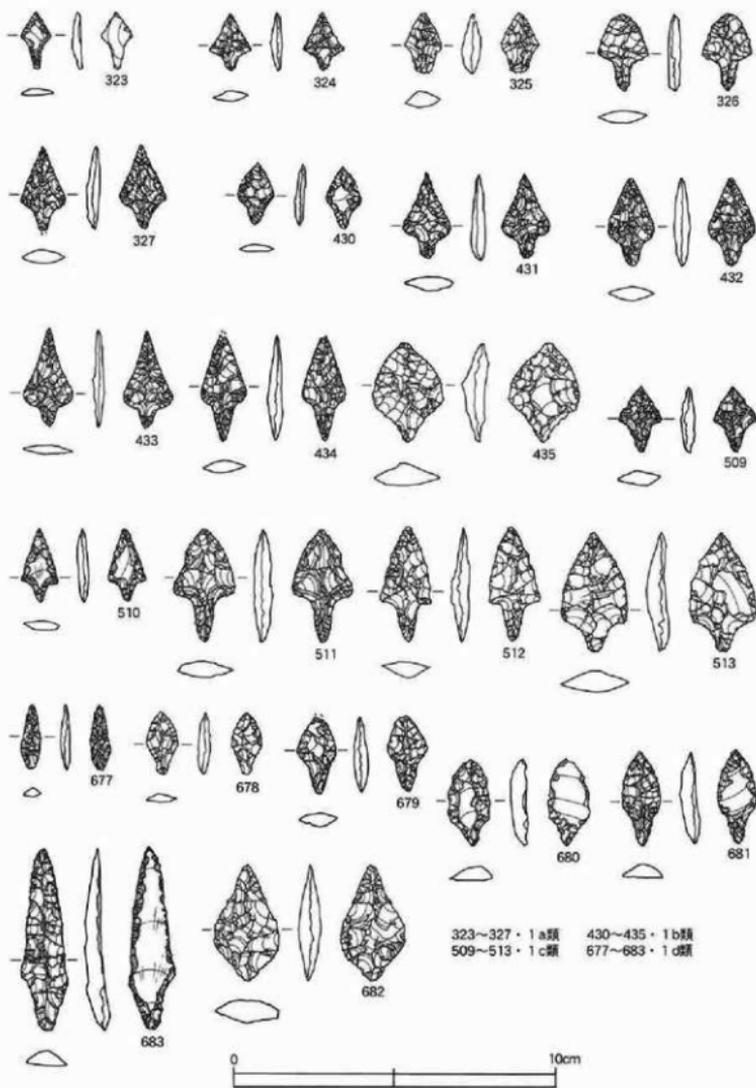
拳大ぐらいの河原石に自然もしくは人工的な貫通孔のある鏝である。7点出土している。人工的なものうち2点は未貫通である。鏝として利用された可能性も考えられる。ただし、人工的な貫通孔をもつものうち、5cm未満の小型のものは仮に有孔石製品に分類した。



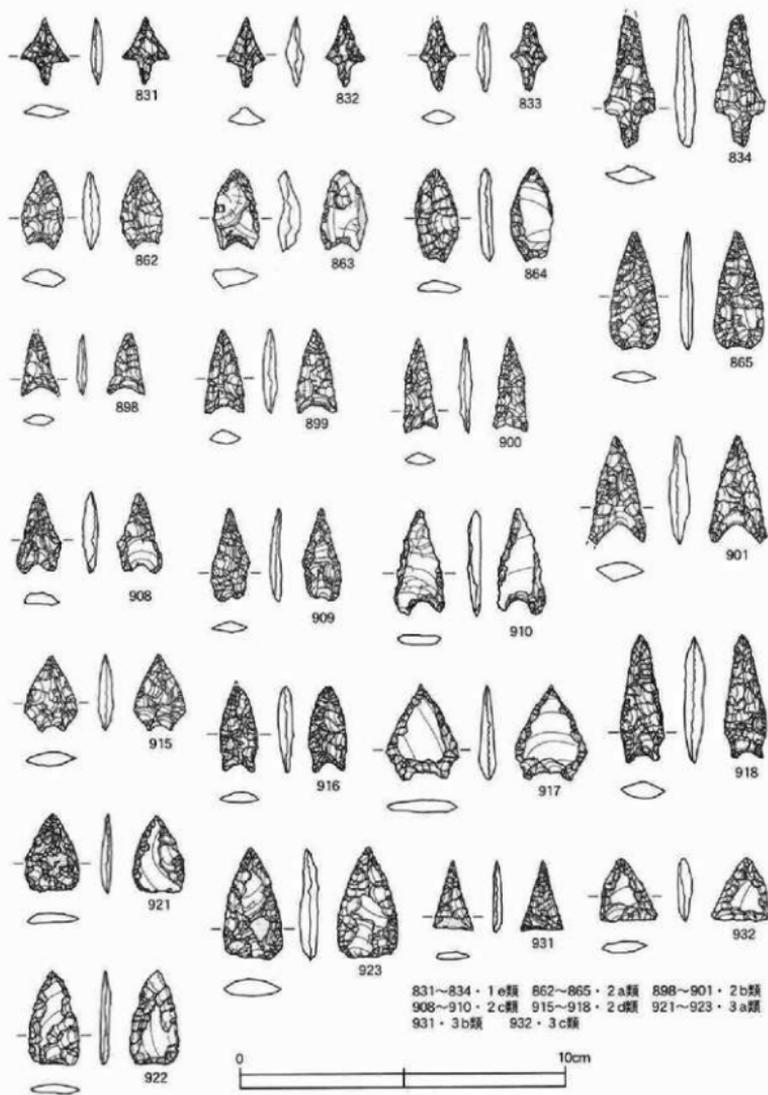
第86圖 遺構外出土遺物（尖頭器 1）



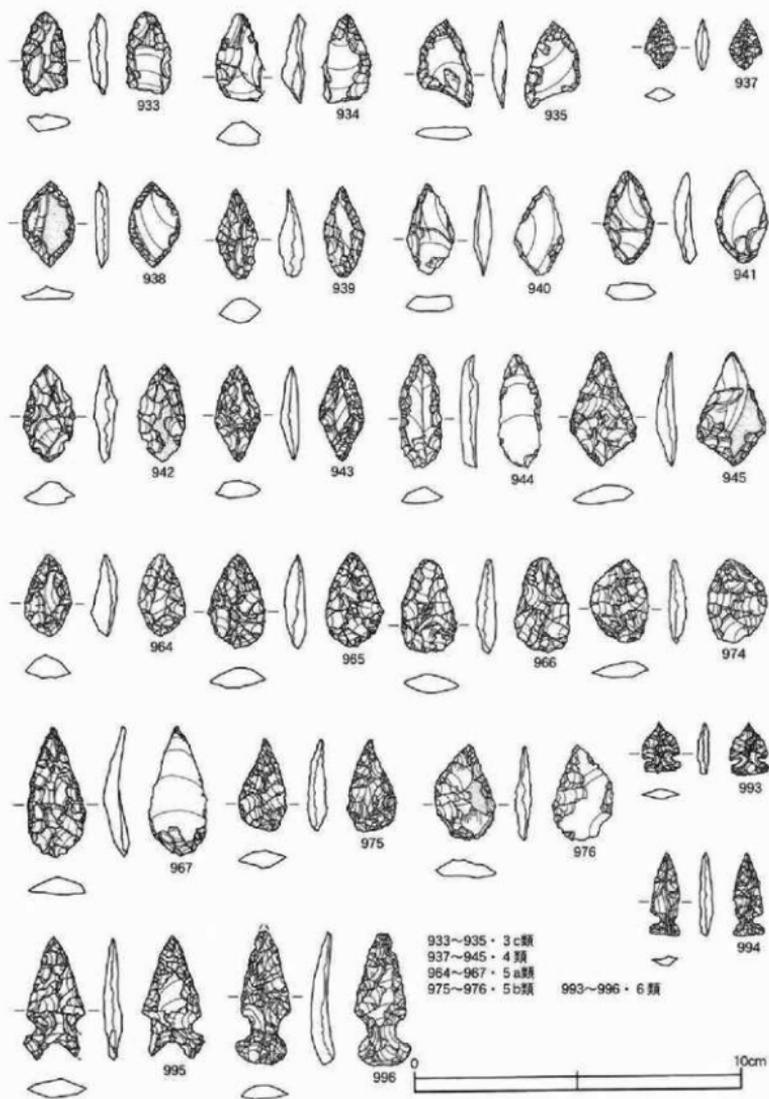
第87圖 遺構外出土遺物（尖頭器 2）



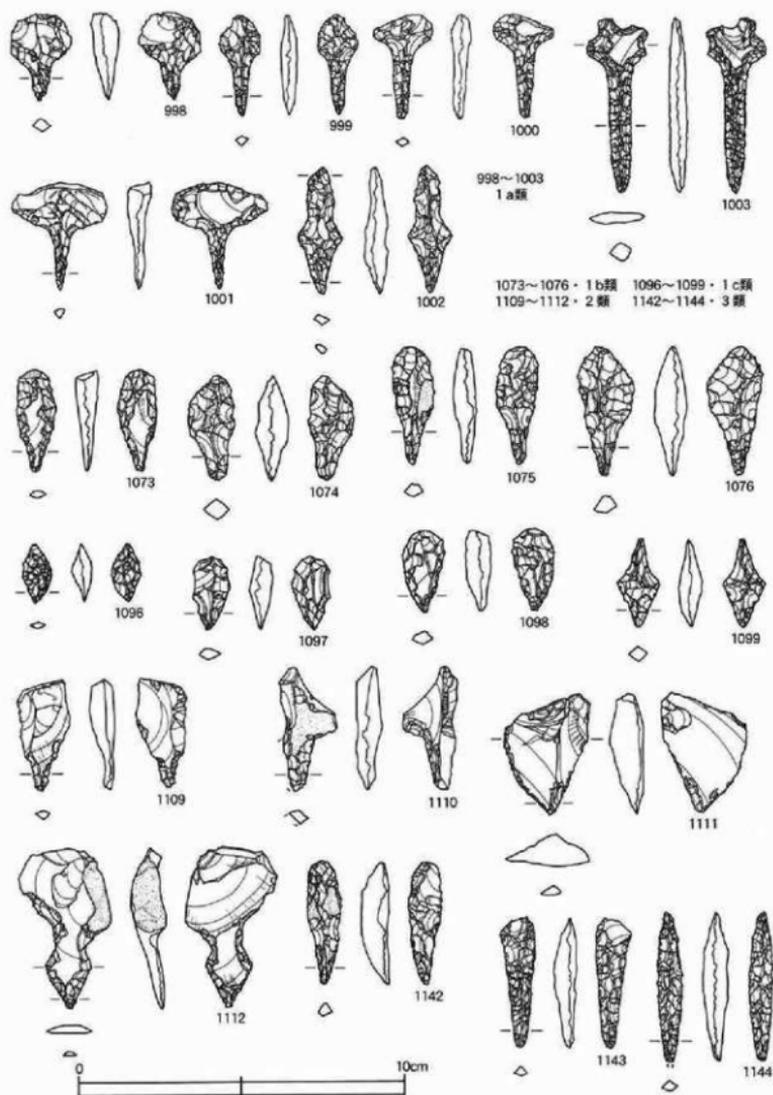
第88圖 遺構外出土遺物(石器1)



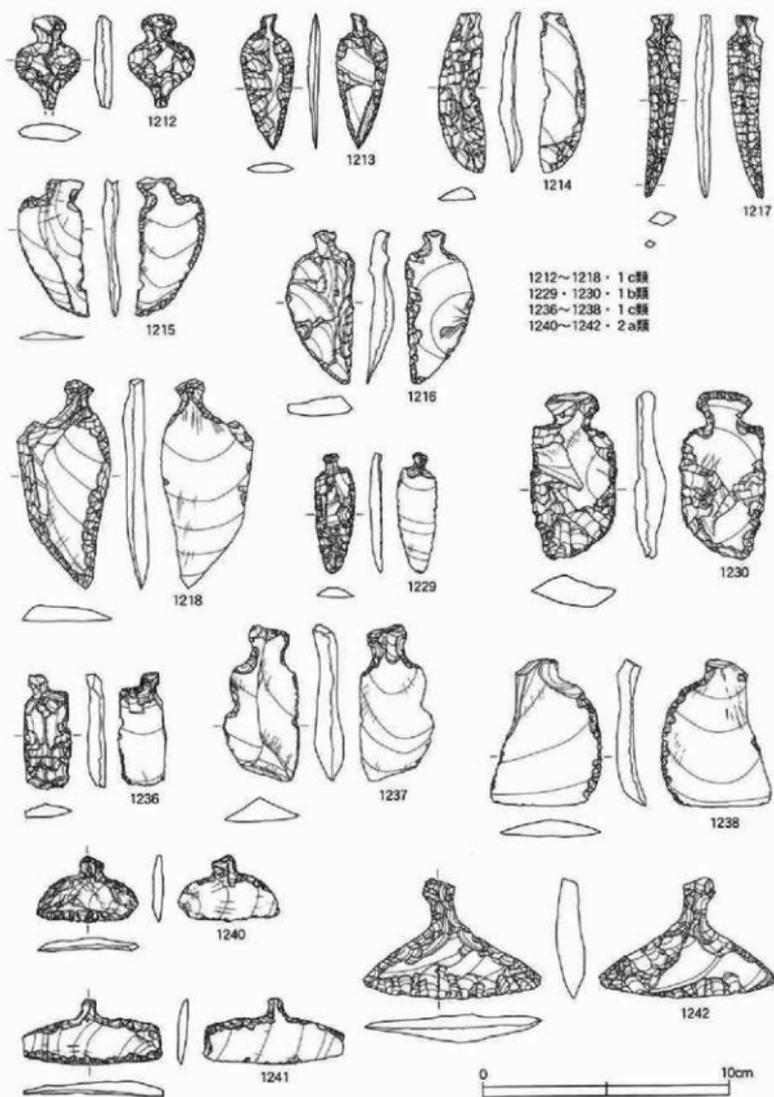
第89図 遺構外出土遺物(石版2)



第90図 遺構外出土遺物(石蔵3)



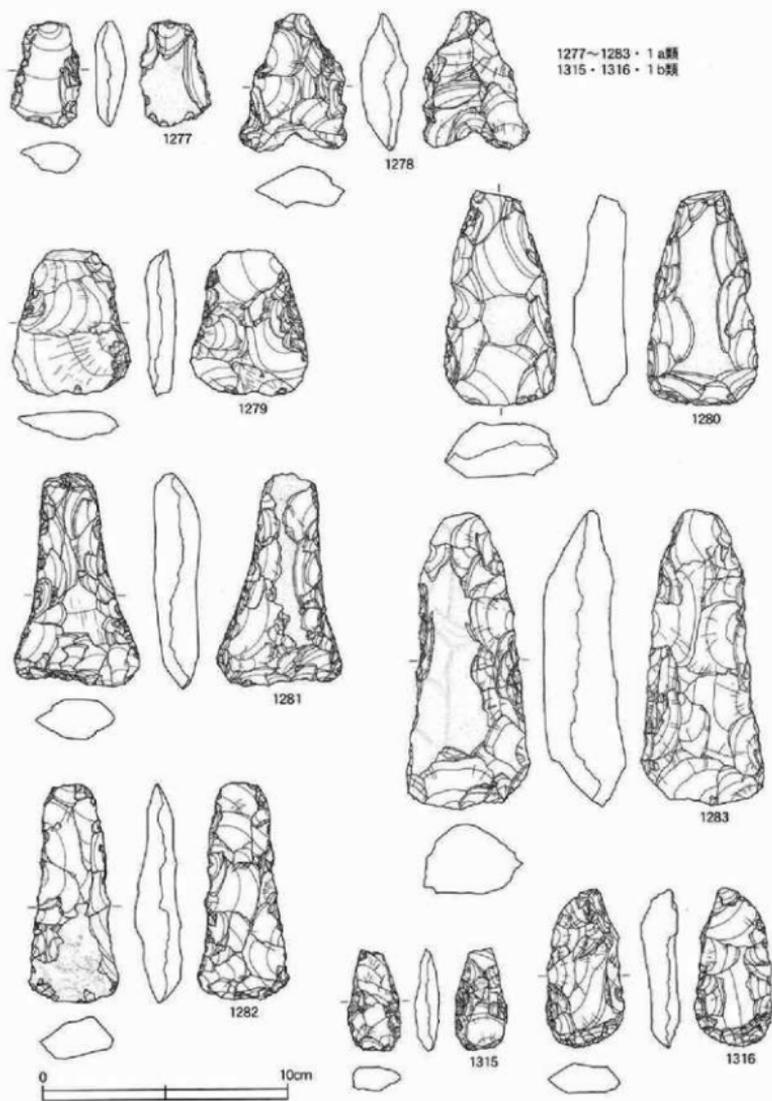
第91圖 遺構外出土遺物(石鏃)



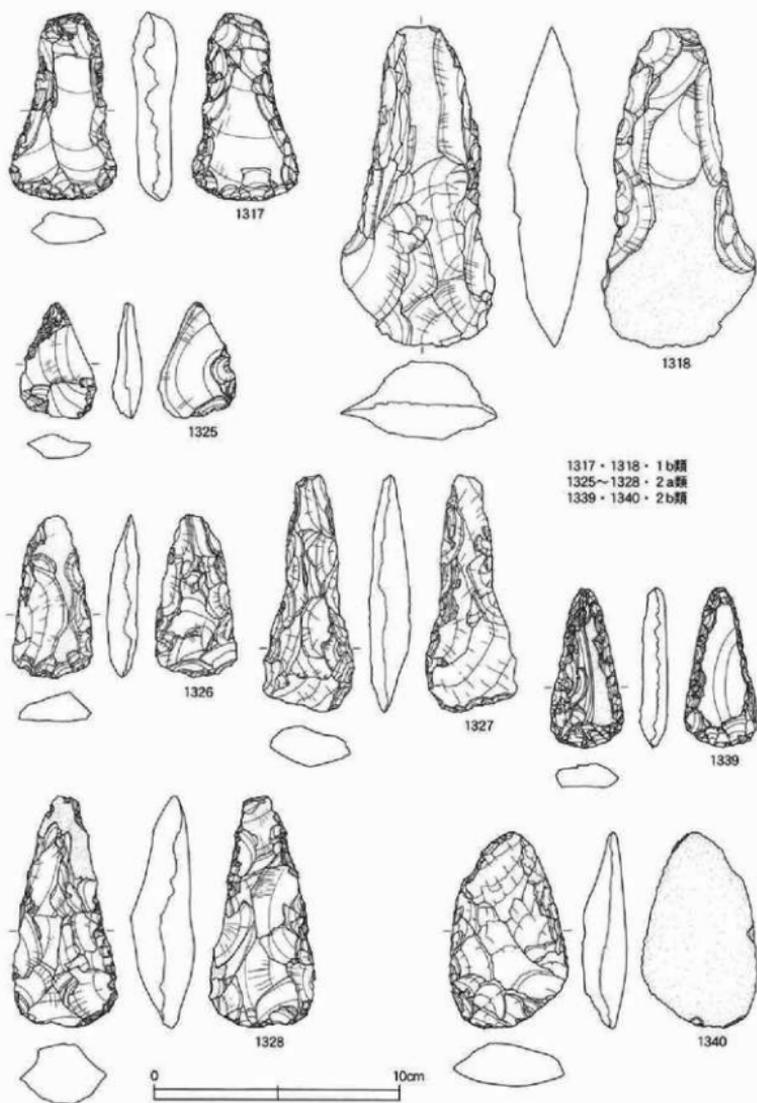
第92図 遺構外出土遺物（石器1）



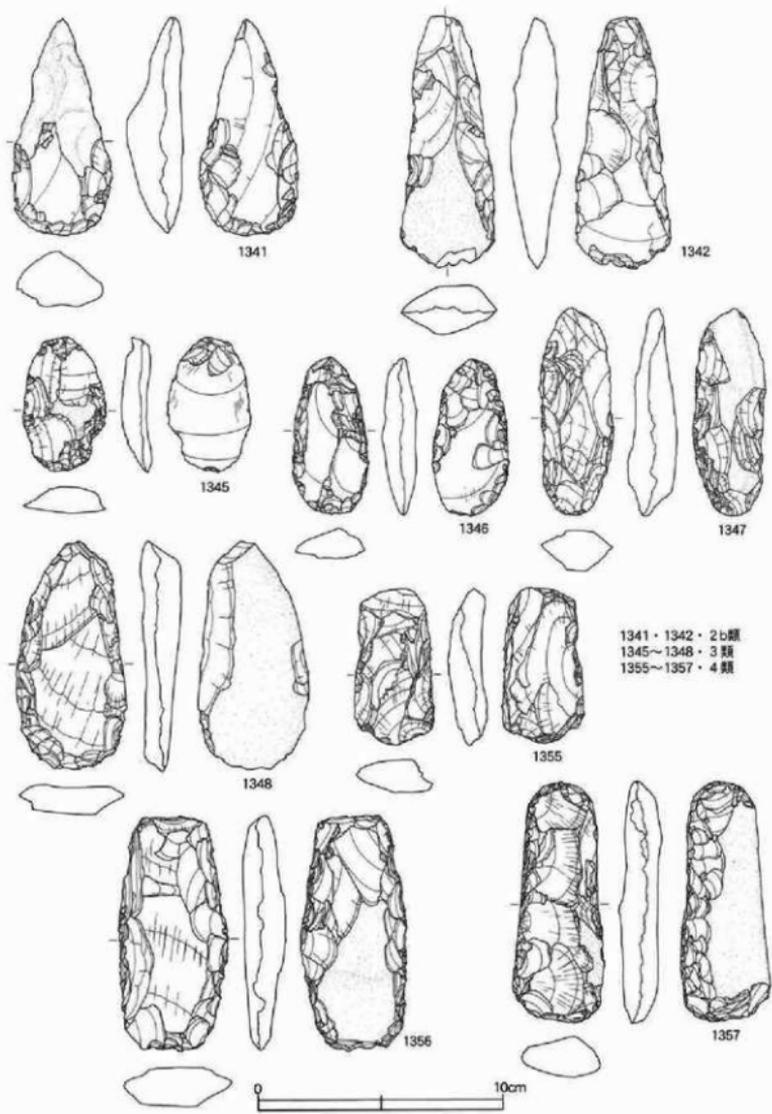
第93図 遺構外出土遺物(石匙2)



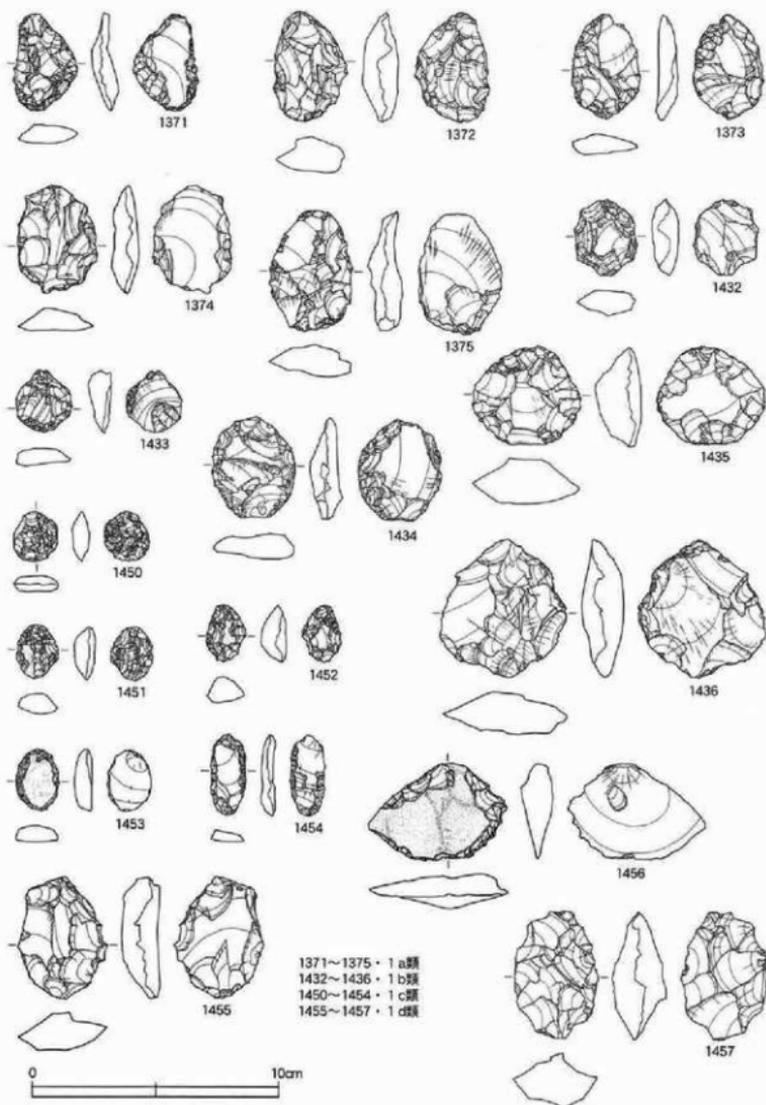
第94図 遺構外出土遺物(石器1)



第95図 遺構外出土遺物(石器2)



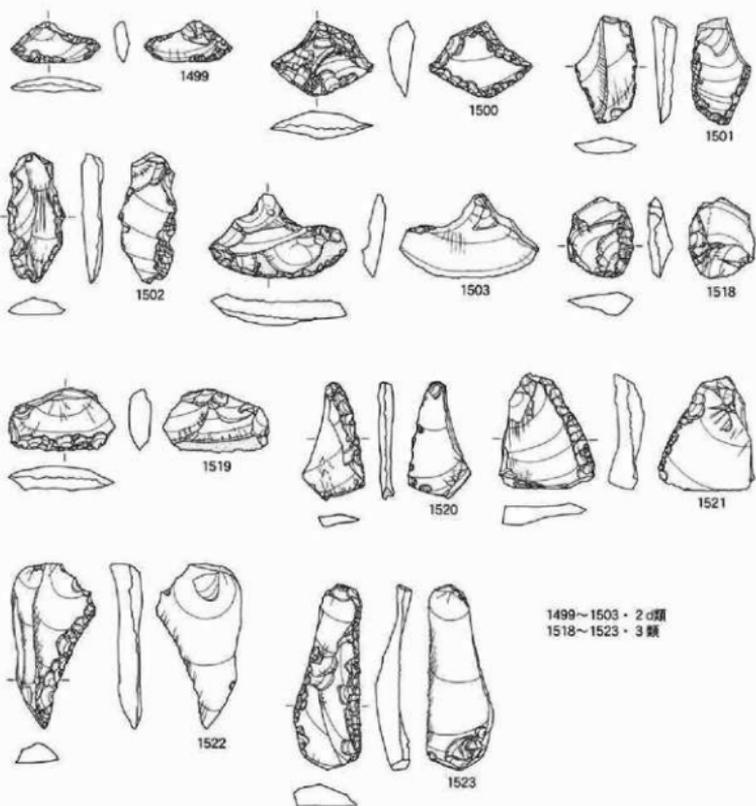
第96図 遺構外出土遺物(石器3)



第97図 遺構外出土遺物（不定形石器1）



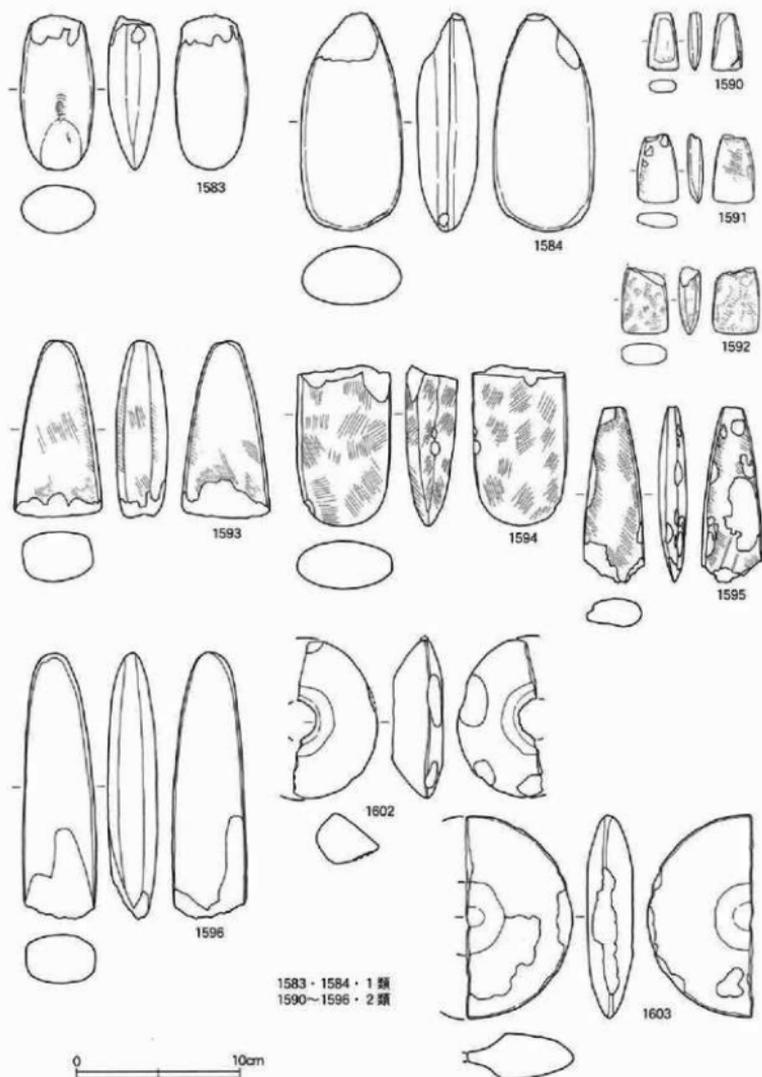
第98図 遺構外出土遺物（不定形石器2）



不定形石器

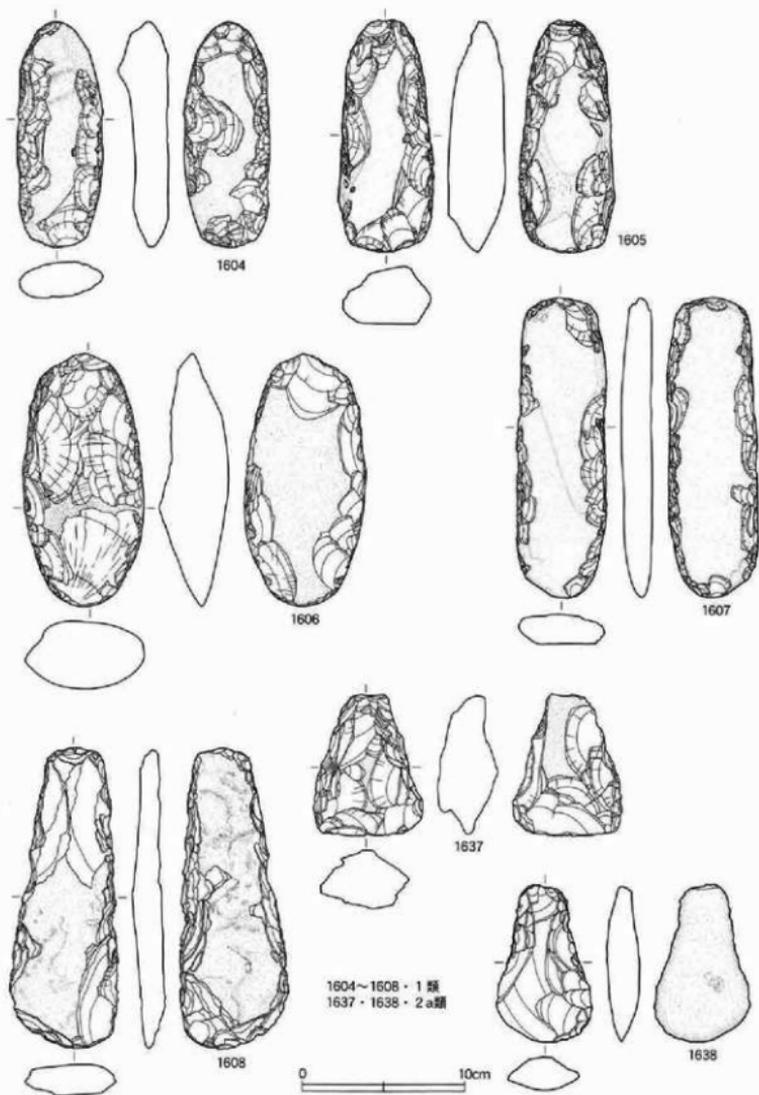


第99図 遺構外出土遺物 (不定形石器3・異形石器)



1583・1584・1類  
 1590～1596・2類

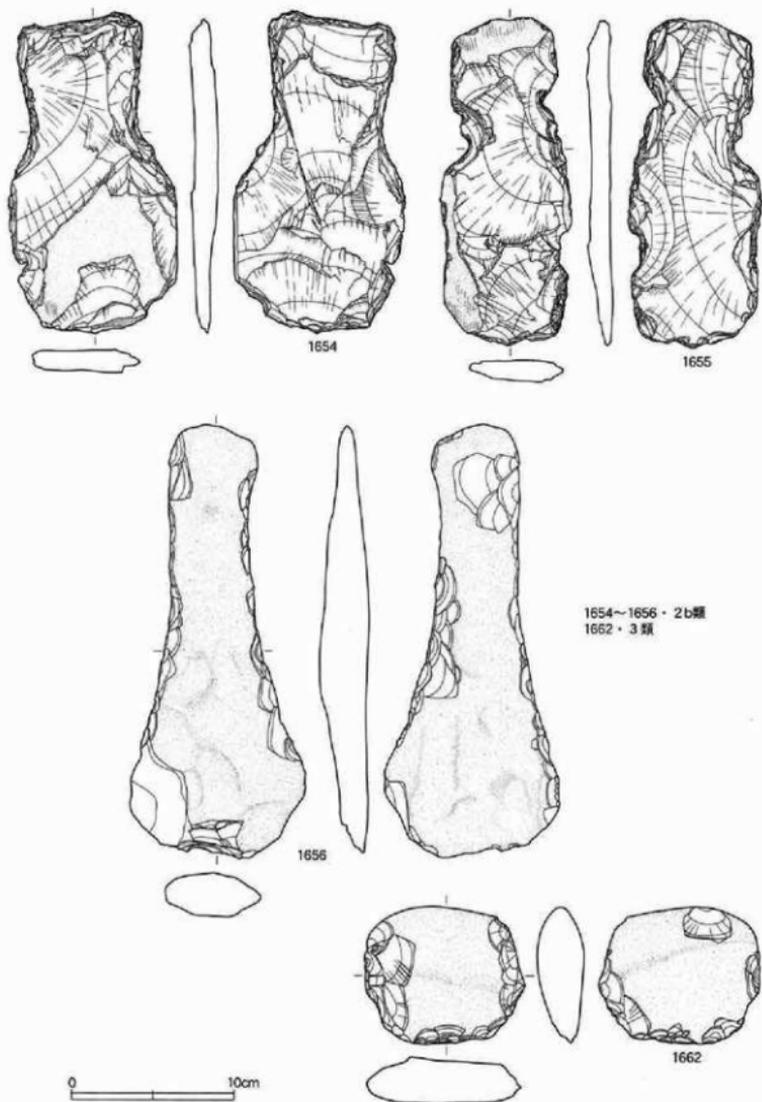
第100圖 遺構外出土遺物（磨製石斧・環狀石斧）



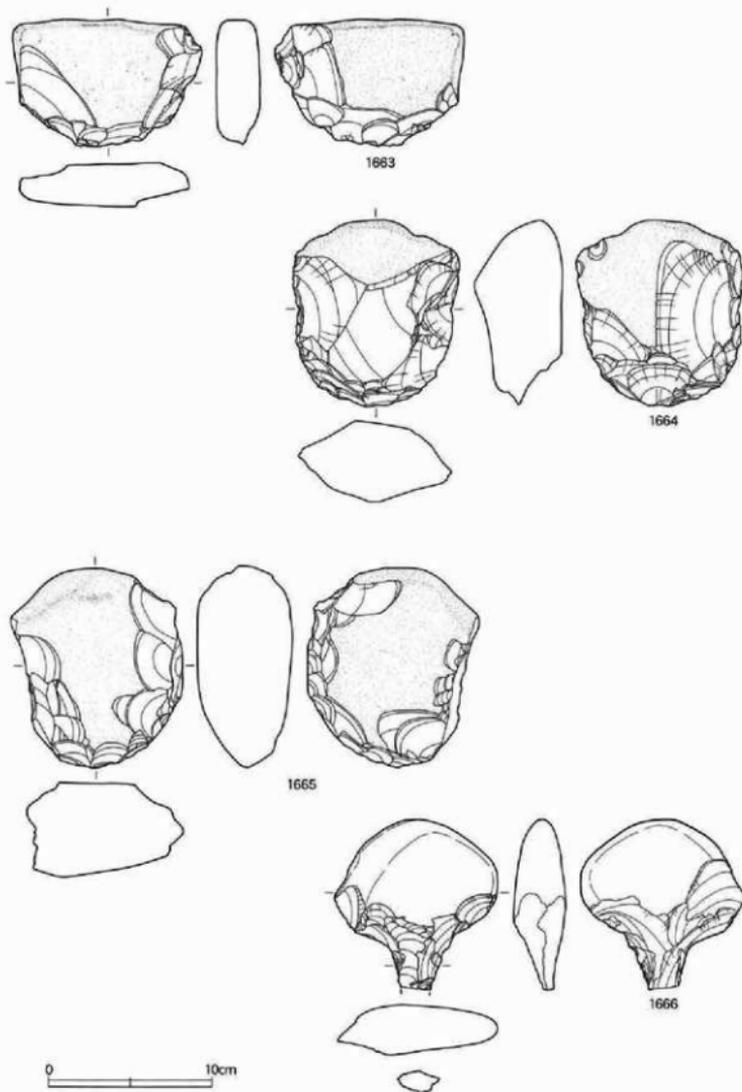
第101圖 遺構外出土遺物(打製石斧1)



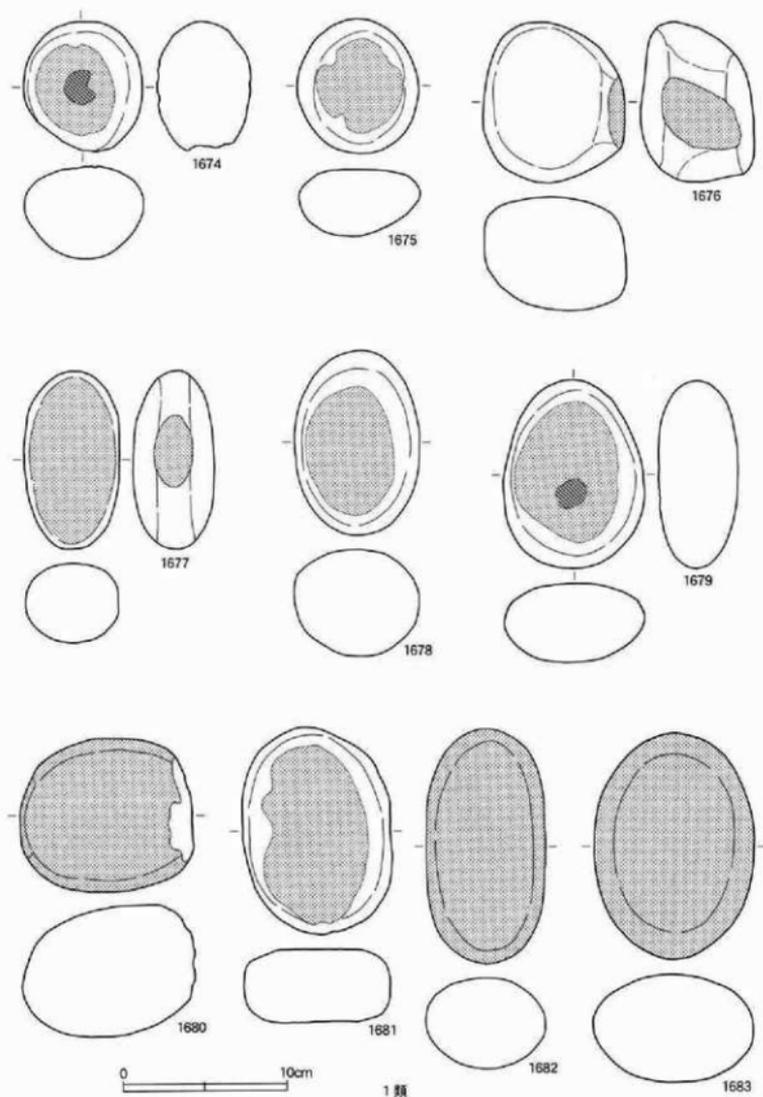
第102圖 遠横外出土遺物 (打製石斧 2)



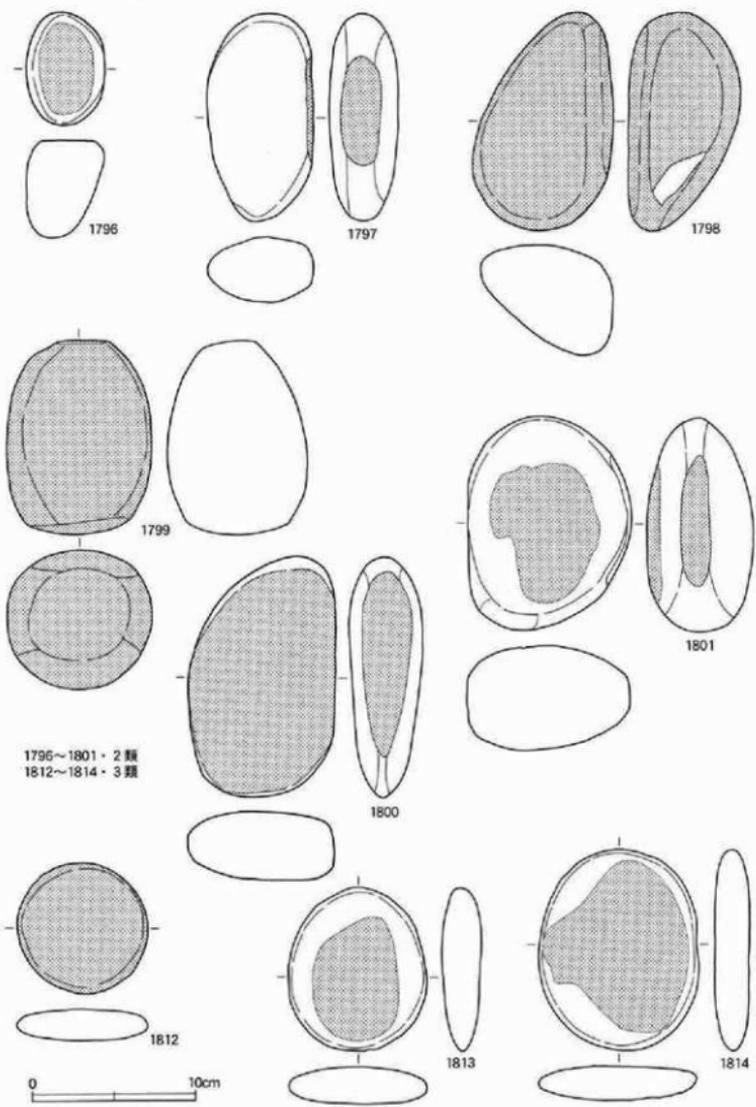
第103圖 遺構外出土遺物 (打製石斧 3)



第104圖 遠横外出土遺物（打製石斧4）

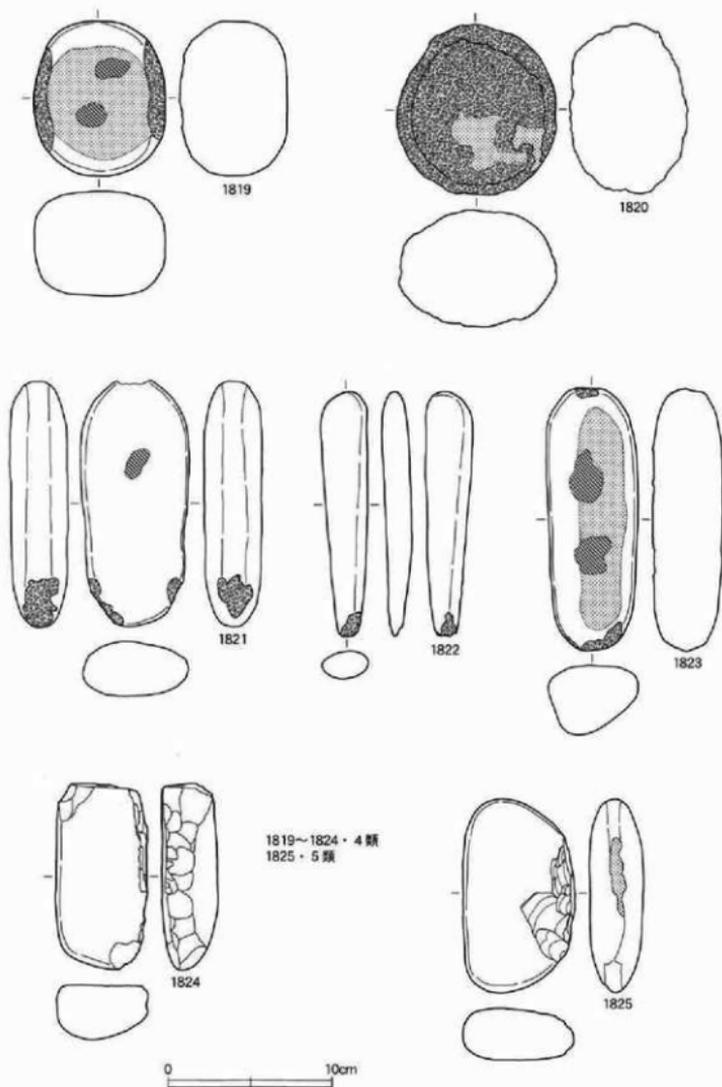


第105圖 遠構外出土遺物（磨石 1）

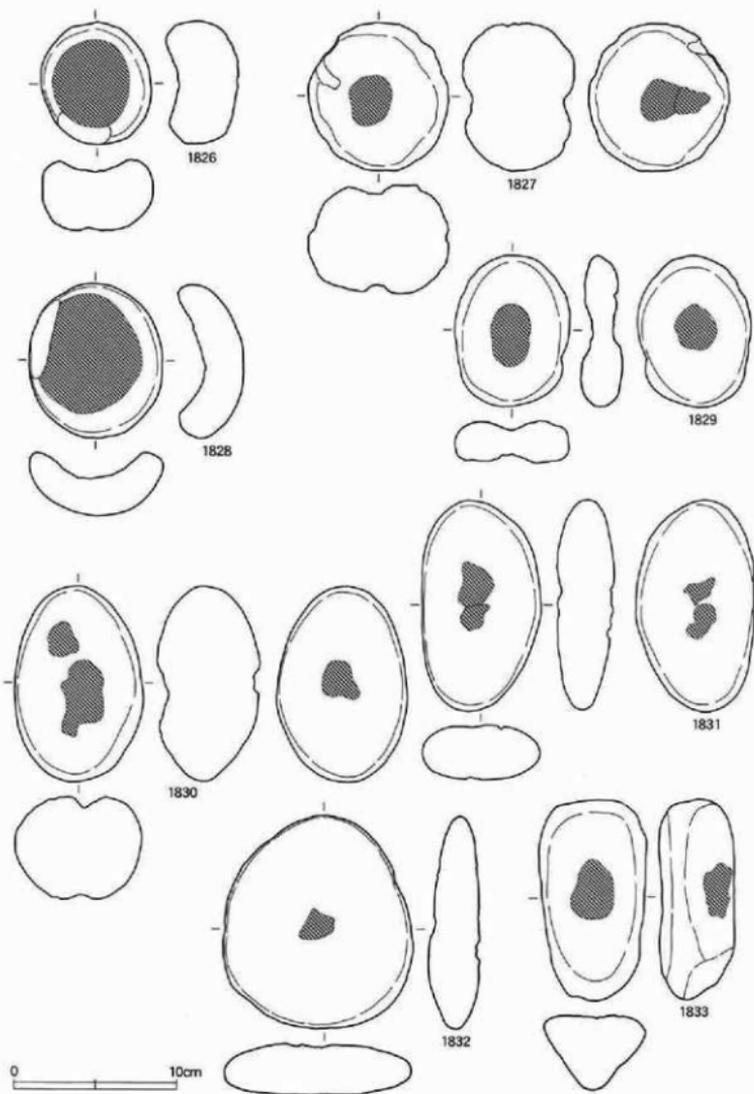


1796～1801・2類  
1812～1814・3類

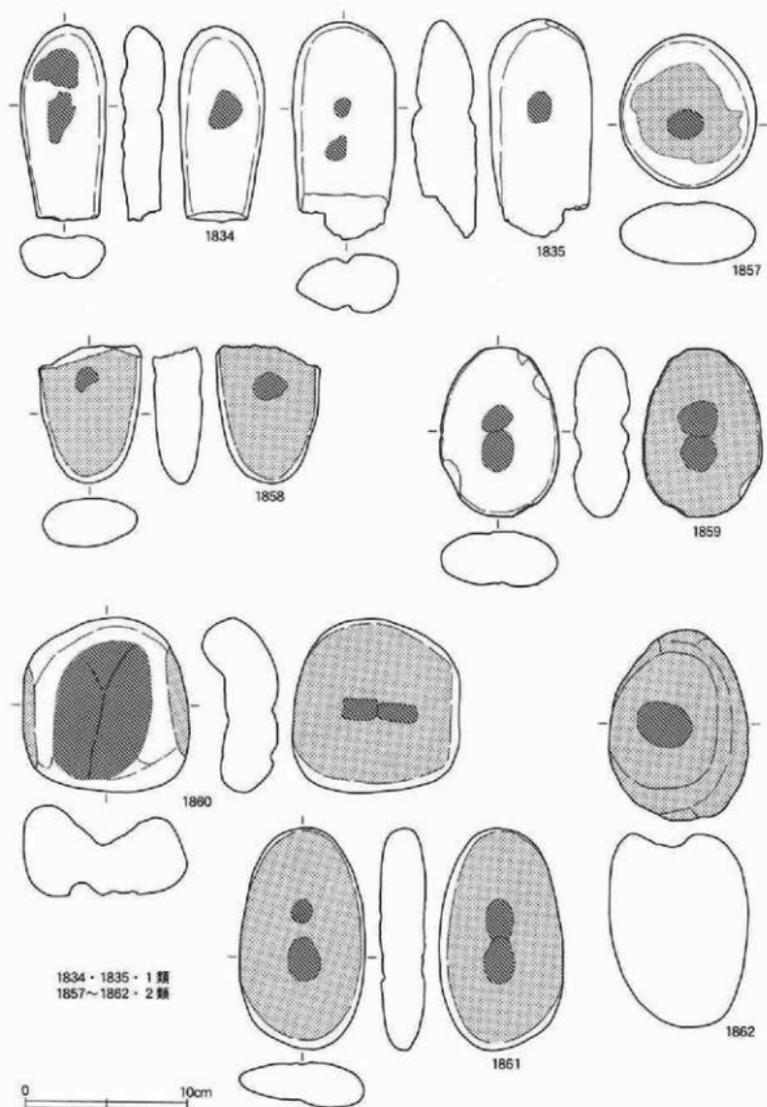
第106圖 遺構外出土遺物（磨石2）



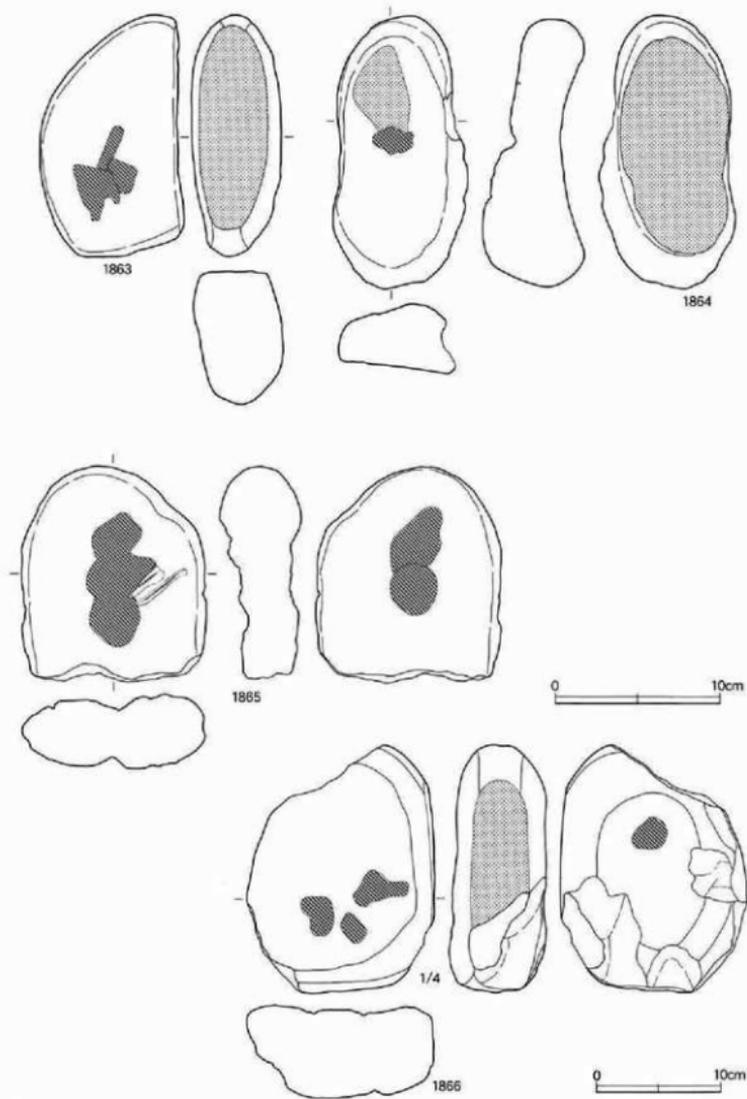
第107図 遺構外出土遺物（磨石3）



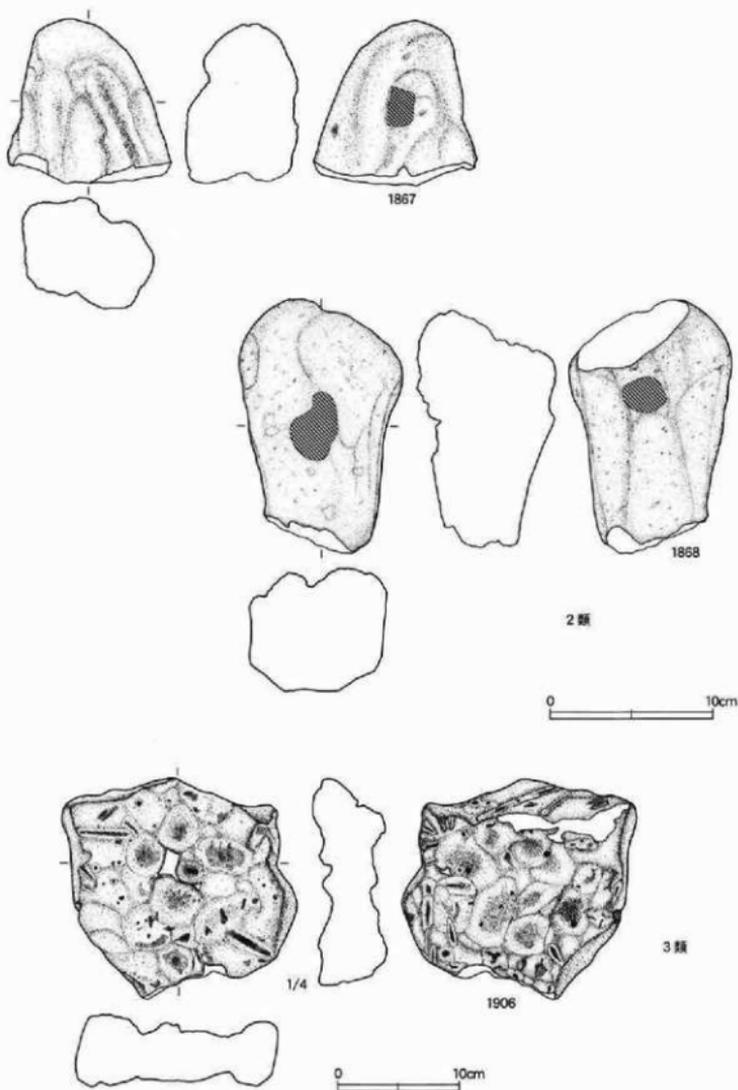
第108図 遺構外出土遺物（凹石 1）



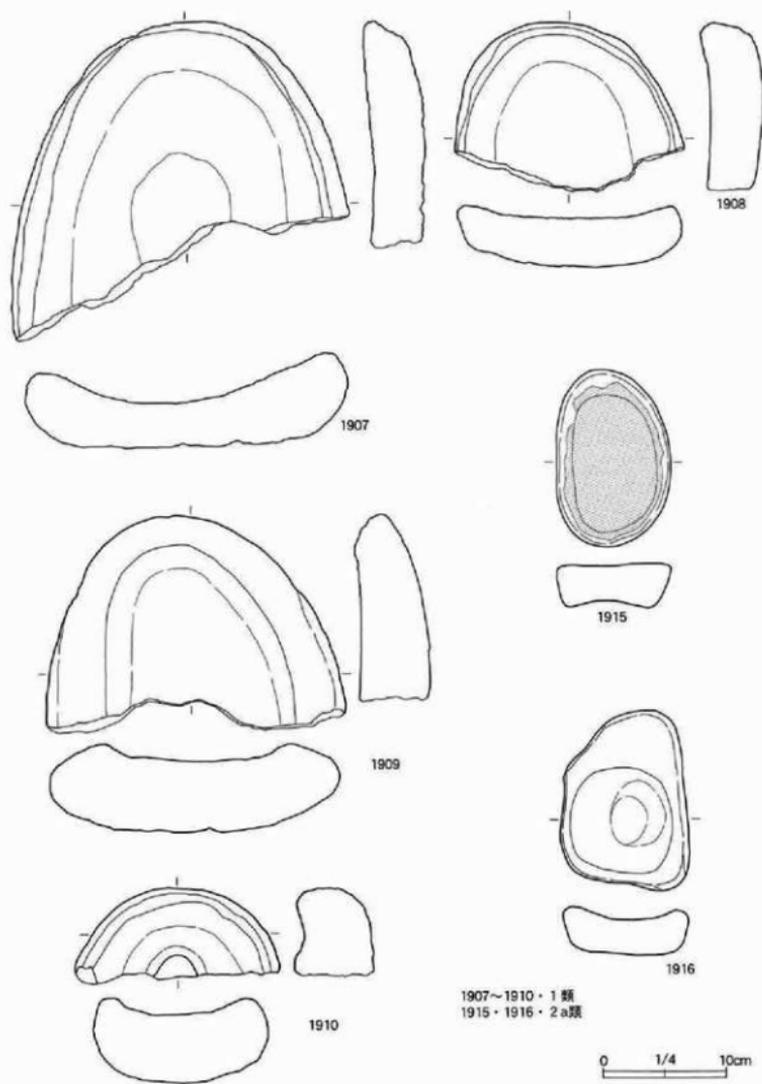
第109圖 遺構外出土遺物（凹石 2）



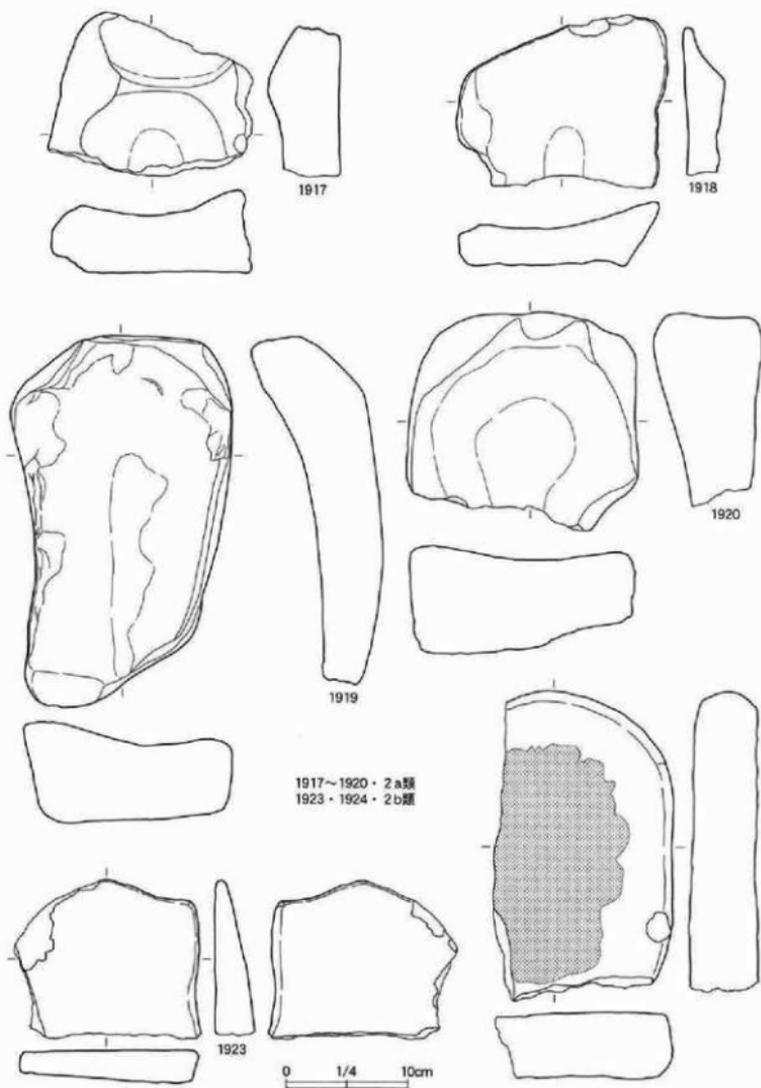
第110図 遺構外出土遺物（凹石3）



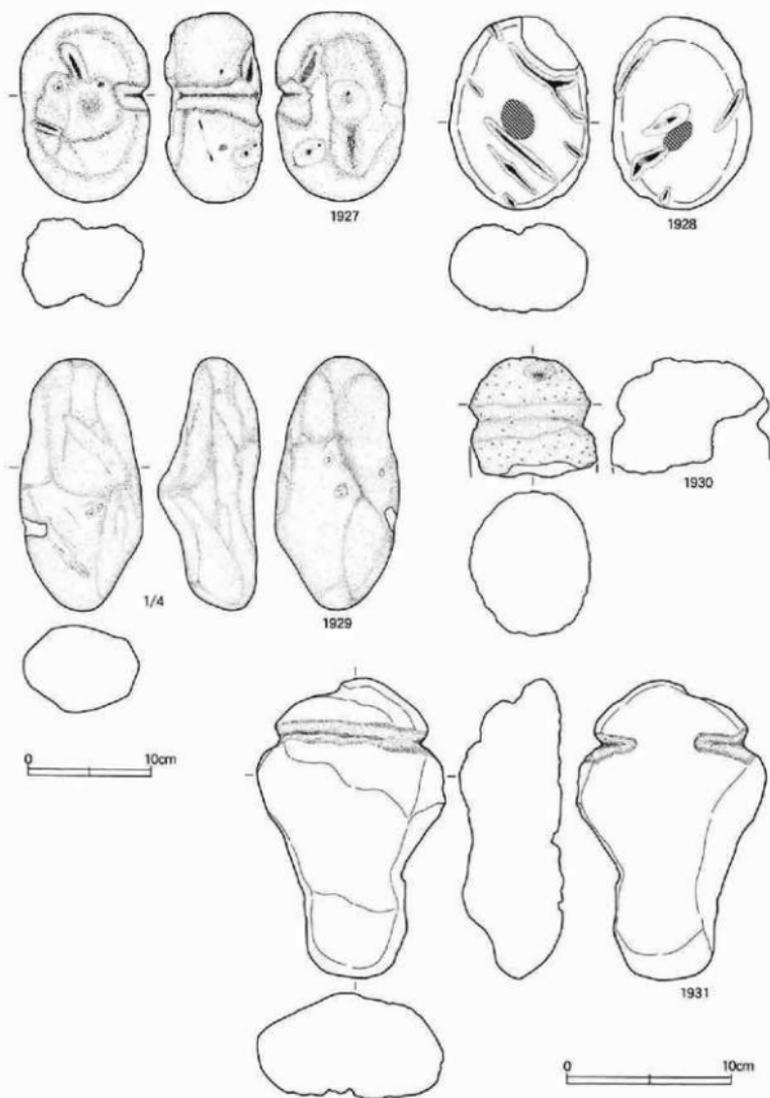
第111圖 遺構外出土遺物（凹石4）



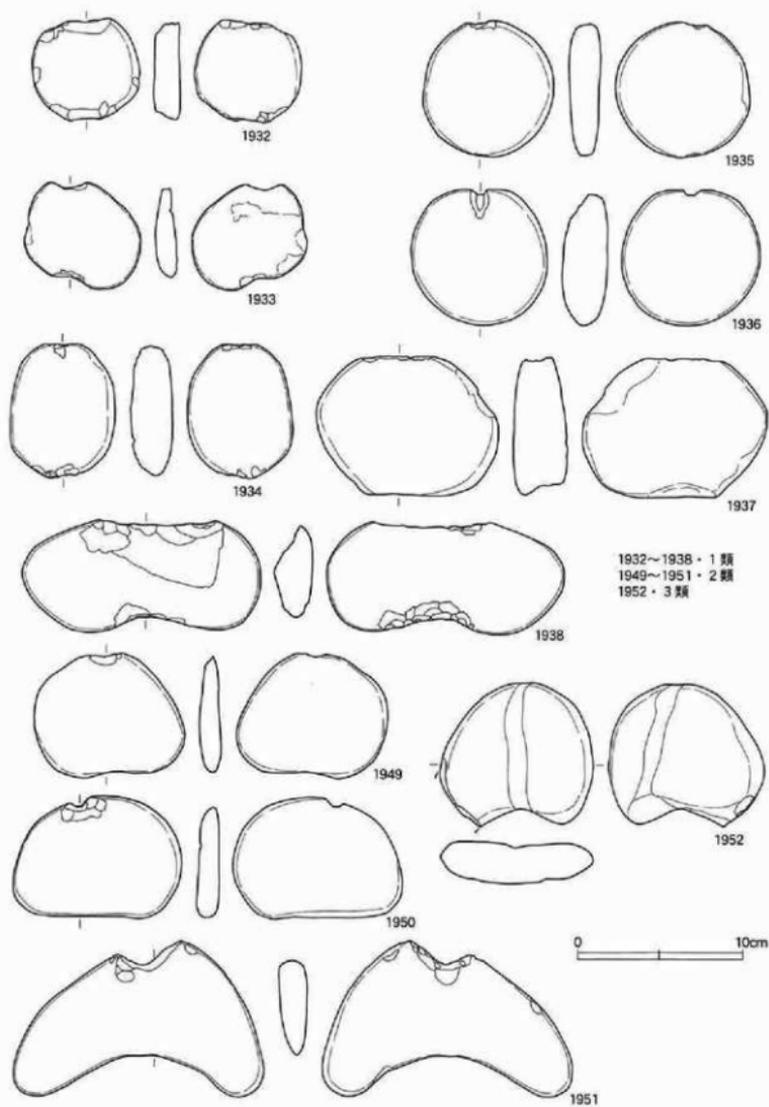
第112圖 遺構外出土遺物(石皿1)



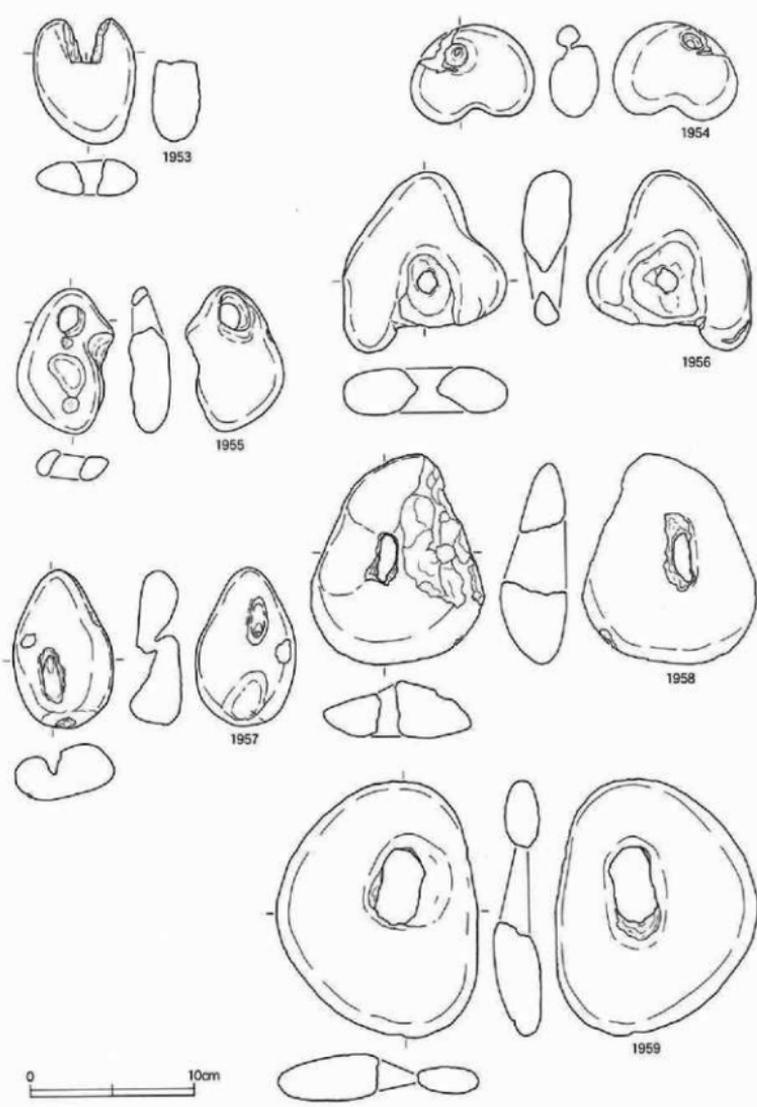
第113図 遺構外出土遺物（石皿2）



第114図 遺構外出土遺物（砥石）



第115図 遺構外出土遺物(石錘)



第116圖 遠構外出土遺物（有孔礁）

第7表 遺構外出土石器計測表

序号	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
20	ME56 Ⅲ層	尖頭器	1a	2.65	1.85	1.05	3.9	黒曜石
21	MD55 Ⅲ層F	尖頭器	1a	3.1	1.6	0.8	3.4	珪質頁岩
22	MG54 Ⅲ層	尖頭器	1a	3.05	2.2	0.8	4.5	頁岩
23	MG56 A号沢跡 1層	尖頭器	1a	3.2	2.2	0.8	4.8	頁岩
24	MG58 Ⅲ層	尖頭器	1a	3.7	2.5	0.9	5.8	頁岩
25	MF56 Ⅲ層	尖頭器	1a	4.1	2.05	1.2	5.5	頁岩
26	ME56 Ⅲ層	尖頭器	1a	4.25	2.2	1.15	8.5	頁岩
27	MG56 A4号沢跡 1層	尖頭器	1a	4.5	2.4	1.2	10.7	頁岩
28	MF57 Ⅲ層	尖頭器	1a	4.8	3.2	1.2	15.4	頁岩
29	ME56 Ⅲ層	尖頭器	1a	4.9	3.3	1.0	14.6	頁岩
30	MK48 Ⅱ層	尖頭器	1a	[2.7]	1.8	0.7	[2.9]	頁岩
31	MK47 Ⅱ層	尖頭器	1a	2.8	1.8	0.9	3.4	輝綠凝灰岩
32	撿丸	尖頭器	1a	[2.8]	1.7	0.8	[2.9]	珪質頁岩
33	MJ54 Ⅰ層	尖頭器	1a	2.9	1.3	0.7	2.2	頁岩
34	A1号沢跡 3層	尖頭器	1a	2.9	2.0	0.8	3.9	チャート
35	撿丸	尖頭器	1a	2.9	[2.0]	1.0	[3.7]	頁岩
36	MM46 Ⅱ層	尖頭器	1a	[2.9]	1.8	0.8	[3.8]	珪質頁岩
37	3トレンチ Ⅱ層	尖頭器	1a	[2.9]	2.0	1.0	[4.4]	珪質頁岩
38	M150 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.0	1.6	1.0	3.2	メノウ
39	MH52 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.0	1.5	0.9	3.4	頁岩
40	MJ44 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.0]	1.6	0.8	[3.0]	黒曜石
41	MM43 Ⅰ層	尖頭器	1a	[3.0]	2.0	0.8	[3.7]	珪質頁岩
42	MK47 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.0]	2.3	1.1	[5.6]	珪質頁岩
43	撿丸	尖頭器	1a	[3.0]	1.4	0.8	[2.5]	頁岩
44	ML46 A1号沢跡 2層	尖頭器	1a	3.1	1.8	0.8	3.8	メノウ
45	ML48 A1号沢跡 1層	尖頭器	1a	[3.1]	2.4	0.8	[5.3]	珪質頁岩
46	MK43 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.2	1.5	0.8	3.9	チャート
47	MG50 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.2	1.8	1.3	4.9	珪質頁岩
48	3トレンチ Ⅱ層	尖頭器	1a	3.2	1.8	0.8	3.5	チャート
49	MJ47 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.2]	1.8	0.5	[2.7]	頁岩
50	MJ46 A1号沢跡 1層	尖頭器	1a	[3.2]	2.4	0.8	[5.9]	チャート
51	MK60 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.3]	2.1	1.0	[4.8]	頁岩
52	MH51 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.3]	2.2	1.0	[5.6]	メノウ
53	MJ45 A1号沢跡 2層	尖頭器	1a	[3.3]	2.3	0.9	[5.8]	チャート
54	P617	尖頭器	1a	[3.4]	2.4	1.2	[7.7]	頁岩
55	MK47 A2号沢跡 1層	尖頭器	1a	[3.4]	2.1	0.9	[4.7]	珪質頁岩
56	MK47 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.5	1.9	0.8	4.0	頁岩
57	MC67 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.6	1.7	0.8	3.9	チャート
58	MK48 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.6]	2.0	0.9	[4.9]	頁岩
59	MJ45 A1号沢跡 1層	尖頭器	1a	[3.6]	2.7	1.1	[8.1]	メノウ
60	MK48 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.7	2.4	0.6	5.2	珪質頁岩
61	撿丸	尖頭器	1a	3.7	2.1	1.0	5.5	珪質頁岩
62	MG56 Ⅱ層	尖頭器	1a	3.7	2.0	1.0	5.5	頁岩
63	MD56 Ⅲ層	尖頭器	1a	[3.7]	2.7	1.0	[7.7]	頁岩
64	MH46 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.7]	2.1	0.7	[5.2]	チャート
65	A1号沢跡 3層	尖頭器	1a	3.8	2.2	1.2	9.0	メノウ
66	M152 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.8]	2.1	0.9	[6.1]	チャート
67	M143 Ⅱ層	尖頭器	1a	[3.9]	2.5	0.8	[6.7]	珪石頁岩
68	SK105 埋土	尖頭器	1a	4.0	[2.7]	1.3	[13.9]	チャート
69	M145 Ⅱ層	尖頭器	1a	4.0	2.1	1.1	6.6	頁岩
70	MK47 Ⅱ層	尖頭器	1a	4.0	[2.1]	0.8	[5.3]	チャート

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
71	M147 Ⅰ層	尖頭器	1a	4.0	2.3	1.0	8.9	チャート
72	M155 Ⅱ層	尖頭器	1a	4.0	[2.4]	1.0	[8.1]	チャート
73	MJ57 Ⅱ層	尖頭器	1a	4.0	2.5	0.8	6.7	珸質頁岩
74	MK43 Ⅱ層	尖頭器	1a	[4.0]	2.1	0.6	[4.0]	頁岩
75	MK47 A2号沢跡 1層	尖頭器	1a	[4.0]	2.0	0.8	[6.3]	頁岩
76	ML46 Ⅱ層	尖頭器	1a	[4.0]	3.0	1.5	[16.3]	チャート
77	MJ54 Ⅱ層	尖頭器	1a	4.1	2.5	1/4	10.1	珸質頁岩
78	SK105 埋土	尖頭器	1a	[4.1]	2.4	0.8	[5.8]	石灰
79	7トレンチ 攪乱	尖頭器	1a	[4.2]	2.2	0.9	[6.3]	珸質頁岩
80	MK48A2号沢跡 1層	尖頭器	1a	4.3	2.3	1.3	10.4	頁岩
81	MK46	尖頭器	1a	[4.3]	3.2	1.4	[15.8]	チャート
82	MH51 Ⅱ層	尖頭器	1a	4.9	3.0	1.2	15.1	頁岩
83	MK44 Ⅱ層	尖頭器	1a	[5.0]	2.9	0.9	[8.0]	チャート
84	MK46 Ⅱ層	尖頭器	1a	[5.2]	2.4	0.7	[7.3]	頁岩
85	表様	尖頭器	1a	[5.2]	3.3	1.2	[18.4]	頁岩
86	MK46 Ⅱ層	尖頭器	1a	[5.5]	2.5	0.9	[8.0]	頁岩
87	MK45 Ⅱ層	尖頭器	1a	6.1	3.0	1.3	15.4	頁岩
88	MJ45 A1号沢跡 1層	尖頭器	1a	6.6	3.7	1.9	36.5	チャート
89	ME56 Ⅱ層	尖頭器	1b	3.0	1.7	1.0	3.6	チャート
90	MG54 Ⅲ層下	尖頭器	1b	3.1	1.9	1.2	5.5	チャート
91	MF57 Ⅲ層	尖頭器	1b	4.45	2.7	1.35	13.7	チャート
92	MD54 Ⅲ層	尖頭器	1b	[4.9]	2.7	0.9	[10.7]	頁岩
93	ME56 Ⅲ層	尖頭器	1b	4.9	3.0	1.2	15.2	頁岩
94	MG54 Ⅲ層	尖頭器	1b	5.1	3.2	2.1	26.3	頁岩
95	MH47 Ⅱ層	尖頭器	1b	[2.0]	1.4	0.8	[1.9]	黒曜石
96	M146 Ⅱ層	尖頭器	1b	2.3	1.7	0.7	2.2	黒曜石
97	MH54 Ⅱ層	尖頭器	1b	2.4	1.7	0.6	2.5	黒曜石
98	MK46 A1号沢跡 2層	尖頭器	1b	2.4	1.9	0.7	2.5	黒曜石
99	MJ44 Ⅱ層	尖頭器	1b	[2.4]	1.5	1.0	[3.1]	スノウ
100	MM48 盛土	尖頭器	1b	[2.5]	2.3	1.0	[4.8]	チャート
101	MJ45 A1号沢跡 1層	尖頭器	1b	[2.5]	2.7	0.7	[2.9]	スノウ
102	攪乱	尖頭器	1b	[2.5]	2.0	1.1	[4.6]	珸質頁岩
103	MK48 Ⅱ層	尖頭器	1b	2.6	1.4	0.7	2.1	チャート
104	MH52 Ⅱ層	尖頭器	1b	2.6	1.6	0.9	3.2	チャート
105	M146 A2号沢跡 1層	尖頭器	1b	[2.6]	[2.1]	0.7	[2.7]	頁岩
106	MH57 Ⅱ層	尖頭器	1b	2.7	2.2	1.3	6.1	珸質頁岩
107	MA71 Ⅱ層	尖頭器	1b	2.7	2.0	0.8	4.2	珸質頁岩
108	MJ44 Ⅱ層	尖頭器	1b	[2.7]	1.6	0.8	[2.7]	黒曜石
109	MJ47 Ⅱ層	尖頭器	1b	[2.7]	1.9	0.7	[3.0]	チャート
110	YJ45 Ⅱ層	尖頭器	1b	2.8	1.6	1.0	4.2	珸質頁岩
111	MK46 Ⅱ層	尖頭器	1b	[2.8]	1.8	0.8	[3.2]	チャート
112	P610 埋土	尖頭器	1b	[2.9]	1.6	0.8	[2.4]	チャート
113	ML55 Ⅱ層	尖頭器	1b	[2.9]	1.7	1.0	[4.2]	チャート
114	MM46 Ⅱ層	尖頭器	1b	3.0	[2.0]	0.9	[4.3]	スノウ
115	MK47 Ⅱ層	尖頭器	1b	[3.0]	[2.0]	1.0	[6.0]	スノウ
116	MJ47 Ⅱ層	尖頭器	1b	3.1	2.0	0.9	4.6	チャート
117	MK43 Ⅱ層	尖頭器	1b	[3.1]	1.8	0.7	[2.9]	頁岩
118	MK48 Ⅰ層	尖頭器	1b	[3.1]	2.4	1.0	[5.4]	頁岩
119	MG50 Ⅱ層	尖頭器	1b	[3.1]	1.5	0.6	[2.4]	チャート
120	攪乱	尖頭器	1b	[3.1]	1.7	1.0	[4.5]	チャート
121	MK46 Ⅱ層	尖頭器	1b	3.2	1.6	0.8	3.7	黒曜石
122	MH51 Ⅱ層	尖頭器	1b	[3.2]	2.2	1.1	[5.8]	珸質頁岩
123	MK51 Ⅱ層	尖頭器	1b	[3.2]	2.0	0.9	[4.2]	珸質頁岩
124	攪乱	尖頭器	1b	[3.2]	1.5	0.6	[2.4]	黒曜石

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
125	M J 45 II層下	尖頭器	1 b	3.3	[2.4]	1.3	[7.7]	メノウ
126	MK53 II層	尖頭器	1 b	3.3	2.1	1.2	7.2	珉質頁岩
127	MM46 A1号沢跡 2層	尖頭器	1 b	3.3	2.3	1.2	6.7	頁岩
128	MK47 A2号沢跡 5層	尖頭器	1 b	[3.3]	2.2	0.7	[4.7]	頁岩
129	MN40 II層	尖頭器	1 b	3.4	2.3	1.4	7.6	メノウ
130	MK47 I層	尖頭器	1 b	[3.5]	2.9	0.9	[7.7]	頁岩
131	MK50 埴土	尖頭器	1 b	[3.5]	2.1	1.0	[5.8]	頁岩
132	MK48 A2号沢跡 1層下	尖頭器	1 b	[3.5]	2.4	1.3	[8.4]	チャート
133	MH52 II層	尖頭器	1 b	3.6	2.1	1.1	6.6	珉化木?
134	MI.47 A2号沢跡 1層	尖頭器	1 b	3.6	2.5	0.9	6.2	頁岩
135	M J 45 II層	尖頭器	1 b	[3.6]	2.1	0.5	[3.5]	チャート
136	M J 47 II層	尖頭器	1 b	[3.6]	2.2	1.6	[5.1]	頁岩
137	MH53 II層	尖頭器	1 b	[3.7]	2.0	1.0	[6.8]	頁岩
138	MK48 A2号沢跡 3層	尖頭器	1 b	[3.7]	2.1	0.8	[4.6]	頁岩
139	MH40 II層	尖頭器	1 b	[3.7]	2.2	0.9	[6.2]	頁岩
140	MI 53 II層	尖頭器	1 b	[3.8]	2.4	1.4	[8.5]	頁岩
141	M 145 A1号沢跡 1層	尖頭器	1 b	[3.8]	2.6	1.0	[9.4]	チャート
142	M J 45 II層	尖頭器	1 b	3.9	3.3	1.2	12.6	頁岩
143	M J 45 II層	尖頭器	1 b	[3.9]	2.6	1.4	[10.5]	珉質頁岩
144	MM46 II層下	尖頭器	1 b	[3.9]	2.5	1.0	[9.2]	頁岩
145	MK43 II層	尖頭器	1 b	[4.0]	2.6	0.9	[8.0]	頁岩
146	MK46 II層	尖頭器	1 b	[4.0]	3.0	1.1	[11.6]	頁岩
147	MK46 A1号沢跡 1層	尖頭器	1 b	[4.0]	3.5	1.2	[10.0]	頁岩
148	P694 埴土	尖頭器	1 b	4.1	2.4	1.0	9.5	頁岩
149	A1号沢跡 3層	尖頭器	1 b	4.1	2.9	1.2	12.7	頁岩
150	MF50 II層	尖頭器	1 b	4.2	2.3	0.7	6.2	頁岩
151	MK46 II層	尖頭器	1 b	[4.2]	2.9	0.6	[6.0]	頁岩
152	MK46 A1号沢跡 1層	尖頭器	1 b	[4.2]	2.9	1.4	[13.0]	チャート
153	MK48 II層	尖頭器	1 b	4.3	2.5	0.9	7.7	頁岩
154	M 147 II層	尖頭器	1 b	4.3	2.9	1.3	14.1	チャート
155	MK46	尖頭器	1 b	[4.4]	2.2	0.8	[10.7]	頁岩
156	MK47 A2号沢跡 3層	尖頭器	1 b	[4.4]	3.1	0.9	[10.4]	頁岩
157	M J 43 II層	尖頭器	1 b	4.5	3.0	0.7	7.6	頁岩
158	MM46 II層	尖頭器	1 b	4.6	3.0	1.7	18.5	頁岩
159	MK48 II層	尖頭器	1 b	4.6	3.7	1.0	15.4	頁岩
160	M J 46 II層	尖頭器	1 b	[4.6]	2.9	1.4	[15.2]	珉質頁岩
161	MI.43 II層	尖頭器	1 b	[4.6]	2.1	1.1	[10.1]	珉質頁岩
162	M J 54 II層	尖頭器	1 b	[4.6]	2.9	1.1	[12.9]	頁岩
163	MK45 A1号沢跡 1層	尖頭器	1 b	4.7	2.6	1.3	15.3	頁岩
164	MH51 S X01 埴土	尖頭器	1 b	[4.7]	2.8	1.1	[15.9]	頁岩
165	M J 56 II層	尖頭器	1 b	[4.7]	2.6	1.3	[14.2]	頁岩
166	MK48 II層	尖頭器	1 b	5.0	3.7	1.2	17.7	チャート
167	MK47 II層	尖頭器	1 b	[5.0]	3.8	1.3	[18.8]	頁岩
168	MK51 II層	尖頭器	1 b	[5.0]	2.9	1.2	[13.6]	頁岩
169	MK49 I層	尖頭器	1 b	[6.1]	3.2	0.7	[16.1]	頁岩
170	MG57 III層	尖頭器	2	2.95	2.3	0.85	4.4	頁岩
171	MD55 III層	尖頭器	2	3.1	2.3	0.7	4.1	チャート
172	ME56 II層	尖頭器	2	3.1	2.2	0.9	5.8	チャート
173	MF57 A4号沢跡 2層	尖頭器	2	3.5	2.6	1.4	12.2	チャート
174	ME55 II層	尖頭器	2	3.9	2.5	1.2	9.3	頁岩
175	MF56 A4号沢跡 2層	尖頭器	2	4.1	2.5	1.0	9.4	頁岩
176	ME56 II層	尖頭器	2	4.4	3.05	1.2	12.3	頁岩
177	MD55 III層	尖頭器	2	5.1	3.0	0.9	13.3	頁岩
178	M 145 II層	尖頭器	2	[2.2]	1.3	0.8	[1.8]	黒曜石

号番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
179	M J 45 Ⅱ層	尖頭器	2	2.5	1.7	0.8	2.9	黒曜石
180	MK47 Ⅱ層	尖頭器	2	2.5	1.7	0.7	2.7	珪質頁岩
181	M G 50 Ⅱ層	尖頭器	2	[2.7]	2.1	0.7	[3.8]	頁岩
182	M I 43 Ⅱ層	尖頭器	2	[2.8]	2.2	1.0	[4.5]	頁岩
183	MK46 Ⅱ層	尖頭器	2	[2.8]	2.0	1.2	[5.3]	珪質頁岩
184	M I 157 Ⅱ層	尖頭器	2	[2.8]	2.2	0.6	[3.7]	頁岩
185	M J 47 A 2号沢跡 1層	尖頭器	2	[2.8]	2.0	0.9	[4.1]	珪質頁岩
186	MK47 A 2号沢跡 1層	尖頭器	2	[2.8]	2.0	0.7	[4.1]	メノウ
187	M J 44 Ⅱ層	尖頭器	2	[2.9]	2.3	0.9	[5.2]	メノウ
188	M J 45 Ⅱ層	尖頭器	2	[2.9]	2.1	0.8	[3.8]	チャート
189	M J 45 A 1号沢跡 1層	尖頭器	2	3.1	2.3	0.8	4.8	珪質頁岩
190	M I 45 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.1]	2.2	0.8	[5.8]	珪質頁岩
191	MH50 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.1]	2.0	1.0	[6.6]	チャート
192	M I 45 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.1]	2.4	0.7	[5.0]	珪質頁岩
193	MK46 Ⅱ層	尖頭器	2	3.2	2.6	1.3	8.7	メノウ
194	表採	尖頭器	2	[3.2]	2.2	1.0	[7.1]	チャート
195	M L 46 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.3]	2.3	1.0	[5.8]	頁岩
196	M L 47 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.3]	2.4	1.1	[7.4]	メノウ
197	M G 50 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.3]	2.5	1.2	[8.1]	チャート
198	MK48 A 2号沢跡 1層	尖頭器	2	[3.3]	2.3	0.9	[5.1]	チャート
199	M F 50 Ⅱ層	尖頭器	2	3.5	1.8	0.8	4.3	頁岩
200	M J 47 Ⅱ層	尖頭器	2	3.5	2.7	1.3	9.2	珪質頁岩
201	M I 44 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.5]	[2.1]	1.0	[6.0]	頁岩
202	M I 47 A 2号沢跡 3層	尖頭器	2	[3.5]	2.5	1.2	[9.2]	メノウ
203	M J 47 A 2号沢跡 1層	尖頭器	2	[3.5]	2.3	1.2	[9.9]	チャート
204	M G 51 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.5]	[2.2]	1.0	[7.3]	珪質頁岩
205	M G 50 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.6]	2.0	0.7	[4.8]	チャート
206	M H 49 Ⅱ層	尖頭器	2	3.7	2.2	1.4	11.4	チャート
207	M J 53 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.7]	2.3	0.9	[6.8]	頁岩
208	M I 46 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.8]	2.7	1.5	[13.0]	メノウ
209	M I 47 Ⅰ層	尖頭器	2	[3.8]	3.0	1.0	[10.7]	チャート
210	M M 46 Ⅱ層	尖頭器	2	3.9	[2.7]	1.1	[10.9]	メノウ
211	M I 46 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.9]	2.3	0.9	[6.5]	頁岩
212	MK44 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.9]	2.9	1.5	[13.5]	頁岩
213	MH50 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.9]	2.8	1.3	[14.0]	チャート
214	MH52 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.9]	2.6	1.2	[11.2]	チャート
215	M I 47 A 2号沢跡 1層	尖頭器	2	[3.9]	2.7	1.0	[10.9]	チャート
216	M C 55 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.9]	[2.6]	1.0	[8.0]	頁岩
217	M J 44 Ⅱ層	尖頭器	2	[3.9]	2.9	1.1	[13.5]	メノウ
218	M J 45 A 1号沢跡 2層	尖頭器	2	[4.0]	2.4	1.1	[7.6]	頁岩
219	M D 63 盛土	尖頭器	2	[4.0]	2.4	1.0	[9.7]	珪質頁岩
220	MK46 Ⅱ層	尖頭器	2	4.4	3.7	1.9	14.8	頁岩
221	M I 151 Ⅱ層	尖頭器	2	4.4	2.6	1.2	13.6	珪質頁岩
222	M L 40 Ⅱ層	尖頭器	2	4.4	2.7	1.1	12.6	頁岩
223	MK41 Ⅱ層	尖頭器	2	[4.4]	2.6	1.1	[10.5]	頁岩
224	M I 43 Ⅱ層	尖頭器	2	[4.4]	[2.8]	1.4	[13.4]	チャート
225	M L 46 Ⅱ層	尖頭器	2	4.5	2.5	1.4	12.3	頁岩
226	M I 40 盛土	尖頭器	2	[4.5]	[3.1]	0.9	[10.9]	頁岩
227	M J 45 A 1号沢跡 1層下	尖頭器	2	[4.6]	3.0	1.1	[14.4]	頁岩
228	M Q 36 Ⅰ層	尖頭器	2	[4.7]	3.2	1.8	[20.0]	頁岩
229	M L 47 Ⅱ層	尖頭器	2	[4.8]	3.5	0.9	[13.7]	頁岩
230	M C 50 Ⅱ層	尖頭器	2	[4.8]	2.9	0.7	[9.0]	頁岩
231	M I 47 宅地基礎跡	尖頭器	2	[5.6]	3.3	1.4	[21.2]	頁岩
232	M J 44 Ⅱ層	尖頭器	2	[5.8]	3.3	2.5	[22.8]	頁岩

写番	出土地位・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
233	ME56 Ⅱ層	尖頭器	3	2.8G	1.5	0.75	2.5	珸質頁岩
234	MF56 Ⅱ層	尖頭器	3	3.85	1.9	0.9	5.8	頁岩
235	MI41 盛土	尖頭器	3	4.3	1.6	0.95	4.6	頁岩
236	MG52 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.7]	2.5	0.8	[6.2]	頁岩
237	MI45 Ⅱ層	尖頭器	3	5.1	1.7	0.9	7.8	頁岩
238	MD56 Ⅱ層	尖頭器	3	5.65	2.55	1.4	15.9	頁岩
239	MK48 Ⅱ層	尖頭器	3	6.4	2.5	1.5	26.5	頁岩
240	MJ46 Ⅱ層	尖頭器	3	[6.6]	2.4	0.9	[14.2]	頁岩
241	MK48 Ⅱ層	尖頭器	3	2.6	1.1	0.6	1.5	黒曜石
242	MI45 Ⅱ層	尖頭器	3	[2.7]	[1.6]	0.7	[1.9]	珸質頁岩
243	MF59 SD03 2層	尖頭器	3	[3.3]	1.6	1.0	[3.9]	珸質頁岩
244	MJ48 Ⅱ層	尖頭器	3	[3.3]	1.6	0.8	[3.8]	頁岩
245	MM46 A1号沢跡 1層	尖頭器	3	[3.4]	1.6	1.0	[4.5]	頁岩
246	SK105 埋土	尖頭器	3	3.6	[2.0]	0.8	[3.7]	チャート
247	MM46 Ⅱ層	尖頭器	3	[3.6]	1.5	0.8	[3.3]	チャート
248	MJ47 Ⅱ層	尖頭器	3	3.9	1.9	1.0	7.3	チャート
249	MM41 Ⅱ層	尖頭器	3	3.9	1.7	0.9	5.4	チャート
250	MF56 Ⅱ層	尖頭器	3	[3.9]	[1.8]	1.2	[6.8]	珸質頁岩
251	MI45 Ⅱ層	尖頭器	3	[3.9]	1.8	0.9	[4.5]	チャート
252	MH51 SX01 埋土	尖頭器	3	[4.0]	1.4	0.8	[4.1]	メノウ
253	MJ43 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.0]	0.8	1.2	[7.9]	頁岩
254	MG51 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.1]	1.7	1.1	[7.7]	頁岩
255	MO39 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.1]	1.9	1.0	[5.1]	頁岩
256	MK48 A2号沢跡 1層	尖頭器	3	4.2	1.9	0.8	4.7	珸質頁岩
257	MK47 A2号沢跡 3層	尖頭器	3	[4.3]	2.0	0.8	[4.9]	頁岩
258	ML50 Ⅱ層	尖頭器	3	4.4	1.7	1.1	6.1	チャート
259	MK48 A2号沢跡 1層	尖頭器	3	[4.4]	2.0	1.1	[8.7]	珸質頁岩
260	MI47 Ⅱ層	尖頭器	3	4.5	2.0	1.0	8.2	頁岩
261	MG54 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.6]	2.7	1.8	[18.0]	頁岩
262	MH53 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.6]	2.2	1.2	[7.7]	頁岩
263	MJ45 A1号沢跡 2層	尖頭器	3	4.7	2.4	1.0	8.0	頁岩
264	3トレンチ	尖頭器	3	4.7	2.0	1.2	9.0	メノウ
265	MJ45 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.7]	2.0	0.8	[7.4]	頁岩
266	MJ45 A1号沢跡 1層下	尖頭器	3	[4.7]	1.6	1.0	[5.3]	頁岩
267	MK47 Ⅱ層	尖頭器	3	[4.8]	1.7	1.0	[6.2]	頁岩
268	MJ45 Ⅱ層	尖頭器	3	[5.1]	2.5	0.9	[9.7]	頁岩
269	MJ45 A1号沢跡 1層	尖頭器	3	5.3	1.6	1.2	7.4	頁岩
270	MI52 Ⅱ層	尖頭器	3	[6.2]	2.4	1.1	[14.9]	頁岩
271	MQ36 Ⅱ層	尖頭器	3	[6.5]	2.5	1.5	[21.2]	頁岩
272	MG56 Ⅲ層下	尖頭器	4	3.25	2.15	1.15	5.5	珸質頁岩
273	MG56 Ⅱ層	尖頭器	4	3.15	1.85	0.75	3.3	頁岩
274	MI41 Ⅱ層	尖頭器	4	3.9	2.1	1.3	6.7	頁岩
275	SB02 布船 埋土	尖頭器	4	4.6	2.1	1.1	6.7	頁岩
276	MF56 A4号沢跡	尖頭器	4	6.1	3.9	1.7	28.5	頁岩
277	MK47 Ⅱ層	尖頭器	4	13.8	4.55	3.8	221.2	ホルンフェルス
278	機丸	尖頭器	4	2.2	1.6	0.9	2.8	黒曜石
279	2トレンチ Ⅱ層	尖頭器	4	[2.4]	[1.5]	0.8	[2.2]	メノウ
280	MJ49 Ⅱ層	尖頭器	4	[2.5]	1.6	1.1	[3.6]	珸質頁岩
281	MJ45 A1号沢跡 1層	尖頭器	4	[2.5]	1.8	0.6	[2.0]	チャート
282	MF56 Ⅱ層	尖頭器	4	2.6	1.7	0.8	3.1	頁岩
283	MK48 Ⅱ層	尖頭器	4	[2.6]	1.5	1.1	[3.3]	黒曜石
284	MH51 表土	尖頭器	4	2.7	2.1	0.7	3.5	珸質頁岩
285	MI55 Ⅱ層	尖頭器	4	2.7	1.9	1.05	3.5	黒曜石
286	Ⅱ層	尖頭器	4	[2.7]	2.1	1.1	[5.5]	チャート

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
287	ML46 Ⅱ層	尖頭器	4	[2.7]	2.0	0.7	[2.9]	頁岩
288	ML51 Ⅱ層	尖頭器	4	[2.7]	1.8	0.7	[3.2]	チャート
289	M151 Ⅱ層	尖頭器	4	[2.8]	2.2	0.6	[3.7]	チャート
290	MF57 A1号沢跡 1層	尖頭器	4	[2.8]	2.3	1.0	[5.5]	黒曜石
291	MJ46 A1号沢跡 2層	尖頭器	4	[2.8]	1.8	0.8	[3.9]	頁岩
292	MH49 Ⅱ層	尖頭器	4	2.9	2.2	1.0	5.3	珪質頁岩
293	M146 Ⅱ層	尖頭器	4	[2.9]	1.8	1.2	[4.4]	メノウ
294	MJ46 A1号沢跡 1層	尖頭器	4	[2.9]	2.5	0.8	[3.9]	頁岩
295	M143 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.0]	2.0	1.1	[4.8]	珪質頁岩
296	Ⅱ層	尖頭器	4	3.1	1.6	0.9	3.5	黒曜石
297	ML50 SX02 埴土	尖頭器	4	[3.1]	2.3	1.2	[6.9]	メノウ
298	MF56 A4号沢跡 1層	尖頭器	4	3.2	1.9	1.0	6.6	黒曜石
299	MM46 A1号沢跡 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.2]	2.4	0.8	[4.6]	頁岩
300	MJ45 Ⅱ層	尖頭器	4	3.3	[1.4]	0.7	[3.6]	黒曜石
301	S B01 埴土	尖頭器	4	[3.3]	2.9	1.2	[10.6]	頁岩
302	MJ48 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.3]	[1.7]	0.9	[4.5]	メノウ
303	M145 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.4]	1.9	0.8	[4.7]	頁岩
304	Ⅱ層	尖頭器	4	[3.4]	2.4	1.1	[5.5]	頁岩
305	MM48 埴土	尖頭器	4	[3.4]	2.0	0.6	[3.2]	頁岩
306	MF68 Ⅲ層	尖頭器	4	3.5	1.9	0.9	4.9	チャート
307	MK48 Ⅱ層	尖頭器	4	3.5	1.7	1.1	5.6	珪質頁岩
308	MJ46 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.5]	2.5	0.9	[6.4]	頁岩
309	MJ47 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.5]	2.2	1.3	[6.3]	黒曜石
310	MM46 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.6]	[2.4]	1.4	[10.9]	珪質頁岩
311	M147 Ⅱ層	尖頭器	4	3.7	2.3	1.1	9.2	チャート
312	MF50 Ⅱ層	尖頭器	4	[3.8]	2.7	1.3	[10.9]	チャート
313	MK52 Ⅱ層	尖頭器	4	[4.1]	2.2	1.1	[9.8]	チャート
314	ML47 A2号沢跡 1層	尖頭器	4	4.2	3.1	1.0	10.7	頁岩
315	ML49 A2号沢跡 1層	尖頭器	4	4.2	3.0	1.1	11.6	頁岩
316	MH45 Ⅱ層	尖頭器	4	[4.2]	2.1	1.3	[9.4]	チャート
317	MK46 Ⅱ層	尖頭器	4	[4.2]	2.3	1.6	[10.6]	珪質頁岩
318	M154 Ⅱ層	尖頭器	4	[4.6]	3.1	1.0	[13.4]	頁岩
319	ML47 A2号沢跡 1層	尖頭器	4	[4.8]	2.5	1.0	[10.7]	頁岩
320	MF57 攪乱	尖頭器	4	[5.3]	2.3	1.5	[17.6]	頁岩
321	MK54 Ⅳ層	尖頭器	4	[5.3]	3.1	1.2	[17.8]	頁岩
322	MJ45 A1号沢跡 2層	尖頭器	4	[6.0]	2.2	1.0	[10.1]	珪質頁岩
323	MF56 Ⅲ層	石鏃	1 a	1.8	0.9	0.3	0.3	珪質頁岩
324	MF56 Ⅲ層	石鏃	1 a	1.8	1.3	0.4	0.5	チャート
325	MK43 Ⅱ層	石鏃	1 a	1.9	1.2	0.6	1.0	珪質頁岩
326	MD55 Ⅲ層下	石鏃	1 a	2.4	1.6	0.4	0.9	頁岩
327	MG56 Ⅲ層	石鏃	1 a	2.6	1.4	0.45	1.1	頁岩
328	MG54 Ⅲ層下	石鏃	1 a	[1.4]	1.0	0.4	[0.4]	チャート
329	MK46 Ⅱ層	石鏃	1 a	[1.5]	0.8	0.3	[0.2]	チャート
330	MG52 Ⅱ層	石鏃	1 a	[1.6]	0.8	0.4	[0.3]	黒曜石
331	MJ44 Ⅱ層	石鏃	1 a	[1.6]	1.1	0.3	[0.5]	玉すい
332	M140 Ⅱ層	石鏃	1 a	[1.7]	0.9	0.5	[0.4]	黒曜石
333	M157 Ⅱ層	石鏃	1 a	1.8	1.0	0.5	0.7	チャート
334	MF56 A4号沢跡 2層	石鏃	1 a	[1.8]	1.2	0.3	[0.4]	頁岩
335	MH46 A1号沢跡 2層	石鏃	1 a	[1.8]	1.0	0.5	[0.6]	チャート
336	MH54 Ⅱ層	石鏃	1 a	1.9	1.4	0.4	0.8	チャート
337	MH49 Ⅱ層	石鏃	1 a	[1.9]	1.1	0.4	[0.4]	頁岩
338	MF50 Ⅱ層	石鏃	1 a	[1.9]	1.3	0.4	[0.6]	黒曜石
339	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.0	1.0	0.5	0.8	頁岩
340	MK48 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.0	1.3	0.5	0.9	黒曜石

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
341	MG56 Ⅱ層	石椀	1a	[2.0]	1.1	0.5	[0.4]	頁岩
342	ML43 Ⅳ層	石椀	1a	[2.0]	1.1	0.3	[0.5]	頁岩
343	攪乱	石椀	1a	[2.0]	1.2	0.4	[0.8]	頁岩
344	ML50 Ⅱ層	石椀	1a	2.1	1.1	0.6	0.8	黒曜石
345	MG42 Ⅱ層	石椀	1a	2.1	1.3	0.5	0.8	チャート
346	P589 埋土	石椀	1a	[2.1]	1.0	0.4	[0.6]	頁岩
347	M140 盛土	石椀	1a	[2.1]	1.1	0.5	[0.6]	頁岩
348	MH49 Ⅱ層	石椀	1a	[2.1]	0.9	0.5	[0.5]	黒曜石
349	MK51 Ⅱ層	石椀	1a	[2.1]	0.7	0.4	[0.4]	頁岩
350	MF48 Ⅱ層	石椀	1a	[2.1]	1.5	0.5	[1.0]	頁岩
351	MF49 Ⅱ層	石椀	1a	[2.1]	1.4	0.4	[0.9]	頁岩
352	MJ47 A2号沢跡 2層	石椀	1a	[2.1]	1.1	0.4	[0.5]	チャート
353	MJ47 Ⅱ層	石椀	1a	2.2	1.0	0.3	0.5	珪質頁岩
354	MK47 A2号沢跡 1層	石椀	1a	2.2	1.3	0.5	1.1	メノウ
355	ME55 Ⅲ層	石椀	1a	[2.2]	1.5	0.4	[1.0]	頁岩
356	M147 Ⅱ層	石椀	1a	[2.2]	1.4	0.4	[0.8]	頁岩
357	MK48 Ⅰ層	石椀	1a	[2.2]	1.2	0.5	[1.0]	頁岩
358	M147 Ⅱ層	石椀	1a	[2.2]	1.1	0.4	[0.6]	頁岩
359	M156 Ⅱ層	石椀	1a	[2.2]	1.0	0.3	[0.5]	頁岩
360	MJ45 A1号沢跡 Ⅱ層	石椀	1a	[2.2]	1.6	0.4	[1.0]	頁岩
361	M147 A2号沢跡 1層	石椀	1a	[2.2]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
362	M142 A3号沢跡	石椀	1a	2.3	1.2	0.5	0.7	黒曜石
363	MJ45 Ⅱ層	石椀	1a	2.3	1.0	0.3	0.5	頁岩
364	MH49 Ⅱ層	石椀	1a	2.3	0.9	0.4	0.5	頁岩
365	M147 Ⅰ層	石椀	1a	2.3	1.2	1.0	1.0	頁岩
366	MG52 Ⅱ層	石椀	1a	[2.3]	1.4	0.7	[1.3]	頁岩
367	MG54 Ⅲ層	石椀	1a	[2.3]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
368	M145 Ⅱ層	石椀	1a	[2.3]	1.1	0.3	[0.5]	頁岩
369	ML46 Ⅱ層	石椀	1a	[2.3]	1.1	0.6	[1.0]	黒曜石
370	MJ45 Ⅱ層	石椀	1a	[2.3]	1.5	0.5	[1.3]	チャート
371	M154 Ⅱ層	石椀	1a	[2.3]	1.2	0.4	[0.8]	頁岩
372	MG50 Ⅱ層	石椀	1a	[2.3]	0.9	0.4	[0.6]	珪質頁岩
373	MJ45 A1号沢跡 1層	石椀	1a	[2.3]	1.7	0.6	[1.4]	黒曜石
374	MK48 A2号沢跡 1層	石椀	1a	[2.3]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
375	MM46 Ⅱ層	石椀	1a	2.4	1.3	0.5	1.1	チャート
376	M143 Ⅱ層	石椀	1a	[2.4]	0.8	0.4	[0.6]	頁岩
377	Ⅱ層	石椀	1a	[2.4]	1.0	0.4	[0.5]	珪質頁岩
378	MG52 Ⅱ層	石椀	1a	[2.4]	1.1	0.5	[0.8]	チャート
379	MG53 Ⅲ層	石椀	1a	[2.4]	1.3	0.4	[1.0]	チャート
380	MJ46 Ⅱ層	石椀	1a	[2.4]	1.2	0.5	[1.3]	頁岩
381	M155 Ⅱ層	石椀	1a	[2.4]	1.5	0.4	[0.9]	頁岩
382	A1号沢跡 2層	石椀	1a	[2.4]	1.2	0.5	[0.8]	黒曜石
383	M149 Ⅱ層	石椀	1a	2.5	1.2	0.5	1.0	頁岩
384	A1号沢跡 2層	石椀	1a	2.5	1.3	0.4	0.8	頁岩
385	SK105 埋土	石椀	1a	[2.5]	1.0	0.4	[0.6]	チャート
386	M146 Ⅱ層	石椀	1a	[2.5]	1.1	0.5	[0.7]	頁岩
387	MK50 盛土	石椀	1a	[2.5]	1.0	0.6	[1.0]	頁岩
388	M154 Ⅱ層	石椀	1a	[2.5]	1.3	0.5	[1.3]	珪質頁岩
389	ML40 Ⅱ層	石椀	1a	2.6	1.3	0.5	1.0	珪質頁岩
390	M145 Ⅱ層	石椀	1a	[2.6]	1.2	0.4	[0.8]	頁岩
391	M147 Ⅱ層	石椀	1a	[2.6]	1.0	0.5	[0.8]	頁岩
392	MJ47 Ⅰ層	石椀	1a	[2.6]	2.0	0.5	[1.8]	頁岩
393	MH54 Ⅱ層	石椀	1a	[2.6]	1.2	0.5	[0.9]	頁岩
394	A1号沢跡 4層	石椀	1a	[2.6]	1.2	0.3	[0.8]	頁岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
395	MK48 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[2.6]	1.4	0.5	[1.4]	埴貫頁岩
396	Ⅱ層	石鏃	1a	[2.6]	1.4	0.4	[1.1]	頁岩
397	MM46 Ⅱ層	石鏃	1a	2.7	1.3	0.8	1.7	埴貫頁岩
398	MK48 Ⅱ層	石鏃	1a	2.7	1.4	0.5	1.3	玉ずい
399	MG55 Ⅲ層	石鏃	1a	[2.7]	1.4	0.5	[1.2]	頁岩
400	M I 40 Ⅱ層	石鏃	1a	[2.7]	1.3	0.6	[1.3]	頁岩
401	MH51 Ⅱ層	石鏃	1a	[2.7]	1.2	0.5	[1.4]	チャート
402	MK45 A 1号沢跡 1A層	石鏃	1a	[2.7]	1.3	0.4	[0.8]	頁岩
403	MK47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[2.7]	1.0	0.4	[0.9]	頁岩
404	M J 47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[2.7]	1.1	0.4	[0.9]	頁岩
405	M J 48 A 2号沢跡 Ⅱ層	石鏃	1a	[2.7]	1.6	0.5	[1.8]	頁岩
406	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏃	1a	[2.8]	1.8	0.5	[2.2]	メノウ
407	M J 45 A 1号沢跡 Ⅱ層	石鏃	1a	[2.8]	1.5	0.6	[1.5]	頁岩
408	MK47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[2.8]	[1.2]	0.3	[0.7]	頁岩
409	攪乱	石鏃	1a	[2.8]	1.8	0.6	[1.9]	チャート
410	M I 54 Ⅱ層	石鏃	1a	[2.9]	1.1	0.5	[0.8]	頁岩
411	MN39 Ⅱ層	石鏃	1a	[2.9]	1.3	0.3	[0.9]	頁岩
412	M J 46 A 1号沢跡 1層	石鏃	1a	3.0	1.7	0.5	1.2	頁岩
413	MG54 Ⅲ層	石鏃	1a	[3.0]	1.4	0.4	[1.2]	頁岩
414	M J 46 Ⅱ層	石鏃	1a	[3.0]	1.6	0.4	[1.2]	埴貫頁岩
415	MK47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[3.0]	1.8	0.7	[3.0]	頁岩
416	M I 46 A 2号沢跡 2層	石鏃	1a	[3.0]	1.4	0.6	[2.0]	頁岩
417	M I 47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[3.0]	1.2	0.5	[1.3]	頁岩
418	MK43 Ⅱ層	石鏃	1a	[3.1]	1.2	0.7	[1.8]	頁岩
419	M J 47 Ⅱ層	石鏃	1a	[3.1]	1.1	0.5	[1.0]	頁岩
420	M J 46 A 1号沢跡 1層	石鏃	1a	[3.2]	2.0	0.5	[2.5]	埴貫頁岩
421	MH57 Ⅱ層	石鏃	1a	3.3	1.6	0.6	2.1	頁岩
422	MG59 SD03 1層	石鏃	1a	[3.3]	1.4	0.5	[1.4]	頁岩
423	MF57 Ⅲ層	石鏃	1a	3.4	1.4	0.6	1.7	頁岩
424	Ⅱ層	石鏃	1a	[3.4]	1.4	0.4	[1.2]	頁岩
425	ME56 Ⅲ層	石鏃	1a	[3.4]	1.6	0.6	[2.6]	頁岩
426	M J 43 Ⅱ層	石鏃	1a	[3.6]	0.9	0.5	[1.3]	頁岩
427	MH50 Ⅱ層	石鏃	1a	[3.8]	1.9	0.7	[3.5]	頁岩
428	MH51 SX01 埴土	石鏃	1a	[4.2]	1.4	0.5	[2.0]	頁岩
429	MD59 SD03 1層	石鏃	1a	4.6	2.4	0.6	4.6	チャート
430	MF57 Ⅲ層上面	石鏃	1b	1.9	1.1	0.3	0.5	埴貫頁岩
431	MG38 Ⅲ層	石鏃	1b	2.6	1.5	0.45	1.2	埴貫頁岩
432	MD56 Ⅲ層	石鏃	1b	2.7	1.4	0.5	1.3	埴貫頁岩
433	MD57 Ⅲ層	石鏃	1b	3.0	1.5	0.4	0.9	頁岩
434	ME56 Ⅲ層	石鏃	1b	[3.3]	1.4	0.5	[1.3]	頁岩
435	MK46 Ⅱ層下	石鏃	1b	3.1	2.1	0.7	3.3	頁岩
436	MG57 Ⅲ層	石鏃	1b	[1.6]	1.2	0.3	[0.6]	頁岩
437	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏃	1b	[1.6]	1.0	0.3	[0.5]	埴貫頁岩
438	MH51 Ⅱ層	石鏃	1b	[1.7]	1.1	0.4	[0.5]	チャート
439	ML59 SD03 1層	石鏃	1b	1.9	1.1	0.4	0.5	チャート
440	MK48 Ⅱ層	石鏃	1b	[1.9]	1.1	0.5	[0.6]	黒曜石
441	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏃	1b	[1.9]	1.6	0.5	[1.1]	頁岩
442	MK49 A 2号沢跡 Ⅱ層	石鏃	1b	[1.9]	1.3	0.7	[1.2]	頁岩
443	MK48 Ⅱ層	石鏃	1b	2.0	1.2	0.4	0.5	黒曜石
444	SK39 埴土	石鏃	1b	[2.0]	1.4	0.4	[1.0]	頁岩
445	M J 48 Ⅱ層	石鏃	1b	[2.0]	1.1	0.5	[0.9]	黒曜石
446	MK48 Ⅱ層	石鏃	1b	[2.0]	1.3	0.5	[0.9]	黒曜石
447	MM48 Ⅱ層	石鏃	1b	[2.0]	1.3	0.6	[1.3]	黒曜石
448	MI154 Ⅱ層	石鏃	1b	[2.0]	[1.0]	0.5	[0.6]	チャート

号番	出土位置・层位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
449	MJ46 A1号沢跡 Ⅱ層	石椀	1b	[2.0]	[1.3]	0.3	[0.6]	頁岩
450	MQ37 Ⅱ層	石椀	1b	[2.0]	1.4	0.5	[1.0]	珪質頁岩
451	MH46 Ⅱ層	石椀	1b	[2.1]	1.3	0.6	[1.4]	チャート
452	MJ46 Ⅱ層	石椀	1b	[2.1]	1.3	0.4	[0.7]	頁岩
453	MH47 Ⅱ層	石椀	1b	[2.1]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
454	MJ48 A2号沢跡 1層	石椀	1b	[2.1]	1.2	0.5	[0.7]	頁岩
455	MK38 Ⅱ層	石椀	1b	[2.1]	1.5	0.8	[1.6]	黒曜石
456	MJ45 A1号沢跡 2層	石椀	1b	2.2	1.5	0.5	1.4	チャート
457	MJ46 Ⅱ層	石椀	1b	[2.2]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
458	MH49 Ⅱ層	石椀	1b	[2.2]	1.0	0.5	[0.7]	黒曜石
459	MJ47 Ⅱ層	石椀	1b	[2.2]	1.4	0.6	[1.1]	頁岩
460	MJ46 Ⅱ層	石椀	1b	2.3	1.3	0.5	1.0	頁岩
461	MJ45 Ⅱ層	石椀	1b	[2.3]	1.2	0.4	[0.9]	頁岩
462	MK43 Ⅱ層	石椀	1b	[2.3]	1.5	0.5	[1.2]	黒曜石
463	MK46 Ⅱ層	石椀	1b	[2.3]	1.5	0.4	[1.3]	チャート
464	MJ45 A1号沢跡 1層	石椀	1b	[2.3]	1.3	0.3	[0.8]	頁岩
465	MK49 A2号沢跡 2層	石椀	1b	[2.3]	1.5	0.5	[1.5]	黒曜石
466	MJ46 Ⅱ層	石椀	1b	2.4	1.6	0.7	1.7	玉子い
467	P766 埋土	石椀	1b	[2.4]	1.5	0.5	[1.1]	頁岩
468	MD57 Ⅱ層	石椀	1b	[2.4]	1.4	0.4	[1.2]	黒曜石
469	MH51 Ⅱ層	石椀	1b	[2.4]	1.3	0.4	[0.9]	頁岩
470	MJ48 Ⅱ層	石椀	1b	2.5	1.7	0.7	2.3	チャート
471	MG54 Ⅱ層	石椀	1b	[2.5]	1.7	0.6	[2.2]	頁岩
472	MG57 Ⅱ層	石椀	1b	[2.5]	1.7	0.5	[1.4]	頁岩
473	MJ47 Ⅱ層	石椀	1b	[2.5]	1.6	0.4	[1.0]	頁岩
474	MF56 A4号沢跡 2層	石椀	1b	[2.6]	1.7	0.6	[2.3]	珪質頁岩
475	MM43 複丸	石椀	1b	[2.6]	1.7	0.7	[2.1]	黒曜石
476	MJ46 Ⅱ層	石椀	1b	[2.6]	1.3	0.4	[1.1]	頁岩
477	MJ49 Ⅱ層	石椀	1b	[2.6]	1.7	0.6	[1.8]	頁岩
478	ML47 Ⅱ層	石椀	1b	[2.7]	1.7	0.4	[1.6]	頁岩
479	ML47 盛土	石椀	1b	[2.7]	1.6	0.5	[1.3]	頁岩
480	MJ45 A1号沢跡 1層	石椀	1b	[2.7]	1.5	0.6	[1.4]	頁岩
481	MK45 A1号沢跡 2層	石椀	1b	[2.7]	1.5	0.5	[1.8]	頁岩
482	MK48 A2号沢跡 1層	石椀	1b	[2.7]	1.6	0.6	[2.0]	黒曜石
483	MF57 A4号沢跡 1層	石椀	1b	[2.8]	1.5	0.6	[1.6]	珪質頁岩
484	MH51 Ⅱ層	石椀	1b	2.9	2.0	0.8	3.6	頁岩
485	MM39 Ⅱ層	石椀	1b	2.9	0.3	1.4	0.9	頁岩
486	MK47 Ⅱ層	石椀	1b	[2.9]	1.8	0.4	[1.5]	頁岩
487	MJ57 Ⅱ層	石椀	1b	[2.9]	1.5	0.6	[1.9]	頁岩
488	MK48 Ⅱ層	石椀	1b	3.0	1.3	0.4	1.2	頁岩
489	MJ45 Ⅱ層	石椀	1b	[3.0]	1.6	0.7	[2.2]	頁岩
490	MH51 Ⅱ層	石椀	1b	[3.0]	1.9	0.5	[2.3]	頁岩
491	MK47 A2号沢跡 1層	石椀	1b	[3.0]	2.0	0.5	[2.1]	頁岩
492	MK48 Ⅱ層	石椀	1b	3.1	1.2	0.4	1.2	頁岩
493	MD57 Ⅱ層	石椀	1b	[3.1]	1.7	0.5	[1.7]	頁岩
494	MK46 Ⅱ層	石椀	1b	[3.1]	1.8	0.4	[1.4]	頁岩
495	MK47 Ⅱ層	石椀	1b	[3.1]	1.6	0.8	[2.9]	黒曜石
496	MK47 Ⅱ層	石椀	1b	[3.1]	[1.7]	0.8	[2.7]	珪質頁岩
497	表掘	石椀	1b	[3.1]	1.7	0.4	[1.3]	頁岩
498	MK47 A2号沢跡 1層下	石椀	1b	[3.2]	1.9	0.5	[2.4]	頁岩
499	ML38 Ⅱ層	石椀	1b	[3.2]	1.6	0.3	[1.7]	頁岩
500	MH52 SX01 埋土	石椀	1b	[3.3]	1.9	0.7	[3.3]	頁岩
501	MJ45 Ⅱ層	石椀	1b	[3.3]	1.7	0.6	[2.4]	黒曜石
502	MJ46 Ⅱ層	石椀	1b	[3.3]	1.5	0.5	[2.0]	頁岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
503	MH45 A1号沢跡	石鏡	1b	[3.3]	1.6	0.4	[1.3]	頁岩
504	MK52 Ⅱ層	石鏡	1b	3.4	1.8	0.6	3.3	頁岩
505	MJ46 Ⅱ層	石鏡	1b	[3.6]	1.7	0.7	[3.1]	チャート
506	MK43 Ⅱ層	石鏡	1b	[3.9]	1.8	0.7	[4.4]	頁岩
507	MN40 Ⅱ層	石鏡	1b	[3.9]	1.7	0.5	[2.8]	頁岩
508	MK46 Ⅱ層	石鏡	1b	[4.2]	1.5	0.6	[4.1]	頁岩
509	MF56 Ⅱ層	石鏡	1c	2.1	1.3	0.45	0.7	チャート
510	MG52 Ⅱ層	石鏡	1c	2.3	1.1	0.4	0.7	頁岩
511	ME56 Ⅱ層	石鏡	1c	3.5	1.8	0.6	2.4	頁岩
512	MD56 Ⅱ層	石鏡	1c	3.6	1.6	0.55	1.8	珪質頁岩
513	ME56 Ⅱ層	石鏡	1c	3.7	2.05	0.65	3.6	頁岩
514	P604 埋土	石鏡	1c	[1.2]	1.1	0.6	[0.8]	メノウ
515	Ⅱ層	石鏡	1c	[1.4]	1.0	0.4	[0.4]	チャート
516	MH50 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.5]	1.4	0.6	[0.9]	メノウ
517	ML50 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.5]	1.0	0.4	[0.5]	珪質頁岩
518	ML40 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.5]	1.1	0.5	[0.6]	黒曜石
519	表探	石鏡	1c	[1.5]	1.1	0.5	[0.6]	チャート
520	MJ46 Ⅱ層	石鏡	1c	1.6	1.0	0.5	0.5	チャート
521	MM46 A1号沢跡 2層	石鏡	1c	[1.6]	0.9	0.5	[0.6]	チャート
522	MI45 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.7]	1.4	0.3	[0.6]	頁岩
523	MK50 埋土	石鏡	1c	[1.7]	0.9	0.5	[0.4]	頁岩
524	ML48 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.7]	1.3	0.4	[0.7]	頁岩
525	MH52 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.7]	1.0	0.3	[0.4]	下ずい
526	MH49 Ⅱ層	石鏡	1c	1.8	1.2	0.5	0.7	メノウ
527	MG54 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.8]	1.1	0.4	[0.6]	黒曜石
528	MH46 宅地基礎跡	石鏡	1c	[1.8]	1.2	0.6	[1.0]	頁岩
529	MJ47 Ⅰ層	石鏡	1c	[1.8]	1.5	0.5	[1.1]	黒曜石
530	MH52 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.8]	1.1	1.5	[0.6]	黒曜石
531	MJ45 A1号沢跡 1層	石鏡	1c	[1.8]	0.8	0.4	[0.4]	メノウ
532	MJ46 Ⅱ層	石鏡	1c	1.9	0.7	0.4	0.3	黒曜石
533	MK48 Ⅱ層	石鏡	1c	1.9	1.2	0.3	0.4	黒曜石
534	MJ45 A1号沢跡 1層	石鏡	1c	1.9	[1.0]	0.4	[0.4]	珪質頁岩
535	MJ45 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.9]	1.0	0.5	[0.5]	珪質頁岩
536	MJ47 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.9]	1.0	0.5	[0.5]	黒曜石
537	MJ47 Ⅱ層	石鏡	1c	[1.9]	0.9	0.4	[0.4]	頁岩
538	2号沢跡 1層	石鏡	1c	[1.9]	1.2	0.5	[0.8]	黒曜石
539	MK48 Ⅰ層	石鏡	1c	2.0	1.0	0.3	0.5	チャート
540	MG56 Ⅱ層下	石鏡	1c	[2.0]	1.5	0.5	[1.0]	頁岩
541	MI40 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.0]	1.2	0.4	[0.7]	頁岩
542	MI47 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.0]	1.1	0.3	[0.5]	チャート
543	MI47 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.0]	0.8	0.3	[0.4]	黒曜石
544	MI47 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.0]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
545	MC49 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.0]	1.1	0.4	[0.6]	チャート
546	MJ45 A1号沢跡 1層	石鏡	1c	[2.0]	1.2	0.5	[1.1]	頁岩
547	MM39 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.0]	1.2	0.3	[0.7]	頁岩
548	MI57 SD20 埋土	石鏡	1c	2.1	1.1	0.4	0.6	珪質頁岩
549	MJ48 Ⅱ層	石鏡	1c	2.1	1.2	0.4	0.5	黒曜石
550	MI53 Ⅱ層	石鏡	1c	2.1	1.2	0.4	0.8	チャート
551	MF57 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.1]	1.2	0.5	[1.0]	頁岩
552	MK48 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.1]	1.4	0.6	[1.5]	頁岩
553	MJ48 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.1]	1.7	0.5	[1.2]	頁岩
554	MJ48 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.1]	1.3	0.4	[0.7]	頁岩
555	MI52 Ⅱ層	石鏡	1c	[2.1]	0.9	0.5	[0.6]	頁岩
556	MJ45 A1号沢跡 1層	石鏡	1c	[2.1]	1.3	0.4	[0.8]	頁岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
557	MM46 A1号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.1]	1.2	0.3	[0.7]	頁岩
558	SK105 埋土	石鏃	1c	2.2	1.6	0.3	0.8	頁岩
559	MJ47 Ⅱ層	石鏃	1c	2.2	1.2	0.4	0.6	頁岩
560	ML51 Ⅱ層	石鏃	1c	2.2	1.3	0.4	0.6	珪質頁岩
561	M152 Ⅱ層	石鏃	1c	2.2	1.0	0.4	0.5	メノウ
562	MG50 Ⅱ層	石鏃	1c	2.2	1.0	0.5	0.6	チャート
563	ME59 SD03 2層	石鏃	1c	[2.2]	1.0	0.5	[0.6]	チャート
564	ME56 Ⅲ層	石鏃	1c	[2.2]	1.3	0.7	[1.1]	頁岩
565	MM46 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.2]	1.2	0.6	[1.0]	黒曜石
566	M147 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.2]	1.3	0.4	[0.8]	珪質頁岩
567	MH51 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.2]	1.0	0.6	[0.7]	頁岩
568	MJ47 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.2]	[1.4]	0.4	[1.0]	頁岩
569	MJ46 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.2]	1.0	0.4	[0.7]	頁岩
570	M147 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.2]	1.2	0.5	[0.9]	頁岩
571	M146 Ⅱ層	石鏃	1c	2.3	[1.3]	0.4	[0.8]	珪質頁岩
572	MH53 Ⅱ層	石鏃	1c	2.3	1.0	0.5	0.7	チャート
573	P124 埋土	石鏃	1c	[2.3]	1.2	0.6	[1.1]	頁岩
574	M147 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.3]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
575	MJ45 A1号沢跡 2層	石鏃	1c	[2.3]	1.5	0.5	[1.5]	珪質頁岩
576	ML48 A1号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.3]	1.0	0.3	[0.6]	頁岩
577	M147 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.3]	1.4	0.3	[0.7]	頁岩
578	MJ48 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.3]	[1.1]	0.5	[0.7]	頁岩
579	MK49 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.3]	1.4	0.5	[1.2]	頁岩
580	M147 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.3]	1.1	0.3	[0.7]	頁岩
581	MB69 盛土	石鏃	1c	[2.3]	1.1	0.5	[0.7]	チャート
582	表採	石鏃	1c	[2.3]	1.2	0.5	[0.7]	玉ざい
583	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1c	2.4	1.3	0.4	0.8	頁岩
584	M147 Ⅱ層	石鏃	1c	2.4	1.1	0.4	0.7	頁岩
585	MJ48 Ⅱ層	石鏃	1c	2.4	1.1	0.3	0.9	凝灰岩
586	MK48 Ⅱ層	石鏃	1c	2.4	1.1	0.4	0.7	珪質頁岩
587	MF50 Ⅱ層	石鏃	1c	2.4	1.0	0.6	0.9	珪質頁岩
588	MQ36 Ⅱ層	石鏃	1c	2.4	1.2	0.5	0.7	チャート
589	P718 埋土	石鏃	1c	[2.4]	1.3	0.4	[0.8]	チャート
590	MG54 Ⅲ層	石鏃	1c	[2.4]	1.3	0.7	[1.2]	チャート
591	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.4]	1.2	0.5	[1.1]	頁岩
592	MK47 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.4]	1.3	0.4	[0.9]	頁岩
593	ML49 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.4]	1.2	0.7	[1.5]	頁岩
594	MK47 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.4]	0.9	0.4	[0.6]	頁岩
595	P309 埋土	石鏃	1c	2.5	1.1	0.4	0.9	チャート
596	MH49 Ⅱ層	石鏃	1c	2.5	0.8	0.5	0.6	頁岩
597	MH59 SD22 埋土	石鏃	1c	[2.5]	1.3	0.3	[0.8]	頁岩
598	ME57 Ⅲ層	石鏃	1c	[2.5]	1.3	0.4	[1.0]	チャート
599	MJ47 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.5]	1.1	0.6	[1.1]	チャート
600	MK48 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.5]	1.8	0.7	[2.3]	チャート
601	MK47 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.5]	[1.5]	0.6	[1.7]	珪質頁岩
602	MJ45 A1号沢跡 2層	石鏃	1c	[2.5]	1.7	0.4	[1.5]	メノウ
603	MK47 A2号沢跡 1層	石鏃	1c	[2.5]	1.1	0.6	[1.0]	珪質頁岩
604	MK48 Ⅱ層	石鏃	1c	2.6	0.8	0.4	0.5	黒曜石
605	Ⅱ層	石鏃	1c	[2.6]	2.0	0.5	[2.1]	頁岩
606	MF52 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.6]	1.1	0.5	[1.2]	黒曜石
607	MD57 Ⅲ層	石鏃	1c	[2.6]	1.3	0.4	[1.0]	頁岩
608	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.6]	1.0	0.5	[0.8]	頁岩
609	M145 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.6]	1.5	0.5	[1.6]	頁岩
610	M145 Ⅱ層	石鏃	1c	[2.6]	1.8	0.5	[1.5]	頁岩

号番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
611	M I 47 II層	石鏡	1c	[2.6]	1.3	0.3	[0.7]	頁岩
612	MK53 II層	石鏡	1c	[2.6]	1.1	0.6	[1.2]	頁岩
613	MK45 A1号沢跡 2層	石鏡	1c	[2.6]	1.1	0.5	[1.3]	頁岩
614	A1号沢跡 II層	石鏡	1c	[2.6]	1.1	0.4	[0.9]	頁岩
615	M J 47 A2号沢跡 4層	石鏡	1c	[2.6]	1.1	0.3	[0.6]	頁岩
616	MQ36 II層	石鏡	1c	[2.6]	1.1	0.6	[1.0]	瑠璃頁岩
617	MH58 SD22 埋土	石鏡	1c	2.7	[1.5]	0.4	[0.8]	頁岩
618	MQ36 II層	石鏡	1c	2.7	1.2	0.4	0.8	頁岩
619	MF56 A4号沢跡 2層	石鏡	1c	[2.7]	1.1	0.6	[1.6]	頁岩
620	ME57 III層	石鏡	1c	[2.7]	1.3	0.8	[1.8]	瑠璃頁岩
621	MG56 II層	石鏡	1c	[2.7]	1.2	0.7	[1.6]	頁岩
622	MH46 II層	石鏡	1c	[2.7]	1.0	0.5	[1.0]	頁岩
623	MK45 II層	石鏡	1c	[2.7]	1.2	0.4	[0.9]	頁岩
624	ML46 II層	石鏡	1c	[2.7]	1.2	0.5	[1.0]	頁岩
625	MK48 II層	石鏡	1c	[2.7]	1.3	0.6	[1.5]	頁岩
626	2トレンチ II層	石鏡	1c	2.8	1.1	0.6	1.2	チャート
627	MK46	石鏡	1c	[2.8]	1.5	0.4	[1.0]	瑠璃頁岩
628	M J 47 I層	石鏡	1c	[2.8]	1.6	0.6	[1.7]	チャート
629	M J 49 II層	石鏡	1c	[2.8]	1.3	0.6	[1.2]	頁岩
630	MG51 II層	石鏡	1c	[2.8]	1.2	0.6	[1.1]	瑠璃頁岩
631	MK45 A1号沢跡 2層	石鏡	1c	[2.8]	1.4	0.5	[1.5]	黒曜石
632	M J 47 A2号沢跡 1層	石鏡	1c	[2.8]	1.2	0.5	[1.0]	頁岩
633	MF55 III層	石鏡	1c	[2.9]	1.2	0.4	[0.9]	頁岩
634	MG56 II層上	石鏡	1c	[2.9]	1.2	0.5	[1.5]	頁岩
635	MH45 II層	石鏡	1c	[2.9]	1.5	0.5	[1.8]	頁岩
636	MH50 II層	石鏡	1c	[2.9]	1.3	0.6	[1.3]	頁岩
637	M I 47 II層	石鏡	1c	[2.9]	1.0	0.6	[1.6]	頁岩
638	M I 47 A2号沢跡 1層	石鏡	1c	[2.9]	1.2	0.8	[2.3]	頁岩
639	MK48 A2号沢跡 2層	石鏡	1c	3.0	1.6	0.6	1.8	瑠璃頁岩
640	MN40 II層	石鏡	1c	3.0	1.4	0.5	1.5	頁岩
641	MF56 表探	石鏡	1c	[3.0]	1.3	0.6	[1.9]	頁岩
642	MH49 II層	石鏡	1c	[3.0]	1.1	0.6	[1.6]	頁岩
643	MG49 II層	石鏡	1c	[3.0]	1.2	0.4	[1.1]	頁岩
644	MK45 A1号沢跡 1層	石鏡	1c	[3.0]	1.6	0.4	[1.3]	頁岩
645	MQ37 II層	石鏡	1c	[3.0]	1.8	0.4	[1.5]	頁岩
646	MH43 埋土	石鏡	1c	[3.1]	1.1	0.8	[1.5]	チャート
647	MK46 II層	石鏡	1c	[3.1]	1.4	0.4	[1.5]	玉すい
648	MK47 II層	石鏡	1c	[3.1]	1.4	0.5	[1.4]	頁岩
649	M J 53 II層	石鏡	1c	[3.1]	1.4	0.6	[1.7]	頁岩
650	MM46 II層	石鏡	1c	3.2	1.3	0.5	1.4	頁岩
651	MK48 II層	石鏡	1c	3.2	1.4	0.6	1.2	頁岩
652	MM46 A1号沢跡 2層	石鏡	1c	3.2	[1.6]	0.4	[1.2]	頁岩
653	M I 41 II層	石鏡	1c	[3.2]	2.1	0.7	[2.8]	チャート
654	MD57 II層	石鏡	1c	[3.2]	1.5	0.4	[1.4]	頁岩
655	M I 47 II層	石鏡	1c	[3.2]	1.2	0.4	[1.1]	頁岩
656	MN39 II層	石鏡	1c	3.3	1.8	0.6	2.2	頁岩
657	MK48 II層	石鏡	1c	[3.3]	1.3	0.5	[1.2]	頁岩
658	MK48 II層	石鏡	1c	3.4	1.8	0.6	3.0	頁岩
659	A1号沢跡	石鏡	1c	3.4	1.2	0.5	1.5	頁岩
660	M J 48 II層	石鏡	1c	[3.4]	1.9	0.7	[2.8]	チャート
661	MK50 II層	石鏡	1c	[3.4]	1.2	0.6	[1.8]	黒曜石
662	ME56 III層	石鏡	1c	[3.5]	1.5	0.6	[1.5]	頁岩
663	MK43 II層	石鏡	1c	[3.5]	2.0	0.6	[3.0]	黒曜石
664	MM46 II層	石鏡	1c	[3.5]	1.5	0.4	[1.7]	頁岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
665	MK46 Ⅱ層	石椀	1c	3.6	2.0	0.6	2.4	非質頁岩
666	MM39 Ⅱ層	石椀	1c	3.6	1.4	0.7	2.1	頁岩
667	MF50 Ⅱ層	石椀	1c	[3.6]	1.7	0.5	[2.4]	頁岩
668	ML45 Ⅱ層	石椀	1c	[3.7]	1.2	0.4	[1.5]	頁岩
669	2トレンチ Ⅱ層	石椀	1c	[3.7]	1.7	0.7	[3.0]	チャート
670	MN39 Ⅱ層	石椀	1c	[3.8]	1.4	0.5	[1.6]	頁岩
671	MH50 Ⅱ層	石椀	1c	[4.0]	1.2	0.5	[1.7]	頁岩
672	MM47 Ⅱ層	石椀	1c	[4.4]	2.1	0.8	[5.0]	チャート
673	MK48 A2号沢跡 1層	石椀	1c	4.6	2.3	0.8	5.2	頁岩
674	MO39 Ⅱ層	石椀	1c	4.6	1.5	0.5	2.0	頁岩
675	MK43 Ⅱ層	石椀	1c	[4.6]	1.8	0.5	[2.5]	頁岩
676	MK47 A2号沢跡 1層	石椀	1c	[4.8]	1.6	0.6	[3.4]	頁岩
677	ML38 Ⅱ層	石椀	1d	2.0	0.6	0.3	0.4	頁岩
678	MF55 Ⅲ層上面	石椀	1d	2.0	1.0	0.4	0.6	頁岩
679	MD56 Ⅲ層上面	石椀	1d	[2.4]	1.2	0.4	[1.0]	頁岩
680	MF55 Ⅲ層上面	石椀	1d	2.2	1.3	0.5	1.4	頁岩
681	MG57 Ⅲ層	石椀	1d	2.85	1.2	0.65	1.4	珪質頁岩
682	MJ47 A2号沢跡 1層	石椀	1d	3.6	2.0	0.7	3.9	頁岩
683	MK47 Ⅱ層	石椀	1d	5.7	1.45	0.75	3.6	頁岩
684	MJ44 Ⅱ層	石椀	1d	[1.4]	1.0	0.4	[0.4]	黒曜石
685	表探	石椀	1d	1.6	1.0	0.4	0.5	チャート
686	MG34 Ⅲ層	石椀	1d	[1.7]	0.8	0.5	[0.6]	頁岩
687	SK105 埋土	石椀	1d	[1.8]	0.6	0.4	[0.3]	珪質頁岩
688	MG56 Ⅲ層	石椀	1d	[1.8]	0.7	0.4	[0.4]	珪質頁岩
689	MK43 Ⅱ層	石椀	1d	[1.8]	1.0	0.5	[0.6]	黒曜石
690	MK45 Ⅱ層	石椀	1d	[1.8]	1.2	0.6	[0.6]	黒曜石
691	MK50 Ⅱ層	石椀	1d	[1.8]	1.1	0.6	[0.8]	黒曜石
692	MG50 Ⅱ層	石椀	1d	[1.8]	0.8	0.5	[0.6]	チャート
693	MK45 A1号沢跡 2層	石椀	1d	[1.8]	0.8	0.5	[0.4]	珪質頁岩
694	MJ46 A2号沢跡 2層	石椀	1d	[1.8]	1.0	0.5	[0.5]	チャート
695	MK63 Ⅱ層	石椀	1d	1.9	1.1	0.4	0.7	頁岩
696	MG47 Ⅱ層	石椀	1d	1.9	1.1	2.3	0.6	頁岩
697	ML39 Ⅱ層	石椀	1d	1.9	1.0	0.6	0.8	珪質頁岩
698	MH45 Ⅱ層	石椀	1d	[1.9]	0.9	0.5	[0.6]	玉ずい
699	MJ45 Ⅱ層	石椀	1d	[1.9]	1.3	0.4	[0.8]	黒曜石
700	M147 Ⅰ層	石椀	1d	[1.9]	0.9	0.3	[0.3]	頁岩
701	MH55 Ⅱ層	石椀	1d	[1.9]	0.9	0.4	[0.7]	チャート
702	MJ54 Ⅱ層	石椀	1d	[1.9]	1.0	0.5	[0.9]	チャート
703	MM46 A1号沢跡 1層	石椀	1d	[1.9]	0.9	0.5	[0.6]	頁岩
704	MJ46 Ⅱ層	石椀	1d	2.0	1.3	0.5	1.1	チャート
705	MK48 Ⅱ層	石椀	1d	2.0	0.8	0.3	0.5	頁岩
706	MK47 A2号沢跡 1層	石椀	1d	2.0	1.0	0.4	0.6	メノウ
707	M143 SX04 埋土	石椀	1d	[2.0]	1.1	0.6	[1.1]	黒曜石
708	MH40 Ⅱ層	石椀	1d	[2.0]	0.9	0.4	[0.4]	チャート
709	MJ47 Ⅱ層	石椀	1d	[2.0]	1.0	0.5	[0.7]	チャート
710	MK53 Ⅱ層	石椀	1d	[2.0]	1.3	0.7	[1.2]	黒曜石
711	MH59 Ⅱ層	石椀	1d	[2.0]	1.1	0.6	[1.0]	メノウ
712	MG51 Ⅱ層	石椀	1d	[2.0]	1.4	0.6	[1.2]	メノウ
713	ML45 A1号沢跡	石椀	1d	[2.0]	1.2	0.5	[0.9]	頁岩
714	MJ46 A1号沢跡 Ⅱ層	石椀	1d	[2.0]	1.0	0.5	[1.0]	頁岩
715	MJ48 A2号沢跡 4層	石椀	1d	[2.0]	1.0	0.4	[0.7]	頁岩
716	3トレンチ 攪乱	石椀	1d	[2.0]	1.2	0.6	[1.1]	チャート
717	MJ46 A1号沢跡 1層	石椀	1d	2.1	0.8	0.3	0.4	頁岩
718	Ⅲ層	石椀	1d	[2.1]	1.1	0.6	[0.9]	黒曜石

写真	出1位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
719	M I 46 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.1]	1.2	0.4	[0.7]	頁岩
720	M J 44 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.1]	1.5	0.5	[1.2]	チャート
721	M J 44 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.1]	1.1	0.6	[1.0]	頁岩
722	M I 47 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.1]	0.9	0.5	[0.8]	頁岩
723	M I 51 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.1]	1.1	0.8	[1.0]	チャート
724	M G 50 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.1]	0.8	0.5	[0.8]	チャート
725	横乱	石鏡	1 d	[2.1]	0.9	0.7	[0.9]	頁岩
726	SKP531 埋土	石鏡	1 d	2.2	1.0	0.5	0.9	チャート
727	M G 52 Ⅱ層	石鏡	1 d	2.2	0.8	0.5	0.7	チャート
728	S X 04	石鏡	1 d	[2.2]	1.3	0.5	[1.2]	珸質頁岩
729	M I 41 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.2]	1.0	0.5	[0.7]	頁岩
730	M I 45 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.2]	1.2	0.5	[2.5]	黒燐石
731	M I 46 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.2]	1.1	0.4	[0.7]	チャート
732	M I 56 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.2]	1.1	0.7	[1.1]	チャート
733	M H 56 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.2]	1.0	0.6	[0.8]	頁岩
734	M M 39 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.2]	1.2	0.4	[1.1]	チャート
735	M J 53 Ⅱ層	石鏡	1 d	2.3	0.8	0.6	0.6	チャート
736	S K 1 05 埋土	石鏡	1 d	[2.3]	1.5	0.5	[1.4]	黒燐石
737	M E 35 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.3]	1.1	0.5	[1.0]	珸質頁岩
738	M H 46 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.3]	1.0	0.4	[0.7]	黒燐石
739	M J 46 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.3]	1.2	0.5	[1.2]	チャート
740	M I 45 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.3]	1.0	0.4	[1.1]	頁岩
741	M L 46 A 1号沢跡 1層	石鏡	1 d	[2.3]	1.0	0.5	[0.8]	黒燐石
742	Ⅱ層	石鏡	1 d	2.4	1.1	0.8	1.4	頁岩
743	M G 59 S D 03 2層	石鏡	1 d	2.4	1.0	0.5	0.9	チャート
744	A 2号沢跡 1層	石鏡	1 d	2.4	1.0	0.5	1.0	チャート
745	M E 57 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.4]	1.0	0.5	[0.9]	珸質頁岩
746	M J 46 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.4]	0.9	0.4	[0.7]	頁岩
747	M K 47 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.4]	1.2	0.5	[1.1]	チャート
748	M K 48 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.4]	1.0	0.6	[1.2]	頁岩
749	M L 51 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.4]	[1.3]	0.6	[1.1]	黒燐石
750	M H 50 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.4]	0.9	0.4	[0.8]	頁岩
751	M G 50 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.4]	1.4	0.7	[1.7]	チャート
752	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏡	1 d	2.5	1.5	0.6	1.6	珸質頁岩
753	M K 47 A 2号沢跡 1層	石鏡	1 d	2.5	1.0	0.3	0.7	頁岩
754	S K 1 105 埋土	石鏡	1 d	[2.5]	1.1	0.6	[1.3]	チャート
755	M I 43 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.5]	1.3	0.7	[1.9]	チャート
756	M H 44 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.5]	1.0	0.4	[0.8]	頁岩
757	M K 46	石鏡	1 d	[2.5]	1.2	0.7	[1.5]	玉ずい
758	M K 48 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.5]	[1.0]	0.6	[0.9]	頁岩
759	M H 54 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.5]	1.3	0.5	[1.6]	メノウ
760	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏡	1 d	[2.5]	1.5	0.5	[1.8]	頁岩
761	M K 47 A 2号沢跡 1層	石鏡	1 d	[2.5]	1.7	0.6	[2.0]	頁岩
762	M M 38 横乱	石鏡	1 d	[2.5]	1.0	0.3	[0.7]	頁岩
763	M M 46 Ⅱ層	石鏡	1 d	2.6	[0.9]	0.6	[1.1]	チャート
764	M E 55 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.6]	[1.5]	0.7	[2.1]	黒燐石
765	M E 55 Ⅱ層上	石鏡	1 d	[2.6]	1.4	0.4	[1.4]	玉ずい
766	M J 46 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.6]	1.0	0.4	[0.9]	黒燐石
767	M J 48 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.6]	1.3	0.4	[0.8]	頁岩
768	M J 52 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.6]	0.9	0.5	[0.9]	珸質頁岩
769	M G 43 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.6]	0.9	0.5	[0.8]	チャート
770	M I 47 A 2号沢跡 1層	石鏡	1 d	2.7	1.0	0.7	1.2	珸質頁岩
771	M J 48 A 2号沢跡 4層	石鏡	1 d	2.7	1.5	0.6	1.7	珸質頁岩
772	M E 56 Ⅱ層	石鏡	1 d	[2.7]	1.1	0.4	[0.9]	頁岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
773	MK48 Ⅱ層	石鏃	1d	[2.7]	0.9	0.7	[1.1]	頁岩
774	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1d	2.8	1.9	0.6	2.1	埴貫頁岩
775	MJ44 Ⅱ層	石鏃	1d	[2.8]	1.3	0.4	[1.0]	頁岩
776	MK43 Ⅱ層	石鏃	1d	[2.8]	1.5	0.6	[2.1]	頁岩
777	MG50 Ⅱ層	石鏃	1d	[2.8]	1.6	0.5	[1.7]	頁岩
778	襷丸	石鏃	1d	2.9	1.2	0.8	1.8	頁岩
779	ME57 Ⅱ層	石鏃	1d	[2.9]	1.1	0.5	[1.1]	頁岩
780	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1d	[2.9]	1.0	0.4	[0.8]	黒曜石
781	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1d	[2.9]	1.5	0.6	[2.2]	頁岩
782	MK49 A2号沢跡 2層	石鏃	1d	[2.9]	1.4	0.7	[2.1]	チャート
783	MJ45 Ⅱ層	石鏃	1d	3.0	1.3	0.5	1.4	頁岩
784	MK45 A1号沢跡 2層	石鏃	1d	3.0	1.6	0.8	2.8	頁岩
785	MJ45 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	1.4	0.8	[2.2]	頁岩
786	ME56 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	1.1	0.6	[1.3]	頁岩
787	ME57 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	1.3	0.6	[1.5]	頁岩
788	MJ45 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	1.5	0.7	[2.5]	埴貫頁岩
789	MK43 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	1.1	0.6	[1.5]	頁岩
790	MK43 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	1.4	0.8	[2.6]	頁岩
791	MJ48 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	1.4	0.6	[1.6]	埴貫頁岩
792	MH57 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.0]	0.9	0.4	[0.7]	頁岩
793	MK48 A2号沢跡 1層	石鏃	1d	[3.0]	1.3	0.6	[1.8]	黒曜石
794	MN39 襷丸	石鏃	1d	[3.0]	1.3	0.5	[1.8]	埴貫頁岩
795	MM46 Ⅱ層	石鏃	1d	3.1	1.3	0.5	1.6	頁岩
796	MJ48 A2号沢跡 1層	石鏃	1d	3.1	1.3	0.7	2.1	チャート
797	MG56 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.1]	1.3	0.7	[2.5]	頁岩
798	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.1]	1.0	0.6	[1.6]	玉ずい
799	MJ46 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.1]	1.2	0.6	[1.5]	頁岩
800	MK48 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.1]	1.2	0.6	[1.6]	頁岩
801	MJ46 A2号沢跡 2層	石鏃	1d	[3.1]	1.5	0.4	[1.3]	頁岩
802	MJ52 Ⅱ層	石鏃	1d	3.2	1.3	0.7	2.4	頁岩
803	MH57 Ⅱ層	石鏃	1d	3.2	1.0	0.5	1.0	頁岩
804	MG52 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.2]	1.4	0.6	[2.5]	頁岩
805	MJ47 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.2]	1.6	0.5	[2.1]	頁岩
806	MK53 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.2]	1.2	0.6	[1.7]	頁岩
807	MJ57 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.2]	1.8	0.8	[3.8]	頁岩
808	MG50 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.2]	1.2	0.9	[2.5]	頁岩
809	MG46 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.2]	1.2	0.6	[1.4]	黒曜石
810	MH53 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.3]	0.9	0.6	1.5	頁岩
811	MK46	石鏃	1d	3.4	2.5	0.4	1.8	頁岩
812	MD59 SD03 1層	石鏃	1d	[3.4]	1.5	0.6	[2.5]	頁岩
813	MK46 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.4]	1.5	0.5	[2.2]	頁岩
814	MM46 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.4]	1.4	0.7	[2.0]	頁岩
815	MK47 A2号沢跡 1層	石鏃	1d	[3.4]	1.3	0.4	[1.5]	頁岩
816	ME56 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.5]	1.2	0.5	[1.9]	頁岩
817	MH50 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.5]	1.6	0.5	[2.3]	頁岩
818	MK47 Ⅱ層	石鏃	1d	[3.5]	1.8	0.8	[3.3]	頁岩
819	MJ43 Ⅱ層	石鏃	1d	3.6	1.1	0.6	2.0	頁岩
820	SK45 埋土	石鏃	1d	[3.8]	1.9	0.9	[3.9]	頁岩
821	MJ48 A2号沢跡 4層	石鏃	1d	[3.8]	1.5	0.9	[3.1]	頁岩
822	SK105 埋土	石鏃	1d	[3.9]	1.4	0.7	[2.6]	黒曜石
823	MG50 Ⅱ層	石鏃	1d	4.0	1.8	0.8	3.9	頁岩
824	MJ45 Ⅱ層	石鏃	1d	[4.0]	1.3	0.5	[2.2]	頁岩
825	MH52 Ⅱ層	石鏃	1d	[4.0]	1.3	0.5	[1.7]	頁岩
826	MK49 Ⅱ層	石鏃	1d	4.1	1.5	0.7	4.1	頁岩

写番	出土位階・初位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
827	M 147 Ⅱ層	石鏡	1 d	[4.1]	1.4	0.5	[2.0]	頁岩
828	MK47 Ⅱ層	石鏡	1 d	[4.1]	1.0	0.7	[1.9]	チャート
829	M J 45 A 1号沢跡 2層	石鏡	1 d	[4.1]	1.5	0.6	[3.3]	頁岩
830	M I 57 SB03 希跡	石鏡	1 d	[5.4]	1.4	0.6	[4.1]	頁岩
831	MF56 Ⅱ層	石鏡	1 e	2.1	1.45	0.4	0.5	珪質頁岩
832	MG56 Ⅱ層	石鏡	1 e	2.2	1.2	0.55	0.6	珪質頁岩
833	MF54 Ⅱ層下	石鏡	1 e	[2.1]	1.2	0.4	[0.5]	珪質頁岩
834	ME56 Ⅱ層	石鏡	1 e	[4.1]	1.6	0.6	[2.1]	頁岩
835	M J 48 Ⅱ層	石鏡	1 e	[1.2]	1.2	0.6	[0.7]	頁岩
836	M J 46 Ⅱ層	石鏡	1 e	1.8	1.1	0.5	0.4	珪質頁岩
837	MG54 Ⅱ層	石鏡	1 e	[1.9]	1.1	0.5	[0.6]	頁岩
838	MF67 Ⅱ層上面	石鏡	1 e	[1.9]	1.1	0.35	[0.5]	黒曜石
839	MK48 Ⅱ層	石鏡	1 e	[1.9]	[1.3]	0.6	[0.9]	チャート
840	M J 48 Ⅱ層	石鏡	1 e	2.0	1.0	0.4	0.5	頁岩
841	M J 46 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.0]	1.0	0.4	[0.5]	チャート
842	M J 46 A 1号沢跡 Ⅱ層	石鏡	1 e	2.1	0.7	0.4	0.3	頁岩
843	M 147 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.1]	1.0	0.6	[0.7]	頁岩
844	MI140 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.1]	1.0	0.5	[0.6]	頁岩
845	1トレンチ Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.1]	1.1	0.5	[0.6]	頁岩
846	M J 48 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.2]	1.2	0.4	[0.4]	黒曜石
847	M J 45 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.3]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
848	M J 48 A 2号沢跡 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.3]	1.6	0.5	[1.2]	チャート
849	MG52 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.4]	1.1	0.6	[1.0]	頁岩
850	M I 47 Ⅰ層	石鏡	1 e	[2.4]	1.2	0.5	[0.6]	黒曜石
851	M 147 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.4]	1.0	0.5	[1.0]	頁岩
852	MK48 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.4]	1.2	0.4	[0.8]	頁岩
853	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏡	1 e	[2.4]	1.1	0.5	[1.0]	黒曜石
854	盛土	石鏡	1 e	[2.4]	1.5	0.5	[0.8]	頁岩
855	MK47 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.5]	[1.2]	0.5	[0.9]	チャート
856	MH45 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.6]	1.3	0.4	[1.1]	頁岩
857	MK46 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.6]	1.6	0.4	[1.0]	珪質頁岩
858	MK44 Ⅱ層	石鏡	1 e	[2.9]	1.2	0.5	[1.0]	頁岩
859	M I 52 SX01 埋土	石鏡	1 e	[3.2]	1.3	0.4	[0.6]	頁岩
860	M I 48 A 2号沢跡 1層	石鏡	1 e	[3.2]	[1.2]	0.4	[1.0]	頁岩
861	MF59 SD03 1層	石鏡	1 e	[3.5]	1.7	0.6	[1.9]	頁岩
862	MD55 Ⅱ層下	石鏡	2 a	2.4	1.3	0.6	1.4	頁岩
863	MG55 Ⅱ層	石鏡	2 a	2.5	1.4	0.7	1.7	黒曜石
864	MF57 Ⅱ層	石鏡	2 a	2.85	1.35	0.35	1.5	チャート
865	MD56 Ⅱ層	石鏡	2 a	3.6	1.5	0.4	1.9	頁岩
866	MF51 Ⅱ層	石鏡	2 a	[1.8]	1.7	0.3	[0.6]	頁岩
867	M J 45 A 1号沢跡 2層	石鏡	2 a	[1.8]	1.1	0.4	[0.8]	黒曜石
868	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏡	2 a	[1.8]	1.1	0.3	[0.5]	黒曜石
869	MG54 Ⅱ層下	石鏡	2 a	[1.9]	1.3	0.3	[0.8]	頁岩
870	Ⅱ層	石鏡	2 a	[2.0]	1.0	0.3	[0.6]	頁岩
871	MK48 Ⅱ層	石鏡	2 a	[2.0]	1.2	0.4	[1.1]	チャート
872	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏡	2 a	[2.0]	1.3	0.4	[0.9]	黒曜石
873	M 145 Ⅱ層	石鏡	2 a	[2.2]	1.4	0.3	[1.0]	頁岩
874	M J 45 Ⅱ層	石鏡	2 a	[2.2]	1.4	0.4	[1.1]	頁岩
875	M J 48 Ⅱ層	石鏡	2 a	[2.3]	1.5	0.4	[1.1]	頁岩
876	MK48 Ⅱ層	石鏡	2 a	2.4	0.9	0.3	0.7	頁岩
877	攪乱	石鏡	2 a	[2.5]	1.3	0.5	[1.3]	珪質頁岩
878	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏡	2 a	[2.5]	1.1	0.4	[1.0]	頁岩
879	MH52 Ⅱ層	石鏡	2 a	2.6	1.5	0.4	1.3	黒曜石
880	MH51 Ⅱ層	石鏡	2 a	[2.7]	1.5	0.4	[1.6]	頁岩

番号	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
881	MJ46 A1号沢跡 1層	石瓶	2a	[2.7]	1.3	0.4	[1.6]	黒曜石
882	MK48 1層	石瓶	2a	2.8	1.3	0.6	1.8	チャート
883	MG57 SB03 布部	石瓶	2a	[2.8]	1.0	0.4	[0.8]	頁岩
884	MJ45 Ⅱ層	石瓶	2a	[2.8]	1.7	0.6	[2.0]	珪質頁岩
885	MK54 Ⅱ層	石瓶	2a	2.9	1.2	0.4	1.2	頁岩
886	P693 埋土	石瓶	2a	[3.0]	1.4	0.3	[1.2]	頁岩
887	M152 SX01 埋土	石瓶	2a	[3.0]	1.7	0.5	[2.5]	頁岩
888	MG55 SB13 埋土	石瓶	2a	[3.0]	1.4	0.3	[1.2]	頁岩
889	MG56 Ⅲ層下	石瓶	2a	[3.0]	1.4	0.4	[1.2]	頁岩
890	MK46 Ⅱ層	石瓶	2a	[3.1]	1.6	0.4	[2.1]	頁岩
891	M147 A2号沢跡 1層	石瓶	2a	[3.1]	1.4	0.4	[1.6]	頁岩
892	M147 Ⅱ層	石瓶	2a	3.2	1.3	0.4	1.3	頁岩
893	MK18 Ⅱ層	石瓶	2a	3.3	1.9	0.4	2.1	頁岩
894	M152 Ⅱ層	石瓶	2a	3.6	1.5	0.4	1.6	頁岩
895	A1号沢跡 4層	石瓶	2a	[3.6]	1.7	0.4	[2.1]	頁岩
896	MK47 A2号沢跡 1層	石瓶	2a	[3.6]	1.3	0.5	[1.8]	頁岩
897	MJ45 Ⅱ層	石瓶	2a	[4.6]	1.5	0.4	[2.1]	頁岩
898	ME56 Ⅱ層	石瓶	2b	[1.9]	1.1	0.3	[0.4]	頁岩
899	MD55 Ⅱ層	石瓶	2b	2.6	1.2	0.4	1.1	珪質頁岩
900	MF54 Ⅲ層下	石瓶	2b	2.9	1.1	0.4	0.9	頁岩
901	MG57 SB13 埋土	石瓶	2b	[3.3]	[1.8]	0.6	[2.1]	頁岩
902	MH58 Ⅱ層	石瓶	2b	[1.5]	1.4	0.4	[0.6]	黒曜石
903	MF56 A4号沢跡 Ⅱ層	石瓶	2b	[1.7]	1.2	0.4	[0.6]	頁岩
904	MJ45 Ⅱ層	石瓶	2b	[1.7]	1.0	0.3	[0.4]	頁岩
905	M145 Ⅱ層	石瓶	2b	[1.8]	1.4	0.3	[0.5]	玉石
906	MK46 Ⅱ層	石瓶	2b	[2.2]	1.3	0.3	[0.6]	黒曜石
907	MJ47 Ⅱ層	石瓶	2b	3.7	1.9	0.4	2.2	頁岩
908	MF49 Ⅱ層	石瓶	2c	2.5	1.4	0.5	1.1	頁岩
909	ME57 Ⅱ層	石瓶	2c	2.9	1.2	0.4	0.8	黒曜石
910	MJ45 Ⅱ層	石瓶	2c	3.3	1.5	0.4	1.5	頁岩
911	MJ45 A1号沢跡 2層	石瓶	2c	[2.5]	1.1	0.4	[1.0]	頁岩
912	MH51 Ⅱ層	石瓶	2c	[2.7]	2.0	0.6	[2.4]	頁岩
913	MK48 A2号沢跡 3層	石瓶	2c	[3.0]	1.5	0.4	[1.7]	頁岩
914	MD55 Ⅲ層下	石瓶	2c	[3.0]	1.9	0.6	[2.9]	メノウ
915	M147 Ⅱ層	石瓶	2d	2.4	1.6	0.5	1.4	頁岩
916	MJ46 Ⅱ層	石瓶	2d	[2.7]	1.1	0.5	[1.2]	黒曜石
917	MJ48 Ⅱ層	石瓶	2d	2.9	2.2	0.55	2.5	頁岩
918	MJ46 Ⅱ層	石瓶	2d	3.9	1.3	0.6	2.4	頁岩
919	MJ53 Ⅱ層	石瓶	2d	[2.0]	1.3	0.4	[0.7]	珪質頁岩
920	P684 埋土	石瓶	2d	[2.4]	1.4	0.4	[0.9]	黒曜石
921	MJ46 Ⅱ層	石瓶	3a	2.4	1.6	0.35	1.1	黒曜石
922	M147 1層	石瓶	3a	2.9	1.55	0.3	1.3	頁岩
923	M147 Ⅱ層	石瓶	3a	3.45	1.8	0.6	3.3	頁岩
924	埋土	石瓶	3a	[2.3]	1.7	0.5	[1.8]	頁岩
925	P745 埋土	石瓶	3a	[2.5]	1.7	0.4	[1.7]	頁岩
926	MM46 A1号沢跡 2層	石瓶	3a	2.6	1.3	0.4	1.5	頁岩
927	MN40 埋土	石瓶	3a	[2.6]	2.1	0.4	[2.0]	頁岩
928	MG57 Ⅲ層	石瓶	3a	[2.8]	2.1	0.4	[1.7]	頁岩
929	MK47 A2号沢跡 1層	石瓶	3a	[2.8]	1.8	0.4	[1.9]	頁岩
930	MK47 A2号沢跡 1層	石瓶	3a	3.1	1.8	0.5	2.2	珪質頁岩
931	MF56 Ⅲ層	石瓶	3b	2.1	1.25	0.25	0.4	頁岩
932	MF54 Ⅲ層上面	石瓶	3c	2.0	1.3	0.4	1.1	頁岩
933	MG56 Ⅲ層下	石瓶	3c	2.5	1.4	0.55	1.7	チャート
934	MN39 Ⅱ層	石瓶	3c	2.8	1.4	0.7	2.2	珪質頁岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
935	MK47 Ⅰ層	石鏡	3c	2.7	1.7	0.4	1.5	頁岩
936	MK46 A1号沢跡 2層	石鏡	3c	[2.2]	1.5	0.5	[1.3]	頁岩
937	MK43 Ⅱ層	石鏡	4	1.6	1.0	0.4	0.4	黒曜石
938	M143 Ⅱ層	石鏡	4	2.7	1.6	0.4	1.6	頁岩
939	M147 Ⅰ層	石鏡	4	2.8	1.3	0.8	2.3	頁岩
940	MK43 Ⅱ層	石鏡	4	2.8	1.5	0.6	2.1	凝灰岩(オパール化)
941	M152 Ⅱ層	石鏡	4	2.65	1.65	0.65	2.1	頁岩
942	M142 A3号沢跡 Ⅱ層	石鏡	4	3.0	1.55	0.6	2.2	メノウ
943	MJ48 A2号沢跡 1層	石鏡	4	[2.0]	1.4	0.6	[2.0]	頁岩
944	MH53 Ⅱ層	石鏡	4	3.45	1.3	0.55	2.5	頁岩
945	MK47 A2号沢跡 1層	石鏡	4	3.5	2.0	0.6	2.7	頁岩
946	M147 Ⅱ層	石鏡	4	[1.6]	1.1	0.5	[0.5]	珪質頁岩
947	P678 埋土	石鏡	4	1.8	1.0	0.5	0.7	チャート
948	M150	石鏡	4	[2.2]	1.25	0.55	[1.2]	黒曜石
949	MK47 A2号沢跡 3層	石鏡	4	[2.2]	1.6	0.4	[1.2]	頁岩
950	MJ48 A2号沢跡 1層	石鏡	4	[2.3]	1.4	0.7	[1.7]	黒曜石
951	P661 埋土	石鏡	4	[2.4]	1.6	0.6	[1.5]	頁岩
952	MK47 A2号沢跡 1層	石鏡	4	[2.4]	1.3	0.6	[1.6]	頁岩
953	MK51 Ⅱ層	石鏡	4	3.5	1.5	0.5	1.4	メノウ
954	MH44 SD21 埋土	石鏡	4	[2.5]	1.5	0.8	[2.0]	黒曜石
955	MK47 A2号沢跡 1層	石鏡	4	[2.5]	1.5	0.5	[1.6]	頁岩
956	MG56 Ⅱ層	石鏡	4	[2.6]	1.6	0.6	[1.6]	頁岩
957	M144 Ⅳ層	石鏡	4	[2.6]	1.2	0.6	[1.8]	チャート
958	MK48 Ⅱ層	石鏡	4	[2.7]	[1.2]	0.3	[0.7]	頁岩
959	MF56 Ⅱ層	石鏡	4	[2.8]	1.5	0.7	[2.3]	頁岩
960	MG57 Ⅱ層	石鏡	4	3.2	[2.0]	0.5	[2.8]	頁岩
961	M1152 Ⅱ層	石鏡	4	[3.3]	1.7	0.7	[4.6]	チャート
962	MJ47 Ⅱ層	石鏡	4	3.4	1.6	0.9	3.0	頁岩
963	M146 Ⅱ層	石鏡	4	[3.5]	1.6	0.8	[2.9]	頁岩
964	MK43 Ⅱ層	石鏡	5a	2.5	1.45	0.7	2.2	メノウ
965	MH56 Ⅱ層	石鏡	5a	2.85	1.75	0.65	2.7	頁岩
966	MJ46 Ⅱ層	石鏡	5a	2.9	1.9	0.6	2.3	頁岩
967	M148 Ⅱ層	石鏡	5a	4.0	1.8	0.7	3.1	頁岩
968	ML47 盛土	石鏡	5a	[1.6]	1.0	0.5	[0.7]	黒曜石
969	MJ48 Ⅱ層	石鏡	5a	2.1	1.2	0.6	1.5	チャート
970	MH46 Ⅱ層	石鏡	5a	[2.3]	1.6	0.6	[2.1]	黒曜石
971	ML50 Ⅱ層	石鏡	5a	[2.4]	1.6	0.7	[2.4]	頁岩
972	A2号沢跡 1層	石鏡	5a	[2.5]	1.7	0.7	[2.9]	頁岩
973	MJ48 A2号沢跡 1層	石鏡	5a	2.6	1.4	0.4	1.0	黒曜石
974	MK48 A2号沢跡 1層	石鏡	5b	2.6	1.8	0.6	2.1	珪質頁岩
975	MJ55 Ⅱ層	石鏡	5b	2.8	1.5	0.6	1.9	珪質頁岩
976	MF52 Ⅱ層	石鏡	5b	2.9	1.9	0.5	2.5	チャート
977	MK48 Ⅱ層	石鏡	5b	[1.7]	1.3	0.5	[1.1]	チャート
978	表採	石鏡	5b	[2.0]	1.3	0.5	[1.2]	頁岩
979	MJ45 A1号沢跡 1層	石鏡	5b	[2.1]	1.6	0.6	[1.8]	チャート
980	MD58 SD03 1層	石鏡	5b	2.2	1.3	0.7	1.9	チャート
981	MG57 Ⅱ層上面	石鏡	5b	[2.3]	1.8	0.7	[2.6]	チャート
982	ML46 Ⅱ層	石鏡	5b	[2.3]	1.45	0.4	[1.5]	珪質頁岩
983	MJ54 Ⅱ層	石鏡	5b	[2.3]	1.5	0.7	[2.0]	チャート
984	MJ46 Ⅱ層	石鏡	5b	[2.4]	1.6	0.5	[1.7]	珪質頁岩
985	M146 Ⅱ層	石鏡	5b	[2.5]	1.6	0.7	[2.4]	チャート
986	MK46 Ⅱ層	石鏡	5b	[2.6]	1.5	0.6	[2.2]	頁岩
987	MG43 Ⅱ層	石鏡	5b	[2.6]	1.4	0.7	[2.4]	頁岩
988	SK40	石鏡	5b	[2.7]	1.7	0.8	[3.2]	チャート

号番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
989	M 149 Ⅱ層	石鏃	5 b	[2.7]	1.4	0.8	[2.4]	頁岩
990	MH49 Ⅱ層	石鏃	5 b	2.8	2.0	0.5	2.6	頁岩
991	ME54 Ⅱ層	石鏃	5 b	[3.3]	1.7	0.7	[3.5]	頁岩
992	M 147 Ⅱ層	石鏃	5 b	[3.4]	1.8	0.5	[2.5]	玉ざい
993	M 152 Ⅱ層	石鏃	6	1.6	1.2	0.3	0.4	チャート
994	M J 48 A 2号沢跡 2層	石鏃	6	2.5	0.9	0.4	0.6	頁岩
995	MQ37 Ⅱ層	石鏃	6	[3.8]	[1.9]	0.55	[2.8]	頁岩
996	MK49 A 2号沢跡 2層	石鏃	6	[4.1]	1.8	0.7	[3.1]	黒曜石
997	MK43 Ⅱ層	石鏃	6	[2.2]	[0.9]	[0.4]	[0.9]	珪質頁岩
998	ME54 Ⅱ層上	石鏃	1 a	2.65	1.9	0.85	2.8	頁岩
999	MD55 Ⅱ層	石鏃	1 a	3.1	1.25	0.5	1.4	メノウ
1000	ME56 Ⅱ層	石鏃	1 a	3.2	1.8	0.8	1.8	頁岩
1001	MM46 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.3]	2.9	0.7	[3.3]	頁岩
1002	MG54 Ⅱ層上面	石鏃	1 a	3.95	1.4	0.6	2.4	頁岩
1003	MK47 Ⅱ層	石鏃	1 a	5.4	1.8	0.6	3.1	頁岩
1004	攪乱	石鏃	1 a	[1.3]	1.1	0.3	[0.4]	珪質頁岩
1005	M 143 Ⅱ層	石鏃	1 a	[1.8]	0.7	0.5	[0.4]	チャート
1006	MK43 SX04 埋上	石鏃	1 a	[2.0]	1.1	0.4	[0.7]	頁岩
1007	攪乱	石鏃	1 a	[2.1]	1.3	0.5	[0.9]	珪質頁岩
1008	M J 47 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.2	[1.0]	0.3	[0.6]	頁岩
1009	MK48 Ⅰ層	石鏃	1 a	[2.2]	1.1	0.4	[0.7]	珪質頁岩
1010	M 140 盛上	石鏃	1 a	[2.3]	1.1	0.6	[1.2]	頁岩
1011	M 147 Ⅰ層	石鏃	1 a	[2.3]	[2.1]	0.5	[1.3]	頁岩
1012	M J 47 Ⅱ層	石鏃	1 a	[2.3]	1.0	0.4	[0.7]	頁岩
1013	M 152 Ⅱ層	石鏃	1 a	[2.4]	1.5	0.9	[1.8]	珪質頁岩
1014	MH51 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.5	0.9	0.6	0.9	黒曜石
1015	M J 47 Ⅱ層	石鏃	1 a	[2.5]	1.6	0.8	[2.1]	頁岩
1016	M J 47 Ⅱ層	石鏃	1 a	[2.5]	[1.6]	0.4	[1.0]	珪質頁岩
1017	ML47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1 a	[2.5]	1.1	0.4	[1.0]	珪質頁岩
1018	MC68 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.6	1.1	0.7	1.6	黒曜石
1019	MG51	石鏃	1 a	[2.6]	1.2	0.8	[1.7]	メノウ
1020	M 147 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.7	1.0	0.4	0.7	頁岩
1021	MN39 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.7	1.3	0.4	1.1	頁岩
1022	M 147 Ⅱ層	石鏃	1 a	2.8	1.0	0.6	1.2	頁岩
1023	MK49 A 2号沢跡 2層	石鏃	1 a	[2.8]	1.2	0.4	[1.2]	頁岩
1024	P 610 埋上	石鏃	1 a	[2.9]	1.9	0.7	[3.5]	頁岩
1025	MK48 Ⅱ層	石鏃	1 a	[2.9]	1.1	0.5	[1.1]	頁岩
1026	MG59 SD03 1層	石鏃	1 a	[3.0]	2.0	0.7	[3.3]	珪質頁岩
1027	MM46 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.1]	2.0	0.9	[4.1]	珪質頁岩
1028	MF57 A 1号沢跡 1層	石鏃	1 a	[3.1]	1.7	0.6	[2.9]	頁岩
1029	MN40 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.1]	1.6	0.3	[2.9]	頁岩
1030	M J 47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1 a	[3.2]	1.9	1.1	[5.4]	珪質頁岩
1031	ML38 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.2]	2.6	1.0	[5.8]	頁岩
1032	ML48 Ⅱ層	石鏃	1 a	3.3	1.2	0.6	2.3	チャート
1033	MK43 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.3]	3.0	1.1	[7.7]	頁岩
1034	MK46 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.3]	1.6	0.6	[2.2]	頁岩
1035	M 152 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.3]	1.1	0.6	[1.7]	頁岩
1036	MH40 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.4]	[2.8]	0.8	[3.8]	頁岩
1037	MG50 Ⅱ層	石鏃	1 a	3.5	1.2	0.8	2.3	メノウ
1038	MD55 Ⅱ層下	石鏃	1 a	[3.5]	1.65	0.7	[3.0]	珪質頁岩
1039	ME54 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.5]	2.9	0.7	[5.0]	頁岩
1040	MH54 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.5]	[1.8]	0.6	[2.8]	珪質頁岩
1041	ME56 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.5]	[1.4]	0.8	[2.3]	頁岩
1042	MK45 Ⅱ層	石鏃	1 a	[3.5]	2.9	1.0	[6.3]	頁岩

号	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1043	MK48 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.6]	1.4	0.7	[2.6]	頁岩
1044	A 1号沢跡 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.5]	2.8	1.1	[6.9]	頁岩
1045	ML48 A 2号沢跡 1層	石鏝	1 a	[3.5]	[1.8]	0.5	[3.1]	頁岩
1046	MI.46 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.6]	2.1	1.1	[4.6]	頁岩
1047	MK48 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.6]	1.2	0.6	[1.9]	頁岩
1048	MQ37 Ⅱ層	石鏝	1 a	3.7	2.0	0.5	1.7	頁岩
1049	M 143 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.7]	2.2	0.7	[4.1]	頁岩
1050	MK48 A 2号沢跡 1層	石鏝	1 a	[3.7]	1.4	0.6	[1.6]	頁岩
1051	MM41 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.7]	2.3	0.7	[4.9]	頁岩
1052	M 148 Ⅱ層	石鏝	1 a	3.8	[2.3]	0.6	[3.5]	頁岩
1053	MK48 Ⅰ層	石鏝	1 a	[3.8]	1.3	0.5	[1.3]	頁岩
1054	MQ37 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.8]	[1.5]	0.5	[2.0]	頁岩
1055	MH51 Ⅱ層	石鏝	1 a	[3.9]	[3.8]	1.0	[10.0]	頁岩
1056	MQ38 攪乱	石鏝	1 a	[4.0]	2.1	1.4	[6.5]	頁岩
1057	MG42 Ⅱ層	石鏝	1 a	[4.0]	[1.7]	0.8	[4.5]	頁岩
1058	M 145 Ⅱ層	石鏝	1 a	4.1	2.1	0.9	4.5	頁岩
1059	M J 47 Ⅱ層	石鏝	1 a	[4.1]	[2.3]	0.9	[5.5]	頁岩
1060	M 152 Ⅱ層	石鏝	1 a	[4.1]	[1.8]	0.8	[3.2]	頁岩
1061	Ⅱ層	石鏝	1 a	[4.1]	1.6	0.7	[2.2]	メノウ
1062	M 146 Ⅱ層	石鏝	1 a	[4.2]	1.5	0.9	[3.6]	頁岩
1063	MG51 Ⅱ層	石鏝	1 a	[4.2]	2.0	1.1	[6.8]	頁岩
1064	M J 47 Ⅱ層	石鏝	1 a	[4.4]	[3.7]	1.3	[15.8]	リハライト
1065	MI.47 A 2号沢跡 1層	石鏝	1 a	[4.6]	2.2	1.0	[7.0]	頁岩
1066	M 147 A 2号沢跡 1層	石鏝	1 a	[4.7]	1.7	1.1	[4.5]	頁岩
1067	M J 44 A 1号沢跡 1層	石鏝	1 a	[5.0]	3.0	1.0	[12.9]	頁岩
1068	MK48 A 2号沢跡 5層	石鏝	1 a	[5.0]	2.0	0.9	[4.5]	頁岩
1069	MG42 Ⅱ層	石鏝	1 a	[5.1]	[3.5]	0.7	[7.9]	砂岩
1070	MG59 SD03 1層	石鏝	1 a	[5.4]	[5.1]	1.2	[17.2]	頁岩
1071	MK47 Ⅱ層	石鏝	1 a	[5.7]	[2.9]	0.8	[10.7]	頁岩
1072	M J 45 Ⅱ層	石鏝	1 a	[6.5]	[2.4]	1.2	[11.8]	頁岩
1073	MG57 Ⅱ層	石鏝	1 b	2.1	1.2	0.7	2.1	頁岩
1074	MG56 Ⅱ層上	石鏝	1 b	3.2	1.35	1.0	3.4	頁岩
1075	MG52 Ⅱ層	石鏝	1 b	3.6	1.3	0.7	2.8	頁岩
1076	MG52 Ⅱ層	石鏝	1 b	4.0	1.7	1.0	4.5	頁岩
1077	MI46 Ⅱ層	石鏝	1 b	2.3	1.1	0.8	1.7	黒曜石
1078	MK43 Ⅱ層	石鏝	1 b	[2.6]	1.8	0.7	[2.8]	チャート
1079	MI44 SD21 泥土上部	石鏝	1 b	2.7	1.3	0.7	2.0	チャート
1080	M I 46 Ⅱ層	石鏝	1 b	[2.7]	1.7	0.9	[2.8]	珪質頁岩
1081	MK45 Ⅱ層	石鏝	1 b	[3.0]	1.2	1.0	[2.7]	頁岩
1082	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏝	1 b	[3.2]	1.2	0.5	[1.4]	頁岩
1083	Ⅱ層	石鏝	1 b	[3.3]	1.5	0.9	[2.9]	珪質頁岩
1084	MH53 SB13 埋土	石鏝	1 b	[3.3]	[1.2]	0.7	[2.2]	頁岩
1085	MK45 Ⅱ層	石鏝	1 b	3.4	1.4	0.8	3.4	頁岩
1086	MK45 Ⅱ層	石鏝	1 b	[3.6]	[1.6]	0.7	[2.6]	珪質頁岩
1087	MG56 Ⅱ層下	石鏝	1 b	[3.7]	2.0	1.1	[5.8]	頁岩
1088	M J 46 Ⅱ層	石鏝	1 b	[3.9]	2.2	0.9	[4.7]	頁岩
1089	MK45 Ⅱ層	石鏝	1 b	[3.9]	1.4	0.9	[4.2]	チャート
1090	ML38 Ⅱ層	石鏝	1 b	[3.9]	1.9	1.1	[6.6]	頁岩
1091	M J 46 Ⅱ層下	石鏝	1 b	[4.2]	2.4	0.8	[6.0]	頁岩
1092	MK47 Ⅱ層	石鏝	1 b	4.3	1.9	1.1	6.2	頁岩
1093	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏝	1 b	[4.3]	1.7	0.9	[6.4]	頁岩
1094	M 147 A 2号沢跡 2層	石鏝	1 b	[4.3]	1.6	1.1	[5.5]	珪質頁岩
1095	M 146 A 1号沢跡 1層	石鏝	1 b	[4.5]	2.1	0.9	[6.1]	珪質頁岩
1096	MK47 Ⅱ層	石鏝	1 c	1.8	0.9	0.65	0.8	頁岩

写番	出上位置・層位	部 種	分類	長 さ	幅	厚 さ	重 量	石 質
1097	M144 Ⅱ層	石鐘	1c	2.25	1.15	0.7	1.3	黒曜石
1098	M144 Ⅳ層	石鐘	1c	2.5	1.3	0.8	2.1	頁岩
1099	MG56 Ⅱ層	石鐘	1c	2.7	1.3	0.75	1.5	頁岩
1100	MJ48 Ⅱ層	石鐘	1c	2.0	1.2	0.9	1.5	メノウ
1101	A2号沢跡 1層下	石鐘	1c	[2.1]	1.1	0.7	[1.4]	建築頁岩
1102	MG53 Ⅱ層	石鐘	1c	[2.2]	1.4	0.9	[2.2]	珪質頁岩
1103	M153 Ⅱ層	石鐘	1c	2.3	1.1	0.9	1.5	黒曜石
1104	MG56 Ⅱ層上面	石鐘	1c	[2.3]	1.2	0.7	[1.4]	黒曜石
1105	MK47 A2号沢跡 1層	石鐘	1c	2.5	1.4	0.8	1.9	建築頁岩
1106	MJ48 Ⅱ層	石鐘	1c	2.6	2.2	1.0	2.8	頁岩
1107	M156 Ⅱ層	石鐘	1c	[3.0]	2.0	0.7	[3.8]	頁岩
1108	M152 Ⅱ層	石鐘	1c	[4.2]	1.5	0.9	[4.0]	頁岩
1109	MG52 Ⅱ層	石鐘	2	3.4	1.6	0.75	3.0	頁岩
1110	M145 Ⅱ層	石鐘	2	3.8	[1.7]	0.8	[2.9]	黒曜石
1111	ME54 Ⅱ層上面	石鐘	2	3.7	2.5	1.0	7.2	頁岩
1112	8トレンチ 検丸	石鐘	2	4.95	2.85	1.1	7.2	頁岩
1113	MJ45 Ⅱ層	石鐘	3	[1.8]	2.5	0.6	[2.2]	珪質頁岩
1114	MM46 Ⅱ層	石鐘	2	[2.2]	1.5	0.6	[1.8]	メノウ
1115	MK48 Ⅱ層	石鐘	2	[2.2]	0.8	0.6	[0.6]	頁岩
1116	M140 Ⅱ層	石鐘	2	[2.2]	[1.3]	0.8	[2.5]	チャート
1117	MK46 Ⅱ層	石鐘	2	[2.4]	[1.0]	0.5	[0.8]	黒曜石
1118	MJ43 Ⅱ層	石鐘	2	2.5	1.1	0.7	1.2	珪質頁岩
1119	M148 Ⅱ層	石鐘	2	[2.5]	2.8	1.1	[5.8]	チャート
1120	MJ51 Ⅱ層	石鐘	2	[2.6]	4.6	0.9	[8.3]	頁岩
1121	7トレンチ	石鐘	2	[2.6]	1.2	0.5	[1.2]	珪質頁岩
1122	MJ48 A2号沢跡 1層	石鐘	2	[2.7]	1.5	0.5	[1.6]	チャート
1123	MG53 Ⅱ層	石鐘	2	[2.9]	[1.6]	0.4	[1.2]	頁岩
1124	P254 埋上	石鐘	2	[3.0]	[2.0]	0.6	[2.7]	頁岩
1125	2トレンチ Ⅱ層	石鐘	2	3.1	1.3	0.6	2.2	チャート
1126	MD55 Ⅱ層上面	石鐘	2	3.2	2.5	0.6	3.3	頁岩
1127	MK54 Ⅳ層	石鐘	2	[3.3]	2.3	1.1	[5.0]	頁岩
1128	MK46 Ⅱ層	石鐘	2	3.4	[1.7]	0.7	[3.5]	チャート
1129	MK46 Ⅱ層	石鐘	2	[3.4]	2.0	0.7	[3.9]	頁岩
1130	MK41 Ⅱ層	石鐘	2	[3.5]	[2.0]	1.0	[4.6]	頁岩
1131	ML46 A1号沢跡	石鐘	2	3.6	1.3	1.1	3.9	黒曜石
1132	MK48 A2号沢跡 1層	石鐘	2	[3.6]	[1.2]	0.8	[2.6]	頁岩
1133	I層	石鐘	2	[3.6]	2.3	0.7	[4.0]	頁岩
1134	S B11 埋上	石鐘	2	[3.7]	1.2	0.9	[3.5]	頁岩
1135	MK48 A2号沢跡 1層	石鐘	2	[3.8]	1.6	0.9	[6.1]	チャート
1136	MJ44 Ⅱ層	石鐘	2	[4.1]	2.9	1.5	[11.1]	頁岩
1137	MK43 Ⅱ層	石鐘	2	[4.3]	[2.0]	0.9	[7.7]	頁岩
1138	M152 Ⅱ層	石鐘	2	[4.3]	2.5	0.8	[6.3]	頁岩
1139	MJ46 Ⅱ層	石鐘	2	[4.4]	[2.1]	0.8	[7.2]	頁岩
1140	MK46	石鐘	2	[4.5]	[1.9]	1.0	[5.9]	珪質頁岩
1141	MG50 Ⅱ層	石鐘	2	[5.2]	2.9	1.2	[13.0]	頁岩
1142	MD55 Ⅱ層	石鐘	3	3.8	1.05	0.85	3.0	頁岩
1143	MD55 I層	石鐘	3	4.0	1.05	0.7	2.2	頁岩
1144	M154 Ⅱ層	石鐘	3	4.6	0.75	0.75	2.1	頁岩
1145	MH45 Ⅱ層	石鐘	3	1.8	0.6	0.4	0.4	建築頁岩
1146	MK47 A2号沢跡 1層	石鐘	3	1.9	0.8	0.5	0.7	黒曜石
1147	MD55 Ⅱ層上	石鐘	3	[2.1]	0.7	0.4	[0.6]	頁岩
1148	ML38 Ⅱ層	石鐘	3	[2.1]	0.8	0.4	[0.5]	頁岩
1149	MJ48 Ⅱ層	石鐘	3	2.2	0.9	0.6	0.8	チャート
1150	MK51 Ⅱ層	石鐘	3	[2.2]	1.9	0.7	[1.2]	珪質頁岩

番号	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1151	MJ54 Ⅱ層	石鐘	3	2.3	0.8	0.5	1.0	頁岩
1152	MG49 Ⅱ層	石鐘	3	[2.3]	0.7	0.5	[0.6]	珧質頁岩
1153	MJ45 A1号沢跡 1層	石鐘	3	[2.4]	0.6	0.4	[0.5]	珧質頁岩
1154	MJ52 Ⅱ層	石鐘	3	2.5	0.8	0.5	0.9	頁岩
1155	MK47 A2号沢跡 1層	石鐘	3	2.5	0.8	0.6	1.3	チャート
1156	NM46 Ⅱ層	石鐘	3	[2.5]	1.0	0.6	[1.4]	珧質頁岩
1157	MK43 Ⅱ層	石鐘	3	[2.5]	0.6	0.6	[0.7]	頁岩
1158	MG19 Ⅱ層	石鐘	3	[2.5]	0.7	0.5	[0.8]	頁岩
1159	MG54 Ⅲ層下	石鐘	3	[2.6]	1.1	0.8	[1.3]	黒曜石
1160	MH52 Ⅱ層	石鐘	3	[2.6]	1.0	0.7	[1.6]	黒曜石
1161	MC57 Ⅲ層下	石鐘	3	[2.6]	1.1	0.8	[2.1]	頁岩
1162	ML46 A1号沢跡 2層	石鐘	3	2.8	[0.8]	0.8	1.7	チャート
1163	MK48 Ⅱ層	石鐘	3	[2.8]	0.7	0.5	[1.0]	頁岩
1164	MG50 Ⅱ層	石鐘	3	[2.8]	[0.7]	0.5	[0.8]	珧質頁岩
1165	M144 Ⅳ層	石鐘	3	[2.9]	1.2	0.7	[2.2]	頁岩
1166	M149 SX01 埋土	石鐘	3	[2.9]	0.8	0.5	[0.9]	頁岩
1167	MJ44 Ⅱ層	石鐘	3	[2.9]	1.2	0.9	[1.9]	珧質頁岩
1168	攪乱	石鐘	3	[2.9]	1.0	0.6	[1.5]	頁岩
1169	M145 Ⅱ層	石鐘	3	3.0	0.6	0.5	0.6	頁岩
1170	3トレンチ 攪乱	石鐘	3	3.0	0.8	0.7	1.5	珧質頁岩
1171	MJ45 Ⅱ層	石鐘	3	[3.0]	0.9	0.7	[1.8]	珧質頁岩
1172	MH55 Ⅱ層	石鐘	3	[3.0]	0.6	0.5	[0.9]	頁岩
1173	ML38 Ⅱ層	石鐘	3	[3.0]	0.8	0.5	[1.1]	珧質頁岩
1174	MD66 Ⅱ層	石鐘	3	[3.0]	0.7	0.5	[0.9]	珧質頁岩
1175	P604 埋土	石鐘	3	3.1	0.9	0.6	1.5	珧質頁岩
1176	MG53 Ⅱ層	石鐘	3	[3.1]	1.2	0.6	[2.2]	珧質頁岩
1177	MJ47 I層	石鐘	3	[3.1]	0.8	0.6	[1.3]	珧質頁岩
1178	MK48 Ⅱ層	石鐘	3	[3.1]	0.8	0.7	[1.6]	頁岩
1179	M145 A1号沢跡 1層	石鐘	3	[3.1]	1.1	0.8	[2.1]	頁岩
1180	MK45 A1号沢跡 1層	石鐘	3	[3.1]	1.0	0.4	[1.3]	頁岩
1181	NM39 Ⅱ層	石鐘	3	[3.1]	1.0	0.9	[2.4]	頁岩
1182	M145 SD21 埋土	石鐘	3	3.2	1.1	0.8	2.4	チャート
1183	MH52 SQ21 埋土	石鐘	3	[3.2]	1.1	0.7	[2.7]	メノウ
1184	M147 Ⅱ層	石鐘	3	[3.2]	0.8	0.5	[1.3]	頁岩
1185	M147 Ⅱ層	石鐘	3	3.3	0.9	0.9	1.9	頁岩
1186	MJ51 Ⅱ層	石鐘	3	[3.4]	1.1	0.9	[3.1]	黒曜石
1187	ML40 Ⅱ層	石鐘	3	[3.4]	1.1	0.9	[2.8]	頁岩
1188	MK53 Ⅳ層	石鐘	3	3.5	1.0	0.8	2.3	チャート
1189	M146 Ⅱ層	石鐘	3	[3.5]	1.2	0.7	[3.1]	頁岩
1190	M147 Ⅱ層	石鐘	3	[3.5]	1.1	0.9	[3.1]	頁岩
1191	MF51 Ⅱ層	石鐘	3	[3.5]	1.2	0.6	[1.9]	珧質頁岩
1192	MK48 Ⅱ層	石鐘	3	3.6	1.0	0.6	2.3	頁岩
1193	M153 Ⅱ層	石鐘	3	[3.6]	0.3	0.9	[4.0]	頁岩
1194	MQ37 Ⅱ層	石鐘	3	[3.6]	1.0	0.8	[2.4]	頁岩
1195	攪乱	石鐘	3	[3.7]	1.1	0.6	[1.9]	メノウ
1196	MG54 Ⅲ層下	石鐘	3	[3.8]	1.15	0.8	[3.0]	頁岩
1197	MK38 Ⅱ層	石鐘	3	[4.0]	0.8	0.5	[2.0]	頁岩
1198	MK51 Ⅱ層	石鐘	3	[4.3]	0.9	1.0	[3.1]	頁岩
1199	MH51 Ⅱ層	石鐘	3	4.4	0.8	0.7	1.8	珧質頁岩
1200	MG53 Ⅱ層	石鐘	3	[4.4]	1.1	0.9	[3.7]	頁岩
1201	A1号沢跡 4層	石鐘	3	[4.4]	1.0	0.5	[2.2]	頁岩
1202	MF56 A4号沢跡 2層	石鐘	3	4.5	1.1	0.6	3.5	頁岩
1203	M152 Ⅱ層	石鐘	3	[4.5]	0.7	0.6	[2.1]	頁岩
1204	MK48 A2号沢跡 1層	石鐘	3	[4.5]	[1.0]	0.5	[2.2]	頁岩

号番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1205	M J 48~47ライン II層	石鏃	3	4.7	1.2	0.9	4.1	頁岩
1206	M J 46 II層	石鏃	3	[4.7]	1.1	0.6	[2.9]	建築頁岩
1207	M H 46 II層	石鏃	3	[4.8]	1.2	1.0	[4.2]	頁岩
1208	M N 40 II層	石鏃	3	4.9	1.3	0.8	4.3	頁岩
1209	M I 47 II層	石鏃	3	5.0	1.2	1.0	5.5	頁岩
1210	M G 50 II層	石鏃	3	5.2	1.2	0.7	2.9	頁岩
1211	M I 45 A 1号沢跡 1層	石鏃	3	[5.6]	1.4	1.0	[5.8]	頁岩
1212	M J 47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[3.8]	2.65	0.7	5.9	頁岩
1213	M G 44 S B 21 埋土	石鏃	1a	5.5	2.1	0.5	4.3	頁岩
1214	M F 55 II層	石鏃	1a	6.6	1.8	0.9	6.7	頁岩
1215	2トレンチ II層	石鏃	1a	5.6	2.7	0.6	[6.5]	頁岩
1216	M G 57 宮上土面	石鏃	1a	[6.4]	[2.8]	1.0	[12.8]	頁岩
1217	M I 46 II層	石鏃	1a	7.5	1.45	0.7	5.7	頁岩
1218	M G 53 II層	石鏃	1a	8.6	3.8	1.0	22.4	頁岩
1219	M G 55 宮下	石鏃	1a	[3.0]	[1.6]	0.8	[2.6]	チャート
1220	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏃	1a	[4.4]	3.2	0.9	[8.5]	建築頁岩
1221	M E 56 II層	石鏃	1a	4.5	2.5	0.8	5.0	頁岩
1222	M F 56 II層	石鏃	1a	4.5	2.5	0.6	5.5	頁岩
1223	M K 48 A 2号沢跡 1層	石鏃	1a	[5.5]	2.3	1.0	[9.2]	頁岩
1224	M L 48 II層	石鏃	1a	[5.6]	2.3	1.0	[7.3]	頁岩
1225	M M 46 II層	石鏃	1a	[6.0]	[2.6]	1.0	[5.7]	頁岩
1226	M N 40 II層	石鏃	1a	6.1	3.0	0.6	7.2	頁岩
1227	M I 48 II層	石鏃	1a	6.3	4.2	1.4	23.3	頁岩
1228	M E 57 A 4号沢跡 2層	石鏃	1a	[9.6]	4.3	1.1	[33.3]	頁岩
1229	M G 56 II層	石鏃	1b	4.9	1.8	0.5	3.4	頁岩
1230	M J 45 A 1号沢跡 1層	石鏃	1b	6.9	3.4	1.25	24.0	頁岩
1231	M K 47 A 2号沢跡 1層	石鏃	1b	[3.2]	[1.6]	0.5	[1.6]	頁岩
1232	F 769 埋土	石鏃	1b	[3.8]	1.4	0.5	[2.3]	頁岩
1233	M G 52 II層	石鏃	1b	[4.7]	[2.3]	0.6	[5.8]	頁岩
1234	M K 46 II層	石鏃	1b	[5.8]	3.3	1.2	[16.3]	頁岩
1235	M M 47 II層	石鏃	1b	[8.3]	3.3	1.5	[16.1]	頁岩
1236	M E 56 4号沢跡	石鏃	1c	4.7	2.0	0.7	5.7	頁岩
1237	M F 51 II層	石鏃	1c	6.3	3.0	1.2	16.6	頁岩
1238	M E 56 II層	石鏃	1c	6.0	4.0	1.2	19.4	頁岩
1239	M K 47 A 2号沢跡 3層	石鏃	1c	[7.1]	5.0	1.4	[28.4]	頁岩
1240	S K I 05 埋土	石鏃	2a	2.7	4.1	0.55	4.3	建築頁岩
1241	A 1号沢跡 2層	石鏃	2a	2.6	5.7	0.7	6.2	頁岩
1242	M J 47 II層	石鏃	2a	4.9	7.1	1.2	21.7	頁岩
1243	M J 46 II層	石鏃	2a	[1.8]	3.5	1.9	[1.8]	建築頁岩
1244	表探	石鏃	2a	[2.6]	3.2	1.0	[5.5]	頁岩
1245	M J 46 II層	石鏃	2a	4.4	5.5	1.0	16.0	頁岩
1246	M H 50 II層	石鏃	2a	[4.6]	[5.0]	1.3	[27.9]	頁岩
1247	M D 55 II層	石鏃	2b	1.8	1.7	0.3	0.8	黒曜石
1248	M I 57 II層	石鏃	2b	[3.7]	4.0	1.1	[10.7]	頁岩
1249	M I 52 II層	石鏃	2b	6.55	[4.1]	1.45	[22.6]	頁岩
1250	M G 56 II層	石鏃	2b	5.1	6.6	1.4	25.0	頁岩
1251	M G 57 II層	石鏃	2b	[2.5]	[3.3]	[0.9]	[4.3]	頁岩
1252	A 1号沢跡 II層	石鏃	2b	3.0	3.6	0.7	5.9	頁岩
1253	M Q 36 II層	石鏃	2b	3.3	4.7	0.7	8.1	頁岩
1254	M H 50 II層	石鏃	2b	3.5	5.4	0.9	12.7	頁岩
1255	M I 55 II層	石鏃	2b	[3.6]	4.1	0.9	[10.3]	チャート
1256	M K 43 II層	石鏃	2b	[3.9]	3.5	0.6	[4.6]	頁岩
1257	M K 53 II層	石鏃	2b	4.3	5.3	1.1	17.6	建築頁岩
1258	A 1号沢跡 II層	石鏃	3a	2.9	3.6	0.75	6.6	頁岩

号	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1259	MI.45 II層	石甕	3a	2.8	6.2	0.7	9.2	頁岩
1260	MJ.44 II層	石甕	3a	3.0	5.7	1.1	10.7	頁岩
1261	MK.48 II層	石甕	3a	4.25	6.3	1.3	30.7	珸質頁岩
1262	MJ.45 A1号沢跡 1層	石甕	3b	2.8	4.3	0.8	7.6	頁岩
1263	MH.44 SD.21 埋土	石甕	3b	3.9	5.1	0.6	10.4	頁岩
1264	MD.57 II層	石甕	3b	6.2	3.8	1.3	23.2	頁岩
1265	MI.45 A1号沢跡 1層	石甕	3b	6.65	6.95	1.4	39.2	頁岩
1266	MI.55 II層	石甕	3b	[2.3]	3.1	0.5	[3.2]	頁岩
1267	MJ.45 II層	石甕	3b	2.4	3.9	0.6	4.7	頁岩
1268	II層	石甕	3b	3.1	4.2	0.7	7.7	頁岩
1269	MK.47 II層	石甕	3b	[3.3]	[6.0]	1.0	[7.8]	頁岩
1270	MI.54 II層	石甕	3b	[3.3]	4.9	1.0	[14.2]	頁岩
1271	MP.37 II層	石甕	3b	[3.4]	4.0	0.6	[5.0]	頁岩
1272	MK.46 A1号沢跡 2層	石甕	3b	4.0	7.1	0.9	20.3	頁岩
1273	MQ.36 II層	石甕	3b	4.1	5.4	1.0	19.0	頁岩
1274	MM.39 II層	石甕	3b	[4.4]	7.1	1.5	[30.7]	頁岩
1275	ME.56 Ⅲ層	石甕	3b	5.0	7.0	1.5	39.6	頁岩
1276	MK.45 II層	石甕	3b	[5.6]	4.0	1.0	[12.0]	頁岩
1277	2トレンチ II層	石甕	1a	4.4	2.6	1.3	15.2	頁岩
1278	攪乱	石甕	1a	5.7	4.3	1.9	32.3	頁岩
1279	MK.48 A2号沢跡 1層	石甕	1a	6.0	4.8	1.2	38.8	頁岩
1280	4トレンチ II層	石甕	1a	8.8	4.5	2.3	87.2	砂岩
1281	MJ.47 II層	石甕	1a	8.7	5.0	1.9	65.7	頁岩
1282	MH.61 II層	石甕	1a	8.9	3.7	1.9	48.8	頁岩
1283	MK.48 II層	石甕	1a	12.1	5.0	3.2	209.1	ホルンフェルス
1284	MJ.47 II層	石甕	1a	4.0	3.1	1.2	12.9	珸質頁岩
1285	MH.56 II層	石甕	1a	4.6	3.5	1.6	23.4	チャート
1286	MK.48 II層	石甕	1a	[4.7]	3.2	1.2	[15.5]	頁岩
1287	2トレンチ II層	石甕	1a	[5.2]	2.6	1.5	[18.1]	チャート
1288	MI.45 A1号沢跡	石甕	1a	5.5	4.0	1.6	35.0	頁岩
1289	ME.57 II層	石甕	1a	[5.7]	2.4	2.0	[25.1]	珸質頁岩
1290	MK.46	石甕	1a	[5.8]	3.1	1.3	[19.1]	珸質頁岩
1291	ME.54 Ⅲ層	石甕	1a	6.1	3.4	1.5	29.4	頁岩
1292	MJ.47 A2号沢跡 4層	石甕	1a	[6.2]	4.4	1.4	[34.5]	珸質頁岩
1293	MF.57 A4号沢跡 1層	石甕	1a	6.3	4.0	1.6	36.7	頁岩
1294	MK.40 II層	石甕	1a	6.4	4.5	1.7	44.1	珸質頁岩
1295	表探	石甕	1a	6.6	3.3	1.2	26.9	頁岩
1296	7トレンチ 攪乱	石甕	1a	6.6	3.4	2.1	39.7	頁岩
1297	MH.43 II層	石甕	1a	6.8	3.2	1.5	32.1	頁岩
1298	MI.52 II層	石甕	1a	7.4	4.1	1.6	40.6	頁岩
1299	MG.50 II層	石甕	1a	7.4	4.3	1.8	66.6	頁岩
1300	MI.49 II層	石甕	1a	[7.6]	3.8	1.7	[42.8]	ホルンフェルス
1301	MG.54 Ⅲ層	石甕	1a	7.8	3.9	2.1	63.5	砂岩
1302	MI.49 II層	石甕	1a	8.0	4.0	2.0	67.9	頁岩
1303	MH.40 II層	石甕	1a	8.1	4.1	2.5	82.8	頁岩
1304	MI.43 II層	石甕	1a	8.3	4.9	1.6	65.5	砂岩
1305	MI.47 A2号沢跡 4層	石甕	1a	8.3	6.1	2.1	133.1	砂岩
1306	MH.50 II層	石甕	1a	[8.8]	4.1	2.0	[72.5]	頁岩
1307	MK.49 II層	石甕	1a	9.1	4.4	2.6	89.6	頁岩
1308	MH.52 II層	石甕	1a	10.0	4.5	3.1	151.1	砂岩
1309	MK.43 II層	石甕	1a	10.1	3.7	2.1	92.1	頁岩
1310	MD.58 SD.03 2層	石甕	1a	10.4	4.5	3.0	110.0	頁岩
1311	MG.53 SD.15 埋土	石甕	1a	10.5	5.2	2.6	157.0	砂岩
1312	MH.52 II層	石甕	1a	10.5	5.2	3.0	188.7	砂岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1313	M1140 Ⅱ層	石鏡	1 a	10.7	4.5	1.7	93.1	頁岩
1314	M J 45 Ⅱ層	石鏡	1 a	11.0	5.2	2.9	178.0	ホルンフェルス
1315	MH51 Ⅱ層	石鏡	1 b	4.1	2.1	1.0	9.5	チャート
1316	MK45 A 1号沢跡 1層	石鏡	1 b	6.5	3.2	1.6	27.3	頁岩
1317	M L 39 Ⅱ層	石鏡	1 b	7.7	4.3	1.8	50.0	頁岩
1318	MG52 表土	石鏡	1 b	13.1	6.3	3.2	228.6	ホルンフェルス
1319	MG50 Ⅱ層	石鏡	1 b	[4.1]	3.1	1.2	[12.9]	珪質頁岩
1320	MK48 Ⅱ層	石鏡	1 b	5.6	3.3	1.8	24.6	頁岩
1321	M J 47 1層	石鏡	1 b	[7.2]	5.0	2.0	[32.0]	頁岩
1322	MH45 Ⅱ層	石鏡	1 b	[7.8]	3.7	2.1	[60.3]	頁岩
1323	1層	石鏡	1 b	9.0	5.0	1.8	83.1	珪質頁岩
1324	MH44 Ⅱ層	石鏡	1 b	11.2	5.0	2.5	145.9	砂岩
1325	MG49 Ⅱ層	石鏡	2 a	4.8	3.1	1.2	13.3	頁岩
1326	MH52 Ⅱ層	石鏡	2 a	6.6	3.2	1.3	26.7	頁岩
1327	MH47 Ⅱ層	石鏡	2 a	9.7	3.2	1.7	52.4	砂岩
1328	MK56 Ⅱ層	石鏡	2 a	9.45	4.25	2.55	81.3	砂岩
1329	MG56 Ⅱ層	石鏡	2 a	[4.3]	3.2	1.2	[12.1]	チャート
1330	M I 45 Ⅱ層	石鏡	2 a	[4.9]	3.7	1.9	[29.5]	珪質頁岩
1331	MK43 Ⅱ層	石鏡	2 a	[5.2]	2.7	1.0	[14.7]	頁岩
1332	MK44 Ⅱ層	石鏡	2 a	6.5	2.9	1.0	19.3	頁岩
1333	表採	石鏡	2 a	6.8	3.6	1.8	33.3	珪質頁岩
1334	Ⅱ層	石鏡	2 a	7.6	3.9	1.5	39.8	珪質頁岩
1335	MK45 A 1号沢跡 1層	石鏡	2 a	[7.8]	3.5	1.3	[26.9]	珪質頁岩
1336	ME39 SD03 1層	石鏡	2 a	[8.3]	4.3	2.0	[72.5]	頁岩
1337	M J 45 Ⅱ層	石鏡	2 a	9.1	4.1	2.3	88.1	砂岩
1338	M P 37 Ⅱ層	石鏡	2 a	11.1	5.2	2.6	151.1	ホルンフェルス
1339	M J 47 Ⅱ層	石鏡	2 b	6.6	3.0	1.2	22.0	頁岩
1340	S K 35 埋土	石鏡	2 b	8.0	4.8	1.8	69.6	ホルンフェルス
1341	MG56 Ⅱ層上面	石鏡	2 b	8.9	4.0	2.3	61.3	砂岩
1342	表採	石鏡	2 b	12.35	3.9	2.0	80.1	ホルンフェルス
1343	MD62 Ⅱ層	石鏡	2 b	6.4	3.4	1.4	24.3	ホルンフェルス
1344	2トレンチ Ⅱ層	石鏡	2 b	12.1	6.0	2.6	164.2	頁岩
1345	MK46 Ⅱ層	石鏡	3	5.5	3.4	1.3	19.3	頁岩
1346	MG49 Ⅱ層	石鏡	3	6.4	3.1	1.4	26.2	珪質頁岩
1347	MK46 Ⅱ層	石鏡	3	8.5	3.0	2.0	47.7	ホルンフェルス
1348	MH49 Ⅱ層	石鏡	3	9.3	4.5	1.65	74.9	ホルンフェルス
1349	MG50 Ⅱ層	石鏡	3	[4.4]	2.6	1.6	[13.7]	珪質頁岩
1350	ME56 Ⅱ層	石鏡	3	4.7	3.2	1.5	21.3	頁岩
1351	M J 48 A 2号沢跡 1層	石鏡	3	[5.1]	3.0	1.4	[19.0]	珪質頁岩
1352	MK46 Ⅱ層	石鏡	3	[5.4]	3.8	2.2	[35.5]	チャート
1353	M I 44 Ⅱ層	石鏡	3	[6.0]	3.5	1.7	[30.3]	珪質頁岩
1354	MH51 Ⅱ層	石鏡	3	8.4	4.5	0.9	43.8	頁岩
1355	M I 47 Ⅱ層中	石鏡	4	6.4	3.3	1.6	34.5	頁岩
1356	MH54 S X01 埋土	石鏡	4	9.65	4.35	1.7	80.8	ホルンフェルス
1357	MH58 Ⅱ層	石鏡	4	9.8	3.7	1.8	74.0	砂岩
1358	MK46 Ⅱ層	石鏡	4	[4.3]	2.7	1.1	[14.7]	チャート
1359	MH52 Ⅱ層	石鏡	4	7.6	3.9	1.3	41.0	頁岩
1360	M I 54 Ⅱ層	石鏡	4	7.6	3.4	2.3	62.4	頁岩
1361	M J 48 Ⅱ層	石鏡	4	[8.2]	3.7	2.0	[60.1]	珪質頁岩
1362	M L 47 A 2号沢跡 1層	石鏡	5	3.1	3.2	1.1	12.0	頁岩
1363	MK47 Ⅱ層	石鏡	5	[3.8]	2.6	1.4	[13.6]	チャート
1364	M J 45 A 1号沢跡 2層	石鏡	5	[4.5]	3.2	1.3	[15.8]	チャート
1365	2トレンチ Ⅱ層	石鏡	5	[5.7]	3.0	1.6	[24.9]	珪質頁岩
1366	M L 49 Ⅱ層	石鏡	5	6.3	3.4	1.8	33.9	頁岩

号番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1367	MJ46 Ⅱ層	石皿	5	[6.4]	4.9	2.2	[62.1]	リパライト
1368	MK49 Ⅱ層	石皿	5	6.5	4.2	1.3	49.2	ホルンフェルス
1369	MH52 Ⅱ層	石皿	5	7.8	4.3	1.8	55.3	頁岩
1370	MH51 Ⅱ層	石皿	5	9.5	4.0	1.8	72.4	頁岩
1371	MD55 Ⅱ層	不定形	1a	3.9	2.6	1.1	7.2	頁岩
1372	MM40 Ⅱ層	不定形	1a	4.45	3.05	1.5	16.0	頁岩
1373	ML38 Ⅱ層	不定形	1a	4.3	2.8	0.9	8.0	頁岩
1374	MG50 Ⅱ層	不定形	1a	4.55	3.2	1.1	14.4	頁岩
1375	MF56 4号沢跡 1層	不定形	1a	4.9	3.4	1.4	18.7	頁岩
1376	A2号沢跡 1層	不定形	1a	2.6	1.8	0.6	2.6	玉ずい
1377	M147 Ⅱ層	不定形	1a	[2.6]	1.9	1.1	[4.7]	黒曜石
1378	MN44 Ⅳ層上層	不定形	1a	2.8	1.9	0.9	4.2	チャート
1379	MB70 整地層	不定形	1a	2.8	2.0	1.0	5.6	チャート
1380	MG57 S B03 青磁	不定形	1a	[2.8]	2.3	0.7	[4.0]	砂岩
1381	M155 Ⅱ層	不定形	1a	[2.9]	2.2	0.7	[4.1]	頁岩
1382	MH50 Ⅱ層	不定形	1a	3.1	2.0	0.6	3.6	砂岩
1383	MF57 Ⅱ層	不定形	1a	3.1	1.9	0.6	4.1	頁岩
1384	M145 Ⅱ層	不定形	1a	3.1	2.6	0.9	7.9	頁岩
1385	近世整地層	不定形	1a	[3.1]	2.2	0.8	[5.5]	黒曜石
1386	MH50 Ⅱ層	不定形	1a	3.2	2.3	0.7	3.3	頁岩
1387	MH49 Ⅱ層	不定形	1a	3.3	1.9	1.3	6.6	玉ずい
1388	M145 Ⅱ層	不定形	1a	3.3	2.8	1.6	10.9	砂岩
1389	MJ48 A2号沢跡 1層	不定形	1a	3.4	2.9	1.0	8.4	珪質頁岩
1390	M145 Ⅱ層	不定形	1a	3.4	2.8	1.1	8.6	砂岩
1391	2トレンチ Ⅱ層	不定形	1a	[3.4]	[2.0]	1.1	[7.0]	チャート
1392	MM44 桜丸	不定形	1a	3.5	2.3	1.2	7.2	頁岩
1393	MK51 Ⅱ層	不定形	1a	[3.5]	2.3	1.0	[6.9]	チャート
1394	MK48 A2号沢跡 Ⅱ層	不定形	1a	[3.6]	2.9	0.9	[10.4]	玉ずい
1395	A1号沢跡 2層	不定形	1a	3.7	3.0	1.0	12.0	チャート
1396	MK47 A2号沢跡 1層	不定形	1a	3.7	3.4	1.0	13.6	砂岩
1397	MH48 Ⅱ層上	不定形	1a	3.7	3.2	1.3	14.1	頁岩
1398	MH50 Ⅱ層	不定形	1a	[3.7]	2.4	0.8	[6.1]	頁岩
1399	M145 A1号沢跡 1層	不定形	1a	3.8	3.2	1.4	18.2	チャート
1400	MK48 Ⅱ層	不定形	1a	[3.8]	2.7	0.6	[5.0]	チャート
1401	MJ45 Ⅱ層	不定形	1a	3.9	[3.0]	1.0	[11.2]	砂岩
1402	M147 A2号沢跡 1層	不定形	1a	3.9	2.8	1.3	12.7	頁岩
1403	表掘	不定形	1a	[3.9]	2.9	1.4	[12.6]	頁岩
1404	MJ48 Ⅱ層中	不定形	1a	4.0	3.2	1.1	12.8	玉ずい
1405	MH58	不定形	1a	4.0	3.2	1.1	13.3	頁岩
1406	M156 Ⅱ層	不定形	1a	4.0	3.5	1.2	14.3	砂岩
1407	MD56 Ⅱ層	不定形	1a	4.1	[2.0]	0.7	[5.5]	頁岩
1408	ME54 Ⅱ層	不定形	1a	4.1	2.6	0.9	7.2	頁岩
1409	ML38 Ⅱ層	不定形	1a	4.1	2.6	1.1	10.9	玉ずい
1410	MJ46 Ⅱ層	不定形	1a	[4.2]	2.7	0.8	[9.5]	チャート
1411	MJ45 Ⅱ層下	不定形	1a	4.3	2.8	1.4	12.8	砂岩
1412	MM46 Ⅱ層下	不定形	1a	4.4	3.1	1.0	14.1	頁岩
1413	M147 Ⅱ層	不定形	1a	[4.4]	2.9	0.8	[9.2]	頁岩
1414	MN40 Ⅱ層	不定形	1a	[4.4]	2.7	1.7	[15.8]	玉ずい
1415	MJ47 A2号沢跡 4層	不定形	1a	4.5	2.8	1.1	11.3	頁岩
1416	MH46 Ⅱ層	不定形	1a	4.5	3.0	1.2	14.8	チャート
1417	MK48 A2号沢跡	不定形	1a	[4.5]	2.6	1.1	[12.0]	チャート
1418	MF49 Ⅱ層	不定形	1a	[4.5]	2.9	1.4	[14.6]	頁岩
1419	2トレンチ Ⅱ層	不定形	1a	4.6	2.7	1.1	11.6	黒曜石
1420	MQ36 Ⅱ層	不定形	1a	4.6	3.3	1.4	17.9	頁岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1421	MG52 Ⅱ層	不定形	1a	[4.6]	2.9	0.8	[10.4]	頁岩
1422	MI44 Ⅱ層	不定形	1a	4.8	3.0	1.0	14.8	頁岩
1423	MQ36 Ⅱ層	不定形	1a	4.8	4.0	1.1	19.7	頁岩
1424	MH55 Ⅱ層	不定形	1a	[4.8]	3.2	1.2	[16.1]	頁岩
1425	ML39 Ⅱ層	不定形	1a	[4.8]	3.6	1.4	[20.0]	頁岩
1426	MK46 A1号沢跡 1層	不定形	1a	4.9	3.1	1.2	14.5	頁岩
1427	MK48 A2号沢跡 1層	不定形	1a	5.0	3.1	1.3	17.8	頁岩
1428	MI55 Ⅱ層	不定形	1a	[5.0]	3.2	1.4	[16.9]	頁岩
1429	MJ46 Ⅱ層上	不定形	1a	5.1	[3.2]	1.6	[21.7]	チャート
1430	MK48 A2号沢跡 1層	不定形	1a	5.1	3.6	2.2	32.4	チャート
1431	MJ46 A1号沢跡 1層	不定形	1a	[5.4]	3.3	0.9	[16.3]	頁岩
1432	MK43 Ⅱ層	不定形	1b	3.1	2.6	1.1	9.4	玉石い
1433	MK46 A1号沢跡 2層	不定形	1b	2.6	2.2	0.9	4.4	黒曜石
1434	MD59 SD03 1層	不定形	1b	4.1	3.4	1.3	16.8	頁岩
1435	MG42 Ⅱ層	不定形	1b	4.05	4.3	1.9	29.7	頁岩
1436	MJ45 A1号沢跡 1層下	不定形	1b	5.6	5.15	1.7	43.4	頁岩
1437	MG51 Ⅱ層	不定形	1b	2.6	2.6	1.1	5.5	埴頁岩
1438	MK48 Ⅱ層	不定形	1b	[2.9]	2.7	1.3	[9.6]	チャート
1439	MH51 Ⅱ層	不定形	1b	3.1	2.7	1.0	9.8	チャート
1440	MQ36 Ⅱ層	不定形	1b	3.5	4.2	0.9	15.9	頁岩
1441	MJ48 Ⅱ層	不定形	1b	3.7	3.8	1.1	18.1	頁岩
1442	ML38 Ⅱ層	不定形	1b	3.9	3.4	1.8	21.0	頁岩
1443	MM38 Ⅱ層	不定形	1b	4.1	3.6	1.1	16.6	頁岩
1444	MK47 A2号沢跡 1層	不定形	1b	[4.1]	3.4	1.0	[16.5]	頁岩
1445	7トレンチ Ⅱ層	不定形	1b	[4.2]	3.5	1.1	[18.2]	頁岩
1446	MK48 Ⅱ層	不定形	1b	[4.5]	[4.0]	1.1	[21.1]	頁岩
1447	MH48 Ⅱ層	不定形	1b	4.6	4.3	1.2	22.7	頁岩
1448	MF54 Ⅱ層	不定形	1b	[4.7]	3.9	1.2	[17.5]	頁岩
1449	MG51 Ⅱ層	不定形	1b	5.8	5.2	1.6	37.7	チャート
1450	MQ36 Ⅱ層	不定形	1c	2.0	1.8	0.7	2.3	黒曜石
1451	ML43 Ⅱ層	不定形	1c	2.2	1.7	0.8	2.9	黒曜石
1452	MG50 Ⅱ層	不定形	1c	2.3	1.6	1.1	3.3	黒曜石
1453	MI47 Ⅱ層	不定形	1c	2.5	1.8	0.7	3.6	黒曜石
1454	MJ47 A2号沢跡 1層	不定形	1c	3.3	1.5	0.6	3.2	頁岩
1455	MK46 Ⅱ層	不定形	1d	5.0	3.6	1.5	27.6	埴頁岩
1456	MJ54 Ⅱ層	不定形	1d	3.9	5.6	1.25	21.9	頁岩
1457	MK45 Ⅱ層	不定形	1d	5.2	3.4	2.2	29.7	頁岩
1458	MJ45 A1号沢跡 1層	不定形	1d	5.9	3.95	1.9	35.9	頁岩
1459	MK46 Ⅱ層	不定形	1d	7.3	4.1	2.2	45.9	頁岩
1460	ML46 A1号沢跡 2層	不定形	1d	[3.8]	2.7	1.0	[10.9]	玉石い
1461	MJ46 Ⅱ層	不定形	1d	[4.5]	3.7	1.4	[22.9]	頁岩
1462	ML47 Ⅱ層	不定形	1d	[4.5]	3.8	1.7	[24.6]	頁岩
1463	MJ48 A2号沢跡 Ⅱ層	不定形	1d	4.7	3.6	1.6	26.0	頁岩
1464	MJ45 Ⅱ層	不定形	1d	4.9	3.5	1.4	19.6	チャート
1465	ME65 盛上	不定形	1d	[5.0]	3.2	1.7	[25.6]	チャート
1466	MK46 Ⅱ層	不定形	1d	[5.1]	3.3	1.4	[19.7]	チャート
1467	MH49 Ⅱ層	不定形	1d	[5.3]	3.9	1.8	[33.3]	頁岩
1468	MI45 Ⅱ層	不定形	1d	[5.4]	4.1	1.6	[20.6]	頁岩
1469	MI43 Ⅱ層	不定形	1d	[5.4]	4.1	1.4	[30.2]	頁岩
1470	ML47 Ⅱ層	不定形	1d	5.6	4.1	1.5	33.0	頁岩
1471	MK48 A2号沢跡 Ⅱ層	不定形	1d	5.8	4.0	1.4	30.0	頁岩
1472	MJ52 Ⅱ層	不定形	1d	6.5	5.7	1.7	54.5	埴頁岩
1473	MK46	不定形	1d	7.0	4.2	1.0	22.7	頁岩
1474	攪乱	不定形	1d	[7.0]	4.5	1.8	[50.2]	頁岩

号番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1475	M 146 Ⅱ層	不定形	2 a	2.5	1.9	0.7	3.9	頁岩
1476	M J 47 Ⅰ層	不定形	2 a	4.2	2.6	1.15	14.0	頁岩
1477	攪乱	不定形	2 a	4.4	3.6	1.2	14.4	頁岩
1478	M F 57 Ⅲ層上	不定形	2 a	8.6	5.15	2.45	101.1	頁岩
1479	SK 105 埋土	不定形	2 a	8.7	5.7	2.0	106.2	頁岩
1480	M J 45 Ⅱ層	不定形	2 b	3.3	3.1	1.85	11.8	頁岩
1481	MG 56 Ⅲ層下	不定形	2 b	4.9	3.0	0.8	11.2	頁岩
1482	M F 54 Ⅲ層	不定形	2 b	5.3	2.3	1.0	7.8	頁岩
1483	M I 44 Ⅳ層	不定形	2 b	5.5	2.05	0.8	6.5	頁岩
1484	M K 47 Ⅱ層	不定形	2 b	6.3	3.6	0.9	13.9	頁岩
1485	M I 51 Ⅱ層	不定形	2 b	[3.6]	1.9	0.7	[3.3]	頁岩
1486	M E 56 Ⅲ層	不定形	2 b	3.8	2.2	1.0	6.8	頁岩
1487	MQ 36 Ⅱ層	不定形	2 b	4.0	2.8	1.1	8.6	玉ずい
1488	M K 47 A 2号沢跡 3層	不定形	2 b	[3.9]	[2.9]	1.1	[10.9]	頁岩
1489	MG 57 Ⅲ層	不定形	2 b	[4.1]	2.9	0.9	[9.5]	頁岩
1490	9トレンチ Ⅰ層	不定形	2 b	[4.6]	[2.7]	1.2	[8.3]	頁岩
1491	M I 46 Ⅱ層	不定形	2 b	[7.0]	3.2	1.0	[25.3]	砂岩
1492	M K 44 Ⅱ層	不定形	2 c	5.2	2.3	0.9	11.2	頁岩
1493	M N 40 Ⅳ層	不定形	2 c	5.6	2.65	1.0	20.2	頁岩
1494	M J 48 A 2号沢跡 1層	不定形	2 c	[2.8]	[2.8]	0.7	[5.8]	頁岩
1495	M J 45 A 1号沢跡 1層	不定形	2 c	[2.9]	2.1	0.8	[5.6]	頁岩
1496	MG 54 Ⅱ層	不定形	2 c	[3.4]	[3.0]	0.6	[4.6]	頁岩
1497	MF 54 Ⅲ層	不定形	2 c	[4.4]	2.6	1.3	[11.9]	頁岩
1498	M I 43 Ⅱ層	不定形	2 c	4.6	2.8	1.0	10.6	頁岩
1499	M J 45 A 1号沢跡 1層	不定形	2 d	1.65	3.6	0.6	3.4	頁岩
1500	M J 45 A 1号沢跡 2層	不定形	2 d	3.1	4.2	1.15	10.8	頁岩
1501	MG 56 Ⅲ層上	不定形	2 d	4.3	2.5	1.0	6.2	頁岩
1502	M K 46	不定形	2 d	5.3	2.4	0.9	10.9	頁岩
1503	M J 44 Ⅲ層	不定形	2 d	3.4	5.6	1.25	14.0	頁岩
1504	SK 105 埋土	不定形	2 d	[3.1]	1.5	0.6	[1.4]	燧石
1505	M I 45 Ⅱ層	不定形	2 d	[2.3]	2.5	0.6	[2.2]	頁岩
1506	7トレンチ Ⅱ層	不定形	2 d	[2.7]	2.4	1.1	[7.0]	頁岩
1507	M J 47 Ⅲ層	不定形	2 d	[3.0]	1.4	0.8	[2.4]	頁岩
1508	2トレンチ Ⅱ層	不定形	2 d	[3.0]	[1.8]	1.0	[5.0]	チャート
1509	A 1号沢跡 4層	不定形	2 d	[3.3]	1.7	0.5	[2.3]	頁岩
1510	MG 50 Ⅱ層	不定形	2 d	[3.3]	2.9	0.8	[5.8]	頁岩
1511	MM 46 Ⅲ層	不定形	2 d	3.5	1.9	0.8	5.0	チャート
1512	M I 43 Ⅱ層	不定形	2 d	[3.9]	3.4	0.4	[4.8]	頁岩
1513	M K 43 Ⅲ層	不定形	2 d	4.5	2.5	1.0	9.4	頁岩
1514	M K 39 攪乱	不定形	2 d	4.7	3.2	1.0	12.6	頁岩
1515	MG 51 Ⅲ層	不定形	2 d	5.4	3.8	1.0	14.8	頁岩
1516	M K 46 A 1号沢跡 2層	不定形	2 d	[7.0]	6.3	1.4	[36.5]	頁岩
1517	M H 56 Ⅲ層	不定形	2 d	[8.3]	4.9	1.4	[67.2]	頁岩
1518	M I 46 A 2号沢跡 Ⅲ層	不定形	3	3.3	2.65	0.95	7.1	頁岩
1519	M L 48 A 2号沢跡	不定形	3	2.6	4.3	1.0	11.7	頁岩
1520	MG 57 SB 13 埋土	不定形	3	4.7	2.5	0.6	5.9	頁岩
1521	MF 54 Ⅲ層	不定形	3	4.7	3.9	1.4	16.9	頁岩
1522	M K 45 Ⅲ層	不定形	3	6.8	3.45	1.3	20.3	頁岩
1523	M K 48 2号沢跡 Ⅱ層	不定形	3	7.6	2.75	1.45	22.0	頁岩
1524	MD 55 Ⅲ層下	不定形	3	2.3	1.9	0.7	2.4	砂岩
1525	7トレンチ M J 55 Ⅳ層	不定形	3	2.7	2.9	0.7	3.8	頁岩
1526	M H 50 Ⅲ層	不定形	3	2.7	2.3	1.0	6.4	チャート
1527	MG 52 Ⅲ層	不定形	3	2.8	3.0	1.1	8.3	燧石頁岩
1528	M J 48 Ⅲ層	不定形	3	[3.0]	2.3	0.5	[2.6]	頁岩

番号	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1529	SQ11 南側 埋土	不定形	3	[3.1]	1.5	0.5	[1.6]	砂岩
1530	MF56 II層上面	不定形	3	[3.1]	2.7	1.1	[9.1]	チャート
1531	MF59 SD03 II層	不定形	3	[3.4]	2.3	0.8	[4.9]	黒曜石
1532	MJ45 II層	不定形	3	[3.5]	1.4	0.4	[2.5]	頁岩
1533	MK46 II層	不定形	3	3.7	2.9	0.6	5.6	砂岩
1534	M144 II層	不定形	3	3.7	2.5	0.8	7.1	珪質頁岩
1535	MK44 A2号沢跡 6層	不定形	3	[3.7]	[2.3]	0.5	[4.0]	頁岩
1536	MG59 SD03 I層	不定形	3	[3.7]	[3.6]	0.7	[7.8]	頁岩
1537	ML46 A1号沢跡 2層	不定形	3	[3.7]	2.7	0.9	[9.5]	頁岩
1538	MI154 II層	不定形	3	[3.9]	3.4	1.1	[12.9]	頁岩
1539	MK46 A1号沢跡 2層	不定形	3	[4.0]	2.0	0.7	[4.5]	頁岩
1540	MM43 IV層	不定形	3	[4.0]	[3.1]	1.2	[9.8]	チャート
1541	MK47 2号沢跡 3層	不定形	3	[4.0]	2.9	0.8	[10.6]	頁岩
1542	MM38 II層	不定形	3	[4.0]	3.8	1.2	[14.8]	頁岩
1543	MI53 II層	不定形	3	4.1	4.4	1.6	18.2	砂岩
1544	2トレンチ II層	不定形	3	4.3	3.4	0.7	9.6	頁岩
1545	3トレンチ II層	不定形	3	4.3	3.1	1.0	15.3	頁岩
1546	MJ52 II層	不定形	3	4.4	2.8	1.0	10.8	頁岩
1547	M148 II層	不定形	3	4.5	4.3	0.6	8.0	砂岩
1548	1トレンチ II層	不定形	3	4.5	3.1	1.0	8.8	頁岩
1549	MG56 II層	不定形	3	4.5	3.8	0.9	10.2	砂岩
1550	7トレンチ II層	不定形	3	4.5	2.6	1.2	11.5	頁岩
1551	M145 II層	不定形	3	4.6	2.9	1.2	13.0	砂岩
1552	MH56 II層	不定形	3	4.6	3.3	0.9	14.8	頁岩
1553	MG42 II層	不定形	3	[4.6]	[4.5]	1.1	[22.5]	砂岩
1554	MO39 擾乱	不定形	3	[4.7]	3.7	0.8	[11.5]	頁岩
1555	MK46 II層	不定形	3	[4.8]	[2.8]	1.0	[14.8]	砂岩
1556	MG57 II層	不定形	3	[4.9]	3.5	1.3	[19.1]	砂岩
1557	MH54 SB13 埋土	不定形	3	5.0	[3.4]	0.8	[10.5]	砂岩
1558	MH52 II層	不定形	3	5.2	4.2	1.2	19.0	砂岩
1559	MK46 A1号沢跡 II層	不定形	3	[5.3]	3.1	1.1	[20.0]	頁岩
1560	MK48 A2号沢跡 1層	不定形	3	[5.3]	[4.7]	1.2	[29.0]	頁岩
1561	SK26 埋土	不定形	3	5.4	3.7	1.1	18.9	頁岩
1562	7トレンチ 擾乱	不定形	3	[5.5]	3.3	1.4	[20.0]	頁岩
1563	MK47 A2号沢跡 1層	不定形	3	5.6	4.4	1.5	26.3	頁岩
1564	A1号沢跡 4層	不定形	3	[5.8]	4.0	1.4	[28.9]	珪質頁岩
1585	SQ11 南側 埋土	不定形	3	6.0	2.4	1.0	15.8	建築頁岩
1566	MJ47 I層	不定形	3	6.0	3.5	1.5	32.2	砂岩
1567	M146 II層	不定形	3	[6.0]	3.6	1.6	[28.7]	頁岩
1568	A1号沢跡 4層	不定形	3	6.2	2.7	1.5	19.2	頁岩
1569	II層	不定形	3	6.2	[4.0]	1.6	[33.2]	頁岩
1570	MH52 II層	不定形	3	6.2	5.2	1.3	34.1	頁岩
1571	MK40 II層	不定形	3	6.3	3.8	1.4	33.3	珪質頁岩
1572	MP40 擾乱	不定形	3	[6.4]	3.2	1.4	[22.0]	砂岩
1573	MI152 II層	不定形	3	6.6	4.8	1.0	24.1	頁岩
1574	M147 A2号沢跡 1層	不定形	3	[6.9]	[4.3]	1.2	[20.4]	頁岩
1575	MG55 II層	不定形	3	7.5	4.8	1.3	25.6	砂岩
1576	MG56 II層	不定形	3	8.0	4.3	1.8	55.2	頁岩
1577	MQ36 I層	不定形	3	[8.9]	3.9	1.4	[39.0]	頁岩
1578	MJ45 A1号沢跡 2層	不定形	3	9.0	6.0	2.3	96.3	砂岩
1579	MG66 II層	異形		2.2	1.0	0.4	0.6	黒曜石
1580	MJ45 II層	異形		2.5	1.8	0.6	1.8	珪質頁岩
1581	M154 II層	異形		2.15	2.2	0.7	2.5	珪質頁岩
1582	MJ46 II層	異形		[2.9]	[2.6]	0.9	[4.2]	珪質頁岩

号番	出上位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1583	MG54 Ⅱ層下	磨製石斧	1	9.5	4.5	3.1	185.3	砂岩
1584	MK48 Ⅱ層	磨製石斧	1	13.1	6.2	3.7	448.8	閃緑岩
1585	MJ47 Ⅱ層	磨製石斧	1	[5.2]	4.3	1.8	[43.9]	砂岩
1586	MH57 Ⅱ層	磨製石斧	1	[6.4]	4.0	2.5	[101.2]	安山岩
1587	A1号沢跡 1層	磨製石斧	1	[8.7]	4.0	3.1	[149.1]	スレート古生層
1588	MH45 Ⅱ層	磨製石斧	1	[11.6]	4.4	2.5	[198.9]	砂岩
1589	MF57 A4号沢跡 2層	磨製石斧	1	[11.0]	6.0	3.2	[335.0]	砂岩
1590	MK46 Ⅱ層	磨製石斧	2	3.55	1.9	0.75	8.5	蛇紋岩
1591	MK48 Ⅱ層	磨製石斧	2	4.25	2.5	0.9	16.4	蛇紋岩
1592	MJ48 Ⅱ層	磨製石斧	2	[4.1]	2.9	1.4	[26.0]	蛇紋岩
1593	MG57 SB13 埋土	磨製石斧	2	10.9	5.4	3.1	276.4	閃緑岩
1594	MI52 Ⅱ層	磨製石斧	2	[9.9]	5.8	3.2	[272.2]	砂岩
1595	A1号沢跡 4層	磨製石斧	2	10.75	3.7	1.7	86.9	頁岩
1596	MG50 Ⅱ層	磨製石斧	2	16.35	4.5	3.0	359.2	砂岩
1597	MI57 Ⅱ層	磨製石斧	2	[7.5]	4.3	2.6	[123.0]	安山岩
1598	ME57 Ⅱ層	磨製石斧	2	[9.7]	4.7	3.7	[210.9]	砂岩
1599	MI45 Ⅱ層	磨製石斧	2	[10.4]	5.6	2.9	[249.7]	砂岩
1600	SQ23	磨製石斧	2	[12.2]	5.5	2.7	[261.9]	安山岩
1601	MI52 Ⅱ層	磨製石斧	2	[10.0]	6.2	3.2	[320.6]	安山岩
1602	MG43 Ⅱ層	磨製石斧	2	9.7	5.2	3.1	[152.9]	安山岩
1603	Ⅱ層	磨製石斧	2	12.5	6.5	2.8	[294.1]	安山岩
1604	MI57 Ⅳ層	打製石斧	1	13.9	5.3	3.0	289.6	花崗岩
1605	MK48 A2号沢跡 Ⅱ層	打製石斧	1	14.3	5.9	3.5	389.5	ホルンフェルス
1606	ME56 Ⅱ層	打製石斧	1	15.6	7.5	4.3	358.1	砂岩
1607	MG50 Ⅱ層	打製石斧	1	15.5	5.5	1.9	365.5	砂岩磨岩互層
1608	MG49 Ⅱ層	打製石斧	1	18.5	6.7	1.8	295.3	赤紫色頁岩
1609	MJ44 A1号沢跡 Ⅰ層	打製石斧	1	[6.7]	5.3	2.0	[100.7]	頁岩古生層
1610	MK50 Ⅱ層	打製石斧	1	[8.0]	6.5	3.1	[195.6]	凝灰岩古生層
1611	MF57 A4号沢跡 1層	打製石斧	1	[8.4]	6.0	3.5	[249.9]	砂岩古生層
1612	MI46 Ⅱ層	打製石斧	1	[8.4]	4.6	2.5	[112.3]	頁岩古生層
1613	攪乱	打製石斧	1	[8.5]	4.2	2.4	[77.3]	頁岩古生層
1614	攪乱	打製石斧	1	[9.2]	4.1	2.3	[108.4]	砂岩古生層
1615	MK47 Ⅱ層	打製石斧	1	[9.6]	[5.7]	2.1	[110.3]	頁岩古生層
1616	MJ43 Ⅱ層	打製石斧	1	10.3	4.4	1.7	75.4	砂岩古生層
1617	MG52 Ⅱ層	打製石斧	1	[10.6]	6.0	3.7	[337.5]	ホルンフェルス古生層
1618	攪乱	打製石斧	1	[10.8]	6.6	2.2	[215.5]	砂岩古生層
1619	MG43 Ⅱ層	打製石斧	1	[11.1]	4.7	2.8	[194.4]	砂岩古生層
1620	MK57 A4号沢跡 1層	打製石斧	1	[11.5]	6.0	3.5	[321.3]	砂岩古生層
1621	MD56 Ⅱ層	打製石斧	1	[12.0]	6.1	2.6	[269.8]	ホルンフェルス古生層
1622	MF56 Ⅱ層	打製石斧	1	[12.2]	[5.1]	1.9	[139.2]	輝緑凝灰岩古生層
1623	MI49 SX01	打製石斧	1	[12.7]	5.6	2.8	[222.6]	砂岩古生層
1624	MH53 Ⅱ層	打製石斧	1	[12.8]	5.0	3.3	[256.3]	ホルンフェルス古生層
1625	MJ46 Ⅱ層	打製石斧	1	[13.1]	7.6	3.0	[379.7]	スレート古生層
1626	MI53 Ⅱ層	打製石斧	1	[13.4]	7.8	2.6	[346.7]	砂岩古生層
1627	MK46 Ⅱ層	打製石斧	1	13.5	5.4	2.6	228.6	砂岩古生層
1628	MK47 Ⅱ層中	打製石斧	1	[14.0]	6.9	4.5	[511.9]	砂岩古生層
1629	P796 埋土	打製石斧	1	[14.3]	5.5	3.2	[368.1]	砂岩古生層
1630	SQ21	打製石斧	1	[14.5]	7.4	2.9	[458.1]	輝緑凝灰岩古生層
1631	SQ23	打製石斧	1	[16.4]	9.5	3.3	[516.1]	砂岩古生層
1632	MD58 表土	打製石斧	1	[16.4]	6.8	4.1	[587.6]	砂岩古生層
1633	MK49 A2号沢跡 2層	打製石斧	1	[16.5]	5.4	4.0	[440.4]	ホルンフェルス古生層
1634	MM40 Ⅱ層	打製石斧	1	[17.1]	7.0	4.4	[775.1]	ホルンフェルス古生層
1635	MK48 A2号沢跡 1層	打製石斧	1	[19.1]	5.0	1.5	[164.9]	スレート古生層
1636	MH52 Ⅱ層	打製石斧	1	[21.6]	7.0	2.0	[410.7]	凝灰岩古生層

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1637	M I 43 Ⅱ層	打製石斧	2 a	8.8	6.7	3.7	197.9	頁岩
1638	M I 42 A 3号沢跡 2層	打製石斧	2 a	9.7	5.9	2.0	108.5	ホルンフェルス
1639	MF55 Ⅱ層	打製石斧	2 a	14.85	10.2	2.8	372.5	砂岩
1640	MH50 Ⅱ層	打製石斧	2 a	19.6	13.1	1.9	431.2	砂岩
1641	MC58 SD03 2層	打製石斧	2 a	[9.9]	8.2	2.0	[219.2]	輝緑凝灰岩古生層
1642	攪乱	打製石斧	2 a	[10.9]	5.9	1.6	[102.2]	スレート古生層
1643	M I 45 Ⅱ層	打製石斧	2 a	[11.0]	6.7	2.7	[178.3]	凝灰岩古生層
1644	M I 52 Ⅱ層	打製石斧	2 a	[11.7]	10.2	2.3	[278.7]	凝灰岩古生層
1645	A 1号沢跡 1層	打製石斧	2 a	[12.0]	7.1	0.8	[90.0]	凝灰岩古生層
1646	ME56 Ⅱ層	打製石斧	2 a	[12.4]	9.6	1.9	[333.1]	スレート古生層
1647	MK48 Ⅱ層	打製石斧	2 a	[13.5]	7.2	1.6	[150.9]	凝灰岩古生層
1648	MK48 A 2号沢跡 1層	打製石斧	2 a	[13.7]	[6.9]	2.3	[252.5]	輝緑凝灰岩古生層
1649	ME55 Ⅱ層	打製石斧	2 a	[14.9]	10.6	2.3	[364.7]	スレート古生層
1650	M J 47 A 2号沢跡 1層	打製石斧	2 a	[19.8]	7.8	1.6	[228.8]	スレート古生層
1651	S K 34 埋土	打製石斧	2 b	6.7	4.8	3.0	63.7	頁岩
1652	ME54 Ⅱ層上	打製石斧	2 b	11.9	8.3	2.4	193.9	砂岩
1653	M J 47 1層	打製石斧	2 b	13.4	7.5	2.25	265.8	砂岩
1654	MH50 Ⅱ層	打製石斧	2 b	19.85	10.3	1.7	451.6	赤紫色頁岩
1655	M J 45 Ⅱ層	打製石斧	2 b	20.2	8.1	1.6	368.9	赤紫色頁岩
1656	MH46 Ⅱ層	打製石斧	2 b	26.7	10.8	3.0	660.4	ホルンフェルス
1657	Ⅱ層	打製石斧	2 b	[7.3]	[4.4]	0.8	[20.0]	頁岩古生層
1658	ME55 Ⅱ層	打製石斧	2 b	10.6	6.6	2.1	129.1	砂岩古生層
1659	ME55 Ⅱ層上	打製石斧	2 b	[13.9]	11.9	2.6	[364.2]	スレート古生層
1660	攪乱	打製石斧	2 b	[14.5]	5.9	2.1	[178.2]	珸質頁岩
1661	MM40 Ⅱ層	打製石斧	2 b	[18.4]	10.3	2.3	[494.3]	スレート古生層
1662	S Q 23	打製石斧	3	8.5	9.8	2.9	326.7	頁岩
1663	ML49 A 2号沢跡 1層	打製石斧	3	7.8	11.5	2.7	360.5	ホルンフェルス
1664	M I 54 Ⅱ層	打製石斧	3	11.5	10.1	6.4	683.0	ホルンフェルス
1665	MQ36 Ⅱ層	打製石斧	3	12.3	10.5	5.9	995.5	ホルンフェルス
1666	S Q 21	打製石斧	3	[10.5]	9.9	3.2	[319.3]	ホルンフェルス古生層
1667	MK48 A 2号沢跡 1層	打製石斧	3	7.5	7.0	3.9	219.6	頁岩古生層
1668	MF57 A 4号沢跡 1層	打製石斧	3	[8.5]	[8.8]	3.4	[291.2]	ホルンフェルス古生層
1669	P 572 埋土	打製石斧	3	[8.9]	8.3	3.1	[203.9]	砂岩古生層
1670	M J 47 A 2号沢跡 1層	打製石斧	3	9.7	[9.8]	3.3	[326.9]	砂岩古生層
1671	M J 48 A 2号沢跡 1層	打製石斧	3	[9.9]	[7.9]	3.6	[377.3]	ホルンフェルス古生層
1672	MG56 Ⅱ層	打製石斧	3	10.5	11.3	5.6	793.4	頁岩古生層
1673	MG51 Ⅱ層下	打製石斧	3	[16.0]	[11.8]	4.4	[910.5]	ホルンフェルス古生層
1674	M J 47 Ⅱ層	磨石	1	8.0	7.3	5.7	473.3	安山岩
1675	MG56 Ⅱ層	磨石	1	8.3	7.4	4.1	378.6	安山岩
1676	MH56 Ⅱ層	磨石	1	9.9	8.6	7.0	926.2	安山岩
1677	MK51 Ⅱ層	磨石	1	11.0	5.7	4.9	461.9	安山岩
1678	MD56 Ⅱ層下	磨石	1	11.4	7.6	6.6	841.2	安山岩
1679	MG56 Ⅱ層	磨石	1	11.6	8.6	4.9	684.9	安山岩
1680	MG44 SD21 埋土	磨石	1	9.5	10.8	8.1	1128.0	花園岩
1681	S Q 23	磨石	1	12.8	9.2	4.5	465.6	安山岩質スコリア
1682	S Q 23	磨石	1	14.4	7.3	5.7	928.8	珸岩
1683	S Q 23	磨石	1	14.0	9.8	6.7	1340.3	砂岩
1684	Ⅱ層	磨石	1	5.5	4.5	4.1	107.7	砂岩
1685	MO40 攪乱	磨石	1	6.6	6.0	5.9	205.6	砂岩
1686	MK50 Ⅱ層	磨石	1	6.7	5.4	3.3	141.5	砂岩
1687	M J 47 A 2号沢跡 1層	磨石	1	7.1	6.6	3.7	237.5	安山岩
1688	MH50 Ⅱ層	磨石	1	7.2	5.6	5.1	276.5	安山岩
1689	攪乱	磨石	1	7.2	5.7	5.1	296.4	安山岩
1690	M J 45 A 1号沢跡 2層	磨石	1	7.5	6.8	5.7	410.8	安山岩

号番	出土位置・冠位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1691	機乱	磨石	1	7.5	7.4	4.9	386.4	安山岩
1692	MJ46 Ⅱ磨	磨石	1	7.7	7.2	3.8	289.9	安山岩
1693	MG52 Ⅱ磨	磨石	1	7.8	7.3	5.1	401.2	安山岩
1694	表採	磨石	1	7.8	5.4	5.2	329.7	安山岩
1695	MJ54 Ⅱ磨	磨石	1	7.9	7.4	5.9	470.3	安山岩
1696	MJ48 A2号沢跡 1層	磨石	1	7.9	7.4	5.4	422.9	安山岩
1697	MN40 Ⅱ磨	磨石	1	7.9	6.8	5.7	404.9	安山岩
1698	M152 Ⅱ磨	磨石	1	8.0	5.3	4.4	263.8	安山岩
1699	ML43 Ⅱ磨	磨石	1	8.1	7.8	4.6	402.9	安山岩
1700	MQ36 Ⅱ磨	磨石	1	8.1	6.1	5.2	410.7	安山岩
1701	SK105 燧土	磨石	1	8.2	7.5	5.5	434.3	安山岩
1702	MH44 SD21 燧土	磨石	1	8.2	6.9	4.9	382.7	安山岩
1703	MH44 SD21 1磨	磨石	1	8.2	7.4	4.4	374.2	安山岩
1704	SQ23	磨石	1	8.2	7.9	5.4	486.6	安山岩
1705	M146 Ⅱ磨	磨石	1	8.2	7.5	6.0	526.9	安山岩
1706	M156 Ⅱ磨	磨石	1	8.2	7.7	6.3	564.2	安山岩
1707	MN39 Ⅱ磨	磨石	1	8.2	6.7	4.6	350.3	安山岩
1708	MQ36 Ⅱ磨	磨石	1	8.2	7.5	4.5	361.3	安山岩
1709	SK105 燧土	磨石	1	8.3	6.1	4.6	338.2	安山岩
1710	M145 Ⅱ磨	磨石	1	8.3	7.6	5.6	504.7	安山岩
1711	MK43 Ⅱ磨	磨石	1	8.3	8.0	3.6	345.6	安山岩
1712	MG43 Ⅱ磨	磨石	1	8.3	5.7	3.7	250.7	安山岩
1713	MJ48 A2号沢跡 4層	磨石	1	8.4	7.6	5.5	489.2	安山岩
1714	M143 I磨	磨石	1	8.5	8.1	4.7	457.9	安山岩
1715	MG50 Ⅱ磨	磨石	1	8.6	7.9	6.0	545.5	安山岩
1716	MO40 機乱	磨石	1	8.6	7.6	6.6	536.2	安山岩
1717	機乱	磨石	1	8.6	8.1	5.9	606.0	安山岩
1718	M156 Ⅱ磨	磨石	1	8.7	7.0	4.9	268.3	安山岩質スコリア
1719	ML40 Ⅱ磨	磨石	1	8.7	8.3	5.0	514.0	石英安山岩
1720	MG56 SB13 燧土	磨石	1	8.8	8.2	5.9	531.0	安山岩
1721	MH59 SD03 2層	磨石	1	8.9	6.1	6.4	526.5	安山岩
1722	MG54 Ⅲ層下	磨石	1	8.9	8.2	3.7	410.4	安山岩
1723	MK49 Ⅱ磨	磨石	1	8.9	6.9	5.0	419.5	安山岩
1724	MF50 Ⅱ磨	磨石	1	8.9	7.1	5.9	540.7	安山岩
1725	MK47 A2号沢跡 1層	磨石	1	8.9	7.6	5.3	506.1	安山岩
1726	MH44 SD21 燧土	磨石	1	9.0	8.3	4.5	447.7	安山岩
1727	Ⅱ磨	磨石	1	9.1	7.8	5.2	524.6	安山岩
1728	MJ48 Ⅱ磨	磨石	1	9.1	8.3	7.2	694.9	安山岩
1729	ML46 A1号沢跡 2層	磨石	1	9.1	8.4	7.9	853.1	安山岩
1730	MO40 機乱	磨石	1	9.1	6.8	3.9	281.1	安山岩質スコリア
1731	MK44 Ⅱ磨	磨石	1	9.2	7.5	5.3	510.4	安山岩
1732	M156 Ⅱ磨	磨石	1	9.2	6.1	6.2	488.4	安山岩
1733	ML43 Ⅱ磨	磨石	1	9.4	8.4	5.3	358.0	安山岩質スコリア
1734	ML43 Ⅱ磨	磨石	1	9.5	9.4	7.3	911.4	安山岩
1735	MK47 A2号沢跡 1層	磨石	1	9.5	9.4	4.9	584.9	安山岩
1736	SQ23	磨石	1	9.6	7.6	5.5	578.2	砂岩
1737	ME55 Ⅲ磨	磨石	1	9.6	7.6	6.5	664.9	安山岩
1738	MK47 A2号沢跡 1層	磨石	1	9.6	8.7	4.5	509.6	安山岩
1739	表採	磨石	1	9.6	8.6	5.3	587.8	流紋岩
1740	MK44 Ⅱ磨	磨石	1	[9.6]	8.9	4.1	[494.5]	安山岩
1741	MM46 A1号沢跡 4層	磨石	1	9.7	8.2	6.3	743.0	安山岩
1742	MN40 Ⅱ磨	磨石	1	9.7	8.0	4.3	489.5	安山岩
1743	M143 Ⅱ磨	磨石	1	9.8	8.2	4.9	567.0	安山岩
1744	MK44 Ⅱ磨	磨石	1	9.8	6.2	4.1	352.7	安山岩

号簿	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1745	MK40 A2号沢跡 2層	磨石	1	9.8	8.5	5.7	668.5	安山岩
1746	M151 II層	磨石	1	9.9	8.3	6.8	836.0	安山岩
1747	SQ23	磨石	1	10.0	9.3	8.6	1385.3	安山岩
1748	ML50 II層	磨石	1	10.0	6.8	4.9	498.9	安山岩
1749	MG51 II層	磨石	1	10.1	9.4	5.8	789.7	安山岩
1750	MO40 II層	磨石	1	10.1	8.4	5.8	651.4	安山岩
1751	MK18 II層	磨石	1	10.2	7.6	5.0	573.7	安山岩
1752	ME56 II層	磨石	1	10.3	8.0	5.6	676.8	安山岩
1753	M146 II層	磨石	1	[10.3]	10.0	8.6	[1397.4]	砂岩
1754	MK46 A1号沢跡 2層上	磨石	1	10.4	10.3	5.9	859.3	安山岩
1755	盛土	磨石	1	10.5	8.2	5.8	699.2	安山岩
1756	MQ37 II層	磨石	1	10.6	8.5	7.5	721.0	砂岩
1757	MH51	磨石	1	10.8	8.4	4.9	366.0	安山岩質スコリア
1758	MF54 SB14 埋土	磨石	1	10.8	10.5	6.6	1147.3	安山岩
1759	攪乱	磨石	1	10.8	7.9	6.0	321.2	安山岩質スコリア
1760	SQ23	磨石	1	11.0	8.3	5.5	680.4	安山岩
1761	MH46 II層	磨石	1	11.0	8.0	4.6	572.8	安山岩
1762	SK105 盛土	磨石	1	11.1	6.3	6.1	591.0	安山岩
1763	ML49 盛土	磨石	1	11.1	8.8	6.9	961.9	安山岩
1764	表層	磨石	1	11.1	7.7	4.8	619.1	安山岩
1765	MH59 SD03 2層	磨石	1	11.2	8.9	5.4	419.2	安山岩
1766	MJ45 A1号沢跡 2層	磨石	1	11.2	9.0	6.4	976.3	安山岩
1767	攪乱	磨石	1	11.2	10.7	6.0	1065.7	安山岩
1768	3トレンチ 攪乱	磨石	1	11.2	8.6	5.7	569.3	安山岩質スコリア
1769	MJ47 II層	磨石	1	11.2	7.1	4.4	339.1	安山岩質スコリア
1770	M152 II層	磨石	1	11.4	8.5	4.3	376.9	安山岩
1771	MD55 II層	磨石	1	11.5	8.0	5.6	778.1	安山岩
1772	II層	磨石	1	11.6	6.8	4.1	536.8	安山岩
1773	MF56 II層	磨石	1	11.6	9.5	6.0	916.9	安山岩
1774	MK49 A2号沢跡 2層	磨石	1	11.7	10.2	7.6	1185.5	安山岩
1775	MH44 IV層	磨石	1	11.8	5.9	4.0	459.5	砂岩
1776	M146 II層	磨石	1	11.8	8.8	6.8	1053.2	安山岩
1777	MH43 II層	磨石	1	11.9	8.5	4.6	675.0	安山岩
1778	MJ52 II層	磨石	1	11.9	9.2	5.4	766.6	安山岩
1779	ML40 II層	磨石	1	12.0	7.5	3.9	499.2	安山岩
1780	MH44 SD21	磨石	1	12.2	7.7	5.9	772.2	安山岩
1781	MK46 A1号沢跡 2層上	磨石	1	12.2	10.0	6.1	1042.3	安山岩
1782	MK48 II層	磨石	1	12.3	9.8	7.0	1299.7	安山岩
1783	MK43 II層	磨石	1	12.7	8.2	5.5	799.5	安山岩
1784	MF47 攪乱	磨石	1	12.8	11.0	6.6	1206.7	安山岩
1785	ML51 II層	磨石	1	12.9	10.0	7.1	1266.7	安山岩
1786	M146 II層	磨石	1	13.2	7.4	[6.6]	[1038.0]	砂岩
1787	II層	磨石	1	13.3	9.3	6.3	1206.7	安山岩
1788	SQ24	磨石	1	13.3	10.7	7.4	1221.5	安山岩
1789	MO40 攪乱	磨石	1	13.3	9.5	5.9	1178.1	砂岩
1790	MJ45 A1号沢跡 2層	磨石	1	13.5	10.1	6.8	1377.4	安山岩
1791	P760 埋土	磨石	1	13.6	7.1	5.5	736.1	安山岩
1792	衣採	磨石	1	13.8	8.9	6.8	1236.0	砂岩
1793	M153 II層	磨石	1	13.9	9.5	7.7	741.9	安山岩質スコリア
1794	MO40 II層	磨石	1	15.2	7.0	4.8	770.2	安山岩
1795	MK51 II層	磨石	1	15.6	9.0	7.8	1653.1	安山岩
1796	M151 II層	磨石	2	7.0	4.8	6.0	261.1	安山岩
1797	MJ48 A2号沢跡 1層	磨石	2	12.8	6.5	4.0	274.6	安山岩質スコリア
1798	M156 II層	磨石	2	13.5	8.1	6.8	814.8	安山岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石	頁
1799	磁土	磨石	2	8.9	12.0	8.6	1409.4	安山岩	
1800	M J 45 Ⅱ層	磨石	2	14.9	9.0	4.2	870.5	安山岩	
1801	M F 56 Ⅱ層下	磨石	2	13.2	10.0	6.5	1274.4	安山岩	
1802	攪乱	磨石	2	7.1	6.5	6.2	412.4	安山岩	
1803	攪乱	磨石	2	7.3	7.4	4.5	378.8	安山岩	
1804	攪乱	磨石	2	8.5	6.5	6.3	390.6	砂岩	
1805	M J 48 A 2号沢跡 1層	磨石	2	8.6	7.2	5.6	599.1	安山岩	
1806	M I 43 Ⅱ層	磨石	2	8.8	6.7	6.3	556.2	安山岩	
1807	M N 40 Ⅱ層	磨石	2	10.5	6.7	4.9	527.4	安山岩	
1808	S K 105 埋土	磨石	2	11.4	8.4	7.2	1027.8	ホルンフェルス	
1809	M P 35 Ⅱ層	磨石	2	12.4	6.2	2.9	343.9	安山岩	
1810	M F 56 4号沢跡 2層	磨石	2	14.3	7.9	4.7	651.1	安山岩	
1811	S K 02 S 63	磨石	2	[16.6]	10.2	[5.9]	[1367.6]	安山岩	
1812	M I 46 Ⅱ層	磨石	3	8.1	8.0	1.9	175.4	安山岩	
1813	M G 59 S D 03 1層	磨石	3	10.1	8.4	2.3	288.3	安山岩	
1814	M P 37 攪乱	磨石	3	12.4	9.7	2.1	395.8	安山岩	
1815	M I 44 Ⅱ層	磨石	3	9.2	8.9	2.8	363.5	安山岩	
1816	M I 40 Ⅱ層	磨石	3	9.3	7.1	2.7	246.3	安山岩	
1817	M J 45 A 1号沢跡 1層	磨石	3	12.7	10.4	2.5	483.1	安山岩	
1818	M M 39 Ⅱ層	磨石	3	13.1	8.8	3.3	581.9	安山岩	
1819	M G 55 S D 15 Ⅱ層	磨石	4	9.5	8.0	6.5	801.9	安山岩	
1820	M G 35 Ⅱ層	磨石	4	10.5	9.6	7.2	1000.4	花崗岩	
1821	M H 45 Ⅱ層	磨石	4	15.2	6.6	3.5	527.9	凝灰質砂岩	
1822	M D 58 S D 03 2層	磨石	4	15.2	2.9	1.8	109.7	砂岩	
1823	M K 39 Ⅱ層	磨石	4	16.2	5.6	4.3	625.4	安山岩	
1824	M F 57 Ⅱ層	磨石	4	11.5	5.7	3.4	409.8	安山岩	
1825	Ⅱ層	半円状	5	11.5	6.8	3.2	412.3	安山岩	
1826	M L 48 A 2号沢跡 1層	円石	1	7.6	6.8	4.1	279.6	安山岩質スコリア	
1827	M I 45 Ⅱ層	円石	1	9.1	8.6	6.7	476.2	安山岩質スコリア	
1828	M I 45 A 1号沢跡 1層	円石	1	9.5	8.2	4.0	258.9	凝灰岩	
1829	M H 54 S B 13 埋土	円石	1	9.3	7.0	2.6	107.3	安山岩質スコリア	
1830	M D 56 Ⅱ層	円石	1	12.1	8.0	6.3	591.7	安山岩	
1831	M K 47 A 2号沢跡 1層	円石	1	13.0	7.2	3.4	466.9	石英安山岩	
1832	M A 71 Ⅱ層	円石	1	13.1	11.7	3.2	386.1	安山岩質スコリア	
1833	M J 45 A 1号沢跡 2層	円石	1	12.4	6.5	4.6	618.8	安山岩	
1834	M D 55 Ⅱ層下	円石	1	12.1	5.2	2.7	235.5	安山岩	
1835	M K 53 Ⅱ層	円石	1	13.4	6.2	4.0	477.8	砂岩	
1836	M J 48 A 2号沢跡 1層	円石	1	3.8	3.7	1.2	20.0	砂岩	
1837	M O 40 攪乱	円石	1	7.3	6.4	4.3	201.5	安山岩質スコリア	
1838	攪乱	円石	1	7.3	6.9	5.0	321.7	安山岩	
1839	M L 46 A 1号沢跡 2層	円石	1	8.2	7.3	5.3	448.9	石英安山岩	
1840	M J 48 A 2号沢跡 1層	円石	1	8.2	5.5	4.1	131.2	安山岩質スコリア	
1841	M I 40 Ⅱ層	円石	1	[8.5]	[9.0]	3.5	[271.7]	石英安山岩	
1842	M H 40 Ⅱ層	円石	1	9.2	5.9	2.6	120.1	安山岩質スコリア	
1843	M E 57 Ⅱ層	円石	1	[9.3]	6.6	3.5	[249.9]	石英安山岩	
1844	M J 44 Ⅱ層	円石	1	[9.8]	8.7	6.6	[381.3]	安山岩質スコリア	
1845	S B 01 粘土	円石	1	10.3	8.9	3.6	386.9	砂岩	
1846	M D 55 Ⅱ層	円石	1	[11.3]	[7.8]	7.3	[436.7]	安山岩質スコリア	
1847	M I 46 Ⅱ層	円石	1	[11.6]	6.2	4.3	[502.6]	安山岩	
1848	M J 44 Ⅱ層	円石	1	[11.8]	7.6	3.1	[287.6]	石英安山岩	
1849	M H 52 S Q 21 埋土	円石	1	12.1	8.1	4.3	571.4	安山岩質スコリア	
1850	M L 51 Ⅱ層	円石	1	12.3	8.0	5.2	644.8	安山岩質砂岩	
1851	表土	円石	1	12.3	8.0	3.5	410.5	砂岩	
1852	M H 51 Ⅱ層	円石	1	13.9	8.1	6.7	628.1	安山岩質スコリア	

写番	出上位層・層位	器種	分類	長さ	幅	厚さ	重量	石質
1853	MG55 4号沢跡 2層	凹石	1	14.2	8.5	6.0	346.3	安山岩質スコリア
1854	M157 Ⅱ層	凹石	1	14.5	7.3	3.2	440.3	石英安山岩
1855	MK48 A2号沢跡 1層	凹石	1	15.1	10.4	7.0	637.2	安山岩質スコリア
1856	MH41 Ⅱ層	凹石	1	16.5	4.9	4.5	495.6	石英安山岩
1857	MG50 Ⅱ層	凹石	2	9.4	8.3	3.8	421.2	安山岩
1858	MG50 Ⅱ層	凹石	2	8.5	6.3	3.0	243.8	安山岩
1859	MG53 Ⅱ層	凹石	2	10.5	7.3	3.4	344.9	安山岩
1860	MD55 Ⅱ層	凹石	2	10.8	10.2	5.9	811.3	安山岩
1861	M145 Ⅱ層	凹石	2	13.7	7.6	2.8	438.2	安山岩
1862	M145 Ⅱ層	凹石	2	11.7	8.5	11.9	1773.7	安山岩
1863	M146 A1号沢跡 1層	凹石	2	15.0	8.8	5.5	482.1	安山岩質スコリア
1864	MF55 4号沢跡 2層	凹石	2	16.9	8.2	6.2	622.6	安山岩質スコリア
1865	攪乱	凹石	2	13.3	11.3	5.2	589.8	安山岩質スコリア
1866	SQ23	凹石	2	20.3	15.4	8.0	2351.3	安山岩質スコリア
1867	MH52 SQ21 埋土	凹石	2	10.2	10.0	6.8	434.7	安山岩質スコリア
1868	SQ23	凹石	2	15.6	10.0	8.4	850.9	安山岩質スコリア
1869	M145 A1号沢跡 1層	凹石	2	[7.4]	6.9	3.3	[245.0]	安山岩
1870	M145 Ⅱ層	凹石	2	7.5	7.3	4.6	366.2	安山岩
1871	MG49 埋土	凹石	2	8.2	8.1	5.9	499.6	安山岩
1872	MF57 Ⅱ層	凹石	2	8.5	7.6	4.5	423.5	安山岩
1873	攪乱	凹石	2	9.3	5.2	6.6	389.4	石英安山岩
1874	M149 SX01	凹石	2	9.4	8.9	3.8	344.2	安山岩
1875	攪乱	凹石	2	9.4	7.5	6.1	360.1	安山岩質スコリア
1876	MH46 Ⅱ層	凹石	2	9.7	9.0	8.3	1109.4	安山岩
1877	MK52 Ⅱ層	凹石	2	9.8	8.0	4.6	516.9	安山岩
1878	M145 A1号沢跡 1層	凹石	2	9.9	7.6	3.9	430.7	安山岩
1879	MG55 Ⅱ層	凹石	2	10.1	8.1	4.6	549.6	安山岩
1880	M147 A2号沢跡 1層	凹石	2	10.1	8.2	5.3	616.3	安山岩
1881	Ⅱ層	凹石	2	10.1	7.3	5.6	377.0	安山岩質スコリア
1882	ME57 Ⅱ層	凹石	2	10.2	8.3	5.7	729.3	安山岩
1883	SQ23	凹石	2	10.3	8.9	5.7	755.6	安山岩
1884	MH51 Ⅱ層	凹石	2	10.3	8.0	3.2	365.4	安山岩
1885	MH51 Ⅱ層	凹石	2	10.4	8.1	5.2	890.1	安山岩
1886	M145 A1号沢跡 1層	凹石	2	10.4	9.1	6.8	884.6	安山岩質溶岩
1887	M146 A1号沢跡 1層	凹石	2	10.6	6.5	3.4	360.4	安山岩
1888	表探	凹石	2	10.6	8.7	6.5	722.3	安山岩
1889	SK105 埋土	凹石	2	10.7	8.1	5.4	742.2	砂岩
1890	SQ21	凹石	2	10.8	7.4	4.5	503.6	安山岩
1891	攪乱	凹石	2	10.8	8.4	6.7	483.6	凝灰岩
1892	ME55 Ⅱ層	凹石	2	11.1	9.2	4.9	735.0	安山岩
1893	MG54 Ⅱ層	凹石	2	11.1	6.3	4.0	387.1	安山岩
1894	MK47 A2号沢跡 5層	凹石	2	11.4	8.0	5.7	751.0	安山岩質溶岩
1895	MK38 Ⅱ層	凹石	2	11.4	8.8	7.6	1088.4	石英安山岩
1896	MH51 Ⅱ層	凹石	2	11.7	8.4	6.0	838.0	安山岩
1897	MG55 Ⅱ層	凹石	2	11.9	9.2	7.6	1271.3	安山岩
1898	MN40 Ⅱ層	凹石	2	11.9	11.3	5.5	532.0	安山岩質スコリア
1899	ME59 SD03 2層	凹石	2	12.0	10.4	8.2	1445.5	安山岩
1900	Ⅱ層	凹石	2	12.1	9.3	4.9	451.0	安山岩質スコリア
1901	攪乱	凹石	2	12.7	9.3	8.7	1482.7	石英安山岩
1902	MH40 Ⅱ層	凹石	2	12.8	9.4	5.7	895.9	石英安山岩
1903	MM38 Ⅱ層	凹石	2	13.1	6.6	3.4	462.7	安山岩
1904	MK49 Ⅱ層	凹石	2	13.5	6.9	3.6	520.3	安山岩
1905	MM40 Ⅱ層	凹石	2	14.1	8.0	6.4	991.5	安山岩
1906	MF56 4号沢跡 2層	凹石	3	18.4	19.1	6.2	983.0	流紋岩質凝灰岩

写番	出土位置・層位	器種	分類	長さ	輪	厚さ	重量	石質
1907	ML51 RQ1	石皿	1	26.1	28.8	7.7	4046.4	安山岩
1908	MG52 Ⅱ層	石皿	1	13.9	18.8	5.2	1575.1	安山岩
1909	M145 Ⅱ層	石皿	1	17.8	24.6	7.2	3158.9	安山岩
1910	MK48 A2号沢跡 1層	石皿	1	7.9	16.9	6.5	932.9	安山岩
1911	M145 A1号沢跡	石皿	1	[10.3]	[14.5]	5.4	[1841.2]	石英安山岩
1912	SQ23	石皿	1	11.0	9.8	4.4	651.9	安山岩
1913	MJ45 Ⅱ層	石皿	1	[16.3]	10.4	8.0	[2271.9]	安山岩
1914	SQ23	石皿	1	20.0	[9.3]	7.6	[1486.3]	安山岩
1915	MJ45 Ⅱ層	石皿	2a	9.2	14.7	3.7	748.0	砂岩
1916	SQ23	石皿	2a	15.0	10.4	4.8	918.3	アブライト
1917	MH44 SD21 1層	石皿	2a	13.4	16.8	6.8	2030.4	安山岩
1918	MJ45 Ⅱ層	石皿	2a	14.2	17.3	5.3	1211.9	砂岩
1919	MH45 A2号沢跡 最下層	石皿	2a	30.8	18.0	10.7	6500.0	アブライト
1920	MK49 A2号沢跡 2層	石皿	2a	18.0	19.0	9.0	4579.5	安山岩
1921	SQ23	石皿	2a	[10.5]	[10.6]	7.9	[1296.1]	安山岩
1922	MK48 Ⅱ層	石皿	2a	19.7	16.2	6.6	2416.5	安山岩
1923	MK47 A2号沢跡 1層	石皿	2b	13.1	15.5	3.5	956.1	安山岩
1924	ME56 Ⅲ層下	石皿	2b	25.8	14.8	5.6	3931.4	安山岩
1925	MH44 Ⅱ層	石皿	2b	[16.5]	[6.0]	3.0	[505.4]	安山岩
1926	ML47 A2号沢跡 1層	石皿	2b	[17.0]	[12.0]	4.9	[1474.8]	安山岩
1927	MH58 SD22 埋土	砥石門石		11.7	7.9	5.9	441.4	安山岩質スコリア
1928	M147 Ⅱ層	砥石凹石		11.9	8.5	5.65	432.6	安山岩質スコリア
1929	MJ43 Ⅱ層	砥石石		28.0	10.0	7.9	804.0	安山岩質スコリア
1930	MH51 Ⅱ層	砥石?		7.4	7.8	9.3	330.2	安山岩質スコリア
1931	MH41 Ⅱ層	砥石?		19.45	11.5	6.5	661.9	安山岩質スコリア
1932	Ⅱ層	石鉢	1	6.2	6.6	1.6	111.9	安山岩
1933	M140 Ⅱ層	石鉢	1	6.6	7.1	1.3	63.0	安山岩
1934	MH45 Ⅱ層	石鉢	1	8.3	6.5	1.3	207.1	安山岩
1935	MF48 覆瓦	石鉢	1	8.5	8.1	2.2	199.6	安山岩
1936	覆瓦	石鉢	1	8.4	8.3	2.8	285.4	安山岩
1937	MN39 Ⅱ層	石鉢	1	8.6	11.1	3.4	520.2	安山岩
1938	M150 Ⅱ層	石鉢	1	6.9	14.5	2.3	284.2	安山岩
1939	SB08 粘土	石鉢	1	[6.3]	6.0	1.0	[60.8]	スレート
1940	MG56 Ⅲ層下	石鉢	1	6.6	6.5	2.6	125.3	石英安山岩
1941	MK49 Ⅱ層	石鉢	1	6.8	5.9	1.0	55.3	頁岩
1942	表採	石鉢	1	6.9	6.8	2.0	97.4	凝灰岩
1943	A2号沢跡 1層	石鉢	1	7.2	6.8	1.4	76.4	頁岩
1944	MH41 Ⅱ層	石鉢	1	7.3	6.9	2.3	146.4	安山岩
1945	4トレンチ Ⅱ層	石鉢	1	8.1	6.7	1.3	100.9	安山岩
1946	MJ45 Ⅱ層	石鉢	1	8.4	7.5	1.7	129.9	頁岩
1947	MH45 A2号沢跡 2層	石鉢	1	10.8	8.7	2.2	300.5	安山岩
1948	MM40 Ⅱ層	石鉢	1	11.7	10.4	2.3	415.0	安山岩
1949	MA70 表土	石鉢	2	7.6	9.2	1.4	147.9	安山岩
1950	MP35 Ⅱ層	石鉢	2	7.5	10.3	1.4	174.5	安山岩
1951	ME59 SD03 1層	石鉢	2	9.6	15.3	1.8	259.5	凝灰質砂岩
1952	MG56 Ⅲ層上面	石鉢	3	[8.7]	[9.4]	[2.7]	[256.8]	リバライト
1953	M147 A2号沢跡 1層	有孔礫		7.85	6.2	2.9	169.1	リバライト
1954	表採	有孔礫		6.1	7.6	3.0	167.6	砂岩
1955	ML49 Ⅱ層	有孔礫		8.9	6.0	2.5	141.3	リバライト
1956	MK51 Ⅱ層	有孔礫		11.1	10.1	3.0	397.2	リバライト
1957	MK48 Ⅱ層	有孔礫		9.7	6.1	3.4	214.0	リバライト
1958	ME56 Ⅲ層	有孔礫		12.9	10.7	4.1	598.6	リバライト
1959	M146 Ⅱ層	有孔礫		15.7	12.4	2.9	667.2	石英安山岩

C. 土製品 (第117～129図、第8表、写真図版139～147)

今回の調査で出土した土製品は総数269点、このうちS I 04堅穴住居跡から出土した円盤状土製品4点を除いては遺構外からの出土である。種類的には円盤状土製品、土偶、耳飾り、土版、動物形土製品、スタンブ状土製品、その他(土器と思われる不明製品)などがある。量的には円盤状土製品が175点、土偶が68点と出土量の大半を占める。以下、種類ごとに概述するが、出土量の少ないものはその他として一括した。

円盤状土製品(第117～121図、第8表、写真図版139～142)

出土点数は175点である。残存状態が極めて悪く、残存率の低い14点を除いた161点を図示した。利用された土器片は地文のみのものが多く、出土状況のこともあって時期別・出土地点・層別ではなく、成形(整形)方法および形状により分類して掲載した。周縁加工には打ち欠きと研磨があるが、成形は基本的には打ち欠きによるもので、研磨は摩耗により不明なもの(13点)を除き、主に打ち欠き成形後の整形として行われている。研磨には部分研磨(33点)と全周研磨(10点)があり、部分的な場合には2次堆積ということで角が摩滅したものもあると思われる。いずれにしても部分研磨は局部的で複雑なものに対し、全周を研磨しているものは比較的丁寧になされている。形状は基本的には略円形もしくは略楕円形を呈するが、打ち欠き成形では多角形のものもある。中央部に穿孔をもつもの(51点)とまたないもの(103点)があり、またないものが倍する。未貫通のもの(7点)もわずかにある。利用されている土器破片の部位は大半が体部破片で、口縁部破片(3点)と底部破片(6点)がわずかにある。文様は地文のみのもの(120点)が圧倒的に多いが、無文(15点)、磨消線文(11点)、沈線文等(9点)のものもある。掲載した161点の測定値では長径の最大は11.1cm、最小は2.5cmを測るが、3.5～5cmの範囲でまとまりを示す。各要素の比率は以下の通りであるが、その組み合わせには顕著なまとまりは認められない。

周縁加工	打ち欠き	71%	部分研磨	22%	全周研磨	7%
穿孔	無し	65%	貫通	31%	未貫通	4%
部位	体部	94%	口縁部	2%	底部	4%
文様	地文のみ	74%	無文	9%	沈線文等	5%

土偶(第122～127図、第8表、写真図版142～146)

土偶は68点が出土した。すべて整地層からの出土のため、出土状況からは破損状態も含め特に記する内容は認められない。形状としては完形品はなく、破片部位によっては全体の判断がつかないものもあるが、中空(一部中空)と中実(一部中実)のものがあり、立像以外の姿態をとる土偶は1点のみである。破損の仕方としては、出土状況のこともあって、必ずしも首や手足という壊れやすい箇所ではなく、接合部の剥離が解るものも少ない。時間的には形態及び文様等から比較的細分の可能な個体が多く、後期後半と晩期前葉～弥生初頭と思われるものがある。162～171は後期後半と思われる土偶である。すべて中実で装飾性が乏しい。165には赤色顔料、166は首部破損部にアスファルトが付着している。169には頭部の接続が差し込みと思われる穿孔が認められた。172～190は晩期前葉～中葉の土偶である。173・175・178の3点が中実、ほかは中空である。172～181は所謂遮光器土偶で、172～177は前葉B式期、178～181は中葉C式期のものである。楕円形隆起線眼の182と工字状沈線文の183、それと184の3点は中葉C式期のものである。185～190は小破片のため時期を特定できないが、晩期前葉～中葉と思われる。足先の大きい189と190はC<sub>2</sub>式期か?。191～199は部分的破片であるが、平行沈線と工字状沈線のもので晩期後葉(A式期)の土偶

である。192は座像姿態を呈すると思われるものである。193と194は同一個体と思われるもので、胴部は中空となっている。198は中空、ほかは残存部が少ないため全体は不明であるが、手足部分は中実となっている。200～209は無文もしくは特徴的な文様のない小破片のため、時期が特定できないものだが、後期後半あるいは晩期後葉と思われるもので、200が中空、ほかは中実である。210～229は晩期終末期（A<sup>+</sup>式期）の土偶である。210～214は所謂刺突文土偶である。211は一部中実（腕部）、214が中空、ほかは中実である。210と211は肩部にバット状の粘土が貼り付けられ、腹面には縄文が施される。212～214は刺突文が施される。215～222は所謂結髪形土偶である。216と217が中空、ほかは中実である。215と216の顔は斜め上方を向き、216と217の頭頂部には穿孔がある。219・221・222の乳房は肩から延びる隆帯となっている。223～229は結髪形土偶と刺突文土偶の特徴が融合した晩期最終末（A<sup>+</sup>式期でもより新しい段階）、もしくはそれ以降、あるいは破片のため全体的には判断できないが、弥生土偶（初頭）的のもので、すべて中実である。223・224・226・228は結髪形土偶と刺突文土偶の融合形と思われるもので、223では全面に縄文施文後にミガキがなされ、223と224の耳部には一対の穿孔がある。225は脚部が台状に作られたもので結髪形土偶の文様が施されている。227は腕部（胸部？）に穿孔が2個あり、1個（腕部）は貫通、1個（胸部）は表裏から穿孔されているが、未貫通である。229は両脚が結合したもので、張り出す両足は欠損している。

#### 上記以外の土製品(第128-129図、第8表、写真図版146・147)

すべて遺構外からの出土である。耳飾りは9点出土した。形態的には白形(3点)・耳栓形(2点)・環状所謂滑車形(4点)の3類がある。231の白形の両端部に刻み目、235の滑車形の側面に沈線文が施されているほかは装飾性に乏しい。土版は3点出土した。いずれも破損品であるため詳細は不明であるが、平行沈線やコの字状沈線を密に描いたもので、正中線を挟んで左右対称かつ、表裏両面が同文様となるものと思われる。239は沈線間と側面に刺突が充填され、241は隅(4隅?)が突出したものである。動物形土製品は3点が出土した。すべてクマを模したものとと思われる。242は頭部で首部分は中空となっており、特に装飾は施されていない。蓋等の把手の可能性もある。243は動物内蔵土器から剥離したと思われるもので、全体に刺突が施され、手足に各1個4つの貫通孔がある。244は土器に突起状に張り付けられたもので、刻み目が施され、赤色顔料が付着している。245はスタンプ形土製品である。246～253は土器あるいは土偶とは思われない不明の製品である。254のイノシシ形土製品は型抜き作りで近世～近代、255の土鍾は古代のものと思われる。

#### D. 石製品 (第130～141図、第9表、写真図版147～153)

今回の調査で出土した石製品は総数290点である。このうち縄文時代の遺構から出土したのは円盤状石製品の5点である。種類のには円盤状石製品、石棒・石剣・石刀類、独鈷石、岩版、石冠緑石製品、環状石製品、有孔石製品、玉類、その他の石製品などがある。量的には円盤状石製品が131点、石棒・石剣類が118点と出土量の大半を占める。細片のため形状不明及び装飾のない円盤状石製品2点と石棒・石剣・石刀類80点を除いた208点を掲載した。以下、種類ごとに概述するが、出土量の少ないものはその他として一括した。

#### 円盤状石製品(第130～136図、第9表、写真図版147～151)

出土点数は131点である。残存率の悪い2点を除いた129点を図示した。石材としては安山岩質のものが大半を占める。成形(整形)方法による断面形態で分類した。成形(整形)方法には打欠と研磨があるが、

基本的には成形は打欠により、研磨は一部整形として行われているもので、研磨による成形は1点のみである。打欠成形のものでは未製品ともとれる周縁に自然面を残しているものもある。平面形は略円形がほとんどであるが、自然面を残すものには略方形もしくは多角形的のものもある。分類と点数は以下のとおりである。なお、それぞれの研磨整形(部分的)が認められるものをa、側面に自然面を残すものをbとした。a・bとも2類に最も多く、1類では非常に少ない。最大のものは直径約8.7cm、重量284.6g、最小のものは直径約3.2cm、重量11.6gを測るが、直径約5~6cm、重量は60~100gのものが平均的である。

1類、主として片面から打欠いた断面形が台形状のものである。20点(a1点、b5点)出土した。

2類、両面からおそ交互に打欠いた断面形が略長方形のものである。84点(a13点、b27点)出土した。

3類、両面から対照的に打欠いた断面形が略楕円形のものである。24点(a5点、b2点)出土した。

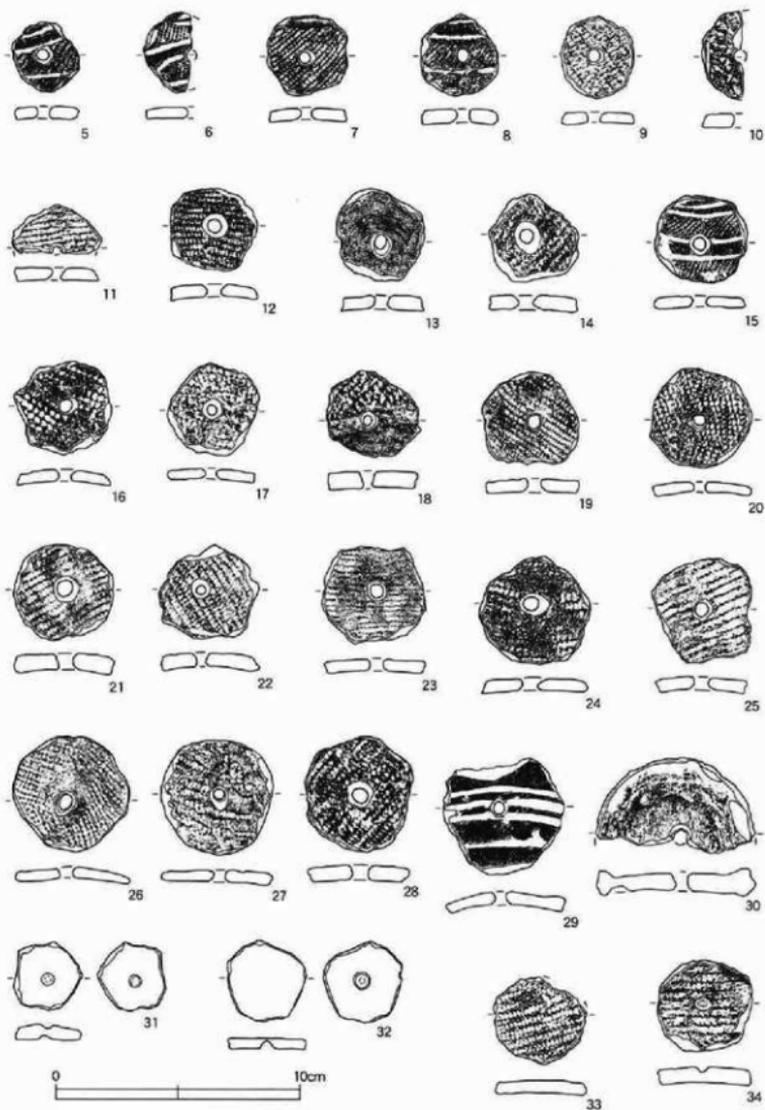
4類、研磨成形のものである。(1点)

#### 石棒・石剣・石刀類(第137・138図、第9表、写真図版151・152)

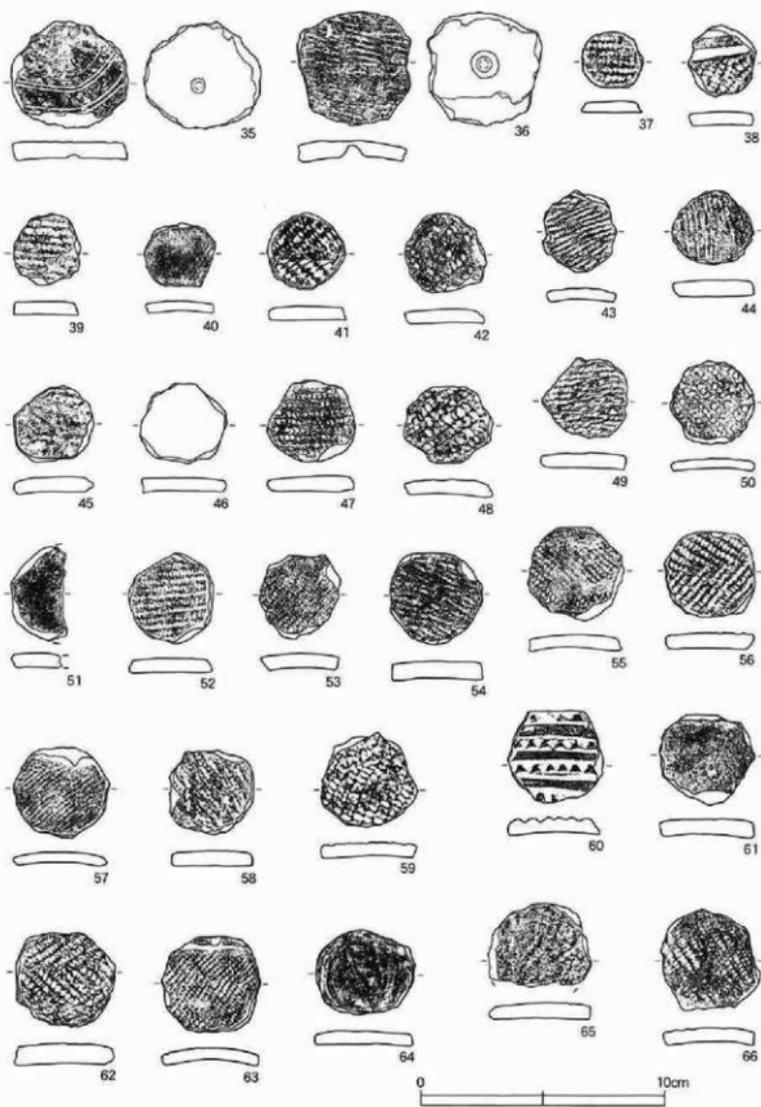
出土点数は118点であるが、小破片が多く完形品はない。端部もしくは文様のある39点を図示した。分類は主に断面形と刃部先端の形態で行ったが、全体の形状、特に頭部のみの場合には判断の難しいものもあり、必ずしも厳密なものではない。掲載したうちでは石棒が16点、石剣が9点、石刀が14点と思われる。成形はいずれも敲打と研磨によってなされている。石棒は断面形が楕円形もしくは円形で、楕円形のものが多い。完形品がないため無頭か両頭かについての判断はつかないが、有頭のものには頭部に強くびれをもつ亀頭状に成形されているものが多い。131の頭部は敲打により多角柱状、135・136の頭部は研磨により円柱状に成形されている。135の頭部には浮彫された帯状の高みに刻みが施され、136の頭部には浮彫的小突起、刃部に沈線文が陰刻される。140・141は端部が角錐状に敲打成形され、132・133は頭部のみ研磨される。石剣は断面形が厚めの凸レンズ状で、直刀となるものである。すべて研磨による成形である。頭部形態には瘤状の2点と沈線代用の1点(148)があり、146は沈線を巡らし括れを強調している。149は中央に沈線を巡らし、沈線間に刺突を充填している。先端部の形状は尖るものと偏平で磨製石斧のようなノミ先状になるものがある。154は実際に磨製石斧かもしれない。石刀は断面形が薄手の凸レンズ状を呈し、明瞭な片刃とはならないが、若干刃反りとなる。168が敲打、ほかは研磨による成形である。頭部の形態にはやや膨らみを帯びるだけのものと偏平な大小の台形に成形してびれに沈線を巡らしたのものが、前者には刃まちが作られている。165の切先には刃部側面に刻みが施されている。

#### 上記以外の石製品(第139~141図、第9表、写真図版152・153)

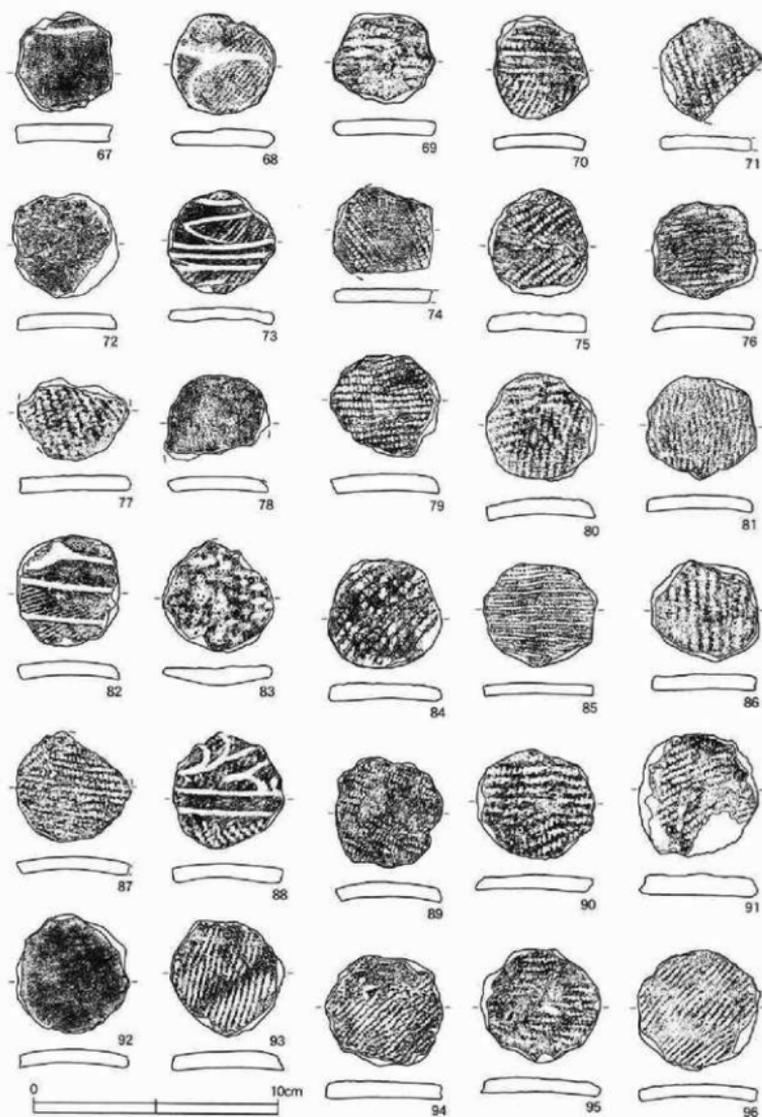
独鈷石は4点出土したが、完形品はない。169のみ両頭部が弧状に反るものと思われる。172は丁寧な研磨で成形(整形)され、中央部の隆起した節が発達しているが、ほかは研磨もやや雑で節も不明瞭である。173・174は石冠と思われるものである。175~185は人工的な穿孔のあるもので、全体的に成形加工された175・176・177は垂飾品と考えられる。ほかは5cm以下の自然礫であるが、小型であるため有孔礫とは区別し、便宜的に有孔石製品とした。184と185は未貫通である。187~190は破損品だが、環状を呈すると思われるもので189と190は成形が丁寧である。小型の玉類は11点出土した。穿孔のない丸玉も2点ある。191~195は小玉、196と197は管玉、198~201は勾玉である。202と203は岩版で、表裏面とも正中線を挟んで左右対象に渦巻きやコの字状の沈線が連続して描かれている。204は丁寧に研磨成形された刃部側面に刻みのある剣先形のもので、石剣かもしれない。205は緑色凝灰岩に沈線が一条刻まれているものである。



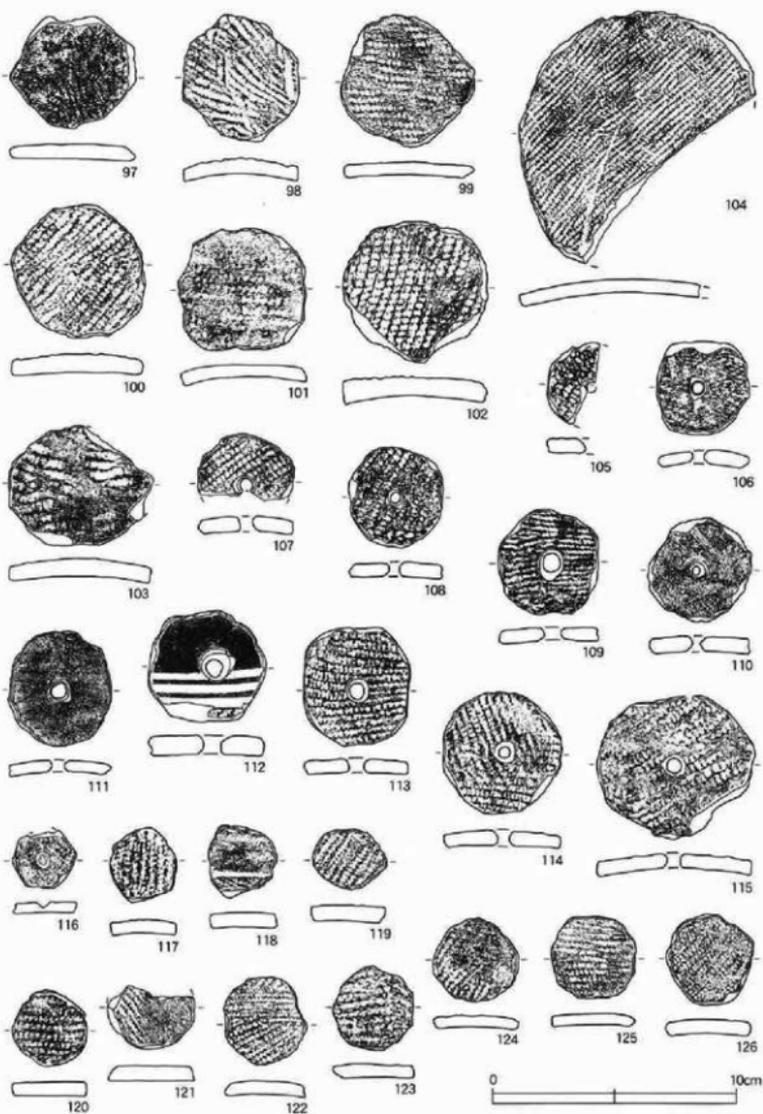
第117图 遺構外出土遺物 (円盤状土製品 1)



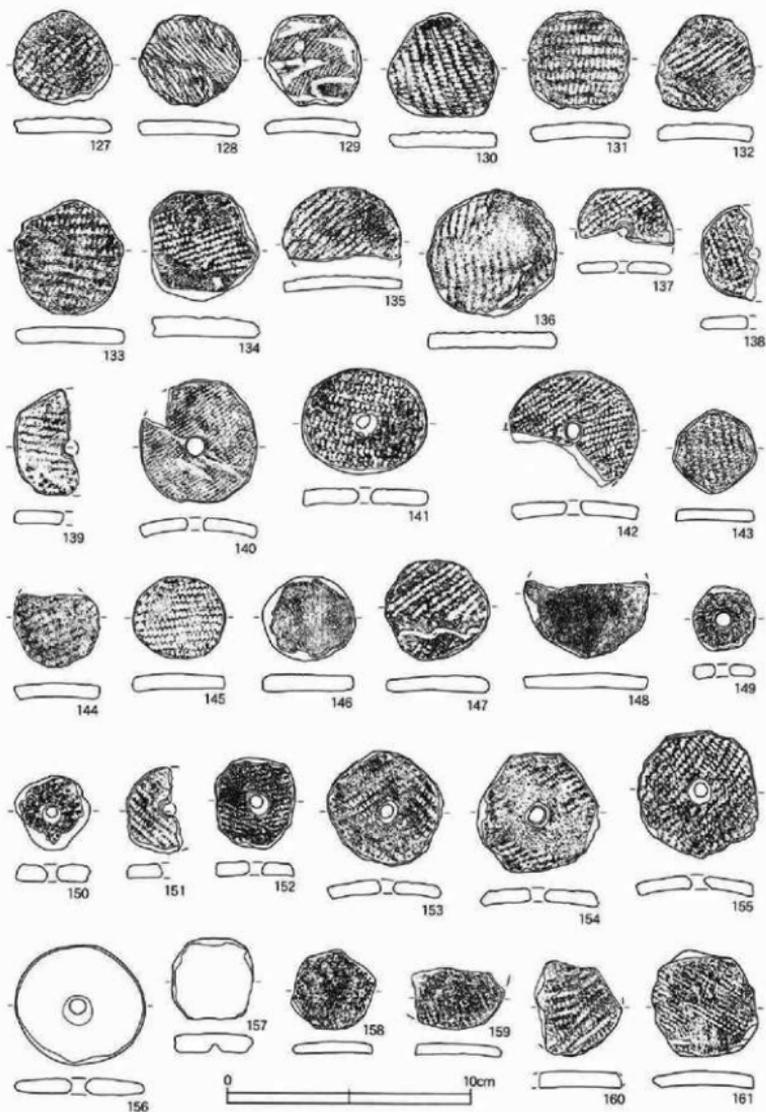
第118回 遺構外出土遺物 (円盤状土製品 2)



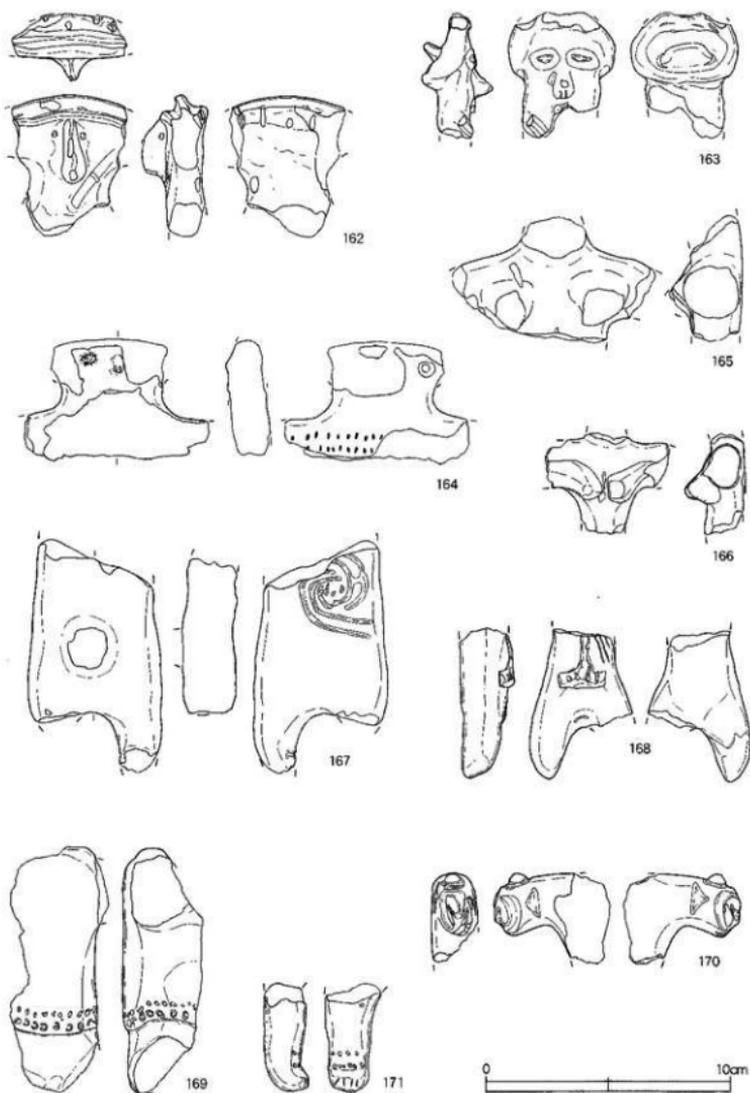
第119圖 遠構外出土遺物 (円盤状土製品 3)



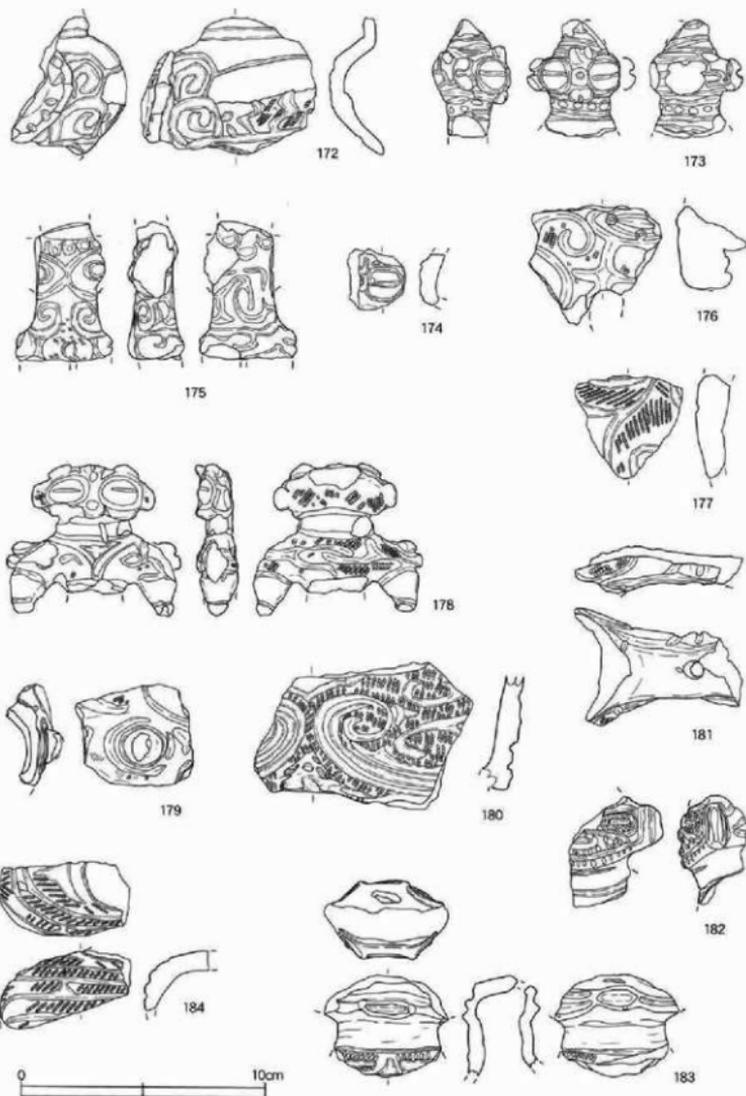
第120回 遠構外出土遺物（円盤状土製品4）



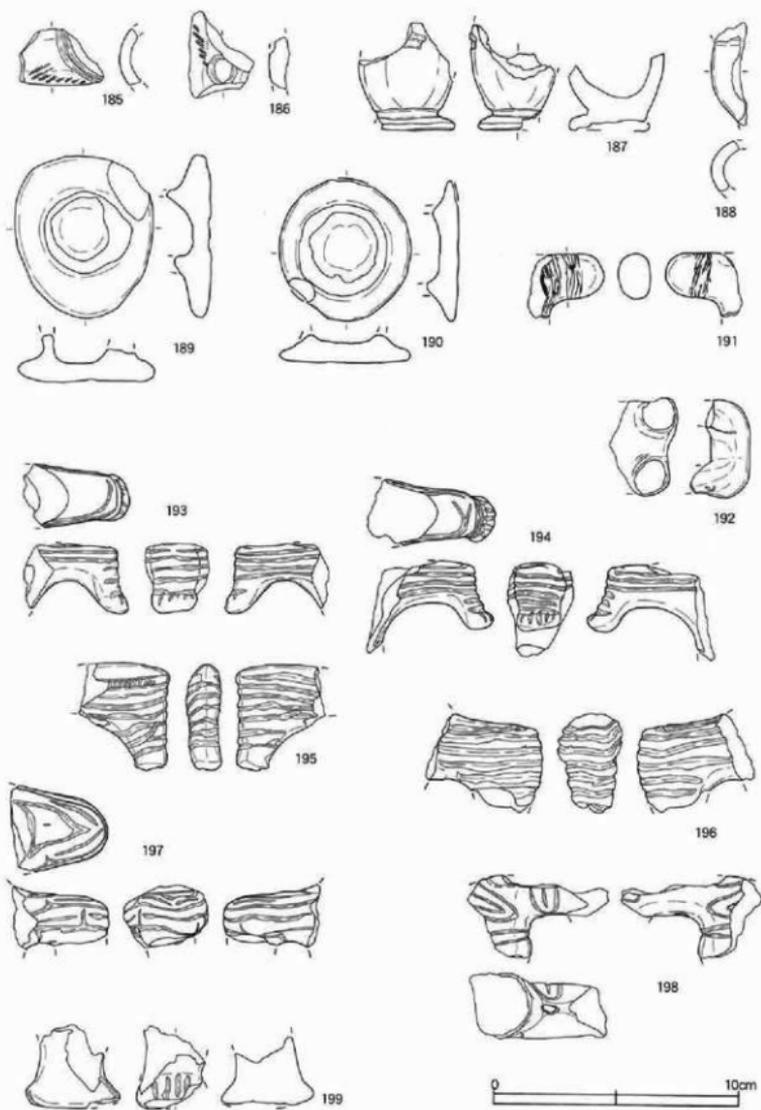
第121図 遺構外出土遺物（円盤状土製品 5）



第122圖 遠構外出土遺物（土偶1）



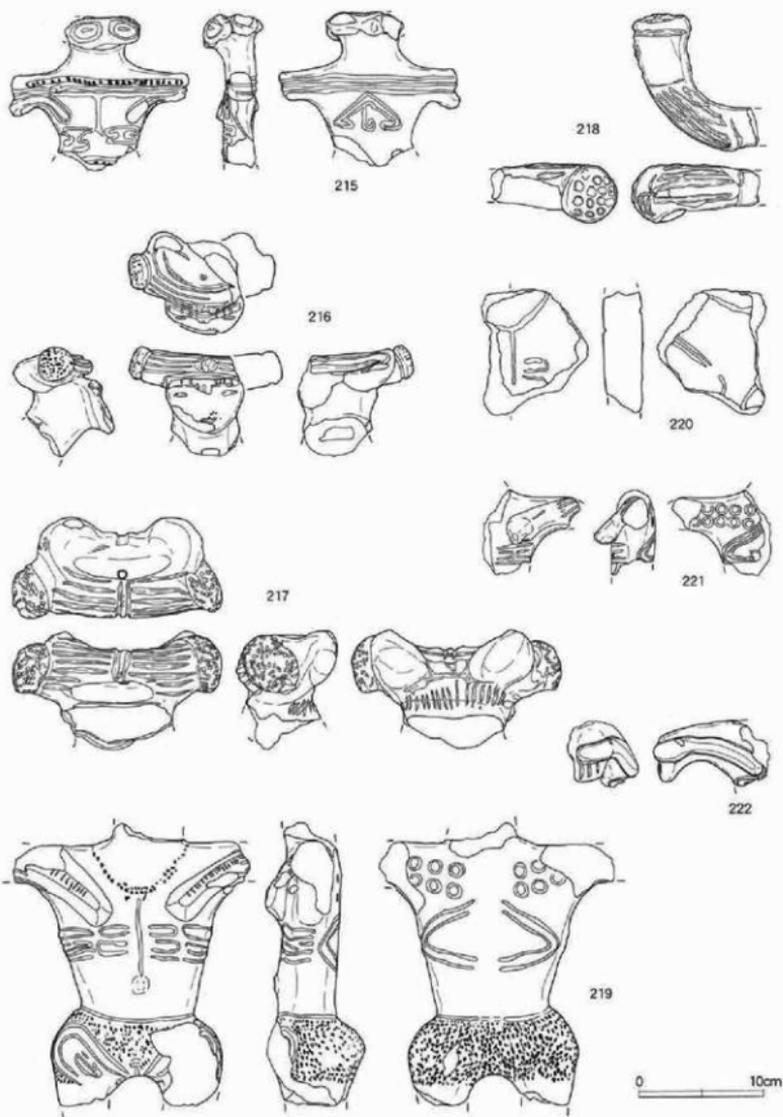
第123圖 遠構外出土遺物（土偶2）



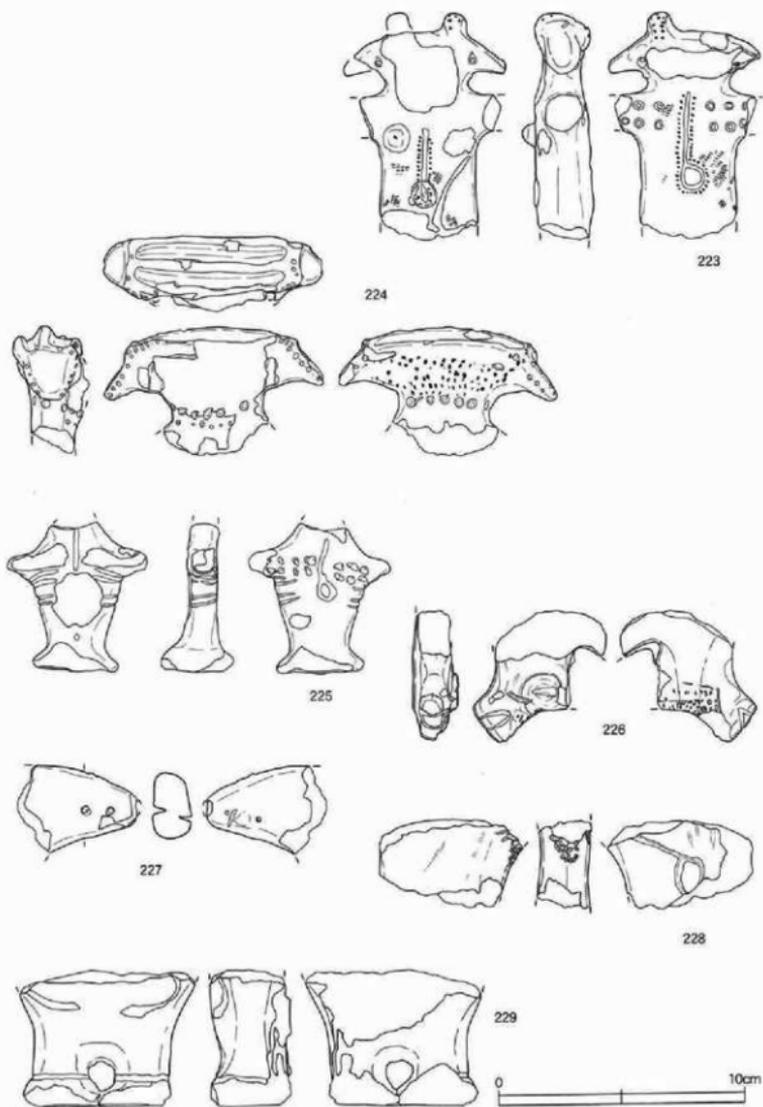
第124圖 遺構外出土遺物（土偶3）



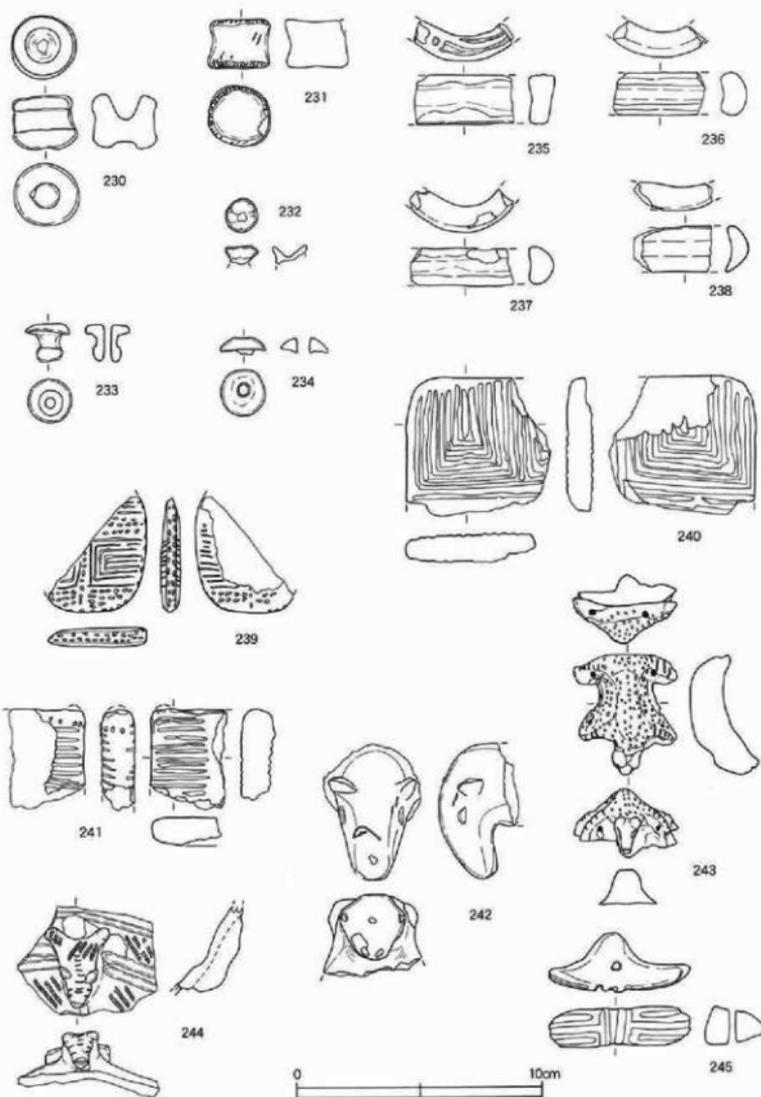
第125圖 遺構外出土遺物（土偶4）



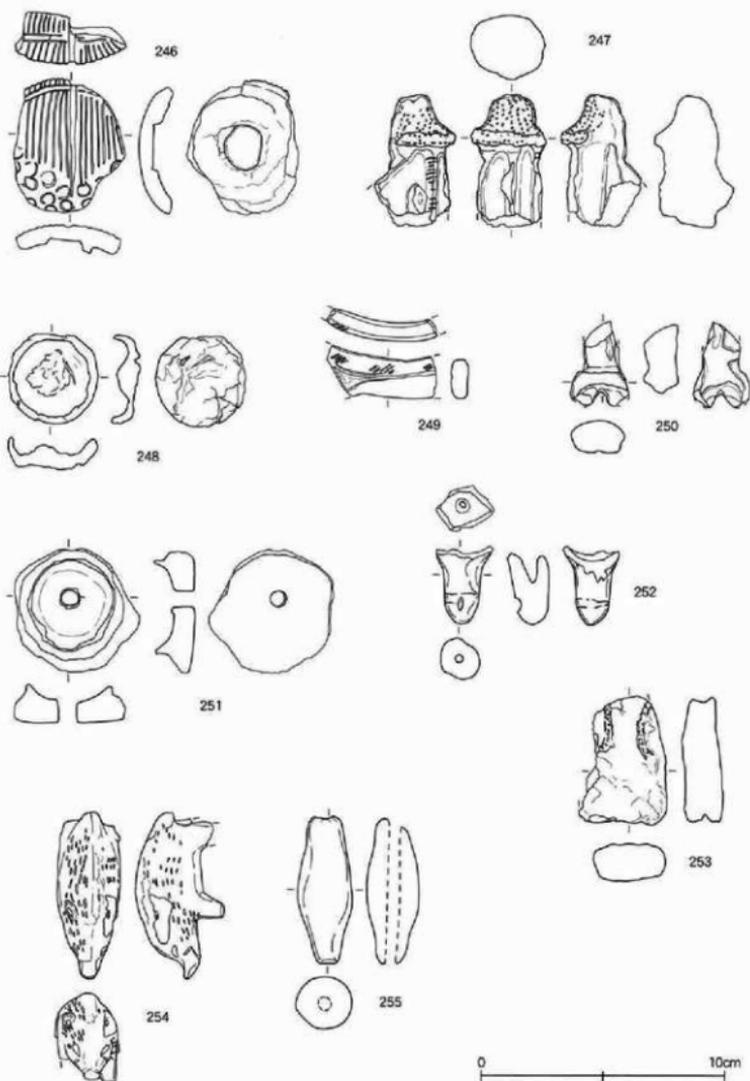
第126图 遺構外出土遺物（土偶5）



第127圖 遺構外出土遺物(土偶6)



第128図 遺構外出土遺物（その他土製品1）



第129回 遺構外出土遺物（その他土製品2）

第8表 遺構外出土土製品観察表 円盤状土製品

図番	用土位置・層位	長径	短径	厚さ	重量	周縁加工	文様等
5	A 2 MK48 II層	2.9	2.7	0.5	4.1	打欠	磨消縄文・R・L・有孔
6	A 2 M J 46 II層	(3.2)		0.45	(2.9)	打欠	磨消縄文・L・R・有孔
7	B区 ML38 II層	3.3	3.2	0.5	7.2	打欠	沈線・L・R・有孔
8	1トレンチ II層	3.3	3.1	0.6	6.9	打欠	磨消縄文・L・R・有孔
9	A 6 MF56 II層	3.3	2.9	0.5	5.0	打欠	R・L・有孔
10	A 2 M J 48 A 2号沢跡 1層	(3.5)		0.55	(3.9)	打欠	地文?・有孔
11	A 2 M I 47 II層	(3.5)		0.5	(4.1)	打欠	L・R・有孔
12	A 2 MK48 II層	3.5	3.3	0.5	7.3	打欠	R・L・有孔
13	A区 衣塚	3.7	3.6	0.6	9.0	打欠	底部・有孔
14	A 2 M J 47 II層	3.7	3.3	0.6	9.1	打欠	L・R・有孔
15	A 2 M H 50 II層	3.75	3.5	0.5	7.5	打欠	磨消縄文・L・R・有孔
16	A 2 MK47 A 2号沢跡 1層	3.8	3.7	0.5	8.1	打欠	R・L・有孔
17	S K I 05 埋土	3.8	3.3	0.4	8.1	打欠	L・R・有孔
18	A 2 M H 51 II層	3.9	3.1	0.7	11.8	打欠	L・R?・有孔
19	A 2 M J 48 II層	4.0	3.7	0.55	10.4	打欠	R・L・有孔
20	A 1 M M 46 II層	4.1	4.0	0.5	9.2	打欠	R・L・有孔
21	A 1 M J 45 IV層	4.1	3.7	0.7	13.7	打欠	L・R・有孔
22	A 1 M M 46 II層	4.1	3.7	0.6	11.3	打欠	沈線・L・R・有孔
23	A 7 M G 50 II層	4.2	3.8	0.5	10.9	打欠	R・L・有孔
24	A 2 M J 48 撥乱	4.5	4.4	0.5	12.9	打欠	L・R・有孔
25	A 2 MK48 II層	4.5	3.7	0.55	11.0	打欠	卑部?・有孔
26	A 5 MF56 II層	4.6	4.3	0.45	10.7	打欠	L・R・有孔
27	A 2 M J 47 II層	4.7	4.5	0.6	13.2	打欠	縁飾・L・R・有孔
28	A 2 M L 47 II層	4.7	4.4	0.6	14.7	打欠	L・R・有孔
29	A 5 M D 56 II層	4.9	4.4	0.6	15.1	打欠	ミガキ・沈線・有孔
30	A 2 M I 46 II層	(6.5)		1.1	(22.1)	打欠	無文・台付底部片 有孔
31	A 1 MK46 II層	2.8	2.4	0.6	4.8	打欠	底部・ミガキ・無文 表面穿孔未貫通
32	A 1 MK46 A 1号沢跡 2層	3.3	3.0	0.4	6.1	打欠	無文・ミガキ 表面穿孔未貫通
33	A 1 M J 45 II層	3.7	3.5	0.5	8.8	打欠	L・R・裏面穿孔未貫通
34	A 2 M I 48 S X 01	4.1	3.7	0.65	12.8	打欠	R・L・表面穿孔未貫通
35	A 6 M D 55 II層	4.8	4.3	0.7	18.8	打欠	平行沈線文 表面穿孔未貫通
36	A 2 M J 48 A 2号沢跡 2層	5.0	4.3	0.8	16.5	打欠	L・R?・裏面穿孔未貫通
37	A 1 M J 45 II層	2.5	2.2	0.4	3.1	打欠	L・R
38	B区 MN41 撥乱	2.8	2.5	0.5	5.8	打欠	磨消縄文・L・R
39	A 1 M H 46 II層	2.9	2.5	0.5	5.4	打欠	L・R
40	A 6 M E 55 瓦層上	2.9	2.5	0.4	4.2	打欠	地文・摩耗不明
41	A 1 M J 43 II層	3.2	3.1	0.6	6.6	打欠	羽状縄文・L・R・R・L
42	A 1 MK45 II層	3.3	3.1	0.5	7.0	打欠	L・R?
43	A 2 M J 48 A 2号沢跡 1層	3.3	2.8	0.45	5.4	打欠	L・R
44	A 2 MK47 II層	3.3	3.0	0.65	7.4	打欠	R・L?
45	A 1 A 1号沢跡 撥乱	3.4	2.9	0.6	8.0	打欠	L・R?
46	A 2 M I 47 A 2号沢跡 1層	3.5	3.2	0.5	7.8	打欠	無文・ミガキ
47	A 1 M J 45 A 1号沢跡 2層	3.5	3.3	0.6	9.0	打欠	R・L
48	A 2 MK47 A 1号沢跡 5層	3.5	3.1	0.6	7.9	打欠	R・L
49	A 1 MK45 A 1号沢跡 1層	3.5	3.2	0.6	7.9	打欠	卑部?
50	A 5 M E 56 II層	3.5	3.3	0.4	6.7	打欠	R・L
51	A 6 M G 54 II層	(3.7)		0.6	(6.1)	打欠	無文
52	A 2 M H 50 II層	3.7	3.3	0.55	9.0	打欠	R・L
53	A 2 MK48 1層	3.7	3.0	0.6	8.2	打欠	L・R
54	A 1 M J 46 A 1号沢跡 II層	3.7	3.6	0.7	13.0	打欠	口縁部・R・L

図番	出土位置・層位	長径	短径	厚さ	重量	周縁加工	文様等
55	A1 M J 45 Ⅱ層	3.8	3.7	0.5	10.5	打欠	R L
56	A1 M I 45 Ⅱ層	3.8	3.4	0.6	10.8	打欠	羽状縄文・L R・R L
57	A5 M F 57 Ⅱ層	3.8	3.6	0.4	7.0	打欠	L R
58	A2 M K 48 A 2号沢跡	3.8	3.4	0.6	8.9	打欠	L R
59	A2 M K 47 A 2号沢跡 1層	3.9	3.6	0.5	10.4	打欠	L R
60	A5 M E 56 Ⅱ層	3.9	3.7	0.6	12.9	打欠	口縁部・刺突・沈線
61	A2 M K 48 A 2号沢跡 3層	3.9	3.6	0.65	10.9	打欠	口縁部・無文
62	B区 M L 39 攪乱	4.0	3.7	0.8	16.4	打欠	羽状縄文・L R・R L
63	A1 M K 46 Ⅱ層	4.0	3.9	0.5	10.9	打欠	沈線・L R
64	A2 M K 48 A 2号沢跡 1層	4.0	3.4	0.5	9.1	打欠	底縁・無文
65	A1 M K 46 Ⅱ層	(4.1)			(10.7)	打欠	地文?
66	A1 M K 46 A 1号沢跡 1層	4.1	3.7	0.6	12.9	打欠	R L
67	B区 M K 40 攪乱	4.2	3.7	0.7	16.1	打欠	ミガキ・沈線
68	A1号沢跡 4層	4.2	3.9	0.65	11.9	打欠	磨消縄文・L R
69	A1 M J 46 A 1号沢跡 1層	4.2	3.7	0.6	11.9	打欠	L R
70	A1 M J 46 A 1号沢跡 2層	4.2	3.7	0.5	10.2	打欠	L R・R L
71	A6 M F 55 Ⅱ層	(4.3)		0.65	(8.7)	打欠	L R
72	A2 M K 46 Ⅱ層	4.3	4.1	0.6	13.7	打欠	無文
73	A5 M E 56 Ⅱ層	4.3	4.0	0.5	10.3	打欠	磨消縄文・L R
74	A1 M I 46 Ⅱ層	(4.4)		0.55	(11.3)	打欠	L R
75	B区 M N 39 攪乱	4.4	4.0	0.7	15.5	打欠	絡絡・L R
76	A6 M G 56 Ⅱ層	4.4	3.9	0.55	12.5	打欠	L R?
77	A2 M K 51 Ⅱ層	(4.5)		0.6	(11.7)	打欠	L R?
78	B区 M Q 36 Ⅱ層	(4.5)		0.55	(9.1)	打欠	無文
79	A1 M L 43 Ⅱ層	4.5	4.1	0.7	16.7	打欠	L R
80	A1 M K 45 Ⅱ層	4.5	4.3	0.6	18.1	打欠	羽状縄文・L R・R L
81	A1 M I 45 A 1号沢跡 2層	4.5	4.1	0.5	12.3	打欠	L R?
82	S K I 05 埋土	4.5	4.2	0.6	14.6	打欠	磨消縄文・L R
83	A3 M H 52 S B 13 埋土	4.5	4.0	0.5	13.3	打欠	底縁・網代文
84	B区 M K 40	4.6	4.4	0.7	16.8	打欠	L R
85	B区 M K 38 攪乱	4.6	4.2	0.45	12.3	打欠	磨糸紋
86	A6 M E 55 Ⅱ層上	4.6	3.8	0.6	14.0	打欠	L R
87	A2 M L 47 Ⅱ層	(4.7)		0.55	(12.4)	打欠	L R
88	A5 M G 56 Ⅱ層	4.7	4.5	0.6	16.8	打欠	地文?・磨消縄文
89	A8 M G 42 Ⅱ層	4.7	3.9	0.6	14.4	打欠	L R
90	A5 M G 57 A 4号沢跡 2層	4.8	4.2	0.6	15.7	打欠	L R
91	A1 M I 44 Ⅱ層	4.85	4.9	0.9	23.3	打欠	R I
92	A2 M I 44 Ⅱ層	4.9	4.4	0.5	14.8	打欠	無文・ミガキ
93	A1 M I 45 Ⅱ層	4.9	4.2	0.65	18.4	打欠	L R
94	A2 M L 47 Ⅱ層	4.9	4.3	0.7	18.6	打欠	L R
95	A5 M F 56 A 4号沢跡 2層	4.9	4.5	0.6	15.3	打欠	R L
96	A6 M L 57 Ⅱ層下	4.9	4.7	0.4	15.6	打欠	L R
97	A2 M H 52 S D 15 埋土	5.1	4.2	0.6	16.7	打欠	L R?
98	A1 M K 46 A 1号沢跡 2層	5.1	4.3	0.6	18.9	打欠	絡絡・R L
99	A5 M D 56 Ⅱ層下	5.4	4.9	0.5	18.2	打欠	R L
100	A2 M K 48 A 2号沢跡 1層	5.5	5.2	0.75	27.0	打欠	R L
101	A3 M H 52 Ⅱ層	5.6	5.0	0.6	19.1	打欠	L R
102	A5 M F 57 Ⅱ層	5.9	5.4	1.0	36.8	打欠	R L
103	A3 M K 54 Ⅱ層	5.9	4.8	0.75	25.8	打欠	L R
104	A1 M K 45 Ⅱ層	(11.1)		0.6	(57.4)	打欠	L R
105	B区 M M 39 攪乱	(3.5)		0.6	(4.1)	部分研磨	L R・有孔
106	A2 M I 47 A 2号沢跡 1層	3.8	3.7	0.6	10.7	部分研磨	地文?・有孔
107	A2 M J 47 Ⅱ層	(4.0)		0.6	(7.0)	部分研磨	L R・有孔
108	A1 M K 46 Ⅱ層	4.1	3.7	0.6	13.4	部分研磨	絡絡・L R・有孔

図番	出1位値・肩位	長径	短径	厚さ	重量	周輪加1'	文様等
109	A 2 ML48 A1号沢跡 1層	4.2	4.1	0.6	11.8	部分研磨	LR・有孔
110	SK105 埋土	4.3	3.8	0.65	14.6	部分研磨	ミガキ・無文・有孔
111	A 1 MJ46 Ⅱ層	4.7	4.1	0.5	12.2	部分研磨	ミガキ・無文・有孔
112	A 2 ML47 Ⅱ層	4.8	4.5	0.8	21.3	部分研磨	ミガキ・沈線・有孔
113	A 2 MK47 A2号沢跡 1層	4.8	4.25	0.6	17.3	部分研磨	RL・有孔
114	A 6 P730 埋土	4.9	4.8	0.6	17.5	部分研磨	RL・有孔
115	A 1 MJ45 Ⅱ層	5.9	5.5	0.6	32.2	部分研磨	LR・有孔
116	B 2 攪乱	2.6	2.3	0.4	3.6	部分研磨	表面穿孔未貫通
117	BK ML39 攪乱	2.9	2.7	0.56	5.6	部分研磨	RL
118	BK ML39 攪乱	3.0	2.7	0.6	7.0	部分研磨	磨消縄文・RL
119	BK MQ37 Ⅰ層	3.0	2.5	0.7	6.4	部分研磨	LR
120	BK MO40 攪乱	3.1	2.8	0.55	6.6	部分研磨	LR
121	A 2 MJ47 Ⅱ層	(3.5)		0.6	(7.2)	部分研磨	LR
122	A 5 ME56 Ⅱ層	3.5	3.3	0.55	8.9	部分研磨	RL
123	A 1 MJ45 A1号沢跡 1層	3.5	3.1	0.55	8.7	部分研磨	LR?
124	A 5 ME56 Ⅱ層下	3.5	3.3	0.45	6.8	部分研磨	LR
125	A 1 MJ45 A1号沢跡 2層	3.6	3.4	0.45	8.0	部分研磨	LR
126	SK105 埋土	3.7	3.5	0.6	10.3	部分研磨	LR
127	A 2 MK47 A2号沢跡 1層	4.0	3.8	0.6	11.8	部分研磨	LR
128	A 5 MF56 A4号沢跡 2層	4.1	3.7	0.6	11.6	部分研磨	RR
129	A 2 MI56 埋土	4.2	3.6	0.6	10.4	部分研磨	磨消縄文・LR
130	A 6 MG55 Ⅱ層	4.3	4.0	0.65	14.0	部分研磨	LR
131	A 5 MF57 A4号沢跡 1層	4.3	3.9	0.6	14.8	部分研磨	LR
132	A 2 ML47 Ⅱ層	4.3	3.4	0.6	11.5	部分研磨	羽状縄文・LR・RL
133	A 5 MF56 A4号沢跡 1層	4.6	4.3	0.6	15.6	部分研磨	LR
134	BK MN40 Ⅱ層	4.6	4.2	0.8	18.8	部分研磨	LR
135	A 1 MK45 Ⅱ層	(4.8)		0.5	(9.8)	部分研磨	RL
136	A 5 MF56 A4号沢跡 2層	5.4	4.8	0.6	23.7	部分研磨	綾絡・LR
137	A 2 MI47 A2号沢跡 1層	(3.9)		0.45	(4.8)	研磨	LR・有孔
138	1トレンチ Ⅱ層	(3.9)		0.55	(5.2)	研磨	RL・有孔
139	A 5 P796 埋土	(4.3)		0.5	(7.7)	研磨	綾絡・RL?・有孔
140	A 2 MH50 Ⅱ層	5.0	4.7	0.55	14.8	研磨	LR・有孔
141	A 6 ME55 Ⅱ層上面	5.1	4.3	0.6	18.5	研磨	LR・有孔
142	SK105 埋土	(5.2)		0.6	(14.1)	研磨	LR・有孔
143	A 2 MK48 Ⅱ層	3.4	3.3	0.45	5.6	研磨	LR
144	A 5 MG56 SD16 埋土	(3.7)		0.55	(8.3)	研磨	単磨?
145	A 1 MK46	3.8	3.3	0.6	10.5	研磨	RL
146	A 5 MD56 Ⅱ層	3.8	3.4	0.7	10.3	研磨	底部・ミガキ・無文
147	A 1 MI46 A2号沢跡 2層	4.0	4.2	0.65	13.1	研磨	綾絡・LR
148	A 1 MJ45 A1号沢跡 1層	(5.1)		0.55	(10.8)	研磨	底部・無文・ミガキ
149	A 2 MK49 Ⅱ層	2.6	2.5	0.6	4.0	摩耗不明	地文・沈線・有孔
150	A 1 MH45 A1号沢	3.0	2.9	0.7	6.3	摩耗不明	摩耗不明・有孔
151	A 2 MJ48 Ⅱ層	(3.5)		0.55	(4.9)	摩耗不明	RL・有孔
152	A 2 MJ47 Ⅱ層	3.7	3.3	0.6	7.5	摩耗不明	LR?・有孔
153	A 6 MD55 Ⅱ層下	4.6	4.4	0.55	13.4	摩耗不明	摩耗不明・有孔
154	A 5 MG57 Ⅱ層	5.0	4.7	0.6	19.2	摩耗不明	LR?・有孔
155	A 2 P510 埋土	5.2	4.8	0.5	17.7	摩耗不明	LR・有孔
156	6トレンチ 攪乱	5.3	4.9	0.6	17.4	摩耗不明	摩耗不明・有孔
157	A 2 MJ51 Ⅱ層	3.7	3.2	0.75	10.3	摩耗不明	摩耗不明 表面穿孔未貫通
158	A 1 MH45 Ⅱ層	3.6	3.1	0.4	5.1	摩耗不明	摩耗不明
159	A 4 MI56 Ⅱ層	(3.8)		0.45	(4.7)	摩耗不明	LR
160	A 6 MG52 Ⅱ層	(3.9)		0.65	(9.5)	摩耗不明	LR
161	A 1 MK45 A1号沢跡 2層	4.5	4.1	0.55	12.8	摩耗不明	RL

遺構外出土土製品観察表 土偶

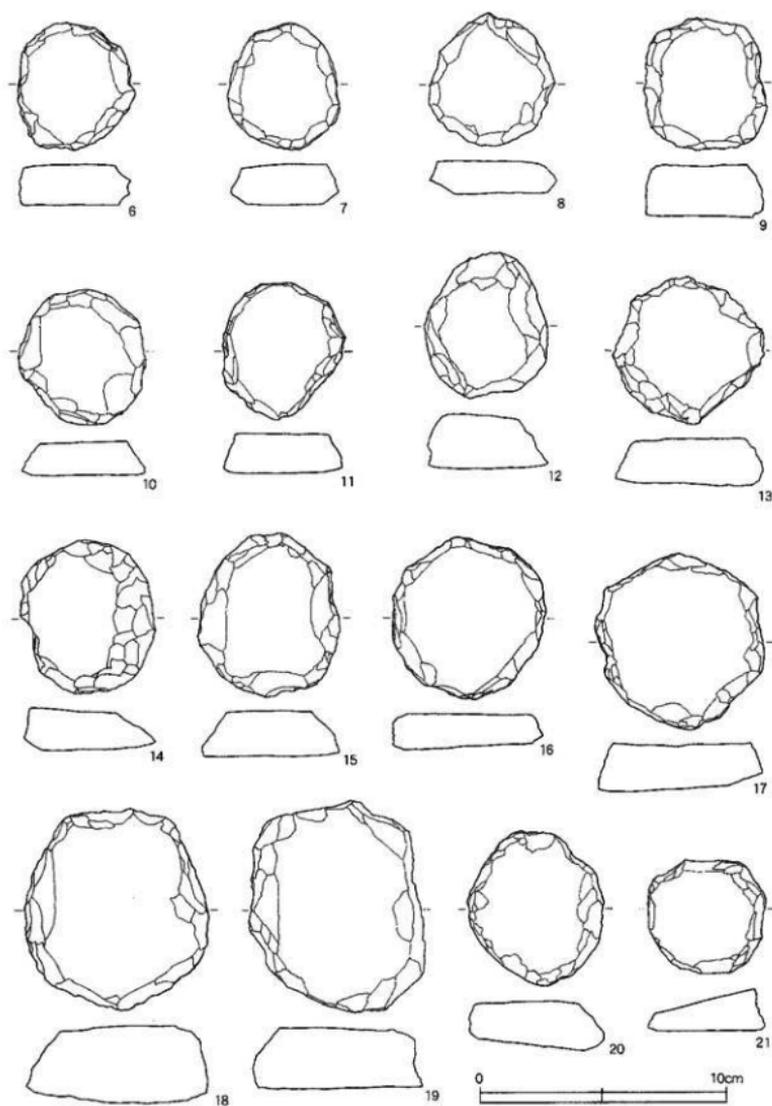
図番	出土位置・層位	部 位	つくり	文様・付着物
162	A5 MG56 Ⅱ層	頸部	中実	凹点線・無文・頭髪部に縦位貫通孔
163	A5 MD57 Ⅱ層	頸部	中実	槽形形跡起眼・無文・凹形突起頭部
164	A3 MH52 Ⅱ層	頭～胸部(頭・手欠損)	中実	凹点線+刻み・刺突文
165	A5 NE56 Ⅱ層	首～胸上半(手・乳欠損)	中実	無文・朱塗?
166	A2 Ⅱ層	首～胸部(手欠損)	中実	無文・首割れ口にアスファルト
167	A7 MG49 Ⅱ層	胸～左足(足先欠損)	中実	背面沈線文・髪部剥落
168	B区 MQ36 Ⅱ層	胸～右足	中実	無文・髪部逆T字塗書
169	A2 MG48 A1号沢跡 1層	背中(右)	中実	腰に刺突列・頭部差し込み孔有
170	A1 MJ45 Ⅱ層	肩～手	中実	無文
171	A2 MK48 Ⅱ層	右胸	中実	刺突文・指先刻み
172	A1 MJ46 Ⅱ層	頭目	中空	磨消縄文・眼部版面・R.L縄文・朱塗?
173	B区 攪乱	頸部(頂部欠損)	中実	透光器眼・沈線文・首刻み
174	A1 MI46 Ⅱ層	眼部	中空	透光器眼・沈線
175	A2 MK48 Ⅱ層	胸部	中実	沈線文・腹部粘土貼付上L.R縄文
176	B区 MK38	背中(接合部)	中空	磨消縄文 胸部粘土紐貼付上竹管刺突・L.R?
177	B2 攪乱	胴体	中空	磨消縄文・L.R
178	A2 MK47 Ⅱ層	上半身(頭頂部欠損)	中実	透光器眼・胸部三角型粘土紐貼付 磨消縄文・L.R・朱塗
179	B区 MK38	胸部	中空	磨消縄文・R.L?
180	A5 ME56 Ⅱ層	下腹部	中空	磨消縄文・L.R・朱塗
181	A6 MF55 Ⅱ層	股	中空	磨消縄文・股間に貫通孔・L.R?・朱塗
182	A2 MJ47 A2号沢跡 1層	頸部	中空	槽形形跡起眼上刻み・沈線・朱塗
183	A2 MJ47 A2号沢跡 1層	首部	中空	沈線・透窓貼付上刻み・上部貫通孔
184	A1 MK46 Ⅱ層	肩	中空	磨消縄文・工字状沈線・R.L
185	I1レンヂ Ⅱ層	腹部	中空	磨消縄文・R.L?
186	A5 MG56 Ⅱ層	胴部?	中空	磨消縄文・R.L?
187	A5 MC58 Ⅱ層上面	脚部	中空	無文
188	A1 MJ45 Ⅱ層	脚部	中空	無文
189	A2 ML48 A2号沢跡 1層	足	中空	無文
190	A2 MJ47 A2号沢跡 1層	足	中空	無文
191	A1 MH45 SD21 埋上下部	肩～手	中実	沈線
192	A1 MH40 Ⅱ層	胴部左半身?	中実	無文・磨像?
193	A1 MI45 Ⅱ層	肩～手	中空	平行沈線・指先刻み
194	A1 MJ46 A1号沢跡 2層	肩～手	中空	平行沈線・指先刻み
195	A5 ME56 Ⅱ層	肩～手	中実	平行沈線・首飾状隆帯?上刻・朱塗
196	A2 MJ50 1層	肩	中実	平行沈線・朱塗?
197	A1 MI43 Ⅱ層	肩	中実	工字状文・沈線
198	A1 MI46 Ⅱ層	下腹(股の所)	中空	沈線文・股貫通孔
199	A2 MJ47 Ⅱ層	足	中実	無文・指先刻み
200	B区 NN40 攪乱	肩～背中	中空	無文
201	A5 MG56 Ⅱ層下	右手(裳剣刺)	中実	無文・肘部隆沈線
202	A1 MJ45 Ⅱ層	左手	中実	無文
203	A3 MH52 Ⅱ層	下半身(胴部一体)	中実	無文
204	A1 (NH40) SD21ベルト1層	不明	中実	無文
205	A2 MM47 1層	脚	中実	足首沈線
206	A3 MH52 SX01 埴土	右脚(裳剣刺)	中実	刺突文(パンツ?)
207	A7 MG50 表土	脚部	中実	無文
208	A3 MH52 Ⅱ層	右足(親・小指欠損)	中実	無文
209	A1 MJ46 A1号沢跡 1層	脚	中実	沈線
210	A3 MI52 Ⅱ層	右肩～右胴部(欠損)	中実	裏面沈線文と刺突・肩粘土紐貼付 胸粘土粒貼・表面L.R縄文・朱塗
211	A2 MI50 Ⅱ層	肩部(肩パット剥離)	中空	沈線・肩パット状粘土貼付上刺突 L.R縄文・朱塗?

遺構外出土土製品観察表 土偶

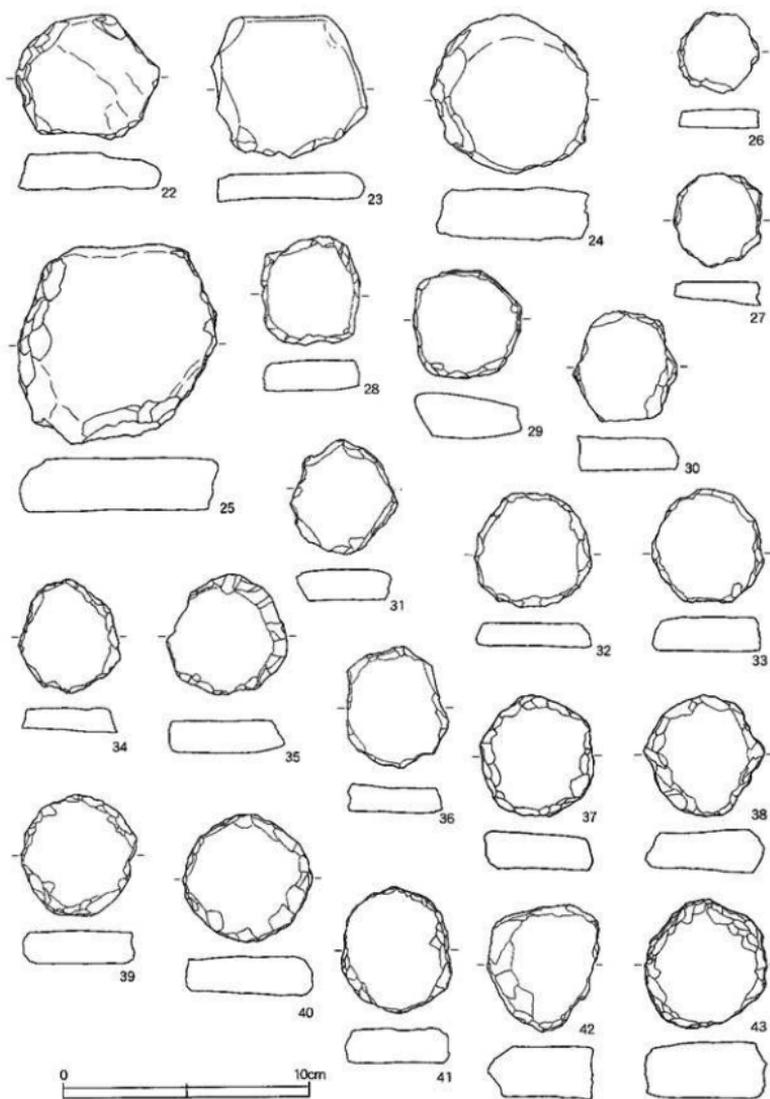
図番	出土位置・層位	部 位	つくり	文様・付着物
212	A 5 ME56 IV層	右手～脇	中実	胸刺突文
A 7 MG48 A 2号沢跡 1層	右脚	中空	刺突文	
213	A 2 MJ47 II層	胸部	中空	刺突文
215	鈴木家・大正年間出土品	頭～胸部(頭部一部欠損)	中実	沈線・刺突紋・眉・鼻T字状隆起貼付 胸部隆起貼付
216	A 2 MH47 II層	頭部	中空	頭髪部沈線・刺突・T字状隆起形 刻み顔頂部、未貫通穿孔・朱塗
217	A 2 MK48 A 2号沢跡 1層	頭部(顔面剥落)	中空	アーチ状頭髪部・沈線・刺突 頭頂部貫通孔・朱塗
218	4トレンチ II層	頭髪	中実	沈線・竹管刺突
219	A 2 MH51 PR08	胸～腰部(手足欠損)	中実	沈線文・肩刺突と竹管刺突 胸部隆起上刻み
220	B区 MK40 雑乱	胸部	中実	沈線文
221	A 1 MK45 II層	胸～胸部(胸欠損)	中実	沈線・竹管刺突・胸部粘土粒貼付 朱塗
222	L N70 埴土	肩～手	中実	隆起状貼付・指先刻み
223	A 2 MK51 II層	頭～胸部(手足欠損)	中実	表裏正中線に沈線・縦刺突・竹管刺突・胴隆起文・顔剥落・両耳穿孔
224	A 2 MK47 A 2号沢跡 3層	頭部(顔面欠損)	中実	刺突文・両耳穿孔・朱塗
225	A 2 M150 II層	胸～腰部(頭部欠損)	中実	沈線・刺突文・台状脚
226	A 2 ML47 I層	体部	中実	胴部無文?・胸部刺突・沈線
227	A 1 MH45 IV層	腕	中実	無文・2個穿孔・1個は未貫通
228	A 1 MM46 II層	胸部	中実	沈線・刺突文
229	A 1 M155 IV層	下半身(足先欠損)	中実	沈線・脚部結合

遺構外出土土製品観察表 その他

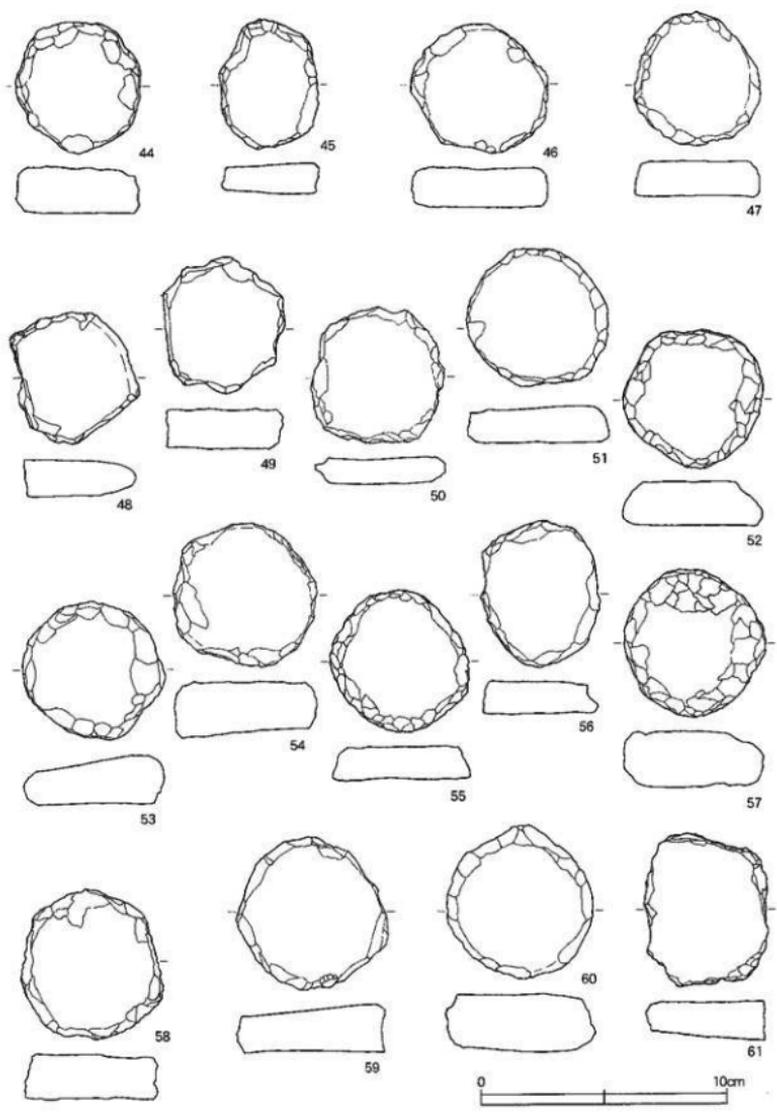
図番	出土位置・層位	種 類	重 量	文 様 等
230	A 1 MJ46 II層	耳飾り(白形)	16.3	丁寧なミガキ・赤色顔料
231	A 1 M145 II層	耳飾り(白形)	15.2	ミガキ・刻み目
232	A 2 MH47 II層	耳飾り(白形?)	(0.6)	ミガキ・破損
233	A 2 ML47 II層	耳飾り(耳栓形)	2.5	ミガキ・貫通孔
234	A 5 MG56 Ⅱ層上	耳飾り(耳栓形)	(1.6)	ミガキ・貫通孔・破損
235	A 2 M147 A 2号沢跡 1層	耳飾り(環状)	(11.3)	約1/4残・ミガキ・沈線文
236	A 5 MF56 A 4号沢跡 2層	耳飾り(環状)	(8.6)	約1/5残・ミガキ
237	A 2 MJ47 II層	耳飾り(環状)	(8.3)	約1/3残・ミガキ
238	A 2 MJ47 II層	耳飾り(環状)	(4.8)	約1/7残・ミガキ
239	A 5 MD57 II層	土版(楕円形)	(8.6)	コの字状沈線・刺突
240	A 5 MF57 II層	土版(楕円方形)	(41.8)	コの字状沈線
241	A 5 P741 埴土	土版(方形?)	(16.7)	平行沈線・刺突・四隅突出?
242	B区 MK40 雑乱	動物(クマ?)	(46.7)	中空・無文・把手?
243	A 3 MK53 II層	動物(クマ)	18.3	刺突・動物内蔵土層
244	A 3 MH52 II層	動物(クマ?)	24.8	動物付土器・刻み目・R.L・朱塗
245	A 1 MJ45 II層	スタンプ	15.5	沈線文・つまみ貫通孔
246	A 2 MH51 II層	土製品	(23.9)	円形竹管・沈線・赤色顔料
247	P397 埴土	土製品	(36.2)	刺突・刻み目
248	A 2 MK47 A 2号沢跡 1層	土製品	9.0	無文・キノコ状?
249	A 5 P755 埴土	土製品	(7.9)	三叉文?・土層把手・L.R
250	A 1 MJ45 II層	土製品	(8.2)	
251	A 2 ML48 A 2号沢跡 1層	土製品	(32.2)	中央部に貫通孔
252	S B03 布泥	土製品	(7.9)	内側中央に未貫通の穿孔
253	A 2 MK47 II層	土製品(土偶胸?)	(30.4)	沈線・刺突
254	SD01 2層	動物(イノシシ)	40.6	近世～近代
255	A 2 MJ48 II層	土産	26.1	古代



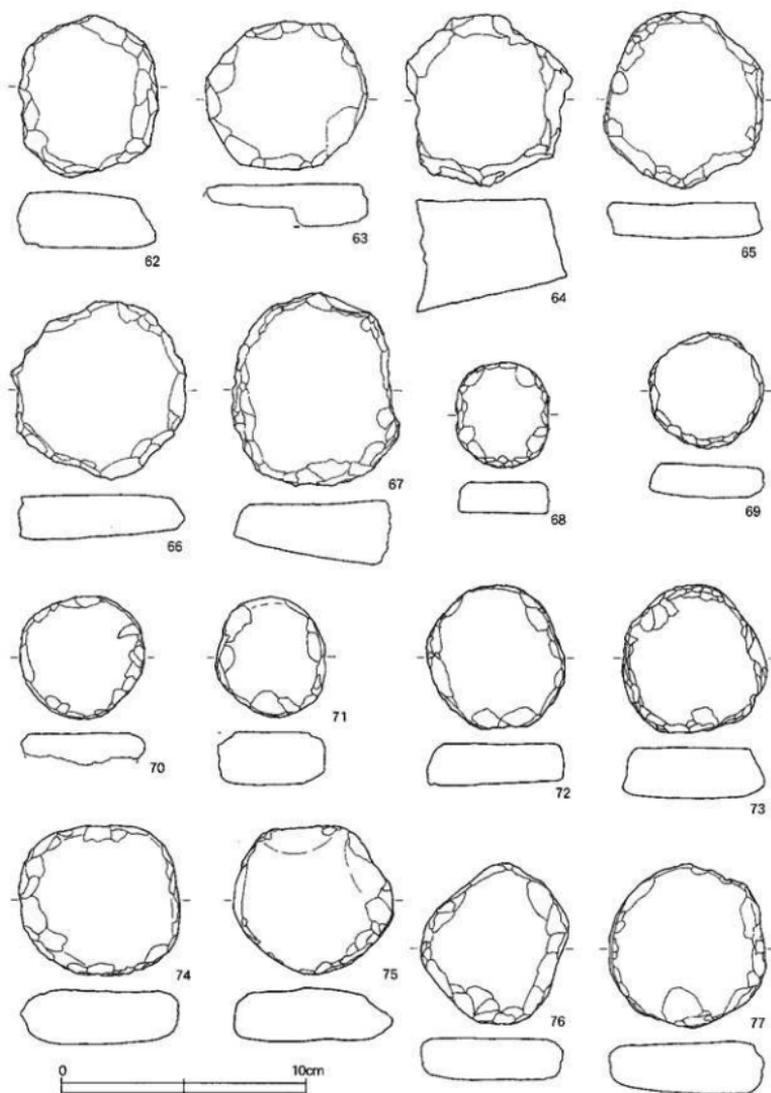
第130圖 遺構外出土遺物（円盤状石製品1）



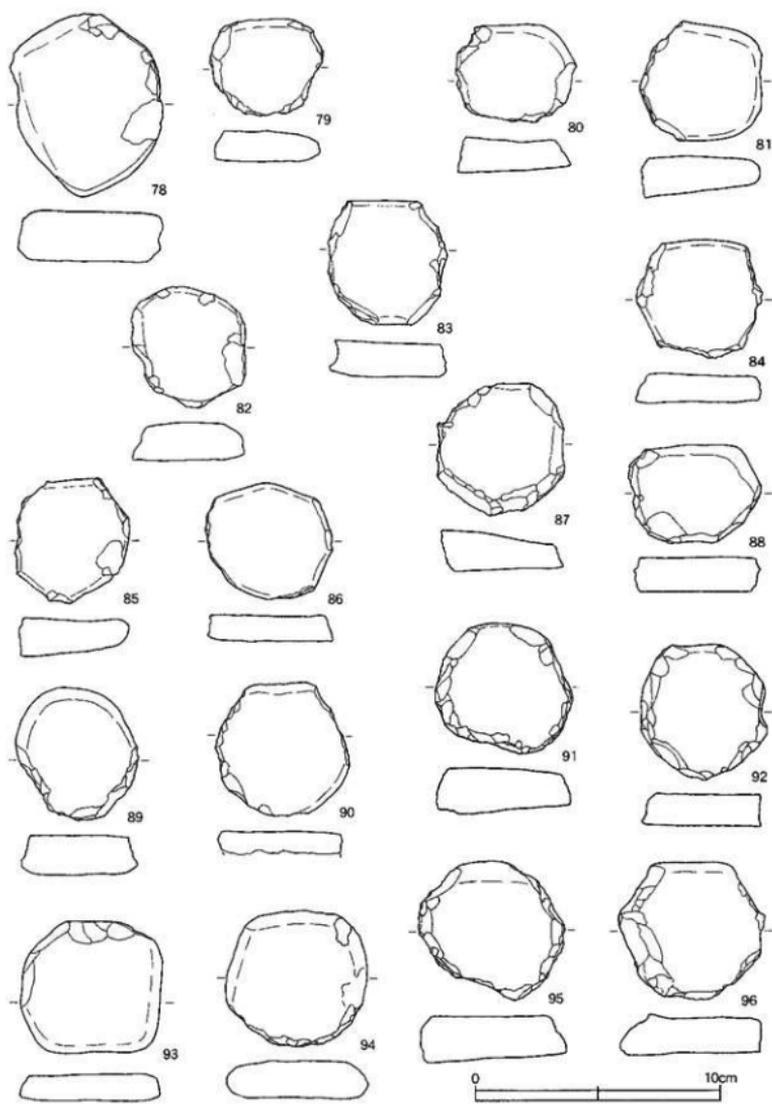
第131圖 遺構外出土遺物（円盤状石製品 2）



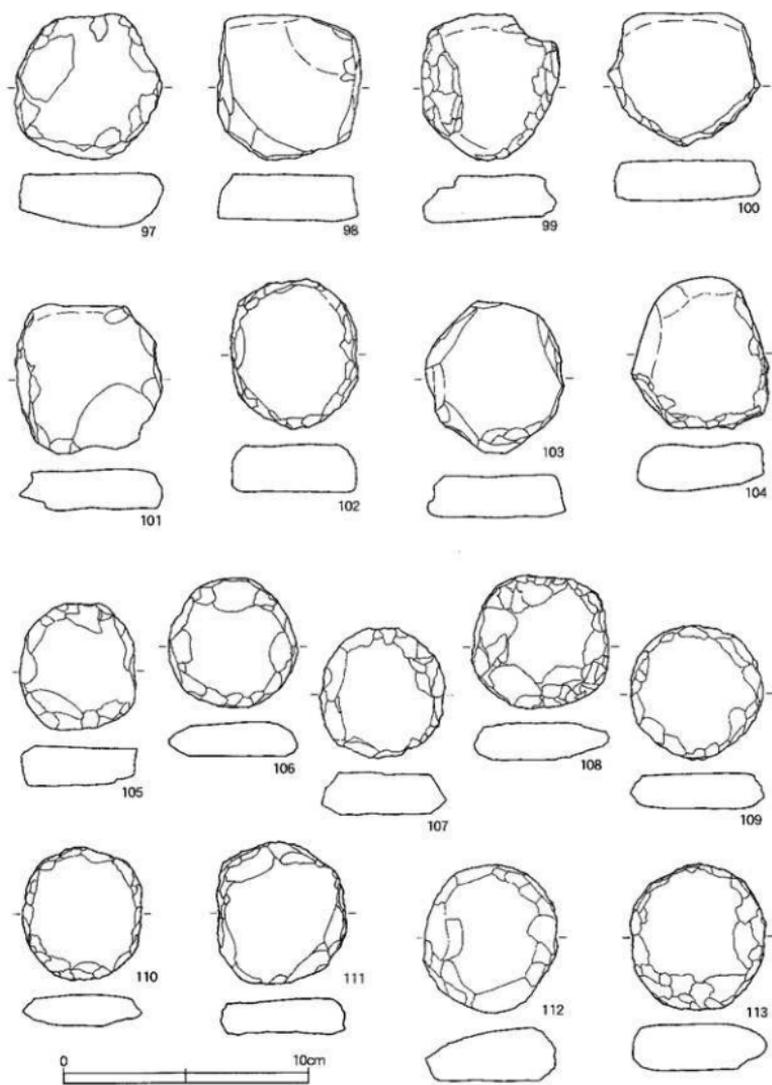
第132圖 遺構外出土遺物（円盤状石製品3）



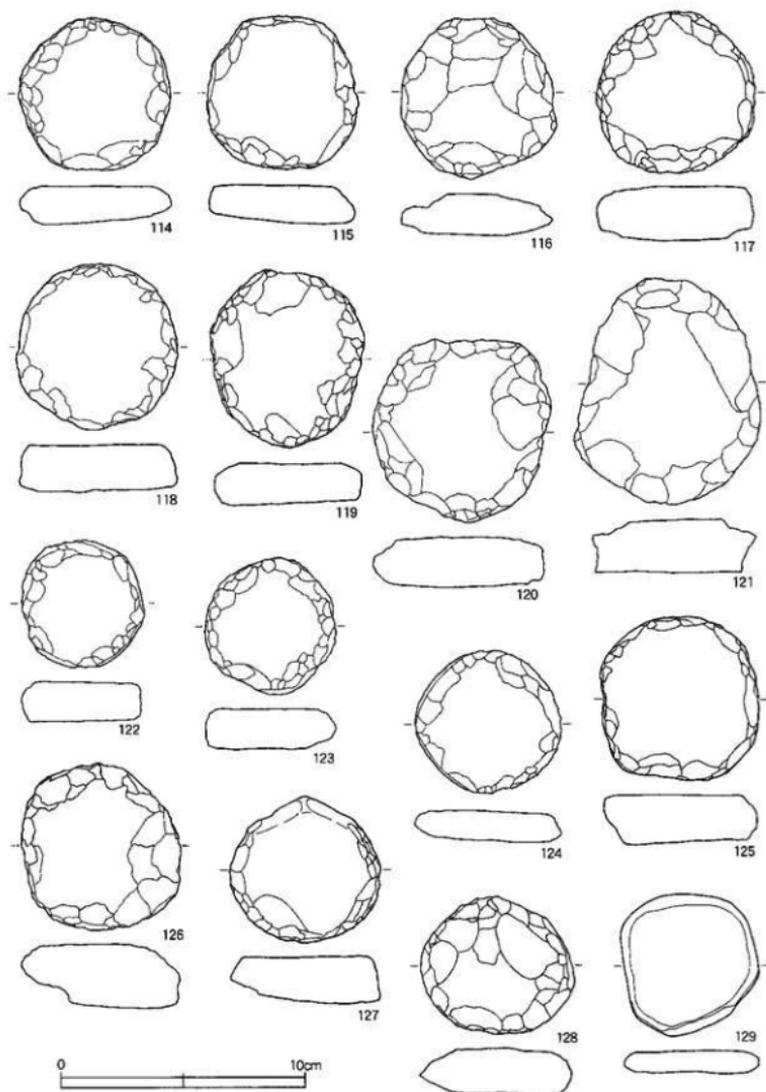
第133圖 遺構外出土遺物（円盤状石製品 4）



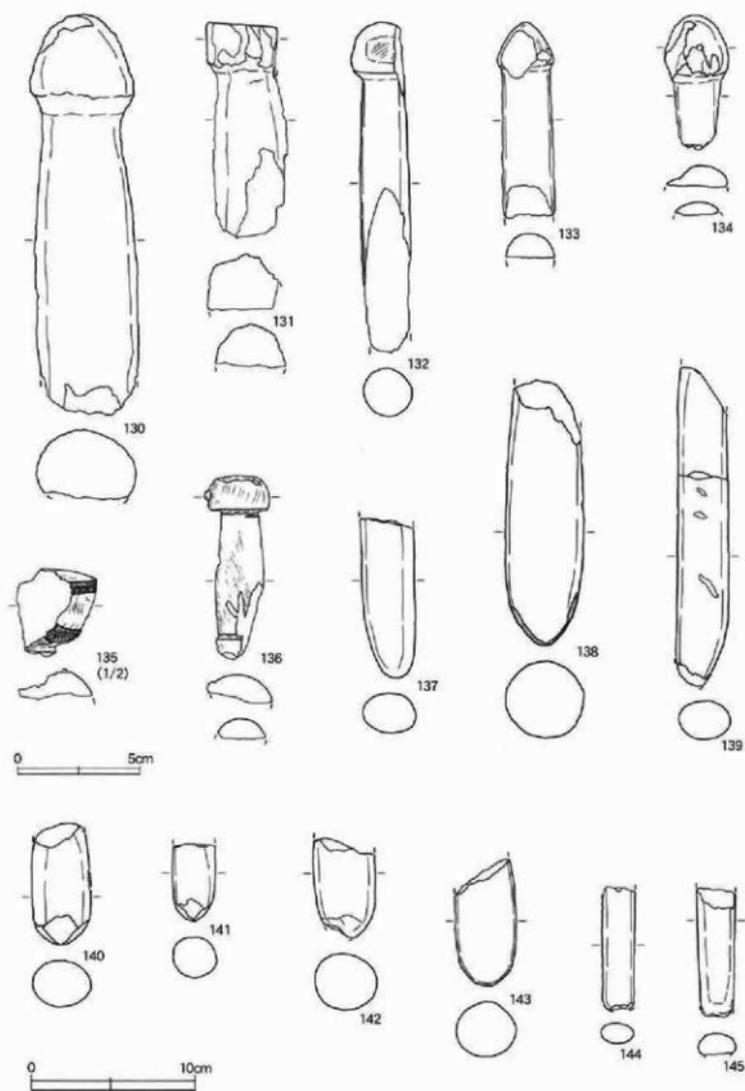
第134圖 遠構外出土遺物（円盤状石製品5）



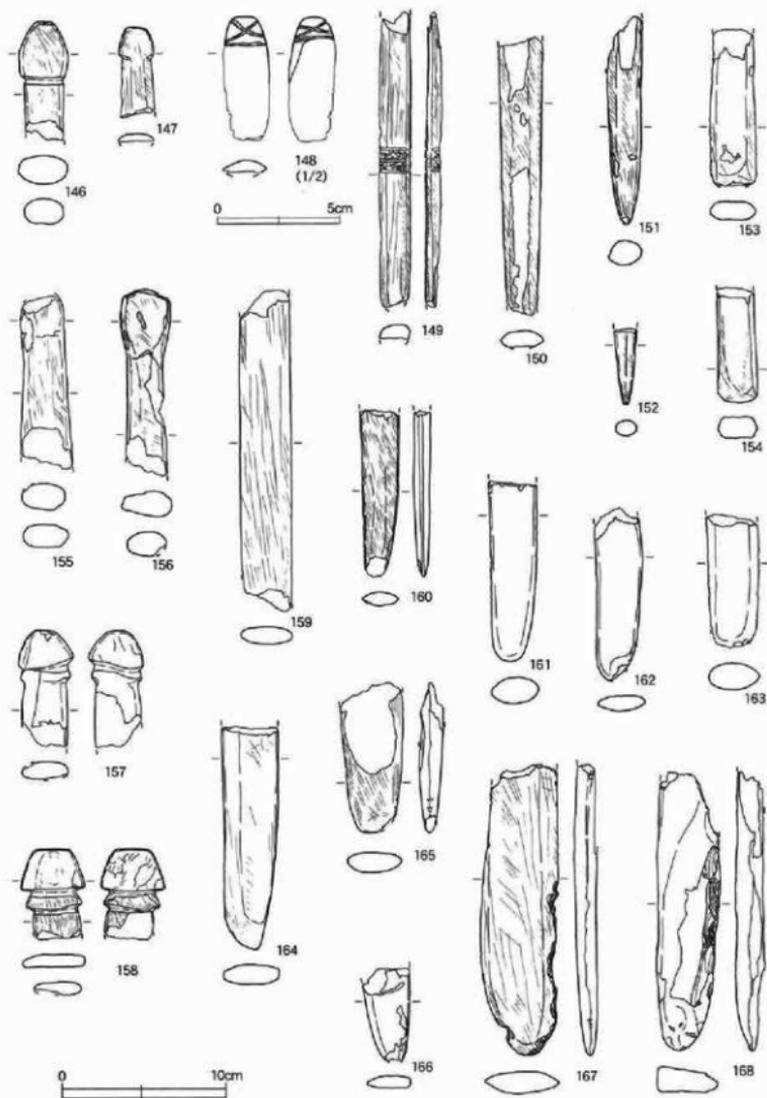
第135図 遺構外出土遺物（円盤状石製品6）



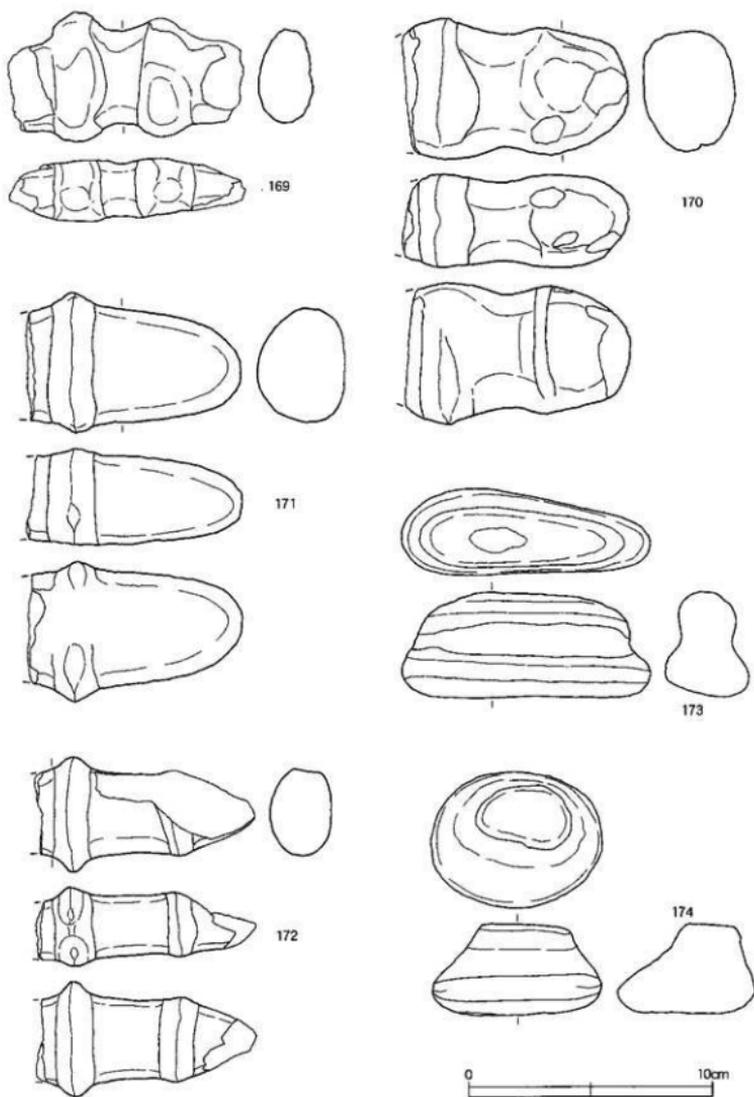
第136圖 遺構外出土遺物 (円盤状石製品7)



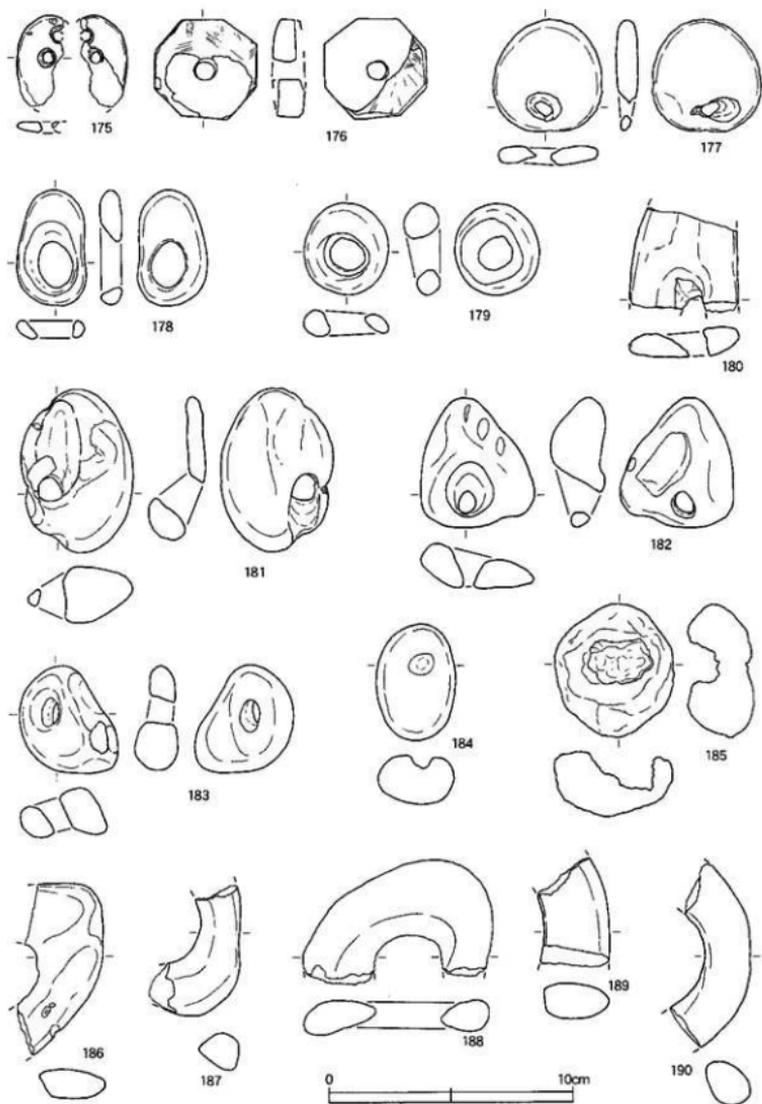
第137図 遠横外出土遺物（石棒）



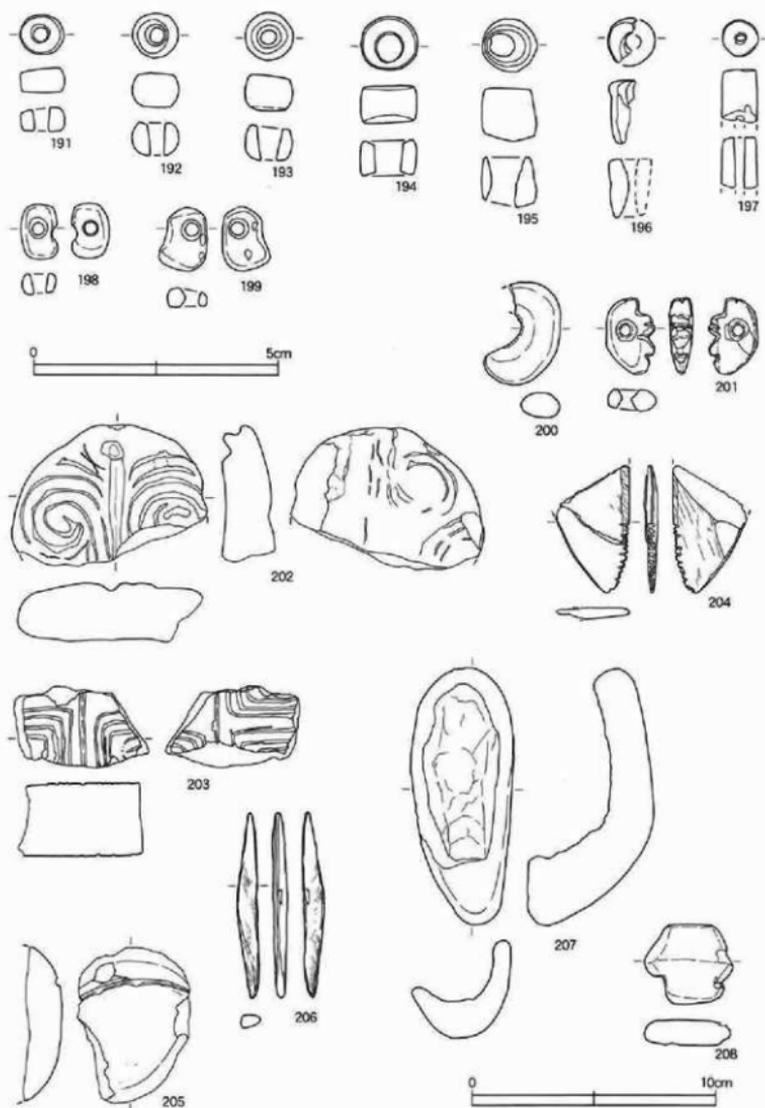
第138圖 遠構外出土遺物(石剣・石刀)



第139図 遠横外出土遺物（独鈷石・石冠）



第140図 遺構外出土遺物（有孔・環状石製品）



第141図 遺構外出土遺物（玉類・岩版・その他）

第9表 遺構外出土石製品観察表 円盤状石製品 1

図番	出土位置・層位	長さ	短径	厚さ	重量	周縁加工	分類	石質
6	MF54 Ⅱ層	5.2	4.8	1.7	64.9	打欠	1	安山岩
7	MD57 Ⅱ層	5.2	4.55	1.7	62.3	打欠	1	砂岩
8	ML46 Ⅱ層	5.4	5.1	1.4	59.9	打欠	1	リバライト
9	MH52 S Q21 埴土	5.5	5.0	2.2	109.2	打欠	1	安山岩
10	ME56 Ⅱ層下	5.55	5.2	1.4	60.2	打欠	1	砂岩
11	MH52 Ⅱ層	5.6	5.0	1.6	74.6	打欠	1	安山岩
12	P681 埴土	6.0	5.0	2.3	95.7	打欠	1	安山岩
13	MH47 Ⅱ層	6.1	6.1	2.0	94.9	打欠	1	安山岩
14	MH52 Ⅱ層	6.3	5.4	1.8	87.4	打欠	1	安山岩
15	ME56 Ⅱ層	6.7	5.8	1.9	101.2	打欠	1	砂岩
16	MH56 Ⅱ層	6.7	6.3	1.5	105.9	打欠	1	安山岩
17	MM40 Ⅱ層	7.3	6.8	2.0	147.3	打欠	1	安山岩
18	MJ47 Ⅱ層	8.3	7.5	3.2	315.1	打欠	1	安山岩
19	MD55 Ⅱ層下	8.7	7.2	2.5	284.6	打欠	1	安山岩
20	機丸	6.4	5.6	2.0	104.1	一部研磨	1 a	安山岩
21	MF56 4号沢跡 1層	4.7	4.7	1.7	53.2	打欠	1 b	珪岩
22	MH53 Ⅱ層	5.8	5.1	1.5	64.4	打欠	1 b	頁岩
23	MJ48 Ⅱ層	5.9	5.7	1.0	66.4	打欠	1 b	砂岩
24	MF55 Ⅱ層	6.6	6.3	2.2	136.8	打欠	1 b	石英脈
25	A1号沢跡 4層	8.2	8.1	2.1	252.2	打欠	1 b	安山岩
26	MG56 Ⅱ層	3.2	3.2	0.7	11.6	打欠	2	安山岩
27	MG51 Ⅱ層	3.9	3.5	1.0	20.3	打欠	2	頁岩
28	MF54 Ⅱ層	4.5	4.0	1.2	34.7	打欠	2	砂岩
29	ML48 Ⅱ層	4.5	4.4	1.9	61.3	打欠	2	安山岩
30	MH50 Ⅱ層	4.5	4.3	1.4	35.7	打欠	2	流紋岩
31	MH44 S D21 1層	4.7	4.4	1.3	38.5	打欠	2	安山岩
32	MD57 Ⅱ層	4.7	4.7	1.0	37.3	打欠	2	安山岩
33	MK50 Ⅱ層	4.7	4.5	1.4	52.8	打欠	2	安山岩
34	A1号沢跡 1層	4.7	4.1	1.0	25.6	打欠	2	リバライト
35	P661 埴土	4.9	4.8	1.4	52.1	打欠	2	安山岩
36	MG56 Ⅱ層	5.0	4.1	1.2	35.5	打欠	2	リバライト
37	MH47 Ⅱ層	5.0	4.6	1.6	55.7	打欠	2	安山岩
38	MK51 Ⅱ層	5.0	4.8	1.8	62.0	打欠	2	砂岩
39	表採	5.0	4.7	1.3	54.7	打欠	2	安山岩
40	MG51 Ⅱ層	5.2	5.2	1.6	69.1	打欠	2	安山岩
41	MJ44 A1号沢跡 Ⅱ層	5.2	4.4	1.4	67.1	打欠	2	安山岩
42	MJ46 Ⅱ層	5.3	4.6	2.2	79.7	打欠	2	安山岩
43	MH52 Ⅱ層	5.3	4.9	2.3	100.6	打欠	2	安山岩
44	MH51 Ⅱ層	5.4	5.1	2.0	81.1	打欠	2	安山岩
45	MH54 Ⅱ層	5.4	4.0	1.3	42.5	打欠	2	砂岩
46	Ⅱ層	5.5	5.3	1.7	73.9	打欠	2	安山岩
47	MH44 S D21 1層	5.5	5.1	1.5	63.5	打欠	2	安山岩
48	MH51 Ⅱ層	5.5	5.2	1.5	62.1	打欠	2	砂岩
49	MG54 Ⅱ層	5.6	4.9	1.7	78.1	打欠	2	安山岩
50	MG56 Ⅱ層下	5.6	5.45	1.1	45.0	打欠	2	安山岩
51	表採	5.6	5.6	1.5	85.4	打欠	2	砂岩
52	ML46 A1号沢跡 Ⅱ層	5.7	5.7	1.8	98.2	打欠	2	安山岩
53	P743 埴土	5.8	5.7	2.0	99.8	打欠	2	安山岩
54	ML51 Ⅱ層	5.9	5.9	2.3	126.6	打欠	2	安山岩
55	MJ48 A2号沢跡 1層	5.9	5.7	1.4	66.1	打欠	2	安山岩
56	MK48 Ⅱ層	6.0	4.8	1.4	56.3	打欠	2	砂岩
57	A1号沢跡 4層	6.1	5.8	2.3	106.8	打欠	2	リバライト
58	M143 Ⅱ層	6.2	5.8	1.9	105.2	打欠	2	安山岩
59	M145 Ⅱ層	6.2	6.0	2.0	113.2	打欠	2	リバライト

第9表 遺構外出土石製品観察表 円盤状石製品2

図番	出土位置・層位	長さ	短径	厚さ	重量	周縁加工	分類	石質
60	MH46 Ⅱ層	6.3	5.7	2.3	130.3	打欠	2	リブライト
61	MG48 Ⅱ層	6.3	5.0	1.6	86.4	打欠	2	安山岩
62	P776 埋土	6.6	5.6	2.3	151.1	打欠	2	安山岩
63	4トレンチ Ⅱ層	6.6	6.1	1.7	86.0	打欠	2	砂岩
64	M147 A2号沢跡 Ⅰ層	7.1	6.7	4.6	313.3	打欠	2	安山岩
65	MH47 Ⅱ層	7.3	6.4	1.4	97.6	打欠	2	砂岩
66	Ⅱ層	7.4	7.1	1.8	128.6	打欠	2	安山岩
67	ML47 Ⅱ層	8.0	6.8	2.6	198.9	打欠	2	砂岩
68	MJ45 A1号沢跡 Ⅱ層	4.3	3.8	1.3	39.8	一部研磨	2a	安山岩
69	M153 Ⅱ層	4.8	4.6	1.4	47.7	一部研磨	2a	安山岩
70	MG52 Ⅱ層	5.0	5.0	[1.3]	[49.0]	一部研磨	2a	安山岩
71	MG54 Ⅱ層	5.0	4.5	2.2	72.5	一部研磨	2a	安山岩
72	MG50 Ⅱ層	6.0	5.7	1.7	97.2	一部研磨	2a	安山岩
73	MJ45 A1号沢跡 1層	6.1	5.8	2.1	135.1	一部研磨	2a	斑岩
74	MH51 Ⅱ層	6.5	6.2	2.3	165.1	一部研磨	2a	安山岩
75	MH58 Ⅱ層	6.5	6.1	2.2	131.7	一部研磨	2a	頁岩
76	MK44 SD21 Ⅰ層	6.6	6.0	1.7	110.8	一部研磨	2a	安山岩
77	M143 Ⅱ層	6.7	6.3	2.2	150.9	一部研磨	2a	砂岩
78	MJ47 A2号沢跡 Ⅰ層	7.6	6.2	2.0	158.7	一部研磨	2a	安山岩
79	MG55 Ⅱ層	4.6	3.9	1.3	39.2	打欠	2b	安山岩
80	P585 埋土	4.9	4.0	1.5	46.2	打欠	2b	安山岩
81	MK48 A2号沢跡 Ⅱ層	4.9	4.9	1.6	67.5	打欠	2b	頁岩
82	MG66 SB13 埋土	5.0	4.6	1.6	57.4	打欠	2b	安山岩
83	MK43 Ⅱ層	5.05	4.8	1.5	57.2	打欠	2b	頁岩
84	P705 埋土	5.1	4.9	1.3	48.4	打欠	2b	安山岩
85	MJ46 A1号沢跡 Ⅰ層	5.2	4.2	1.6	61.5	打欠	2b	安山岩
86	A2号沢跡 Ⅰ層	5.2	4.8	1.1	51.3	打欠	2b	リブライト
87	SK105 埋土	5.4	5.2	1.7	66.4	打欠	2b	リブライト
88	MG55 1号沢跡 2層	5.4	4.0	1.4	54.3	打欠	2b	頁岩
89	P592 埋土	5.5	5.0	1.6	71.0	打欠	2b	安山岩
90	MG56 SB13 埋土	5.5	5.5	[1.0]	[41.2]	打欠	2b	砂岩
91	MH47 Ⅱ層	5.6	5.3	1.9	84.2	打欠	2b	砂岩
92	MK48 Ⅱ層	5.6	5.0	1.3	58.0	打欠	2b	安山岩
93	MG59 SD03 Ⅰ層	5.7	5.4	1.3	75.8	打欠	2b	礫岩
94	MJ44 A1号沢跡 Ⅰ層	5.8	5.6	1.6	82.4	打欠	2b	安山岩
95	MK52 Ⅱ層	5.9	5.7	1.8	98.4	打欠	2b	安山岩
96	ML40 Ⅱ層	5.9	5.7	1.7	76.0	打欠	2b	砂岩
97	MG55 Ⅱ層	6.0	5.9	2.2	119.0	打欠	2b	安山岩
98	ML47 Ⅱ層	6.0	5.8	1.9	102.2	打欠	2b	砂岩
99	MJ47 A2号沢跡 Ⅰ層	6.0	5.6	1.9	95.2	打欠	2b	石英脈
100	ME57 Ⅱ層	6.1	5.5	1.7	93.8	打欠	2b	安山岩
101	ML49 Ⅱ層	6.2	5.9	1.7	98.4	打欠	2b	頁岩
102	ML51 Ⅱ層	6.2	5.1	2.0	109.6	打欠	2b	砂岩
103	MP57 Ⅱ層上面	6.3	5.7	1.7	110.4	打欠	2b	砂岩
104	MJ44 A1号沢跡 Ⅰ層	6.3	5.5	1.9	93.7	打欠	2b	安山岩
105	MJ46 Ⅱ層	5.2	4.6	1.6	64.9	打欠	3	安山岩
106	P716 埋土	5.3	5.3	1.4	62.0	打欠	3	安山岩
107	ML46 Ⅱ層	5.3	5.0	1.7	66.0	打欠	3	砂岩
108	M143 Ⅱ層	5.5	5.5	1.5	75.9	打欠	3	頁岩
109	M148 Ⅱ層	5.5	5.3	1.5	69.1	打欠	3	安山岩
110	MJ45 A1号沢跡 Ⅱ層	5.5	4.9	1.3	51.3	打欠	3	砂岩
111	M147 Ⅰ層	5.9	5.2	1.5	69.9	打欠	3	リブライト
112	MG57 Ⅱ層	6.1	5.5	2.2	104.8	打欠	3	安山岩
113	MJ47 A2号沢跡 Ⅰ層	6.1	5.5	1.9	108.2	打欠	3	安山岩

第9表 遺構外出土石製品観察表 円盤状石製品 3

図番	出土位置・層位	長さ	短径	厚さ	重量	周縁加工	分類	石質
114	MK51 Ⅱ層	6.3	6.2	1.6	99.2	打欠	3	凝灰岩
115	MJ44 A1号沢跡 1層	6.3	6.2	1.6	102.0	打欠	3	砂岩
116	MG52 Ⅱ層	6.6	6.35	1.7	100.8	打欠	3	安山岩
117	MJ47 Ⅱ層	6.6	6.5	2.2	154.4	打欠	3	安山岩
118	攪乱	6.8	6.5	1.9	138.0	打欠	3	リバライト
119	MJ44 A1号沢跡 1層	7.3	6.3	1.7	128.0	打欠	3	リバライト
120	MK49 Ⅱ層	7.6	7.3	2.1	180.2	打欠	3	安山岩
121	MG56 Ⅱ層	9.3	7.65	2.2	245.3	打欠	3	安山岩
122	ML51 Ⅱ層	5.3	5.0	1.7	72.4	一部研磨	3 a	安山岩
123	MH51 Ⅱ層	5.6	5.4	1.7	85.8	一部研磨	3 a	安山岩
124	MG55 Ⅱ層	5.9	5.8	1.2	70.4	一部研磨	3 a	安山岩
125	MJ46 A1号沢跡 1層	6.7	6.5	2.0	164.0	一部研磨	3 a	安山岩
126	MJ47 A2号沢跡 1層	6.9	6.5	2.6	172.2	一部研磨	3 a	安山岩
127	MH51 Ⅱ層	6.1	6.0	2.0	104.6	打欠	3 b	安山岩
128	MJ52 Ⅱ層	6.3	5.7	1.8	94.2	打欠	3 b	安山岩
129	MM39 Ⅱ層	5.8	5.6	0.9	98.0	全周研磨	4	頁岩

第9表 遺構外出土石製品観察表 石剣・石棒・石刀 1

図番	出土位置・層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量	備考	石質
130	MG56 4号沢 1層	石棒	[24.8]	6.4	4.4	[1075.5]	敲打	スレート吉生層
131	P796 埋土	石棒	[13.4]	[4.9]	[2.7]	[258.0]	敲打	スレート吉生層
132	P147 埋土	石棒	[20.5]	[3.0]	[3.0]	[246.0]	敲打・頭部研磨	スレート吉生層
133	MD58 SD03 2層	石棒	[12.1]	[3.5]	[1.8]	[106.6]	敲打・頭部研磨	スレート吉生層
134	M147 Ⅱ層	石棒	[8.3]	-	-	[39.9]	研磨	スレート吉生層
135	ML40 攪乱	石棒	[3.6]	-	-	[12.0]	研磨・頭部浮彫	スレート吉生層
136	攪乱	石棒	[11.3]	-	-	[67.2]	研磨・頭部浮彫 沈線文	スレート吉生層
137	MG49 Ⅱ層	石棒	[9.9]	3.4	2.5	[136.5]	研磨	スレート吉生層
138	SQ23	石棒	[16.4]	4.8	4.7	[559.5]	敲打	ホルンフェルス
139	MJ47 Ⅱ層	石棒	[19.7]	3.3	2.4	[265.5]	研磨	スレート吉生層
140	MK48 A2号沢跡 1層	石棒	[7.5]	3.6	2.9	[123.6]	研磨・端部敲打	砂岩
141	A2号沢跡 1層	石棒	[4.8]	2.6	2.5	[48.6]	研磨	ホルンフェルス
142	MJ48 A2号沢跡 1層	石棒	[6.2]	3.8	3.5	[117.7]	研磨	安山岩
143	M158 Ⅱ層	石棒	[7.8]	[3.8]	3.4	[143.3]	研磨	安山岩
144	MK44 SD21 1層	石棒	[7.7]	2.1	1.2	[34.9]	研磨	スレート吉生層
145	MG56 4号沢跡 1層	石棒	[8.0]	2.4	[1.3]	[37.6]	研磨	ホルンフェルス
146	MF56 4号沢跡 2層	石剣	[7.4]	3.0	1.8	[56.1]	研磨 くたび沈線	スレート吉生層
147	MH58 Ⅱ層	石剣	[5.6]	[2.2]	[0.5]	[9.8]	研磨	スレート吉生層
148	M152 Ⅱ層	石剣	[5.1]	[1.8]	[0.5]	[7.1]	研磨 頭部沈線文	スレート吉生層
149	ME56 Ⅱ層	石剣	[18.3]	[1.9]	0.9	[48.5]	研磨 沈線・刺突文	スレート吉生層
150	MF57 Ⅱ層	石剣	[17.2]	[2.7]	[1.0]	[71.3]	研磨	スレート吉生層
151	SK105 埋土	石剣	[12.8]	2.2	1.5	[53.2]	研磨	スレート吉生層
152	MC56 Ⅱ層下	石剣	[4.7]	1.5	1.0	[7.5]	研磨	スレート吉生層
153	表層	石剣(棒)	[9.7]	[2.9]	1.2	[56.5]	研磨	ホルンフェルス
154	MK46	石剣(棒)	[7.1]	2.4	1.4	[44.5]	研磨・磨製石斧?	ホルンフェルス
155	M138 Ⅱ層	石刀	[10.7]	[3.25]	1.7	[80.4]	研磨	スレート吉生層
156	ME56 Ⅱ層	石刀	[11.6]	3.1	1.6	[79.9]	研磨	スレート吉生層
157	MQ36 Ⅱ層	石刀	[7.3]	[3.4]	[1.1]	[29.8]	研磨・頭部沈線	スレート吉生層
158	3トレンチ Ⅱ層	石刀	[5.7]	3.9	0.8	[28.1]	研磨・頭部沈線	スレート吉生層
159	M145 A1号沢跡 1層	石刀	[19.8]	3.15	1.1	[137.4]	研磨	スレート吉生層

第9表 遺構外出土石製品観察表 石剣・石棒・石刀2

図番	出土位置・層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量	備考	石質
160	MG54 Ⅱ層上面	石刀	[10.3]	[2.4]	[1.0]	[33.4]	研磨	スレート古生層
161	MK43 Ⅱ層	石刀	[11.2]	[2.9]	1.8	[79.9]	研磨	安山岩
162	MG55 Ⅱ層上面	石刀	[10.6]	2.95	1.0	[48.0]	研磨	凝灰質頁岩
163	MH52 Ⅱ層	石刀	[8.2]	3.2	1.7	[68.9]	研磨	安山岩
164	MN40 Ⅱ層	石刀	[13.8]	3.5	1.2	[98.5]	研磨	スレート古生層
165	M I 47 Ⅱ層	石刀	[9.25]	[3.8]	[1.5]	[62.8]	研磨	スレート古生層
166	ML46 A1号沢跡 1層	石刀	[5.7]	[2.9]	0.8	[18.0]	研磨	凝灰質頁岩
167	MH52 Ⅱ層	石刀	[17.9]	[4.8]	[1.4]	[163.3]	研磨	スレート古生層
168	M J 45 Ⅱ層	石刀	[17.4]	[3.9]	1.8	[171.0]	敲打	スレート古生層

第9表 遺構外出土石製品観察表 玉類・その他

図番	出土位置・層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質
169	2トレンチ Ⅱ層	鉄結石	6.4	[9.6]	2.6	[147.3]	砂岩
170	MH51 S D15 埋土	鉄結石	5.8	[9.75]	3.8	[325.2]	ハンレイ岩
171	ME49 Ⅱ層	鉄結石	[5.8]	[8.85]	4.0	[262.6]	ハンレイ岩
172	M I 58 Ⅳ層	鉄結石	[4.7]	[8.5]	[3.3]	[133.2]	砂岩
173	MC62 Ⅱ層	石冠?	4.4	10.2	2.5	168.7	砂岩
174	MH51 Ⅱ層	石冠	5.6	7.0	3.8	139.1	凝灰質砂岩
175	ME66 Ⅱ層	有孔石製品	[3.75]	[1.95]	[0.5]	[3.5]	凝灰質砂岩
176	S D01 LM74 1層	有孔石製品	4.1	4.2	1.3	27.6	頁岩
177	MH60 Ⅱ層	有孔石製品	4.6	4.45	0.9	26.5	リバライト
178	M J 54 Ⅱ層	有孔石製品	4.75	2.8	0.9	13.4	リバライト
179	ME54 Ⅲ層上	有孔石製品	3.8	3.5	1.5	14.1	リバライト
180	MF55 4号沢跡 2層	有孔石製品	[4.3]	[4.5]	1.2	[28.3]	リバライト
181	M J 45 Ⅱ層	有孔石製品	6.7	4.6	2.3	62.8	砂岩
182	MH51 S D15 埋土	有孔石製品	5.45	4.8	2.3	52.9	リバライト
183	ML37 Ⅱ層	有孔石製品	4.4	4.05	1.9	38.0	砂岩
184	P613 埋土	有孔石製品	4.8	3.3	2.0	37.4	リバライト
185	MH44 Ⅱ層	有孔石製品	5.5	4.9	2.7	85.5	リバライト
186	MF56 Ⅲ層	環状石製品	[7.0]	[3.6]	1.2	[38.9]	リバライト
187	Ⅱ層	環状石製品	[5.4]	[3.7]	1.5	[31.2]	砂岩
188	S Q03 R Q01	環状石製品	[5.1]	[7.8]	1.4	[64.3]	砂岩
189	MF52 Ⅱ層	環状石製品	[4.6]	[2.9]	1.5	[30.2]	砂岩古生層
190	撥丸	環状石製品	[7.5]	[3.3]	1.8	[44.6]	リバライト
191	MG54 Ⅲ層下	小玉	0.8	0.9	0.5	0.5	不明
192	MH45 Ⅱ層	小玉	0.9	0.95	0.7	0.8	ヒスイ
193	M J 44 Ⅱ層	小玉	1.0	1.0	0.85	1.1	不明
194	M I 45 Ⅱ層	小玉	1.1	1.15	0.8	1.1	凝灰岩
195	M I 47 Ⅱ層	小玉	1.1	1.1	1.1	1.5	不明
196	M J 48 A2号沢跡 Ⅱ層	管玉	[1.3]	[1.0]	-	[0.7]	ヒスイ
197	MM46 Ⅱ層	管玉	[1.1]	0.75	-	[0.9]	軟玉
198	M I 48 Ⅱ層	勾玉	1.15	0.75	0.4	0.8	ヒスイ
199	ML49 A2号沢跡 1層	勾玉	1.3	1.0	0.4	1.0	ヒスイ
200	MD56 Ⅲ層	勾玉	4.2	[3.1]	1.1	[14.6]	安山岩
201	ML51 Ⅱ層	勾玉	[3.1]	2.0	0.95	[4.9]	凝灰岩
202	ME56 Ⅱ層	岩版	[5.8]	[8.0]	2.4	[61.3]	凝灰岩
203	MG52 Ⅱ層	岩版	[3.45]	[5.5]	3.0	[36.3]	凝灰岩
204	MK51 Ⅱ層	石製品(石剣?)	[5.2]	[3.0]	[0.5]	[7.6]	スレート
205	2トレンチ Ⅱ層	石製品	[4.6]	[6.4]	[1.6]	[31.1]	凝灰岩
206	MF56 Ⅲ層	棒状石製品	7.65	0.85	0.6	4.6	頁岩
207	M J 51 Ⅱ層	その他	10.6	4.7	-	180.0	砂岩
208	3トレンチ Ⅱ層	石製品	3.3	3.6	1.1	17.1	砂岩

## 第2節 中・近世～近代の遺構と遺物

近世から近代の遺構は、普請地形的ものと作事関連のものがあり、調査区全域に展開しているが、調査区南側（B区）には近現代の遺構が若干あるだけで、大半の遺構は北側の環濠屋敷（C区）と中央部の御蔵場（C区）で検出された。

普請地形的ものとしては、全体的に削平及び盛土によって造成整地が行われ、区画防御施設としての堀及び土塁によって環濠屋敷と御蔵場を区分しており、堀と土塁は調査区外においても現況で一部痕跡的に確認できる。このほか環濠屋敷には石垣と湧水池等がある。

主な作事関連の遺構は、掘立建物跡が環濠屋敷と御蔵場に分布し、長方形プランで間仕切りのないものと布張りものは御蔵場に位置し、建物跡の基礎痕跡としては、礎石もしくは土台建てで、長方形と推定される布張り状にグリ石の詰まったものは御蔵場に、荷重によって地面がグライ化したものは環濠屋敷の北側に占地する。土坑類は環濠屋敷、御蔵場いずれも北側寄りに分布し、配石類は環濠屋敷の北側にある。以下、地区ごとに各遺構について記載する。

### （1）環濠屋敷（C区）

調査時点の現況では、地主の引越しに伴う屋敷内神社と鳥居、門、倉、樹齢100年以上の樹木の重機による移設のため、遺跡内はかなり攪乱された状態にあり、また昭和30年代の敷地内の近代住宅の建設によることもあってか、環濠屋敷と御蔵場の境界線は不明であった。かろうじて現況から確認できたものは北端の堀と土塁の一部、北東部の石垣、門跡の礎石、門脇の石組み造りの湧水池などである。ただし戦前のものである地籍図と平成6年度前沢町教育委員会作成の大家屋敷敷地面図からは発掘開始前におよそ環濠屋敷の範囲は推測することができた。調査からは全体的に削平整地がなされた方形区画の割割で、敷地面積は約5,600㎡と推定される。

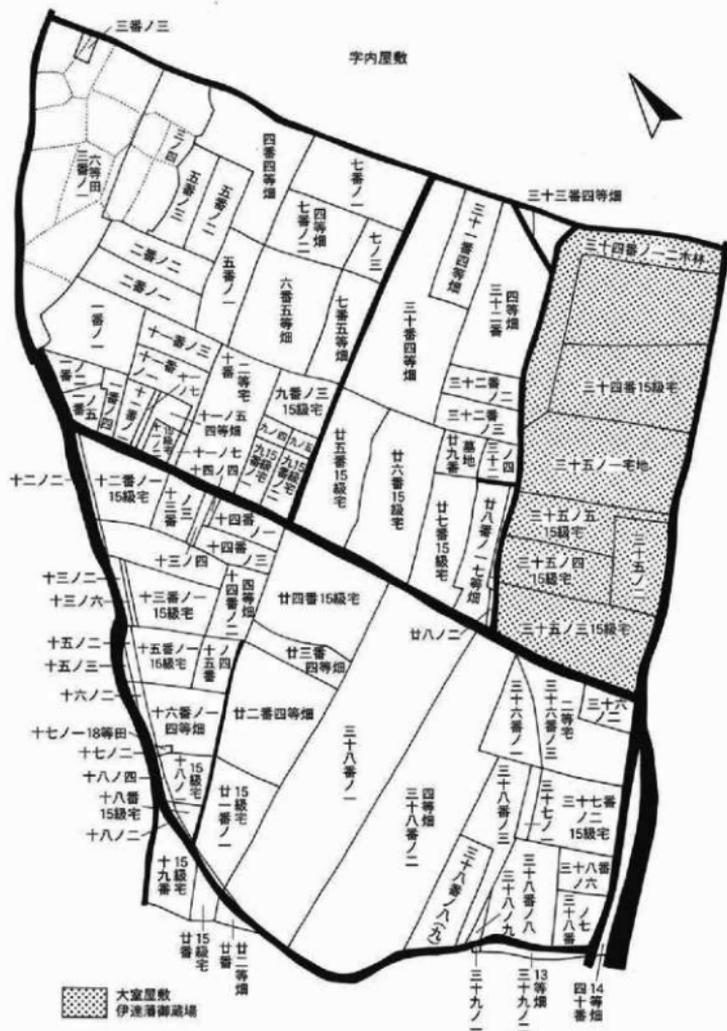
#### A. 普請地形的遺構（堀・土塁・石垣・湧水池等）

S D01溝跡(第146・147・183・189・191・192・195・201・214図、写真図版16・157)

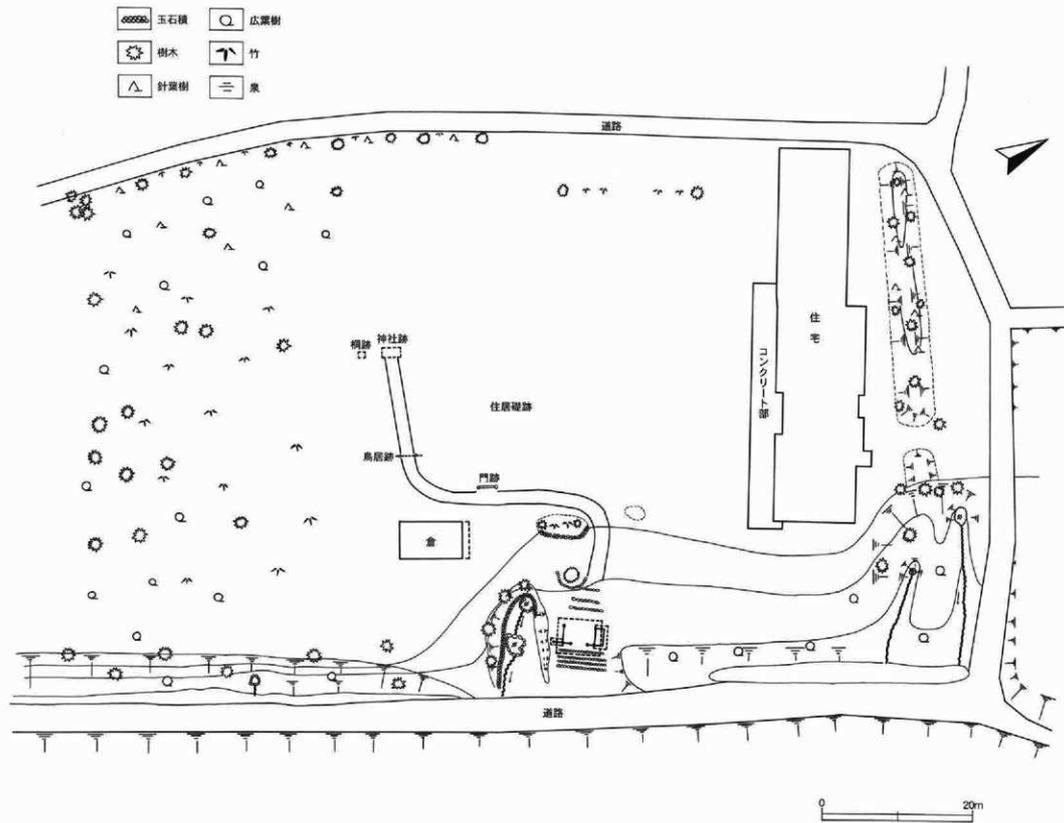
環濠内で一段低い東側の北部（ニフ?）、L L71～73・L M74グリッドに位置する。本遺構は、年月による土塁の崩落よりも現代の住宅建設時の整地で埋め立てられたものと思われ、現況では確認できなかったものだが、表土（盛土）を除去したところ検出したものである。平面形はS F02土塁を挟んで環濠と平行するように「くの字」に走行し、西端は段差の裾から始まり、屈曲した南端はS D06に接続する。規模は全長約19m、幅は0.7～1m、深さはおよそ20～50cmを測る。埋土は暗褐色系2層からなる人為堆積である。西端部底面からは地下水がにじむように湧きだすことから、S D06水路に流ししていたと推定される。また水流によるためか屈曲部ではオウ穴状の落ち込みも認められた。遺物は若干の陶磁器と金属器1点が出土した。

S D02堀跡(第146・147・177・183・184・187・189～191・194・199・203・206・208・213図、写真図版13・155・157)

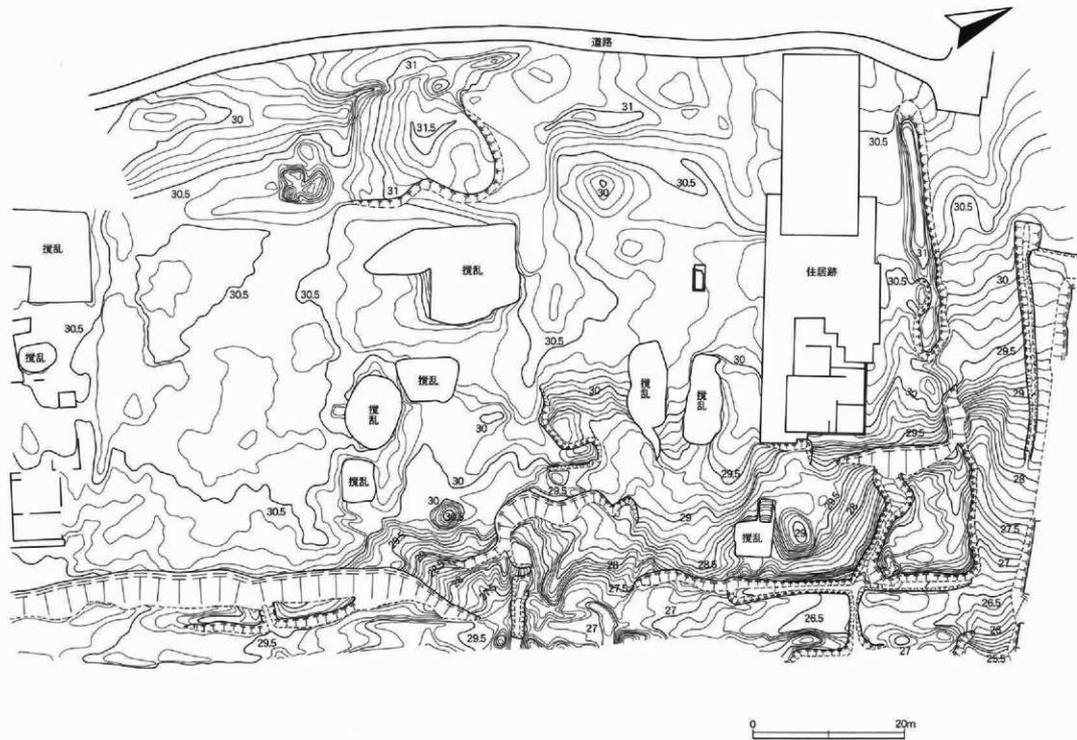
方形環濠の北辺の一部で、一段高い西側部分である。L Pラインから西側の75～77ラインのグリッドに位置する。本遺構の南側（環濠内側）にはS F01土塁に伴い、東側の低い面には筋違いでS D04堀跡が連続する。調査開始時点の現況では、地主の平成6・7年の移転に伴って埋め立てられていたため、状況は把握できなかったものである。推定される西隅までの長さは約40m、検出した範囲での形態と規模は長さ約20m、土塁からの実効幅約5m、実効法高約3.5m、垂直高約1.4m、外壁法高約2m、基底部幅約30cmの菜研状を呈する。埋土はほとんどが現代の埋め立てによる人為堆積である。遺物は近世～現代の陶磁器と石鉢1点、煙管1点が出土した。



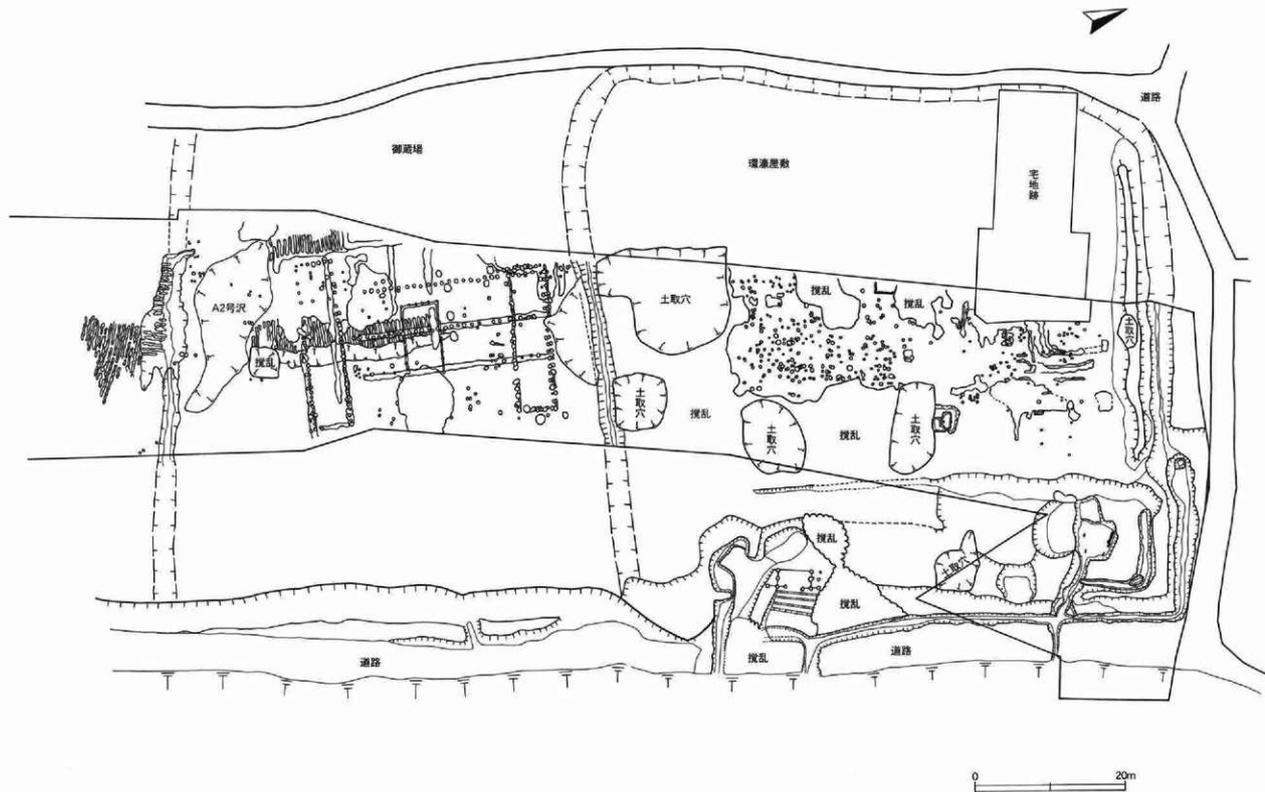
第142図 川岸場周辺地籍図



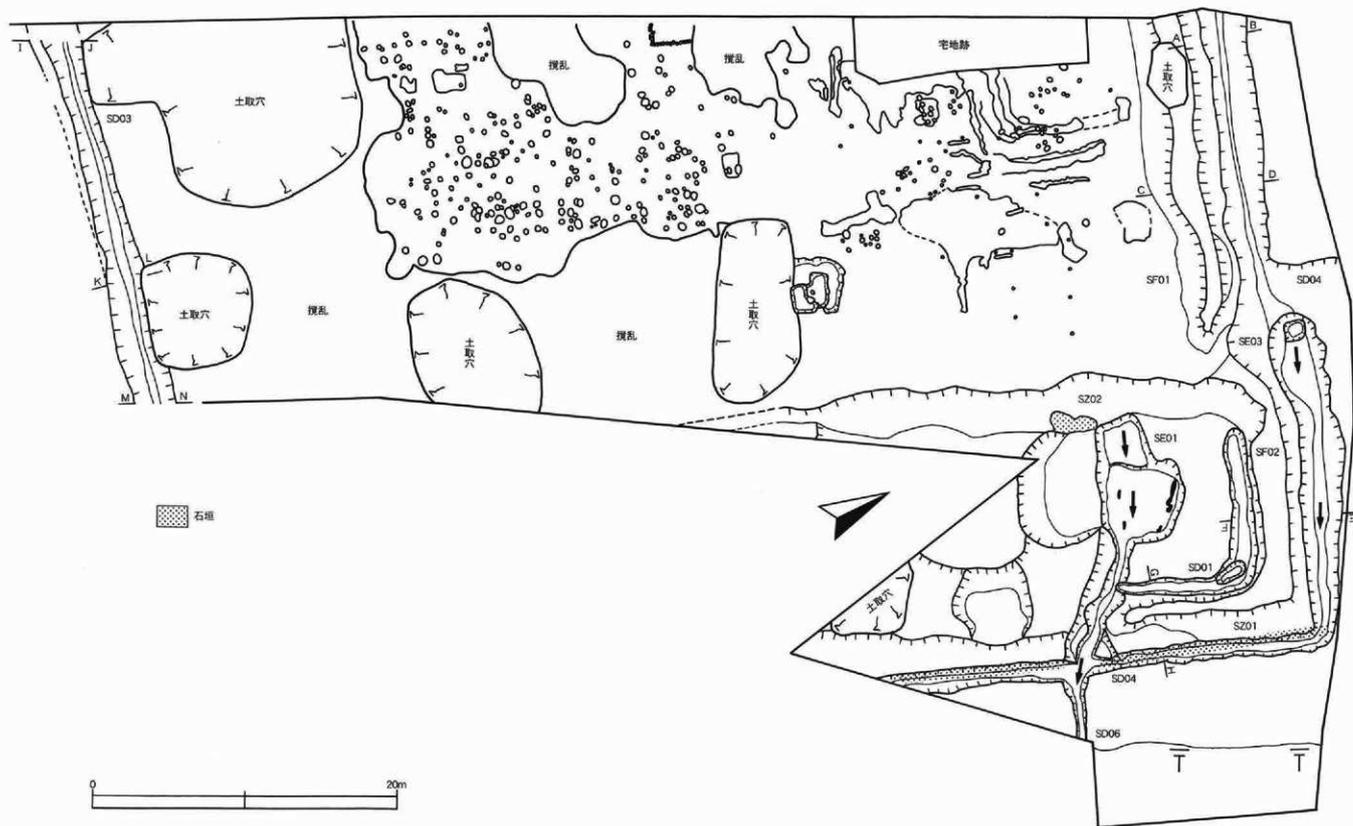
第143図 大室屋敷敷地平面図（平成6年度作成前沢町教育委員会転載）



第144圖 調査前現況地形図



第145図 近世の遺構配置図



第146図 環濠屋敷遺構配置図

S D03堀跡(第146・147・176・208図、写真図版14・155)

方形環濠の南辺の一部で、58・59ラインのグリッドに位置する。本遺構の北側(環濠内側)は移転時に攪乱されており、そのためか、あるいは御蔵場造営によるものかは不明ではあるが、土塁は確認されなかった。現況地形からは東端の段丘崖から西側隅までの長さは約70mと推定される。検出した範囲での形態と規模は長さ約25m、上幅約3m、深さ約1.5m、基底部幅約50cmの葉研状を呈する。埋土は一部自然堆積と思われるところも見られたが、およそ人為的な様相を呈し、御蔵場造営時の埋め立て、もしくは土橋が存在した可能性も考えられる。遺物は中世～近世の陶磁器と石臼1点が出土した。

S D04堀跡(第146・147図、写真図版13)

方形環濠のうち環濠屋敷の北東低位部(ニワ?)を囲む部分である。北辺側の西端はS D02に連続し、東辺は門跡に続く石段あたりまでが現況から確認できた。北辺部分と東辺部分では形態と規模は異なり、北辺部分ではS D02・03堀跡と形態・規模とも類似するが、東辺部分は規模が縮小して溝状を呈する。S D01溝跡と平行する部分にはS F02土塁が伴い、東辺部の内側にはS Z01玉石垣が積まれている。検出した範囲での形態と規模は、北辺部では長さ約22mの箱葉研状を呈し、平均的な土塁からの実効堀幅約3m、実効法高約1.7m、垂直高0.7～1m、外壁法高約1m、基底部幅約1mを測り、東側に向かい相対的に深く低くなる。東辺部では長さ約50m、幅約1m、深さ約20～30cmを測り、北側隅から15m程のところではS D06と交差する。遺構の北辺西端部と、交差するS D06の西端には伏流水の湧きだし(S E01・03)があり、本遺構は現在でも流水状態となっている。東辺部分については東側が旧道のこともあって、形態・規模・状況から堀跡というよりも道路側溝と思われる。遺物は現在も流水路ということもあって出土しなかった。

S D06溝跡(第146図、写真図版16)

環濠内で一段低い北東部(ニワ?)に位置し、西側LM72グリッドのS E01湧水池から始まり、S D04を横断して松の木沢川に至る排水路溝である。形態はS D04東辺部の道路側溝と類似し、規模は長さ約15m、幅約1mを測り、東側に低くなっている。S D04同様にも現在も流水状態にあり、遺物は出土しなかった。

S F01土塁(第146・147・177・179・194・198・204図、写真図版13)

方形環濠北辺のS D02堀跡に伴う土塁である。現況では北西隅まで確認できたが、調査地分については地主の移転に伴い、荷物等の搬出がしやすいように掘削やS D02堀跡の埋め立てが行われたため遺存状態は良好ではない。現況で確認される規模は、長さ約42m、基底幅4～5m、上幅1m前後、垂直高(S D02堀底から)約2.5mを測る。普請はS D02堀跡を掘削した土や、敷地の削平整地で生じた土を盛り上げたと思われる黄褐色土と黒ボク土が混じったもので、高さ1～1.5m程に盛られた断面がマボコ形の叩き土塁である。遺物は表土および現代の掘削等による攪乱土中から近世～現代の陶磁器が若干出土した。

S F02土塁(第146・147・190・196図、写真図版13)

環濠内の北東低位部のS D01溝跡とS D04堀跡の間に位置し、環濠内の北東隅で「くの字」となる土塁である。東辺部分は特にS D01に接して平行するようになり、規模が小さく、西端は道路状の緩傾斜となって西側高位部に続く。規模は長さ約20m、基底部幅は北辺側で約3m、東辺側で約2m、上幅は北辺側で約2m、東辺側で約1mを測り、平行するS D04堀跡の規模と対応する様相を呈し、それに従って大きくなり、北辺部の高さは約0.5m、東辺部は0.3m前後とやや低い。普請は主としてS F01土塁と同様に、S D01溝跡とS D04堀跡の掘削土を用いた断面台形状の叩き土塁である。遺物は表土から近世磁器がわずかに出土した。

S Z01石垣(第146・148図、写真図版15)

S D04東辺部の旧道に伴う道路側溝の内壁側に積まれた玉石垣である。S D06溝跡と交差する部分は一

部途切れ、南側は門跡まで続いていたものと思われるが、門の移設の際に破壊されたため全容は不明である。現状で確認できる形態と規模は、コブシ大の自然石を壁面に張り付けたような一重に積み上げたもので、長さ約37m、高さは約70cm程を測る。遺物は出土しなかった。

#### S Z02石垣(第146・149・176・179・181~183・185・187・196図、写真図版15)

環濠屋敷の西側高位部と東側低位部との段差となる壁に積まれた下石垣である。昭和30年代の住宅建設と平成の移転に伴う作業によってほとんどが破壊されており、現状では部分的な痕跡としてのみ認められるものである。調査区内においてはS E01湧水池付近に崩落等の若干の痕跡があるだけで、比較的状況の把握できる部分は、調査区外の旧母屋から門に至る通路部分の法面にある。積み石はS Z01よりは大幅りのものが用いられる外は、状況は大差ないものと思われた。推定される規模は、長さ約50m、高さ2~3mである。遺物は整地による攪乱土から中世~近代の陶磁器が出土した。

#### S E01湧水池(第149・177~183・187・189~193・196~201・203~214図、写真図版16・154~157)

環濠内北東低位部のLN72グリッドを中心とする所に位置する。現状は荒れ放題の状態で使用されていなかったが、本来的な機能をいまだ有するのが認められた。平面形はやや不整な大小の方形の掘り込みが連続したものだが、機能面からみて時期差をもつ個別の遺構である可能性は極めて低い。規模は西側高位部との段差の幅にある方が一辺約3mと小さく、東側の方がやや歪な一辺4~5mと大きくて一段低い。掘り込みの深さは西側が約50cm、東側が約60cmを測る。西端部からは現在でも伏流水が湧き出しており、東側につながるSD06排水溝から松の木沢川に注いでいる。東側の池の北辺中段には洗い作業などのためと思われる一部欠けた幅約30cm、長さ約4mの足場板がある。昭和30年代の住宅建設の整地の際のものと思われる排土中から近世~現代(戦中・後)の陶磁器が比較的多量にと木・石・古銭・金属製品が出土した。

#### S E03湧水池(第146図)

SD04堀跡北辺の西端LO76グリッドに位置する。SD02堀跡と連続する部分で最も深く危険なこともあってか、移転時にかなり埋め立てが行われたものと思われ、調査開始時点の現況では確認できなかったものである。埋め立てあるいは長らく放置状態であったためか、遺存状況は極めて悪い。掘り込みはS E01と同レベルの伏流水に達し、SD04堀跡底面よりもやや深い。破壊がひどく、湧水量も多いことから詳細は不明であるが、およそ方形基調の掘り方で壁面には幼児の人頭大の河原石を積み上げていたものと思われる。地形的な位置関係からみて生活用というよりも堀の崩落を防ぐためのものと推定される。

#### B. 母屋関連の遺構(掘立柱建物跡・柱穴列・土間状遺構・焼土遺構等)

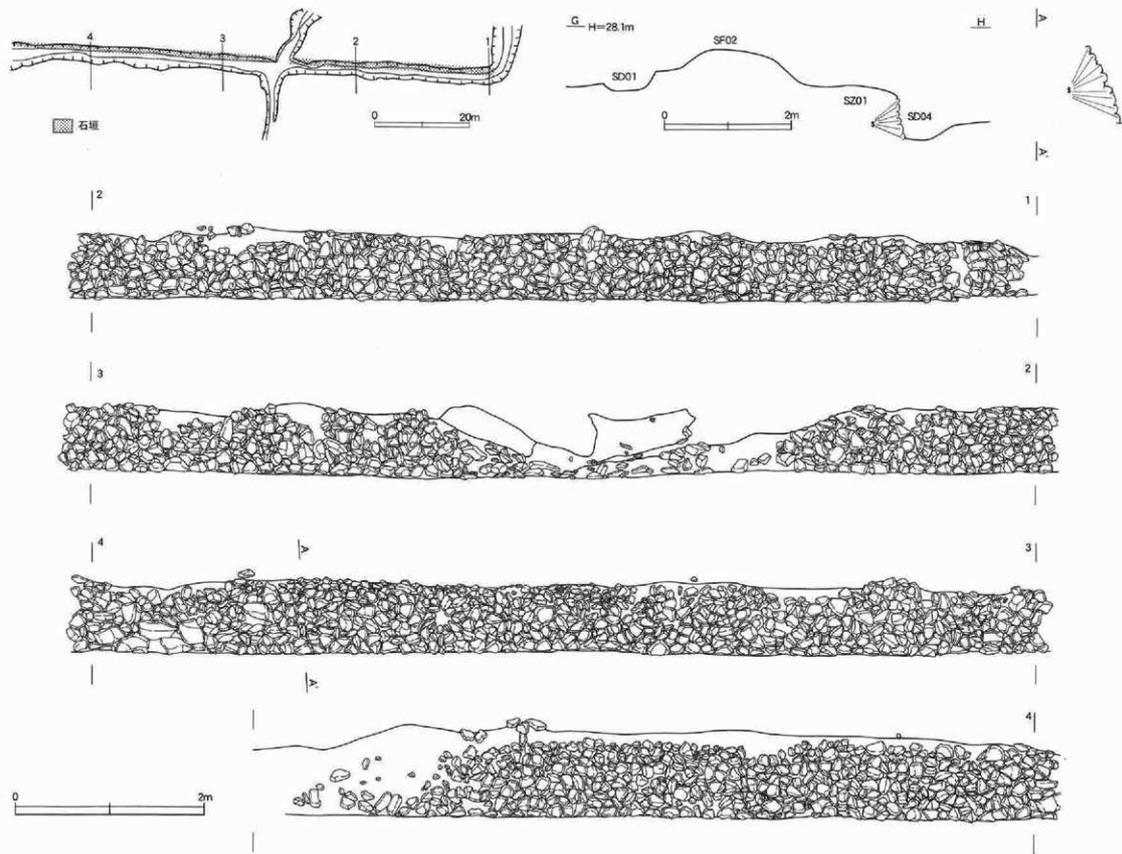
##### S B21掘立柱建物跡(第151図、第10表、写真図版17)

環濠屋敷の中央やや南寄りMC・MD64・65グリッドに位置する。位置的にS B22・23掘立柱建物跡と重複すると思われるが、柱穴の直接的な切り合い関係がないため、新旧関係は不明である。東側が現代の移転の際に攪乱され全容は不明であるが、平面形は桁行2間、梁行3間の長方形プランで、東西の2室からなっていると推定される。長軸方位はN-70°-Wである。規模は桁行が約8.7m、梁行が約6m、面積は52.2㎡と推定される。柱間は梁行で約2m、桁行は西側が約4m、東側は約4.7mを測る。遺物は出土しなかった。

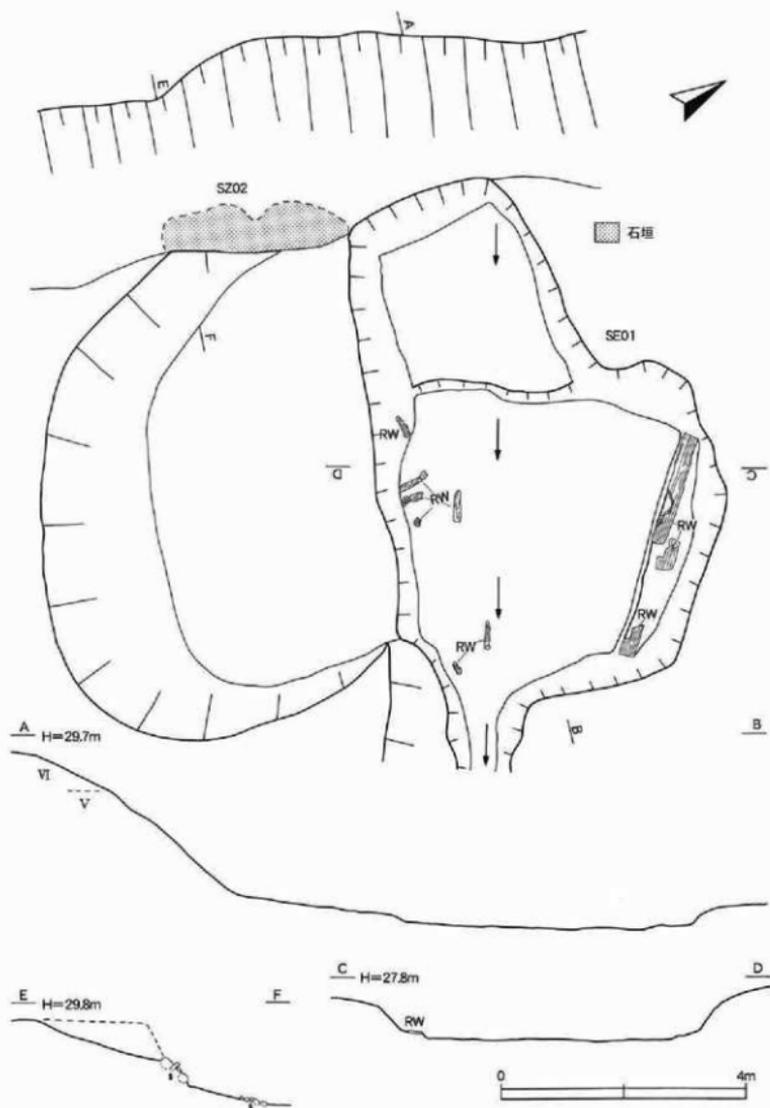
##### S B22掘立柱建物跡(第151図、第10表、写真図版17)

環濠屋敷の中央やや南寄りS B21の北側、MB~MD63~68グリッドに位置する。位置的にS B21・23掘立柱建物跡とSA11柱穴列と重複する。柱穴の切り合いからS B23よりは古い、S B21とSA11との新旧関係は不明である。ただしSA11には柱木が残っていたことから本遺構の方が古いものと思われる。平面形は西側が一部掘削により攪乱され、やや正確さに欠けるが、東側に下屋の付く桁行約16.4m、梁行





第148圖 SZ01石道



第149圖 SE010湧水池・SZ02石垣

約8.2m、面積約134.5㎡の規模の長方形プランと推定される。長軸方向はN-30°-Eである。柱間は桁行で約2.5m、梁行で約3mが多いが、多少ばらつきがあり、東側の上屋柱と下屋柱の間隔は約2mである。想定した間取りは南側が上手、北側が下手のヒロマ型の3室間取で、上手西側が納戸、東側が座敷といった部屋と想定される。中の部屋は日常生活の中心となるもので、土間と思われる下手にはSN01・03焼土遺構があり、いづれかがカマドあるいは炉と推定される。規模と位置から母屋跡と思われる。遺物は出土しなかった。

#### S B 23 掘立柱建物跡(第152図、第11表、写真図版17)

環濠屋敷の中央やや南寄りS B 21の北側、MB~MD63~68グリッドに位置する。位置的にS B 21・22掘立柱建物跡およびS K 10土坑と重複する。柱穴の切り合いからS B 22より新しく、S K 10より古い、S B 21との新旧関係は不明である。平面形は外周が一部掘削により攪乱され、やや正確さに欠けるが、東側に下屋の付く桁行約17m、梁行約8.5m、面積約144.5㎡の規模の長方形プランと推定される。長軸方向はN-30°-Eである。柱間は桁行、梁行とも約2mが多いが、多少ばらつきがあり、東側の上屋柱と下屋柱の間隔は約1mである。想定した間取りは南側が上手、北側が下手のヒロマ型の3室間取の変形で、上手の西側が納戸、東側が座敷といった部屋で南側端(柱間約2m)は部屋の拡張もしくは部屋の増築と想定される。中の部屋は日常生活の中心となるものだが、ヒロマ型の4室間取とも考えられ、土間と思われる下手にはカマド(伊)跡と推定されるSN02焼土遺構があり、規模と位置から母屋跡と思われる。遺物は出土しなかった。

#### S A 10 柱穴列(第151図、第11表、写真図版17)

環濠屋敷中央のS B 22・23掘立柱建物跡(母屋跡)の南西側MF64グリッドに位置し、軸方向はS B 22・23と等しい。北方向への延長は考えられないが、南側は屋敷内神社と御神木の桜を移設した際に著しく攪乱されており、また西側は調査区外となるため建物跡の可能性も考えられる。現状での規模は5間の柱間約1m、長さ約5mを測る。P334・350には根石、P337には柱木が認められた。柱穴からは遺物は出土しなかった。

#### S A 11 柱穴列(第151図、第11表、写真図版17)

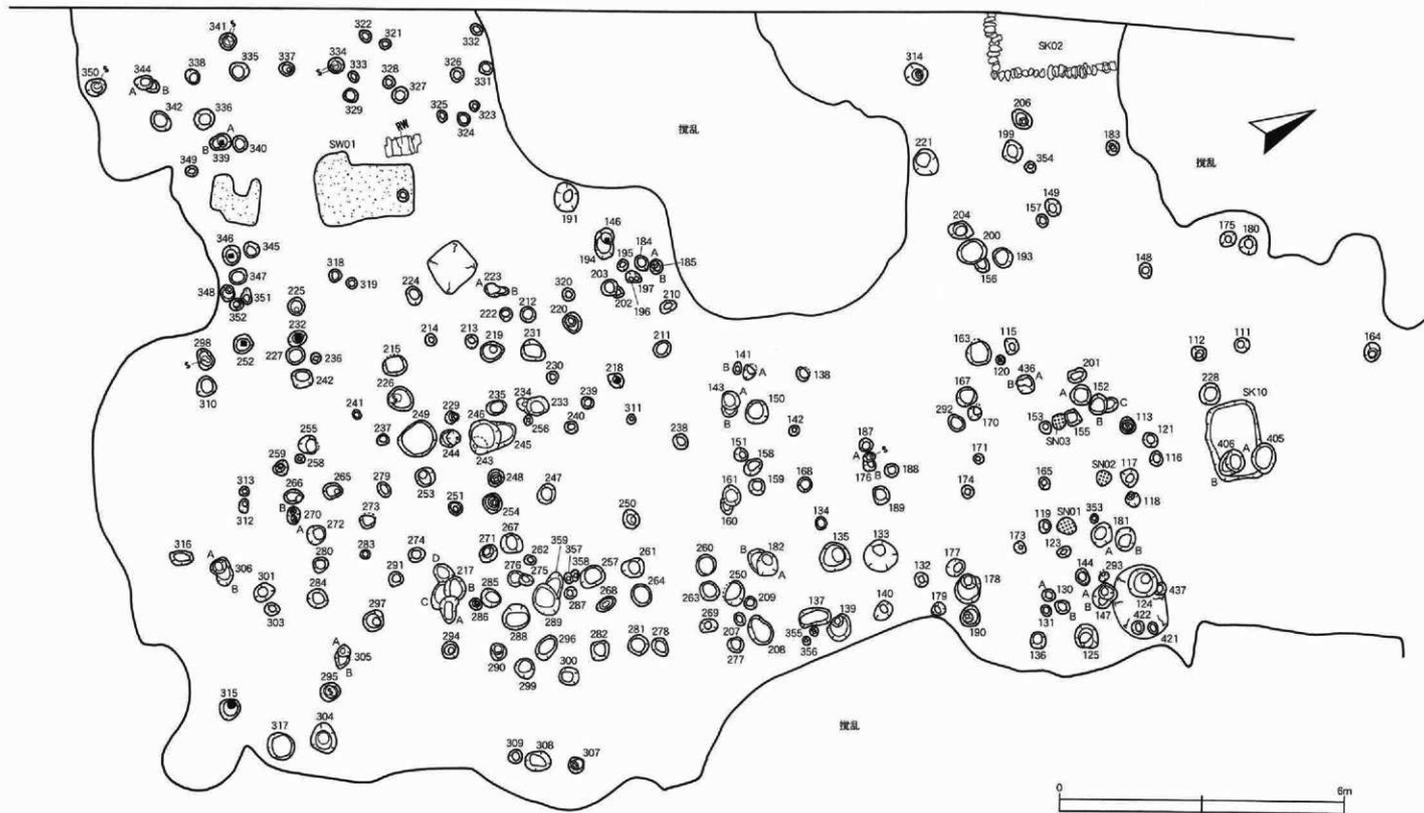
環濠屋敷の中央南西寄り、S B 21~23掘立柱建物跡とS A 10柱穴列の間のME64グリッドに位置する。位置的にS B 22掘立柱建物跡と重複するが、柱穴の直接の切り合いがないため新旧関係は不明である。軸方向はS A 10との直行方向の東西に2間と東側で北側に屈曲する1間の4本の柱からなる。柱間は一定していないが、いずれも角柱が残存し、掘り方の規模とも等しいことから一連のものと判断した。西および南側はS A 10と同様の状況にあるため全容は不明である。本遺構の北側にはS W 01土間状遺構があり、これを囲むような様相を呈することから関連するものの可能性が考えられる。遺存状況からみてS B 22より本遺構が新しい可能性が高い。柱穴からは遺物は出土しなかった。

#### S W 01 土間状遺構(第151・188図、写真図版17)

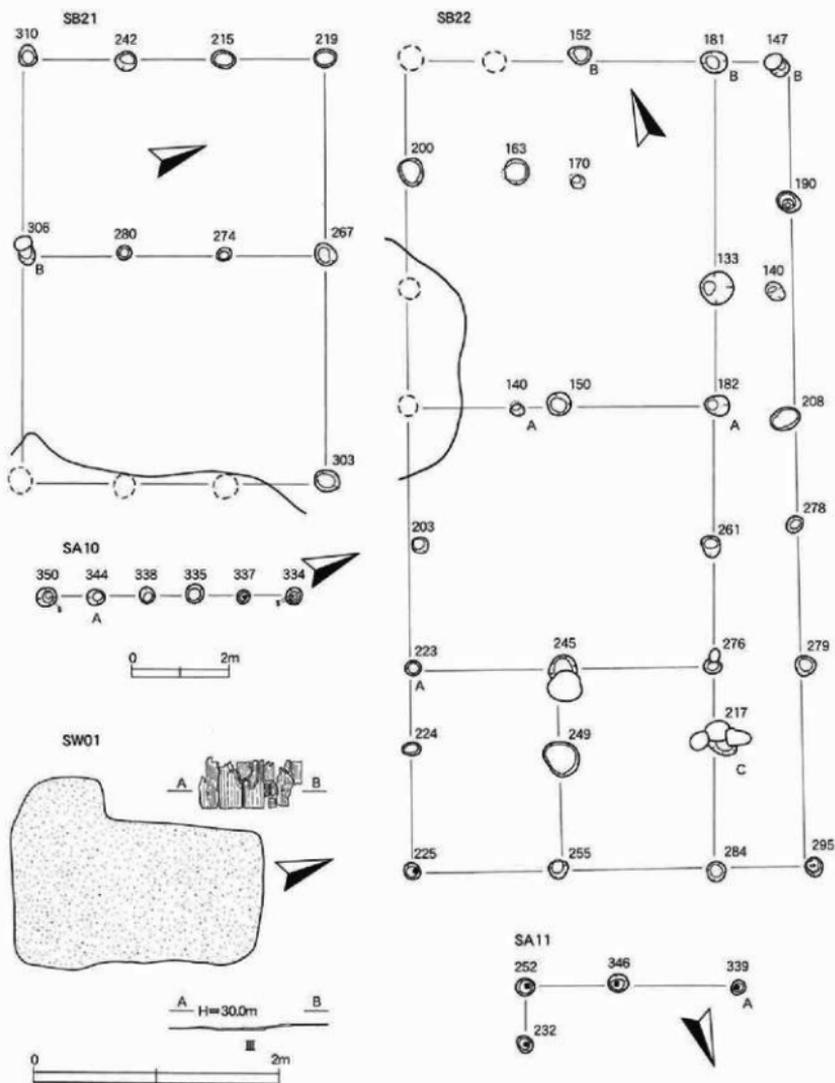
環濠屋敷の中央南西寄り、S B 21~23掘立柱建物跡とS A 10・11柱穴列に囲まれるようにしてME65グリッドに位置し、本遺構付近では柱穴は希薄である。検出状況としては堅く締まった黄褐色の粘土と板敷きが確認されたものである。粘土は周囲の建物跡及び柱穴列と向きを同じくするもので、南北長さ約2m、東西幅約1.1m、南西隅が西側に30cmほど張り出す。この張り出しの北側に板敷きがあり、一枚の長さ約40cm、幅約15cmで、南北方向に並ぶ5枚を検出した。位置と木材の遺存状況からS B 21~23掘立柱建物跡よりは新しく、S A 10・11柱穴列との関連性が高いものと思われる。粘土中から近世磁器1点が出土した。

#### S N 01 焼土遺構(第152図、写真図版17)

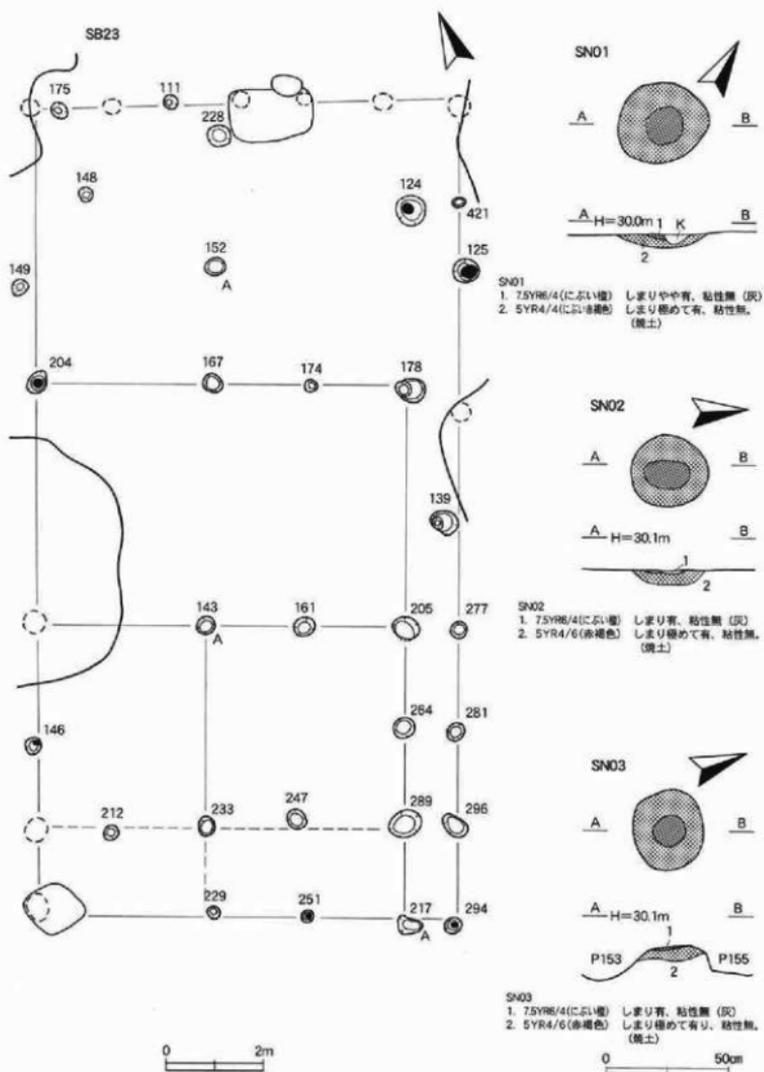
MA67グリッドに位置し、近世整地面で検出した現地性の焼土である。平面形は略円形を呈し、焼土の広がりには径約35cm程である。火熱による赤色変化は強い。中央には径15cmの広がり、厚さ3cmのふい



第150図 母屋部分の遺構配置図



第151圖 SB21・22堀立柱建物跡、SA10・11柱穴列、SW01土間状遺構



第152図 SB23掘立柱建物跡、SN01~03焼土遺構

橙色の灰が認められた。位置関係からみてS B22掘立柱建物跡に伴うものである可能性が高い。

#### S N02焼土遺構(第152図、写真図版17)

MB68グリッドに位置し、近世整地面で検出した現地性の焼土である。平面形は略円形を呈し、焼土の広がりは径約30cm程である。火熱による赤色変化は強い。中央には21×12cmの広がりで、厚さ1cmのにぶい橙色の灰が認められた。位置関係からみてS B23掘立柱建物跡に伴うものである可能性が高い。

#### S N03焼土遺構(第152図、写真図版17)

MB67グリッドに位置し、近世整地面で検出した現地性の焼土である。平面形は略円形を呈し、焼土の広がりは径約32cm程である。火熱による赤色変化は強い。中央には径12cmの広がりで、厚さ1cmのにぶい橙色の灰が認められた。位置関係からみてS B22・23掘立柱建物跡に伴うものか、あるいは想定できなかった掘立柱建物跡に伴うものである可能性がある。

#### 母屋跡部分の柱穴群(第150図、第11表、写真図版17)

母屋跡部分の柱穴は掘立柱建物跡と柱穴列に帰属すると判断したものも含めて総数で約400基を検出した。柱間にバラツキがあり、西側が攪乱されていることもあって、建物跡を想定するには至らなかったが、S B22・23掘立柱建物跡の東側街と軸方向の等しい並びがもう1条認められることから、さらに1棟掘立柱建物跡が存在していたと推定される。想定できなかった残りの柱穴については以下に一覧表として掲載する。

第10表

S B21

No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底径高	柱径	重複	分類
215	MD64	略円形	0.40	0.38	0.32	29.59			D
219	MD65	楕円形	0.48×0.40	0.42×0.34	0.32	29.58	円0.18		G
242	MD64	楕円形	0.39	0.30×0.23	0.40	29.55			D
267	MC65	略円形	0.44	0.31×0.23	0.30	29.54			G
274	MC64	円形	0.28	0.19	0.33	29.54			G(C)
280	MC64	円形	0.30	0.25	0.16	29.76			E
306B	MC63	略円形	(0.34)	(0.24)	0.31	29.67		重P306A	G(C)
308	MB64	楕円形	0.53×0.42	0.40×0.25	0.28	29.58			G
310	MC64	略円形	0.38	0.30	0.34	29.60			G

S B22

No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底径高	柱径	重複	分類
133	MB66	略円形	0.64	0.23	0.85	29.03			B
140	MB66	楕円形	0.44×0.33	0.20×0.15	0.51	29.31			G(C)
141A	MC66	不定形	0.26×0.25	0.22	0.56	29.38		重P141B	E
147B	MA67	楕円形	(0.38)	(0.19)	0.51	29.38		新P147A	D(C)
150	MC66	略円形	0.52	0.36	0.40	29.53			E
152B	MB68	略円形	0.37	0.28	0.62	29.36		新P152C/A	E(C)
163	MC67	円形	0.52	0.41	0.54	29.44			E(C)
170	MB67	楕円形	0.30	0.26×0.17	0.46	29.50			G
181B	MA67	略円形	0.45	0.31×0.26	0.23	29.72			B
182A	MB66	楕円形	0.52×0.41	0.23	0.74	29.09		新P182B	C
190	MA67	円形	0.41	0.12	0.21	29.62			D
200	MC67	略円形	0.59	0.47	0.68	29.29		新P156	D(B)
202	MD66	円形	0.35	0.26	0.45	29.45		古P202	G
208	MB66	楕円形	0.63×0.48	0.57×0.35	0.26	29.57			G
217C	MC64	楕円形	(0.66)×(0.49)	(0.43)×(0.33)	0.22	29.66		古P217A/B/D	D
223A	MD65	楕円形	(0.34)×(0.18)	(0.21)×(0.13)	0.26	29.66		新P223B	E
224	MD65	楕円形	0.41×0.29	0.25×0.20	0.34	29.56			D
225	MD64	略円形	0.38	0.27	0.37	29.56	円0.12		C
245	MC65	楕円形	0.64	0.40	0.13	29.73		古P246	G
249	MC64	楕円形	0.76×0.65	0.70×0.59	0.10	29.76			H
255	MD64	略円形	0.38	0.27	0.61	29.37			D(C)
261	MB65	楕円形	0.47×0.37	0.29×0.23	0.34	29.49			E
276	MB65	略円形	0.33	0.22	0.14	29.70		古P275	G
278	MB65	略円形	0.32	0.22	0.30	29.53			G
284	MC64	円形	0.40	0.27	0.01	29.93			G
285	MC63	円形	0.35	0.29	0.23	29.69			G
299	MB64	略円形	0.42	0.31	0.27	29.57			D

第11表

S B 23

No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重 複	分類
111	M B69	円形	0.29	0.13	0.48	29.52			D
124	MA68	円形	0.82	0.45	0.24	29.65	横0.24×0.20	古P437	D(C)
125	MA67	円形	0.52	0.39×0.26	0.61	29.27	円0.32		D
139	MB66	楕円形	0.51	0.16	0.39	29.46			D(C)
143A	MC66	楕円形	0.36	0.28	0.41	29.50		新P143B	D
146	MD66	楕円形	(0.62)×(0.48)	(0.37)×(0.29)	0.40	29.47	方0.11×0.10(木)	新P194	E
148	MC68	円形	0.32	0.18	0.28	29.75			F
149	MC68	円形	0.31	0.19	0.57	29.47			F
152A	MB68	楕円形	0.40	0.32	0.52	29.45		新C古B	E(C)
161	MB66	楕円形	0.36	0.21	0.47	29.42		古P160	D
167	MB67	楕円形	0.41	0.30	0.51	29.46			G
174	MB67	楕円形	0.25	0.12	0.20	29.72			E(C)
175	MB69	楕円形	0.29	0.15	0.17	29.85	円0.19		F
178	MA67	楕円形	0.55	0.24	0.31	29.54			G
204	MC67	楕円形	0.42	0.32	0.55	29.45	横0.26×0.19		E
305	MB66	楕円形	0.56×0.40	0.46×0.35	0.69	29.15			G
212	MD65	円形	0.31	0.25	0.51	29.41			G
217A	MB64	不規則形	0.55×0.40	0.43×0.18	0.28	29.60		新P217B/C	D
228	MB68	円形	0.45	0.30	0.56	29.43	横0.45×0.32		G
229	MC66	円形	0.26	0.16	0.32	29.56			G
233	MC65	楕円形	0.37	0.31	0.34	29.52	円0.22	新P234	D
247	MC65	円形	0.41	0.32	0.47	29.38			D(C)
251	MC64	円形	0.28	0.21	0.44	29.42	円0.12		D(C)
264	MB65	円形	0.41	0.36	0.66	29.78			C
277	MB65	楕円形	0.35	0.21	0.30	29.53			G(C)
281	MB65	円形	0.38	0.29	0.22	29.61			G
289	MB65	楕円形	0.53	0.42	0.93	29.92		新P359	H
294	MB64	円形	0.33	0.25	0.20	29.68	円0.12		G
296	MB65	楕円形	0.53×0.37	0.44×0.29	0.35	29.50			G(C)
421	MA67	楕円形	0.27×0.20	0.18×0.16	0.15	29.54		古SK14	E

S A 10

No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重 複	分類
334	MF65	円形	0.34	0.25	0.31	29.55			G
335	MF64	円形	0.35	0.28	0.32	29.53			E
337	MB65	楕円形	0.27	0.22	0.32	29.54	円0.10(木)		G
338	MF64	円形	0.30	0.22	0.38	29.50			G
344A	MF64	楕円形	0.34	0.21	0.43	29.44		新P344B	C
350	MF64	楕円形	0.36	0.23	0.35	29.51			G

S A 11

No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重 複	分類
232	MD64	楕円形	0.38×0.31	0.25	0.43	29.52	円0.12		D
252	MD64	円形	0.40	0.31	0.41	29.63	方0.12(木)		D
339A	ME64	楕円形	0.34	0.26	0.29	29.58	方0.12(木)	新P339B	E
346	MF64	楕円形	0.38	0.31×0.23	0.18	29.68	方0.12(木)		E

母 屋

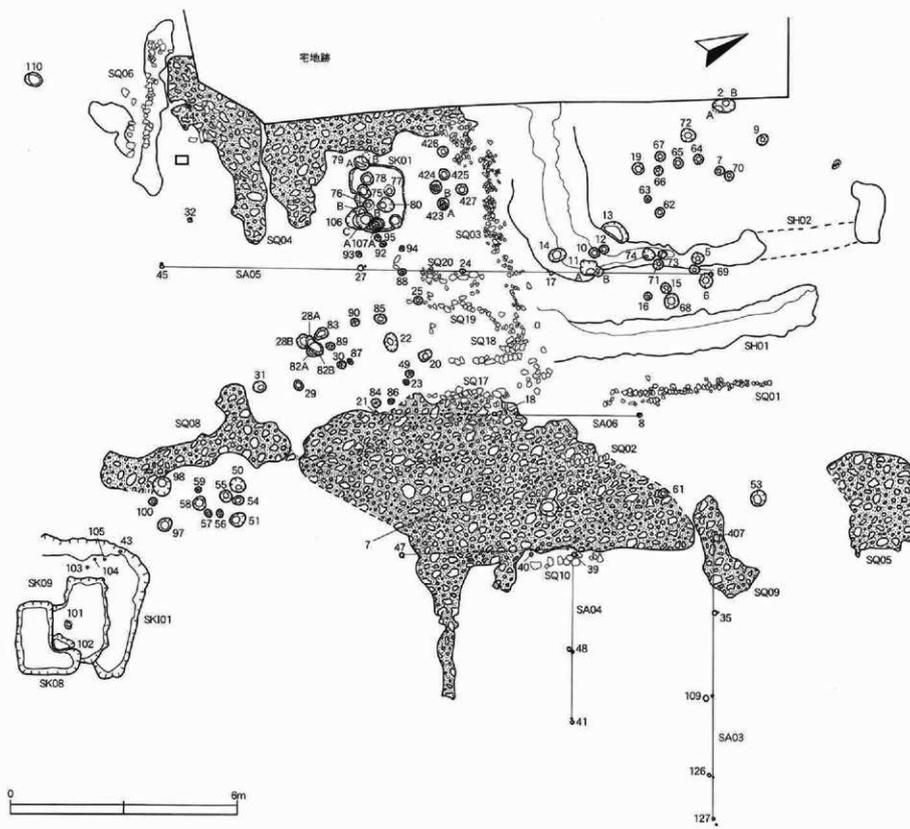
No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重 複	分類
112	MB68	楕円形	0.32	0.20×0.16	0.63	29.36	円0.14		D
113	MB68	楕円形	0.32	0.08	0.32	30.68	円0.12		E
115	MB67	楕円形	0.27	0.12	0.40	29.61			E
116	MB68	円形	0.28	0.17	0.22	29.74	円0.16		D
117	MB68	楕円形	0.35	0.06	0.32	29.65			E
118	MB68	円形	0.29	0.15	0.34	29.61			E(G)
119	MB67	円形	0.29	0.13	0.32	29.61			G
120	MB67	円形	0.16	0.07×0.03	0.42	29.57	円0.12		E
121	MB68	円形	0.30	0.19	0.45	29.53			D
123	MA67	楕円形	0.29×0.18	0.16×0.09	0.18	29.76	横0.38×0.25		D
130A	MA67	円形	0.25	0.13	0.35	29.53			G(B)
130B	MA67	楕円形	0.42	0.17	0.46	29.46			G(B)
131	MA67	円形	0.22	0.07	0.31	29.59			G
132	MB67	円形	0.29	0.13	0.18	29.65			E
134	MB68	円形	0.25	0.19	0.28	29.60			E
135	MB66	楕円形	0.61	0.45	0.73	29.15	円0.30		E
136	MA62	楕円形	0.33	0.23	0.32	29.65			G
137	MB66	楕円形	0.71×0.39	0.60×0.26	0.59	29.46			D(B)
138	MC66	円形	0.26	0.22	0.26	29.71			E
141B	MC96	楕円形	0.28×0.16	0.13	0.35	29.60		新P141A	E
142	MC66	円形	0.22	0.15	0.12	29.80			D
143B	MC66	楕円形	0.32	0.26	0.33	29.56			E
144	MA62	楕円形	0.35×0.27	0.20×0.15	0.14	29.77	横0.28×0.22	古P143A	E
147A	MA67	円形	0.33	0.20	0.62	29.27		新P147B	D(C)
151	MC66	楕円形	0.27	0.15	0.29	29.62			G

## 母屋

No.	位 置	断 形	口 径	底 径	深 さ	底 径 高	柱 径	重 荷	分 類
152C	M B68	柱内形	(0.41)×(0.29)	(0.30)×(0.21)	0.11	29.88		A P 152A/B	(C)
153	M B67	断内形	0.21	0.15	0.14	29.84		新 P 154	E
155	M B68	方 形	0.28	0.24	0.13	29.86	円0.11	A P 154	E
156	M C68	断内形	(0.37)×(0.27)	(0.25)×(0.21)	0.13	29.84		A P 200	E
157	M C68	円形	0.23	0.17	0.20	29.83			G
158	M B66	断内形	0.40×0.32	0.27×0.18	0.42	29.48			G
159	M B66	方 形	0.22	0.17	0.28	29.61			G
160	M B66	断内形	(0.34)×(0.25)	(0.20)×(0.16)	0.22	29.54		新 P 161	G
164	M B69	円形	0.34	0.20×0.15	0.73	29.23	円0.19		G
165	M B67	円形	0.24	0.13	0.26	29.68	円0.14		A
168	M B66	円形	0.29	0.19	0.17	29.72			E
171	M B67	円形	0.20	0.10	0.26	29.68			G
173	MA67	円形	0.26	0.07	0.21	29.66			G(C)
176A	M B67	断内形	0.26	0.13	0.28	29.61		新 P 176B	E
176B	M B67	断内形	(0.24)	(0.13)	0.23	29.66		新 P 176A	E
177	M B67	断内形	0.33	0.24×0.18	0.29	29.54			G
179	M B66	断内形	0.24	0.20×0.13	0.39	29.41			G
180	M B68	円形	0.35	0.21	0.14	29.85			E
181A	MA67	断内形	0.47	0.31	0.87	29.09			B
182B	M B66	断内形	(0.52)	(0.50)	0.33	29.54		古 P 182A	C
183	M C68	円形	0.27	0.12	0.19	29.83	円0.12		F
184	MD66	断内形	0.33	0.22	0.22	29.69			E
185A	MD66	円形	0.13	0.08	0.24	29.67			E
185B	MD66	断内形	0.28	0.18	0.23	29.72		新 P 185B	E
187	M B66	円形	0.25	0.19	0.18	29.73		古 P 185A	E
188	M B66	円形	0.27	0.17	0.32	29.58			E
189	M B66	断内形	0.34	0.25	0.25	29.65			E(C)
191	MD66	断内形	0.65×0.55	0.28×0.16	0.21	29.71			D
193	M C68	断内形	0.38	0.25	0.62	29.37	槽0.24×0.20		B
194	MD66	断内形	0.35	0.25	0.32	29.55	方0.10 (木)	古 P 146	E
195	MD66	円形	0.26×0.30	0.15×0.11	0.17	29.72			E
196	MD66	断内形	0.26	0.09	0.34	29.56		新 P 197	E
197	MD66	断内形	0.23	0.10	0.28	29.63	円0.11	古 P 196	G
199	M C68	断内形	0.45	0.22	0.18	29.87			E
201	M B68	断内形	0.35×0.25	0.28×0.18	0.08	29.91			D
202	MD66	断内形	0.21	0.13	0.16	29.75	円0.13	新 P 203	G
206	M C68	断内形	0.36	0.11	0.23	29.80			B
207	M B66	円形	0.24	0.15	0.16	29.65			G
208	M B66	円形	0.26	0.15	0.15	29.64			G
210	M C66	断内形	0.33×0.25	0.22×0.18	0.46	29.47			G
211	M C66	断内形	0.40×0.33	0.29×0.22	0.36	29.46			G
213	MD65	円形	0.27	0.16	0.34	29.58			G
214	MD65	円形	0.25	0.10	0.28	29.63			G
217B	M C64	断内形	(0.52)×(0.44)	(0.44)×(0.29)	0.21	29.65		新 C 吉 A/D	D
217D	M C64	断内形	0.34	0.27	0.19	29.69			D
218	M C65	断内形	0.29	0.20	0.44	29.42	方0.15 (木)	新 P 217B/C	D
220	MD65	断内形	0.47×0.36	0.19×0.11	0.40	29.50			B
221	MD67	断内形	0.52	0.29	0.28	29.74			E
222	MD65	断内形	0.24	0.20×0.12	0.27	29.66			E
223B	MD65	断内形	0.35	0.25	0.42	29.48		古 P 223A	E
226	MD64	断内形	0.50	0.44	0.06	29.82			D
227	MD64	円形	0.38	0.31	0.48	29.48			D
230	M C65	円形	0.25	0.15	0.21	29.66	円0.16		D
231	MD65	断内形	0.47	0.35	0.17	29.74			D
234	M C65	断内形	(0.40)×(0.27)	(0.20)×(0.10)	0.31	29.56		古 P 233	G
235	M C65	円形	0.39	0.29	0.33	29.53			F
236	MD64	円形	0.20	0.09	0.21	29.73			C
237	M C64	断内形	0.23	0.16×0.12	0.28	29.60			G
238	M C66	円形	0.30	0.20	0.14	29.80			E
239	M C65	円形	0.22	0.18					E
240	M C65	断内形	0.26	0.17	0.21	29.64			E
241	MD64	円形	0.18	0.11	0.13	29.78			E
243	M C65	不明					方0.05	新 P 246 P 244	E
244	M C65	断内形	0.36	0.07	0.23	29.63		古 P 243	H
246	M C65	断内形	0.70	0.52	0.31	29.55		新 P 245 古 P 243	H
248	M C65	円形	0.32	0.13	0.32	29.54			G
250	M C65	断内形	0.32	0.18	0.21	29.61	円0.13		G
253	M C64	断内形	0.39	0.26	0.21	29.65	槽0.18×0.11		D
254	M C65	断内形	0.40	0.15	0.15	29.70	円0.17		G
256	M C65	円形	0.17	0.09					E
257	M B65	断内形	0.55×0.34	0.37×0.29	0.58	29.25			C
258	MD64	円形	0.19	0.10					E
259	MD64	断内形	0.30	0.12	0.45	29.51	円0.10		F
260	M B65	円形	0.45	0.35	0.63	29.21			D
262	M C65	断内形	0.23×0.16	0.16×0.12	0.06	29.78			E
263	M B65	円形	0.40	0.30	0.73	29.11			G
264	M C64	方 形	0.36×0.25	0.26×0.21	0.24	29.67	円0.13		G(C)
265	M C64	断内形	0.42×0.32	0.36×0.21	0.19	29.74	円0.13		E

## 母屋

No	位置	概形	口径	底径	深さ	壁厚高	柱径	重箱	分類	
268	M B65	筋内形	0.40×0.25	0.35×0.20	0.10	29.74	横0.16×0.09		E (C)	
269	M B65	筋内形	0.41×0.27	0.18	0.37	29.74	円0.19		E (C)	
270A	M C64	筋内形	0.22	0.08	0.35	29.62		重P 270A	E	
270B	M C64	筋内形	0.26	0.06	0.33	29.62		重P 270B	E	
271	M C64	筋内形	0.32	0.15×0.08	0.21	29.64			G (C)	
272	M C64	円形	0.40	0.25	0.65	29.29			D (C)	
273	M C64	筋内形	0.29	0.24	0.39	29.49			G	
275	M B65	筋内形	0.25	0.17	0.18	29.65		新P 276	E (C)	
279	M C64	筋内形	0.31×0.25	0.22×0.16	0.15	29.71			E (C)	
282	M B65	筋内形	0.38	0.27	0.33	29.52			G	
283	M C64	円形	0.20	0.12	0.16	29.74			D	
285	M B64	筋内形	0.40	0.32×0.22	0.31	29.55			G (C)	
286	M B64	円形	0.23	0.12	0.21	29.66			E	
287	M B65	円形	0.25	0.15	0.19	29.62	円0.13		B	
288	M B64	筋内形	0.51	0.46×0.32	0.18	29.68			E	
290	M B64	筋内形	0.33	0.18	0.32	29.44			G (C)	
291	M C64	円形	0.28	0.21	0.18	29.69			G	
292	M B67	筋内形	0.33	0.24	0.13	29.82			G (C)	
293	MA67	円形	0.23	0.14	0.53	29.38			G	
297	M C64	円形	0.40	0.33	0.33	29.63	円0.18		D	
298	MD64	楕円形	0.44×0.32	0.30×0.25	0.24	29.72	円0.11			
300	M B65	筋内形	0.42	0.30	0.46	29.36	円0.13		D	
301	M C63	筋内形	0.48×0.38	0.23×0.18	0.34	29.62			D (C)	
303	M C63	円形	0.35	0.15	0.50	29.76			I (C)	
304	M B65	筋内形	0.65×0.52	0.42×0.32	0.44	29.49	円0.27		G (C)	
305A	M B64	筋内形	0.26	0.13	0.17	29.74		重P 305B	E	
305B	MD64	楕円形	0.50×0.30	(0.38)×(0.24)	0.27	29.65		重P 305A	E	
306A	M C63	筋内形	(0.41)	(0.19)	0.42	29.56		重P 306B	G (C)	
307	MA64	円形	0.32	0.20×0.08	0.49	29.36			C	
309	M B64	円形	0.28	0.16	0.26	29.60			G (B)	
311	M C65	円形	0.16	0.09	0.08	29.73	円0.12		G	
312	M C63	楕円形	0.28×0.17	0.10	0.35	29.61			G	
313	M C63	円形	0.19	0.11	0.17	29.71			無	
314	MD68	円形	0.41	0.05	0.52	29.54			B	
315	M B63	円形	0.44	0.34	0.40	29.55	円0.14(木)		G (C)	
316	M C63	楕円形	0.48×0.28	0.33×0.23	0.34	29.63			E (C)	
317	M B63	円形	0.54	0.42	0.60	29.33			G	
318	MD64	筋内形	0.26	0.17	0.24	29.63			G	
319	MD64	筋内形	0.20	0.14	0.15	29.73			E	
320	MD65	円形	0.34	0.15	0.23	29.47			E	
321	M F65	楕円形	0.24×0.18	0.19×0.15	0.24	29.66			G	
322	M F65	円形	0.24	0.18	0.18	29.72			E	
323	M F65	円形	0.18	0.11	0.26	29.63			F	
324	M E65	円形	0.24	0.17	0.24	29.64			E	
325	M E65	円形	0.20	0.12	0.17	29.72			F	
326	M E65	円形	0.27	0.20	0.27	29.62			G (C)	
327	M E65	円形	0.33	0.22	0.35	29.63			G	
328	M E65	円形	0.23	0.17	0.28	29.62			G	
329	M E65	円形	0.30	0.24	0.28	29.58			G	
331	M E65	円形	0.24	0.17	0.23	29.65			G (C)	
332	M E66	楕円形	0.25×0.19	0.15	0.34	29.60			E	
333	M E65	円形	0.24	0.16	0.27	29.69			G	
336	M E64	楕円形	0.47×0.38	0.24	0.24	29.61			E	
339B	M E64	筋内形	(0.24)	(0.21)	0.19	29.67		重P 339A	E	
340	M E64	円形	0.31	0.22	0.29	29.57			E	
341	M F64	円形	0.34	0.25	0.34	29.53			G	
342	M E64	筋内形	0.39	0.28	0.22	29.63			G	
344B	M F64	楕円形	(0.36)×(0.25)	(0.26)×(0.21)	0.23	29.65		重P 344A	G	
345	M F64	筋内形	0.34	0.20	0.39	29.49			G	
347	M F64	筋内形	0.37	0.28	0.14	29.71			E	
348	MD64	円形	0.30	0.11	0.15	29.70			E	
349	M E64	楕円形	0.20×0.25	0.16×0.12	0.15	29.75			E	
351	MD64	楕円形	0.34×0.23	0.15	0.20	29.66			F	
352	MD64	円形	0.28	0.08	0.20	29.66			E (C)	
353	MA67	楕円形	0.19×0.13	0.12×0.10	0.03	29.93			E	
354	M C68	円形	0.24	0.15	0.13	29.92			B	
355	M B66	円形	0.18	0.09	0.18	29.65	円0.12		G	
356	M B66	円形	0.14	0.10	0.09	29.78			G	
357	M B65	筋内形	0.17	0.12	0.19	29.63		新P 358	E	
358	M B65	筋内形	(0.25)×(0.16)	0.11	0.20	29.63			D	
359	M B65	筋内形	0.35	0.26	0.32	29.50			重P 289	D (C)
405	MA68	楕円形	0.65×0.48	0.47×0.36	0.14	29.80	円0.15		重P K10	G
406A	MA68	楕円形	0.48×0.39	0.29	0.08	29.70			重P 406B	G
406B	MA68	筋内形	(0.48)	0.35	0.05	29.73			重P 406A	G
422	MA67	円形	0.28	0.16	0.13	29.53			重P K14	E
436A	M B67	筋内形	0.42×0.38	0.19	0.40	29.60			重P 436B	E
436B	M B67	筋内形	0.42×0.38	0.14					重P 436A	E
437	MA67	円形	0.26	0.17	0.29	29.62	円0.20		新P 124	E



第153図 付属施設部分の遺構配置図

### C. 付属施設等の遺構（建物痕跡・配石等・竪穴状遺構・土坑・柱列・柱穴）

#### S H01建物跡？(第154図、写真図版18)

環濠屋敷北側中央のL S・L T 72～74グリッドに位置する。現代の宅地の造成土を除去したところ、荷重により地面が帯状にグライ化したものを近世整地層と思われる面で検出した。検出当初は現代の宅地の基礎痕跡かとも思われたが、コンクリート基礎やそのグリ石等がないことから近代以前のものと判断した。直接的な遺構の重複関係はないが、位置的にS Q 18・19列石状遺構やS H02建物跡・S Q 01・03列石状遺構などと新旧関係、あるいは関連するものである可能性もあり得る。確認した範囲での平面形は長さ約7m、幅約1mの帯状を呈し、南北両端がやや西側に湾曲気味となっている。長軸方向はおよそ南北にある。断面観察からは掘り込みに粘土をつき固めたものか、つき固めによって沈下したものは不明であるが、グライ化した部分は周囲の整地層とは異質である。遺物は出土しなかった。

#### S H02建物跡？(第154図、写真図版18)

環濠屋敷北側中央のL T・MA 73グリッドに位置する。S H01同様に現代の宅地の造成土を除去したところ、荷重により地面がグライ化したものを近世整地層と思われる面で検出した。検出当初はやはり現代の宅地の基礎痕跡かとも思われたが、コンクリート基礎やそのグリ石等がなく、柱穴に切られることもあって、これも近代以前のものと判断した。位置的にS H01建物跡・S Q 03列石状遺構などと新旧関係、あるいは関連するものである可能性もあり得る。平面形は西側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、確認した範囲では、一部途切れるものの、西側がひらく「コの字」状で、北側の飛び地からの総長は約13.5m、東辺は約8m、幅は北と東辺で約0.7m、南辺が約2mを測る。方向性としてはS H01や列石状遺構と平行あるいは直行する。断面観察からは中央部でグライ化が強いものの、掘り込みや粘土はなく、周囲の整地層と同質のものである。遺物は出土しなかった。

#### S A03柱列(第154図、第12表、写真図版18)

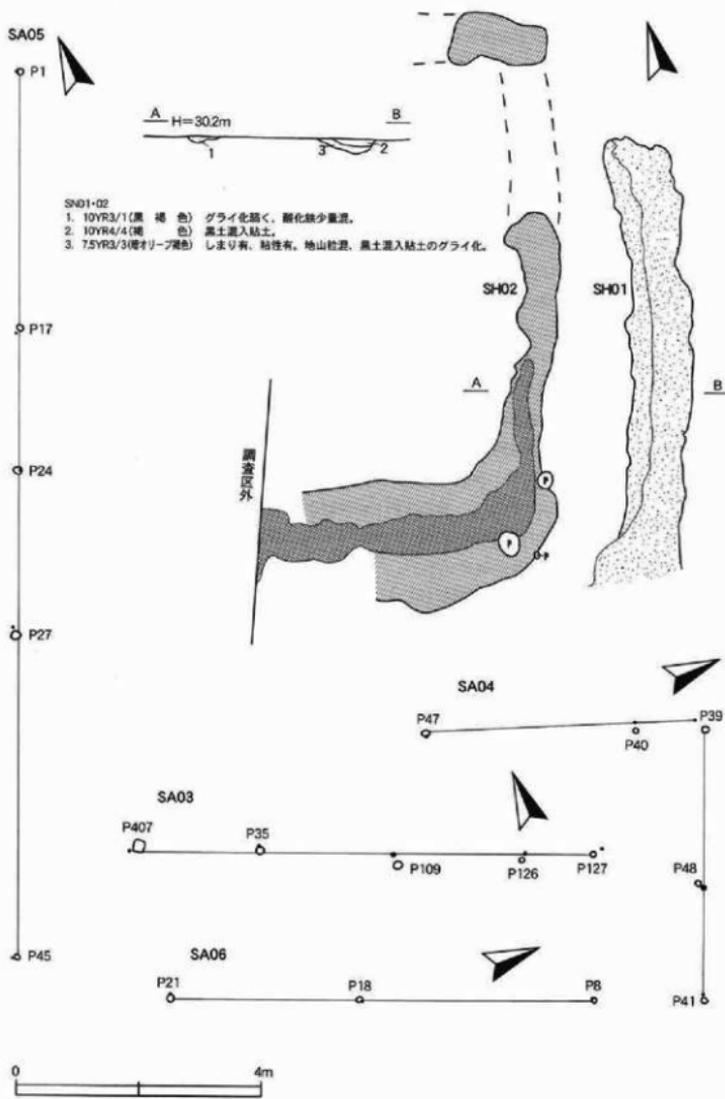
環濠屋敷の北側中央やや東寄りのL P・L Q 72グリッドに位置し、軸方向はN-70°-Wである。現代の宅地の造成土を除去したところ、加工の少ない4間の丸太木の並びを確認したものである。材はすべて丸太杭の打ち込みによるもので、現代の宅地造成時によるためか、正立したものはなく、現状では統一性は認められなかった。柱間は東側の1間が約1m、外は約2mを測る。南側に4m離れてS A04柱列が平行するが、柱は対応していない。

#### S A04柱列(第154図、第12表、写真図版18)

環濠屋敷の北側中央やや東寄りのL Q・L R 71・72グリッドに位置し、S A03と平行する方向に2間と南側に屈曲した2間の5本からなる。現代の宅地の造成土を除去したところ、加工の少ない丸太木の並びを確認したものである。材はやはりすべて丸太杭の打ち込みによるもので、現代の宅地造成時によるためか、これも正立したものはなく、現状では統一性は認められなかった。柱間は1m、2m、2.5m、3.5mとあり、統一性はない。北側に4m離れてS A03柱列が平行するが、柱は対応していない。

#### S A05柱列(第154図、第12表、写真図版18)

環濠屋敷北側の中央L T・MA 70～73グリッドに位置し、軸方向はN-20°-Eである。これも現代の宅地の造成土を除去したところ、加工の少ない丸太木の並びを確認したものである。やはり材はすべて丸太杭の打ち込みによるもので、現代の宅地造成時によるためか、正立したものはなく、現状では柱間もバラツキが大きく統一性は認められなかった。東側に4m離れてS A06柱列が平行するが、柱は対応していない。配置的にS H02建物跡・S Q 03・20列石状遺構と重複しており、本遺構が新しい。



第154図 SH01・02建物跡、SA03～06柱穴列

第12表

S A03

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
35	L Q73	橋内形			0.49	29.13	円0.12(木)		
109	L Q72	橋内形			0.40	29.24	円0.12(木)		
126	L Q72	橋内形			0.44	29.14	円0.10(木)		
127	L P72	橋内形			0.16	28.35	円0.10(木)		
407	L R73	橋内形			0.32	29.08	方0.18(木)		

S A04

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
39	L S72	橋内形			0.53	29.18	円0.11(木)		
40	L R72	橋内形			0.47	29.24	円0.09(木)		
41	L Q72	円形			0.55	29.14	円0.11(木)		B
47	L S71	橋内形			0.38	29.35	円0.14×0.10(木)		
48	L R72	橋内形			0.28	29.42	円0.10(木)		

S A05

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
1	L T73	円形			0.59	29.37	円0.12(木)		
17	L T72	円形			0.46	29.53	円0.11(木)		
24	L T72	橋内形			0.60	29.42	円0.11(木)		
27	MA71	橋内形			0.57	29.39	円0.13(木)		
45	MA70	橋内形			0.19	29.65	円0.09(木)		

S A06

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
8	L S73	円形			0.44	29.40	円0.11(木)		
18	L S72	橋内形			0.53	29.28	精0.12×0.09(木)		
21	L T71	橋内形			0.46	29.41	円0.12(木)		

## 施設

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
2A	MA74	不明	(0.28)	0.20	0.65	29.37		基P2B	
2B	NA74	不明	(0.38)	0.18	0.65	29.38		基P2A	
4	L T75	4							
5	MA73	円形	0.30	0.14	0.31	29.69			H
6	MA73	橋内形	0.37	0.18	0.49	29.50			H
7	L T74	円形	0.24	0.12×0.08	0.28	29.75			D
9	L T74	円形	0.26	0.12	0.34	29.65	円0.18		D
10	L T73	円形	0.26	0.17	0.09	29.88			C
11A	MA74	不定形	(0.48)	(0.39)	0.62	29.36		基P11B	II
11B	MA74	不定形	(0.24)	(0.13)	0.35	29.62		基P11A	H
12	L T73	橋内形	0.24	0.13	0.11	29.85			G
13	L T73	不定形	0.71×0.40	0.62×0.27	0.16	29.79			H
14	L T73	円形	0.38	0.23	0.27	29.72	精0.24×0.22		H
15	MA73	橋内形	0.24	0.14×0.10	0.39	29.69	精0.26×0.19		C
16	MA73	橋内形	0.19	0.09	0.22	29.74			H
19	L T73	円形	0.28	0.20	0.22	29.75			H
20	L T72	橋内形	0.34×0.26	0.16	0.21	29.73			C
22	L T71	橋内形	0.46×0.32	0.15	0.25	29.69			II
23	L T71	円形	0.14	0.05	0.13	29.77			C
25	NA71	円形	0.21	0.10	0.19	29.79			G
28A	L T71	橋内形	(0.34)	(0.22)	0.13	29.78		基P82B28B 新P82A 新P82A28A	
28B	L T71	橋内形	(0.32)×(0.20)	(0.20)×0.15	0.35	29.66			
29	L T71	円形	0.24	0.16	0.14	29.70	精0.21×0.18		C
30	L T71	橋内形	0.21	0.10×0.05	0.14	29.76			H
31	L T70	橋内形	0.27	0.16×0.10	0.35	29.46			H
32	MA70	方形			0.07	29.82	方0.09(木)		
43	L S69	円形			0.17	29.85	円0.06(木)		
44	MB71	橋内形			0.07	29.85	円0.11(木)		
49	L T71	橋内形	0.20×0.15	0.10	0.18	29.72			II
50	L S70	橋内形	0.41	0.13×0.10	0.40	29.33			C
51	L S70	橋内形	0.43×0.35	0.23	0.59	29.11			C
53	L K73	円形	0.43	0.30×0.23	0.22	29.26			G
54	L S70	橋内形	0.28×0.24	0.16×0.10	0.11	29.51			H
55	L S70	橋内形	0.33	0.18	0.16	29.47			C
56	L S70	橋内形	0.18×0.14	0.11×0.07	0.06	29.56			G
57	L S70	橋内形	0.18×0.16	0.12×0.07	0.20	29.45			G
58	L S70	円形	0.34	0.22	0.11	29.53			G

施設

No	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
59	L T 70	円形	0.14	0.05	0.34	29.28			G
60	L S 72	扇円形	0.49	0.34	0.28	29.28			C
61	L R 73	扇円形	0.26	0.14	0.18	29.30			D
62	L T 73	円形	0.24	0.12	0.37	29.59			H
63	L T 73	円形	0.14	0.04	0.20	29.75			H
64	L T 74	円形	0.24	0.15	0.40	29.69			C
65	L T 74	円形	0.22	0.11	0.24	29.74			H
66	L T 73	円形	0.21	0.12	0.20	29.75			H
67	L T 73	円形	0.22	0.14	0.29	29.69			H
68	MA 73	円形	0.35	0.22	0.35	29.62			C
69	MA 73	円形	0.25	0.14	0.31	29.68			H
70	L T 74	円形	0.23	0.12	0.27	29.71			H
71	MA 73	円形	0.27	0.09	0.37	29.62			H
72	MA 74	扇円形	0.35	0.20	0.26	29.75			H
73	MA 73	扇円形	0.23	0.18	0.56	29.43	円0.08		H
74	MA 73	円形	0.31	0.11	0.45	29.54			H
75	MA 72	楕円形	0.39×0.28	0.22	0.52	29.38		新S K01	G
76	MA 72	扇円形	(0.30)	0.16	0.15	29.74		新S K01	G
77	MA 72	円形	(0.30)	0.16	0.18	29.71		新S K01	G
78	MA 72	円形	0.29	0.23	0.14	29.56	円0.13	新S K01	G
79A	MA 72	扇円形	0.39	(0.08)	0.41	29.44		新P 79B	G
79B	MA 72	扇円形		0.29×0.23	0.35	29.49		古P 79A	G
80	MA 72	扇円形	0.42	0.20	0.21	29.66	円0.16	新S K01	G
82A	L T 71	扇円形	(0.32)	(0.20)	0.09	29.56		古P 28A/B 82B	F
82B	L T 71	楕円形	0.40×0.28	0.35×0.20	0.35	29.80		新P 28A/B 82A	F
83	L T 71	楕円形	0.36×0.27	0.25×0.15	0.18	29.74			H
84	L T 71	楕円形	0.24	0.10×0.05	0.20	29.68			H
85	L T 71	楕円形	0.30×0.25	0.20×0.12	0.09	29.87			H
86	L T 71	楕円形	0.15×0.10	0.07×0.05	0.29	29.58			C
87	L T 71	扇円形	0.10	0.03	0.18	29.73			F
88	L T 72	楕円形	0.20×0.16	0.11×0.06	0.17	29.83			D
89	L T 71	楕円形	0.20×0.16	0.11	0.09	29.83			H
90	L T 71	円形	0.19	0.08	0.07	29.88			F
92	MA 72	楕円形	0.15×0.10	0.08	0.19	29.83	楕0.10×0.07		
93	MA 71	円形	0.13	0.05	0.16	29.84			C
94	MA 72	円形	0.11	0.05	0.11	29.91			C
95	MA 72	円形	0.16	0.05	0.43	29.58	円0.13		
97	L S 70	楕円形	0.37×0.41	0.24	0.44	29.26			C
98	L T 70	扇円形	0.52	0.21	0.31	29.45			C
100	L T 69	円形	0.18	0.09	0.06	29.55			G
101	L S 69	不定形	(0.65)×(0.43)	(0.42)×(0.28)	0.27	29.01		古S K08	
102	L S 69	楕円形	0.24×0.16	0.15	0.40	28.90			H
103	L S 69	楕円形					楕0.07×0.04(木)		
104	L S 69	円形					円0.04(木)		
105	L S 69	円形					円0.04(木)		
106A	MA 72	扇円形	0.43	0.30	0.26	29.44		新P 106B/C	G
106B	MA 72	扇円形	(0.28)	(0.16)	0.12	29.57		古P 106A 新P 106B	G
106C	MA 72	扇円形	(0.62)	(0.41)	0.20	29.66		古P 106A/B	G
107A	MA 72	扇円形	0.24	0.09	0.20	29.58		新P 107B	G
107B	MA 72	扇円形	0.33	0.25	0.07	29.63		古P 107A	G
108	MA 72	円形	0.32	0.24	0.31	29.40	円0.11	新S K01	G
110	MB 70	楕円形	0.45×0.34	0.32×0.25	0.10	29.87	円0.24 方0.10×0.06(木)		A
423A	MA 72	円形	0.24	0.09	0.22	29.62		新P 423B	G
423B	MA 72	円形	(0.28)	(0.16)	0.14	29.70		古P 423A	G
424	MA 72	扇円形	0.31	0.12×0.08	0.87	28.97			G
425	MA 72	扇円形	0.31	0.20	0.16	29.69			G
426	MA 72	扇円形	0.30	0.15×0.12	0.32	29.53			G
427	MA 72	円形	0.26	0.17	0.18	29.68			G

#### S A06柱列(第154図、第12表、写真図版18)

環濠屋敷北側の中央L S71~73グリッドに位置し、軸方向はN-20°-Eである。これも現代の宅地造成土を除去したところ、加工の少ない3本の丸太木の並びを確認したものである。やはり材はすべて丸太杭の打ち込みによるもので、現代の宅地造成時によるためか、正立したものはなく、現状では柱間もバラツキがあり、統一性は認められなかった。西側に約4m離れてS A05柱列、東側に約4m離れてS A04が平行するが、いずれも柱は対応していない。配置的にS Q07敷石状遺構と重複し、本遺構が新しい。

#### S Q01列石状遺構(第155・185図、写真図版18)

環濠屋敷北側の中央L S73グリッドに位置し、軸方向はN-20°-Eである。現代の宅地造成土を除去したところ、自然石が直線状に並ぶのを検出したものである。石組みは基本的には10cm大ぐらいの河原石を用い、およそ南北方向に直線的に1列に配したもので、現状での長さは約4.2mである。中間で筋がややずれることと部分的に2重、あるいは散乱したような様相を示すところもあることから本来は数重に配されていた可能性も考えられる。最大幅は約50cm程もある。本遺構の西側にはS H01建物跡が平行し、また南側延長線約2.5m離れたところには同軸となるS Q17列石状遺構がある。整地層から近世磁器1点が出土した。

#### S Q02列石状遺構(第155図)

環濠屋敷北側の中央L S72グリッドに位置し、軸方向はN-15°-Eである。現代の宅地造成土を除去したところ、自然石が直線状に並ぶのを検出したものである。石組みは20cm大のやや扁平な河原石を用い、およそ南北方向に直線的に1列に配したもので、現状での長さは約1.1m、幅約20cm前後である。S Q07敷石状遺構と重複しているが、同時存在していた可能性が高い。

#### S Q03列石状遺構(第156・194・214図)

環濠屋敷北側の中央L T・MA72グリッドに位置し、軸方向はN-70°-Wである。現代の宅地造成土を除去したところ、自然石がやや円形の直線状に並ぶのを検出したものである。石組みは他の列石状遺構と異なり、10cm以下の粒の揃わない自然石が用いられ、ややバラケタ帯状で幾分浮きぎみとなっていた。現状での長さは約4.5m、幅20~40cm前後である。直接重複する遺構はないが、東端はS Q18・19列石状遺構と西端はS Q04敷石状遺構と繋がるようにも見受けられる。北側にはS H02建物跡があり、関連する可能性もある。整地層から近世陶器1点と金属製品1点が出土した。

#### S Q04敷石状遺構(第153図)

環濠屋敷の北側中央で、現代の宅地造成土を除去したところ、西側は調査区外にかかるため全容は不明であるが、MA・MB71・72グリッドに敷かれたジャリ石の広がりを検出した。平面形はまとまりをもつものの不整で空隙があり、敷石の厚みは余りない。北端はS Q03列石状遺構と、南端はS Q06列石状遺構と接し、また中央部は東側に舌状に突出し、その延長には対応するようにS Q08敷石状遺構の突出部があることから、本来は一連のものであった可能性も考えられる。

#### S Q05集石状遺構(第153・177・178・188・199図)

環濠屋敷の北側中央で、S F01土塁手前のL S74グリッドに位置する。これも現代の宅地造成土を除去したところ、小礫が集中するのを確認したものである。平面形・規模は東西2.5m、南北2mの不整な広がり、深さ20cm程の掘り込みとなっており、空隙があるものの全体的に小礫が詰まっていた。石場建て建物跡の基礎の可能性もある。埋土中からは近世陶磁器が数点出土した。

#### S Q06列石状遺構(第155・176図)

環濠屋敷北側の中央MB71グリッドに位置し、軸方向はN-70°-Wである。やはり現代の宅地造成土を

除去したところ、自然石が直線状に並ぶのを検出したものである。西側は調査区外、南側は攪乱されており、全容は不明であるが、石組みは10～20cm大の河原石を用い、およそ東西方向に直線的に1列に配したものである。ややバラツキがあり東側が一部2重に見えるところもある。現状での長さは約3m、幅は20～50cm前後である。北側にはS Q04敷石状遺構が接する。整地層から中世陶器1点が出土した。

#### S Q07敷石状遺構(第153図)

環濠屋敷の北側中央で、現代の宅地造成土を除去したところ、L S71・72グリッドを中心とする範囲に敷かれたジャリ石の広がりを見出した。S A04・06柱列と重複し、本遺構が古い。平面形は南北に長い略楕円形で、東側中央部に張り出しがある。S Q04敷石状遺構と同様に空隙があり、敷石の厚みは余りない。現状での規模は南北約11m、東西約4m、突出部の長さ約3.5mを測る。北端はS Q09集石状遺構と、南端はS Q08敷石状遺構と接し、また部分的ながら東西には本遺構を縁取るようにS Q17列石状遺構、東側にS Q10列石状遺構がある。

#### S Q08敷石状遺構(第153図)

環濠屋敷の北側中央で、現代の宅地造成土を除去したところ、L T70グリッドに敷かれたジャリ石の広がりを見出した。平面形は南北に長い帯状で、北側の西に張り出しがある。S Q07敷石状遺構と同様に空隙があり、敷石の厚みは余りない。現状での規模は南北の長さ約5m、東西幅1～2m、突出部の長さ約2mを測る。北側にはS Q07敷石状遺構が接し、突出部の西側延長には対応するようにS Q04敷石状遺構の張り出しがある。敷石の状況と配置状態からはS Q04・07・08は同時存在の一連のものである可能性が高い。

#### S Q09集石状遺構(第153図)

環濠屋敷の北側中央L R73グリッドに位置する。これも現代の宅地造成土を除去したところ、小礫が集積するのを確認したものである。平面形・規模は東西の長さ3m、南北幅0.7～1mの帯状の広がり、深さ20cm程の掘り込みとなっており、空隙があるものの全体的に小礫が詰まっていた。南側にはS Q07敷石状遺構が接し、北側4mにはS Q05集石遺構があり、S Q05同様に石場建て建物跡の基礎の可能性もある。S A03柱列と重複し、本遺構が古い。埋土中からは近世陶磁器が数点出土した。

#### S Q10列石状遺構(第155図)

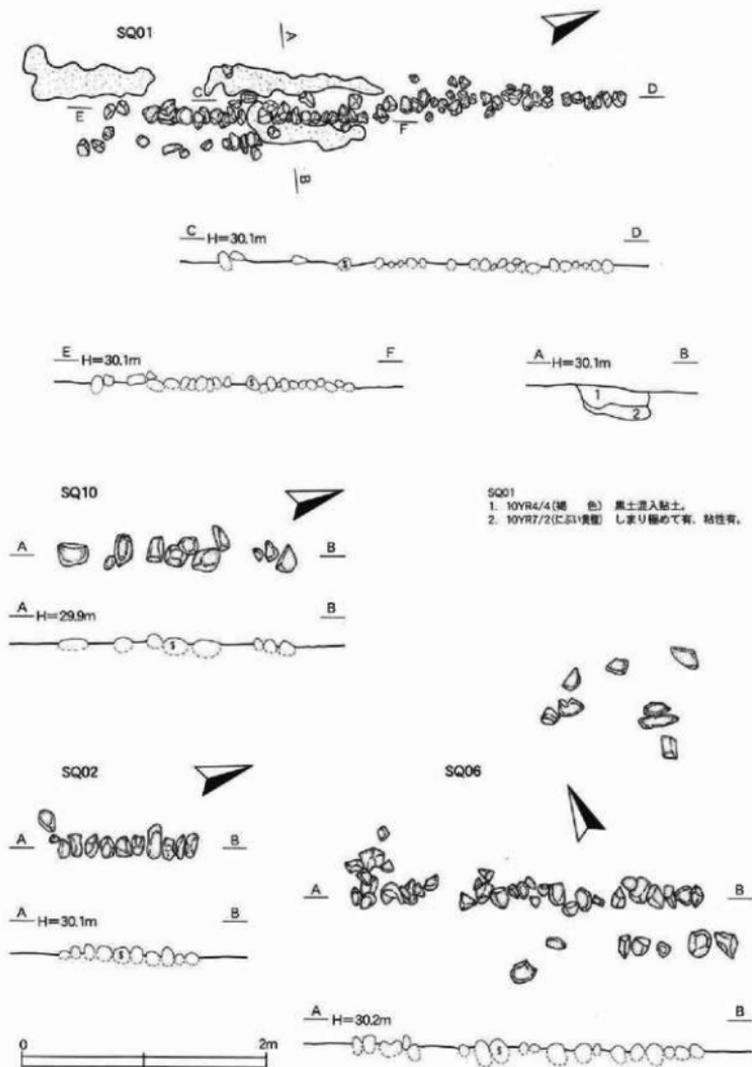
環濠屋敷北側の中央L R72グリッドに位置し、軸方向はN-20°-Eである。やはり現代の宅地造成土を除去したところ、自然石が直線状に並ぶのを検出したものである。石組みは10～20cm大の河原石を用い、およそ南北方向に直線的に1列に配したもので、ややバラツキと隙間がある。現状での長さは約2m、幅は20cm前後である。遺構の重複はないが、S Q07敷石状遺構の東辺の一部を縁取るような配置に見える。

#### S Q17列石状遺構(第156図、写真図版18)

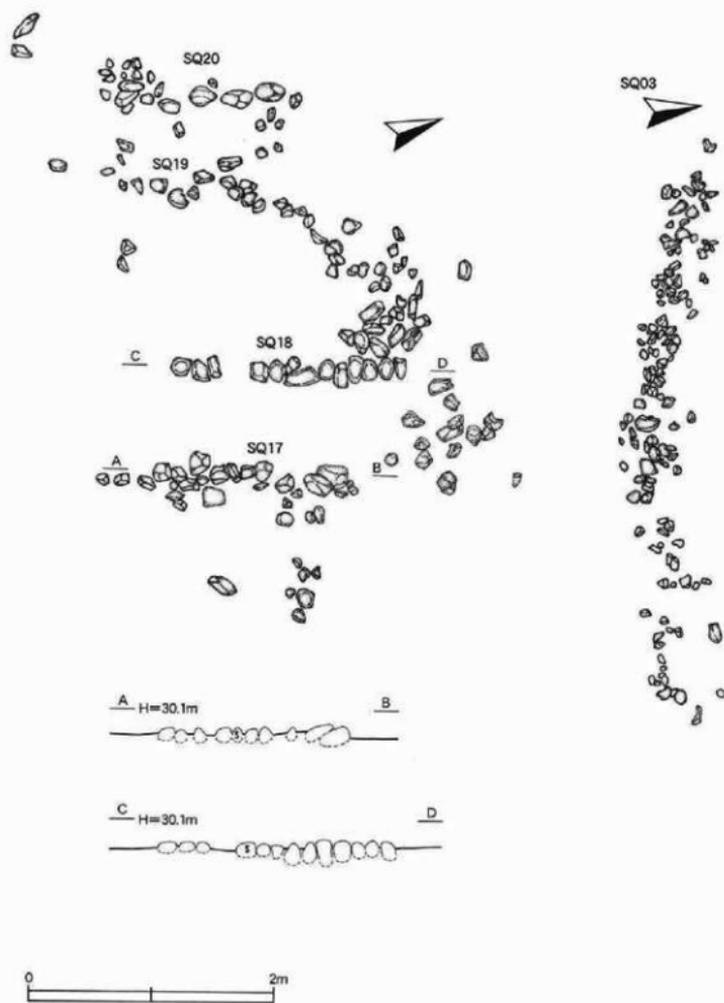
環濠屋敷北側の中央L T72グリッドに位置し、軸方向はN-20°-Eである。やはり現代の宅地造成土を除去したところ、自然石が直線状に並ぶのを検出したものである。石組みは10～20cm大の河原石を用い、およそ南北方向に直線的に1列に配されているが、ややバラツキがある。現状での長さは約2m、幅は20～40cm前後である。直接的な遺構の重複はないが、北側延長線上約2.5m離れたところには同軸となるS Q01列石状遺構があり、西側1mにはS Q18列石状遺構が平行する。またS Q07敷石状遺構の西辺の一部を縁取るような配置に見える。いずれも関連性が考えられるものである。

#### S Q18列石状遺構(第156図)

環濠屋敷北側の中央L T72グリッドに位置し、軸方向はN-20°-Eである。これも現代の宅地造成土を除去したところ、自然石が直線状に並ぶのを検出したものである。石組みは20cm大の河原石を用い、およ



第155図 SQ01、02、06、10列石状遺構



第156圖 SQ03・17~20列石状遺構

そ南北方向に直線的に1列に配されているが、北西部にややバラツキながら広がり、SQ03・19列石状遺構と繋がっている。現状での長さ南北約2m、幅は20～50cm前後である。直接的な遺構の重複はないが、西側1mにはSQ18列石状遺構が平行する。

#### SQ19列石状遺構(第156図)

環濠屋敷北側の中央LT72グリッドに位置し、これも現代の宅地造成土を除去したところ、自然石が弧状に並ぶのを検出したものである。石組みは10cm大の河原石を用い、およそ南西から北東に弓なりの1列に配されているが、ややバラツキながら北東部で広がり、SQ03・18列石状遺構と繋がっている。現状での長さ南北に約3m、幅は30～50cm前後である。石の大きさや設置状態からはSQ03に類するものかと思われる。

#### SQ20列石状遺構(第156図)

環濠屋敷北側の中央LT72グリッドに位置し、軸方向はN-20°-Eである。やはり現代の宅地造成土を除去したところ、自然石が直線状に並ぶのを検出したものである。石組みは主として20cm大の河原石4個からなり、およそ南北方向に直線的に1列に配されている。現状での長さ南北約1.5m、幅は20cm前後である。SA06柱列と重複し、木遺構が古い。東側2mには平行するSQ18列石状遺構がある。

#### SK101竪穴状遺構(第157・178・179・188・191・193・195・204図、写真図版18)

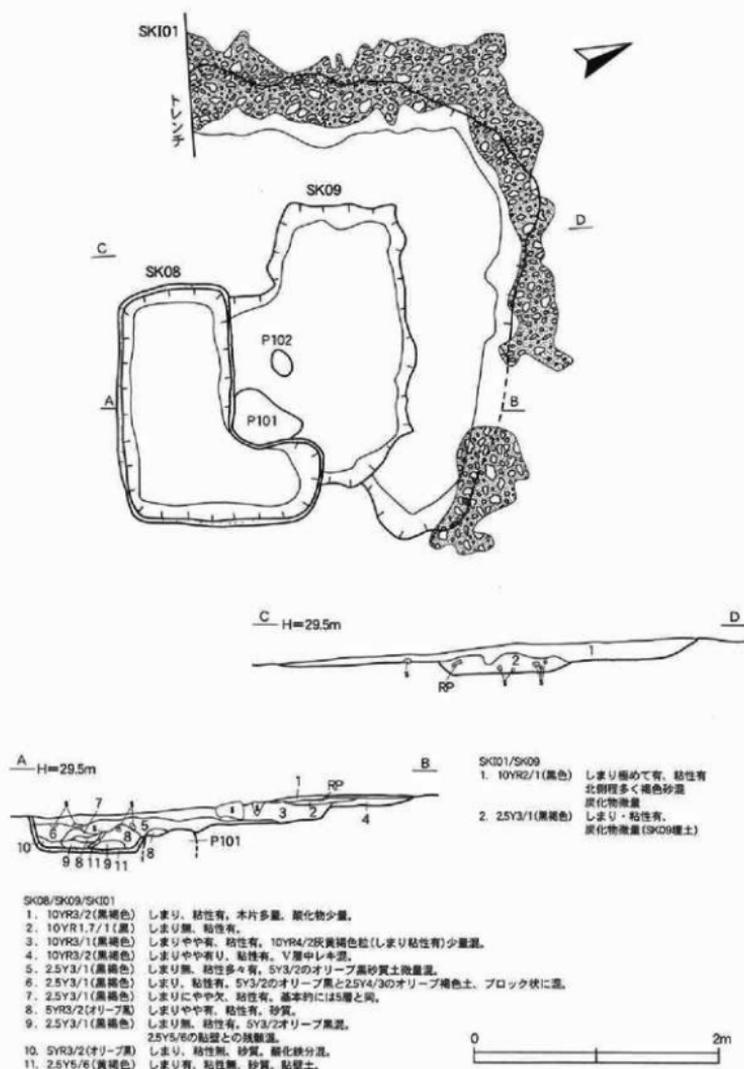
環濠屋敷の中央部母屋跡と付属施設等の間、LS69グリッドに位置する。現代の宅地造成土の除去後に検出したが、南側は移転時の掘削土取りによって破壊消失していた。平面形は南側が土取り穴とSK08土坑によって、中央部にはSK09土坑があって全容は不明であるが、およそ隅丸の略方形を呈すると推定される。遺存部の規模は北壁長約3.5m、西壁長約2.5mである。残存する壁は緩やかに外傾して立ち上がり、深さ約15cmを測る。壁面中段から掘り込みの周辺にはSQ08敷石遺構等と類似するジャリ石が痕跡的ではあるが敷かれていた。埋土は埋め立てと思われる人為的堆積で、湿り気がありグライ化していた。底面はVI層(礫層)に達し、凸凹している。位置的にSK08・09土坑と重複するが、埋土等の状況からみて同時存在の関連するものである可能性が高い。伴うと思われる柱穴等は確認されず、掘り込み周辺の状況からは礎石建物跡であった可能性も考えられる。遺物は埋土中から近世～近代の陶磁器が数点出土した。

#### SK01土坑(第158・212図、写真図版24)

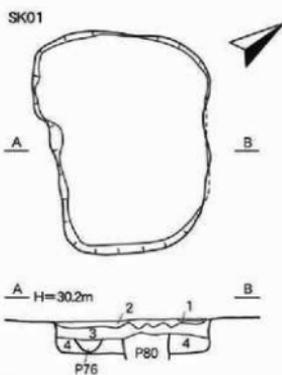
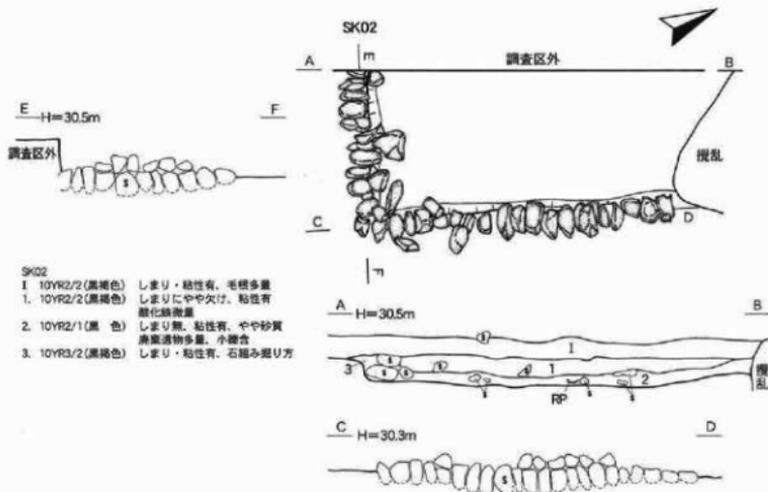
環濠屋敷の北側中央部MA72グリッドに位置し、宅地造成土下で検出した。平面形は略長方形を呈し、開口部180×130cm、底部170×120cmを測る。長軸方位はおよそ東西である。断面形は箱型を呈し、深さ約30cmを測る。埋土は全体的に人為的な埋め戻し土で堅く締まり、断面観察からは中位からの掘り込みとなる柱穴が確認される。遺物は近世陶磁器の小破片がわずかと釘1点が出土した。

#### SK02土坑(第158・176～179・182・185～193・207～209・213図、写真図版24)

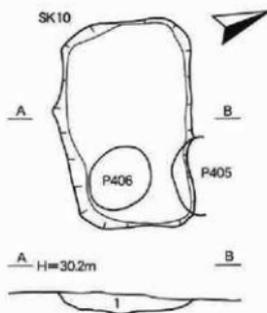
環濠屋敷の中央部で母屋跡の西北MD68グリッドに位置し、表土除去後に近世整地層中と思われる面で検出した。検出時には20cm大の河原石を用いた配石遺構と考えたものだが、精査の結果、プランが方形基調の土坑壁面の石積とその崩落であることが判明した。西側が調査区外にかかり、また北側が掘乱されていたため全容は不明であるが、平面形は方形もしくは長方形を呈すると推定される。遺存する部分での規模は東壁長約2.5m、南壁長約1.4mを測る。断面形は箱型を呈し、深さは約20cmを測る。部分的ではあるが、壁面の石積が2段の所もあり、また遺構南半の検出面に多量の河原石が認められたことから、元々は2段以上の石積で深さも倍したのと思われる。埋土は2層からなる人為的堆積であるが、締まりは余りない。遺物は2層中から近世陶磁器と木製品が比較的多量と金属製品がわずかに出土した。



第157図 SKI01竪穴状遺構、SK08・09土坑



- SK01
1. 10YR3/2 (黒褐色) しまり極めて有、粘性强、(当初SK01と確認していた溝跡の埋土)
  2. 10YR4/2 (灰黄褐色) しまり極めて有、粘性强、白色の地山土と黒褐色の地山土混、(粘土)
  3. 10YR3/3 (暗褐色) しまり極めて有、粘性强、地山土少量、酸化鉄微量混、(粘土)
  4. 10YR2/1 (黒色) しまり極めて有、粘性强、酸化物極めて微量。



- SK10
1. 10YR2/3 (黒褐色) しまり極めて有、粘性强、  
地山粒多量、小礫微量



第158図 SK01、02、10土坑

#### S K08(第157・185・187・189図、写真図版18)

環濠屋敷の中央部母屋跡と付属施設等の間、L S69グリッドに位置する。現代の宅地造成土の除去後に検出した。本遺構はS K09土坑を切るが、位置的に重複するS K101との新旧関係は不明である。平面形は東西に長い長方形の北東部が張り出すカギ形を呈する。規模は東西約2m、南北約1m、張り出しの長さとは幅が約70cm、深さ約30cmを測る。断面形は箱型を呈する。埋土は締まりがなく、湿気と粘性が強い。掘り込みの内壁には厚さ約2cmの黄褐色粘土が貼り付けられていた。遺物は近世～近代陶磁器がわずかに出土した。

#### S K09土坑(第157図、写真図版18)

環濠屋敷の中央部母屋跡と付属施設等の間、L S69グリッドに位置する。S K101竪穴遺構を精査中に床面で検出した。本遺構はS K08土坑に切られるが、位置的に重複するS K101との新旧関係は断面観察からは古いか、同時存在の可能性もある。平面形は南側がS K08土坑に破壊されて不明であるが、東西に長い長方形の南東部が張り出すカギ形を呈すると思われる。規模は東西約2.2m、南北約1.1m、張り出しの長さは50cm以上、幅は1.3m前後と推定される。深さはS K101底面からで約15cmを測る。断面形はおおよそ箱型を呈する。埋土は締まりがなく、湿気と粘性が強い。遺物は近代陶磁器の小破片がわずかに出土した。

#### S K10土坑(第158・207・211・213図)

環濠屋敷の中央部母屋跡と付属施設等の間、M B68グリッドに位置し、宅地造成土下で検出した。平面形は略長方形を呈し、開口部170×110cm、底部160×100cmを測る。長軸方位は北西-南東である。断面形は壁が緩やかに立ち上がる皿形を呈し、深さ約15cmを測る。埋土は黒褐色土の単層の人為的な埋戻し土で堅く締まっている。重複は検出面と底面の両方で柱穴との切り合いが確認され、S B23掘立柱建物跡が古い。遺物は木製品と古銭1点が出土した。

#### (2) 御蔵場跡 (A区)

調査前の現況では北側は荒地、南側は宅地跡となっており、御蔵場跡を示す痕跡は何も認められなかった。御蔵場跡の範囲は表土除去したところ、北側に環濠屋敷を区画するS D03堀跡と南側に御蔵場を区画するS D21堀跡を検出したことで判明したものである。調査からは全体的に削平あるいは盛土整地がされているのが認められた。敷地面積は約3,670㎡と推定される。

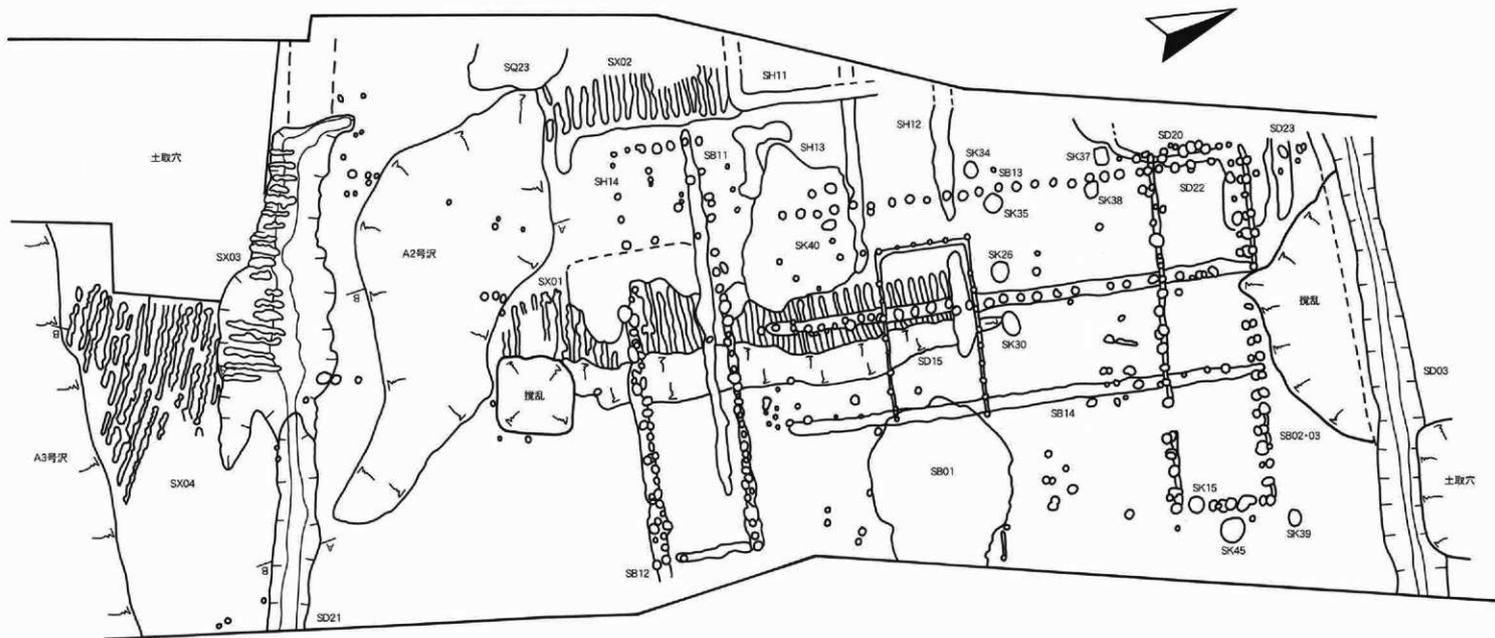
#### A. 昔講地形的遺構 (整地跡・堀・溝等)

##### 整地跡《A 2号沢跡・S D15溝跡》(第160図)

調査地内における御蔵場跡は全体的に何らかの整地造成が行われていた。基本的には全体が削平され、部分的には一部深く掘削されている範囲もあり、多くがその後盛土によって整地造成されていた。北東部(A 5・6区)と南東部(A 7区)は主に削平、北西部(A 3・4区)は削平後盛土、南東部(A 2区)は削平及び掘削後埋め立てと盛土によって造成整地が行われていた。A 2区のA 2号沢跡とした掘削後の埋め立ては、この西側調査区外延長に湿地があることから地盤の軟弱な部分の土を除去したものと推定される。この埋め立ての土は黒褐色系で土器が多量に含まれていることから、遺跡内の微高地(A 5・6・7区か?)の上層を削平した土を使用し、これ以外の削平後の盛土整地は、遺物が少ない褐色系の土で、ほとんどがフラットな状態の土盛りとなっていることから、旧地形の低位部に微高地(A 7・8区か?)の包含層下のIV層土が使われたものと推定され、層位が逆転する状況となっていた。S D15溝状遺構についてもA 2号沢跡と同様であり、M G51グリッド部分には整地の際の廃棄と思われる準大の自然石が集石状(S Q21集石)に認められた。

##### S D20溝跡(第160図)

御蔵場の北西部A 4区のM I 56・57グリッドに位置し、南西から北東に弓なりに走行する。A 4区につい



第159図 御蔭塚跡遺構配置図

ては当初、表土下の暗褐色土をⅢ層（縄文時代の遺物包含層）と判断して精査したため、本遺構は周囲よりも標高の低いV層面での検出となった。本来の掘り込み面は近世の削平整地のIV層面にあったと思われる。南西側は調査区外に延び、北東はSD22溝跡に接続するため全容は不明である。SD22溝跡の他にSB02・03・13掘立柱建物跡と重複し、掘立柱建物跡の柱穴に切られるが、SD22溝跡との新旧関係は不明である。検出した範囲での規模と形態は長さ約6.5m、上幅約40cm、検出面からの深さは10～20cmを測り、横断面形はナベ形を呈する。埋土は暗褐色土の単層で、遺物は出土しなかった。

#### SD21堀跡(第159・160図、写真図版19)

御蔵場を南側外域と区画する堀跡でMG～MI44・45グリッドに位置し、表土を除去した近世に削平されたVI層面を検出した。検出当初はプランが不明瞭で西側に連続するSX03遺状遺構を含めて、北側に平行するA2号沢跡と状況が類することからA1号沢跡としていたものであるが、精査の結果、東側が箱葉研状を呈する堀の本遺構、西側がSX03遺状遺構であることが判明した。調査区外の現況では東側の延長と特にSX03を挟んだ西側の状況は不明であるが、地形から東側はSD03堀跡同様に東端の段丘崖に達するものと思われ、長さは約30mと推定される。検出した範囲での規模は長さ約11m、上幅約2.5m、深さ0.7～1m、底幅約1mを測る。埋土は8層に細分され、4層以下の下層は崩落流入による自然堆積、上層は小礫が多量に混じる人為堆積である。遺物は白磁（染付小破片？）と染付の破片が各1点埋土上層から出土した。

#### SD22溝跡(第159・160図)

御蔵場の北西部A4区のMH58グリッドに位置し、およそ西～東に走行する幅広い溝状の遺構である。本遺構もSD20同様に表上下の暗褐色土をⅢ層（縄文時代の遺物包含層）と判断して精査したため、周囲よりも標高の低いV層面での検出となった。本来の掘り込み面は近世の削平整地のIV層面にあったと思われる。西側は調査区外に延びるため全容は不明である。SD20溝跡とSB02・03・13掘立柱建物跡と重複し、掘立柱建物跡の柱穴に切られるが、SD20溝跡との新旧関係は不明である。検出した範囲での規模と形態は長さ約5m、幅約2m、検出面からの深さは約30cmを測る長方形の箱形を呈する。埋土は黒褐色系の2層からなる人為的堆積である。遺物は出土しなかった。

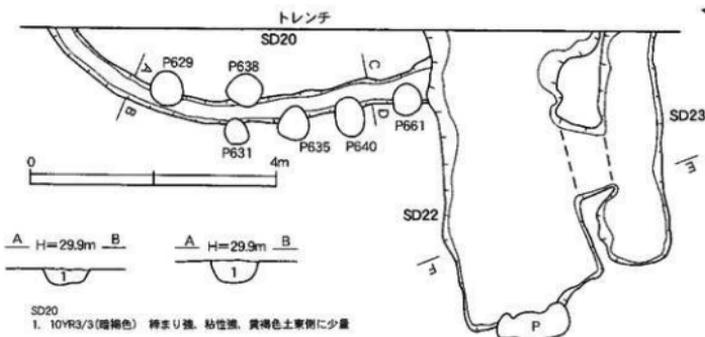
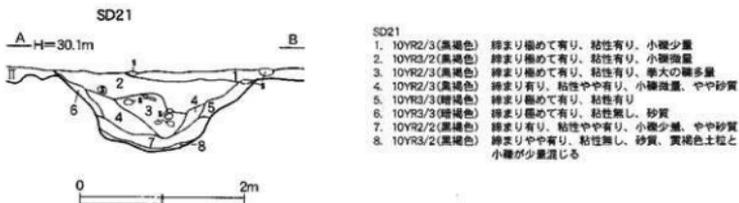
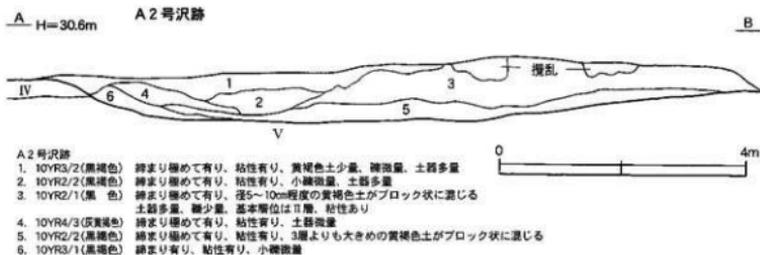
#### SD23溝跡(第159・160図)

御蔵場の北西部A4区のMH58グリッドに位置し、およそ西～東に走行する溝状の遺構である。南側には平行してSD22溝跡が走行する。本遺構もSD22同様に表土下の暗褐色土をⅢ層（縄文時代の遺物包含層）と判断して精査したため、周囲よりも標高の低いV層面での検出となった。本来の掘り込み面は近世の削平整地のIV層面にあったと思われる。西側は調査区外に延びるため全容は不明である。重複関係は複数の柱穴とあり、柱穴に切られる。検出した範囲での規模と形態は長さ約4m、幅約1m、検出面からの深さは約25cmを測り、横断面形は箱形を呈する。埋土は黒褐色系2層の人為的堆積である。遺物は出土しなかった。

#### B. 建物跡・柱穴群

##### SB01布張り掘立柱建物跡(第161・177・179・181・183・185・199・202・211図、写真図版20)

御蔵場の中央やや北寄りME～G53ラインを中心とするグリッドに位置する。表土下の近世整地層最上面で検出した。SB13・14掘立柱建物跡、SH12建物跡、SX01軟間状遺構、SD15敷地跡と重複し、新旧関係はSH12に切られる他はすべてを切る。平面形・規模は東側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、基礎地形として溝を掘って柱木を建てた、いわゆる布張りの掘立柱建物跡である。東側は黄褐色土をもって埋め立てられて堅く締まっており、この部分では柱穴は検出されていないため、整地造成によるものか本遺構に伴う土間状の貼床なのかは判然としない。この貼土を挟んだ東側にも一部布張り確認されて



第160図 SD21堀跡、SD20・22・23溝跡、A 2号沢跡

いる。検出した範囲では間仕切りは見られない。長軸方向はおよそ東西にあり、検出した範囲での布掘りの長軸の長さは約17m、短軸は5m、幅は約30cm、深さ約15cmを測る。布掘り内には約1mの間隔で柱穴があり、1本飛ばしの1間間隔のものがやや深い。各柱穴の規模は観察表に記してある。全体規模としては梁行は2.5間、桁行は8間以上となる直屋である。遺物は東側の粘土中から近世後半の陶磁器が出土した。

#### S B02布掘り掘立柱建物跡(第162図、写真図版20)

御蔵場の北縁MD～H56・57グリッドに位置する。初年度に表土下の近世整地層最上面で検出し、精査を行ったが、検出が部分的であったため、全体を把握して記録を補足したのは次年度のⅢ層(遺物包含層)を除去した後である。本遺構はS B03・13・14掘立柱建物跡、SK15土坑、SD20・22溝跡と重複し、その新旧関係はS B03とSK15に切られる他はすべてを切る。平面形は、基礎地形として溝を掘って柱木を建てた、いわゆる布掘りの掘立柱建物跡であるが、北東部分は次年度に一段掘り下げた検出となったため、柱穴のみを確認したものである。重複するS B03は柱穴の配置・規模が同じで南側に少しずれてあり、さらに同様の配置・規模の柱穴が多数見られることから、想定できなかったものもう1棟あり、同位置で3度の建て替えがなされたものと思われる。いずれも間仕切りは見られない。長軸方向はS B01と平行しておよそ東西にあり、布掘りの長軸の長さは約20m、短軸は5m、幅は20～40cm、深さ約15cmを測る。布掘り内には約1mの間隔で柱穴があり、1本飛ばしの1間間隔のものがやや深い。埋土中には華火の礫が多めに混じる。各柱穴の規模は観察表に記してある。規模は桁行が10間、梁行は2.5間の直屋である。遺物は出土しなかった。

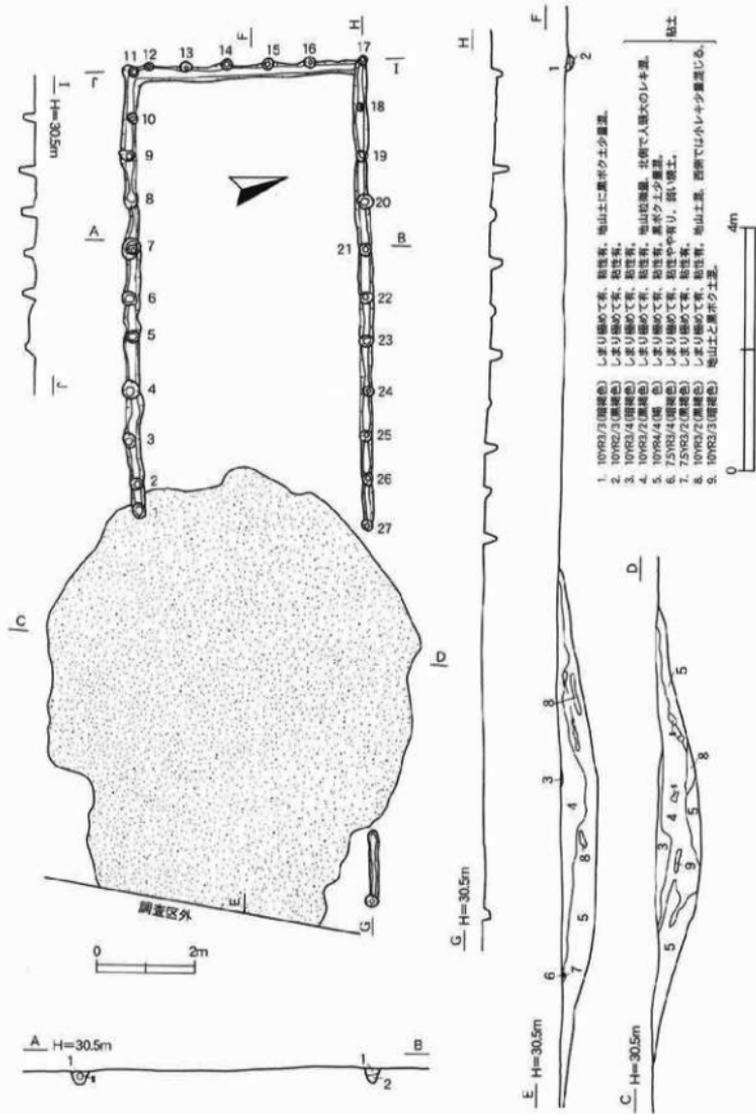
#### S B03掘立柱建物跡(第162図、写真図版20)

御蔵場の北縁MD～H56・57グリッドに位置する。S B02同様、初年度に表土下の近世整地層最上面で検出して精査を行ったが、検出が部分的であったため、やはり全体を把握できたのは次年度のⅢ層(遺物包含層)を除去した後である。本遺構はS B02・13・14掘立柱建物跡、SK15土坑、SD20・22溝跡と重複し、その新旧関係はSK15に切られる他はすべてを切る。平面形は掘立柱建物跡で、間仕切りは見られない。長軸方向はS B02と等しくおよそ東西にある。規模は長軸約20m、短軸約5m、柱間間隔はおよそ1mを測る桁行が10間、梁行は2.5間の直屋である。南東部分は一段低いV層面で検出したこともあってか、調査では一部柱穴が確認できなかった。柱痕の確認されたものも数基ある。各柱穴の規模は観察表に記してある。柱穴からは遺物は出土しなかった。

第13表

S B01

№	位置	形状	口径	底径	深さ	底径高	柱径	遺産	分期
1	MG52	円形	0.25	0.15	0.23	30.00			
2	MG52	円形	0.25	0.14	0.21	30.02			
3	MG53	橢円形	0.27	0.16	0.41	29.78			
4	MG53	橢円形	0.36	0.16	0.21	30.03			
5	MG53	橢円形	0.20	0.15	0.34	29.95			
6	MH53	橢円形	0.28	0.16	0.21	29.97			
7	MH53	円形	0.35	0.26	0.23	29.93			
8	MH53	円形	0.30	0.17	0.23	29.92			
9	MH53	橢円形	0.18	0.14	0.41	29.71			
10	MH53	円形	0.19	0.14					
11	M153	円形	0.17	0.10	0.21	29.94			
12	M153	橢円形	0.13	0.08					
13	M153	円形	0.24	0.09	0.28	29.89			
14	M154	円形	0.19	0.11	0.33	29.92			
15	M154	円形	0.22	0.15	0.34	29.84			
16	MH54	円形	0.19	0.09	0.34	29.81			
17	MH54	円形	0.17	0.18	0.22	29.89			
18	MH54	橢円形	0.15	0.07	0.18	29.96			
19	MH54	橢円形	0.19	0.13	0.46	29.76			
20	MH54	橢円形	0.30	0.15	0.24	30.02			
21	MG54	橢円形	0.22	0.11	0.38	29.88			
22	MG54	橢円形	0.23	0.11	0.24	30.01			
23	MG54	橢円形	0.29×0.23	0.13×0.13	0.38	29.87			
24	MG54	円形	0.20	0.10	0.16	30.10			
25	MG54	円形	0.25	0.13	0.31	29.95			
26	MF54	橢円形	0.26×0.18	0.13×0.08	0.19	30.08			
27	MF54	円形	0.21	0.10	0.32	29.94			



第161図 SBO1布張り掘立柱建物跡



第14表

S B 02

No	位置	範形	口徑	底徑	深さ	底標高	柱徑	重 複	分類
1	MG58	円形	0.41	0.32	0.21	29.88			
3	MG58	円形	0.22	0.08	0.26	29.83			
4A	MH58	蹄円形	0.32	0.22	0.27	29.89			
4B	MH58	蹄円形	0.25	0.20	0.14	29.72			
6	MH58	蹄円形	0.55	0.47	0.42	29.73			
7	MH57	蹄円形	0.23	0.16	0.30	29.88			
8	MH57	蹄円形	0.45	0.31	0.13	30.04			
9	MH57	蹄円形	0.33	0.25	0.32	29.81			
10	MH56	円形	0.85	0.50	0.22	29.89			
11	MG56	円形	0.18	0.11	0.35	29.82			
12	MG56	円形	0.27	0.20	0.28	29.92			
14	MF56	蹄円形	0.22	0.11	0.31	29.75			
15	MF56	蹄円形	0.47	0.26	0.37	29.86			
16	MF56	蹄円形	0.32	0.13	0.48	29.97			
17	ME56	蹄円形	0.30	0.16	0.33	29.97			
18	ME56	蹄円形	0.35×0.21	0.20×0.14	0.36	29.96			
19	ME56	蹄円形	0.31×0.26	0.25×0.17	0.35	29.96			
20	MD56	蹄円形	0.28	0.14	0.44	29.84			
24	MD56	蹄円形	0.30	0.15	0.28	29.97			
628	MI57	蹄円形	0.45	0.31	0.14	29.65			C
630A	MI57	蹄円形	0.52	0.44	0.12	29.65			C
630B	MI57	円形	0.19	0.14	0.03	29.65			C
633	MI57	円形	0.35	0.27	0.15	29.68			H
639	MI57	円形	0.44	0.37	0.08	29.65			C
641	MI57	蹄円形	0.25	0.16	0.25	29.52			H
642	MI57	蹄円形	0.38	0.19	0.21	29.56			H
643	MI57	蹄円形	0.75×0.59	0.67×0.48	0.17	29.62			C
645	MI57	蹄円形	0.63×0.48	0.48×0.35	0.23	29.57			H
646	MI57	蹄円形	0.45×0.35	0.38×0.28	0.07	29.71			C
647	MH58	蹄円形	0.46×0.36	0.39×0.31	0.08	29.73			H
649	MH58	円形	0.24	0.21	0.26	29.57			H
650	MH57	蹄円形	0.40×0.37	0.39×0.32	0.15	29.82			H
651A	MH58	蹄円形	0.52	0.35	0.31	29.52			H
651B	MH58	蹄円形	0.25	0.19	0.30	29.25			H
653	MI57	蹄円形	0.55	0.33	0.27	29.53			C
714A	MH58	不定形	0.67	0.32	0.11	29.72			
714B	MH58	蹄円形	0.66×0.50	0.41×0.37	0.29	29.56			
714C	MH58	蹄円形	0.34	0.26	0.06	29.53			
739	ME57	蹄蹄円形	？×0.49	？×0.32	0.27	29.78			
742	MH58	蹄円形	0.36×0.30	0.36×0.27	0.30	29.70			G
748	MD56	蹄円形	0.4	0.35	0.33	29.79			
750	MD56	方形	0.59×0.60	0.42×0.32	0.31	29.82			
752A	MD56	蹄蹄円形	1.01×0.48	0.71×0.41	0.30	29.84			
752B	MD56	蹄蹄円形	0.54×0.31	0.36×0.11	0.26	29.61			
754	ME57	蹄円形	0.42	0.30	0.44	29.71			H
755	MF57	蹄蹄円形	0.51×0.43	0.35×0.21	0.32	29.65			H
760	MG56	蹄円形	0.57×0.50	0.32×0.23	0.48	29.56			
762	MF56	蹄円形	0.58	0.30×0.19	0.40	29.64			
763	MF56	蹄蹄円形	0.57×0.49	0.35	0.31	29.74			
764	MF56	蹄円形	0.54	0.32	0.34	29.70			
765	MF56	蹄円形	0.46	0.32	0.37	29.69			
766	MF56	蹄蹄円形	0.64×0.53	0.35×0.29	0.35	29.73			
767	MG56	蹄円形	0.55×0.45	0.28	0.40	29.63			
771	ME57	蹄蹄円形	0.68×0.50	0.39×0.34	0.31	29.75			
775	MD57	蹄蹄円形	0.4×0.47	0.49×0.36	0.26	29.81			H
776	MD57	蹄円形	0.57×0.42	0.47×0.33	0.33	29.89			H
777A	ME56	蹄円形	0.69×？	？	0.40	29.72			
777B	ME56	蹄円形	0.56×0.38	0.33×0.26	0.54	29.65			
779	ME56	円形	0.65	0.47	0.52	29.68			
780	MD56	蹄蹄円形	？×0.51	0.59×0.39	0.39	29.74			
783A	MH58	蹄蹄円形	？×0.45	？×0.30	0.24	29.68			H
783B	MH58	蹄蹄円形	0.48	0.35	0.34	29.58			H
786	MG56	蹄蹄円形	？×0.50	？×0.32	0.23	29.69			H
788A	MG58	不定形			0.20	29.72			H
788B	MG58	蹄蹄円形	0.49×0.39	0.26	0.30	29.64			H
791	MG58	蹄蹄円形	0.53	0.38	0.30	29.62			H
793	MD55	蹄蹄円形	0.58	0.38	0.40	29.73			H
839	MH58	蹄蹄円形	0.37×0.32	0.27×0.18	0.26	29.67			H
840	MF56	蹄蹄円形	？×0.52	？×0.29	0.39	29.64			
842	MF57	蹄蹄円形	0.42	0.26	0.33	29.69			
845A	ME57	蹄蹄円形	？×0.59	？×0.39	0.28	29.80			
845B	ME57	蹄蹄円形	0.40	0.19	0.34	29.71			
846	MD57	蹄蹄円形	0.35	0.27	0.35	29.73			
849	MD57	蹄蹄円形	0.72×0.49	0.34×0.27	0.31	29.81			

第15表

SB03

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
361	MH58	駱円形	0.34	0.13	0.43	29.77	0.34		
363A	MH58	駱円形	0.53	0.34	0.50	29.70			
363B	MH58	駱円形	0.22	0.13	0.23	29.61	0.53		
368	M1I68	方形	0.25×0.25	0.14	0.10	29.75	0.25		
627	M157	駱円形	0.42	0.22	0.61	29.16			C
629A	M157	駱円形	0.57	0.49	0.18	29.58			C
629B	M157	駱円形	0.31	0.23	0.14	29.53			C
632	MH57	楕円形	0.62×0.52	0.57×0.45	0.21	29.55			G
638	M157	駱円形	0.58	0.44	0.25	29.51			C
643	M157	楕円形	0.76×0.54	0.66×0.48	0.17	29.62			C
647	MH58	楕円形	0.46×0.36	0.39×0.31	0.08	29.73			H
649	MH58	円形	0.24	0.21	0.26	29.57			H
653	M157	駱円形	0.55	0.32	0.27	29.53			C
738	ME57	駱円形	0.57	0.39×0.32	0.35	29.68			H
742	MG57	楕円形	0.55×0.45	0.23×0.16	0.36	29.65			G
748A	MD56				0.26	29.87			
749	MD56	楕円形	0.62×0.46	0.46×0.32	0.32	29.81			
751	MD66				0.24	29.87			
756	MF57	楕円形	?×0.44	?×0.28	0.30	29.33			H
757	MF57	駱円形	0.45	0.33	0.33	29.70			
758A	MF57	駱円形	0.50	0.43	0.35	29.68			H
758B	MF57	楕円形	0.32×0.24	0.26×0.17	0.14	29.56			H
759	MF57	楕円形	0.50×0.34	0.24×0.17	0.30	29.23			H
768	MD57	楕円形	0.57×0.45	0.31×0.24	0.38	29.73			
769A	ME56	楕円形	0.96×0.52	?×0.30	0.44	29.69			
769B	ME56	方形	0.42×0.34		0.04	29.65			
769C	ME56	楕円形	0.34×0.24	0.21×0.16	0.06	29.58			
770	ME57	円形	0.42	0.28×0.21	0.25	29.80			H
772A	ME57	駱円形	0.48	0.34	0.36	29.72			H
772B	ME57	駱円形	0.25	0.17	0.12	29.62			H
773	ME57	方形	0.65×0.65	0.53×0.48	0.67	29.80			H
774	MD57	駱円形	0.29	0.24	0.45	29.63			H
776	MD57	楕円形	0.67×0.42	0.47×0.33	0.33	29.89			H
777A	ME56	楕円形	0.69×?		0.40	29.72			
777B	ME56	楕円形	0.56×0.38	0.33×0.26	0.54	29.65			
782A	MH58	楕円形	0.66×0.56	0.48×0.36	0.27	29.67			H
782B	MH58	楕円形	0.30×0.25	0.20×0.10	0.09	29.60	0.23		
785	MG57	楕円形	0.40×0.33	0.20	0.22	29.77	0.32×0.23		H
789	MG57	方形	0.50×0.51	0.41×0.31	0.38	29.60	0.28		H
793	MD56	駱円形	0.58	0.38	0.40	29.73			
840	MF56	楕円形	?×0.49	?×0.31	0.23	29.64			
841	MF56				0.15	29.91			
843	MF57	駱円形	0.36	0.13	0.33	29.57			
844A	ME57	楕円形	?×0.49	?×0.38	0.27	29.78			
844B	ME57	駱円形	0.20	0.12	0.11	29.67			
847	MD55	駱円形	0.44	0.25	0.35	29.77			
848	MD56	駱円形	0.37	0.31	0.10	29.43			

## SB11掘立柱建物跡(第163図、写真図版21)

御蔵場の中央やや南寄りMF~K49~51グリッドに位置する。表土下の近世整地層上面で検出した。重複はSB12掘立柱建物跡、SH14建物跡、SX01畝間状遺構、SD15整地跡とあり、新旧関係はSH14に切られる他はすべてを切る。平面形・規模は東側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、平面形は掘立柱建物跡で長軸方向はSB01と平行しておよそ東西にある。重複するSB12は東側に約9m程と大きくずれるが、南側には僅かで、柱穴の配置は概ね等しく、さらに同様の配置の柱穴が多数見られることから、想定できなかったものもう1棟あり、ほぼ同位置で3度の建て替えがなされたものと思われる。確認した範囲での規模は長軸22m、短軸約5m、柱間隔約1mを測り、桁行が11間以上、梁行は2.5間の直線である。西側は一段低い面で検出したこともあってか、検出した柱穴はやや少ない。各柱穴の規模は観察表に記してある。柱穴からは遺物は出土しなかった。

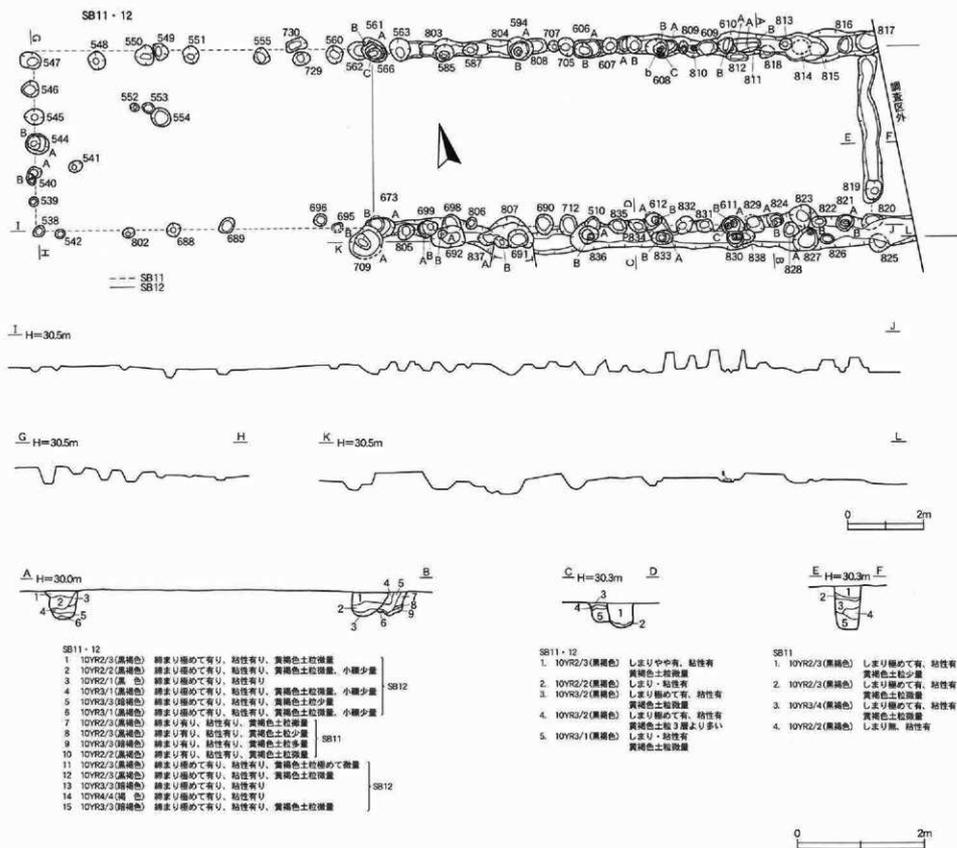
S B 12布張り掘立柱建物跡(第163図、写真図版21)

御蔵場の中央やや南寄りMF～I49～51グリッドに位置し、表土下の近世整地層上面で検出した。重複はS B 11掘立柱建物跡、SH14建物跡、S X 01畝間状遺構、S D 15整地跡とあり、新旧関係はS B 11・S H 14に切られる他はすべてを切る。平面形・規模は、東側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、平面形は基礎地形として溝を掘って柱木を建てた、いわゆる布張りの掘立柱建物跡である。長軸方向はS B 11と等しくおよそ東西にあるが、短軸には布張りは認められなかった。確認した範囲での布張りの長軸の長さは約14m、幅は40～50cm、深さは約50cmを測る。重複の少ない南側の布張り内では約2mの間隔で主たる柱穴の並びが確認され、重複の多い北側ではそれと対応する間にも柱穴が認められた。検出面では確認できなかったが、南側でも本来1m間隔であったものと思われる。短軸には布張り、柱穴とも検出されなかったが、東端には直行する溝状の掘り込みがあり、間仕切りがあった可能性が考えられる。各柱穴の規模は観察表に記してある。確認した範囲での規模は桁行が7間以上、短軸の長さは約5mで梁行は2.5間の直屋である。柱穴からは遺物は出土しなかった。

第16表

S B 11

№	位置	概形	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重複	分類
510	MH49	竪円形	0.41	0.27	0.37	29.39			D
538	MK50	竪楕円形	0.32×0.26	0.22×0.17	0.10	29.52			C
539	MK50	竪円形	0.23	0.17	0.09	29.56			G
540A	MK50	竪楕円形	0.51×0.35	0.38×0.32	0.19	29.60			G
540B	MK50	竪円形	0.17	0.14	0.08	29.58			G
541	MK50	竪円形	0.34	0.15	0.17	29.47	0.20×0.20		G
542	MK50	竪円形	0.25	0.16	0.13	29.50			C
544A	MK51	竪円形	0.60	0.41	0.20	29.56			C
544B	MK51	竪円形	0.37	0.17	0.11	29.47			C
545	MK51	竪円形	0.50	0.20	0.24	29.57			C
546	MK51	竪円形	0.47	0.29	0.16	29.80			H
547	MK51	楕円形	0.57×0.46	0.31×0.22	0.44	29.44	0.20×0.20		H
548	MK51	竪円形	0.47	0.16	0.44	29.45			H
549	MJ51	竪円形	0.45	0.28×0.18	0.12	29.77			G
550	MJ51	竪楕円形	0.58×0.46	0.29×0.15	0.35	29.53			C
551	MJ51	楕円形	0.48×0.42	0.21×0.15	0.39	29.50			C
552	MJ51	竪円形	0.22	0.14	0.03	29.85			G
553	MJ51	竪円形	0.28	0.22	0.05	29.85			G
554	MJ51	竪円形	0.52	0.35	0.13	29.76			G
555	MJ51	楕円形	0.46×0.39	0.34×0.21	0.36	29.53			H
560	MJ51	竪円形	0.46	0.27	0.30	29.49			C
561A	MJ51	楕円形			0.16	29.66			C
561B	MJ51	竪楕円形	0.65×0.52	0.35	0.17	29.49			C
561C	MJ51	楕円形	0.39×0.28	0.28×0.16	0.08	29.41			C
562	MJ51	楕円形	?	?	0.19	29.64			H
563	MJ51	竪円形	?	0.30×0.22	0.25	29.80			C
566	MJ51	竪円形			0.24	29.60			G
587	MH51	竪円形	0.37	0.23×0.15	0.25	29.51			G
604A	MG50	竪円形	0.48	0.36	0.25	29.65			C
604B	MG50	竪円形	0.40	0.35	0.21	29.45			C
607	MG50	竪円形	0.46	0.34	0.54	29.40			H
608A	MG50	楕円形	?	?	0.05	29.53			G
608B	MG50	竪楕円形	0.61×0.45		0.18	29.40			G
608C	MG50	楕円形			0.09	29.48			C
608D	MG50	楕円形	0.16×0.13	0.08×0.07	0.20	29.20			C
609	MG50	楕円形	0.55×0.45	0.40×0.35	0.43	29.52			G
610A	MF50	竪円形			0.56	29.39			G
610B	MF50	竪楕円形	0.45×0.37	0.39×0.18	0.45	29.35			H
611A	MG49	竪円形	0.55	0.43	0.56	29.45			G
611B	MG49	楕円形	0.19×0.15	0.10×0.06	0.07	29.41			H
611C	MG49	竪円形	0.17	0.08	0.07	29.41			IF
612A	MG49	楕円形	?	?	0.49	29.46			H
612B	MG49	竪円形	0.22	0.10	0.07	29.39			M
673A	MI50	楕円形	0.78×0.51	?	0.48	29.52			H
673B	MI50	竪円形	0.40	0.31	0.12	29.40			H
688	MJ50	竪円形	0.39	0.15	0.24	29.31			C
689	MJ50	竪楕円形	0.45×0.36	0.30	0.13	29.43			C
690	MH49	楕円形	0.57×0.45	0.40×0.34	0.18	29.55			G



- SB11 - 12
- 1 10YR2/3(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
  - 2 10YR2/2(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒少量、小礫少量
  - 3 10YR2/1(黒色) 膠まり縋めて有り、粘性有り
  - 4 10YR3/1(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒少量、小礫少量
  - 5 10YR3/3(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
  - 6 10YR3/1(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒少量、小礫少量
  - 7 10YR2/3(黒褐色) 膠まり有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
  - 8 10YR2/3(黒褐色) 膠まり有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
  - 9 10YR2/3(黒褐色) 膠まり有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
  - 10 10YR2/2(黒褐色) 膠まり有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
  - 11 10YR2/3(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒縋めて少量
  - 12 10YR2/3(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
  - 13 10YR3/3(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り
  - 14 10YR4/4(黒色) 膠まり縋めて有り、粘性有り
  - 15 10YR3/3(黒褐色) 膠まり縋めて有り、粘性有り、黄褐色土粒少量
- SB11
- SB12

- SB11 - 12
- 1. 10YR2/3(黒褐色) しまりや中高、粘性有、黄褐色土粒少量
  - 2. 10YR2/2(黒褐色) しまり・粘性有
  - 3. 10YR3/2(黒褐色) しまり縋めて有、粘性有
  - 4. 10YR3/2(黒褐色) しまり縋めて有、粘性有、黄褐色土粒少量
  - 5. 10YR3/1(黒褐色) しまり・粘性有、黄褐色土粒少量

- SB11
- 1. 10YR2/3(黒褐色) しまり縋めて有、粘性有、黄褐色土粒少量
  - 2. 10YR2/3(黒褐色) しまり縋めて有、粘性有、黄褐色土粒少量
  - 3. 10YR3/4(黒褐色) しまり縋めて有、粘性有、黄褐色土粒少量
  - 4. 10YR2/2(黒褐色) しまり・粘性有

第163図 SB11、12掘立柱建物跡

## S B 11

No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底面高	柱径	重畳	分類
695	M 150	腰円形	0.15	0.10	0.11	29.66			G
696	M 150	腰円形	0.34	0.23	0.08	29.61			G
698	M 150	腰円形	0.81	0.33	0.35	29.40			H
699A	M 150	腰円形			0.05	29.67			G
699B	M 150	腰円形	0.40	0.19	0.27	29.49			G
705	MH51	楕円形	0.54×0.38	0.22	0.36	29.46			B
707	MG51	楕円形	0.30	0.14	0.17	29.63			B
712	MH49	楕円形	?	0.45	0.41×0.30	0.13	29.59		G
729	M 151	腰円形	0.47	0.27	0.21	29.53			G
730	M 151	腰楕円形	0.47×0.30	0.36×0.21	0.14	29.60			G
802	MK50	円形	0.31	0.15	0.17	29.47			C
803	MH51	不定形			0.20	29.67			
804	MH51	不定形			0.08	29.62			
805	M 150	腰円形	0.43	0.27×0.19	0.24	29.49			
806	M1150	腰円形	0.29	0.22	0.06	29.55			
807	MH49	不定形			0.12	29.36			
808	MH51	楕円形	?	0.42	?	0.28	0.15	29.65	
809	MG59	楕円形	0.34×0.24	0.14×0.10	0.25	29.52			
810	MG50	楕円形	0.15		0.15	29.59			
811A	MF50	楕円形	?	0.40	?	0.18	0.08	29.52	
811B	MF50					0.08	29.51		
813	MF50	楕円形	0.33	0.16	0.30	29.78			
815	MF50				0.32	29.67			
816	MF50	楕円形	0.48×0.38	0.38×0.21	0.20	29.59			
817	MF50	腰円形	0.57	0.39	0.16	29.60			
819	MF50	腰楕円形	0.50×0.40	0.30	0.21	29.33			
820	MF49	楕円形	0.55×0.45	0.40×0.30	0.57	29.52			
821A	MF49	楕円形	0.50×0.41	0.38	0.59	29.53			
821B	MF49	楕円形	0.28×0.17	0.15×0.08	0.11	29.42			
822	MF49	楕円形	0.39×0.30	0.22×0.16	0.65	29.45			
823	MF49	不定形	0.57	0.34×0.27	0.61	29.46			
824A	MF49	腰円形	0.44	0.30	0.51	29.57			
824B	MF49	腰円形	0.24	0.11	0.11	29.49			
829	MG49	楕円形	?	0.45	?	0.28	0.22	29.57	
831	MG49	楕円形	0.43×0.33	0.23	0.47	29.52			
832	MG49	楕円形	0.55×0.41	0.24	0.46	29.49			
834	MG49	楕円形	0.54×0.35	0.28×0.19	0.43	29.47			
835	MG49	楕円形	0.44	0.33×0.22	0.44	29.44			

## S B 12

No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底面高	柱径	重畳	分類
561A	M 151	楕円形	0.65×0.52	0.35	0.17	29.49			G
561B	M 151	腰楕円形	0.39×0.28	0.28×0.16	0.08	29.41			G
561C	M 151	楕円形	0.47	0.17×0.11	0.49	29.28			H
585	MH51	腰円形	0.47	0.17×0.11	0.49	29.28			H
594A	MH51	腰円形	0.68	0.51	0.41	29.46			D
594B	MH51	腰円形	0.44	0.13	0.39	29.23			D
606A	MG50	楕円形	0.76×0.53	?	0.39	0.42	29.53		H
606B	MG50	腰楕円形	0.51×0.40	0.32×0.21	0.11	29.40			H
608A	MG50	楕円形	?	0.39	?	0.25	0.05	29.53	G
608C	MG50	楕円形				0.09	29.48		G
608D	MG50	楕円形	0.18×0.13	0.09×0.07	0.20	29.20			G
610A	MF50	楕円形				0.56	29.39		G
610B	MF50	楕円形	?	0.40	?	0.18	0.08	29.52	
691	MH49	楕円形	0.65	0.36	0.24	29.18			G
692A	M 149	腰楕円形	0.69×0.65	?	0.28	0.40	29.28		G
692B	M 149	腰円形	0.23	0.11×0.07	0.12	29.24			G
709A	M 150	楕円形	0.91×0.82	0.75	0.37	29.34			H
709B	M 150	腰楕円形	0.44×0.33	0.29×0.15	0.15	29.25			H
811B	MF50					0.08	29.51		
812	MF50	楕円形	0.57×0.24	0.40×0.17	0.67	29.44			
814	MF50				0.50	29.56			
818	MF50	腰円形	0.39	0.21	0.21	29.59			
825	MF49	腰円形	0.51	0.32	0.55	29.51			
826	MF49	楕円形	0.35×0.21	0.30×0.14	0.19	29.46			
827A	M 149	腰円形	0.68	0.45	0.64	29.43			
827B	M 149	腰円形	0.15	0.12	0.14	29.28			
830	MG49	腰円形	0.42	0.40×0.30	0.15	29.40			
833A	MG49	楕円形	0.55×0.40	?	0.27	0.13	29.44		
833B	MG49	腰円形	0.28	0.20×0.15	0.09	29.35			
836A	MH49	腰円形	0.52	0.30	0.25	29.24			
836B	MH49	腰円形	0.20	0.12	0.31	29.13			
837A	MH49	腰楕円形		?	0.25	0.16	29.33		
837B	MH49	腰円形	0.43×0.29	0.18×0.13	0.11	29.18			
838	MG49	楕円形	?	0.36	?	0.19	0.14	29.51	

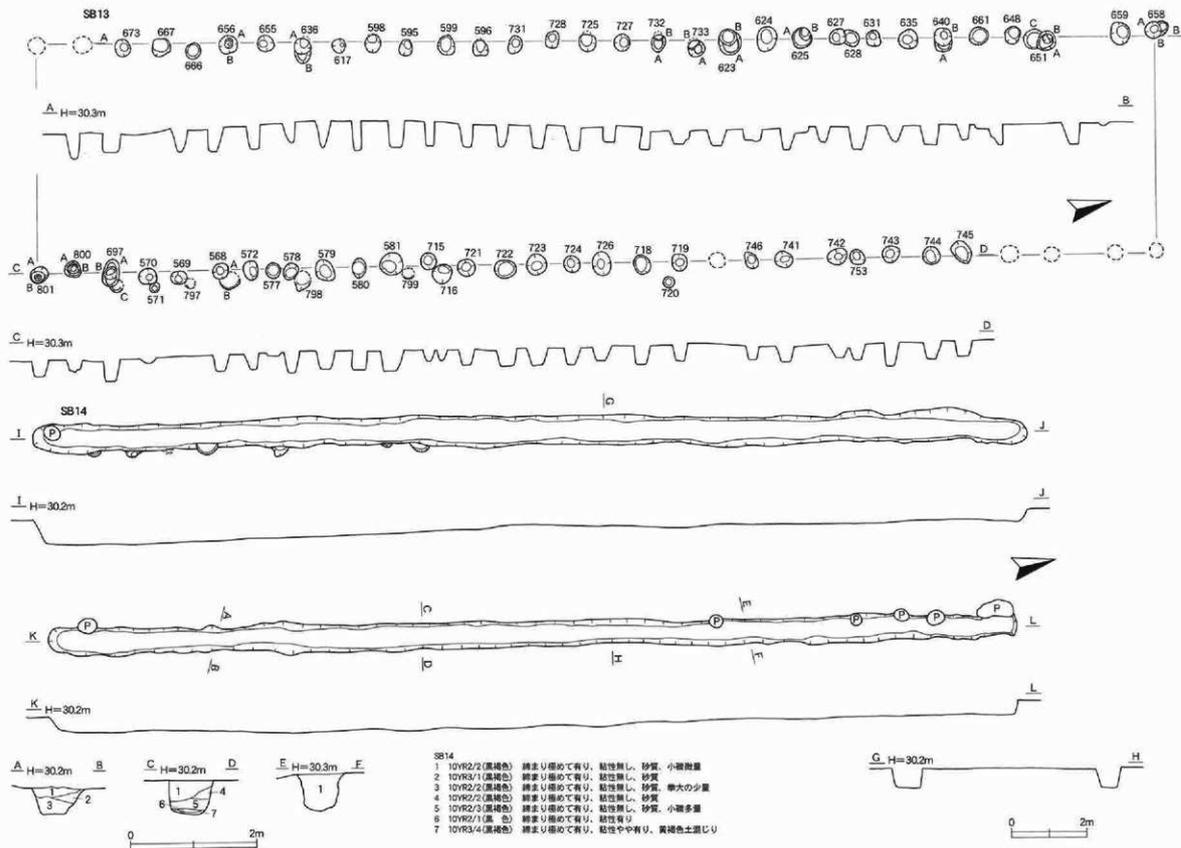
S B 13掘立柱建物跡(第164図、写真図版21)

御鹿場の北側中央MG～I52～58グリッドに位置し、表土下の近世整地層上面で検出した。検出時には南北に走る溝状遺構に間隔の揃った柱穴が並んで認められたため、布掘り掘立柱建物跡と考えていたが、本遺構の周辺も含めて遺構の検出と精査が進むに従って、西側に溝跡はないが対応する柱穴列が検出されたことから、布掘りと思われた溝跡は別遺構であることが判明した。重複はS B 01・02・03・14掘立柱建物跡、S H 12・13建物跡、S X 01畝間状遺構、S D 20・22溝跡、S K 26・35・38・40・53土坑とあり、新旧関係はS K 26・35・40は直接的な切り合いがないため新旧は不明であるが、S B 01・02・03、S H 12・13、S K 38が新しく、残りは古い。平面形は掘立柱建物跡で、間仕切りは見られない。長軸方向はS B 14と平行し、他の掘立柱建物跡とは直行するようにおよそ南北にある。規模は長軸約30mで、柱間隔は約1mを測る桁行15間、柱穴が確認されなかった短軸は約6m、梁行3間の直屋である。各柱穴の規模は観察表に記してある。柱穴からは遺物は出土しなかった。

第17表

S B 13

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底径高	柱径	重複	分類
568A	MH52	円形	0.43	0.25	0.47	29.46			C
568B	MH52	楕円形?			0.34	29.59			
569	MH52	楕円形	0.45×0.35	0.25×0.18	0.34	29.54			G
570	MH52	略円形	0.46	0.18	0.50	29.36			G
571	MH52	円形	0.25	0.17	0.43	29.47			D
572	MH52	楕円形	0.51×0.48	0.27×0.18	0.45	29.51			C
577	MH53	円形	0.42	0.30	0.10	29.85			C
578	MH53	略円形	0.44	0.30	0.56	29.41			C
579	MH53	楕円形	0.61×0.49	0.37×0.29	0.48	29.50			C
580	MH53	楕円形	0.54×0.38	0.35	0.52	29.47			C
581	MH53	略円形	0.62	0.39×0.30	0.60	29.45			C
595	M I 54	楕円形	0.45×0.36	0.26×0.20	0.80	29.24			G
596	M I 54	略円形	0.43	0.40×0.25	0.76	29.35			G
598	M I 54	略円形	0.46	0.25	0.73	29.32			C
599	M I 54	楕円形	0.55	0.37×0.29	0.69	29.33			C
617	M I 53	略円形	0.39	0.10	0.57	29.45			C
623A	M I 56	楕円形	0.69×0.58	?	0.42	0.17	29.53		C
623B	M I 56	略円形	0.47	0.36	0.16	29.35			C
624	M I 54	略円形	0.54	0.38×0.32	0.43	29.30			C
625A	M I 56	略円形	0.54	0.49	0.32	29.43			C
625B	M I 56	楕円形	0.32×0.26	0.23	0.31	29.19			C
627	M I 57	略円形	0.45	0.22	0.64	29.16			C
628	M I 57	略円形			0.14	29.63			C
631	MH57	略円形	0.42	0.19	0.44	29.35			C
635	MH57	略円形	0.54	0.25	0.64	29.16			C
636A	M I 53	略円形	0.43	0.32×0.25	0.60	29.30			C
636B	M I 53	楕円形?	?	?	0.26	0.14	29.82		C
640A	MH67	楕円形			0.25	29.56			C
640B	MH57	円形	0.50	0.20	0.41	29.38			C
648	MH58	略楕円形	0.47×0.37	0.31	0.43	29.40			H
651A	MH58	略円形	0.82	0.44×0.37	0.31	26.52			II
651B	MH58	円形	0.26	0.20	0.30	26.25			C
651C	MH58	略円形			0.11	29.70			C
655	M I 53	略円形	0.47	0.21	0.57	29.24			C
656A	M I 53	略円形	0.48	0.22	0.49	29.38			C
656B	M I 53	略円形	0.20	0.10	0.15	29.23			C
658A	MH59	円形	0.42	0.24	0.50	29.34			H
658B	MH59	略円形	0.34	0.25	0.36	29.46			C
659	MH58	楕円形	0.62×0.50	0.37×0.29	0.57	29.28			C
661	MH67	円形	0.50	0.40	0.54	29.28			C
666	M I 52	円形	0.44	0.35	0.48	29.28			H
667	M I 52	方形	0.49×0.48	0.42×0.36	0.49	26.25			H
672	M I 52	略円形	0.43	0.23	0.68	29.08			C
697A	MH62	楕円形	0.74×0.44	0.61×0.30	0.43	29.40			C
697B	MH52	略円形	0.35	0.30×0.16	0.15	29.25			C
697C	MH52				0.18	29.63			C
715	MH54	略円形	0.44	0.26	0.44	29.57			G
716	MH64	略円形	0.50	0.31×0.18	0.38	29.61			G
718	MG55	略円形	0.45	0.40×0.33	0.51	29.54			G



第164図 SB13掘立柱建物跡、SB14布張り掘立柱建物跡

第17表

S B 13

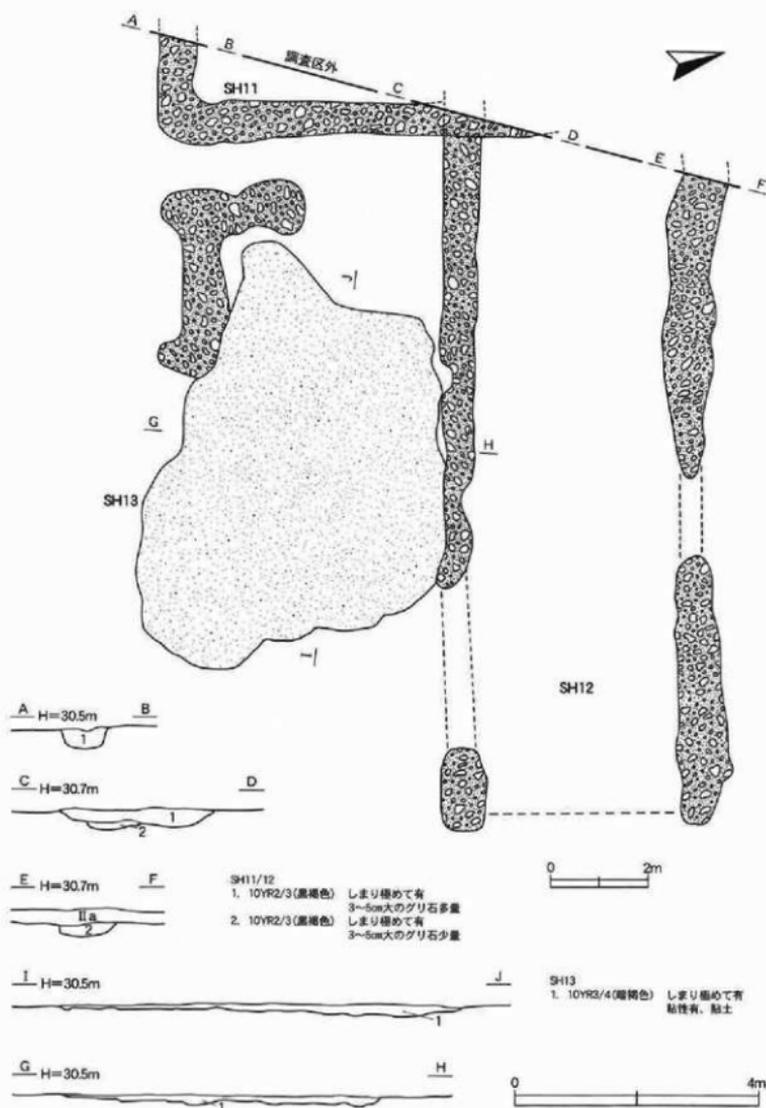
No.	位置	概形	口径	底径	深さ	底径高	柱径	重複	分類
719	MG54	駝門形	0.43	0.33	0.43	29.52			G
720	MG54	凹形	0.30	0.21	0.09	29.97			H
721	MH34	凹形	0.45	0.25	0.46	29.56			B
722	MH34	槽門形	0.59×0.47	0.45×0.34	0.49	29.52			B
723	MH54	駝門形	0.55	0.33×0.26	0.50	29.53			B
724	MG55	凹形	0.45	0.23	0.45	29.56			B
725	MI55	駝門形	0.48	0.42×0.29	0.66	29.25			G
726	MG55	槽門形	0.65×0.53	0.28×0.22	0.42	29.63			C
727	MI55	凹形	0.47	0.30×0.24	0.65	29.21			G
728	MI55	槽門形	0.49×0.38	0.26	0.71	29.23			G
731	MI54	槽門形	0.48×0.38	0.24	0.62	29.32			G
732A	MI55	槽門形	0.50×0.35	?	0.25	0.42	29.44		H
732B	MI55	凹形		0.25	0.14	29.28			
733A	MI56	駝門形	0.45	0.25×0.18	0.23	29.45			H
733B	MI56	槽門形		0.33×0.23	0.21	29.22			
741	MG56	駝門形	0.46	0.23×0.18	0.41	29.56	0.34×0.28		B
742	MG56	凹形			0.37	29.65			
743	MG57	駝門形	0.44	0.29×0.24	0.66	29.39			G
744	MG57	凹形	0.47	0.35×0.26	0.48	29.36	0.28×0.28		G
745	MG57	槽門形	0.64×0.45	0.44×0.31	0.40	29.64			G
746	MG56	槽門形	0.50×0.34	0.25×0.20	0.36	29.63	0.25×0.25		C
753	MG56	駝門形	0.41	0.21	0.44	29.55			
797	MH62				0.57	29.32			
798	MH53				0.34	29.60			
799	MH53				0.29	29.65			
800A	MH51	駝門形	0.44	0.35	0.29	29.54			C
800B	MH51	駝門形	0.29	0.18	0.18	29.45			
801A	MH51	駝門形	0.45	0.40×0.28	0.50	29.38			H
801B	MH51	駝門形	0.18	0.11	0.05	29.33			

## S B 14布掘り掘立柱建物跡(第164区、写真図版21)

御蔵場の北側中央MF~H51~58グリッドに位置し、表土を除去した近世整地層上面で検出した。検出当初は、S B 13の布掘りと考えていた西側の南北に走る溝状遺構とこれと平行する東側の1条(旧SD14)をそれぞれ別遺構として精査を行っていたものであるが、本遺構の周辺も含めて遺構の検出と精査が進むに従って、西側の1条はS B 13に関連しないことが判明し、規模・形態等の状況からこの2条が対応するものであったため、柱穴は確認されなかったものの布掘り掘立柱建物跡と判断したものである。重複はS B 01-02-03-13掘立柱建物跡、SH12建物跡、S X 01欵間状遺構、SD15整地跡、S I 03-04堅穴住居跡、S K 30~33-51~53土坑、S R 02-03埋設土器とあり、新旧関係はS K 30は直接の切り合いがないため新旧は不明であるが、S B 01-02-03-13、SH12が新しく、残りは古い。長軸方向はS B 13と等しくおよそ南北にあるが、短軸には布掘りは認められなかった。布掘りの長軸の長さは約26m、幅は70~80cm、深さは約50cmを測る。短軸では布掘り、柱穴とも検出されなかった。規模は桁行が13間、短軸の長さは約6.5mの直屋である。布掘りからは遺物は出土しなかった。

## S H 11建物跡(第165区、写真図版22)

御蔵場の中央西側MK52-53グリッドに位置し、表土下の近世整地層最上面で検出した。検出時の状況としてはカギ型の帯状に小ジャリのまとまりを確認したものであり、断面観察から溝状のいわゆる布掘りにグリ石を積めて固めた基礎地形の痕跡であることが判明し、建物跡と判断したものである。重複はSH12建物跡、S X 02欵間状遺構とあり、本遺構が新しい。平面形・規模は西側が調査区外にかかることと基礎の痕跡のみの検出のため全容は不明であるが、状況から平面形は礎石建物跡もしくは土台建物跡であったと思われる。検出した範囲での規模は、布掘りの総長が約9mで、南東隅から北側が約7m、西側は2mである。おそらく長軸方向はS B 13-14と平行する南北にあるものと思われる。布掘りの幅は約80cm、深さは約30cmを測る。遺物は出土しなかった。



第165図 SH11~13建物跡

#### SH12建物跡(第165図、写真図版22)

御蔵場の中央やや西寄りMG~K52~54グリッドに位置し、表土下の近世整地層最上面で検出した。検出時の状況としては平行する帯状の2条の小ジャリのまとまりを確認したものである。SH11同様、断面観察から溝状のいわゆる布掘りにグリ石を積めて固めた基礎地形の痕跡であることが判明し、建物跡と判断したものである。重複はSB01・13・14掘立柱建物跡、SH11・13建物跡、SX01畝間状遺構、SD15整地跡とあり、SH13についての新旧は現状からは判断できなかったが、付属施設の可能性も考えられる。他遺構との新旧関係は本遺構が新しい。平面形・規模は西側が調査区外にかかることと基礎の痕跡のみの検出で、重機による表土除去の際に掘り過ぎによるためか一部消失して全容は不明であるが、状況から平面形は礎石建物跡もしくは土台建物跡であったと思われる。長軸方向はSB01と平行する東西にあり、検出した範囲での規模は、布掘りの長軸の長さは14m以上、布掘りの幅は80cm~1m、深さは15~20cmを測る。短軸の長さは約5mであるが、基礎痕跡や柱穴は認められなかった。遺物は出土しなかった。

#### SH13建物跡(第165・182図、写真図版22)

御蔵場の中央やや西寄りMI~K52・53グリッドに位置し、表土下の近世整地層最上面で検出した。検出時の状況としてはカギ型帯状の小ジャリのまとまりとSB01で確認されたものと同様の黄褐色土の粘土を確認したものであり、やはり溝状のいわゆる布掘りにグリ石を積めて固めた基礎地形の痕跡で、建物跡と判断したものである。粘土については整地造成によるものか本遺構に伴う土間状の貼土なのかは判然としない。いずれにしても遺存部が少なく、基礎の痕跡のみの検出ということと重機による表土除去の際に掘り過ぎたためか全容は不明であるが、位置的に重複はSB13掘立柱建物跡、SH12建物跡、SX01畝間状遺構、SK40土坑とあり、SH12についての新旧は現状からは判断できなかったが、本遺構が付属するものである可能性も考えられる。他遺構との新旧関係はSK40に貼土が切られる他は本遺構が新しいと思われる。長軸方向は不明であるが、他の建物跡と平行もしくは直行する方向にある。検出した範囲での規模は、布掘りの長さは総長約6mで、東西方向に4m、南北方向に2m、布掘りの幅は80cm~1m、深さは約15cmを測る。柱穴は認められず、遺物は布掘り内の埋め戻し土中から近世磁器1点が出土した。

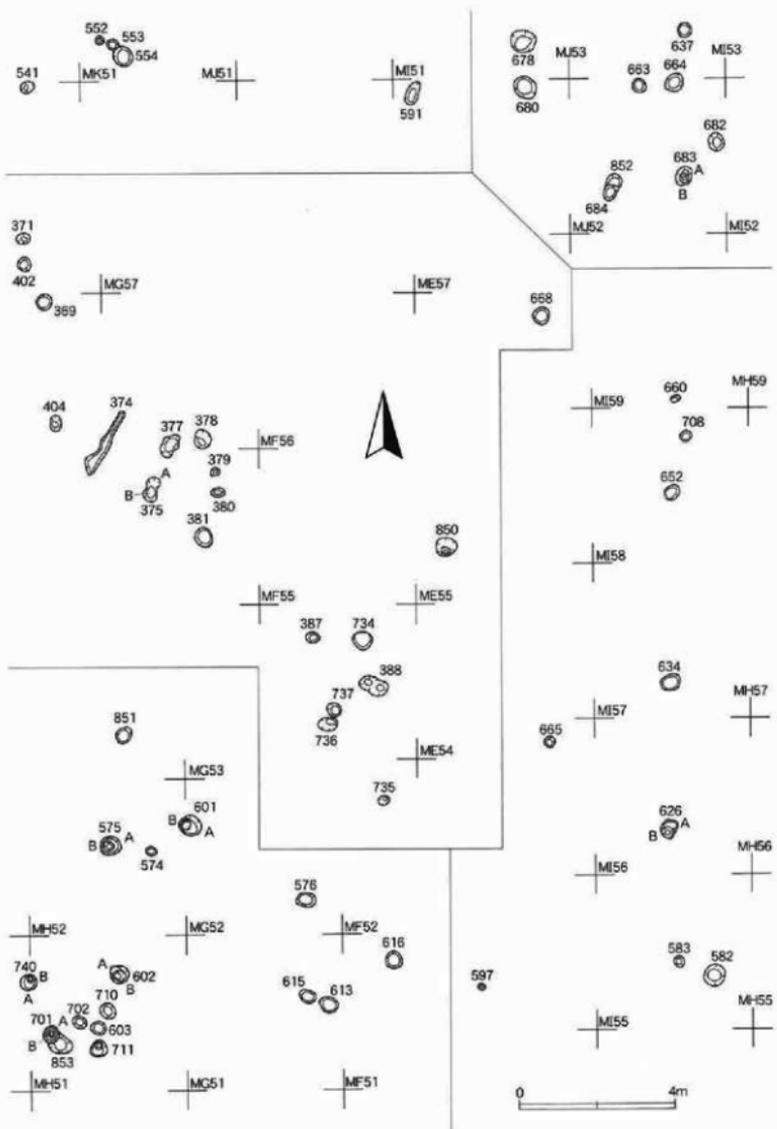
#### SH14建物跡(第166・189図、写真図版22)

御蔵場の中央やや南寄りMG~K49・51グリッドに位置し、表土下の近世整地層最上面で検出した。検出時の状況としては東西に延びる帯状の小ジャリのまとまり1条を確認したものである。中央の3mほど南側にはSB01で確認されたものと同様の黄褐色土の貼土が見られた。他のものに比べ掘り込みはかなり浅いものの、これも溝状のいわゆる布掘りにグリ石を積めて固めた基礎地形の痕跡で、建物跡と判断したものである。粘土については位置的に見て整地造成によるものである可能性が高い。重複はSB11・12掘立柱建物跡、SX01畝間状遺構、SD15整地跡とあり、本遺構が新しい。平面形は礎石建物跡もしくは土台建物跡であったと思われるが、検出した1条に対応するものは現代の宅地で破壊された南側に展開していたものと推定される。長軸方向はSB01と平行する東西にあり、検出した範囲での規模は、布掘りの長軸の長さは約19m、布掘りの幅は50~80cm、深さは5cmを測る。短軸の状況や長さは不明である。遺物は貼土中から19世紀初頭の白磁寿文皿1点と蓮華1点が出土した。

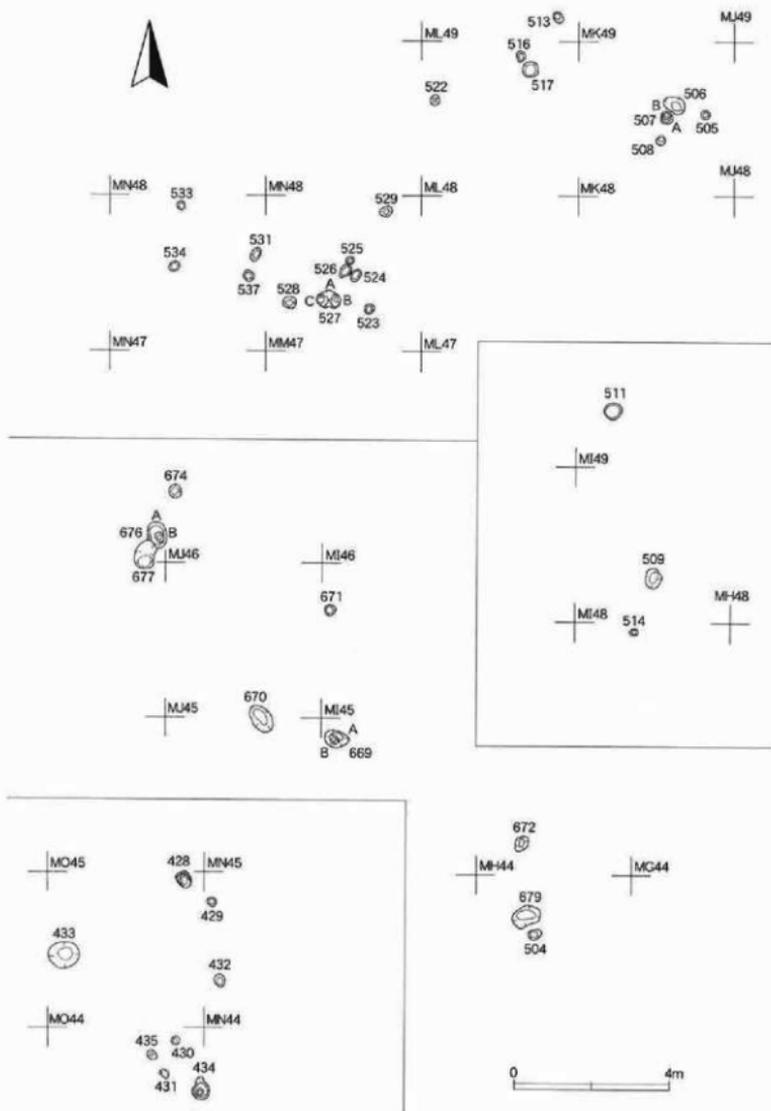
#### 御蔵場跡(A区)の柱穴群(第167・168図)

御蔵場跡の柱穴は掘立柱建物跡等に帰属すると判断したものの以外はあまり多くはなく、ややまとまりを示す部分もあるが、建物を想定するには至らなかった。ブロック毎に一覧表として掲載する。





第167图 A-2·3·5~7区柱穴群



第168图 A-1.2.7.8区柱穴群

第18表

A-1

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重複	分類
428	MN44	横円形	0.42×0.37	0.20×0.15	0.21	28.87			G
429	MM44	円形	0.22	0.16	0.12	29.00			C
430	MN43	円形	0.24	0.12	0.08	29.04			G
431	MN43	横円形	0.25×0.16	0.09	0.21	28.89			H
432	MM44	略円形	0.31	0.18	0.17	28.95			D(C)
433	MN44	略円形	0.66	0.40×0.29	0.46	28.62			G
434	MN43	不定形	0.59×0.48	0.13	0.26	28.86			C
435	MN43	略円形	0.26	0.09	0.09	29.01			G
669A	MH44	略楕円形	0.67×0.46	0.38×0.28	0.18	29.32			H
669B	MH44	略円形	0.22	0.14	0.06	29.25			H
670	M144	横円形	0.79×0.49	0.47×0.21	0.13	29.42			H
671	MH45	略円形	0.27	0.16	0.14	29.43			C
674	M146	円形			0.24	29.40			C
676A	MJ46	楕円形	0.69×0.48	0.51×0.35	0.23	29.40			C
676B	MJ46	円形	0.22	0.14	0.19	29.30			G
677	MJ46	略楕円形	0.71×0.47	0.33×0.27	0.24	29.19			G

A-2

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重複	分類
505	MJ48	円形	0.22	0.19	0.09	29.53			C
506	MJ48	略楕円形	0.60×0.39	0.28×0.20	0.18	29.44			C
507A	MJ48	略円形	0.22	0.25	0.13	29.49	0.21×0.18		D
507B	MJ48	略円形	0.22	0.15	0.10	29.39			C
508	MJ48	略円形	0.23	0.20	0.36	29.28	0.20×0.19		D
509	MH48	略楕円形	0.53×0.38	0.35×0.21	0.27	29.34			D
511	MH49	略円形	0.43	0.36	0.10	29.55			C
513	MK49	横円形	0.52×0.22	0.18×0.14	0.06	29.55			H
514	MH47	略円形	0.17	0.13	0.14	29.51			C
516	MK48	略円形	0.22	0.10	0.36	29.36			C
517	MK48	略円形	0.37	0.32	0.09	29.34			H
522	MK48	円形			0.21	29.20			C
523	ML47	円形	0.24	0.17	0.08	29.36			C
524	ML47	横円形	0.34×0.24	0.25×0.18	0.13	29.25			C
525	ML47	円形	0.20	0.16	0.15	29.21			C
526	ML47	横円形	0.40×0.27	0.33×0.21	0.14	29.21			C
527A	ML47	不定形	0.52×0.42	0.10	0.32	29.09			C
527B	ML47	略円形	0.29	0.16	0.45	28.92			C
527C	ML47	略楕円形	0.32×0.25	0.22×0.15	0.37	28.99			C
528	ML47	方形	0.34×0.30	0.29×0.14	0.15	29.15			C
529	ML47	横円形	0.35×0.27	0.16	0.20	29.22			C
531	MM47	横円形	0.34×0.22	0.22×0.15	0.32	28.91			C
533	MM47	略円形	0.20	0.20×0.15	0.13	29.07			C
534	MM47	略円形	0.30	0.21	0.15	29.10			C
537	MM47	円形	0.28	0.20	0.32	28.91			C
591	MH50	略円形	0.64×0.35	0.36×0.22	0.13	29.67			G
740A	MH51	略円形	0.44	0.36×0.26	0.30	29.52			G
740B	MH51	略円形	0.18	0.13	0.28	29.24			C

A-3

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重複	分類
582	MH55	略円形	0.54	0.35	0.38	29.64			G
583	MH55	略円形	0.29	0.19	0.25	29.79			G
597	M155	略円形	0.17	0.11	0.19	29.73			C
637	M153	略円形	0.36	0.28	0.16	29.82			C
683	M152	略円形	0.38	0.35	0.05	29.87			H
684	M152	略円形	0.45	0.34×0.26	0.32	29.50			C
678	M153	横円形	0.64×0.54	0.46×0.34	0.56	29.31			C
680	M152	横円形	0.62×0.52	0.45×0.39	0.68	29.14			H
682	M152	略円形	0.44	0.24	0.26	29.67			D
683A	M152	横円形	0.52×0.42	?	0.22	0.14	29.73		D
683B	M152	略円形	0.25	0.14×0.08	0.15	29.60			D
684	M152	略楕円形	0.42×0.33	0.30×0.22	0.15	29.61			D
852	M152	略円形	?	?	0.27	0.14	29.66		C

A-4

No.	位置	形状	口径	底径	深さ	底縁高	柱径	重複	分類
626A	MH56	方形	0.48×0.39	?	0.30	0.17	29.57		C
626B	MH56	方形	0.29×0.29	0.17	0.11	29.49			C
634	MH57	略楕円形	0.52×0.37	0.42×0.27	0.23	29.65			H
652	MH58	略円形	0.38	0.38×0.24	0.46	29.36			H
060	MH59	略円形	0.24	0.16	0.32	29.53			C
063	M156	円形	0.26	0.18	0.21	29.48			C
708	M158	略円形	0.28	0.25	0.34	29.51			G

第18表

A-5

№	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重層	分類
369	MG56	円形	0.40	0.32	0.07	30.14			
371	MG57	楕円形	0.35×0.27	0.15	0.27	29.92			G
378	MF56	楕円形	0.50×0.41	0.25×0.12	0.12	30.12			G
402	MG57	円形	0.32	0.21	0.13	30.05			G
668	MD56	楕円形	0.43	0.30	0.58	29.51			G

A-6

№	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重層	分類
377	MF55	楕円形	(0.35)	(0.21)	0.05	30.15		重P376	D
379	MF55	楕円形	0.25	0.15	0.05	30.20			D
380	MF55	楕円形	0.37×0.20	0.22×0.12	0.07	30.16			G
381	MF56	楕円形	0.51×0.42	0.42×0.31	0.07	30.16			D
387	ME54	円形	0.33	0.22	0.10	29.63			
388A	ME54	円形	(0.42)	0.18	0.56	29.67		重P388B	
388B	ME54	円形	(0.40)	0.20	0.51	29.72		重P388A	
574	MG52	楕円形	0.30×0.23	0.21	0.09	29.57			D
675A	MG52	楕円形	0.52	0.41	0.26	29.68			D
675B	MG52	楕円形	0.28	0.18	0.19	29.53			D
576	MF52	楕円形	0.50×0.36	0.37×0.29	0.22	29.89			H
601A	MF52	楕円形	0.60×0.51	0.47×0.36	0.18	29.79			C
601B	MF52	楕円形	0.27	0.29×0.23	0.54	29.26			
679	MG53	楕円形	0.74×0.47	0.49×0.27	0.41	29.13			D
734	ME54	楕円形	0.52	0.42	0.11	29.93			A
736	ME53	楕円形	0.26	0.13	0.10	29.74			H
736	ME54	楕円形	0.50×0.41	0.27×0.17	0.78	29.30			C
737	ME54	楕円形	0.37	0.28	0.31	29.74			G
850	MD55	楕円形	0.48	0.13	0.44	29.34			
851	MG53	楕円形	0.48×0.36	0.33×0.27	0.21	29.78			

A-7

№	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重層	分類
602A	MG51	楕円形	0.58	φ×0.31	0.40	29.58			H
602B	MG51	楕円形	0.31	0.20	0.17	29.41			H
603	MG51	楕円形	0.41×0.34	0.28	0.08	29.83			H
613	MF51	楕円形	0.50×0.41	0.35	0.19	29.93			H
615	MF51	楕円形	0.44×0.34	0.28	0.13	30.02			H
701A	MG51	楕円形	0.43	0.31	0.46	29.48			G
701B	MG51	楕円形	0.20	0.13	0.13	29.41			G
702	MG51	楕円形	0.40×0.32	0.25×0.20	0.11	29.79			G
710	MG51	楕円形	0.42	0.26	0.20	29.76			B
711A	MG51	楕円形	0.45×0.40	0.38×0.28	0.38	29.58			G
711B	MG51	楕円形	0.20	0.15	0.11	29.48			G
853	MG51	楕円形	φ×0.51	φ×0.34	0.16	29.72			G

A-8

№	位置	形状	口径	底径	深さ	底標高	柱径	重層	分類
504	MG43	楕円形	0.34×0.22	0.16×0.14	0.19	29.19			C
672	MG44	楕円形	0.44×0.32	0.22×0.13	0.08	29.61			C

## C. 土坑類

## SK15土坑(第169図、写真図版24)

御蔵場の北東部A5区のMD56グリッドに位置し、検出面はⅡ層上面である。SB02-03掘立柱建物跡と重複し、本遺構が新しい。平面形は略円形を呈し、開口部径約90cm、底部径約80cmを測る。断面形は筒形を呈し、深さ約50cmを測る。埋土は褐色土2層からなり、上位には10~20cm大の河原石が多量に混じる。状態から見て礎石建物跡の基礎の可能性も考えられる。遺物は出土しなかった。

## SK26土坑(第169図、写真図版24)

御蔵場のほぼ中央A3区のMH54グリッドに位置し、検出面はⅡ層上面である。位置的にSB13掘立柱建物跡と重複するが、直接的な切り合いがないため新旧は不明である。平面形は略楕円形を呈し、長軸方位は東西にある。開口部120×100cm、底部70×60cmを測る。断面形は深鉢形を呈し、深さは約75cmを測る。埋土は黒ボク系の8層からなり、全体的に堅く締まった人為的堆積と思われる。遺物は摩滅した地文のみの縄文土器破片がわずかに出土した。

#### SK30土坑(第169図、写真図版24)

御蔵場のほぼ中央A6区のMG54グリッドに位置し、検出面は削平されたⅢ層面である。SB14掘立柱建物跡、SK53土坑と重複し、SK53を切るが、SB14とは直接の切り合いがないため新旧は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸方位は北西-南東にある。開口部115×80cm、底部100×60cmを測る。断面形はおおむね筒形を呈し、深さは約55cmを測る。埋土は黒ボク系の7層からなり、全体的に堅く締まった人為的堆積と思われる。遺物は摩滅した地文のみの縄文土器破片がわずかに出土した。

#### SK34土坑(第169図、写真図版25)

御蔵場の中央西側A3区のMI54グリッドに位置し、検出面はⅡ層上面である。平面形は略円形を呈し、開口部径約75cm、底部65×50cmを測る。断面形は筒形を呈し、深さは約55cmを測る。埋土は黒ボク系の5層からなり、全体的に堅く締まった人為的堆積と思われる、下位には根石のような30cm大の平石が認められた。遺物は摩滅した地文のみの縄文土器破片がわずかに出土した。

#### SK35土坑(第169図、写真図版25)

御蔵場のほぼ中央A3区のMI55グリッドに位置し、検出面はⅡ層上面である。位置的にSB13掘立柱建物跡と重複するが、直接的な切り合いがないため新旧は不明である。平面形は略楕円形を呈し、長軸方位は東西にある。開口部110×90cm、底部70×50cmを測る。断面形は深鉢形を呈し、深さは約95cmを測る。埋土は黒ボク系の5層からなり、全体的に堅く締まった人為的堆積と思われる。遺物は摩滅した地文のみの縄文土器破片が少量出土した。

#### SK37土坑(第170図、写真図版25)

御蔵場の西北部A4区のMI56グリッドに位置する。A4区では当初、表上下の暗褐色土(Ⅵ層)をⅢ層(縄文時代の遺物包含層)と判断して精査したため、本遺構は一段低いⅤ層面での検出となった。本来の掘り込み面は近世に削平整地されたⅥ層面にあったと思われる。平面形は隅丸長方形を呈し、開口部110×95cm、底部100×75cmを測る。残存する部分の断面形は深皿形を呈し、深さ約20cmを測るが、本来は50cm程の深さであったと思われる。埋土は黒ボク系の堅く締まった2層からなる人為的堆積と思われる。遺物は摩滅した縄文土器破片3点が出土した。

#### SK38土坑(第170図、写真図版25)

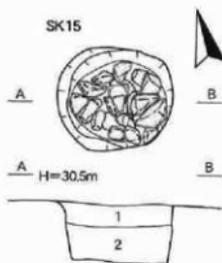
御蔵場の西北部A4区のMH・I56グリッドに位置する。SK37同様、本遺構も一段低いⅤ層面での検出となった。本来の掘り込み面はやはり近世に削平整地されたⅥ層面にあったと思われる。SB13掘立柱建物跡と重複し、その柱穴を切る。平面形は不整形を呈し、開口部径約80cm、底部径約70cmを測る。残存する部分の断面形は深皿形を呈し、深さ約20cmを測るが、本来は50cm程の深さであったと思われる。埋土は黒ボク土の単層である。遺物は摩滅した縄文土器破片がわずかに出土した。

#### SK39土坑(第170図、写真図版25)

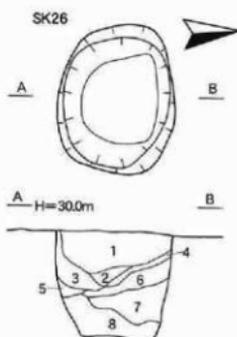
御蔵場の北東部A5区のMC57グリッドに位置し、近世に削平整地されたⅤ層面での検出した。平面形は略円形を呈し、開口部径約80cm、底部径約70cmを測る。断面形は深皿形を呈し、深さは約20cmを測る。埋土は暗褐色土の単層で、拳〜人頭大の自然石が多量に混じる。遺物は摩滅した縄文土器破片が微量出土した。

#### SK40土坑(第170図、写真図版25)

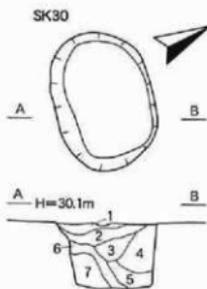
御蔵場の中央A3区のMI52グリッドに位置する。SH13建物跡の貼土を除去したⅡ層面での検出した。本遺構が新しい。位置的にSB13掘立柱建物跡とも重複するが、直接の切り合いがないため新旧関係は不明である。平面形は不整形な楕円形を呈し、開口部80×60cm、底部65×50cmを測る。断面形はナベ形を呈し、



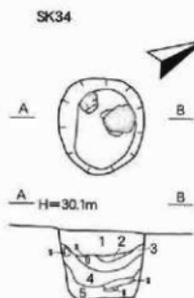
- SK15
- 10YR4/4(褐色) しまり粘性有、人頭大のレキ多量。
  - 10YR4/4(褐色) しまり・粘性有。



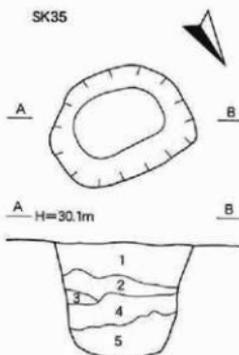
- SK26
- 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫・黄褐色土少量
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有
  - 10YR3/1(黒褐色) しまり極めて有粘性有、コブシ大の礫少量
  - 10YR3/4(暗褐色) しまり極めて有粘性有
  - 10YR3/3(暗褐色) しまり極めて有粘性有
  - 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、黄褐色土微量
  - 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫多量
  - 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有



- SK30
- 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、黄褐色土少量
  - 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、黄褐色土微量
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫微量
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫・黄褐色土微量
  - 10YR3/4(暗褐色) しまり極めて有粘性有、5cm大礫・黄褐色土多量
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、黄褐色ブロック少量
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫・黄褐色土微量



- SK34
- 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫・黄褐色土微量
  - 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、黄褐色土少量
  - 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫微量
  - 10YR3/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、コブシ大礫2個
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫微量



- SK35
- 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫・黄褐色土少量
  - 10YR3/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、小礫・黄褐色土微量
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有
  - 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有粘性有、黄褐色ブロック少量
  - 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有粘性有



第169図 SK15、26、30、34、35土坑

深さは約30cmを測る。埋土は堅く締まった黒ボク系の3層からなる人為的堆積と思われる。遺物は摩滅した縄文土器破片が少量出土した。

#### S K45土坑(第170図、写真図版25)

御蔵場の北東部A5区のMD56グリッドに位置し、近世に削平整地されたVI層面で検出した。平面形は不整な円形を呈し、開口部130×110cm、底部70×50cmを測る。断面形はバケツ形を呈し、深さ約80cmを測る。埋土は黒ボク土4層からなるレンズ状の自然堆積である。遺物は摩滅した縄文土器破片が微量出土した。

#### D. その他の遺構

##### S X01畝間状遺構(第171図、写真図版26)

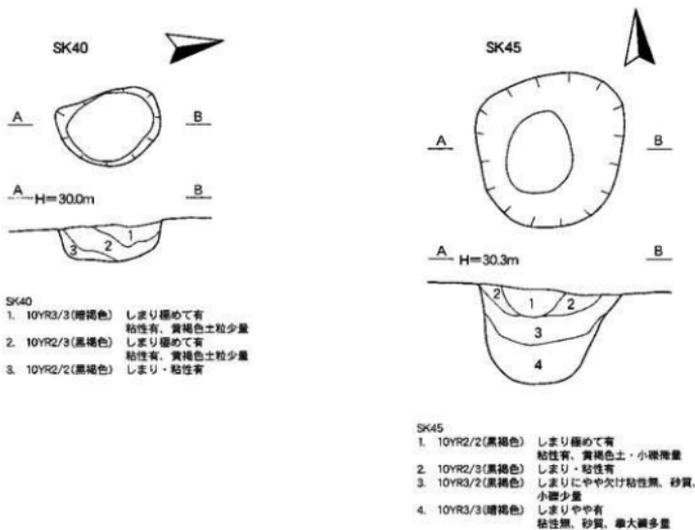
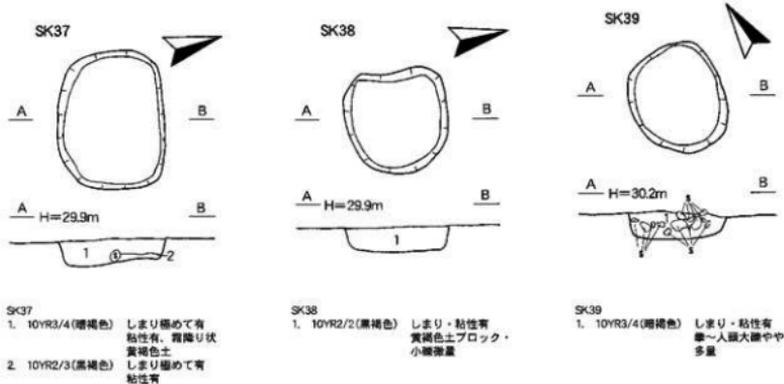
御蔵場の中央A3区のMH49～54グリッドに位置し、検出面は近世整地層面である。検出状況としては短く、ほぼ等間隔で並ぶ多数の溝状遺構を確認したもので、当初は建物跡に伴う根太痕跡と考えられたが、これらを囲むような柱穴や基礎跡などが認められないことから、畑跡と推定されるものである。重複はSB01・11・12・13・14掘立柱建物跡、SH12・13・14建物跡、SD15整地跡とあり、すべてに切られる。平面形は東西に走る短い溝跡が南北に長い帯状に並ぶものだが、東側はSD15整地跡に切られ、全容は不明である。確認された範囲での全体規模は長軸方向が北々東-南々西にあって、長さ約26m、幅3m前後の広がりをもつ。個々の溝跡の長さは2.5～3.5m、幅約20cm、深さ5～10cm程度である。溝跡横断面はおよそ半円形で、底面は凹凸があり、各溝跡の間隔は20～30cm程度である。

##### S X02畝間状遺構(第171図、写真図版26)

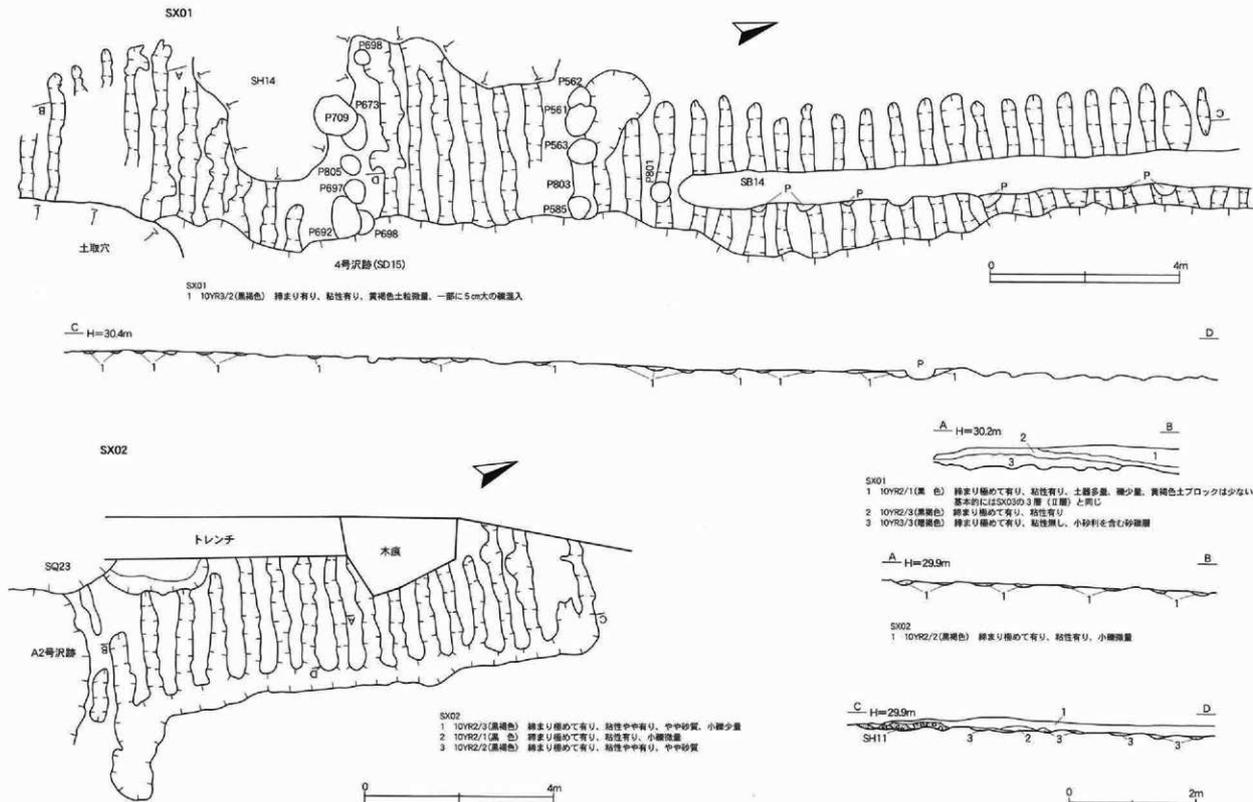
御蔵場の中央西側A2区のMK・L50・51グリッドに位置し、検出面は近世整地層面である。検出状況はS X01同様の状況で、当初やはり建物跡に伴う根太痕跡と考えたものだが、柱穴や基礎跡などが認められないことから、これも畑跡と推定されるものである。また本遺構北端には整地の際の廃棄と思われる準大の自然石が集石状(SQ24)に認められた。重複はSH11建物跡、SQ23集石、A2号沢跡(整地跡)とあり、すべてに切られる。平面形・規模は西側が調査区外にかかることと南側が整地跡で切られることから全容は不明であるが、平面形は東西に走る短い溝跡がS X01と平行して南北に長い帯状に並ぶものだが、各溝跡の東端は南北の縦方向の溝跡で連結する。確認された範囲での全体規模は長軸方向が北々東-南々西にあって、長さ約11m、幅約3mの広がりをもつ。個々の溝跡の長さは2.5m前後、幅約30cm、深さ5～10cm程度である。溝跡横断面はおよそ半円形で、底面は凹凸があり、各溝跡の間隔は20～30cm程度である。

##### S X03道状遺構(第172図、写真図版26)

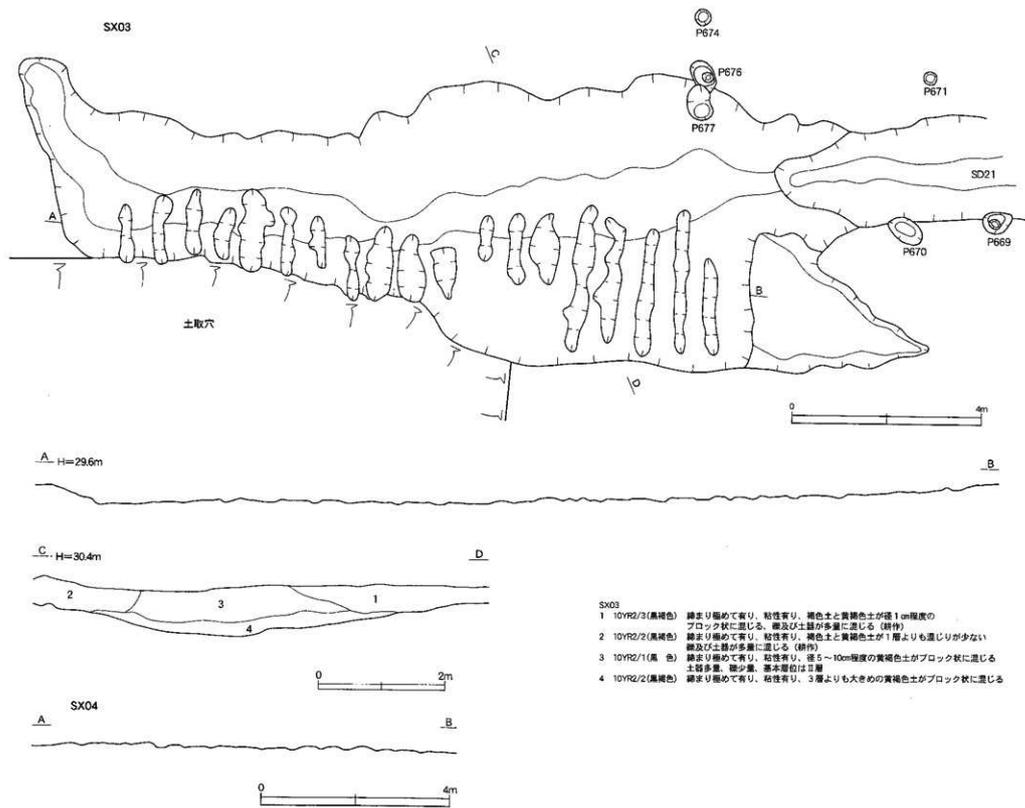
御蔵場の南端中央A1区のMI～N45・46グリッドに位置する。御蔵場の南側を区画するSD21堀跡や全体的な位置関係から御蔵場への出入口としての通路(道状遺構)跡と判断した。当初は試掘による土層断面の観察から、本遺構のあるA1区と隣接する2区の表土下を縄文時代の遺物包合層と考え、精査を進めたものだが、面的にある程度掘り下げた段階で、造成整地されたものであることが判明し、造成土を除去したところで、A2号沢跡(整地跡)とともに削平されたV層面で検出したものである。造成土の上層は近・現代の宅地造成や私道工事により再度の機杵が行われていたため、本遺構の掘り込みは途中で確認できなかったが、本来は検出面よりも40cm程上の近世整地面にあった可能性もある。重複はSD21堀跡とS X04畝間状遺構とあり、S X04には切られ、SD21とは配置等の状況から同時期の関連するものと推定されるが、造成土の堆積状況を見ると御蔵場造成の初期のもの、もしくはそれ以前のものである可能性も考えられる。いずれにしても近世のある段階では埋め立てられたものと思われる。平面形は東側に接続するSD21の延長方向としておよそ東西に走る幅広い浅い溝状を呈するものだが、南西部は現代の土取りで一部消失し、全



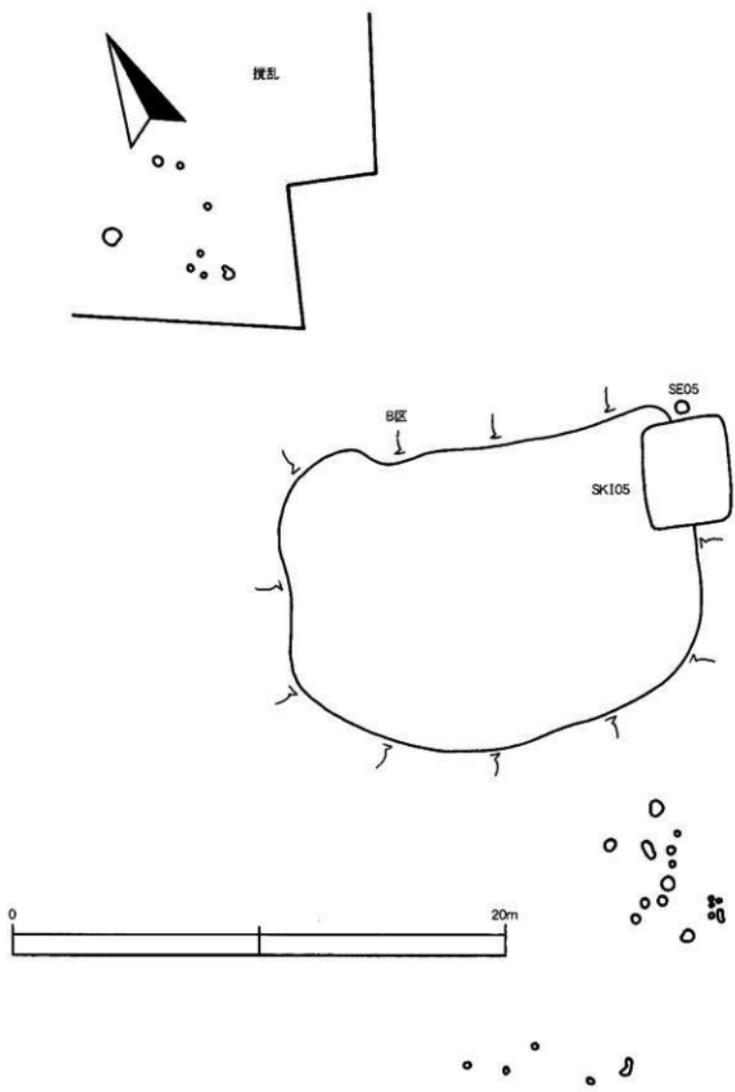
第170図 SK37～40・45土坑



第171図 SX01、02畝間状遺構



第172図 SX03遺状遺構、SX04畝間状遺構



第173図 調査区南部 (B区) 遺構配置図

体的なプランも現代の私道工事によるためか不整で不明瞭である。確認した範囲での規模は東西長約15m、南北幅3～6mを測る。横断面は南北両側から底面に向かい緩いスロープ状に傾斜し、深さは約40cmを測る。南側緩斜面には東西に平行してほぼ等間隔で並ぶ、南北に走る短く浅い溝が19条認められた。個々の溝の形はあまり整わず、幅20～30cm、深さは2～5cm程である。出入口口に関連するとすれば、板敷きの根太痕跡の可能性が高い。また位置的に伝承による門跡の存在が考えられたが、柱穴等は確認できなかった。

#### S X04畝間状遺構(第172図、写真図版26)

御蔵場外の南側のM J・K43・44グリッドに位置する。検出面は整地されたV層面であるが、精査の結果土層断面の観察から、本遺構と重複するS X03道状遺構の埋め立て土を切ることが判明した。状況等からみて近代以降の畑跡と思われる。

### (3) B区の遺構

#### A. 竪穴状遺構・肥溜め跡?

##### S K I05竪穴状遺構(第174・192図、写真図版27)

B区のM J39グリッドに主として位置し、表土下の盛土整地面で検出した。平面形はややいびつな方形を呈し、規模は西壁長約4m、他の3辺は約3.5m、床面積は9.8㎡を測る。東壁の北側は現代の宅地造成によって破壊されていた。壁は外傾して立ち上がり、遺存する壁高は約55mを測る。床面はおおむね平坦で全体的に堅締である。埋土は現代の宅地造成による埋め戻しと思われる黒ボク系の9層からなる人為堆積で、全体的に礫と縄文土器破片が多く混じる。床面施設としては4隅に柱穴が認められるのみである。遺物は摩滅した縄文土器破片と石器、近世～近代陶磁器破片が多量に出土した。

##### S E05肥溜め跡?(第174図、写真図版27)

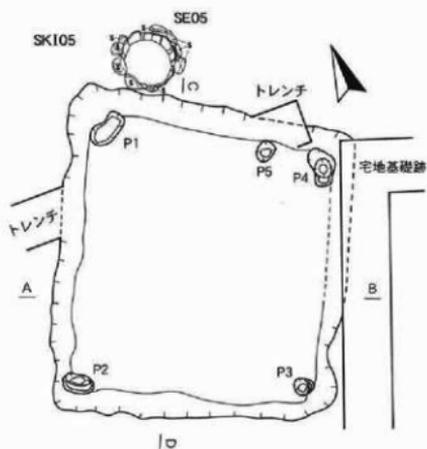
B区のM J40グリッドに位置し、表土下の盛土整地面で拳～人頭大の自然石多数と桶状の材を確認したものである。南側にはS K I05が接し、関連するものと思われる。検出時の状況と埋土の状態からみて現代の宅地造成によって上位が破壊され崩落したものと思われる。平面形・規模は一片幅約10cmの板材で作った径約60cmの桶を埋設したもので、上位には縁取るように拳～人頭大の自然石を巡らせていた。残存する深さは約40cmを測る。埋土は黒ボク系4層からなり、4層は自然堆積、上位は整地の際の崩落土と埋め立て土で、板材や礫、陶磁器が多量に混じる。遺物は近・現代の陶磁器が出土した。

#### B区の柱穴群(第175図)

B区の柱穴は、御蔵場外ということや近・現代の掘削整地によるためか、検出されたものは少なく、ややまとまりを示す部分もあるが、建物等を想定するには至らなかった。以下に一覧表として掲載する。

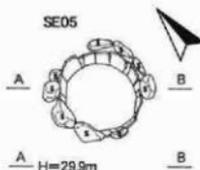
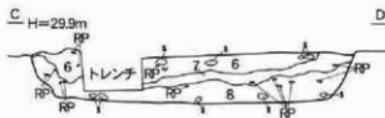
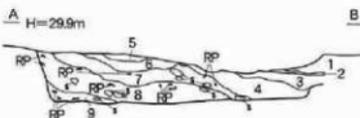
第19表 B区

No.	位置	敷形	口径	底径	深さ	底層高	柱径	重複	分類
408	M L35	略楕円形	0.52×0.45	0.32×0.23	0.30	28.91			H
410	M L35	円形	0.41	0.34	0.20	29.05			H
411	M M35	略円形	0.38	0.25	0.55	28.72			H
412	M L36	円形	0.26	0.05	0.55	28.67			G
413	M L36	円形	0.44	0.18×0.10	0.64	28.61			G
414A	M L36	楕円形	0.30×(0.25)	0.10	0.51	28.74		新P414B	G
414B	M L36	楕円形	(0.48)×(0.38)	0.28	0.49	28.77		古P414A	G
415	M M36	楕円形	0.50×0.40	0.35	0.61	28.62			G
416	M L36	円形	0.26	0.14×0.10	0.53	28.74			G
418	M L35	楕円形	(0.45)×(0.36)	0.21×0.18	0.48	29.19			H
419	M L36	略円形	0.65	0.53×0.32	0.57	28.75			H
420	M L36	楕円形	0.66×0.53	0.38	0.44	28.75			G



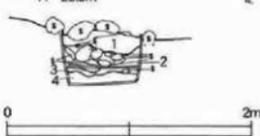
SK105

1. 10YR3/4(暗褐色) しまり極めて有  
粘性やや有
2. 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有  
粘性有
3. 10YR3/2(黒褐色) しまり極めて有  
粘性やや有、礫少量
4. 10YR2/2(黒褐色) しまり、粘性有  
黄褐色ブロック少量
5. 10YR3/3(暗褐色) しまり極めて有  
粘性無
6. 10YR2/3(黒褐色) しまり極めて有  
粘性有、小礫少量
7. 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有  
粘性有、褐色土ブロック少量
8. 10YR2/2(黒褐色) しまり極めて有  
粘性極めて有、礫少量  
褐色土ブロック少量
9. 10YR2/1(黒色) しまり有、粘性極めて有、  
礫少量

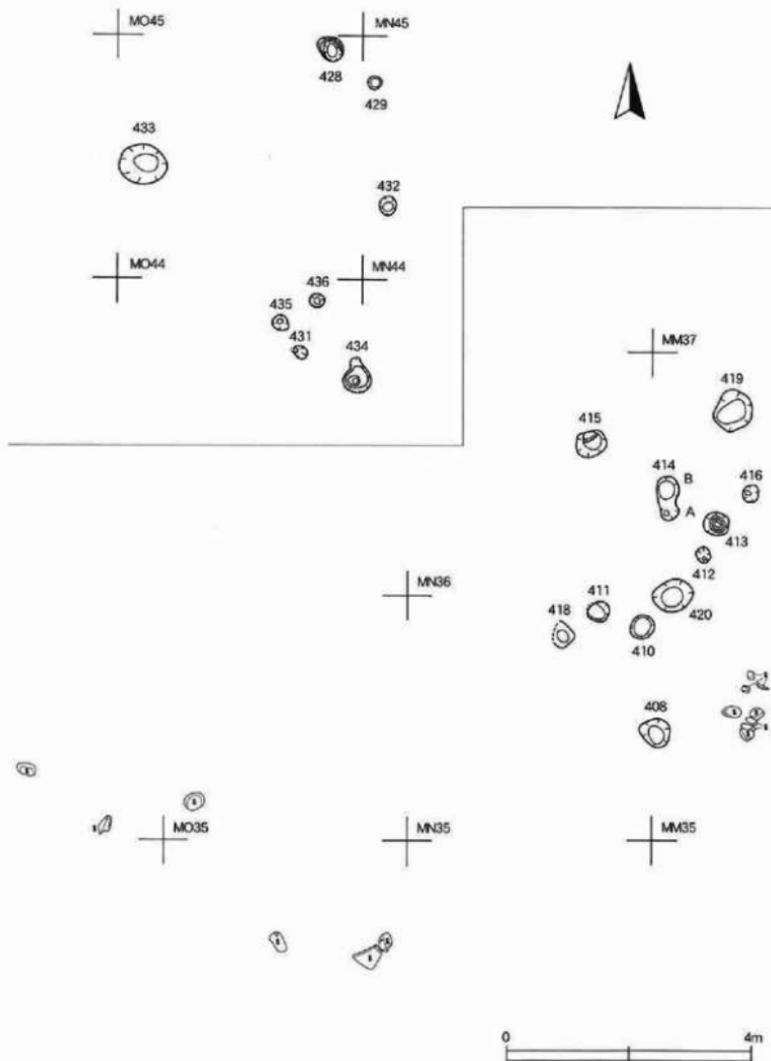


SE05

1. 10YR2/3(黒褐色) しまり強、粘性中、褐色土粒少量、上部に木片混入、ガラス・ビニール混入
2. 10YR2/2(黒褐色) しまり強、粘性強、木片・角材・木片多量、ガラス片混入
3. 10YR2/1(黒色) しまり無し、粘性強、ガラス片混入
4. 10YR3/3(暗褐色) しまり無し、粘性無し、ガラス瓶・プラスチック片混入



第174図 SK105竪穴状遺構、SE05肥溜め跡



第175图 B区柱穴群

#### (4) 中・近世の遺物

今回の発掘調査により出土した中世以降の遺物は、中世から現代にかけての各時代の陶磁器類と石製品、近世以降と思われる木製品と貨幣を含む金属製品などがある。遺跡は近世（17世紀初頭）から現代（平成）まで存続した家柄の良い家系の屋敷跡であったため、遺物は近世以降の各時代にわたって多量にあり、特に近・現代のものが多く出土した。また近世の遺物、特に陶磁器についても量的に累内同期の遺跡に比べて比較的多い。遺跡（特に環濠屋敷）が前記のとおり、昭和30年代の建物の建て替えと本事業に伴って、地主が平成7年に移転した際、全体的に攪乱され、遺構もほとんどが削平と破壊や埋め立てがされていたこともあって、遺構内出土のものも含め、出土状況から得られる情報は皆無に等しい。その中で比較的攪乱が少なく、良好な出土状況であったのはSK02土坑とSE01湧水池である。SK02の埋土からは18世紀から19世紀前半の近世陶磁器が、SE01とその周辺からは近代から昭和の戦後くらい陶磁器がまとめて出土した。前者は近代の建て替え時の廃棄、後者は昭和30年代の建て替えの整地造成時の廃棄と思われる。また全体的に攪乱されているものの、相対的な出土量としては環濠屋敷地内からが、御蔵場跡とB区よりも遺物は圧倒的に多い。いずれにしても陶磁器類は伝世するものであり、遺跡が現代まで存続していたこともあって、廃絶等の状況も考えると出土状況にはあまり意味が認められない。そこで本報告では遺構毎の遺物掲載はせず、種別の器種毎に遺物を掲載し、明らかな近代（19世紀後半）以降のものは報告の対象から省くこととした。

各種の遺物と出土量は、中世の磁器8点、陶器10点、近世磁器は中コンテナ（35×45×20cm）4箱、近世陶器類は大コンテナ（35×45×30cm）3箱、木製品と石製品は中コンテナ各2箱、金属製品は大コンテナ1箱、貨幣約30点などがあり、このうち図示した遺物は、陶磁器類420点、木製品16点、石製品15点、金属製品53点、貨幣20点である。陶磁器類については、同器形での文様の重複掲載は出来るだけ避けて器形の復元できるものを優先し、これにない文様のものについてのみ破片を選択した。また実測は染付文様の図化を省略し、同図版の上に器形の実測図、下に見込み・裏銘や文様等を写真で掲載している。

##### A. 中世陶磁器(第176図)

磁器8点、陶器10点が出土した。磁器はすべて中国産で、内訳は青磁3点、染付4点、青白磁1点である。青白磁1点が御蔵場跡（A区）、ほかはすべて環濠屋敷（C区）から出土した。青磁はすべて口縁部破片で、緩く端反る碗2点と皿1点である。器壁は5mm前後とやや厚い。染付はすべて皿であるが、底部を欠くか底部破片のため全体器形は不明である。口縁部のある4～6は端反り口縁内面には二重圓線が描かれ、器壁は3mm前後と青磁に比べて薄い。7の底部破片の裏銘は「大明年造」と推定される。8の青白磁は開刻の花文が施された中空の筆架と思われる、底部は無軸で径3.3mmの穿孔が1個ある。

陶器は瀬戸・美濃系が8点と肥前産2点で、御蔵場の南部と環濠屋敷からおよそ半々に出土した。器種は碗が5点、皿が4点と不明のものが1点である。肥前産の2点は皿である。9・10の2点の天目茶碗と器種不明の18の3点が鉄軸、ほかは灰軸系の施軸である。14・17は鉄絵付がされ、11・16・17は釉薬に亀裂の入った所謂亀甲状の貫入があり、16・17は細かく入る。

##### B. 近世陶磁器(第177～206図)

上記のとおり、遺物の出土量が位置的に偏っているため、必然的に掲載遺物も環濠屋敷から出土したものが多く、磁器・陶器とも高価なものはほとんど無く、一般雑器が大半を占め、非日常的の用品が若干ある。器種組成は、碗類、皿類、蕎麦猪口、蓋、瓶類、德利、盃、鉢類、壺類、摺鉢、行平、焙烙、瓢、蓮華、仏飯器、灯明台、香炉、火入れ、水滴、火鉢類、熨斗類などがある。産地は肥前、瀬戸・美濃、福島県大塚相馬、

山形県平清水、産地不明の東北在地のものなどである。

#### 1) 磁器(第177~189図)

掲載した近世磁器は202点である。産地としては肥前産のものが最も多く、次に産地不明(東北在地か)のもの、瀬戸物と山形県平清水ものと続き、宮城県切込ものが数点ある。ただし、不掲載分の19世紀後半幕末から近代ものをいれると産地不明(東北在地)が数量的には圧倒的である。时期的には17世紀中頃から19世紀代にかけてあり、若干の17世紀代のものも含めた肥前ものの量的な主体は18世紀代から19世紀初頭、特に18世紀後半にあり、19世紀前半では肥前もの以外が主体となる。器種としては碗・湯飲み・蕎麦猪口・小杯・盃・皿類・鉢・蓋・瓶・蓮華・香炉・仏飯器・水滴・紅血などがあり、碗類と皿類が圧倒的に多い。

以下各器種毎に概略を述べるが、個々の出土位置や産地・法量などの詳細は観察表に示している。

##### a. 碗類(第177~182図)

93点を図示した。器形的には丸碗・筒形碗・広東碗・端反碗などがあり、丸碗にはやや大ぶりのものから小ぶりのものと大きさに多少ばらつきがある。大部分が肥前のもので、瀬戸系のもので平清水のものは19世紀代の広東碗と端反碗にやや多く見られる。19~63は丸碗である。19~21は底部を欠くものだが、器壁が3mmくらいと薄く、文様もやや丁寧な草花文と二重網目文で17世紀後半のものと思われる。22~38は胴部がふっくらして底部に向かい厚くなるもので、高台はやや高くて小さい、所謂「くらわんか」碗である。草花文や二重網目文がある。32は115と対の蓋付き碗と思われる。35には裏銘「福」字の草書があり、38は外面青磁である。主に18世紀前半のものと思われる。39~54も胴部はふっくらとしているが、厚みがなく、高台がやや低い「くらわんか手」の碗である。大きさにばらつきがあり、小ぶりのものは湯飲みかもしれない。44はコンニャク印判である。すべて18世紀後半のものと思われる。55~63は胴部に張りがなく、口の開いた碗である。肥前産のほか、瀬戸系と平清水のものがある。19世紀前半のものと思われる。64~71は口径が小さく、湯飲み碗と思われるもので、ほとんどが丸形を呈し、18世紀後半の肥前産と19世紀前半の産地不明のものである。71のみ口の開く筒形で平清水ものと思われる。65は蓋付きである。72~75はすべて肥前産の筒形碗で、18世紀後半のものと思われる。76~81は高台が高く直線的に口が開く、所謂「広東碗」である。ほとんどが18世紀末~19世紀前半の肥前産で、81のみ19世紀前半の瀬戸物と思われる。82~100は口縁部が外反ぎみに開く、所謂「端反碗」である。肥前産・瀬戸物・平清水もので三分される。平清水ものは大ぶりのものが多い。主として19世紀前半と思われる。101~105は口縁部から高台まで直線的な腰のない桶形の碗で、所謂「蕎麦猪口」と呼ばれるものである。高台は低く、畳付の狭い断面が逆台形を呈する。101と102は同一個体の可能性もある。105は裏銘「福」字の草書がある。いずれも肥前産で、18世紀後半のものと思われる。106~109は口径が小さく、口・底径に比べて器高がやや高いもので、口縁部端反の小杯と思われる。109の青磁は小鉢の可能性もある。106と108は肥前産で18世紀前半、産地不明の107と109は19世紀代のものと思われる。110と111は産地不明の盃である。19世紀前半のものと思われる。

##### b. 蓋類(第182図)

出土点数も少なく、図示したのは8点である。口縁部は緩やかに内湾するものが多く、112・114・115のつまみは外へ開き、ほかは垂直となっている。112は見込にコンニャク印判の5弁化があり、115は32の碗の蓋と思われる。つまみ径が大きい119は広東碗の蓋である。112~116は肥前産で18世紀後半、119は18世紀末~19世紀前半、産地不明の117と118は19世紀前半のものと思われる。

##### c. 皿類(第183~187図)

碗類に次いで出土量が多いものである。71点を図示した。器形としては円形の皿が圧倒的に多く、方形

や変形の皿も口径10cm未満のもので多少見られる。口縁部は平縁のものがほとんどで、波状縁となるものは比較的大きいものに端反のものは比較的小型のものに少し見られる。大きさには口径20cm以上の大皿、12~14cmと10~11cmの小皿、8~10cm未満の小ぶりの小皿と法量にまとまりが認められる。数量的には大皿は少なく、やはり日常雑器としての小皿が多い。120~134は口径20cm以上の大(中)皿である。120は瓣歯状文、121~123は唐草文が2本線で描かれたもので、17世紀中頃から後半の肥前産のものである。124~132は肥前産で、124は裏銘「満福」、131の裏銘は「口明成化年製」、132の裏銘は「口・製年」と読み取れる。18世紀前半を主とする。126・129・130は外面青磁で、129と130は蛇の目凸形高台である。18世紀後半と思われる。133と134は19世紀前半と思われる産地不明のものである。135~171は口径10~14cmの小皿である。10cm前後のものは手塩皿かもしれない。135の口縁部破片は、一見中国産に見える17世紀中頃と思われる肥前産のものである。136は高台径が小さく、壘付にわずかに砂が付着し、くすんだ緑色顔料で絵付けされているもので、肥前産の17世紀中頃のものと思われる。137と138は2本線で文様が描かれているもので17世紀後半の肥前産のものである。139~159は肥前産の18世紀後半のものである。139~147・149~152は見込みが蛇の目に釉剥され、146・149にはかなり崩れたコンニャク印判の五弁花がある。149~152は高台径が口径の1/2以上と比較的大きい。153~158は高台径が口径の2/3くらいとかなり大きく、153と156には見込み五弁花、153の裏銘は「福」字の草書がある。139~152は裏文様はなく、153~156は太い一本線の唐草文、158・159は細密で繊細な線描きである。160~162は蛇の目凸形高台で、160は切込産、161・162は産地不明である。19世紀前半と思われる。163~171は口径10cm前後の小ぶりの小皿である。すべて肥前産の18世紀後半のものと思われる。高台径は大きめで、器壁は薄い作りである。裏文様は一本線書きの唐草文が多く、165と169の見込みには五弁花がある。手塩皿の可能性が高い。172~176は口径8~9cmの所謂「手塩皿」である。すべて蛇の目高台で、高台径は小さく、17世紀前半の肥前産と思われる。177~181は端反皿である。177と178は裏文様に一本線の唐草文が描かれた18世紀末~19世紀初頭の肥前産、179と180は19世紀中頃の瀬戸産と思われる、見込みに寿字が刻印された所謂「寿文皿」である。182~184の方形の皿は、182・183が白磁、184は染付だが、器形・文様とも類するもので、東北在地の19世紀中頃のものと思われる。185・186は糸切り細工の型紙摺の変形皿で、18世紀前半の肥前産である。187~189は変形皿と思われる破片で、産地不明の19世紀前半のものと思われる。190は型押し成形された紅皿で産地不明、19世紀中頃のものと思われる。

#### d. 鉢(第188図)

近代代ものは出土数が少なく、図示したのは8点である。191~197は丸・筒形の肥前産である。191・192は鬲刻文で、192の裏文様は二本線の唐草文が描かれた17世紀後半のものである。193は口縁部が端反のもので、深めの皿かもしれない。196は蓋付き、197は見込みに比較的小な五弁花がある。いずれも18世紀後半のものと思われる。198は八角に型成形された美濃手のもので、19世紀前半の切込産である。

#### e. 瓶(第189図)

10点を図示した。器形を復元できたものはなく、すべて破片資料で、内面はすべて無釉である。199~205は肥前産で、199~202は17世紀後半、203・204は18世紀前半、205の蛇の目凸形高台のものは18世紀後半のものである。207は青と紫の二彩で、瓢箪形を呈すると思われる19世紀前半の切込産のものである。208は赤色顔料で文様が描かれている。206・208は産地不明の19世紀前半のものと思われる。

#### f. その他(第189図)

213~217は香炉で、すべて肥前産、217以外は内面無釉である。214・216は外面青磁の蛇の目高台、

215・217は蛇の目凸形高台、216・217は高台内に鉄錆が施されている。214・216は17世紀中頃、217は17世紀後半、213・215は18世紀後半のものと思われる。218～220は仏飯器で、218は肥前産の18世紀前半、219は瀬戸産の19世紀前半、220は産地不明の19世紀前半と思われる。209は蓮華、210・211は小鉢と思われるもの、212は水漬である。いずれも産地不明の19世紀中頃のものと思われる。

## 2) 陶器(第190～206図)

掲載した近世陶器は200点である。産地としては肥前産、瀬戸・美濃系、京信楽系、福島県大塚相馬・小野相馬、産地不明(東北在地)があり、不掲載分を除いても産地不明のものが最も多く、ほかは数量的にあまり差がない。産地不明のものは主として19世紀代のものである。器種としては碗・盃・蓋類・瓶類・皿類・鉢・甕・摺鉢・土瓶・行平・甌・焙烙・香炉類・灯明具・火鉢類・焜炉類・窯道具などがある。磁器に比べて鉢・甕・摺鉢・火鉢類などの大型の製品が量的に多く、碗も比較的多いが、皿は少ない。

以下各器種毎に概略を述べるが、個々の出土位置や産地・法量などの詳細は観察表に示している。

### a. 碗類(第190～192図)

55点を図示した。産地としては肥前産、瀬戸・美濃、京信楽系、大塚相馬などである。量的には大塚相馬ものが最も多く、次に肥前もの、そして瀬戸・美濃と京信楽ものと続く。221～233は肥前産で、221～224は褐色系の胎土に刷毛目化粧された唐津系、221は兵器手の打刷毛目である。225と233は回転刷毛目が施されている。230～233は兵器手の碗である。234～239は瀬戸・美濃系で、234は灰軸と鉄軸が掛け分けられた「こぶく茶碗」と呼ばれるものである。236も釉薬の掛け分けがなされている。235は白化粧土の回転刷毛目が施されている。239の陶胎染付は瓶かもしれない。240～246は京信楽系で、243は乳白色の胎土に細かい貫入のある釉が施軸され、ほかは赤や緑色で上絵付けされている。247～267は大塚相馬産である。268・269は産地不明、270・271は瀬戸産の陶胎染付、272～275は盃類である。

### b. 蓋類(第192図)

出土点数は少ない。7点を図示した。276・277は大塚相馬産の碗蓋、278・279は大塚相馬産で、中央が盛り上がった山蓋あるいは盛蓋と言われるもので土瓶蓋と思われる。280も大塚相馬産の中央が窪んでいる落とし蓋で、油注、水注、壺等の蓋である。281は産地不明の土瓶蓋と思われるものである。282は377と対と思われる行平の蓋である。

### c. 皿(第193図)

18点を図示した。磁器皿に比べて出土量は少なく、全体の解る資料も少ないが、比較的大きなものが多く見受けられ、磁器皿は取り皿、陶器皿は盛り皿というような日常雑器としての種類の使い分けが伺える。産地は瀬戸・美濃系と大塚相馬産が半々くらいで、産地不明(東北在地)が若干ある。285～293は瀬戸・美濃系で、285は乳白色の胎土に細かい貫入のある釉が施軸され、口縁部を波状に変形させたものである。287は外面胴部が無釉の型打ち皿である。295・299は見込みで鉄絵が描かれている。301は型打ちの変形皿である。

### d. 鉢類(第194～196図)

32点を図示した。大ぶりの深めの皿とも見られるものも含む。17～18世紀代のもは肥前産、19世紀代のもは産地不明(東北在地)が大半を占める。303・304は淡黄色の胎土に透明釉が施され、見込みで鉄絵が描かれた瀬戸・美濃系のものである。305～314は赤褐色系の胎土で白化粧の施された三島手の唐津系製品である。深めの皿と言えるものかもしれない。315はにぶい橙色の胎土で白化粧のされた福島県の小野相馬産のもので、322は大塚相馬産である。316～321・323～334は産地不明(東北在地)のものである。

### e. 甕類(第197・198図)

16点を図示した。大半が産地不明（東北在地）のものである。器形としては頸部をもち、胴部に丸みをもつものがほとんどである。335・336は瀬戸物である。336のみ半胴型を呈するもので榎木鉢の可能性もある。337の底部破片は、胎土が暗赤褐色で外面は無釉の18世紀、肥前産のものと思われる。338～350は産地不明のものである。施釉は鉄釉のものが多い。338・341は内面および外面の口縁部には黒色の釉が施されている。339は口縁部に黒色の釉が流し掛けされ、343は口縁部に白色の釉が流し掛けされている。

f. 播鉢(第199～201図)

24点を図示した。不掲載分も含めて産地不明（東北在地）が最も多く、次いで瀬戸物、そして肥前ものもわずかにある。351～358は瀬戸物である。胎土は淡黄色もしくは黄色味を帯びた白色を呈し、鉄釉が施されている。359・360は赤褐色の胎土の肥前産（唐津）もので、359の口縁部にはのみ鉄釉が流し掛けされている。361～374は産地不明（東北在地）のものである。19世紀代かと思われる。

g. その他の日常雑器(第202図)

283は平清水の徳利、284は産地不明の瓶と思われるもので、内面無釉の陶胎染付である。375・376は大塚相馬産の上瓶である。375は所謂山水土瓶で、376は375の把手の付く突起かもしれない。内面と底部は無釉である。377は大塚相馬産の行平である。外面に飛鉈の刻み目を持ち、内面と把手、注口には白色釉が施される。282の蓋が対のものと思われる。378・379は甌と思われる多孔のある底部である。大塚相馬産か東北在地のものと思われる。380・381は焙烙である。胎土は橙色で底部を除き透明釉が掛かっている。産地は不明である。416は胴部に鈎のついた羽釜である。大塚相馬産と思われる。

h. 香炉類・仏花瓶・灯明具(第203図)

香炉類は10点を図示した。瀬戸・美濃系が多い。382～388は瀬戸・美濃産で、382～385・387の胴部全面には回転による螺旋状の文様がある。386は鉄絵のある京風、388は足つきの底部破片である。383が内外面とも施釉されているほかは、内面は口縁部を除き無釉である。389は肥前産の陶胎染付で、内面は無釉、高台は鉄釉が施される。390・391は産地不明（東北在地）のもので、胎土は橙色系、390は口縁部を除き内面無釉、391は内外面に鉄釉が施される。392は瀬戸・美濃産の仏花瓶である。胴上部に灰釉が流し掛けされ、底面には墨書がある。393・394は灯明具の裾広がりの脚部である。393は裾広がりの脚部を接合したもので、脚内は抉られ中空となっている。蠟が滴ったと思われる焼け集げがある。394は底面無釉で糸切りがあり、中央には小さな穿孔がある。産地は不明である。

i. 火鉢類(第204図)

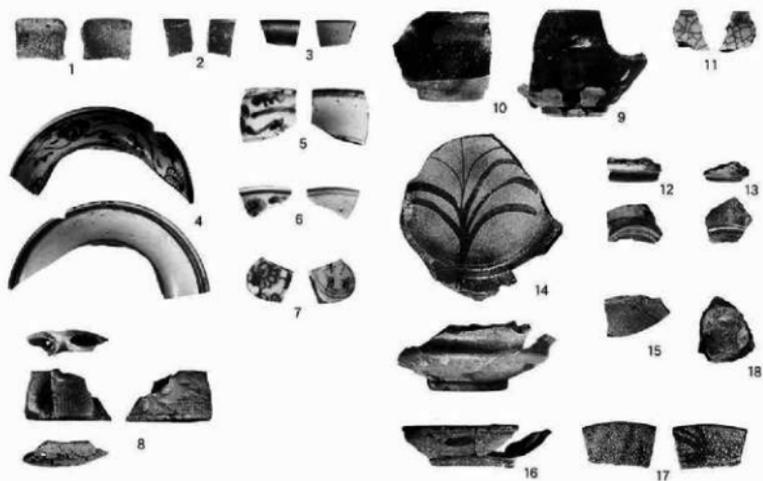
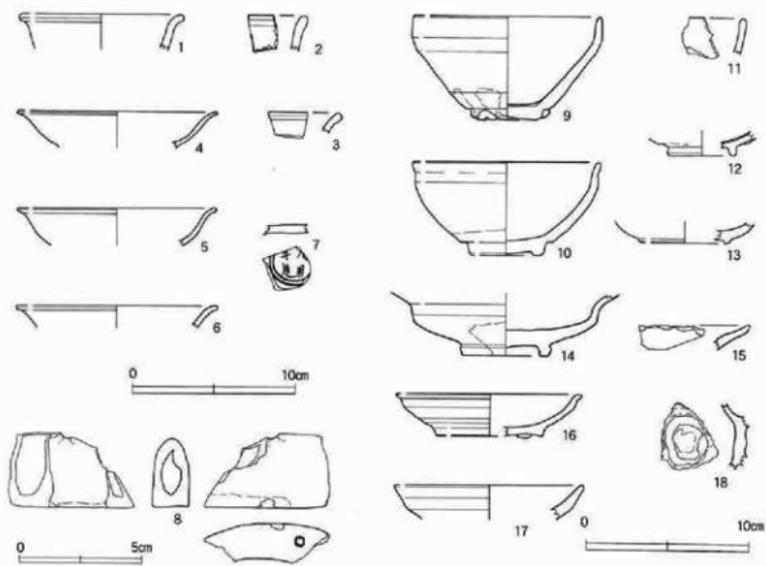
12点を図示した。瀬戸・美濃産と産地不明（東北在地）のものがある。395～399は瀬戸・美濃産である。すべて内面無釉、外面は銅緑釉の一種である所謂呂宋釉が施されている。396は獅子の顔面把手、398は高台の張り出しに雷文が施文されている。400～406は近世と思われるが、産地・年代とも不明のものである。すべて瓦質のものである。

j. 燈炉類(第205図)

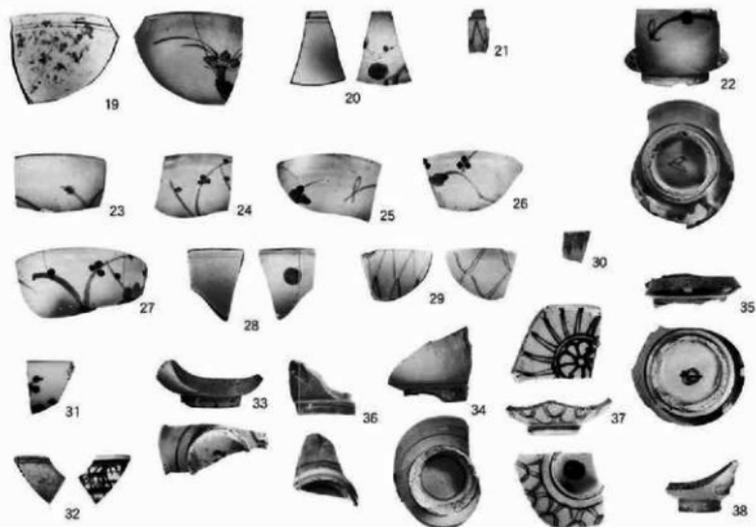
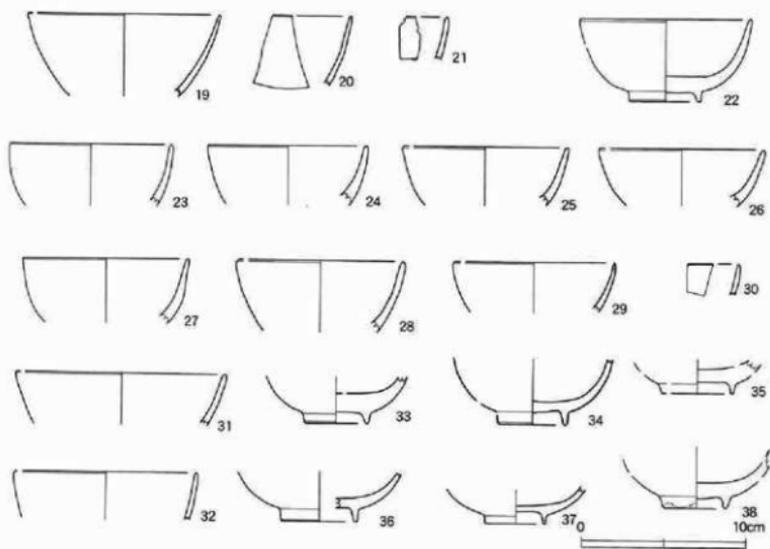
9点を図示した。すべて産地・年代不明の土師質のものである。407・408は七厘、409～415はオプション部品である。

k. その他(第206図)

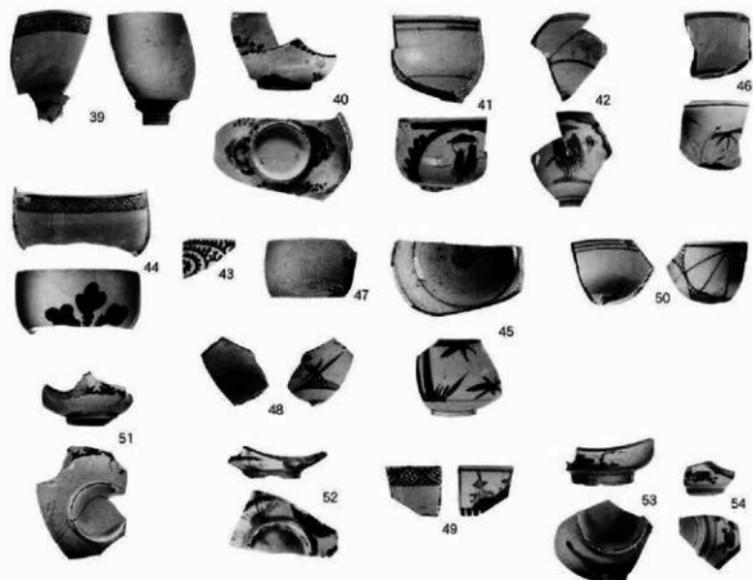
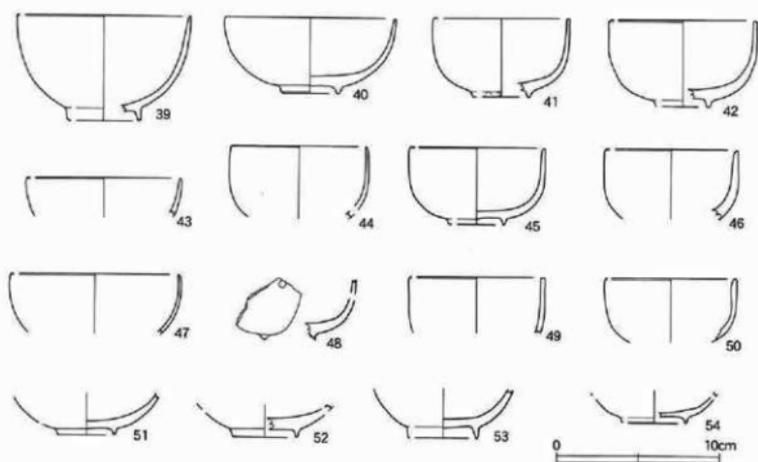
417はお唐黒壺、418・419は瓦、420は窯道具である。近世の東北在地のものと思われるが、産地・年代とも不明である。419は燈炉のオプション部品の可能性も考えられる。420は逆台形ハマである。



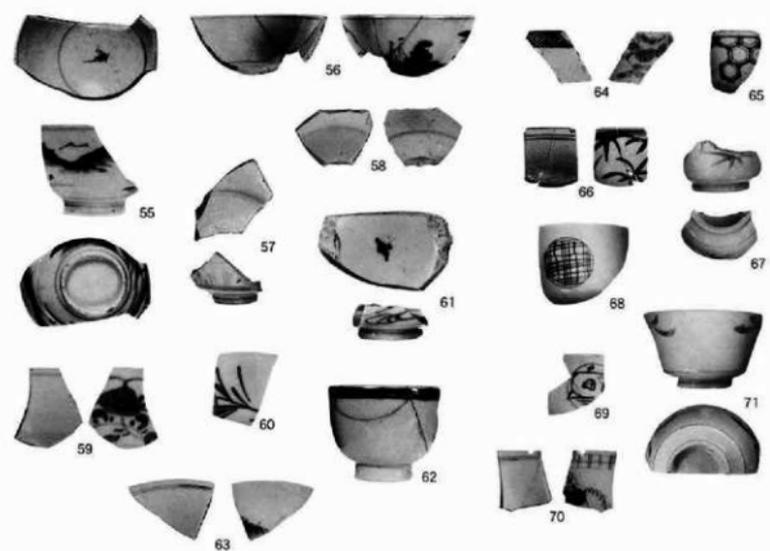
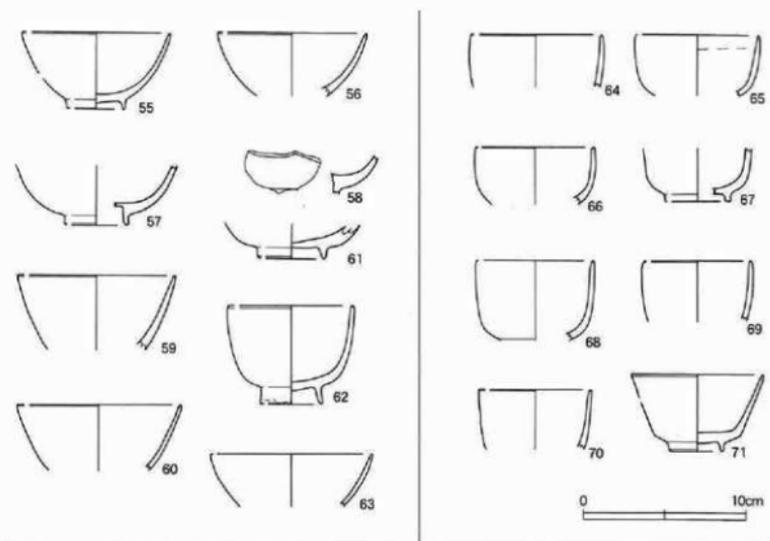
第176圖 中世陶磁器



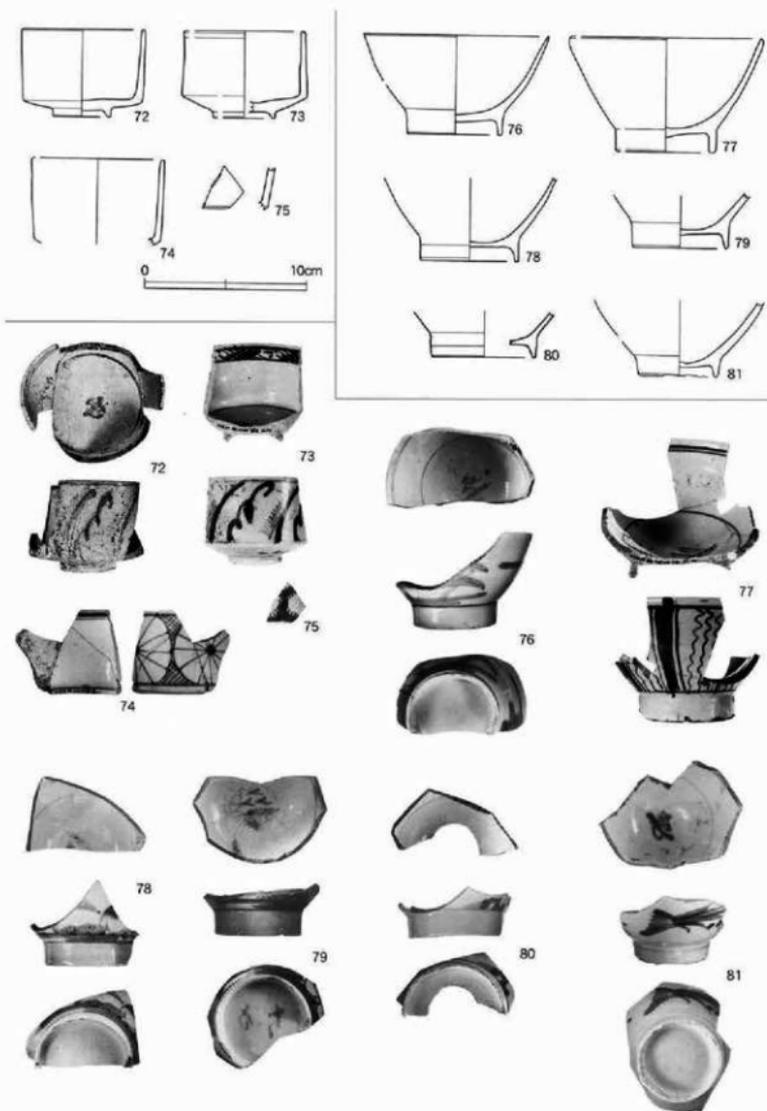
第177圖 近世磁器 1(碗)



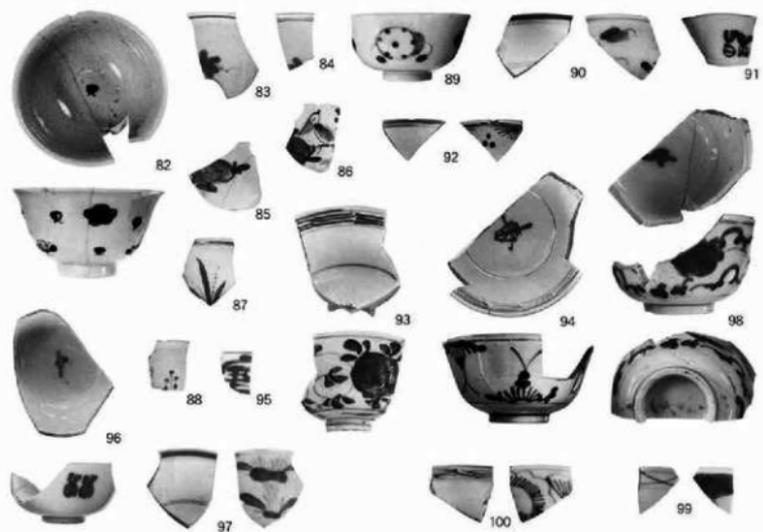
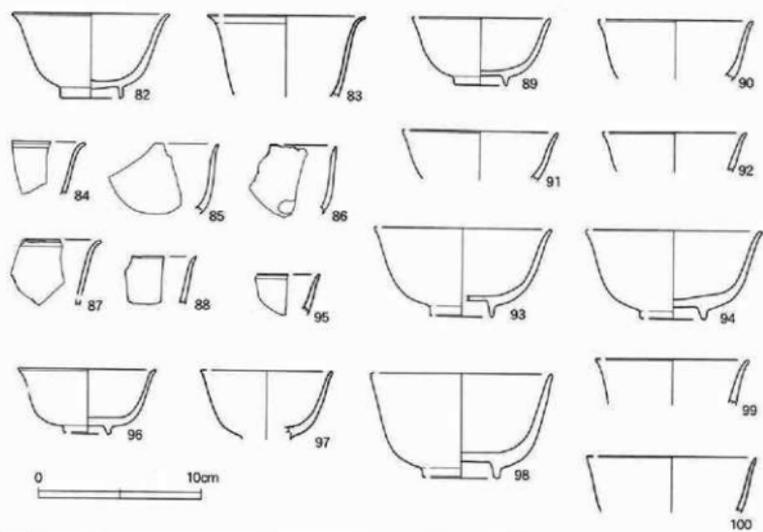
第178図 近世磁器 2 (碗)



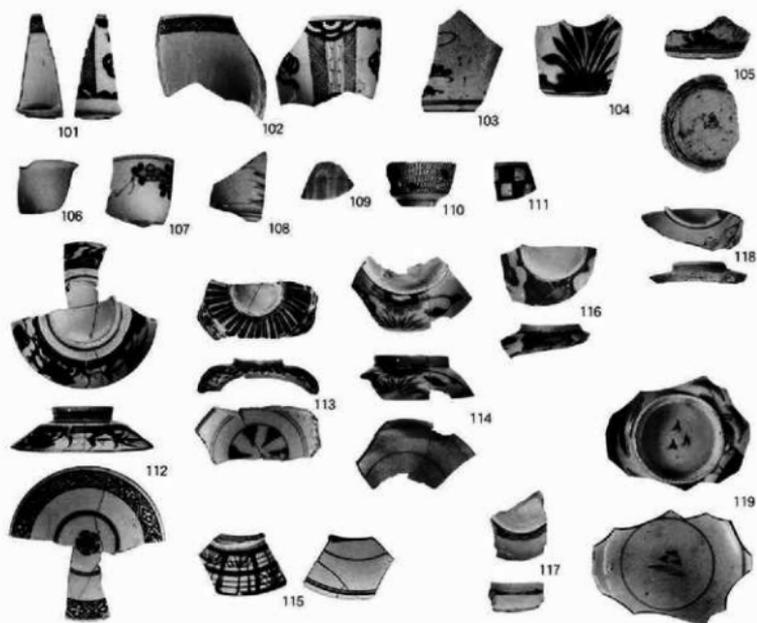
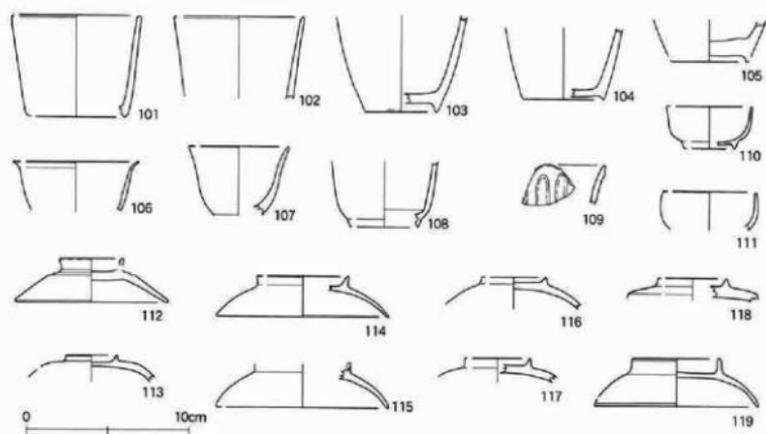
第179回 近世磁器 3 (碗・湯飲み碗)



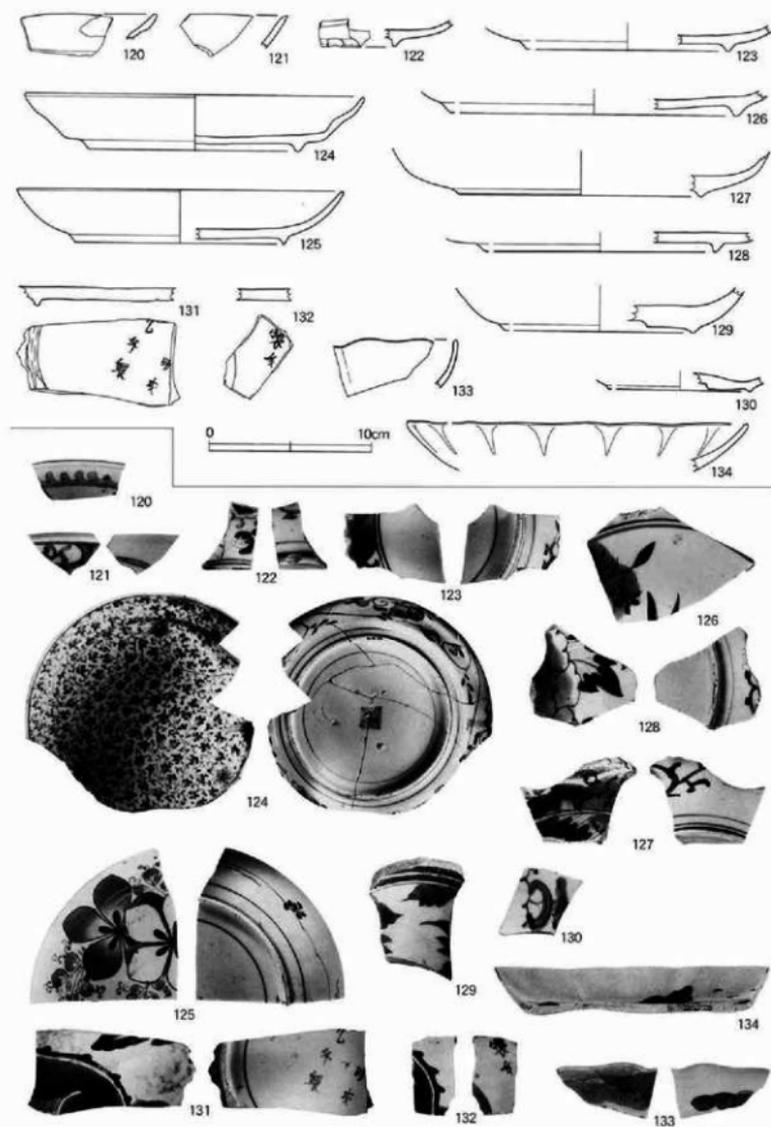
第180图 近世磁器4(碗)



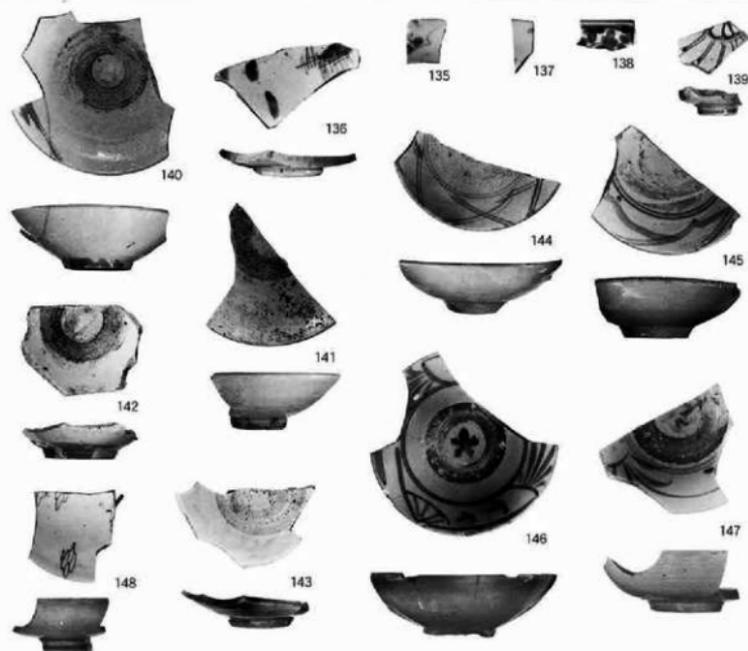
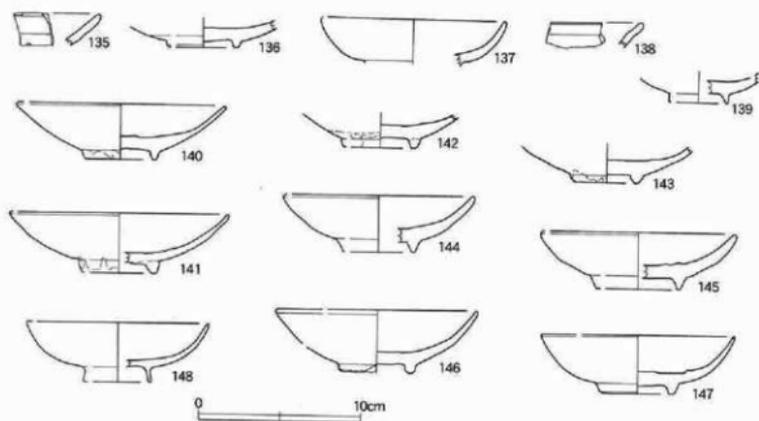
第181图 近世磁器 5 (碗)



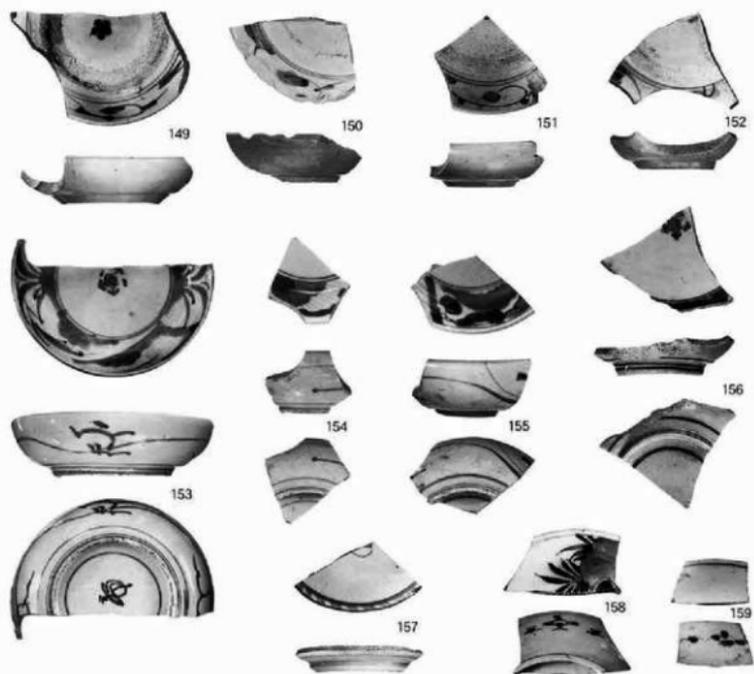
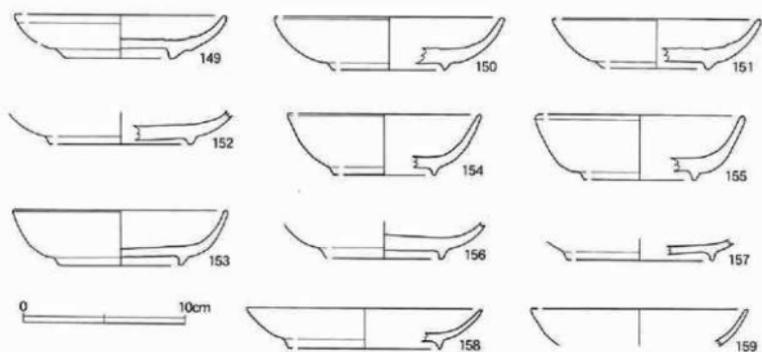
第182图 近世磁器6(蕎麦猪口・盃・蓋)



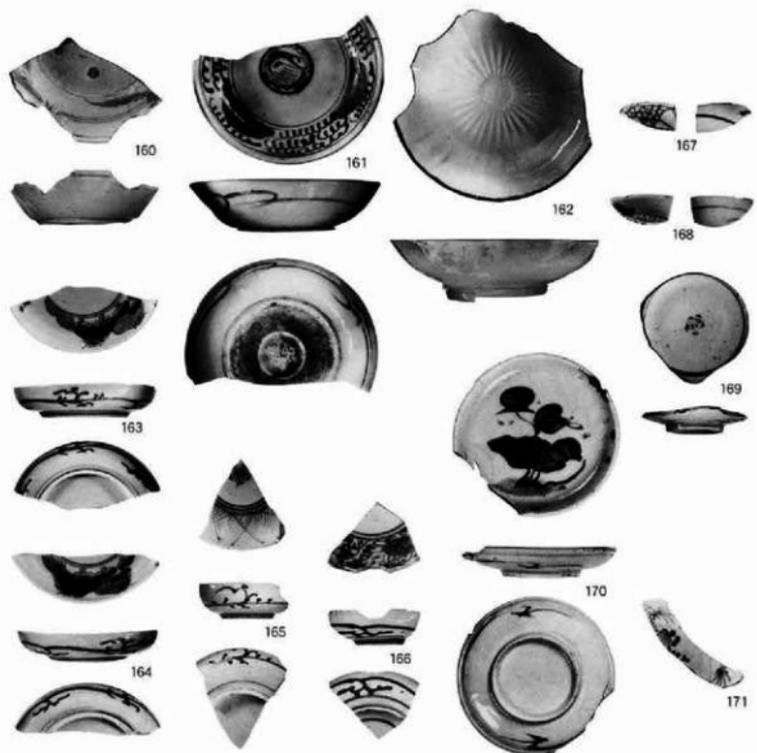
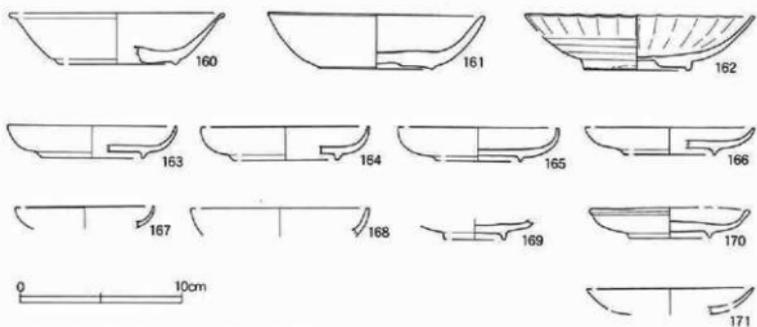
第183图 近世磁器7(皿)



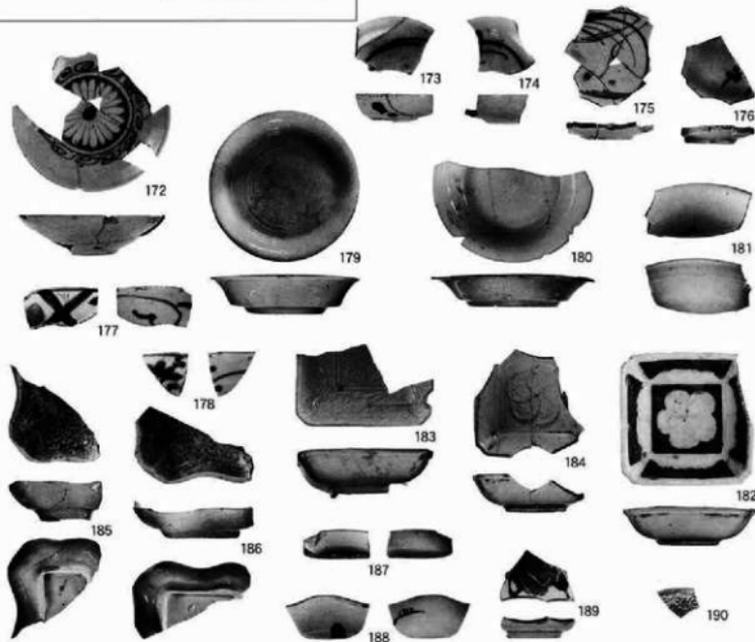
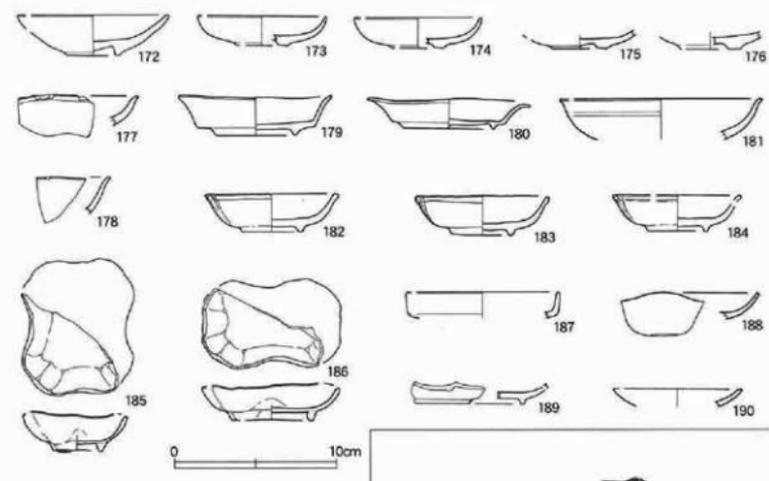
第184图 近世磁器 8 (皿)



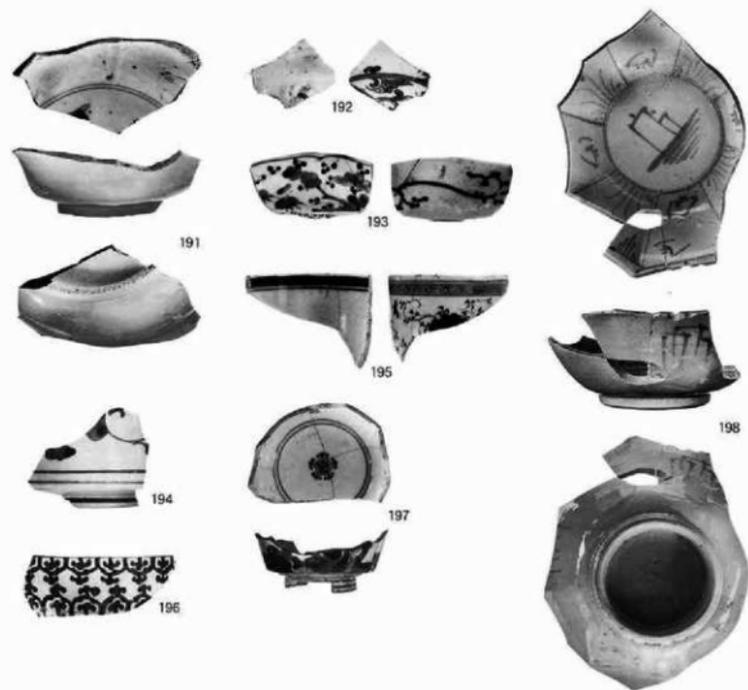
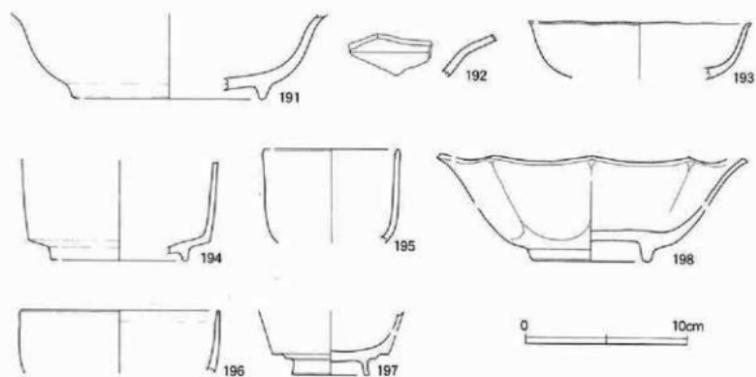
第185图 近世磁器9(皿)



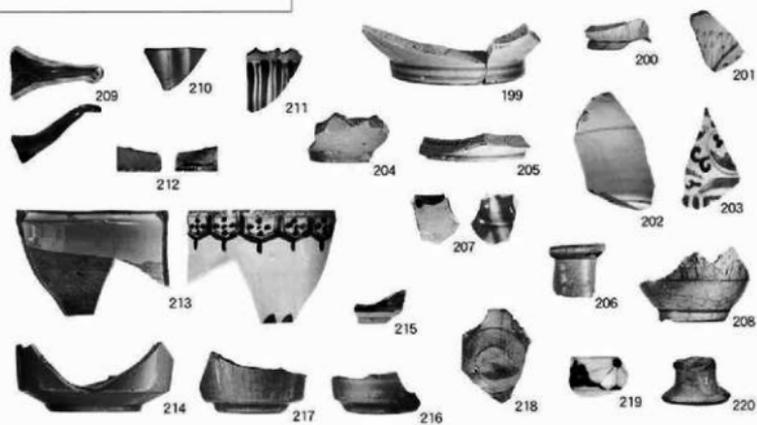
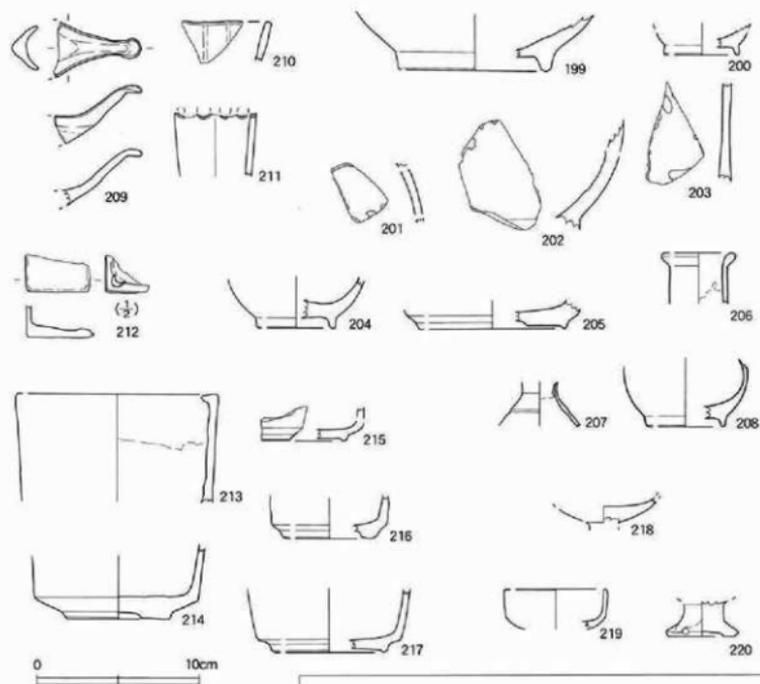
第186図 近世磁器10 (皿)



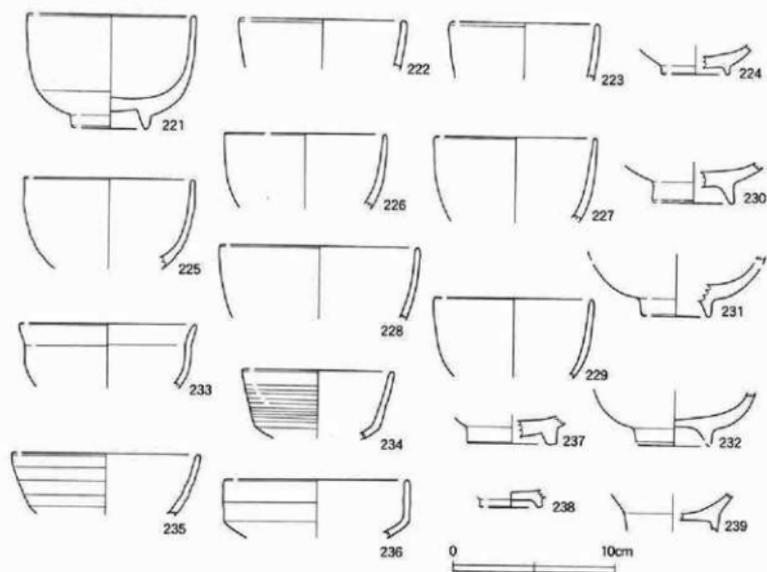
第187圖 近世磁器11 (皿)



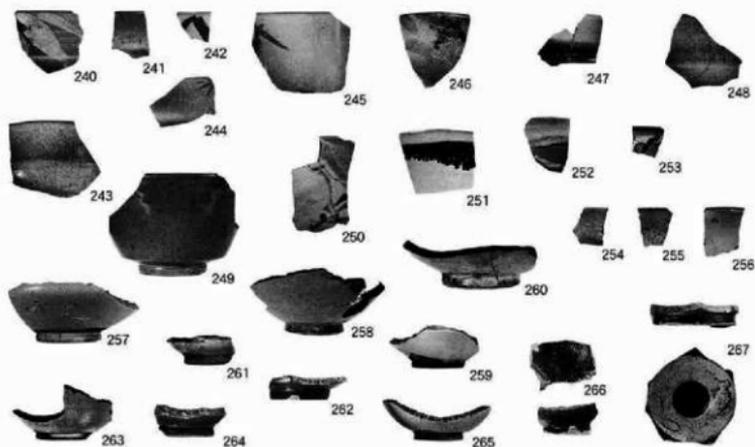
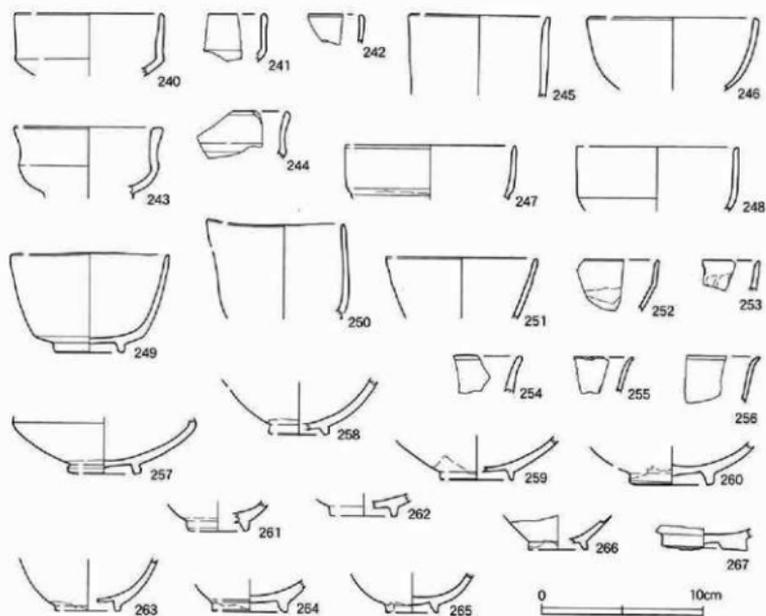
第188圖 近世磁器12 (鉢)



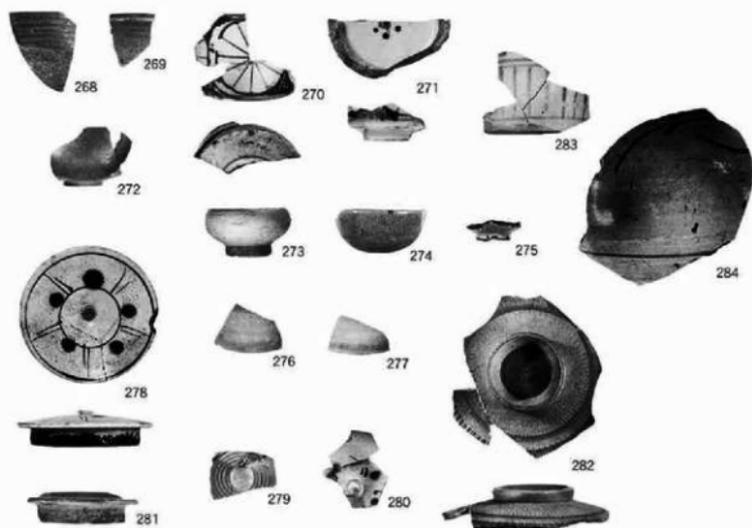
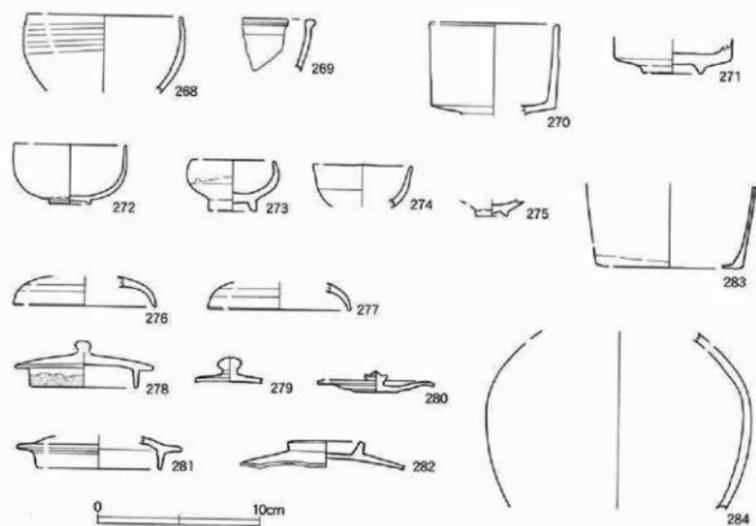
第189図 近世磁器13 (その他)



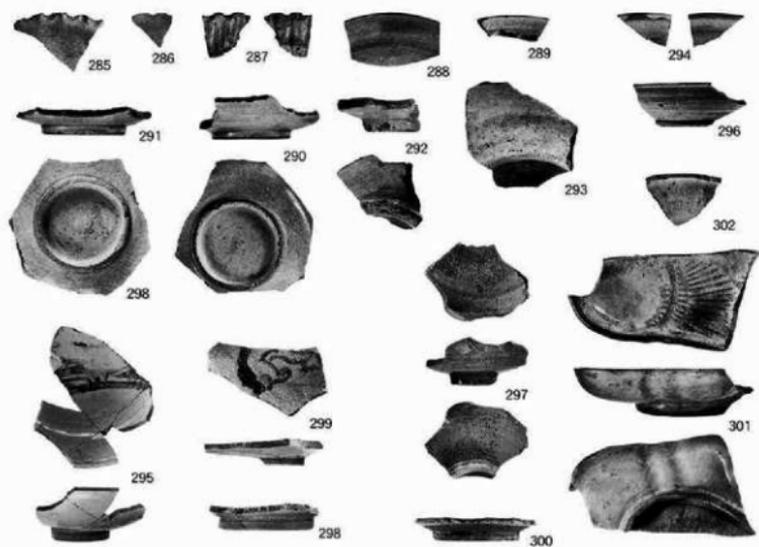
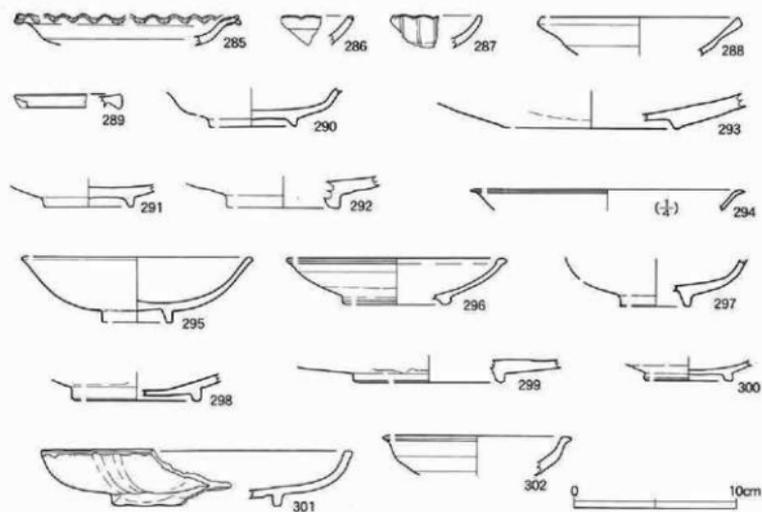
第190圖 近世陶器 1 (碗)



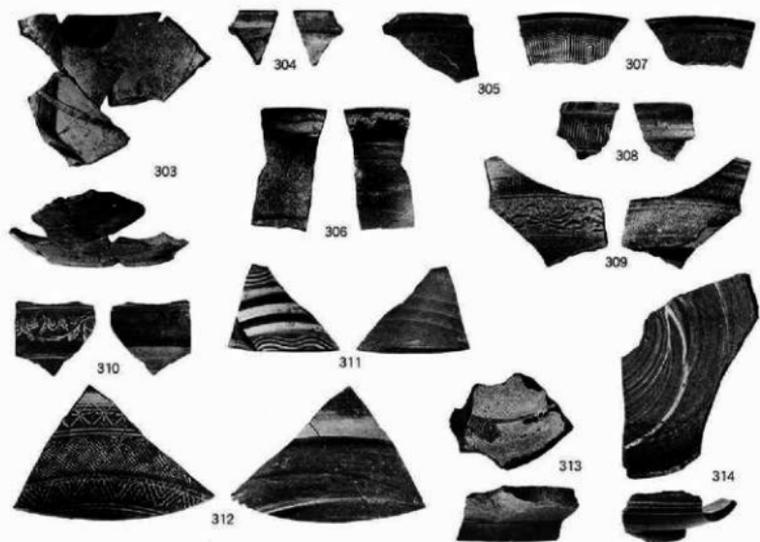
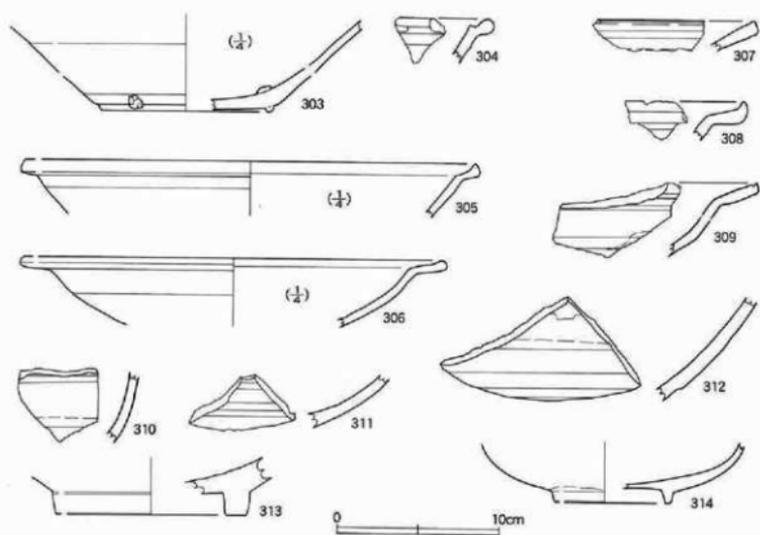
第191图 近世陶器 2 (碗)



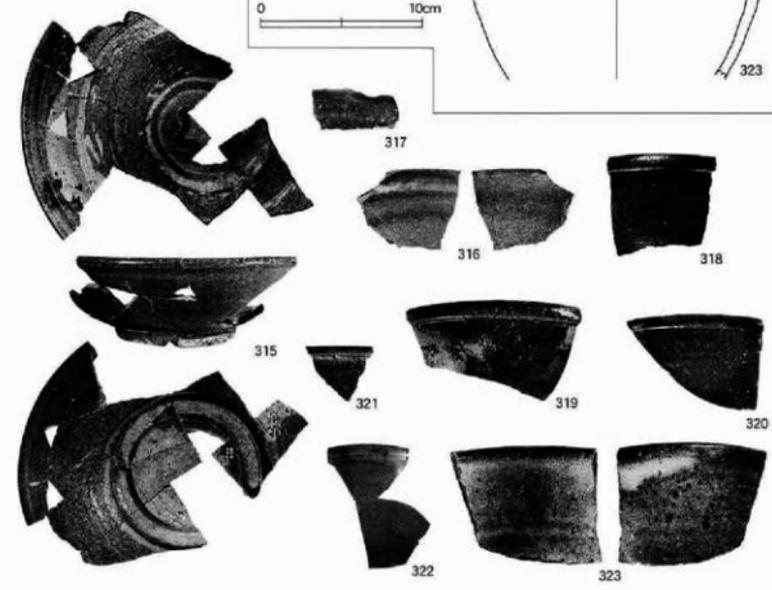
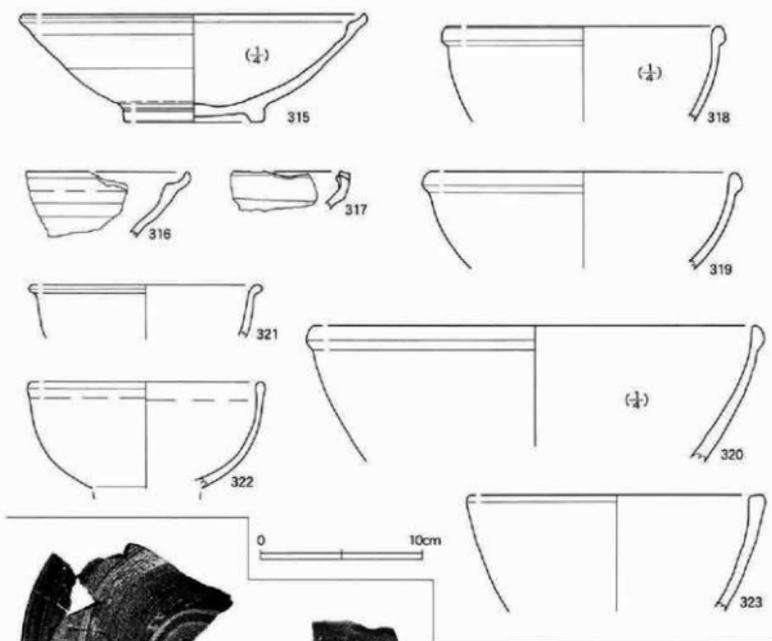
第192图 近世陶器3(碗·盖·德利·盃·瓶)



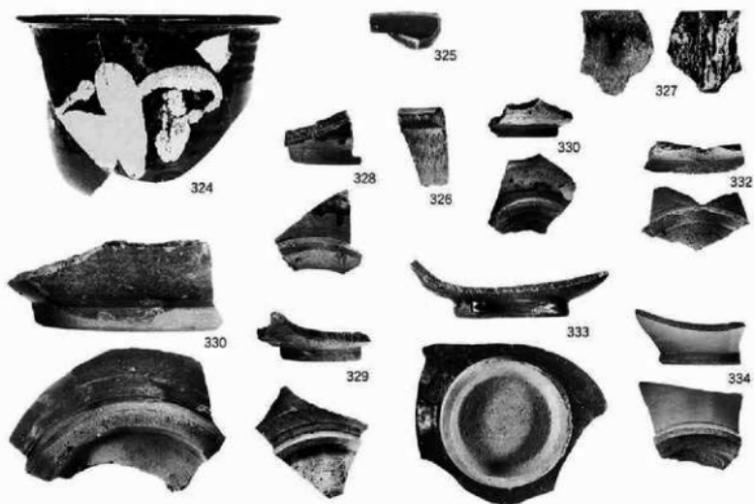
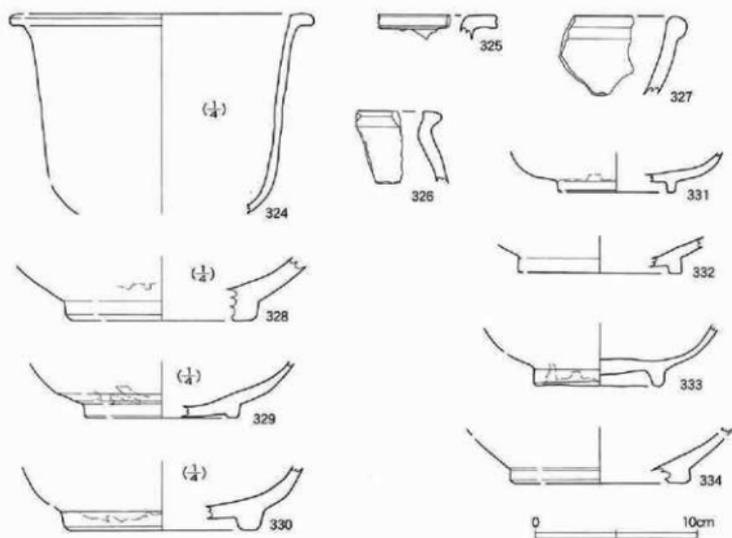
第193圖 近世陶器 4 (皿)



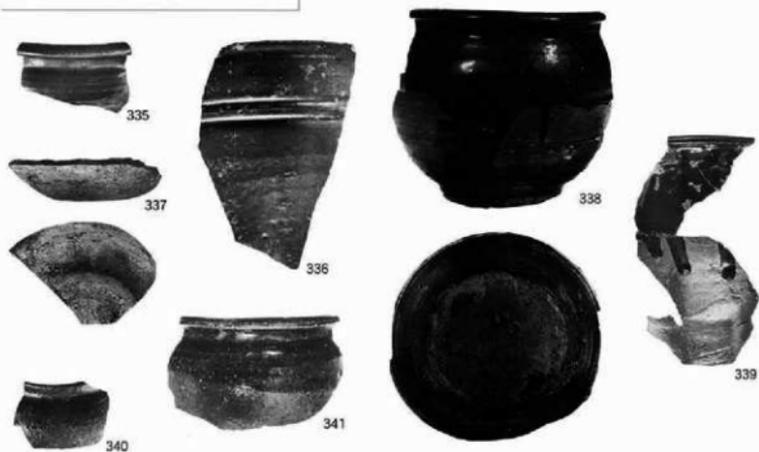
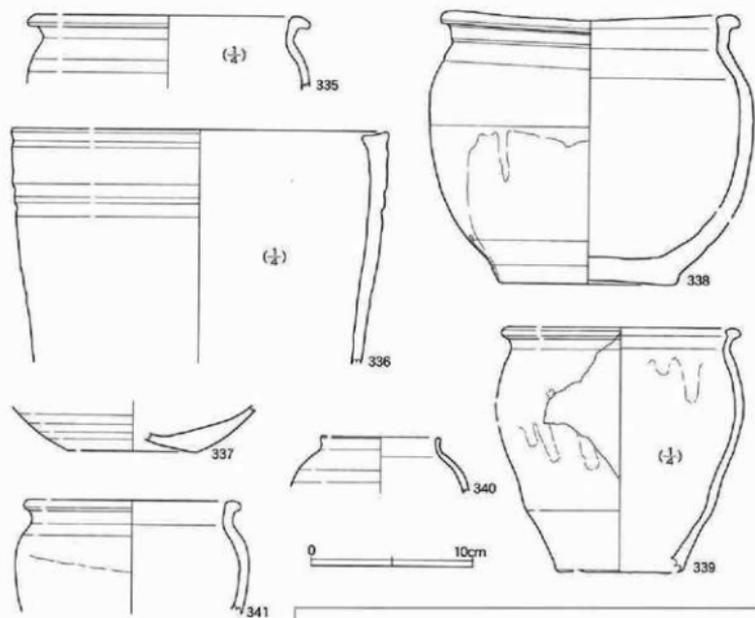
第194圖 近世陶器 5 (鉢)



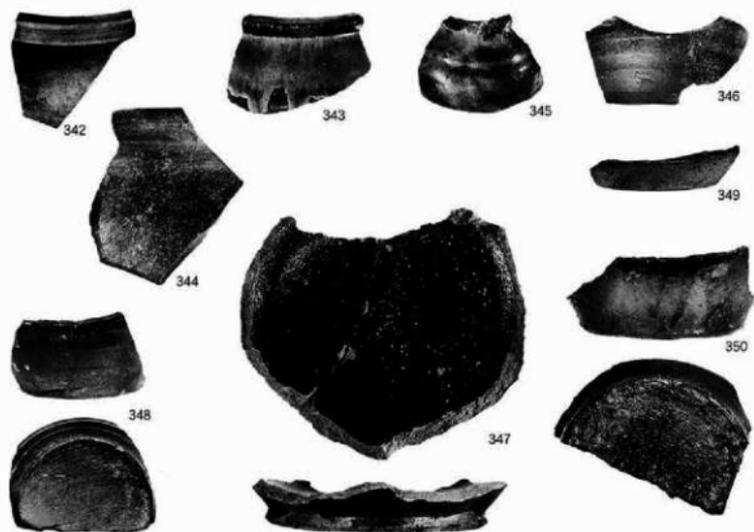
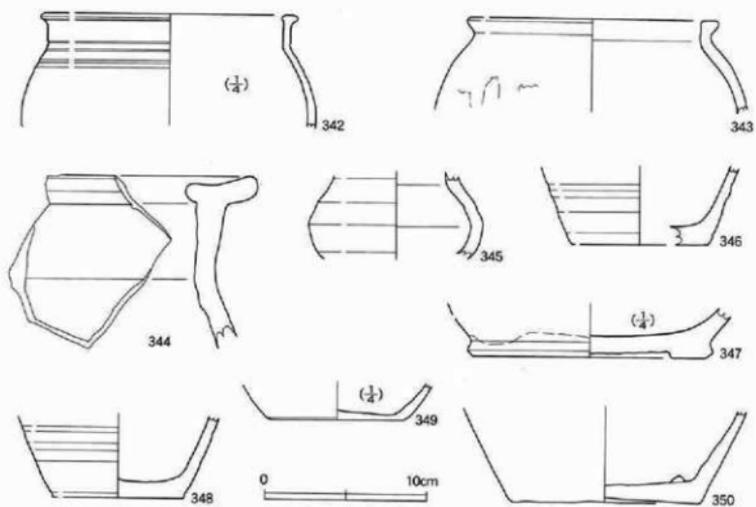
第195図 近世陶器 6 (鉢)



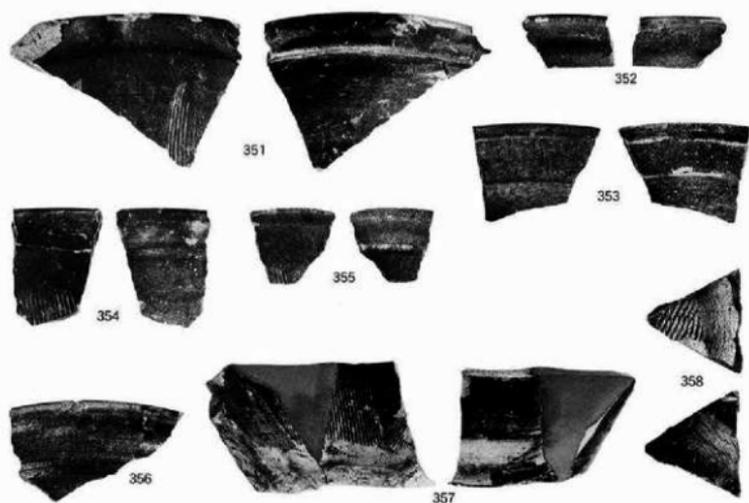
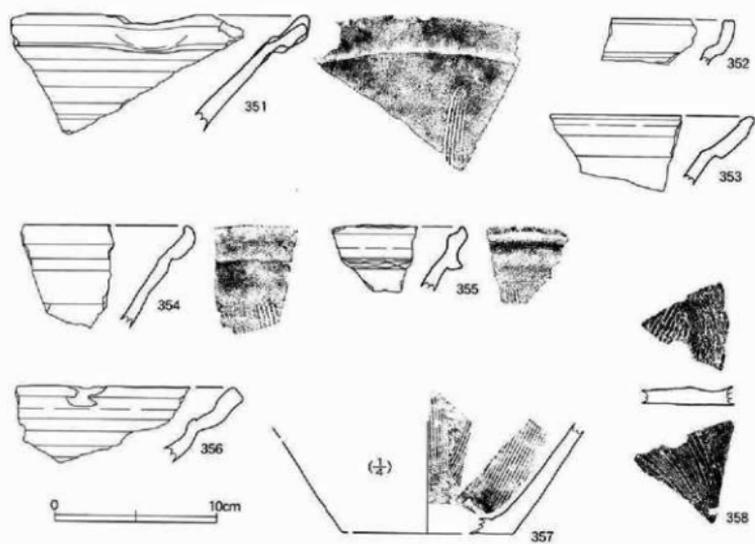
第196図 近世陶器 7 (鉢)



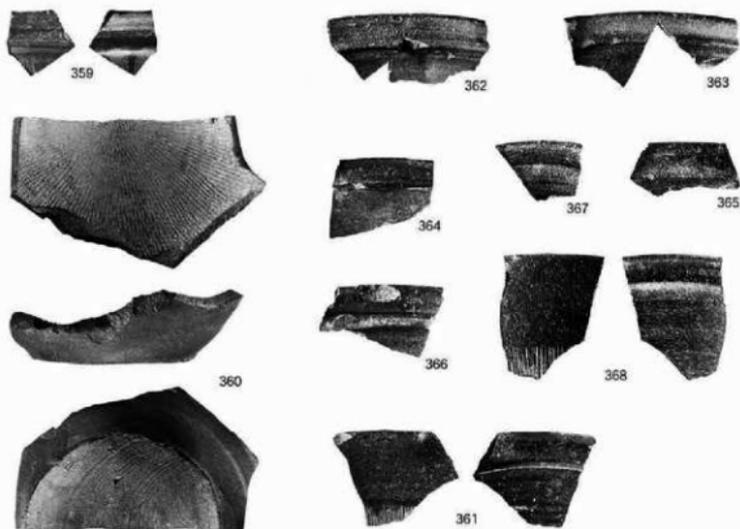
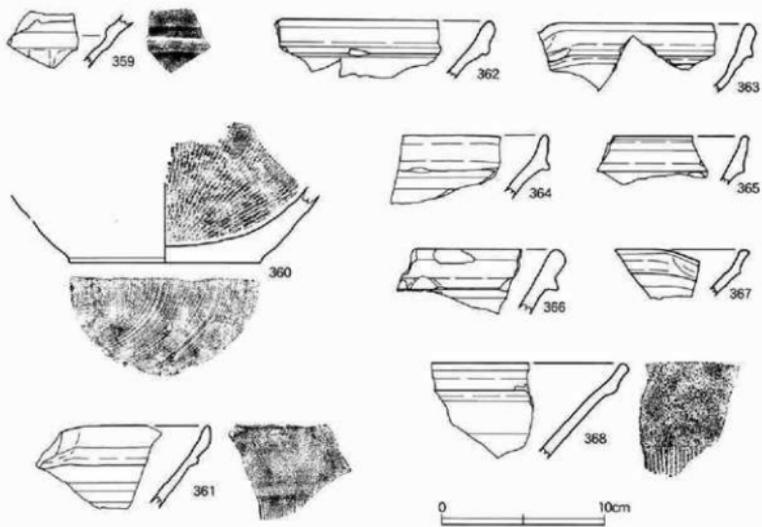
第197圖 近世陶器 8 (壺)



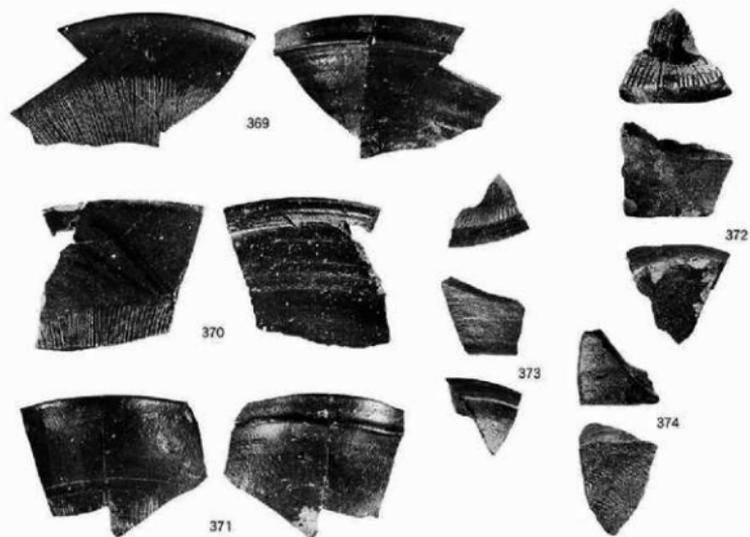
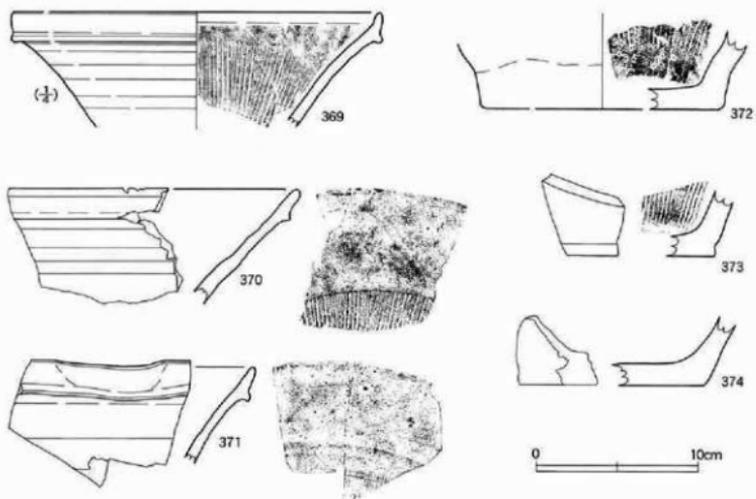
第198圖 近世陶器9(壺)



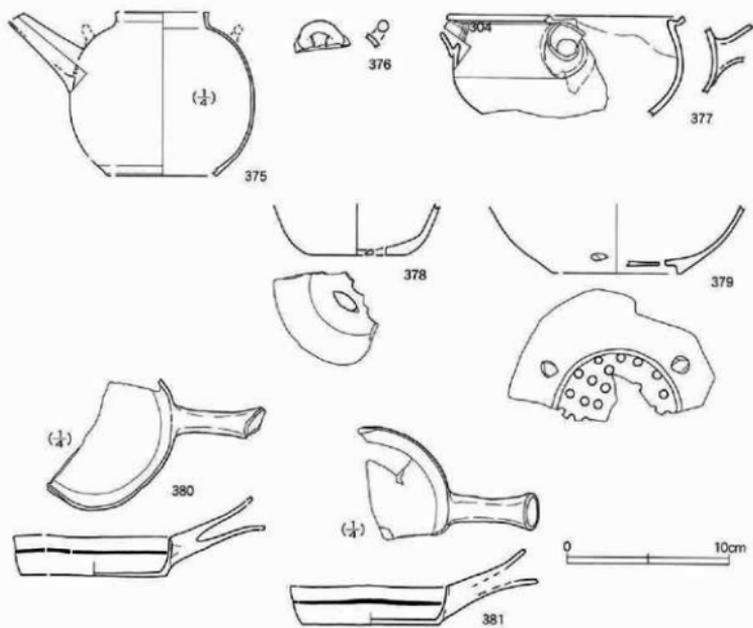
第199圖 近世陶器10 (摺鉢)



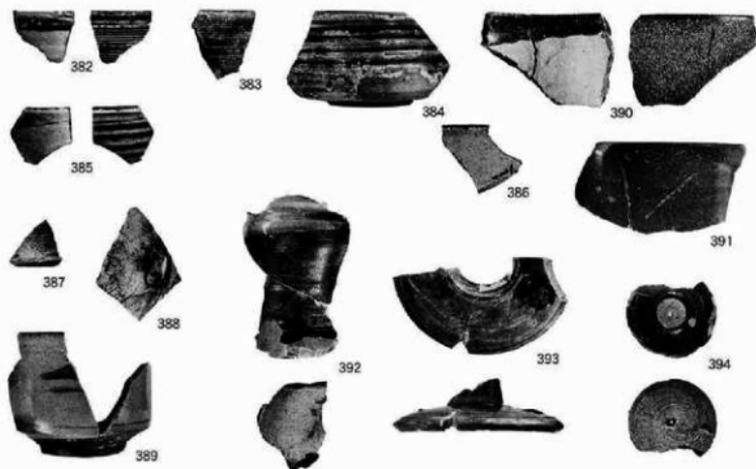
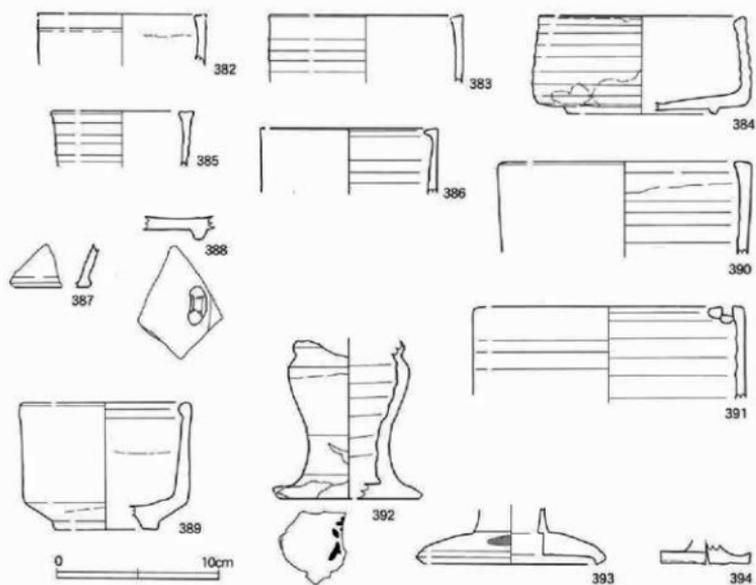
第200图 近世陶器11 (摺鉢)



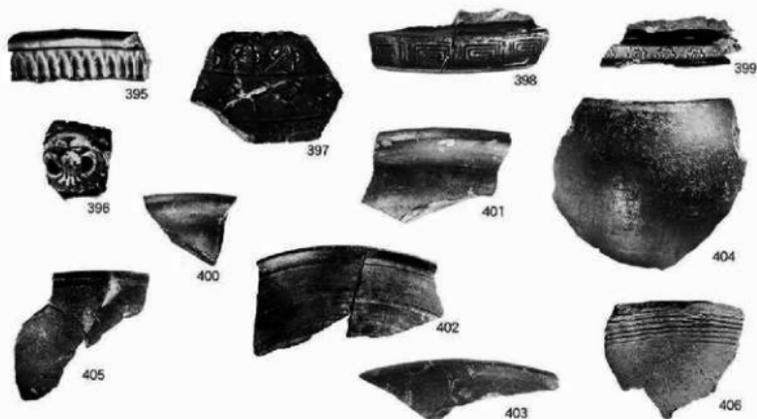
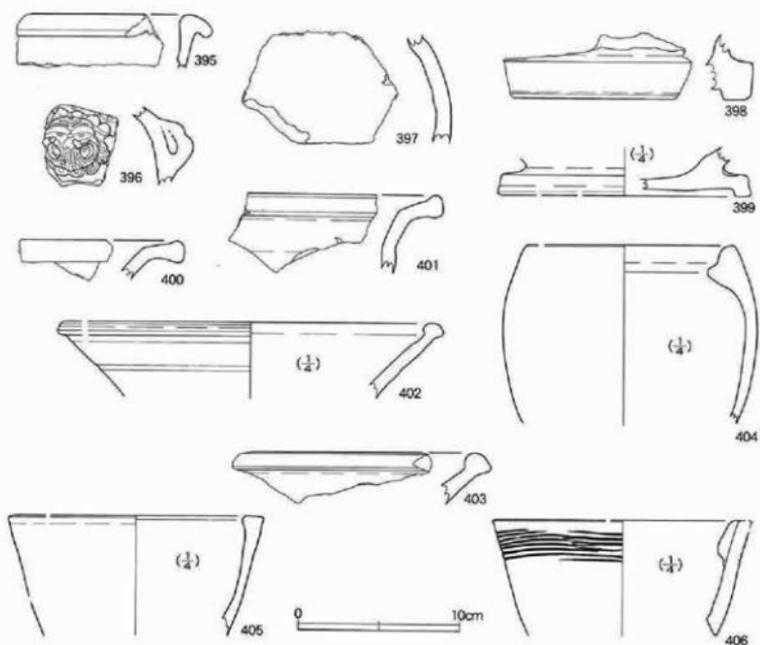
第201回 近世陶器12 (摺鉢)



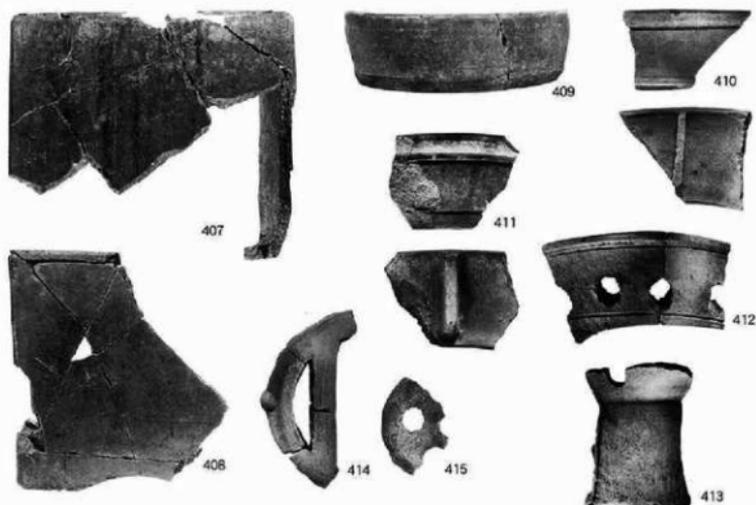
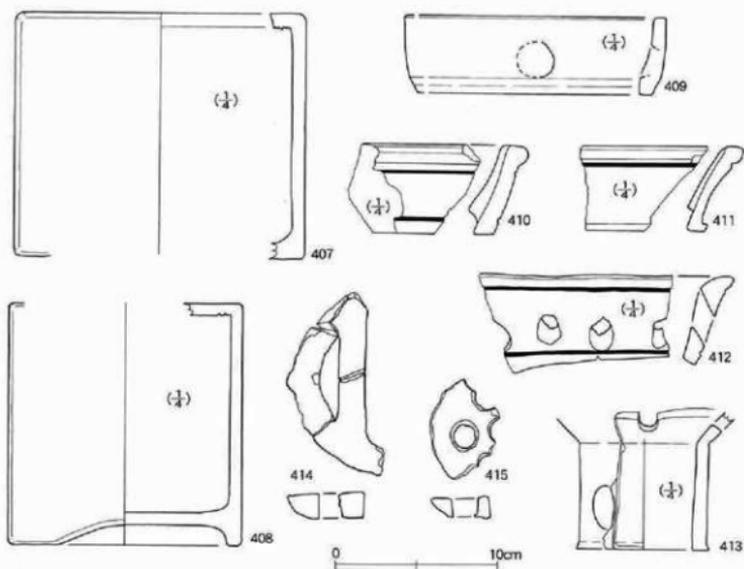
第202图 近世陶器13(行平・土瓶・甌・焙烙)



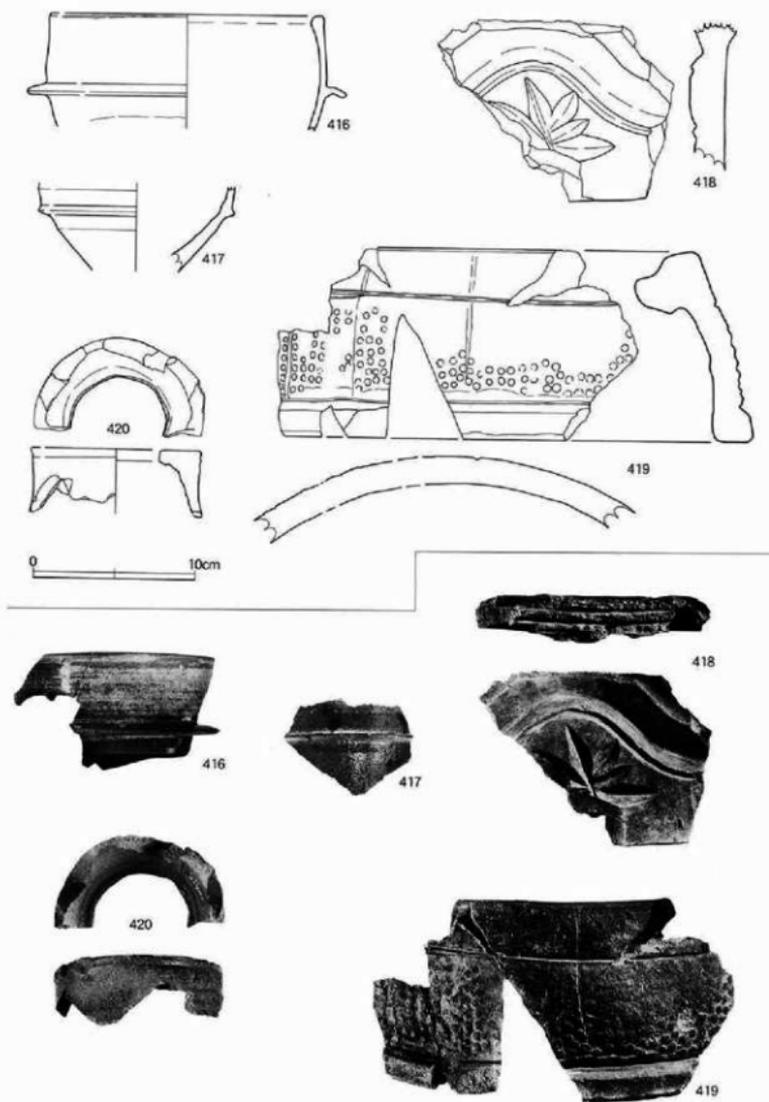
第203图 近世陶器14(香炉類・灯明台・仏火瓶)



第204図 近世陶器15 (火鉢類)



第205图 近世陶器16 (焜炉類)



第206図 近世陶器17 (その他)

第20表 中世磁器

図番	出土位置	器位	器別	器種	産地	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	器高	軸調	施土
1	C区 西壁	I形	青磁	鉢反碗	中国	口縁部	15c~16c			(9.8)				海苔
2	S K02 溝	埋土	青磁	地反碗	中国?	口縁部	中世?							[2.3]
3	S K P16	埋土	青磁	皿	中国	口縁部	15c~16c							[1.4]
4	MC58	2層	灰付	皿	中国	口~体部	15c前半~16c前半	/牡丹唐草		(12.4)				[3.0]
5	MC58	II層	灰付	皿	中国	口縁部	15c後半~16c前半	/牡丹唐草		(12.2)				[1.6]
6	LM70	盛土	灰付	皿	中国	口縁部	15c後半~16c前半	/牡丹唐草		(12.4)				[0.6]
7	S Z02	I層	灰付	皿	中国	底部	中世	草花文/雲筋	「口明口邊」					
8	MD54	I層	有口磁	茶碗?	中国	不明	13c~14c	/陽紋文						

中世陶器

図番	出土位置	器位	器種	産地	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	器高	軸調	施土
9	A区 ML48	II層	天目茶碗	瀬戸・美濃	完(柄)	16c	/高台唐草		(11.5)	4.4	6.5	軟軸	にがし灰層
10	MC68	盛土	天目茶碗	瀬戸・美濃	完(柄)	16c	/高台唐草		(11.4)	4.6	5.8	軟軸(厚)	灰灰層
11	L J71	盛土	碗	瀬戸・美濃	口縁部	16c末~17c初					(3.2)	灰軸(白濁)	にがし灰層
12	L N71	盛土	碗	底部	底部	16c末~17c初	/高台唐草		(4.2)	(5.6)	(1.6)	灰軸(白濁)	灰灰層
13	S D03	探丸跡	碗	美濃	底部	16c人器期			(4.4)	(5.6)	(1.4)	硬軸	灰灰層
14	S Q06 R P1	II層	皿	所産	体~底部	16c末	/高台無輪	筋筋草文		5.3	(4.2)	石灰軸?	灰灰
15	L11-L1子	I層	皿	肥前	口~体部	16c末~17c初			(11.2)	(6.6)	2.8	硬灰軸	灰白
16	A区 MH42	盛土	皿	瀬戸・美濃	口~体部	16c末~17c初	鉄絵?		(11.6)		(2.2)	硬灰軸	灰白
17	A区 MJ44	II層	皿	瀬戸・美濃	口~体部	16c末~17c初					(2.8)	硬軸	黒陶
18	A区 MM46	II層?	?	瀬戸・美濃	中世?								

近世磁器

図番	出土位置	器位	器種	産地	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	器高	軸調	施土
19	S Q05	埋土	灰付	碗	口~体部	17c後半	/草花文		(11.8)				(5.1)
20	C区 溝裏	I層	灰付	碗	口~体部	17c後半	/草花文						(4.3)
21	MA72	II層	灰付	碗	口縁部	17c後半	/雲綱白文						[2.7]
22	S K02 北	埋土	灰付	碗	完(柄)	18c前半~中頃	/草花文 雲筋有				(10.5)	4.4	5.1
23	SE01	埋土	灰付	碗	口縁部	18c前半~中頃	/草花文				(9.9)		[3.8]
24	L O71	I層	灰付	碗	口~体部	18c前半~中頃	/小化文				(9.8)		[3.6]
25	C区 中夾	I層	灰付	碗	口~体部	18c前半~中頃	/草花文				(10.2)		[3.5]
26	S K02 南	埋土	灰付	碗	口~体部	18c前半~中頃	/草花文				(10.2)		(4.0)
27	S K02 西	埋土	灰付	碗	口~体部	18c前半~中頃	/草花文				(10.4)		(4.4)
28	M J49	II層	灰付	碗	口縁部	18c後半	/丸文				(10.0)		(3.1)
29	SD02L S77	埋土	灰付	碗	口縁部	18c前半~中頃	重綱白文/二重綱目文				(10.4)		(3.1)
30	ME70	I層	灰付	碗	口縁部	18c前半~中頃	/筋筋草文				(12.9)		(2.0)
31	SE01 北	盛土	灰付	碗	口~体部	18c中~末頃	/佛蘭文						(3.2)

近世磁器

図番	出土位置	属別	種別	器種	用途	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	器高
32	出土位置	陶	染付	碗	口縁部	18c中～末頃				(11.2)		(2.9)
33	MF54	陶	染付	肥前	体～底部	18c前半～中頃	竹林文			(4.1)	(4.1)	(2.9)
34	APC 桐部	陶	染付	肥前	体～底部	18c前半～中頃	藍彩有			(4.2)	(4.1)	(4.1)
35	SR01	陶	染付	肥前	底部	18c前半	粟飯・福江			(4.4)	(4.4)	(2.0)
36	13トレンチ	陶	染付	肥前	体～底部	18c前半～中頃				(3.7)	(3.7)	(3.1)
37	BE MO40	陶	染付	肥前	体～底部	18c前半～中頃	見込花文・朝日文・2番刷目	露文有		(4.8)	(4.8)	(2.1)
38	S F01	陶	外面口縁部	肥前	口縁部	18c前半～中頃	見込松竹梅文	口内四方障文		(10.8)	(4.3)	(3.7)
39	SK02 溝	陶	染付	肥前	口～底部	18c中～末頃	見込松竹梅文	口内四方障文		(10.6)	(4.3)	6.6
40	SK101 西	陶	染付	肥前	完(障)	18c中～末頃	露文			(8.4)	3.6	4.7
41	BE MM10	陶	染付	肥前	完(障)	18c中～末頃	露文			(8.4)	(3.6)	4.7
42	SQ05	陶	染付	肥前	口～底部	18c中～末頃	露文			(9.2)	(3.6)	(5.4)
43	CK 東部	陶	染付	肥前	口縁部	18c中～末頃	見込文行	露文		(9.6)	(3.6)	(2.5)
44	SK02 溝	陶	染付	肥前	口縁部	18c中～末頃	見込文行	露文		(9.6)	(3.6)	(2.5)
45	BE	陶	染付	肥前	完(障)	18c後半	見込文行	露文		(8.4)	(3.4)	4.8
46	MD69	陶	染付	肥前	完(障)	18c後半	見込文行	露文		(8.2)	(3.4)	4.8
47	MC68	陶	染付	肥前	口縁部	18c中～末頃	空花文			(10.4)		3.7
48	8トレンチ	陶	染付	肥前	口縁部	18c中～末頃	露文			(8.4)		(3.8)
49	MD69	陶	染付	肥前	口縁部	18c中～末頃	露文			(8.2)		(3.8)
50	S F01 西	陶	染付	肥前	口縁部	18c中～末頃	見込文行	露文		(8.4)		(3.5)
51	CK 出西	陶	染付	肥前	口～底部	18c中～末頃	露文					(4.0)
52	MC69	陶	染付	肥前	体～底部	18c中～末頃	見込文行	露文			3.6	(2.6)
53	衣保	陶	染付	肥前	体～底部	18c中～末頃	見込文行	露文			(4.0)	(2.1)
54	MC69	陶	染付	肥前	体～底部	18c中～末頃	見込文行	露文			4.4	(3.1)
55	S B01	陶	染付	肥前	体～底部	18c中～末頃	見込文行	露文			(4.1)	(2.0)
56	S F01	陶	染付	肥前	口～底部	19c前半	見込文行	露文		(9.2)	3.6	4.7
57	S F01	陶	不明	不明	口～底部	19c前半	見込文行	露文		(9.2)	3.6	4.7
58	TR70	陶	染付	不明	口～底部	19c前半	見込文行	露文		(9.2)	3.6	4.7
59	表保	陶	染付	不明	口～底部	19c前半	見込文行	露文		(4.0)	(4.0)	2.4
60	MD69	陶	染付	平清水?	口～底部	19c中頃	露文			(9.8)		(4.7)
61	LN21	陶	染付	平清水?	口～底部	19c中頃	露文			(10.2)		(4.1)
62	S B01	陶	染付	瀬戸?	口～底部	19c中頃	見込文行	露文		4.3	4.3	(2.2)
63	MC69	陶	不明	不明	完(障)	19c前半	見込文行	露文		7.6	3.9	6.1
64	SK101	陶	染付	湯飲み?	口縁部	19c中頃	露文			(8.0)		(3.3)
65	S Z02	陶	染付	湯飲み?	口～底部	18c中～末頃	見込文行	露文		(8.0)		(3.3)
66	SK101 東	陶	染付	湯飲み	口～底部	18c中～末頃	見込文行	露文		(7.5)		(3.8)
67	LQ71	陶	染付	湯飲み	口～底部	18c中～末頃	見込文行	露文		(7.4)		(3.6)
68	S E01	陶	染付	湯飲み	口～底部	19c中頃	露文			(4.0)		(3.3)
69	13トレンチ	陶	染付	湯飲み	口縁部	19c中頃	露文			(7.2)		(5.0)
70	MQ39	陶	染付	湯飲み	口～底部	19c中頃	露文			(6.7)		(3.8)
71	SK02 正	陶	染付	湯飲み	口～底部	19c中頃	露文			(7.0)		(3.7)
72	AE MN40	陶(障)	染付	湯飲み	完(障)	19c中頃	見込文行	露文		7.5	3.6	5.5

五世磁器

圖番	山土器圖	部位	類別	器種	產地	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	器高
73	B区 MN39	磁瓶	磁瓶	磁瓶	肥前	元(胎)	18c後半	見込五弁花向/ /菊文文		7.5	3.9	5.5
74		瓦土 染付	磁瓶	磁瓶	肥前	口~体部	18c中~末頃	/菊文文		8.2		5.3
75	SE01 南	瓦土 染付	磁瓶	磁瓶	肥前	体部	18c中~末頃	/菊文文				2.7
76	LM69	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	肥前	元(胎)	18c中~19c前半	見込文有/菊花文		11.4	6.9	6.2
77	B区 MQ36	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	元(胎)	19c初頃	18c末~19c前半	見込文有/菊花文		12.0	6.2	7.1
78	LO76	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	体~底部	18c末~19c前半	18c末~19c前半	見込文有/菊花文?			6.1	5.1
79	SE01 南	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	体~底部	18c末~19c前半	18c末~19c前半	見込文有/菊花文?			5.8	3.3
80	C区 南東	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	底面	18c前半	18c前半	見込文有/菊花文?			6.4	2.7
81	LN71	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	19c前半	19c前半	見込文有/菊花文?		3.7	5.0	4.7
82	LN71	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	19c前半	19c前半	見込文有/菊花文?			3.9	5.3
83	SE01 南	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	肥前?	口~体部	18c後半?	/菊花文		9.8	3.0	3.0
84	ME60	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	肥前?	口~体部	18c後半?	/菊花文		8.8	3.3	3.3
85	MC57	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	肥前	口~体部	18c末~19c前半	/菊花文		7.2	4.4	4.4
86	SE01 北	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	肥前	口~体部	18c末~19c前半	/菊花文		7.2	4.3	4.3
87	C区 南東	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	口~体部	18c後半?	/菊花文		9.4	4.1	4.1
88	LR70	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	口~体部	18c後半?	/菊花文		7.1	3.0	3.0
89	SZ02	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	口~体部	19c中頃	/菊花文		8.5	3.4	4.2
90	SE01 南	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	口~体部	19c中頃	/菊花文		9.6		3.7
91	MD69	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	口~体部	19c中頃	/菊花文		8.6		3.0
92	ME52	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	口~体部	19c中頃	/菊花文		8.9		3.3
93	LN71	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	胎子?	口~体部	19c中頃	/菊花文		8.9		3.0
94	LN70	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	元(胎)	19c中頃	見込文有/菊花文		11.0	4.0	5.4
95	SE01 南	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	元(胎)	19c中頃	見込文有/菊花文		11.0	4.0	5.5
96	C区 北東	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	19c中頃	見込文有/菊花文				2.4
97	LO74	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	19c中頃	見込文有/菊花文				4.0
98	表裏	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	元(胎)	19c中頃	見込文有/菊花文		8.6	2.9	4.0
99	MH61	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	19c中頃	見込文有/菊花文		8.2	4.8	6.5
100	MB59	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	19c中頃	見込文有/菊花文		9.5		2.9
101	MC36	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	19c中頃	見込文有/菊花文		10.5		3.5
102	SE01 南	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	19c中頃	見込文有/菊花文		8.0	6.3	6.3
103	SH13	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	18c中~末頃	口内四方瓣文/宝文		8.0		5.2
104	A区 MK48	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	体~底部	18c中~末頃	口内四方瓣文/宝文		8.0	6.4	6.0
105	B区	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	体~底部	18c中~末頃	口内四方瓣文/宝文		8.0	6.4	6.0
106	SZ02L P76	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	18c	见込文有/菊花文		7.8	4.8	4.8
107	SZ02	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	18c前半~中頃	见込文有/菊花文		6.2		4.3
108	SZ02	磁土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	18c前半~中頃	见込文有/菊花文			4.2	4.1
109	SZ02	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	18c前半~中頃	见込文有/菊花文			4.2	2.3
110	MF48	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	18c前半~中頃	见込文有/菊花文			4.2	2.6
111	NJ56	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	19c中頃	见込文有/菊花文		5.3	3.2	2.4
112	SK02 南	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	口縁部	18c中~末頃	见込文有/菊花文		9.5	4.1	2.7
113	LM86 水瀝	瓦土 染付	从茶碗	磁瓶	平清水?	体~底部	18c中~末頃	见込文有/菊花文		3.3		1.7

近世磁器

國標	出子位置	種別	器種	窯種	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	器高
114	L.N.71	磁土 染付	蓋	肥前	元(碗)	18C中~末頃	見込五弁花	口内四方唐文/唐文	(10.7)	(5.7)	2.6
115	毛繪鉢表	磁土 染付	蓋	肥前	元(碗)	18C中~末頃	/竹律		(10.7)	(6.0)	2.7
116	SK02 南	磁土 染付	蓋?	不明	体~底部	18C中頃				(4.1)	2.5
117	SK02 北	磁土 染付	蓋?	不明	体~底部	19C中頃				(4.3)	1.4
118	SK02 北	磁土 染付	蓋?	不明	体~底部	18C末~19C前半	見込文菊/	見込文菊/	(10.2)	5.6	3.0
119	L.017	磁土 染付	蓋	肥前	元	17C前半	見込つまみ内唐行/	見込つまみ内唐行/	(26.0)		1.6
120	S.D021.L.75	磁土 染付	大皿	肥前	口縁部	17C後半	/2本樹形唐文	/2本樹形唐文	(20.8)		2.1
121	MD67	磁土 染付	大皿	肥前	口縁部	17C後半	唐文/2本樹形唐文	唐文/2本樹形唐文		(108)	1.8
122	MF.64	磁土 染付	大皿	肥前	体~底部	17C後半	/2本樹形唐文	/2本樹形唐文	(125)	(108)	1.7
123	MH51	磁土 染付	大皿	肥前	体~底部	17C後半	花唐草 見込唐牡丹	花唐草 見込唐牡丹	(21.0)	13.1	3.4
124	S.D011.L.73	2層 染付	大皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	/花唐草 見込唐牡丹	/花唐草 見込唐牡丹	(20.2)	(13.0)	3.3
125	L.N.69	磁土 染付	大皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	唐文/唐文	唐文/唐文	(17.8)	(15.8)	1.5
126	S.Z.02	1層 染付	大皿	肥前	体~底部	18C中~末頃	唐文/唐文	唐文/唐文	(15.0)	(2.8)	1.4
127	8 トレンチ 北	磁土 染付	大皿	肥前	体~底部	18C前半~中頃	唐文/唐文	唐文/唐文	(14.4)	(11.8)	2.9
128	養磁	磁土 染付	大皿	肥前	体~底部	18C中~末頃	唐文/唐文	唐文/唐文	(6.8)		1.0
129	L.N.71	磁土 染付	大皿	肥前	口縁部	18C中~末頃	唐文/唐文	唐文/唐文			
130	L.N.70	磁土 染付	大皿	肥前	口縁部	18C中~末頃	唐文/唐文	唐文/唐文			
131	L.N.69	磁土 染付	大皿	肥前	口縁部	18C前半~中頃	唐文/唐文	唐文/唐文			
132	12 トレンチ	1層 染付	大皿	肥前	口縁部	18C前半~中頃	唐文/唐文	唐文/唐文			
133	S.E.01 南	磁土 染付	皿	不明	口~底部	19C前半	唐文/唐文	唐文/唐文	21.1	3.1	3.0
134	S.B.01	磁土 染付	皿	東北在地	口縁部	19C前半	唐文/唐文	唐文/唐文	(8.4)	(4.1)	1.7
135	C.区 中央	1層 染付	皿	肥前	口縁部	17C前半	唐文/唐文	唐文/唐文	(11.4)		1.6
136	L.N.71	磁土 染付	皿	肥前	口縁部	17C後半	唐文/唐文	唐文/唐文			2.8
137	MF.54	1層 染付	皿	肥前	口縁部	17C後半	唐文/唐文	唐文/唐文			2.0
138	M.1.56	1層 染付	皿	肥前	口縁部	17C後半	唐文/唐文	唐文/唐文			3.5
139	10 トレンチ	磁土 染付	皿	肥前	体~底部	18C前半~中頃	唐文/唐文	唐文/唐文	(12.9)	4.5	3.7
140	S.D011.Q.77	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(13.0)	(4.6)	3.7
141	C.区 南内	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(4.6)	(4.6)	2.2
142	MC.69	磁土 染付	皿	肥前	底部	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(4.0)	(4.0)	2.4
143	S.D021.L.75	1層 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(11.8)	(4.6)	3.5
144	CK 南東	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(12.2)	(5.2)	3.5
145	13 トレンチ	1層 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	13.4	4.6	4.0
146	S.D021.S.77	1層 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(12.0)	(4.6)	3.7
147	S.D021.S.77	1層 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(11.2)	(4.6)	3.7
148	S.D021.L.75	1層 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	13.0	6.7	2.8
149	S.B.01.南東	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(14.0)	(7.0)	3.2
150	N.K.37	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	(13.0)	(6.6)	3.1
151	MD.67	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪		(6.8)	2.1
152	S.Z.02	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪	13.2	7.5	3.5
153	SK.02 南	磁土 染付	皿	肥前	元(碗)	18C前半~中頃	見込龍の目輪刺子/高合無輪	見込龍の目輪刺子/高合無輪			

近世磁器

回響	用土位置	切刃	顔列	器種	產地	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	器高
154	MM44	II筒 染付	皿	肥前	肥前	完 (柄)	18C前半~中頃	松文/唐草文		(12.0)	(6.4)	3.8
155	S K02 出	埋土 染付	皿	肥前	肥前	口~底部	18C前半~中頃	草花文/唐草文		(12.6)	(7.0)	4.0
156	S Q01	II筒 染付	皿	肥前	肥前	体~底部	18C前半~中頃	身以五弁花		(7.4)	(7.4)	[2.3]
157	表様	II筒 染付	皿	肥前	肥前	口~底部	18C前半~中頃	草花文/唐草文		(1.4)	9.0	[1.4]
158	S K08 西	2層 染付	皿	肥前	肥前	口~底部	18C前半~中頃	草花文		(1.6)	(9.4)	2.5
159	8 トレンチ	襷乱 染付	皿	肥前	肥前	口縁部	18C前半~中頃	身以輪十目筋文 / 桜の目四筋文		(13.0)	(9.4)	[2.3]
160	S K10	埋土 染付	皿	切込	切込	完 (柄)	19C前半	身以輪十目筋文 / 桜の目四筋文		(13.3)	(7.4)	3.2
161	表様		皿	不明	不明	完 (柄)	19C前半	身以輪十目筋文 / 桜の目四筋文		13.1	7.0	3.5
162	L 071	磁土 白磁	皿	不明	不明	完 (柄)	19C前半	身以輪十目筋文 / 桜の目四筋文		(14.2)	6.7	3.4
163	MC68	磁土 染付	皿	肥前	肥前	完 (柄)	18C中~末頃	身以草花文	山口	(10.4)	(6.4)	2.0
164	MD67	磁土 染付	皿	肥前	肥前	完 (柄)	18C中~末頃	身以草花文		(10.4)	(6.4)	2.1
165	S K02 南	埋土 染付	皿	肥前	肥前	完 (柄)	18C中~末頃	身以五弁花 文差線分/唐草文		(9.8)	(5.2)	2.1
166	MC69	磁土 染付	皿	肥前	肥前	完 (柄)	18C中~末頃	花間草/唐草文		(10.4)	(5.6)	1.8
167	MC70	II筒 染付	皿	肥前	肥前	口縁部	18C中~末頃	草花文?/唐草文		(8.6)		[1.4]
168	LN75	I筒 染付	皿	肥前	肥前	口縁部	18C中~末頃	草花文?/唐草文		(11.0)		[1.8]
169	MF37	埋土 染付	皿	肥前	肥前	底部	18C中~末頃	身以五弁花		3.8	5.0	1.9
170	AS、MC56	II筒 染付	皿	肥前	肥前	完	18C中~末頃	草花文/唐草文		(10.4)		[1.7]
171	S K02 南	埋土 染付	皿	肥前	肥前	口~底部	18C中~末頃	草花文/唐草文		(10.4)		3.3
172	MH44	II筒 染付	皿	肥前	肥前	完 (柄)	17C前半	身以草花文		(9.4)		1.8
173	MH44	II筒 染付	皿	肥前	肥前	口~底部	17C中頃	草花文/唐草文		(8.0)		3.2
174	MH44	II筒 染付	皿	肥前	肥前	口~底部	17C中頃	草花文/唐草文		(8.0)		3.2
175	MH45	II筒 染付	皿	肥前	肥前	口~底部	17C中頃	草花文/唐草文		(8.0)		1.9
176	SD02 L 75	埋土 染付	皿	手塩皿?	肥前	底部	1640~1650	草花文?/桜の目筋文		(3.8)	3.3	[0.9]
177	S K08	2層 染付	皿	手塩皿?	肥前	口縁部	18C中~19C初頃	草花文/唐草文		(17.9)		[1.9]
178	S Z02	1層 染付	皿	手塩皿?	肥前	口縁部	18C中~19C初頃	草花文/唐草文				[2.3]
179	SE01南東	表土 白磁	皿	手塩皿?	肥前	完	19C中頃	草花文/唐草文		9.5	5.0	2.9~2.5
180	10 トレ 出	表土 白磁	皿	手塩皿?	肥前	完 (柄)	19C中頃	草花文/唐草文		10.1	5.7	1.4~1.9
181	SD02 L D75	埋土 染付	皿	手塩皿?	不明	口~底部	19C前半	唐草文/唐草文		(12.6)		[2.6]
182	S K08 西	2層 染付	皿	手塩皿?	不明	完 (柄)	19C前半	唐草文/唐草文		8.2	3.7	2.4
183	表様	I層	皿	手塩皿?	不明	完 (柄)	19C前半	草花文/唐草文		(6.3)	(3.8)	2.5
184	ML40	襷乱 白磁	皿	手塩皿?	不明	完 (柄)	19C中頃	草花文/唐草文		(8.0)	(3.7)	2.2
185	S K02 南	埋土 染付	皿	手塩皿?	不明	口~底部	18C前半	草花文/唐草文		(8.0)	(5.2×3.0)	2.5
186	S K02 出	埋土 染付	皿	手塩皿?	不明	口~底部	18C前半	草花文/唐草文		(8.0)		2.3
187	VD67	磁土 染付	皿	手塩皿?	不明	口~底部	19C中	草花文/唐草文		(8.5)	(幅3.2)	[1.2]
188	S K02 北	埋土 染付	皿	手塩皿?	不明	口~底部	19C前半	草花文/唐草文		(9.6)		[2.7]
189	L M69	磁土 染付	皿	手塩皿?	不明	口~底部	19C前半	草花文/唐草文		(8.0)		[1.1]
190	S E01 東	表土 白磁	皿	手塩皿?	不明	口縁部	19C中頃	草花文/唐草文		(8.0)		[1.1]
191	SW01	襷乱 染付	皿	手塩皿?	不明	口縁部	17C後半	草花文/唐草文		(12.0)		[4.9]
192	MO35	襷乱 染付	皿	手塩皿?	不明	体部	17C後半	草花文/唐草文				[2.6]

五世磁器

図番	用土位置	器種	器名	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	底平	底高	口径	底径	底平	底高	口径	底径	底平	底高
193	L.N70	鉢	鉢	口~底部	18c中~19c初頃	無文	無文	(13.8)											
194	S.K02	甗	肥前	口~底部	18c中~米頃	花鳥文	無文	(8.4)											
195	田区 MO-40	鉢	肥前	口~底部	18c中	花鳥文	無文	(8.4)											
196	S.K.1.01	甗	肥前	口~底部	18c中~米頃	山内唐物/唐文	無文	(12.4)											
197	S.Q05	土師 染付	肥前	口~底部	18c中~米頃	見立五弁花/唐文	無文	4.8	(4.0)										
198	L.N70	衣土 染付	肥前	底	19c前半	八角菱巻手	無文	(18.8)	7.4	6.3									
199	S.D01	瓶	肥前	底	17c後半	無文	無文/瀟目文? 高台鉄筋	(9.5)	7.5	(3.6)									
200	M.C68	壺	肥前	底	17c後半	無文	無文/瀟目文	(4.6)											
201	S.D01	瓶	肥前	底	17c後半	無文	無文/瀟目文												
202	L.M69	瓶	肥前	底	17c後半	無文	無文												
203	友様	瓶	肥前	底	18c前半~中頃	無文	無文												
204	MD38	瓶	肥前	底	18c前半~中頃	無文	無文	(4.8)											
205	L.Q72	瓶	肥前	底	18c中~米頃	無文	無文/瓶の目形高台	(9.0)	1.8										
206	M.J47	瓶	肥前	口縁部	19c	無文	無文	(4.6)											
207	S.P38	瓶	肥前	底	19c中頃	彩ひょうたん形?	無文												
208	S.S02	甗	肥前	口~底部	19c中頃	無文	無文 赤色唐物/瀟目文	(4.8)											
209	S.H14	甗	肥前	口~底部	19c前半?	無文	無文												
210	S.K08	小鉢?	肥前	口~底部	不明	無文	無文												
211	S.E01	甗	肥前	口~底部	19c中頃	無文	無文												
212	S.F01	甗	肥前	口~底部	19c中頃?	無文	無文												
213	L.M69	甗	肥前	口~底部	18c中~米頃	無文	無文	(12.4)											
214	S.D02L.Q77	甗	肥前	口~底部	17c中頃	無文	無文/唐文												
215	C.K	甗	肥前	口~底部	18c中~米頃	無文	無文/瓶の目形高台	(6.3)	4.7										
216	L.O75	甗	肥前	口~底部	18c中~米頃	無文	無文/瓶の目形高台	(8.6)	4.7										
217	S.E01	甗	肥前	口~底部	17c中頃	無文	無文/瓶の目形高台	(5.8)	2.7										
218	S.E01	甗	肥前	口~底部	17c後半	無文	無文/瓶の目形高台	(7.2)	3.9										
219	A.F ML46	甗	肥前	口~底部	18c前半~中頃	無文	無文												
220	L.Q77	甗	肥前	口~底部	19c中頃	無文	無文	(6.3)											

近世陶器

図番	用土位置	器種	器名	部位	時期	文様	内面/外面	口径	底径	底平	底高	口径	底径	底平	底高	口径	底径	底平	底高
221	C区北7	甗	肥前	口縁部	18c前半	無文	無文	(10.2)											
222	L.74	甗	肥前	口縁部	18c前半	無文	無文	(10.0)	4.6										
223	L.Q72	甗	肥前	口縁部	18c前半	無文	無文	(3.5)	3.1	3.1									
224	L.N69	甗	肥前	口縁部	18c前半	無文	無文	(9.0)	(4.2)										
225	S.D02L.M75	甗	肥前	口~底部	17c後半~18c前半	無文	無文	(1.8)	1.8	1.8									
226	L.O74	甗	肥前	口~底部	17c後半~18c前半	無文	無文	(10.6)	5.6	4.7									
227	S.D02L.P76	甗	肥前	口~底部	17c後半~18c前半	無文	無文	(9.8)	3.3	4.4									
228	A.G MG54	甗	肥前	口~底部	18c前半	無文	無文	(12.2)	4.5	3.3									
229	B区 MF35	甗	肥前	口~底部	18c前半	無文	無文	(9.9)	4.9	3.3									

近世陶器

図番	出土位置	部位	時期	文様・市印/外所	口径	底径	高さ	動源	出土
230	C区 西壁	胴部	17c後半~18c前半	/灰手 高台無縁		5.1	(2.6)	灰白	灰白
231	MA67	底部	17c後半~18c前半	/灰手 高台無縁		(4.2)	(3.9)	灰白	灰白
232	S F 02 L O 7 6	体~底部	17c後半~18c前半	/灰手 高台無縁		(4.6)	(3.4)	灰白	灰白
233	MA71	口~体部	18c前半	/灰手 高台無縁	(11.0)		4.0	灰白	灰白
234	S K 02 北	口~体部	18c後半~19c	/灰手 高台無縁	(9.5)		(4.4)	灰白	灰白
235	6 トレンチ	口~体部	18c後半~19c初	/灰手 高台無縁	(11.4)		(3.8)	灰白	灰白
236	衣鉢	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(11.2)	(5.5)	(3.6)	灰白	灰白
237	7 トレンチ	口~体部	18c	/灰手 高台無縁		4.9	(1.1)	緑釉	灰白
238	B区 MN40	口~体部	18c~19c前	/灰手 高台無縁			(2.6)	緑釉	灰白
239	S E 01 南	口~体部	18c~19c	/灰手 高台無縁	(9.1)		(3.9)	緑釉	灰白
240	S F 01 北	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(10.6)		(2.9)	透明釉	灰白
241	S K 02 北	口~体部	18c~19c	/灰手 高台無縁	(9.6)		(1.8)	灰白	灰白
242	S D 01 L K 7 3	口~体部	19c?	/灰手 高台無縁	(9.2)		(4.1)	灰白	灰白
243	C区 州西	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(11.8)		(4.0)	灰白	灰白
244	M R 38	口~体部	18c~19c	/灰手 高台無縁	(8.7)		(5.0)	透明釉	灰白
245	C区 南西	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(10.6)		(4.5)	透明釉	灰白
246	S K 02 南	口~体部	18c	/灰手 高台無縁	(10.4)		(3.4)	灰白	灰白
247	L M 70	口~体部	18c	/灰手 高台無縁	(10.0)		(4.5)	灰白	灰白
248	C区中央部	口~体部	18c	/灰手 高台無縁	(9.8)	4.3	6.1	透明釉	灰白
249	B区 MQ36	口~体部	19c前	/灰手 高台無縁			(5.9)	灰白	灰白
250	MA70	口~体部	19c前	/灰手 高台無縁	(9.4)		(3.8)	透明釉	灰白
251	B区 MO40	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(10.8)		(3.2)	灰白	灰白
252	MD67	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(11.6)		(1.9)	透明釉	灰白
253	衣鉢	口~体部	19c	/灰手 高台無縁			(2.4)	灰白	灰白
254	S E 01 南東	口~体部	18c	/灰手 高台無縁	(9.6)		(2.3)	透明釉	灰白
255	M K 53	口~体部	19c	/灰手 高台無縁			(3.0)	透明釉	灰白
256	M B 70	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(9.8)		(3.6)	灰白	灰白
257	A区 MM48	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(4.4)		(3.6)	灰白	灰白
258	A区 MN40	口~体部	19c前	/灰手 高台無縁		3.7	(3.4)	透明釉	灰白
259	C区 南西	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(4.6)		(2.7)	透明釉	灰白
260	A区 MG55	口~体部	19c前	/灰手 高台無縁	(5.2)		(2.9)	透明釉	灰白
261	L M 69	口~体部	18c	/灰手 高台無縁	3.8		(1.0)	透明釉	灰白
262	S D 02 L L 7 5	口~体部	18c	/灰手 高台無縁	(4.2)		(1.4)	透明釉	灰白
263	A区 ML30	口~体部	19c前	/灰手 高台無縁	(4.0)		(3.2)	透明釉	灰白
264	S K 02 南	口~体部	18c	/灰手 高台無縁	(4.6)		(2.0)	透明釉	灰白
265	S F 01	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(3.2)		(2.5)	透明釉	灰白
266	S K 101 東	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(3.7)		(1.4)	透明釉	灰白
267	MA71	口~体部	18c?	/灰手 高台無縁		5.3	(2.2)	透明釉	灰白
268	1 トレンチ 南	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(9.6)		(4.8)	透明釉	灰白
269	ML41	口~体部	19c	/灰手 高台無縁	(13.8)		(3.3)	透明釉	灰白
270	衣鉢	口~体部	18c後半	/灰手 高台無縁	(8.0)		(5.6)	透明釉	灰白

近世動植物

阿波	出土地位置	標本	採集	所在地	部位	時期	文様	内面/外面	口徑	底径	高さ	胎線	胎土
271	B区 MN40	胎土	丸(筒)	瀬戸	胎土	19c前	見立五弁花? / 高台蓋物		(6.8)	(3.7)	(2.3)	高台胎	胎土
272	SD01	胎土	丸(筒)	瀬戸	胎土	19c	見立五弁花? / 高台蓋物		(6.8)	2.6	3.7	胎線	胎土
273	LM69	胎土	丸(筒)	瀬戸	胎土	18c~19c	無胎		(5.1)	3.0	3.2	高台胎	胎土
274	AK MN-40	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(6.1)	2.0	2.6	高台胎	胎土
275	AK MN-47	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	高台蓋物		(8.8)	2.0	1.0	高台胎	胎土
276	6-Tレノン	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c	高台蓋物		(8.8)	1.7	1.8	胎線	胎土
277	SK02	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c	高台蓋物		(8.8)	1.7	1.8	胎線	胎土
278	SK105	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物		(8.8)	6.6	2.2	胎線	胎土
279	I. 172	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(7.2)	(3.0)	(1.5)	胎線	胎土
280	LR70	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(4.2)	(7.6)	1.3	高台胎	胎土
281	SK02	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(7.6)	4.7	(2.0)	胎線	胎土
282	SE01	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(7.6)	4.7	(1.7)	胎線	胎土
283	SE01	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(8.1)	(8.1)	(5.2)	胎線	胎土
284	SK02	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(8.1)	(8.1)	(5.2)	胎線	胎土
285	SK02	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	無胎		(14.0)		(1.8)	胎線	胎土
286	MJ55	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	17c	無胎		(12.2)		(2.0)	胎線	胎土
287	AK MN58	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	17c後半	無胎		(21.6)		(2.4)	胎線	胎土
288	AK MN39	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c~19c前半	無胎				(0.9)	胎線	胎土
289	SE01	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c	無胎			5.4	(2.4)	胎線	胎土
290	SE01	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c	無胎			5.6	(1.7)	胎線	胎土
291	6-Tレノン	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c	高台蓋物			7.0	(2.0)	胎線	胎土
292	SE01	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c	高台蓋物			(10.6)	(2.3)	胎線	胎土
293	MC68	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物				1.8	胎線	胎土
294	SE01	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物			4.4	4.1	胎線	胎土
295	SK101	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物			(13.8)		胎線	胎土
296	BE MO40	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	高台蓋物			(6.8)	2.9	胎線	胎土
297	SE01	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c~19c	高台蓋物			(4.4)	3.4	胎線	胎土
298	MC69	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物			(8.0)	(1.7)	胎線	胎土
299	CK	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物			(9.3)	(1.4)	胎線	胎土
300	AK MN47	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c前半	高台蓋物			6.3	(2.3)	胎線	胎土
301	C区	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物				3.6	胎線	胎土
302	C区	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	19c	高台蓋物				2.4	胎線	胎土
303	SQ03MA72	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	17c前半	高台蓋物			(14.2)		胎線	胎土
304	MB70	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	17c	高台蓋物				2.8	胎線	胎土
305	MA69	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	17c後半~18c前半	高台蓋物			(37.9)	4.5	胎線	胎土
306	SF01R74	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c前半	高台蓋物			(17.7)	8.0	胎線	胎土
307	B区 MF-40	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c前半	高台蓋物			(30.8)	(1.9)	胎線	胎土
308	LM69	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	17c後半~18c前半	高台蓋物				2.4	胎線	胎土
309	Iトレノン	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c前半	高台蓋物			(36.0)	(4.6)	胎線	胎土
310	MIN38	胎土	丸(筒)	大塚田馬	胎土	18c前半	高台蓋物				(4.6)	胎線	胎土

近世陶器

図番	川土位置	窯位	器種	産地	部位	時期	文様・内面/外面	口径	底径	高さ	軸溝	胎土
311	C区	灰土 鉢	配筒	東北	底部	18c前半	/二文 白化斑 黒網			3.3	灰輪	灰
312	L T72	土 鉢	配筒	東北	底部	18c前半	/二文 白化斑 下灰輪			6.1	灰輪	灰
313	SD02LN75	埋土 鉢	配筒	東北	底部	17c後半~18c前半	/高台 白化斑		(11.8)	3.6	透灰輪	に灰白赤層
314	市区	配筒 鉢	肥前	東北	底部	18c前半	/高台 黒網		(6.3)	3.7	透明輪	灰赤層
315	SD01LL73	1層 鉢	肥前	小野相馬	完(底)	18c後半?	/高台 黒網 白化斑	(28.8)	(11.6)	2.4	透灰輪	に灰白赤 砂
316	SD01LK73	1層 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c	/高台 黒網	(14.8)		4.1	黒灰筋	黒灰層
317	C区 南西	灰土 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c				2.4	灰輪	黒灰筋
318	LN70	灰土 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c		(23.6)		8.3	灰輪	に灰白赤層
319	L L69	灰土 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c		(19.7)		6.0	灰輪	赤層
320	L M69	灰土 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c		(88.0)		111.3	透灰輪?	灰
321	LN70	灰土 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c		(14.4)		3.3	赤灰輪	灰白
322	B K MO40	覆土 鉢	大野相馬	東北在産	口~底部	19c前半		(14.2)		6.3	赤灰輪	灰
323	S K101 東	1層 鉢	東北	東北在産	口~底部	19c		(18.4)		7.2	透灰輪	灰
324	SE01 南	灰土 鉢?	東北	東北在産	口縁部	19c	下黒網/口化斑	(25.2)		[15.5]	赤層	灰
325	SE01 南	灰土 鉢?	東北	東北在産	口縁部	19c				4.5	灰輪	灰
326	S Z02	灰土 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c			(11.4)	4.9	透灰筋	灰白
327	S F02L J73	灰土 鉢	東北	東北在産	口縁部	19c			(14.9)	5.3	透灰筋	赤層
328	SE01 南側	灰土 鉢	東北	東北在産	底部	19c	/高台 黒網		12.6	4.7	透灰輪	灰白
329	L R74	灰土 鉢	東北	東北在産	底部	19c	/高台 黒網		16.3	5.7	灰輪	灰
330	S Z02	灰土 鉢	東北	東北在産	底部	19c	黒網/高台 黒網		(7.0)	[2.6]	透灰筋	に灰白赤層
331	C区 東部	1層 鉢	東北	東北在産	底部	19c	/高台 黒網	(10.0)	2.4		黒網	に灰白赤層
332	MD67	灰土 鉢	東北	東北在産	底部	19c	/高台 内灰筋		7.7	3.9	透筋	灰
333	S E01 南	灰土 鉢	東北	東北在産	底部	19c	/高台 内灰筋		(10.6)	3.5	透灰筋	灰白
334	灰棟	鉢	南戸	東北	底部	19c	/高台 内灰筋	(23.4)		6.0	灰輪	灰白
335	2 トレンチ	II層 甕	肥前?	東北	口縁部	19c		(31.2)		[19.3]	灰輪	高灰層
336	C区	盛土 甕	肥前?	東北	底部	18c?	/黒網		8.0	3.1	透灰筋	赤灰層
337	C K 南西	I層 甕	肥前?	東北	底部	18c?	灰輪/口縁灰筋	15.2		16.9	灰輪	灰
338	C K 南西	盛土 甕	東北	東北在産	完(底)	19c		18.4	11.1	[20.3]	灰輪	黒網
339	12 トレンチ	I層 甕	東北	東北在産	完(底)	19c		(9.5)	(5.3)		灰輪	黒網
340	SE01	筋溝 甕	東北	東北在産	口縁部	19c		(7.4)		3.5	筋溝	黒網
341	11 トレンチ	I層 甕	東北	東北在産	口縁部	19c	灰輪/口縁灰筋	(13.4)		7.1	灰輪	灰
342	MH5	表土 甕	東北	東北在産	口縁部	19c		(21.2)		9.2	高筋	筋
343	SE01	筋溝 甕	東北	東北在産	口縁部	19c	/口縁筋 灰筋 黒網	(15.6)		5.9	白筋輪?	灰白
344	S F01	表土 甕	東北	東北在産	口縁部	19c				10.7	白筋輪?	灰赤
345	13 トレンチ	表土 甕?	東北	東北在産	口縁部	19c				5.4	透灰筋	に灰白赤層
346	S F01L P74	1層 甕	東北	東北在産	体~底部	19c			8.4	5.2	灰輪	明赤層
347	MC60	覆土 甕	東北	東北在産	底部	19c		(19.4)		4.5	灰輪	明赤層
348	S F01	1層 甕	東北	東北在産	底部	19c	/高台 黒網		(6.1)	5.2	灰輪	明赤層
349	MH51	灰土 甕	東北	東北在産	底部	19c	/包体 灰筋		(11.0)	3.6	灰輪	筋
350	SE01 南	灰土 甕	東北	東北在産	底部	19c	/包体 灰筋		11.2	5.1	灰輪	黒網
351	SD02LM75	埋土 甕鉢	南戸	東北	口縁部	18c~19c	/口縁筋 灰筋 返し	(37.6)		17.4	灰輪	灰筋

近世動器

図号	型名	部材	部種	産地	部位	時期	文様	内面/外面	口径	直径	器高	註記	胎土	
352	C区 内面	I 圓筒鉢	瀬戸	口縁部	18c~19c				(28.0)	(28)	28	鉄輪	灰黄	
353	M B70	II 圓筒鉢	瀬戸	口縁部	18c~19c		/口縁部折り返し		(31.4)	(47)	47	鉄輪	灰黄	
354	MD67	III 圓筒鉢	瀬戸	口縁部	18c~19c		/口縁部折り返し		(38.0)	(6.3)	6.3	鉄輪	灰白	
355	S Q05	IV 圓筒鉢	瀬戸	口縁部	18c~19c		/口縁部折り返し		(29.2)	(4.7)	4.7	鉄輪	灰黄	
356	S B01	III 圓筒鉢	瀬戸	口縁部	18c前				(36.7)	(4.1)	4.1	鉄輪	にぶい赤褐色	
357	B区 M N40	II 圓筒鉢	瀬戸	口縁部	18c前		/口縁部折り返し		(14.4)	(9.3)	9.3	鉄輪	灰黄	
358	S E01 南	III 圓筒鉢	瀬戸	口縁部	18c~19c		/口縁部折り返し		(5.9)	(1.1)	1.1	鉄輪	灰白	
359	M C58	II 圓筒鉢	西津	口縁部	17c		/口縁部折り返し		(11.8)	(6.9)	6.9	鉄輪	にぶい赤褐色	
360	M I57	II 圓筒鉢	西津	口縁部	17c		/口縁部折り返し			(5.1)	5.1	鉄輪	にぶい赤褐色	
361	M I51	II 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(85.0)	(3.6)	3.6	鉄輪	黒	
362	L R74	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(32.0)	(4.2)	4.2	鉄輪	にぶい赤褐色	
363	L N71	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部			/口高部 筋鉄輪		(30.0)	(4.2)	4.2	鉄輪	灰	
364	S E01 北	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(27.0)	(3.0)	3.0	鉄輪?	明赤褐色	
365	8 トレン子	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(31.4)	(4.1)	4.1	鉄輪	にぶい赤褐色	
366	S E01	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部			/口縁部折り返し		(27.0)	(5.9)	5.9	鉄輪	黒	
367	L N71	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(30.9)	(9.8)	9.8	鉄輪	黒	
368	M B70	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(29.6)	(7.2)	7.2	鉄輪	明赤褐色	
369	C E2	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(26.2)	(7.9)	7.9	鉄輪	明赤褐色	
370	S E01 南	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部						(14.8)	(6.1)	6.1	鉄輪	にぶい赤褐色
371	S D01 L K73	I 圓筒鉢	東北在産	口縁部						(5.0)	5.0	鉄輪	にぶい赤褐色	
372	13 トレン子	I 圓筒鉢	東北在産	口縁部						(4.2)	4.2	鉄輪	黒	
373	S E01	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部					(7.6)	(3.5)	3.5	鉄輪	明赤褐色	
374	I N71	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部			無輪/口縁部折り返し			(2.0)	2.0	鉄輪	高黄褐色	
375	A K M C56	II 圓筒鉢	大塚相馬	口縁部	19c		無輪/縁部折り返し		(9.0)	(3.5)	3.5	鉄輪	明赤褐色	
376	C K 南西	I 圓筒鉢	大塚相馬	口縁部	19c		無輪/縁部折り返し							
377	L M69	III 圓筒鉢	大塚相馬	口縁部	19c		筋鉄輪/取手・口 - 筋鉄輪		(14.6)	(6.2)	6.2		灰白	
378	M I451	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部	19c		筋鉄輪/無輪		(6.4)	(3.2)	3.2		明赤褐色	
379	M I51	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部	19c		筋鉄輪/無輪		(8.0)	(4.4)	4.4		明赤褐色	
380	S B01	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部	近世		筋鉄輪/無輪		(13.0)	(11.7)	11.7		自然焼?	
381	S B01	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部	近世		筋鉄輪/無輪		(11.4)	(3.3)	3.3		自然焼?	
382	表裏	III 圓筒鉢	香申所	口縁部	18c~19c		無輪		(10.4)	(3.2)	3.2		灰白	
383	C区 内面	III 圓筒鉢	瀬戸・美濃	口縁部	18c~19c		筋鉄輪		(12.0)	(4.2)	4.2		赤褐色	
384	S D01 O75	III 圓筒鉢	瀬戸・美濃	口縁部	18c後部~19c		筋鉄輪/筋鉄輪		(12.7)	(9.1)	9.1		赤褐色	
385	M M36	III 圓筒鉢	瀬戸・美濃	口縁部	18c~19c		筋鉄輪/筋鉄輪		(8.8)	(3.5)	3.5		灰白(筋鉄輪)	
386	A K M D58	III 圓筒鉢	瀬戸・美濃	口縁部	18c~19c		筋鉄輪/筋鉄輪		(11.0)	(4.1)	4.1		筋鉄輪	
387	L Q71	III 圓筒鉢	瀬戸・美濃	口縁部	18c~19c		筋鉄輪/筋鉄輪			(2.7)	2.7		灰白	
388	C E2	III 圓筒鉢	瀬戸・美濃	口縁部	18c~19c		筋鉄輪/筋鉄輪		(10.6)	(1.4)	1.4		明赤褐色	
389	L L71	III 圓筒鉢	肥前	口縁部	18c		筋鉄輪/筋鉄輪		(6.4)	(7.9)	7.9		明赤褐色	
390	S E01 北	I 圓筒鉢	東北在産	口縁部	19c		筋鉄輪/筋鉄輪		(15.7)	(5.8)	5.8		明赤褐色	
391	10 トレン子	III 圓筒鉢	東北在産	口縁部	19c		筋鉄輪/筋鉄輪		(16.7)	(5.7)	5.7		明赤褐色	

## 近世陶器

図番	皿・土台置	形状	装飾	産地	部位	時期	文様・内面/外面	口径	底径	器高	結露	胎土
392	L R74	壺工 仏化瓶		瀬戸・美濃	18c~19c				8.7	[9.9]	釉施	灰白
393	C区 南門	壺工 灯明具?		瀬戸・美濃	18c~19c				(11.7)	[3.8]	火輪(漆黄)	淡黄
394	L M69	壺工 灯明台		東北在産	19c				5.5	[1.5]	釉施	灰白
395	C区 悟西	I 厨 火鉢		瀬戸・美濃	19c			(23.6)		[3.3]	釉施	灰白
396	L O71	壺工 火鉢		瀬戸・美濃	19c					[5.0]	釉施	灰白
397	S F01	I 厨 火鉢		瀬戸・美濃	19c					[6.9]	釉施	灰白
398	7 トレン子 北	壺工 火鉢		瀬戸・美濃	19c				(17.6)	[3.8]	漆油	灰白
399	S区 M1 98	楕圓 火鉢		瀬戸	19c前				(10.5)	-4.1]	釉施	灰白
400	S F01 L R76	支1 火鉢座		東北在産	19c			(30.0)		2.5]		
401	S K101	壺工 火鉢座		東北在産	19c			(35.4)		4.9]		
402	S E01 併	壺工 火鉢座		東北在産	19c			(22.0)		[8.3]		
403	S K101	I 厨 火鉢座		東北在産	19c			(31.6)		[2.2]		
404	C区 附	壺工 火鉢座		東北在産	19c			(18.0)		14.7]		
405	L N71	壺工 火鉢座		東北在産	19c			(20.1)		[9.9]		
406	M G50	壺工 火鉢座		東北在産	19c			(21.4)		[9.5]		
407	M G50	壺工 燈台		東北在産	19c			(24.1)		[20.3]	無釉	粗砂泥
408	M G51	壺工 燈台		東北在産	19c			(24.1)		20.0]	無釉	粗砂泥
409	M G50	壺工 燈台座		東北在産	19c			(19.4)		20.0]	無釉	粗砂泥
410	S E01 南東	壺工 燈台座		東北在産	19c			(21.5)		6.4]		
411	M G50	壺工 燈台座		東北在産	19c			(25.2)		7.4]		
412	L M69	壺工 燈台座		東北在産	19c			(15.4)		2.4]		
413	S E01 南東	壺工 燈台座		東北在産	19c			(27.4)		7.0]		
414	M G50	壺工 燈台座		東北在産	19c			(27.0)		[7.3]		
415	L M69	壺工 燈台座		東北在産	19c			(11.3)		[5.9]		
416	M H51	壺工 燈台座		東北在産	19c			(11.0)		[11.6]		
417	S F01 併	壺工 燈台座		東北在産	19c			(4.3)		[6.2]		
418	L M69	壺工 燈台座		東北在産	19c			(16.9)		[6.0]		
419	L M69	壺工 燈台座		東北在産	19c			(11.1)		[1.6]		
420	S D02 L Q76	壺工 燈台座		東北在産	19c			(36.5)		[43.7]		
								(10.6)		[3.6]	無釉	灰白

C. 漆器・木製品 (第207図, 写真図版154)

漆器7点と木製品8点を図示した。SK02土坑から出土したものが多く、年代の下限は近代と思われる。1～3は漆器椀で、内面に赤漆、外面は赤漆に黒漆を重ね塗りしたもので、1はさらに赤漆で文様が描かれる。4は下駄の歯で赤漆、5・6は板状のもので5は黒漆、6は赤漆が塗られている。7は赤漆の箸である。8は箸と思われるものである。9～11は桶もしくは柄杓の底板である。12は黒漆が表裏に付着した刷毛で、漆塗りに使用したものと思われる。13は焼き印のある板、14は櫛、15は玩具の刀の鐔、16は刀の鞘である。

D. 石製品(第208・209図, 写真図版155)

中世～近代と思われるものが15点出土した。いずれも出土状況のこともあって年代の詳細は不明である。1・2の石臼は下臼である。刻み目は中心の貫通孔から放射状にあり、1の刻み目は赤色顔料が付着していた。3～6は石鉢である。内外面とも比較的調整は丁寧で、4は特に成形が整っている。5・6の底面は平坦でやや大きく座りがよい。7～14は砥石で、7～13は表裏両面とも使われた扁平な長方形のもの、14は碗の転用品で数条の線條がある。15は黒礬石である。

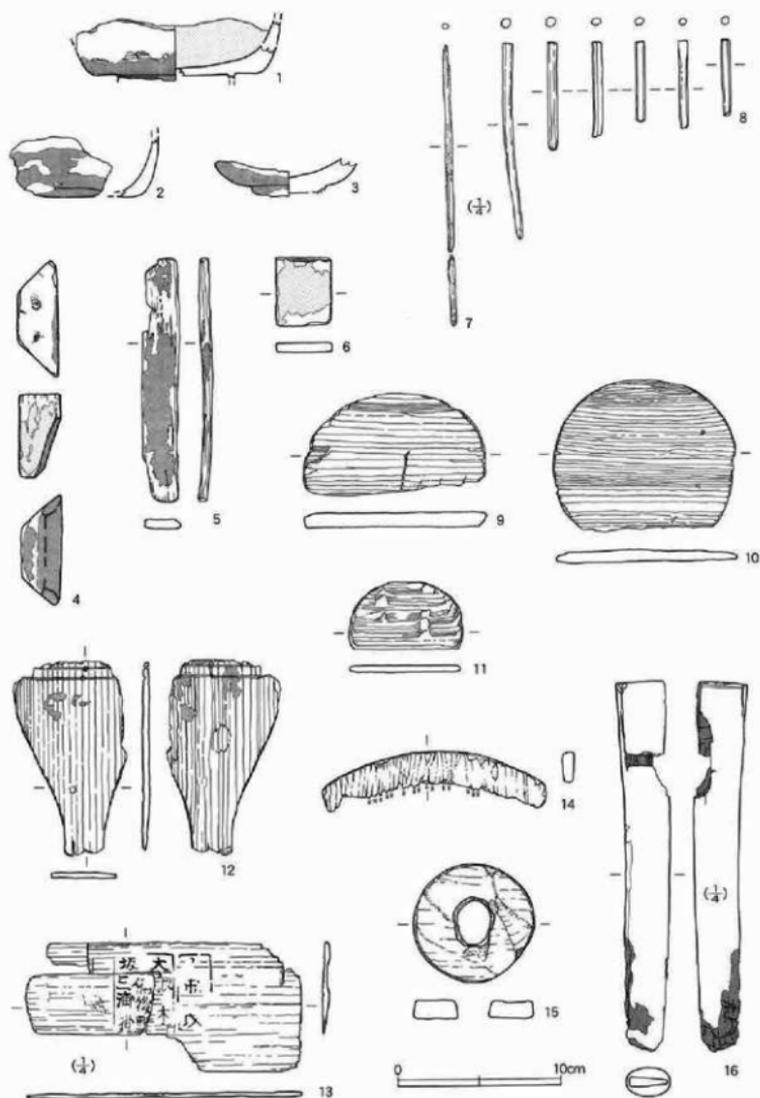
E. 銭貨・金属製品(第210～214図, 写真図版156・157)

近世の銭貨は約30点出土したが、腐食が著しく判別不可能なものを除いた20点を図示した。1・2は江戸時代初期の永楽通寶である。3～19は寛永通寶で、3～6は古寛永、7・8は背に「文」の字のある所謂文銭、9～16は新寛永である。20は幕末の文久永宝である。

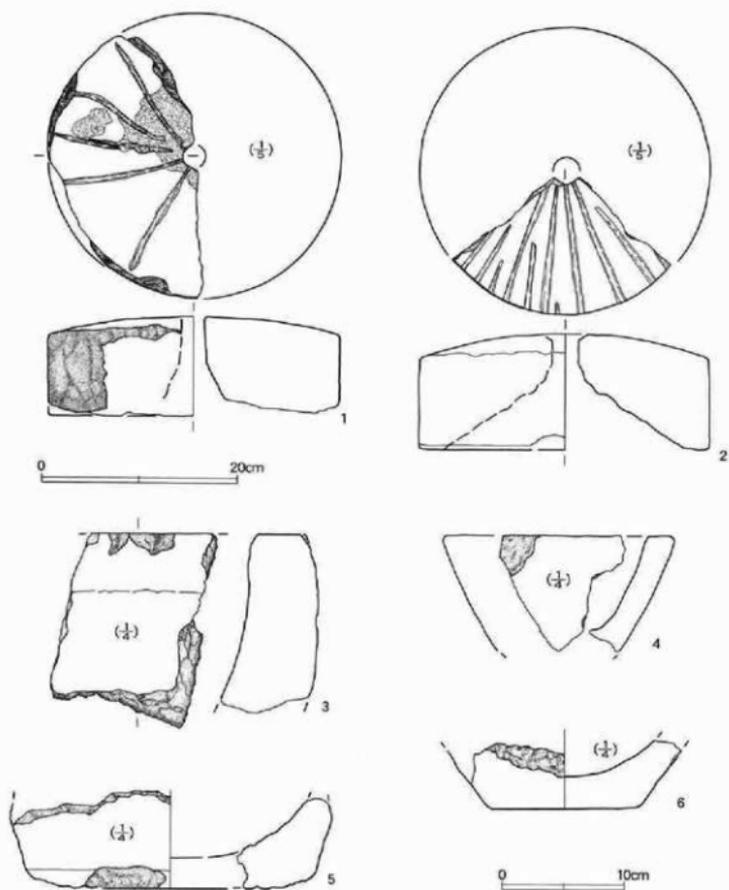
銭貨を除いた金属製品は100点ほど出土したが、明らかな近・現代ものや腐食のひどいものと小片で形態の不明なものを除いた53点を図示した。銅製品と鉄製品がある。1～15は角釘で一端を折って頭としたものである。断面が四角のものや板状のものがある。16～28は煙管である。16の火皿は首部との接合部に補強帯が巻かれたもので、17世紀代のもと思われる。17～20は煙首である。17・18は補強帯がなく、脂返しの湾曲は小さいもので18世紀後半、19・20の火皿は小型で逆台形を呈し、脂返しの湾曲がないもので19世紀代と思われる。21～28は吸い口である。肩のある21は17世紀後半、22～26は18世紀代、27・28は19世紀代のもと思われる。29は筒形の器で香炉かもしれない。鐸形の30は風鈴もしくは鈴、31は唐子飾、34は簪である。38～40は家具の付属部品、42・46・51～53も家具に付属する部品と思われる。

第21表 木製品観察表

図番	品 種	出土位置	出土層位	長 さ	幅	厚 さ	製 種	備 考
1	漆碗	衣塚		底径7.1	高(3.7)			内面漆塗布、外面漆に木肌残
2	漆塗碗	C区 南東部	1層		高(3.7)			内面同漆塗付
3	漆椀	SE01	崩落土	底径4.6			ブナ風の一種	樹種同定番号9
4	漆下駄歯?	表塚		5.2	7.2	2.5	モクレン属の一種	樹種同定番号1
5	漆板片	SK02 南側	埋土	(15.1)	(2.4)	0.6	マツ属種管束断面の一種	衣蓋黒漆塗布 樹種同定番号5
6	漆木片	表塚		(4.3)	3.5	0.6		四圍漆塗布
7	漆箸(長)	SK02 南側	埋土	(17.3)	0.6	0.4	マツ属種管束断面の一種	
7	漆箸(短)	SK02 南側	埋土	(5.9)	0.6		マツ属種管束断面の一種	
8	箸×3柄	SK02	埋土				マツ属種管束断面の一種	樹種同定番号2
9	底板	SK10	埋土	(6.1)	11.2	0.9	マツ属種管束断面の一種	
10	底板	SK02 南側	埋土	(9.2)	(11.1)	(0.7)	ヒノキ属類似種	樹種同定番号4
11	底板	SE01	崩落土	(4.2)	7.0	0.5		
12	ハケ状板	SK02 北側	埋土	(12.0)	(7.0)	0.4	カラマツ	表裏黒漆塗布 樹種同定番号6
13	焼印板	SK02 南側	埋土	(22.7)	(10.8)	0.4	ヒノキ属の一種	樹種同定番号3
14	櫛	SK02 北側	埋土	(13.7)	(2.0)	0.7	サクラ属の一種	樹種同定番号7
15	刀鐔?	SE01	崩落土	7.2	7.4	1.2	ケヤキ	孔径2.7×2.7 樹種同定番号8
16	刀鞘	4トレンチ西	板瓦土	(30.9)	(3.7)	(2.4)	モクレン属の一種	節・發痕 樹種同定番号10

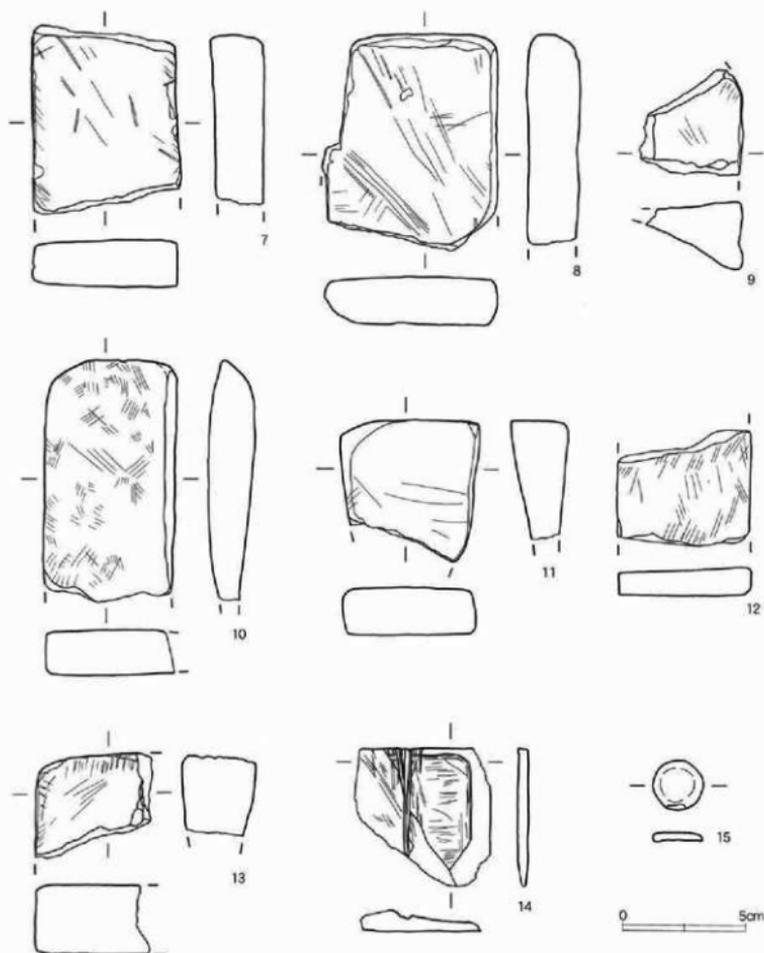


第207圖 木製品



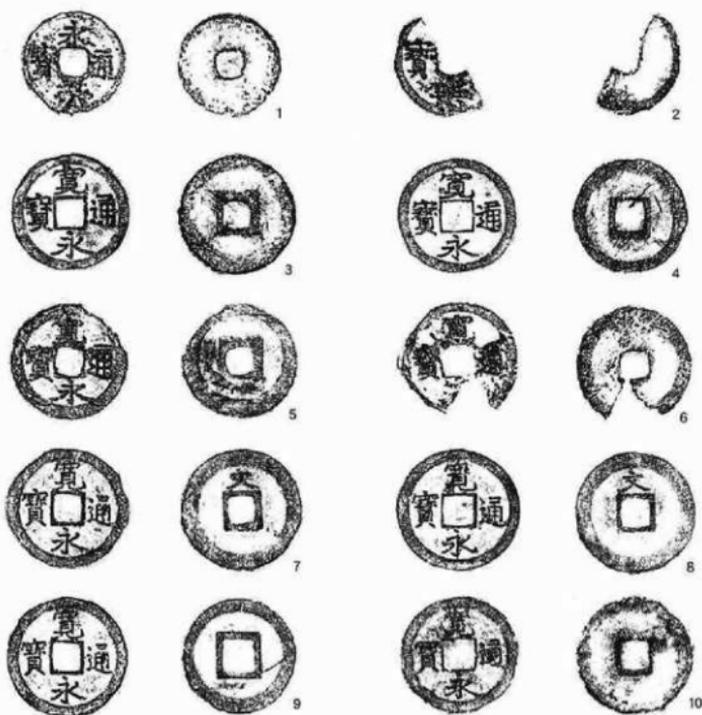
図番	出土位置・層位	器種	口径・長さ	底径・幅	器高・厚さ	重量	石質・産地
1	SD03 MDS8 2層	石臼(下)	(29.8)		(10.3)	4.60kg	溶結 凝灰岩 奥羽山脈
2	SE01 北側 1層	石臼(下)	(29.9)		9.4	3.08kg	溶結 凝灰岩 奥羽山脈
3	SK02 S20	石鉢	(20.0)	(64.6)	(8.9)	3.15kg	溶結 凝灰岩 奥羽山脈
4	SD02 埋土下位	石鉢	(18.2)		(9.5)	240.0g	溶結 凝灰岩 奥羽山脈
5	MH52 II c 層	石鉢		18.6	7.5	33.40g	安山岩 奥羽山脈
6	MA71 整地層	石鉢	(19.0)	12.0	(3.9)	50.00g	溶結 凝灰岩 奥羽山脈

第208図 石製品1(石臼・石鉢)



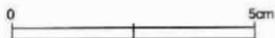
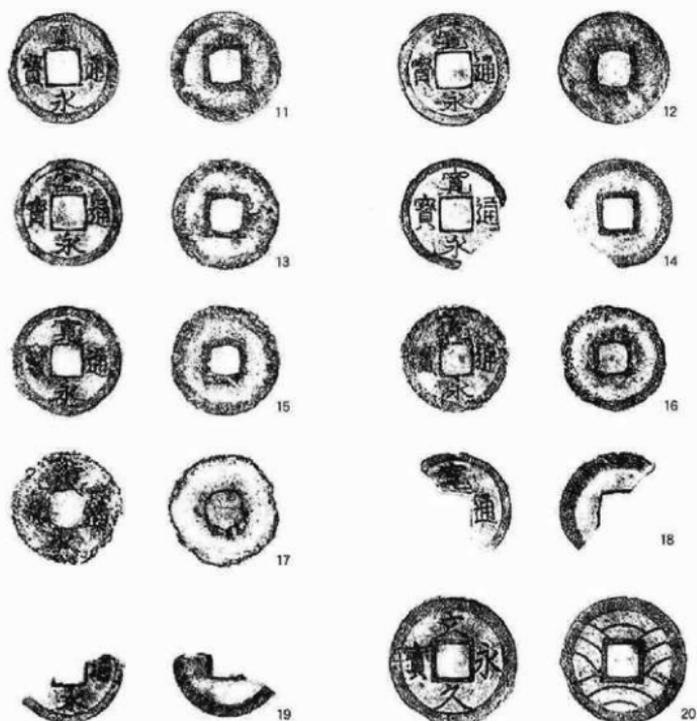
図番	出土位置・層位	器種	口径・長さ	底径・幅	器高・厚さ	重量	石質・産地
7	B区 撥乱	砥石	(7.8)	6.1	2.2	175.00g	凝灰岩 奥羽山脈
8	SE01 南 表土	砥石	9.0	7.2	2.2	270g	凝灰岩 奥羽山脈
9	B区 MK40 撥乱土	砥石	(4.8)	(4.2)	2.8	720.00g	砂岩
10	SK02 北側 埋土	砥石	10.0	5.6	1.9	920.00g	凝灰岩 奥羽山脈
11	MN40 Ⅱ層	砥石	(5.8)	5.8	2.4	179.00g	砂岩
12	SE01 南東 表土	砥石	(4.7)	(5.4)	(1.1)	96.00g	リバライト 奥羽山脈
13	MM41 Ⅱ層	砥石	(4.4)	(4.8)	3.1	85.00g	砂岩
14	MG49 表土	砥石	(5.7)	(5.6)	(0.8)	50.00g	赤褐色 頁岩 北上山地
15	M152 Ⅱ層 上面	砥石	2.1	2.1	0.35	244.00g	スレート 北上山地

第209図 石製品 2 (砥石)



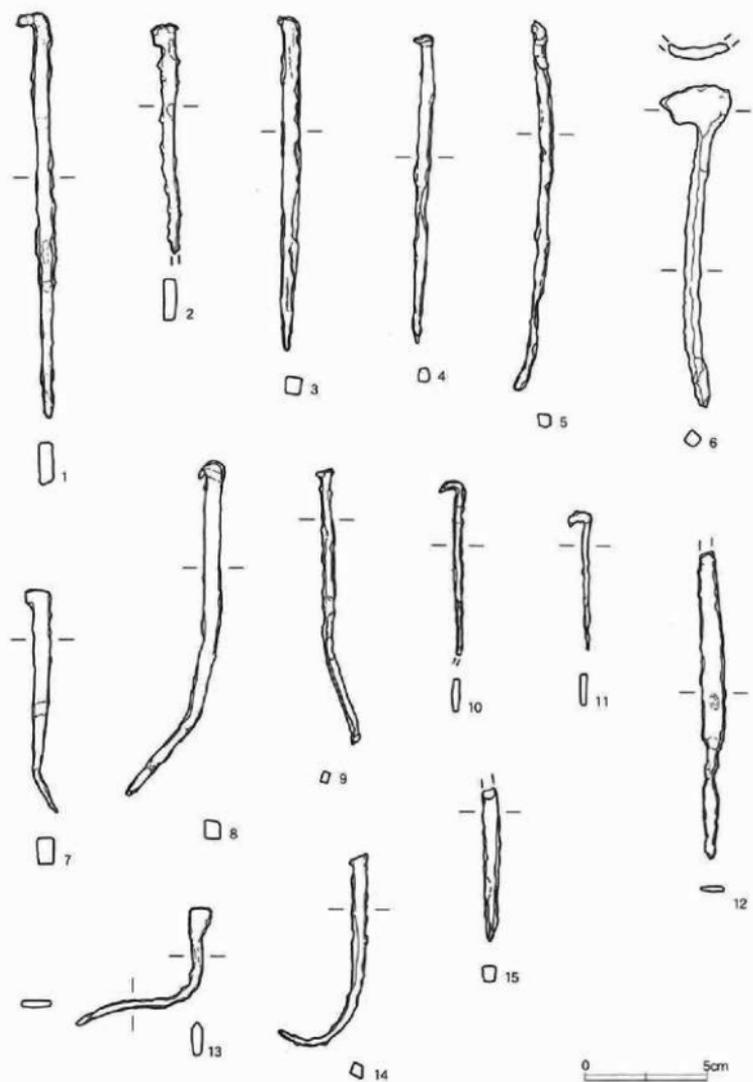
図番	種類	出土位置	出土位置	径	重量	初鋳年代
1	永通通寶	P111	埋土	2.3	1.37	江戸初期
2	永通通寶?	S E01 南	表土	(2.2)	0.95	江戸初期
3	寛永通寶(古)	MP38	機瓦土	2.4	[2.93]	1636
4	寛永通寶(古)	10トレンチ 北側	1層	2.2	2.87	1636
5	寛永通寶(古)	C区 北側	発土	2.4	2.50	1636
6	寛永通寶(古)	ML37	近後面	(2.3)	2.29	1636
7	寛永通寶(文銭)	ME51	1層	2.1	[3.30]	1668
8	寛永通寶(文銭)	MN44	機瓦土	2.4	2.93	1668
9	寛永通寶(新)	表探		2.3	3.02	1668
10	寛永通寶(新)	S F02	表土	2.3	2.66	1668

第210図 古銭1

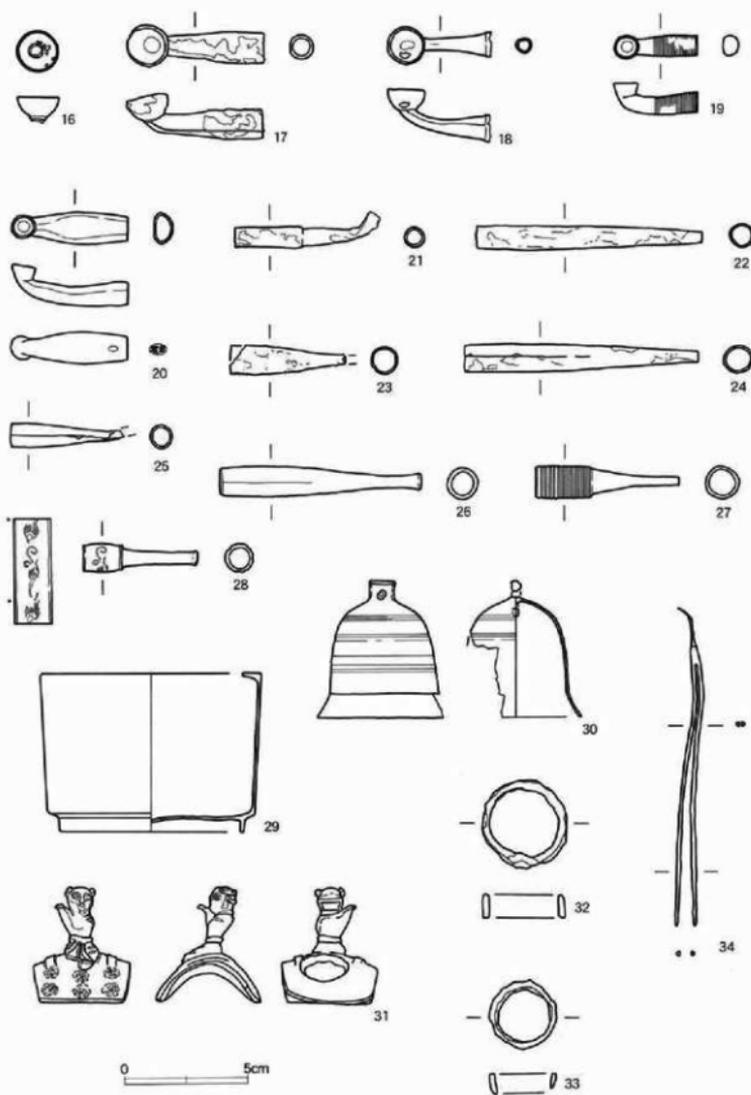


図番	種 類	出土位置	出土位置	種	重 量	初録年代
11	寛永通寶 (新)	LN71	盛土	2.5	2.25	1668
12	寛永通寶 (新)	CK 北東部	I層	2.4	2.39	1668
13	寛永通寶 (新)	SK10	埋土	2.2	1.88	1668
14	寛永通寶 (新)	SE01 東	盛土	2.2	1.95	1668
15	寛永通寶 (新)	SF01/LQ76	表土	2.4	[1.86]	1668
16	寛永通寶 (新)	MD54	I層	2.4	1.78	1668
17	寛永通寶?	SB01 右側	埋土	2.6	1.58	1668
18	寛永通寶?	SE01 西	盛土	2.3	[0.77]	1668
19	寛永通寶?	ME49	I層	2.3	1.43	1668
20	文久永宝	10トレンチ		2.2	3.38	1863

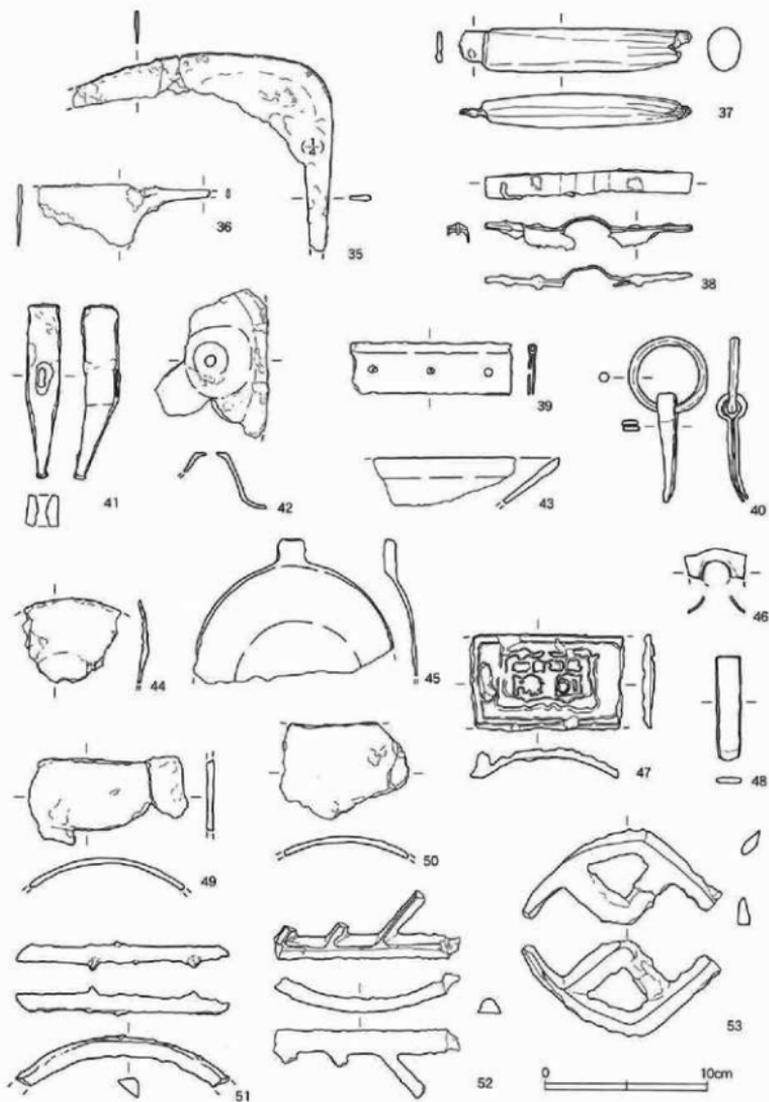
第211図 古銭2



第212图 金属製品 1 (釘)



第213図 金属製品2(煙管・その他)



第214図 金属製品3(その他)

第22表 金属製品計測表

図番	品 種	出 土 位 置	出土層位	長 さ	幅	厚 さ	金属の種類
1	釘	LM70	盛土	16.7	1.6	1.7	鉄
2	釘	SE01 南	表土	(9.5)	1.2	1.8	鉄
3	釘	SE01 南	盛土	13.7	(0.9)	0.7	鉄
4	釘	LM69	盛土	12.7	(0.7)	0.5	鉄
5	釘	LM70	盛土	15.2	1.6	0.6	鉄
6	釘	LM70	盛土	(13.3)	(2.9)	0.7	鉄
7	釘	SK01	埋土	9.2	1.1	1.2	鉄
8	釘	SE01 南	盛土	13.8	0.8	0.8	鉄
9	釘	LN69	盛土	11.3	0.6	0.4	鉄
10	釘	C区 南部	表土	7.2	1.1	1.4	鉄
11	釘	LM70	盛土	5.6	1.0	1.3	鉄
12	釘	LM69	盛土	(12.6)	1.1	0.3	鉄
13	釘	LM70	盛土	4.9	0.9	0.4	鉄
14	釘	LM70	盛土	7.9	0.8	0.6	鉄
15	釘	SE01	崩落土	(6.3)	0.8	0.7	鉄
16	煙管雁首	MD55	Ⅱ層上面	1.7	1.7	1.1	銅
17	煙管雁首	S F01	I層	5.6	1.7	1.0	銅
18	煙管雁首	L T71	發地層	4.2	1.5	0.6	銅
19	煙管雁首	SK10	埋土	3.5	1.0	0.6	銅
20	煙管雁首	SE01 南東	表土	4.8	1.3	0.8	銅
21	煙管吸い口	P22	埋土	(6.0)	1.5	0.8	銅
22	煙管吸い口	SE01 東	盛土	9.3	1.0	1.0	銅
23	煙管吸い口	SK02 北側	埋土	(4.8)	1.2	1.1	銅
24	煙管吸い口	SE01 東	盛土	9.6	1.2	1.1	銅
25	煙管吸い口	SD02/L.P76	埋土	4.7	1.0	0.9	銅
26	煙管吸い口	LM70	盛土	8.2	1.3	1.3	銅
27	煙管吸い口	SK02 南側	埋土	5.9	1.4	1.4	銅
28	煙管吸い口	C区 北側	表土	4.7	1.2	1.2	銅
29	不明	LM69	盛土	6.5	9.5	0.2	鉄
30	鈴?	LM70	盛土	高さ5.7	(5.4)	0.1	銅
31	唐子飾	SE01 南	表土	高さ4.8	4.0	4.4	鉄
32	リング状	SE01 南	表土	3.7	3.7	1.1	鉄
33	リング状	SE01 南	表土	2.9	2.5	0.8	鉄
34	カンザシ	LM70	盛土	13.1	0.9	0.2	鉄
35	鎌	LM69	盛土	(21.2)	(16.6)	0.5	鉄
36	刃物	SD01/LM74	I層	(10.5)	(3.8)	0.2	鉄
37	刀子	SK02 南側	埋土	(14.2)	2.8	刃0.3 柄2.1	鉄
38	金具	SE01 南	表土	(12.7)	2.1	0.7	鉄
39	金具	SE01 南	表土	9.9	3.4	0.5	鉄
40	取手	SE01 南	盛土	10.3	2.0	2.0	鉄
41	金槌	SE01 南	盛土	(10.8)	(2.2)	1.9	鉄
42	不明	LN69	盛土	(9.2)	(6.9)	3.5	鉄
43	鍋	SE01 南	表土	(8.6)	(4.6)	0.4	銅
44	鍋?皿?	LM69	盛土	(5.2)	(6.1)	0.2	鉄
45	柄杓	LM70	盛土	12.4	(9.0)	0.2	鉄
46	不明	LR70	發地土	(3.8)	(2.0)	0.2	鉄
47	不明	LM70	盛土	(9.4)	6.0	0.6	鉄
48	銅板小片?	SQ03/RM02		(6.5)	1.5	0.4	銅
49	不明	SE01 南	表土	(9.8)	(5.5)	0.1	鉄
50	不明	SE01 南	表土	(8.0)	(6.0)	0.4	鉄
51	不明	LN69	盛土	(13.1)	(3.2)	1.2	鉄
52	不明	LN69	盛土	(11.4)	(2.5)	0.9	鉄
53	不明	SE01 南	盛土	(5.9)	(12.2)	0.7	鉄

## 第5章 自然科学的分析

### (1) 前沢町川岸場Ⅱ遺跡出土材の樹種

高橋利彦(木工舎「ゆい」)

#### 1. 試料

試料は大宅屋敷と通称される環濠屋敷の敷地内から検出されたもので、No.1～11の11点である。近世～近代のものとみられる木製品・加工材で、漆塗下駄・箸・ハケ・櫛・刀鞘・柱材や用途不明の加工材である(表1参照)。

#### 2. 方法

剃刀の刃を用いて試料の木口・柀目・板目の3面の徒手切片を作製、ガム・クロラール(Gum Chloral)で封入し、生物顕微鏡で観察・同定した。同時に顕微鏡写真図版(図版1～3)も作製した。なお作製したプレパラートはすべて木工舎「ゆい」に保管されている。

#### 3. 結果

試料は以下の8Taxa(分類群。ここでは属・亜属・種の異なった階級の分類単位を総称している)に同定された。試料の主な解剖学的特徴や現生種の一般的な性質は次のようなものである。なお、( )のついた試料番号は確実な同定ができず類似種としたものを示している。また、各Taxonの科名・学名・和名およびその配列は「日本の野生植物 木本Ⅰ・Ⅱ(1989)にしたがい、一般的性質などについては「木の事典 第1巻～第17巻」(1979～1982)も参考にした。

##### ・カラマツ (*Larix Kaempferi*) マツ科 No.6

早材部から晩材部への移行は急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞はなく樹脂道がある。放射組織は仮道管と柔細胞、エビセリウム細胞よりなる。劣化が進んでいるが、分隔壁孔は小型の半有縁壁孔対で3～5個、放射仮道管はカラマツ型の有縁壁孔をもつ。放射組織は単列、1～20細胞高のもの樹脂道をもつ紡錘形のものがある。

カラマツは本州(宮城・新潟県以南)の山地から亜高山の限られた地域に自生し、また北海道・東北地方などで広く植栽される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、加工は容易ではなく、保存性は中程度である。建築・土木・器具材などの用途がある。

##### ・マツ属複維管束亜属の一種 (*Pinus* subgen. *Diploxylo* sp.) マツ科 No.2, 5

早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広く、年輪界は明瞭。樹脂細胞はなく樹脂道が認められる。放射組織は仮道管、柔細胞とエビセリウム細胞よりなり、仮道管内壁には鋸歯状の突出が認められる。分隔壁孔は窓状。放射組織は単列、1～15細胞高のもの樹脂道をもつ紡錘形のものがある。

複維管束亜属(いわゆる二葉松類)には、クロマツ(*Pinus thunbergii*)・アカマツ(*P. densiflora*)と琉球列島特産のリュウキュウマツ(*P. luchuensis*)の3種がある。アカマツは北海道南部から九州に、

クロマツは本州から琉球に分布するが緩地の海沿いに多く生育し、また古くから砂防林として植栽されてきた。材は重硬で強度が大きく、保存性は中程度であるが耐水性に優れる。建築・土木・建具・器具・家具材など広い用途が知られている。

・スギ (*Cryptomeria japonica*) スギ科 №11

早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広く、年輪界は明瞭。樹脂細胞はほぼ晩材部に限って認められ、樹脂道はない。放射仮道管はなく、放射柔細胞の壁は滑らか、分野壁孔はスギ型 (Taxodioid) で1~2 (4) 個。放射組織は単列、1~10細胞高。

スギは本州・四国・九州に自生する常緑高木で、また各地で植栽・植林される。国内では現在ヒノキに次ぐ植林面積をもち、長寿の木としても知られる。材は軽軟で割裂性は大きく、加工は容易、保存性は中程度である。建築・土木・樺種類・舟材など各種の用途がある。

・ヒノキ属の一種 (*Chamaecyparis* sp.) ヒノキ科 №3、(4)

早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は狭く、年輪界は明瞭。樹脂細胞は晩材部に限って認められ、樹脂道はない。放射仮道管はなく、放射柔細胞の壁は滑らか、分野壁孔はヒノキ型 (Cupressoid) で1~4個。放射組織は単列、1~15細胞高。№4は劣化が進み十分観察できなかったため類似種とした。

ヒノキ属にはヒノキ (*Chamaecyparis obtusa*) とサワラ (*C. pisifera*) の2種がある。ヒノキは本州 (福島県以南) ・四国・九州に分布し、また各地で植栽される常緑高木で、国内では現在植林面積第1位の重要樹種である。材はやや軽軟で加工は容易、割裂性は大きい強度・保存性は高い。建築・器具材など各種の用途が知られている。サワラは本州 (岩手県以南) ・九州に自生し、また植栽される高木で多くの園芸品種がある。材は軽軟で割裂性は大きく、加工も容易、強度的にはヒノキに劣るが、耐水性が高いため樺や楠にするほか各種の用途がある。

・ブナ属の一種 (*Fagus* sp.) ブナ科 №9

散孔材で管孔は単独または放射方向に2~3個が複合、横断面では多角形、管壁はやや薄く、分布密度は高い。道管は単穿孔および段 (bar) 数が10前後の階段穿孔をもつ。放射組織は同性~異性Ⅲ型、単列・数細胞高のものから複合組織までである。年輪界はやや不明瞭。

ブナ属にはブナ (*Fagus crenata*) とイヌブナ (*F. japonica*) の2種がある。ブナは北海道南西部 (黒松内低地帯以南) ・本州・四国・九州に、イヌブナは本州 (岩手県以南) ・四国・九州の主として太平洋側に分布する。イヌブナのほうがブナより低標高地から生育し、またブナのような大群落をつくることはない。ブナは日本の冷温帯常緑樹林を代表する樹木で、かつては東日本の山地に広く生育していた。材はやや重硬で、強度は大きい加工はそれほど困難ではなく、耐朽性は低い。木地・器具・家具・薪炭材などの用途があったが、最近では各種の用途に用いられている。

・ケヤキ (*Zelkova serrata*) ニレ科 №8

環孔材で孔圏部は1~2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減、塊状に複合し線~斜方向の紋様をなす。大道管は管壁は厚く、横断面では円形~楕円形、単独、小道管は管壁はやや薄く、横断面では多角形で複合管孔をなす。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。

放射組織は異性Ⅲ型、1～10細胞幅、1～30細胞高であるが時に60細胞高を越える。しばしば結晶を含む。柔組織は周田状。年輪界は明瞭。

ケヤキは本州・四国・九州の谷川の肥沃地などに自生し、また屋敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにも達する。材はやや重硬で、強度は大きい加工は困難でなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途が知られ、国産広葉樹材の中で最良のもの一つに上げられる。

・モクレン属の一種 (*Magnolia* sp.) モクレン科 №1、10

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形～多角形、単独および2～4個が放射方向に複合する。道管は単穿孔をもち、壁孔は階段状～対列状に配列、放射組織との間では網目状～階段状となる。放射組織は異性Ⅱ型、1～2細胞幅、1～40細胞高。柔組織はターミナル状。年輪界は明瞭。

モクレン属はホオノキ (*Magnolia obovata*) ・コブシ (*M. praecocissima*) など5種が自生する。ホオノキ・コブシは北海道から九州の適潤～湿性地に生育するが、コブシは西日本にはやや少ない。ホオノキの材は軽軟で、割裂性が大きく、加工は極めて容易で欠点が少ないことから、器具・建築・家具・建具材などのほか、指物・木地・下駄歯・刃物鞘など特殊な用途が知られている。また木炭は金・銀・銅・漆器の研磨に用いられた。コブシの材はホオノキに似ているがやや硬く、ホオノキより劣るものとされホオノキに準じて使われ方をする。

・サクラ属の一種 (*Prunus* sp.) バラ科 №7

散孔材で、横断面では角張った楕円形、単独または複合、晩材部へ向かって管径を漸減させる。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、1～3細胞幅、1～30細胞高。年輪界はやや不明瞭。

サクラ属はヤマザクラ (*Prunus jamasakura*) やウヰミズザクラ (*P. grayana*) など15種が自生し、多くの変・品種がある。また、モモ (*P. persica*) やスモモ (*P. salicina*) など古い時代に伝えられ栽培されているものもある。多くは落葉性の高木～低木であるが常緑樹も含まれる。このうちヤマザクラは本州(宮城・新潟県以南)・四国・九州の山野に分布する落葉高木で、材は中程度～やや重硬・強韌で、加工は容易、保存性は高い。各種器具材をはじめ、機械・家具・楽器・建築・薪炭材など様々な用途が知られている。

以上の同定結果を出土遺構や推定されている用途などとともに一覧表で示す(表1)。

#### 4. 考察

漆塗下駄(№1)はモクレン属の一種に同定された。下駄の用材は各地・各時代の遺跡で検討され、モクレン属(ホオノキ)も散見されるが漆塗の例はないようである(伊東ほか 1987、伊東 1990)。県内では、湯田町白木野Ⅱ遺跡出土の18世紀のものとしてされる連歯下駄がモクレン属に同定されている例(高橋 1994)や・戸町・戸城跡の中・近世とされる下駄(台)がホオノキ9点のほかマツ(二葉)・ケヤキ(各1点)に同定されている例(嶋倉 1982)がある。

刀鞘(№10)もモクレン属に同定された。ホオノキの特殊な用途としてまな板とともに刃物の鞘があげられているが、刃先を痛めないように貫用されるという(平井 前出)。しかし出土品では古墳からの出土

例が大半で針葉樹が多く（伊東ほか 前出、伊東 前出）、モクレン属（ホオノキ）の例は初出のようである。

表1 川岸場Ⅱ遺跡出土材の樹種

試料番号	出土地点・遺構	用途	種名
1	表探	漆塗下駄	モクレン属の一種
2	SQ11南側埋土	箸	マツ属複雑管束亜属の一種
3	SQ11南側埋土	焼印板	ヒノキ属の一種
4	SQ11南側埋土	円形蓋?	ヒノキ属類似種
5	SQ11南側埋土	漆塗板	マツ属複雑管束亜属の一種
6	SQ11北側埋土	ハケ	カラマツ
7	SQ11北側埋土	櫛	サクラ属の一種
8	SE01崩落土	有孔円盤	ケヤキ
9	SE01崩落土		ブナ属の一種
10	4トレ西壁掘乱土	刀鞘	モクレン属の一種
11	表探	柱	スギ

引用文献

平井 信二 1979～1982 「木の事典 第1巻～第17巻」、かなえ書房。

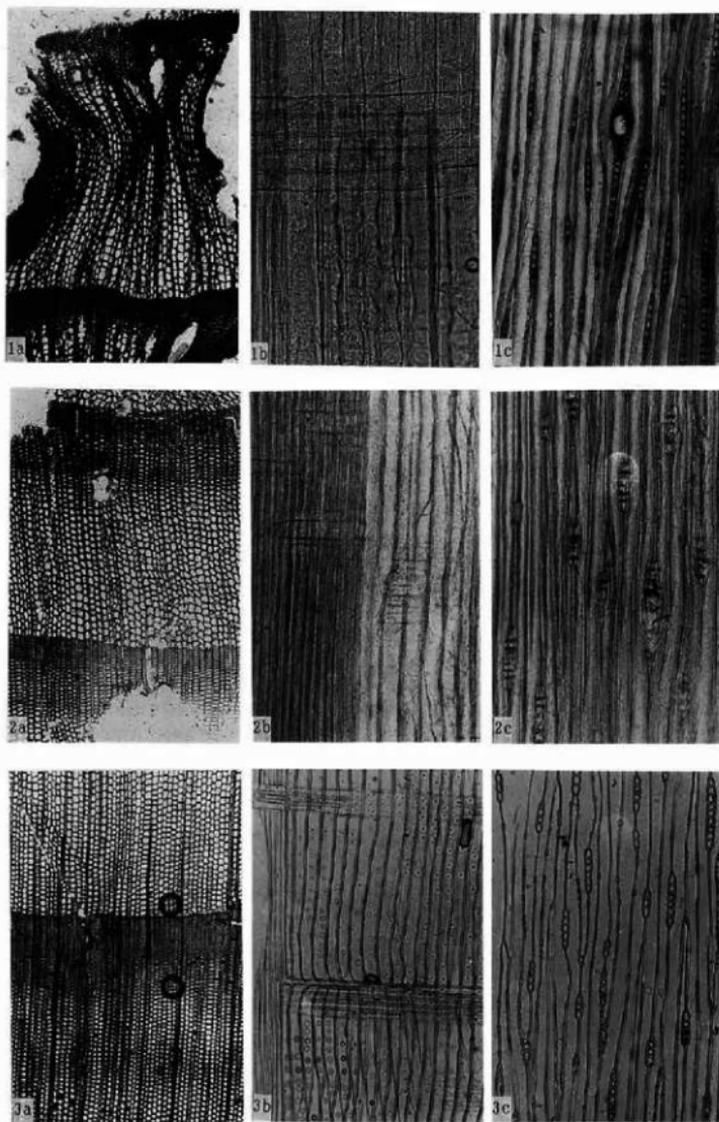
伊東 隆夫・山口 和聰・林 昭二・布谷 知夫・島地 謙 1987 日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途、「木材研究・資料」、第23号、42～210。

——— 1990 日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途Ⅱ、「木材研究・資料」、第26号、91～189。

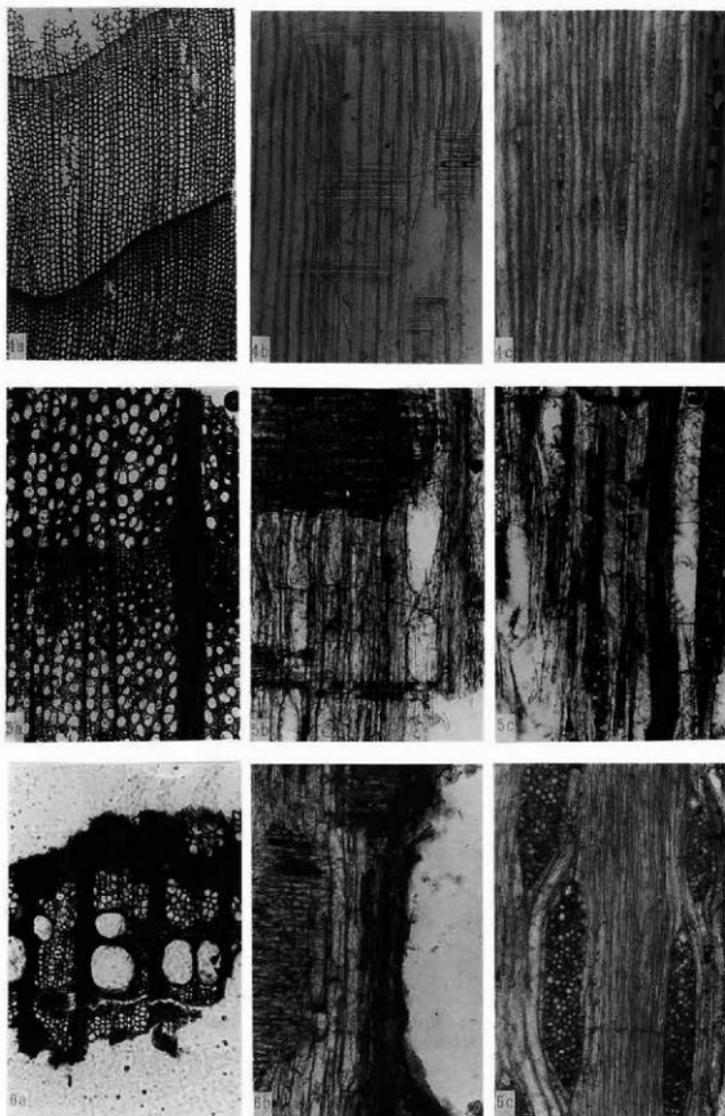
佐竹 義輔・原 寛・亘理 俊夫・富成 忠夫（編）1989 「日本の野生植物 木本Ⅰ・Ⅱ」、平凡社、321・305pp。

嶋倉 巳二郎 1982 出土木製品、削りかす、自然木の同定、炭化木の樹種について、「F-10パイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅱ」、一戸町教育委員会、303～308。（原典を直接参照できなかった。データは伊東ほかによる）

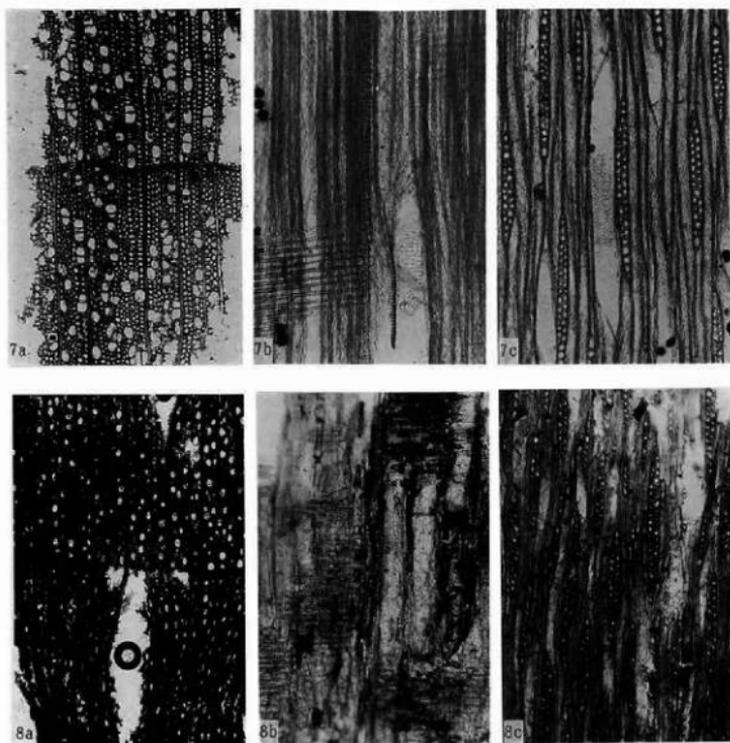
高橋 利彦 1994 湯田町白木野Ⅱ遺跡出土材の樹種、「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第200集 白木野Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡発掘調査報告書 東北根拠自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査」、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、226～237。



图版 1



图版 2



図版1 1. カラマツ №6  
2. マツ属放射管束距離の一種 №2  
3. スギ №11

図版2 4. ヒノキ属の一種 №3  
5. プナ属の一種 №9  
6. ケヤキ №8

図版3 7. モクレン属の一種 №1  
8. サクラ属の一種 №7

a: 木口  $\times 40$  b: 径目  $\times 100$  (1bのみ $\times 200$ ) c: 板目  $\times 100$   
樹木の肥大生長方向は木口では画面下から上へ、径目では左から右。

# 川岸場Ⅱ遺跡出土顔料の 自然科学的調査結果

岩手県立博物館 咲山まどか、赤沼英男

川岸場Ⅱ遺跡から出土した顔料について、その同定を行った。その結果を以下に報告する。

## 1 分析資料

分析した資料は、縄文晩期末～弥生初頭、および中・近世の遺構から出土した顔料5点である(表1)。No赤1は堀跡埋土から出土した石臼の刻目に付着していた顔料であり、No青1779は整地層中から出土し、顔料をすり潰すために使用された石皿に残存していたものである。一方、No青1・2・3は埋設土器底面から検出されている<sup>1)</sup>。

## 2 分析方法

分析は蛍光X線分析法およびX線粉末回折法による。蛍光X線分析法は試料にX線を照射し、含有される元素が発する2次的なX線(特性X線)を測定するものである。特徴は、非破壊で元素の定性が可能などころにあり、試料採取が困難な文化財の分析に適している。X線粉末回折分析法は試料にX線を照射し、試料より回折されるX線を測定するものである。試料の結晶格子間隔の違いにより化合物を同定する事ができる。

No青1・2・3は土器内の土中に混在する顔料をピンセットで抽出し、アルコールで超音波洗浄した後、十分に乾燥させた。次に蛍光X線分析装置の30mmφ試料マスク(重元素測定時は99.9%アルミニウム製、軽元素測定時は99.9%チタン製を使用)にポリプロピレンフィルムを張り、その上に試料をセットして主成分元素の定性分析を行った(図1)。No赤1・青1779については残存する顔料が微量のため検出が困難であった。そこで大型資料室を利用し、顔料が付着している領域と付着が見られない領域をそれぞれ蛍光X線分析法により分析を行い、両者の結果を比較することで顔料の推定を試みた。

このようにして測定したNo青1779・1・2・3の試料片をメノウ乳鉢で粉末にした後、X線粉末回折分析装置用ガラス試料板0.5mmに充填し、分析に供した。なお、回折図形の標準としてはJCPDSカードのデータを使用した。

蛍光X線分析ならびにX線粉末回折分析の測定条件は以下のとおりである。

蛍光X線分析	X線粉末回折分析
対陰極 : Cr	対陰極 : Cu
印加電圧・電流 : 50KV・mA	管電圧 : 40KV
分光結晶 : LiF	管電流 : 200mA

## 3 分析結果

資料No青1の分析結果を図2a・bに示す。図2aは蛍光X線分析法により分光結晶LiFを用い重元素を測定したものである。主成分元素は鉄(Fe)、微量元素としてバリウム(Ba)、ストロンチウム(Sr)、砒素

(As)、亜鉛 (Zn)、マンガン (Mn)、チタン (Ti) が検出されている。図 1b の X 線回折スペクトルによれば、回折角度  $2\theta=24.02$ 、 $2\theta=33.00$ 、 $2\theta=35.48$ 、 $2\theta=40.72$ 、 $2\theta=49.32$ 、 $2\theta=53.92$ 、 $2\theta=62.30$ 、 $2\theta=63.86$  に強いピークが確認され、JCPDS カードと対比することによってベンガラ (赤鉄鉱, Hematite: Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>) の回折パターンとほぼ一致することがわかった。また、他に石英 (Quartz: SiO<sub>2</sub>) が混在しているものと推定される。同様に、資料№青 2・3 においても図 3a・4a の定性スペクトルから主成分元素は Fe、微量元素として Ba、Sr、As、Zn、Mn、Ti が含有されていることが確認された。また、図 3b・4b の X 線回折スペクトルはベンガラが主な成分であり、他に石英、灰長石 (Anorthite: CaAl<sub>2</sub>Si<sub>2</sub>O<sub>8</sub>) が混在していることを示している。図 5a は資料№青 1779 の定性スペクトルと X 線回折スペクトルである。主成分元素は Fe、微量元素として Ba、Sr、Zn、Mn も検出されている。X 線回折スペクトルからは回折線の強度は小さいが、ベンガラのピークが確認された。

図 6a・b は資料№赤 1 (石臼の放射状に伸びた刻目に付着している赤色顔料) の蛍光 X 線分析法による定性スペクトルである。これより Fe のピークが確認されたが、石臼の中で顔料の無い部分からも Fe が検出されたため、照射面積をほぼ一定にし、Fe の相対強度を比較した。その結果は図 4b に示すとおり、赤色部分には Fe が多く含有されている。従ってこの赤色顔料の発色剤は Fe であると推定される。

上記の結果に基づけば、資料№1・2・3 の赤色顔料はベンガラであり、微量成分もほぼ同レベルにある。同じ原材料で製作されたものと推定される。資料№青 1779・赤 1 については、残存量が少ないため前者の 3 資料と同じ原材料が用いられたかどうか不明である。今後他の分析方法も加味しながら明確にする必要があろう。

註)

- 1) (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 小山内透氏による。

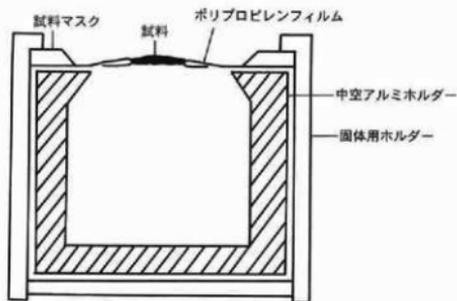


図 1 微小試料の定性分析法

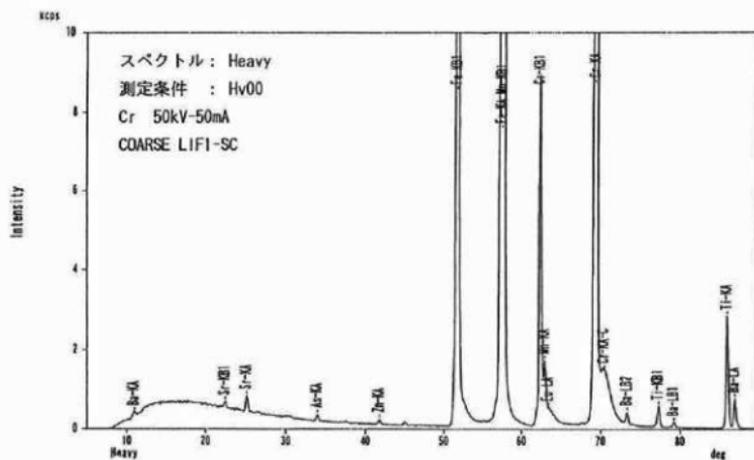


図 2 a 資料No.青 1 の蛍光 X 線スペクトル

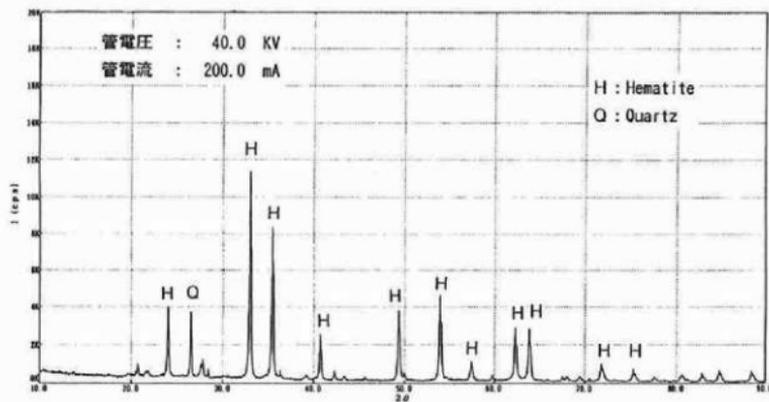


図 2 b 資料No.青 1 の X 線回折スペクトル





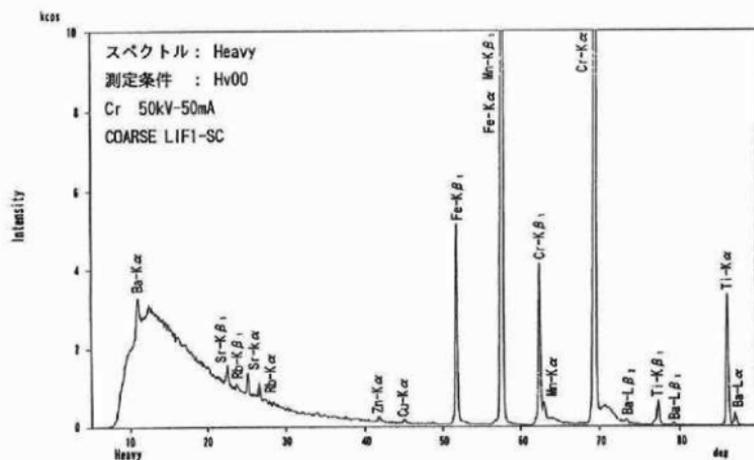


図 5a 資料No.青1779の蛍光X線スペクトル

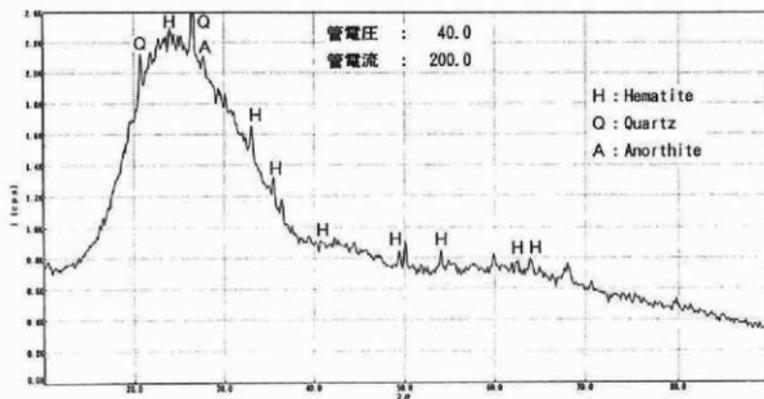


図 5b 資料No.青1779のX線回折スペクトル

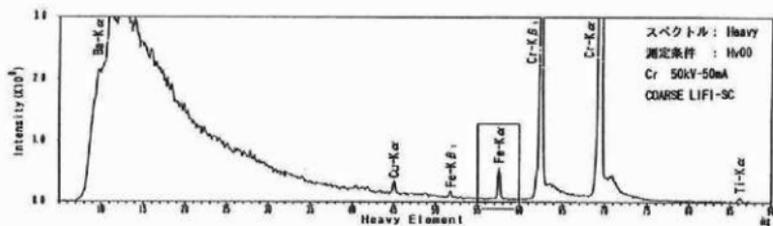


図 6 a 資料No.1 の蛍光 X線スペクトル

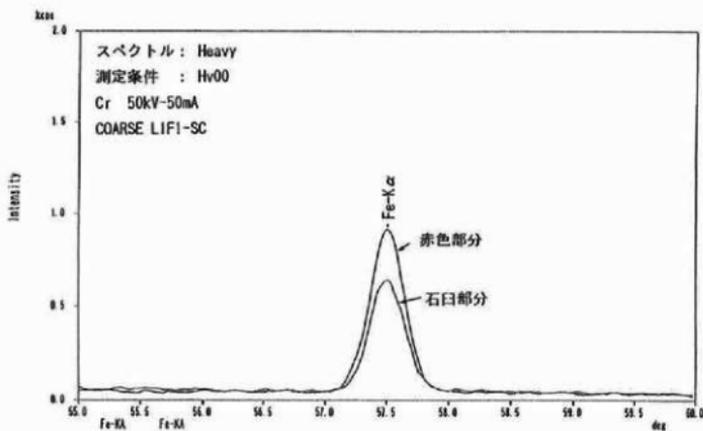


図 6 b 資料No.1 の蛍光 X線スペクトル  
(図 6 a の枠で囲んだ部分の拡大)

## 第6章 ま と め

川岸場Ⅱ遺跡の発掘調査で得られた資料には、遺構は主として縄文時代の竪穴住居跡4棟、土坑10基、埋設土器11基、弥生時代の合口土器棺1基、縄文時代晩期と弥生時代中期の包含層各1カ所、近世の掘立柱建物跡14棟、建物跡6棟、堀跡4条、土塁2条、石垣2カ所、湧水池2カ所などがあり、遺物は縄文土器（後期後葉～晩期末葉）、石器（剥片石器・礫石器）、土製品（円盤状・土偶・動物・土版・耳飾りなど）、石製品（円盤状・石棒・石剣類・独鈷石など）、弥生土器（前・中期）、石器（アメリカ方式石鏃・環状石斧など）、土製品（土偶）、中・近世の陶磁器（肥前・瀬戸美濃・大塚相馬・平清水産など）、石製品（石臼・石鉢・砥石など）、漆器・木製品、古銭・金属製品（キセルなど）などが出土している。本章では縄文時代・弥生時代・近世の遺構と遺物について若干のまとめを行い、本報告を終了することとした。

### 第1節 縄文・弥生時代の遺構と遺物

縄文・弥生時代の遺構は、大コンテナで約230箱も出土した遺物量に比べて竪穴住居跡4棟・土坑10基・埋設土器12基と極めて少なく、特に弥生時代の遺構は埋設土器1基のみである。これは繰り返して述べたように近世以降の度重なる整地造成によって多くの範囲が掘削されたためと思われる。とりえず把握できた範囲、つまり狭小ながら残っていたプライマリーな遺物包含層の状況と数少ない遺構の占地状況から各期の様相を推測してみる。

縄文時代では、遺構は調査A区の北東部に集中する。このなかで注目される遺構に大型の浅鉢を使用した埋設土器群（SR08・09・11・14・15）がある。5基すべてがME56グリッド付近に集中し、倒立状態での埋設である。県内晩期の遺跡で土器棺とされる埋設土器は、中葉期までのものは比較的多く検出されているが、それ以降の検出例は少なく、ほとんどが正立または斜位での埋設である。いずれほとんどが土器が入る最小限の掘り方しかもたないものであり、土器棺を埋葬するという方法と考えられる。本遺跡で検出された5基については上層が削平されているため掘り方プランの明瞭に把握できたものはないが、SR11・14では痕跡的に径約60cm程度の掘り方が確認され、口径40cm前後の土器よりは比較的大きいものである。こうした掘り方の規模・土器の大きさや出土状況からみて、土器棺墓としてではなく、土壌墓に死者（掘り方の規模から乳幼児か？）を埋葬して土器を被せるという葬法であったと考えられる。なお整地造成により出土時点での状態が不良なため埋設土器との判断が下せなかったもので、これら5基の西側1m程の地点に同様の土器2個体が破砕状態で出土している。これらの土器は沈線による変形工字文で、交点には痕跡的な粘土瘤（貼瘤ではなく沈線を引くことで交点に盛り上がりができるいわゆる盛瘤）をもつもので、内外面とも丁寧に磨かれている。これら7個体は大きさといい、精製の状態といい、さらに整地層出土土器を含め総量200箱を越える今次の調査で出土した土器の中には、これら以外に同様の土器はほとんど出土しなかったことなどから、埋葬用の専用土器と考えられる。

さて出土遺物から竪穴住居跡をみて見る。南側のS101・03竪穴住居跡の2棟は晩期後葉前半（大洞A式期）、S104は後期後葉から晩期前葉、S102は晩期中葉前半？、SR02・03埋設土器は晩期中葉後半（C2式期）、SR08・09・11・14・15は晩期末（A'～弥生初頭？）と思われる。ところで遺構集中区北半のA5・6区から出土した土器は、量的には縄文時代晩期中葉期のものが圧倒的に多く、以下晩期後葉～末葉期、晩期前葉期、後期後葉期と続いている。遺物の出土量からは表面的にはこの地区での主体時期は晩期

中葉期とも思われるが、削平により上層が消失していることや中葉期後半の埋設土器とともに晩期末葉期の埋設土器群も存在すること、縄文時代後期末葉～晩期前葉期と考えられる堅穴住居跡の存在などから晩期前葉では居住域、晩期後半から末葉（弥生時代初頭？）にかけては墓域として使用されたものと考えられ、晩期後半の居住域はこの南側に占地したものと思われる。さらに周囲の状況を推測してみるとA区の北および西側については無遺物層まで削平されているため遺跡の広がり状況は皆目検討がつかないが、南側では遺物の出土状況からA3号沢跡がある種の境界であったと考えられる。それはA3号沢跡東部のV層無遺物層上面では晩期の遺物がほとんどなく、主として弥生時代中期の土器が出土していることから、掘削された面からでも深さ約1mもある沢地を晩期には遺物の廃棄場所としては使用していないということである。このA3号沢跡のV層は薄く、部分的にはVI層川床と思われる砂礫層が見られる。これらのことから縄文時代晩期、少なくとも中葉期までは沢には水が流れていたと思われ、クリーンな状態からは生活用水を得る場所としていたものと推定される。ところでこの南側の調査B区と隣接する川岸場I遺跡では昭和32年には岩手大学教授草間俊一氏によって、平成9・10年には前沢町教育委員会によって3次におよぶ発掘調査が行われている。昭和32年の調査結果では縄文時代晩期後半（大洞C2～A'）を主体とする集落であったと報告されている。未報告ではあるが前沢町教育委員会の調査においても出土遺物から同様の様相を呈するものと思われる。当地区においても時期的に隔たりはないことからA3号沢の水流を生活用水として使用して、この両岸に集落が展開していたものと考えられる。

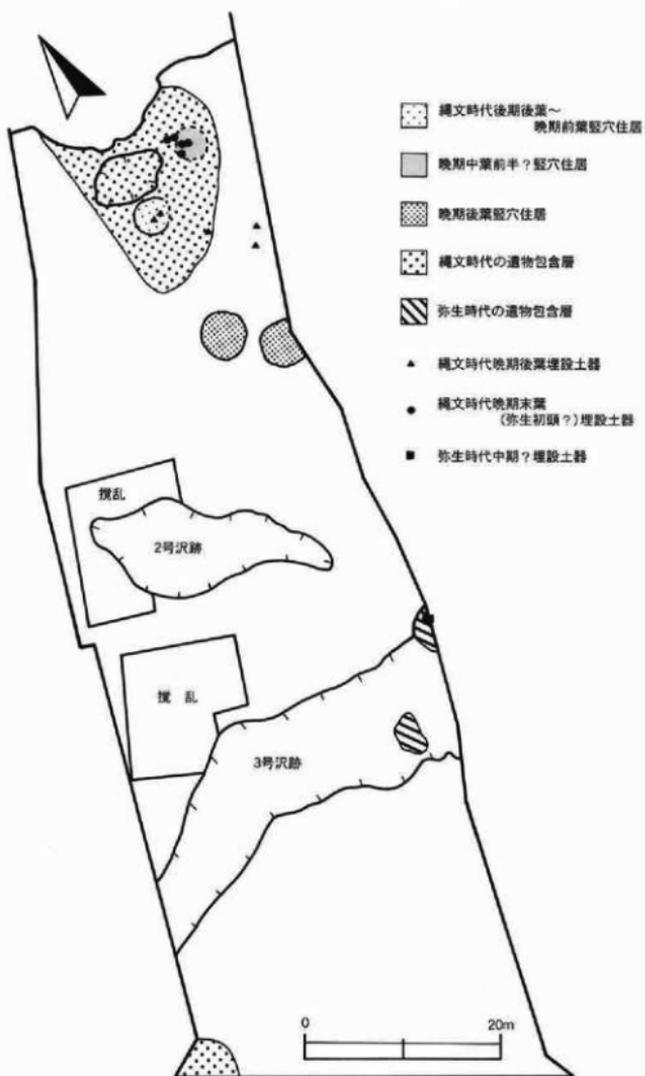
遺物については、やはり包含層の遺存状況からして層位的に述べられることは何もない。幸うじてA区北東部A5区で土厚のあったMF56・57グリッドにおいて、便宜的な下層に大洞BC・C1式に比定される土器が多く、上層に大洞C2・A式に比定される土器が多くなるという傾向が見られる。この部分で上下層に含まれるそれぞれは、地形的に本来レンズ状の自然堆積であったものを平面的にスライスして掘り下げた結果、最深部では便宜的な下層に上層のもの、周辺部では逆に上層に下層のものが混じったものと思われる。

弥生時代では、遺構はA3号沢跡東端に調査の不便なためにより詳細な記録は残せなかった台口土器棺1基が確認されたのみであるが、平成10年の前沢町教育委員会の調査でも本調査区A区の西側で台口土器棺1基が検出されていることから土器棺を主とした墓域であった可能性が考えられる。

## 第2節 近世の遺構と遺物

今次の調査より検出された近世の主な遺構には、作事関連としては布置りのものを含む掘立柱建物跡10棟、痕跡から建物跡と推測されるものが6棟、普請地形的ものとしては壕跡3条、土塁2条、石垣2カ所などがある。前述のとおり、本遺跡は近世としては2つの性格をもち、ひとつは北側の環濠屋敷、もうひとつは南側の御蔵場跡である。調査はこれらの中央部を南北に縦断する範囲で行われたもので、上記遺構の帰属に関しては、堀跡は北側の屋敷を囲む方形環濠の北辺と南辺の一部である2条（SD02・03）と御蔵場の南縁を区画する1条（SD21）で、環濠屋敷の南辺の1条（SD03）は南側の御蔵場との敷地を区切るものである。土塁と石垣は環濠屋敷の堀に伴うもので、土塁は環濠の北辺（SF01・02）、石垣については環濠の東辺（SZ01）と環濠内東側で段差のある低い庭との法面（SZ02）にある。作事関連では環濠屋敷の母屋部分に掘立柱建物跡が3棟（SB21～23）、この北側に建物跡の痕跡として2棟（SH01・02）、ほかは御蔵場に位置し、布置りのものとグリ石（礎石？）のものはすべて御蔵場にある。

ところで、本遺跡の所在する前沢町は近世には伊達藩領であり、白山字川岸場は当時の六日入村に当た



第215図 縄文・弥生時代 時期別遺構配置図

る。環濠屋敷及び御蔵場の文献等からみた略略は、まず環濠屋敷については通称「大室屋敷」と呼ばれる江戸時代を通じて現在に至る鈴木氏が居住したものであり、当地に鈴木氏が居住することになった経緯としては、中世に当地方の領主であった葛西氏が、戦国時代末期に豊臣秀吉による奥州仕置で滅んだ事により、その家臣であった鈴木氏は、文禄年中（1592～1596年）に現在地の大室屋敷に住居して帰属したとされている。その後、当家は伊達藩政下では先祖代から度々六日入村の肝入（現在の村長相当）を務め、17世紀後半からは下胆沢郡の御蔵守・榊入（河川運輸を統括する役目）などをご下命されて歴任して勤めており、18世紀後半には2代（鈴木浅右エ門・養作）続けて下胆沢郡の大肝入（肝入を監督する所謂大庄屋）を勤めた家柄である。この大肝入を勤めた鈴木養作（別名常雄）の時代には、かの菅江真澄と交流があり、天明5年から8年の2年半の間に数度滞在したことが菅江真澄日記に記されている。次に御蔵場であるが、これは御本石（御本穀）御蔵と呼ばれていた上納米搬入の倉庫であり、本御蔵場は下胆沢郡各村の年貢米集積地であったもので、当地が御蔵場となったのは寛永19年（1642年）を始まりとし、明治4年（1871年）までは建設当初の目的で使用されたが、その後、明治18年頃までは一部建物が「備荒倉」（冷害・凶作に備える備蓄米の倉庫）と六日入小学校として利用され、以降建物（倉庫）は売却され、明治29年には敷地は旧地主である大室屋敷鈴木家に払い下げられ、現況に至っている。

さて、環濠屋敷いわゆる大室屋敷については上記のとおり江戸時代の始めから現在まで続いたものであるが、前述のように昭和30年代にはそれ以前とは場所を変えて現代風の母屋が建て替えられ、さらに平成8年には今回の事業により移転するということがあって2度にわたり敷地内は大きく破壊されている。そのため調査から判明したことは少なく、北東部の一段低い二ツ部分ではおおよそ旧状を確認できたものだが、作事関連の遺構としては、元母屋があったとされる位置で母屋跡と思われる掘立柱建物跡2棟（S B22・23）が検出されたほかは明瞭なものも確認できなかった。ただし柱穴の配置状況からは母屋部分の掘立柱建物跡はさらに1棟あった可能性が高い。ところで現在まで残った薬医門は平成9年の移転の際に移設しているが、この薬医門は大肝入の確認とも言えるものであり、これが石場建て（礎石建物）であったこと、屋敷敷地内に礎石が散乱していたことなどから、大肝入を務めることとなった宝暦4年（1754年）以降には母屋も礎石建物になったと推測され、母屋は16世紀末から18世紀中頃までの約150年間では、掘立柱建物跡として3期の変遷があったと推定される。

次に御蔵場跡についてであるが、こちらは環濠屋敷に比べ近代以降の改変が比較的少なく、北端の一部と南側の1/3程の破綻に止まる。御蔵場の範囲は検出された南北2条の堀跡と東側の崖地形及び西側の道路からおおよそ把握され、このうち今回の調査は中央部のおおよそ2/5程の範囲にあたる。また平成10年度には本調査地の西側に隣接する部分で幅5mの調査が前沢町教育委員会によって実施されており、合わせると御蔵場全体のおおよそ半分程の面積が調査されたことになる。今回の調査により各種痕跡から確認された建物跡は、あまりに遺存状況が悪く建物跡との判断もつけにくい1棟（S H13）を含め11棟、前沢町教育委員会の調査では新たに1棟が確認されている。御蔵場の変遷について文献等には建て替えの記録や明確な配置図は残されていない。そこでS H13を除いた11棟から個々の形態と規模及び重複関係、そして安永風土記の記録と「六日入御蔵絵図」の記録を参考として変遷を辿ってみる。

まず文献等にみられる記録としては、安永風土記（安永6年頃・1777年）に御蔵4棟・御吹屋2棟・御会所1軒・御拵取居屋2軒・出入御門1つの記載があり、六日入御蔵絵図（明治初年頃・1870年）には土蔵（御蔵）5棟・吹屋2棟と無名の3棟が掲載されている。御蔵（土蔵）が4棟から5棟に増えたことについては、安永年代（1770年代）にはなかった御塩蔵が天保年代（1830年代）以降1棟付設されたという記録がある。そ

それぞれの規模については次表のとおりであるが、御蔵(土蔵)は米蔵と塩蔵、御吹屋は米の検査所、御会所は御穀改役人(検査員の監督)の詰所、御折取居屋は御折取(納米の秤目を量る検査員)の控え所である。

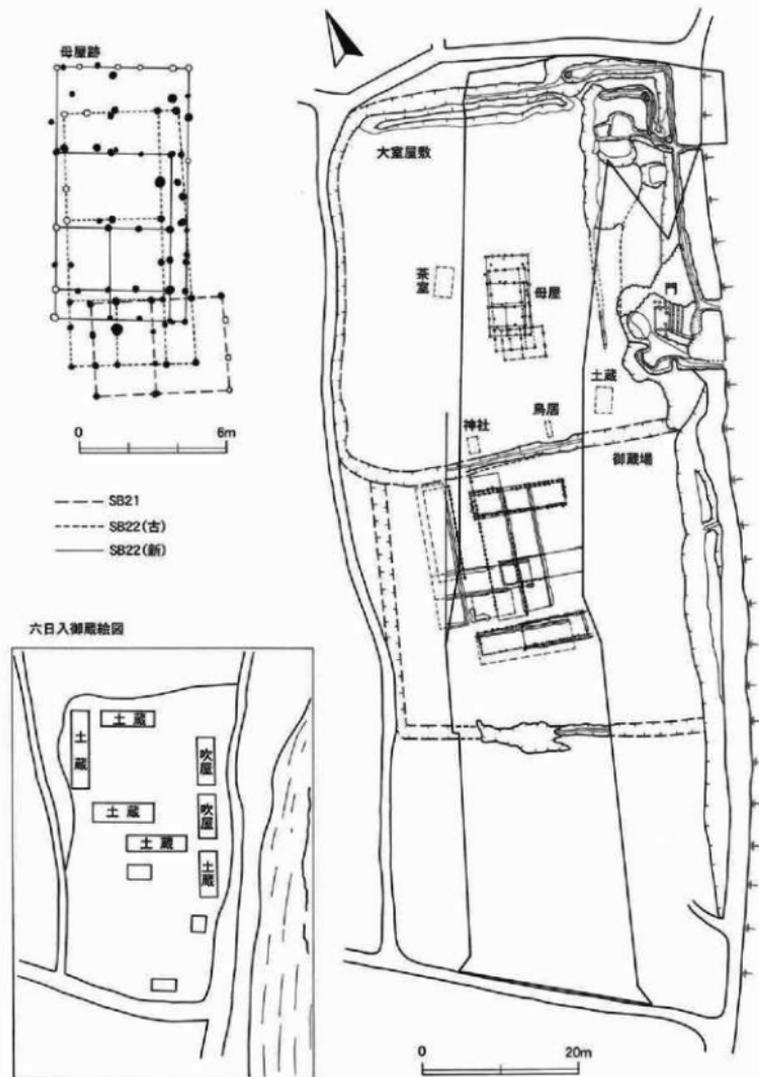
安永 風土記	1.	御蔵	二つ	長さ10間宛・横2間半宛	1.	御吹屋	一つ	長さ28間・横2間半
	1.	同	一つ	長さ15間・横2間半	1.	同	一つ	長さ10間・横2間半
	1.	同	一つ	長さ14間・横2間半	1.	出入御門	一つ	長さ2間・横7尺
	1.	御会所	一軒	長さ6間・横2間	1.	御折取居屋	二軒	長さ4間宛・横2間宛

六日入 御蔵 絵図	1.	土蔵	1棟	長さ15間・横3間・45坪	1.	土蔵	2棟	長さ10間・横2間半・25坪
	1.	土蔵	1棟	長さ15間・横2間・30坪	1.	吹屋	2棟	長さ10間・横2間半・25坪
	1.	土蔵	1棟	長さ12間・横2間半・30坪				

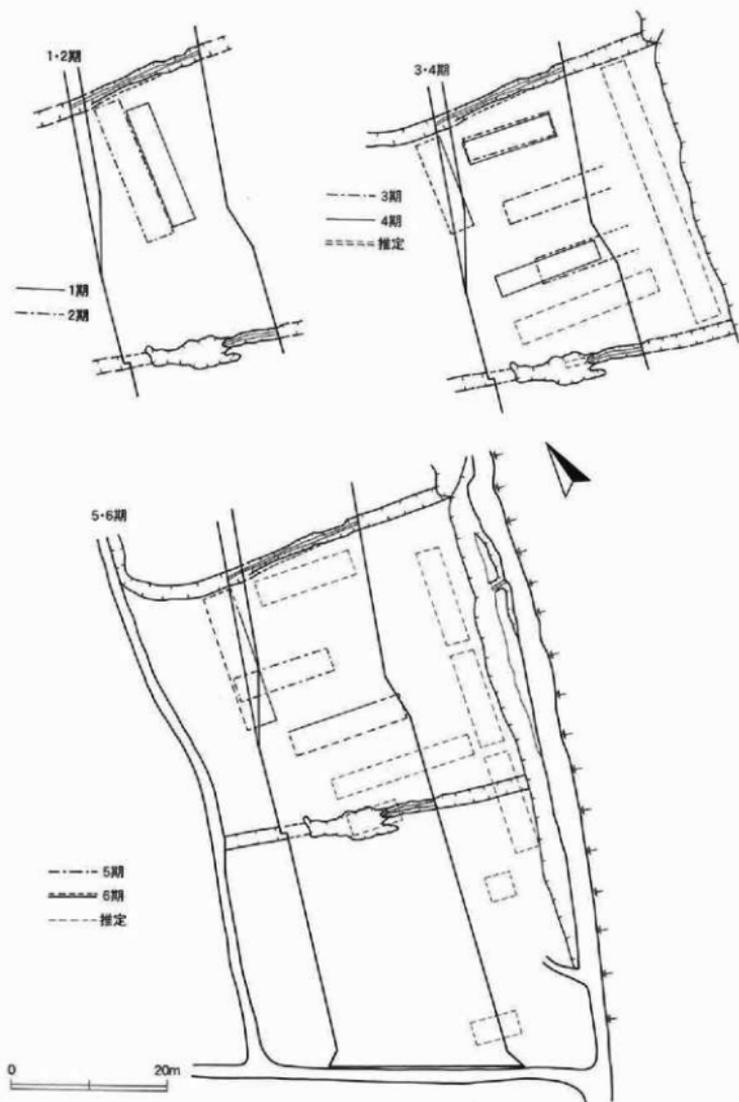
次に検出された11棟(SB01~03・11~14・30・SH11・12・14)の形態・規模と重複関係等を見てみる。形態的には、平面形はすべて長長方形の直屋で、建物跡の土台(基礎地形)には掘立柱建てが4棟(SB03・11・13・30)と布掘り掘立柱建てが4棟(SB01・02・12・14)、そして浅い布掘りにグリ石の詰められた痕跡が認められた石場建て(礎石建物)と推定される3棟(SH11・12・14)の3形態がある。それぞれをⅠ~Ⅲ類とする。長軸方向は東西方向が7棟(SB01~03・11・12・SH12・14)と南北方向が4棟(SB13・14・30・SH14)ある。これをA・B類とする。形態による方向の規則性はなく、方向的にはそれぞれが概ね直交する配置関係にある。規模としては、およそ全体が把握できたものはⅠ・Ⅱ類のうちの5棟で、長軸長約19m×短軸幅約5mが2棟(SB02・03)、長軸長約22m×短軸幅約4.5mが1棟(SB11)、長軸長約26m×短軸幅約5.5mが1棟(SB14)、長軸長約30m×短軸幅約6mが1棟(SB13)である。Ⅲ類については全容を判断できるものではなく、柱間も不明である。このほかに調査区外に延びるため長軸長は不明であるが、短軸幅約5mのものが3棟(SB01・12・SH12)ある。部分的なものも含め柱間が計測できるものは7棟(SB01~03・11~13・30)あり、半間約75cmのものが1棟(SB11)、残り6棟(SB01~03・12・13・30)の半間は1m前後を測る。以上を一覧表にしたものを以下に示す。

遺構名	土台	長軸方向	長軸長(m)	短軸幅(m)	柱間(m)	長さ(間)	横(間)
SB11	Ⅰ	A	2.2	4.5	0.75	14半	3
SB03	Ⅰ	A	1.9	5	1	9半	2半
SB13	Ⅰ	B	3.0	6	1	15	3
SB30	Ⅰ	B	19前後	不明	1	9~10	不明
SB01	Ⅱ	A	17以上	5	1	8以上	2半
SB02	Ⅱ	A	1.9	5	1	9半	2半
遺構名	土台	長軸方向	長軸長(m)	短軸幅(m)	柱間(m)	長さ(間)	横(間)
SB12	Ⅱ	A	14以上	5	1	7以上	2半
SB14	Ⅱ	B	2.6	5.5	不明	1.3?	2半~3
SH11	Ⅲ	B	25以上	4.5以上	不明	14~15	2半~3
SH12	Ⅲ	A	18以上	5	不明	9以上	2半?
SH14	Ⅲ	A	20以上	不明	不明	10以上	不明

重複関係からは、新旧関係の流れとして大きく4つあり、それぞれ1.(古)SB12→SB11→SH14(新)・2.(古)SB14→SB13→SB01→SH12→SH11(新)・3.(古)SB14→SB13→SB02→SB03(新)・4.(古)SB30→SH12→SH11(新)というもので、2で見られる最大5期の変遷がある。これを土



第216図 近世建物跡配置図



第217図 御藏場変遷図

台形態と長軸方向でみてみると、1ではⅡA→ⅠA→ⅢA、2ではⅡB→ⅠB→ⅡA→ⅢA→ⅢB、3ではⅡB→ⅠB→ⅡA→ⅠA、4ではⅠB→ⅢB→ⅢBとなり、相対的な新旧関係としてはⅢ類の礎石建物跡が最も新しいと言える。また位置と長軸方位の一致するもの、つまり同一箇所建て替えが行われたものでは布都戸掘立柱建物跡から掘立柱建物跡へ移行している。すなわちSB12→SB11、SB02→SB03、SB14→SB13である。これに形態の類似性を加味すると相関関係はSB14→SB13→SB01・02・12→SB03・11・30→SH12・(14)→SH11・(14)とSB12・14→SB11・13・(30)→SB01・02→SB03・(30)→SH12・(14)→SH11・(14)の2つが考えられる。明治初年の「六日入御蔵絵図」の配置と対比すると、SH11とSH14がこれに当たると思われ、さらに同図の配置を参考に方向性も加えてみると前者の推移の可能性が高く、6期の変遷と考えられる。ところで前記の環濠屋敷母屋の建て替えが約50年周期と考えられることから、御蔵場の存続が寛永19年(1642年)から明治15年前後(1882年頃)までの約240年の期間として大きく5期の変遷と推測されるが、上記6期の変遷で後半2期の礎石建物跡(SH11とSH12)の關係が、大保年代(1830年代)の御蔵場付設の際に、敷地の広さから増設が適わず、一部建物を立て直したためのものと推測される。また東縁に縦列する3棟については南北の堀跡の間隔からは間尺が足りないもので、この時に堀跡の埋め立ても行われ、門を南側の現道際に移設したのもと思われる。これを裏付けるひとつには、南側の道路際にあった故鈴木宗雄さん宅の伝承として、先祖は御蔵場の敷守を務めて御蔵場内に住居を構えていたことから「門の内」と呼ばれている事がある。なお、安永風土記に見られる記載は上述の建て替えの間隔から考えると3ないし4期目に当たると思われるが、今回の調査では判断がつかない。長さ28間ある吹屋はスペース的に東縁で南北長軸でしか存在し得ない。今後この地点の調査が行われることがあれば判明すると思われる。

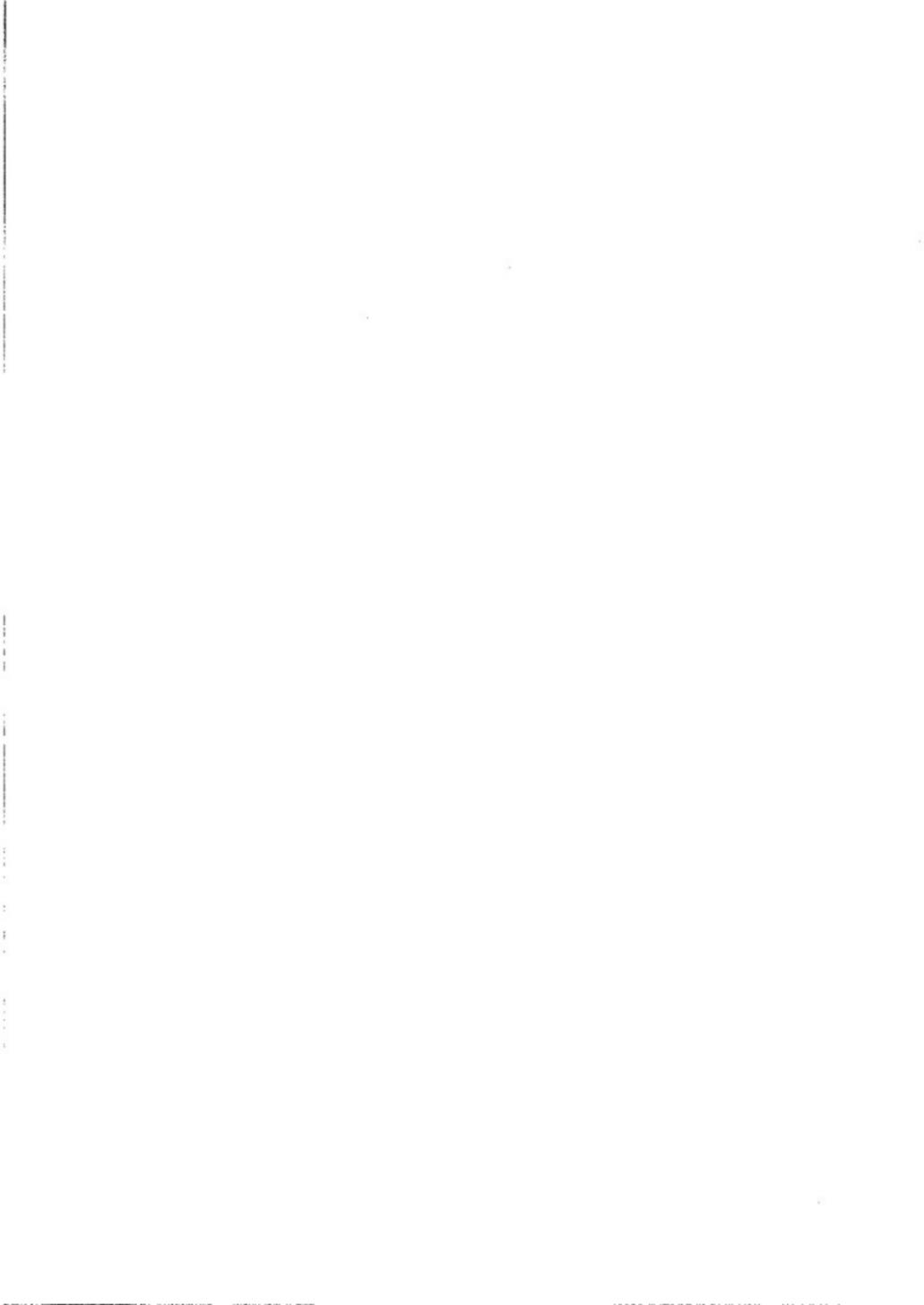
最後に、遺物については大半が環濠屋敷からの出土であるが、先記のとおり2度の破壊によりほとんどが攪乱土からの出土である。時期的には18世紀後半から19世紀代の陶磁器が多く、大肝入という役職と家格により必要とされたものか、この時期の近世陶磁器、特に雜器が多く、鰯肝入という立場によるものか、舟運を利用して仙台湾で購入したと思われる肥前産陶磁器の搬入量が比較的多く見受けられた。

#### 参考文献

1. 前沢町史編纂委員会 前沢町史(上巻) 昭和49年
2. 法政大学文学部考古学研究室 法政大学所蔵「伊藤鉄夫・陽夫考古学資料目録Ⅱ」-伊藤鉄夫収集資料編- 1996年
3. 高橋圭一 「仙台湾周辺の縄文時代後期末末葉から晩期初頭にかけての幅年動向」古代N o.85 1988年
4. 藤沼邦彦 「亀ヶ岡式土器様式」縄文土器人観4 小学館
5. 鈴木克彦 「亀ヶ岡式土器」縄文文化の研究4 1981年 雄山閣
6. 村松肇 「亀ヶ岡式土器」考古学ライブラリー18 昭和58年 ニュー・サイエンス社
7. 岩手県立博物館 岩手の土器-県内出土資料の集成- 1982年
8. (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター「上鷹生遺跡発掘調査報告書」岩文振埋文調査報告書第253集
9. (財)岩手県埋蔵文化財センター・岩手県土木部「安増原遺跡発掘調査報告書」岩手県埋文センター文化財調査報告書第74集
10. (財)岩手県埋蔵文化財センター・日本道路公団「曲田Ⅰ遺跡発掘調査報告書」岩手県埋文センター文化財調査報告書第87集
11. (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター「大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書」岩文振埋文調査報告書第100集
12. (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター「大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書」岩文振埋文調査報告書第225集
13. (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター「大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書」岩文振埋文調査報告書第273集
14. 岩手県北上市教育委員会「九年橋遺跡第3次・6～11次調査報告書。文化財調査報告書第18・29・35・39・42・44・47・66集
15. 秋田県教育委員会「家ノ後遺跡」1992年 秋田県文化財調査報告書第229集
16. 秋田県教育委員会「血内Ⅰ遺跡」1998年 秋田県文化財調査報告書第274集
17. 青森県弘前市教育委員会「砂子遺跡発掘調査報告書-本文編-」平成2年
18. 青森県教育委員会「左沢遺跡」平成元年 青森県埋蔵文化財調査報告書第130集

19. 小治村教育委員会・早稲田大学文学部考古学研究室「縄文遺跡発掘調査報告書」1991 小治村文化財調査報告書第2集
20. 金子昭彦 「大洲B2式の磨光土器について(上)(中)(下) 紀要XI-XIII (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
21. 高橋龍三郎 「亀ヶ岡式土器の研究」北奥古代文化第12号 昭和56年 北奥古代文化研究会
22. 高橋龍三郎 「大洲C2式土器細分のための課題」先史考古学研究第4号 1993年 阿佐ヶ谷先史学研究会
23. 丁藤久 「東北北部における亀ヶ岡式土器の終末」考古学雑誌第72巻第4号 昭和62年 日本考古学会
24. 弘前大学考古学研究会「牧野J遺跡出土遺物について(1)」弘前大学考古学研究第1号
25. 東北日本埋蔵文化財研究会「東日本における稲作の受容」1回東日本埋蔵文化財研究会 1991年
26. 須藤隆 「東北地方の初期弥生土器—山王型式—」考古学雑誌第68巻第3号 昭和58年 日本考古学会
27. 小山野哲彦 「岩手の弥生式土器編年試験」岩手県立博物館研究報告第5号 1987 岩手県立博物館
28. 佐藤高広 「東北地方北部における弥生文化受容期の様相」岩手県立博物館研究報告第7号 1989 岩手県立博物館
29. 利部修 「諏訪台C遺跡のI・II類土器群」研究紀要第5号 1990年 秋田県埋蔵文化財センター
30. 縄文文化検討会「東北地方の弥生式土器の編年について」 1988年 第2回縄文文化検討会シンポジウム
31. 戸沢充則 編 縄文時代研究事典 1994年 東京堂出版
32. 東北歴史資料館 東北地方の土偶 平成8年
33. 土偶とその情報研究会 東北・北海道の土偶Ⅱ—亀ヶ岡文化の土偶— 1996年
34. 金子昭彦 「東北地方北部における縄文時代後期後半の土偶」土偶研究の地平『土偶とその情報』平成9年 勉誠社
35. 金子昭彦 「遺跡における磨光土器の様相」縄文時代第5号 1994年 縄文時代文化研究会
36. 金子昭彦 「『小型』磨光土器の編年」よねしろ考古第8号 1993年 よねしろ考古学研究会
37. 金子昭彦 「大洲C2式の土偶—大型土偶の変化を中心として—」古代第95号 平成5年 早稲田大学考古学会
38. 会山容弘 「東北地方における縄文時代終末期以降の土偶の変遷と分布」山形考古第3巻第2号 1979年 山形考古学会
39. 佐藤高広 「東北地方の弥生土器」考古学雑誌第81巻第2号 平成8年 日本考古学会
40. 岩手県立博物館「縄文発信—『じょうもん発信展』関連事業報告—」岩手県立博物館調査研究報告書第11冊 1995年
41. 齊藤輝雄・藤井宗孝 「岩手県の縄文時代葬制遺構について」北奥古代文化第23号 1994年
42. 田沼研之助 「土版」縄文文化の研究9 1983年 雄山閣
43. 郡立学校遺跡調査会 郡立白鳥高校内埋蔵文化財発掘調査報告書 1990年
44. 旧芝罘宮庭園調査団 旧芝罘宮庭園「浜松町駅高架式歩行者道架設工事に伴う発掘調査報告書」1988年
45. 港区麻布台—1目録調査会 郵政省飯倉分館橋内遺跡 1986年
46. (財)神戸市埋蔵文化財センター 研究紀要 第2冊 1994年
47. 大橋康二 「肥前陶磁」考古学ライブラリー—55 ニューサイエンス社
48. 福島県立博物館 企画展 東北の陶磁史 1990年
49. 佐賀県立九州陶磁文化館 「北海道から沖縄まで国内出土の肥前陶磁」1984年
50. 有田町 有田町史—古窯編— 昭和63年
51. 今きもの事典 平凡社 1984年
52. 矢部良明 「やきもの鑑賞基礎知識」至文堂 1993年
53. (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 泉屋遺跡第10・11・13・15次発掘調査報告書  
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第247集
54. (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 白木野I・II遺跡発掘調査報告書  
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第200集
55. 大橋康二・西田弘子監修 「古伊万草」別冊太陽N063 平凡社 1988年
56. 矢部良明監修 「骨董の知識百科」主婦と生活シリーズ227 主婦と生活社 1993年
57. 古伊万草の見分け方 暮らしの本⑤ 学研 1997年
58. 古伊万草を楽しむ 別冊家庭画報 世界文化社 1998年
59. 文化財講座「日本の建築」5 遊里Ⅱ—近代 昭和51年
60. 小倉強 「東北の民家」相模書房 昭和30年
61. 岩手県教育委員会 岩手県の古民家 文化財調査報告書第26集 昭和53年
62. 宮本馨太郎編 図録民具の基礎知識 柏書房 1979年
63. 日本貨幣商協同組合 「貨幣手帳」縄文社 1973年
64. 池田雅美 「豪族集落の研究」大明堂
65. 前沢町史編纂委員会 前沢町史(中・下巻) 昭和49年
66. 北上市立博物館 「みちのく民族村にみた北上川流域の民家とその発達」北上川流域の自然と文化シリーズ(14)
67. 建設省岩手工芸事務所 「北上川」第九輯
68. 宮城県史28 「資料編6」財団法人宮城県史刊行会
69. 菅江廣澄民俗図説 下巻 岩崎美術社 1989年

# 写 真 图 版





航空写真1 (遺跡遠景)



航空写真2 (遺跡近景)

写真図版1 遺跡全景



航空写真3 (調査区全景)



調査前近景 (N→)

写真図版2 調査区全景



航空写真4 (調査終了全景)



航空写真5 (調査終了全景)

写真図版3 '96調査終了全景



調査終了近景 (C区)



調査終了近景 (C区航空写真)

写真図版 4 調査終了近景C区(環漆屋敷)



'96調査終了近景 (A区)



'96調査終了近景 (A区)

写真図版5 調査終了近景A区(御蔵場)



SI01竪穴住居跡完場 (E→)

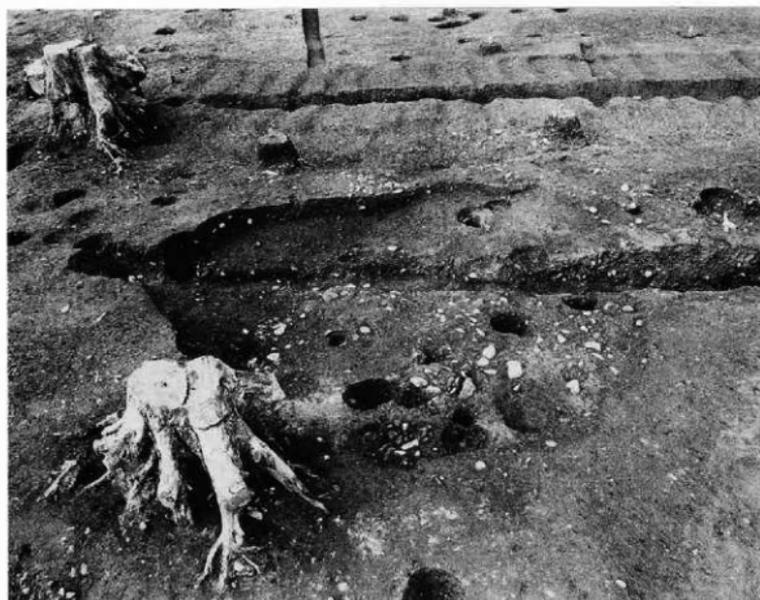


SI01竪穴住居跡石組伊



SI02竪穴住居跡石組伊

写真図版 6 SI01・02竪穴住居跡

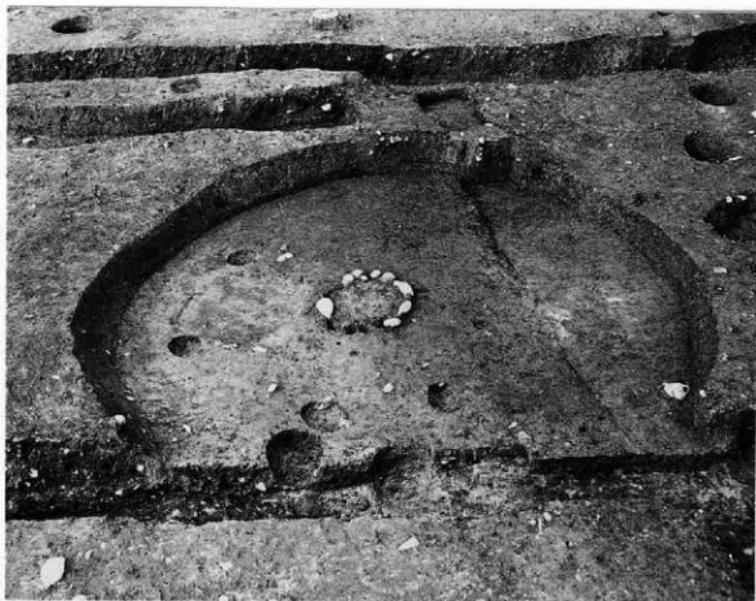


SI03雙穴住居跡完掘 (左→)



SI03遺物出土状況

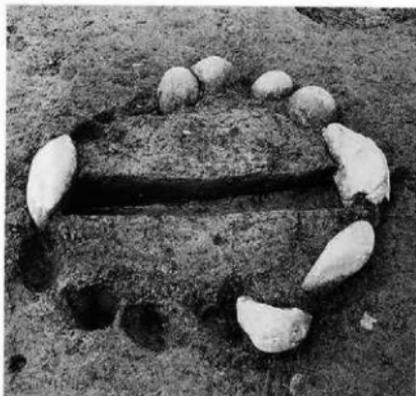
写真図版 7 SI03雙穴住居跡



SI04竪穴住居跡実場 (E→)



SI04石楯炉



写真図版 8 SI04竪穴住居跡



SR02埋設土器検出状況



SR02断面



SR03埋設土器検出状況



SR03断面



SR06埋設土器検出状況



SR06断面



SR07埋設土器検出状況



SR07断面

写真図版9 SR02・03・06・07埋設土器



SR09埋設土器検出状況



SR08・09断面



SR08埋設土器検出状況



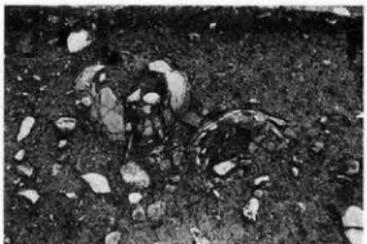
SR12埋設土器検出状況



SR11埋設土器検出状況



SR11断面

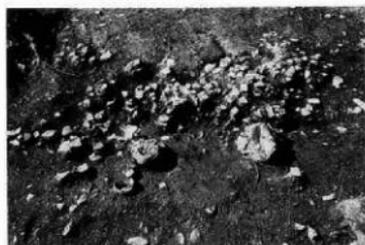


SR14・15埋設土器検出状況



SR14断面

写真図版10 SR08・09・11・12・14・15埋設土器



A 3号沢遺物出土状況



RP 3土器出土状況



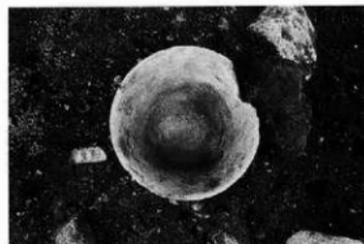
RP 2土器出土状況



RP 1土器出土状況



RP 5土器出土状況



RP 7土器出土状況



RP 9・10土器出土状況



RP 11・12土器出土状況

写真図版11 遺物出土状況 1



RP24土器出土状況



RP22土器出土状況



RP23土器出土状況



RP25土器出土状況



RP27土器出土状況



RP29土器出土状況



RP8土偶出土状況



RQ1石皿出土状況

写真図版12 遺物出土状況2



SD02・04堀跡・完掘  
SF01・02土塁 完掘



SD02・SF01完掘



SD02断面



SF01現況



SF01断面

写真図版13 SD02・04堀跡、SF01・02土塁



SD03堀跡先掘



SD03断面 (西側)



SD03断面 (東側)



SD21堀跡先掘



SD21断面

写真図版14 SD03・21堀跡



SZ01石垣



SZ01



SZ01



SZ02石垣痕跡

写真図版15 SZ01・02石垣



SE01湧水池・SD06溝現況



SE01検出状況



SE01・SD01完掘 (S→)



SE01完掘



SE01・SD01完掘 (E→)



礎石門跡現況



SE02湧水池現況



SE02現況

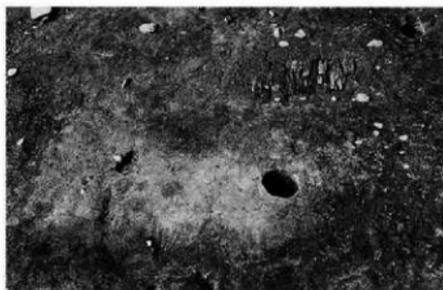
写真図版16 SE01・02湧水池、SD01・06溝、礎石門跡



SB21~23獨立柱建物跡、SA10・11柱穴列完攝



SB21~23母屋跡完攝



SW01土間状遺構



SW01敷板

写真図版17 母屋跡全景・SW01土間状遺構



付属施設跡全景（C区北側）



SK101竪穴状遺構完形



SQ01・17列石

写真図版18 付属施設関連遺構

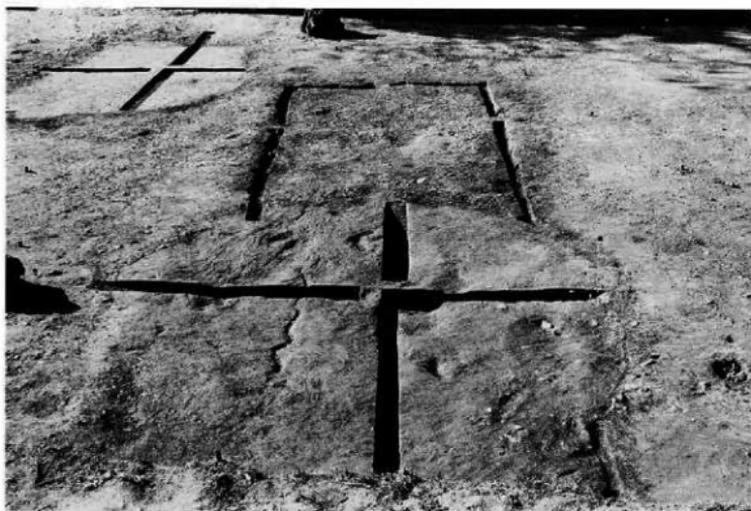


御蔵場跡（A区北側）終了近景



御蔵場跡（A区南側）終了近景

写真図版19 御蔵場跡終了近景



SB01掘立柱建物跡完攝



SB02・03掘立柱建物跡完攝

写真図版20 SB01~03掘立柱建物跡



SB11・12掘立柱建物跡完掘



SB11・12布掘断面



SB13・14掘立柱建物跡完掘

写真図版21 SB11~14掘立柱建物跡



SH11建物跡グリ石検出状況



SH14建物跡  
グリ石検出状況



SH11建物跡グリ石・粘土検出状況



SH12建物跡グリ石検出状況

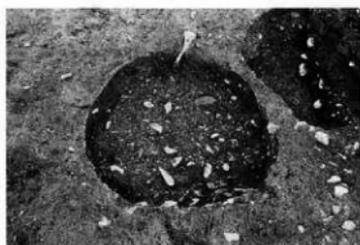


SH11断面

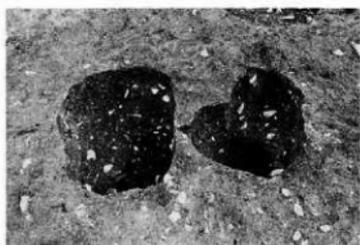


SH12断面

写真図版22 SH11～14建物跡



SK27土坑完掘



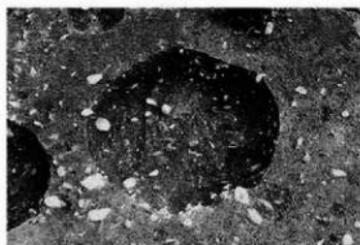
SK28・477土坑完掘



SK29土坑完掘



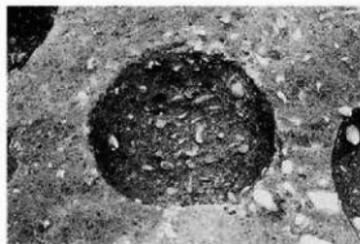
SK31土坑完掘



SK32土坑完掘



SK33土坑完掘



SK36土坑完掘



SK52土坑完掘

写真図版23 SK27~29・31~33・47・51・52土坑



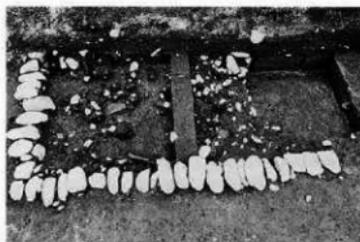
SK30・53土坑完掘



SK01土坑完掘



SK02土坑検出状況



SK02遺物出土状況



SK02完掘



SK15土坑検出状況



SK26土坑完掘

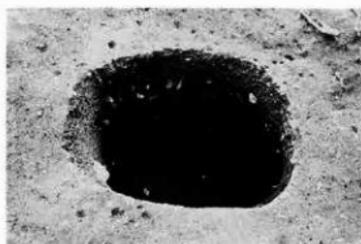


SK15完掘

写真図版24 SK01・02・15・26・30・53土坑



SK34土坑完掘



SK35土坑完掘



SK37土坑完掘



SK38土坑完掘



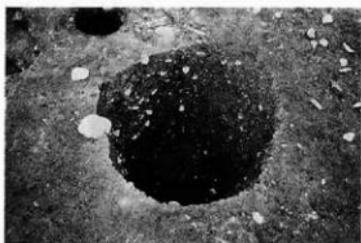
SK39土坑検出状況



SK39断面



SK40土坑完掘



SK45土坑完掘

写真図版25 SK34・35・37~40・45土坑



SX04検出状況



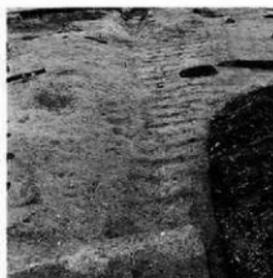
SX04完掘



SX02完掘



SX02断面



SX03完掘



SQ21集石



SQ23集石



SQ24集石

写真図版26 SX01・02・04畝間状遺構、SQ21・23・24集石



SK101竪穴状遺構完照



SE05検出状況

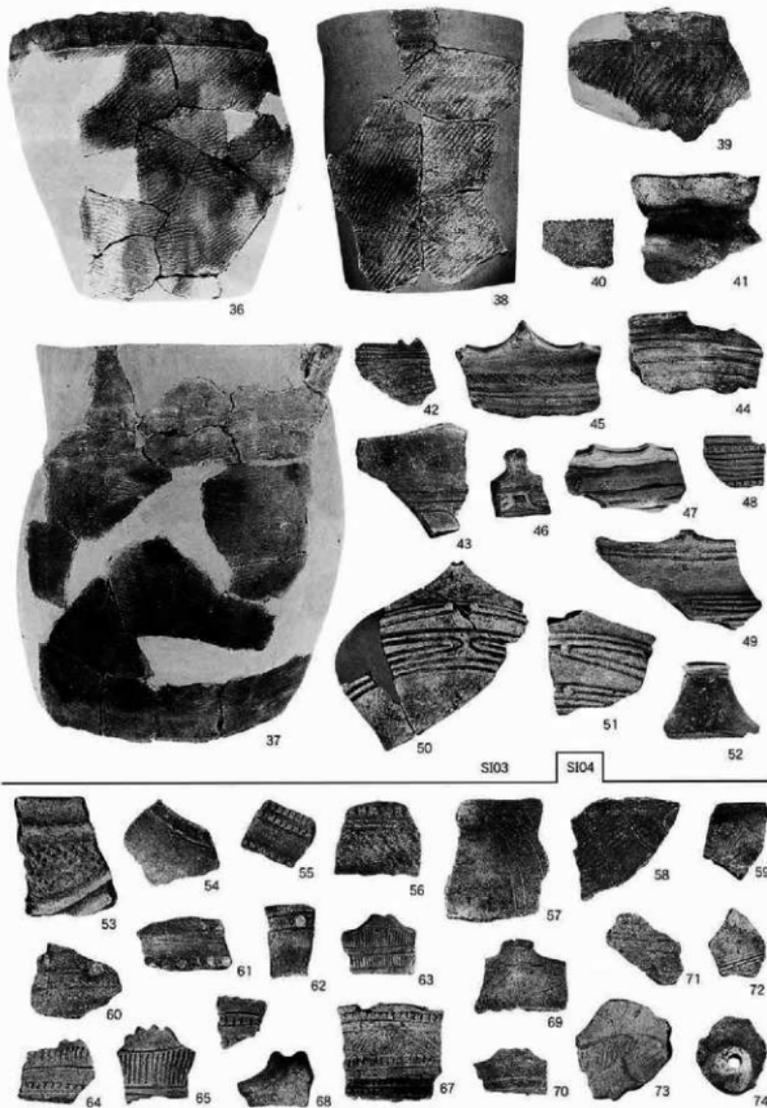


SE05完掘

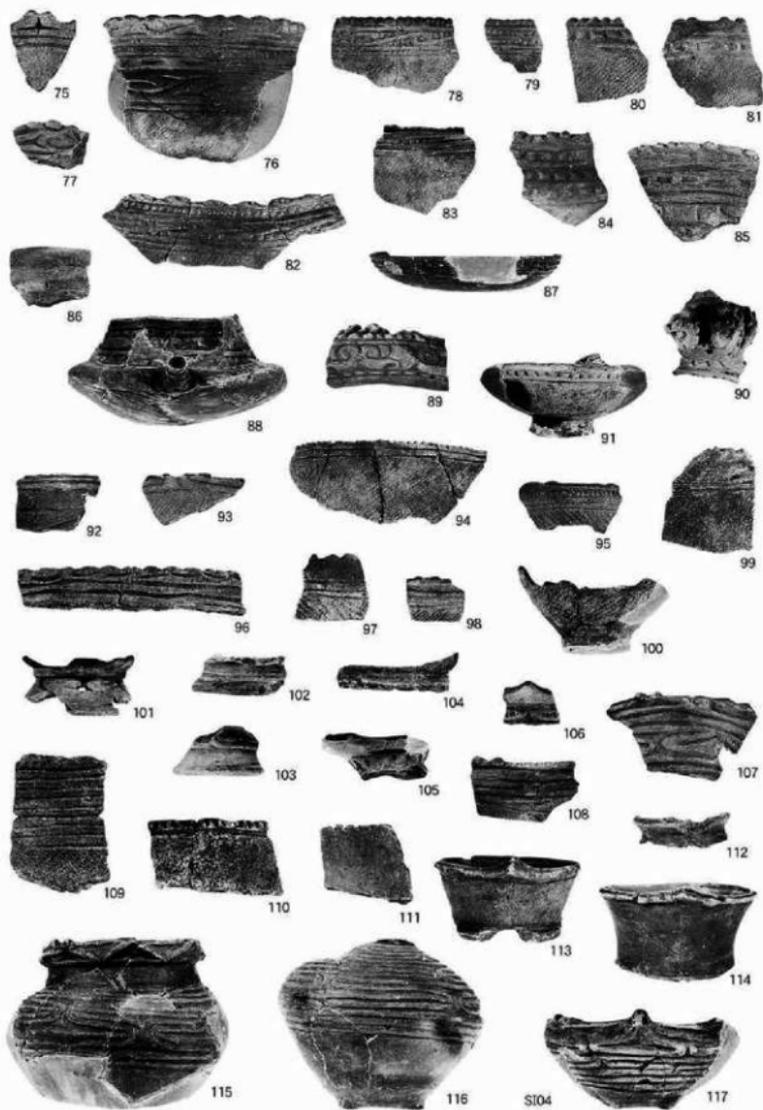
写真図版27 SK105竪穴状遺構、SE05肥溜跡？



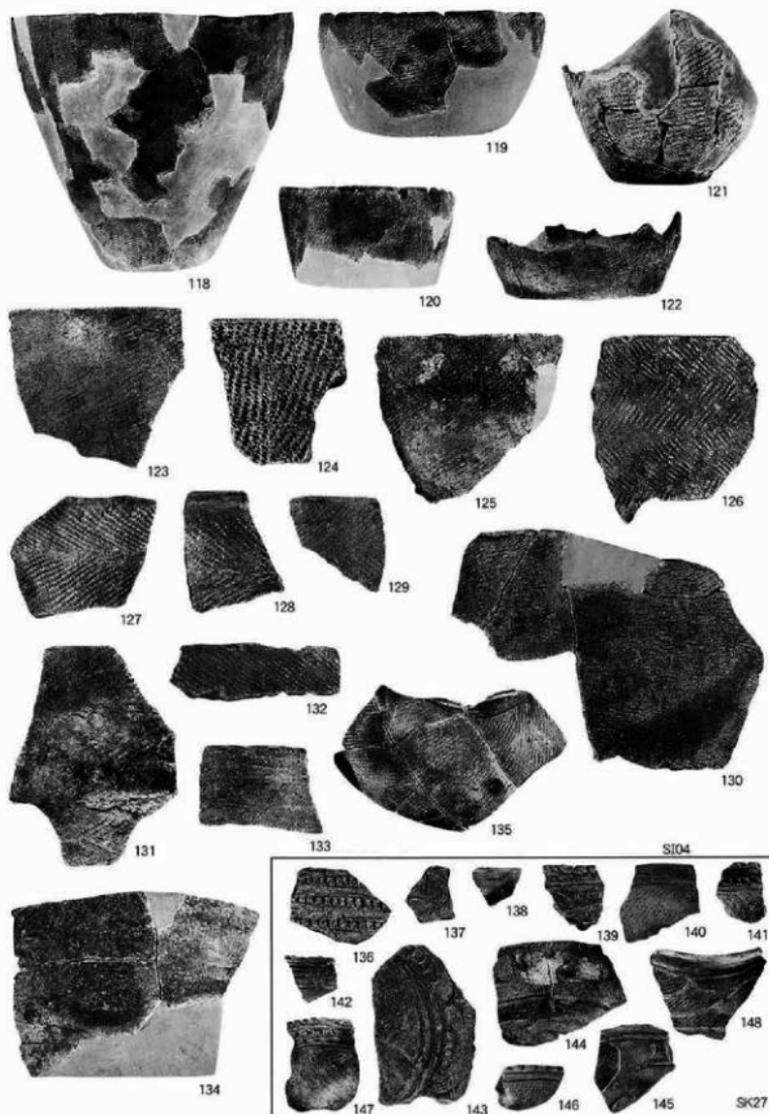
写真図版28 遺構内出土遺物1 (土器1)



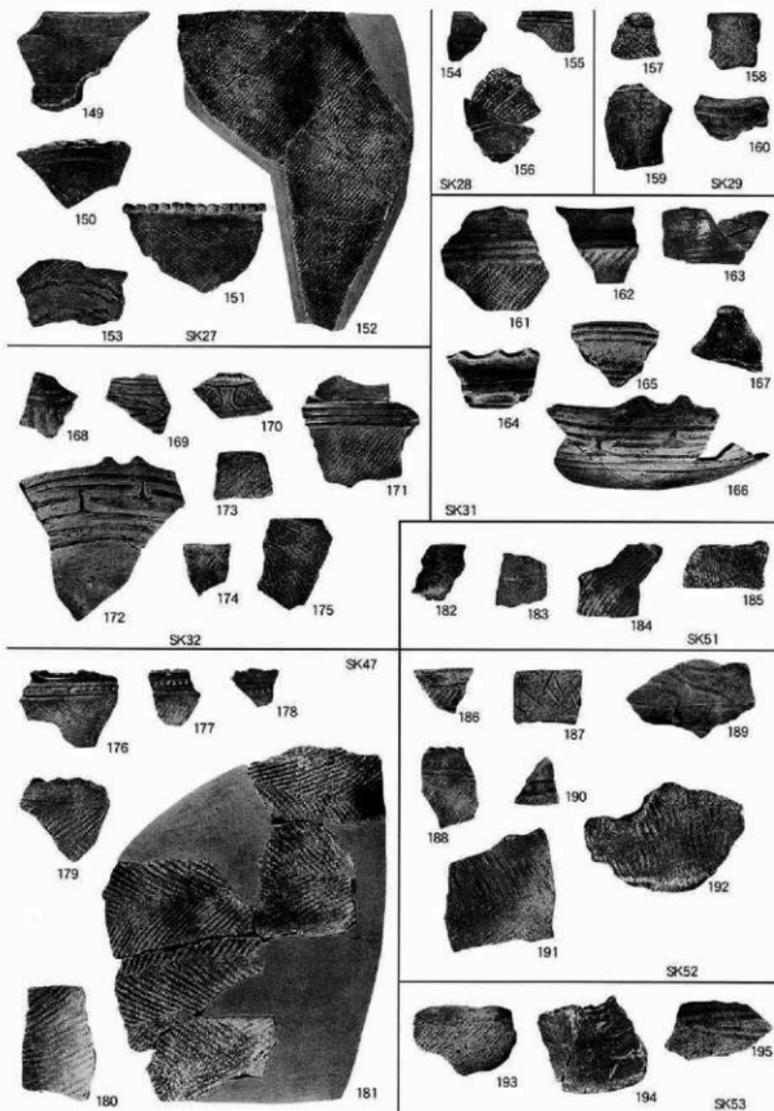
写真図版29 遺構内出土遺物2 (土器2)



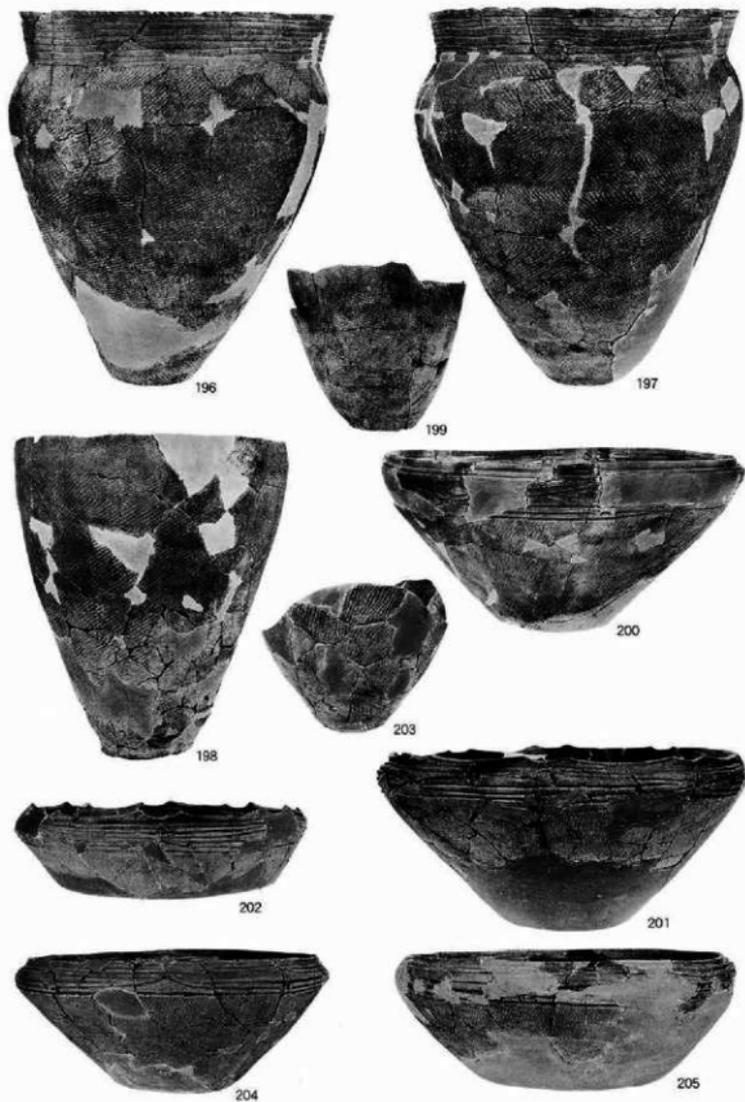
写真図版30 遺構内出土遺物3 (土器3)



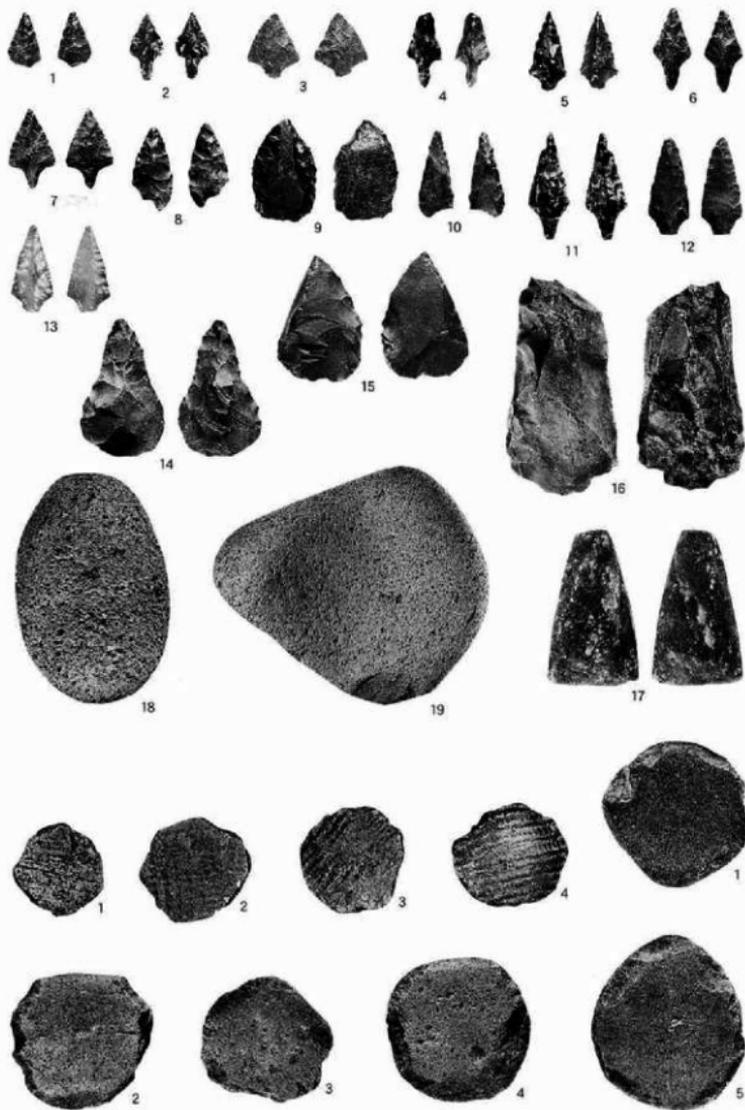
写真図版31 遺構内出土遺物4（土器4）



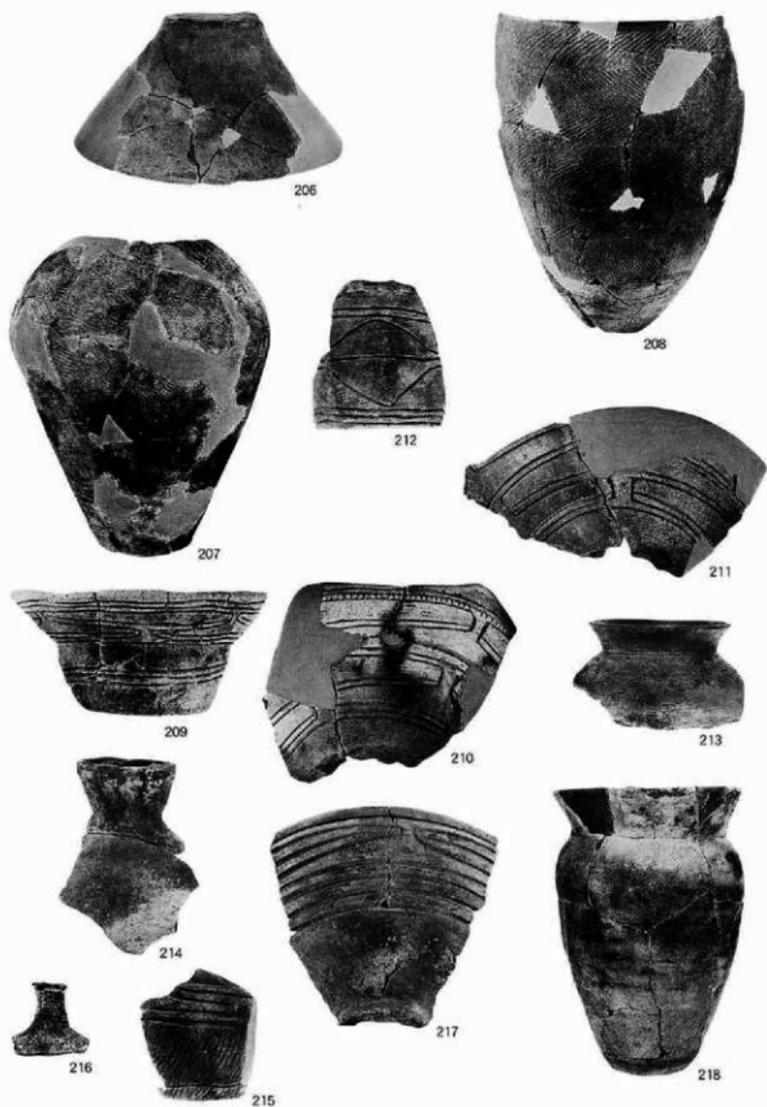
写真図版32 遺構内出土遺物5 (土器5)



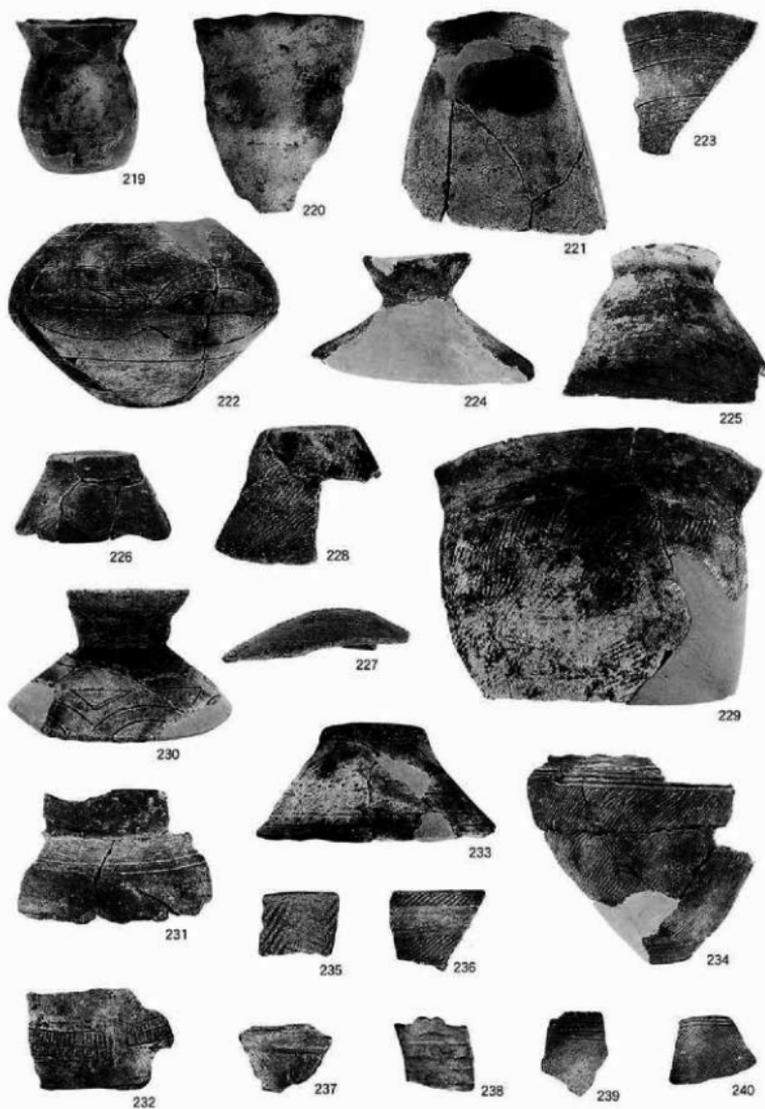
写真図版33 遺構内出土遺物6 (土器6)



写真図版34 遺構内出土遺物7 (石器・土・石製品)



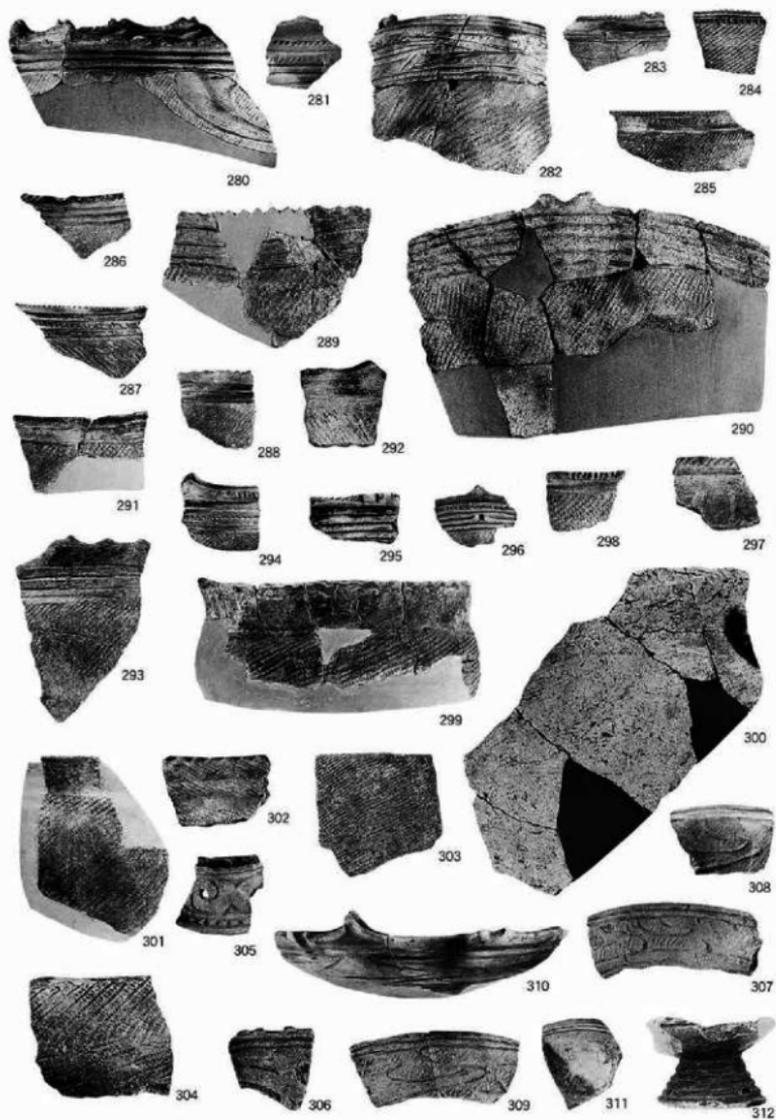
写真図版35 遺構外出土遺物1 (土器7)



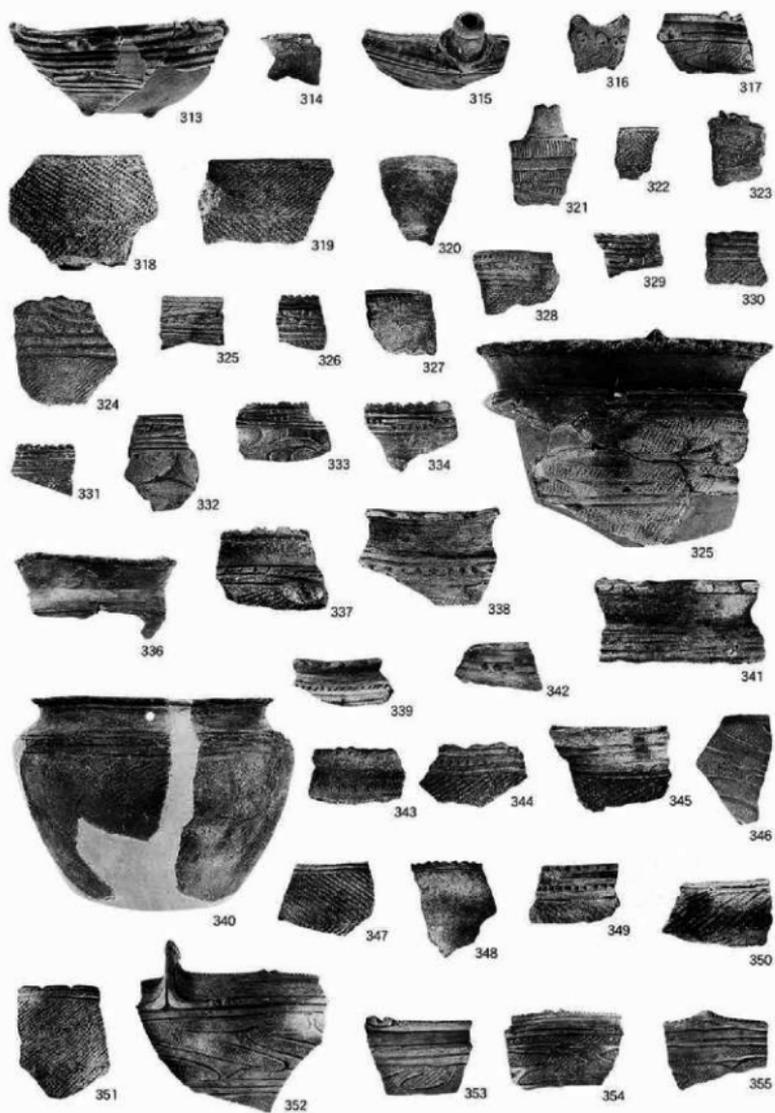
写真図版36 遺構外出土遺物2 (土器8)



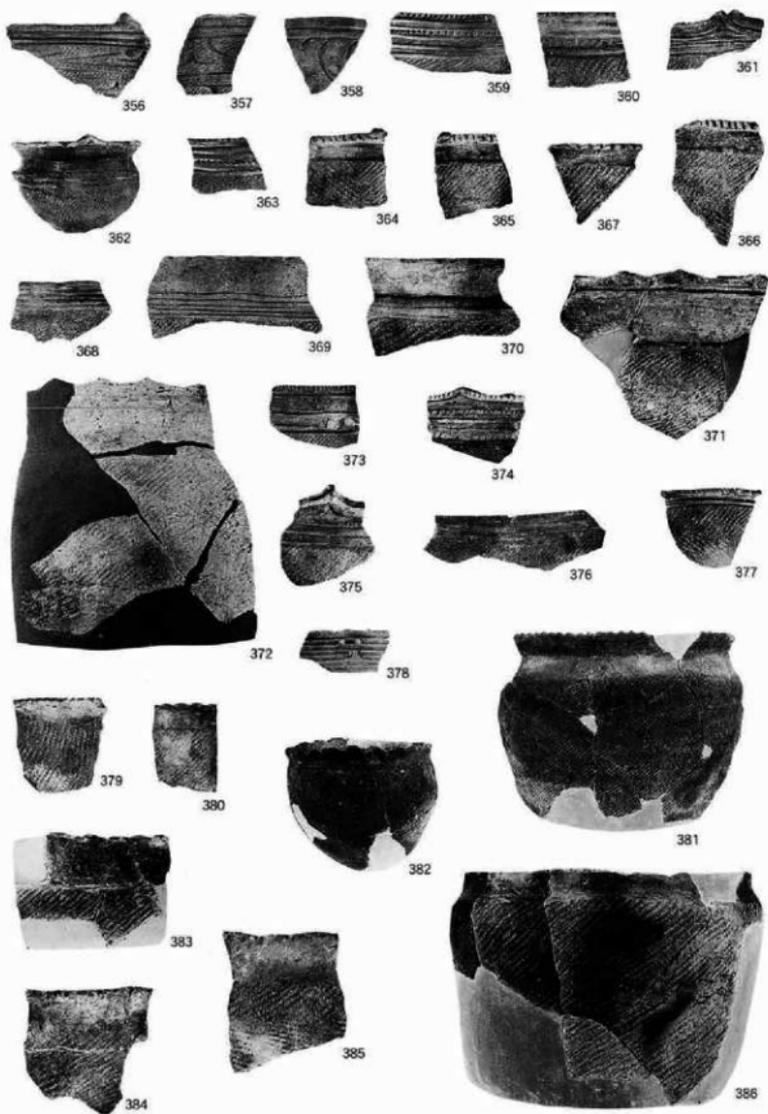
写真図版37 遺構外出土遺物3（土器9）



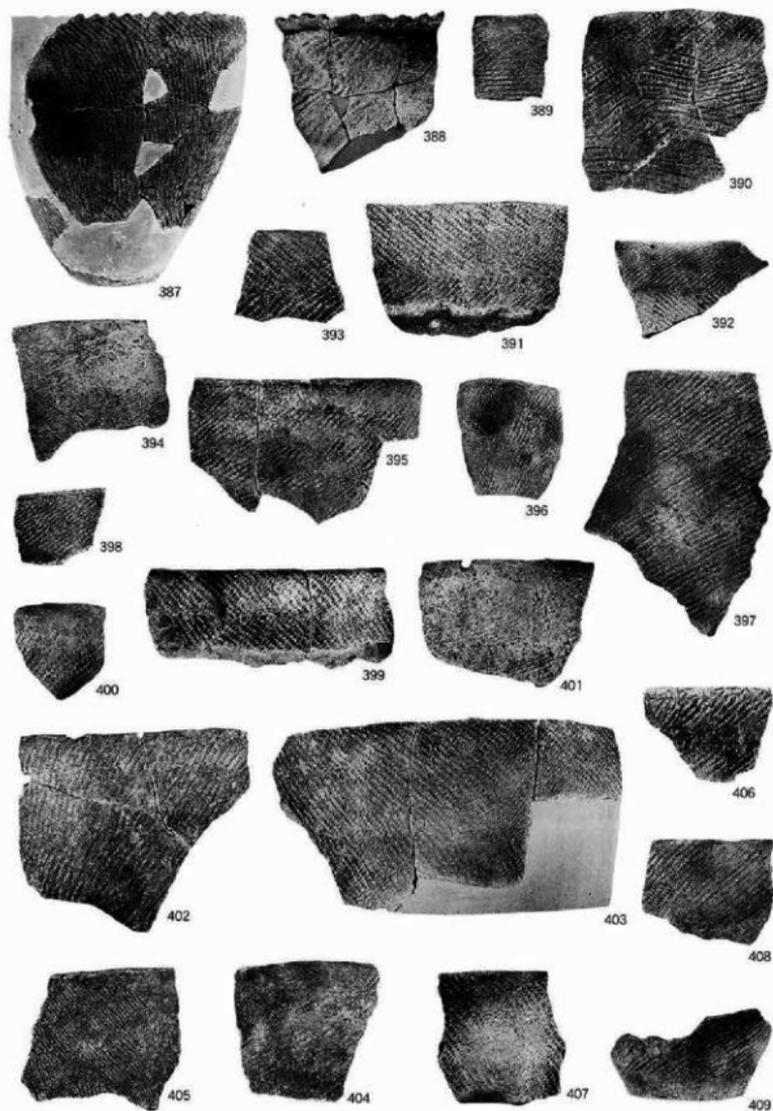
写真図版38 遺構外出土遺物4 (土器10)



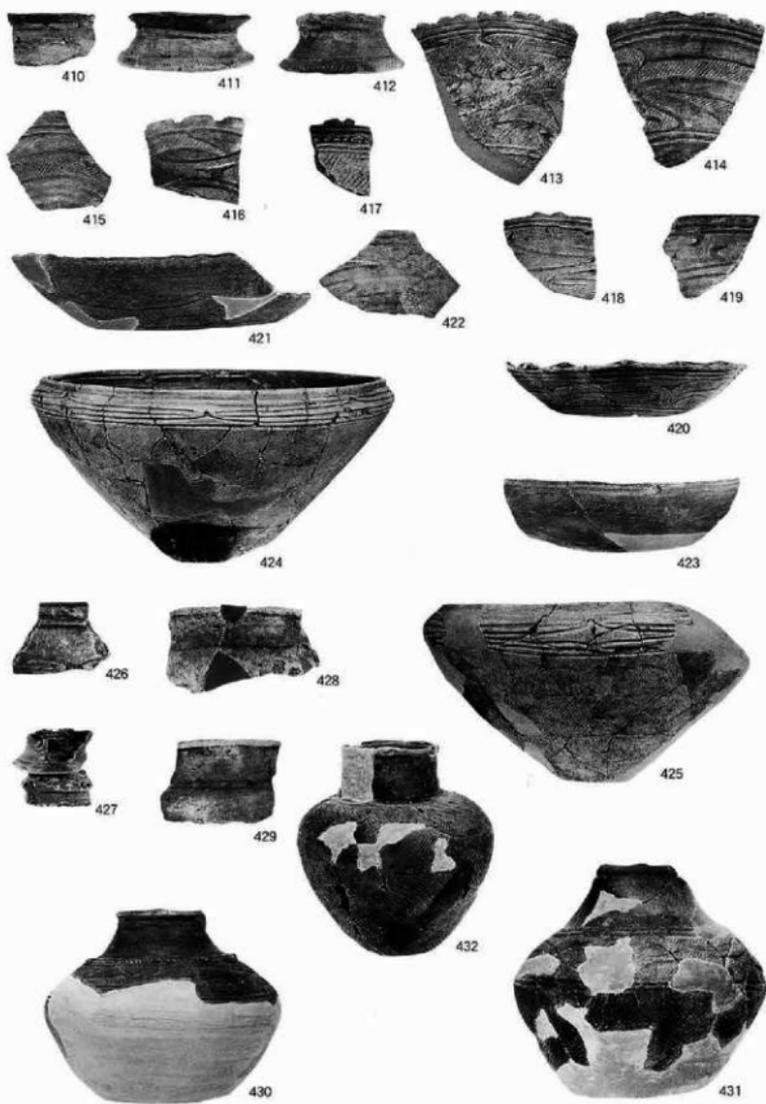
写真図版39 遺構外出土遺物5 (土器11)



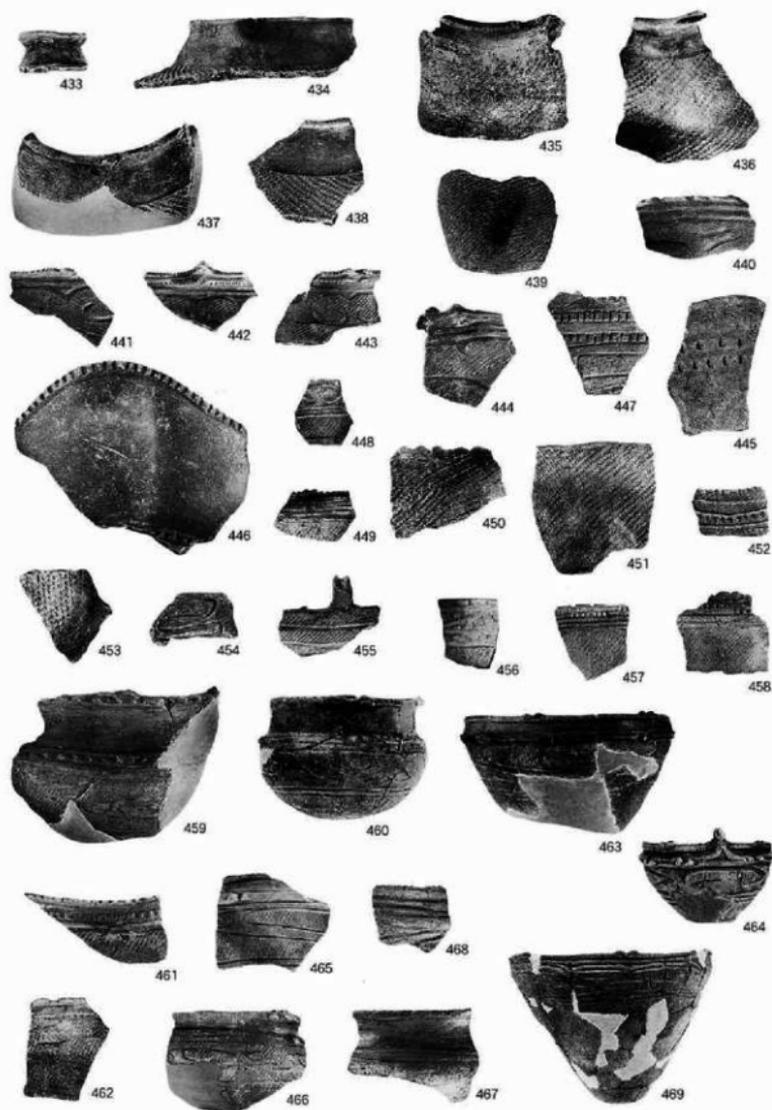
写真図版40 遺構外出土遺物6 (土器12)



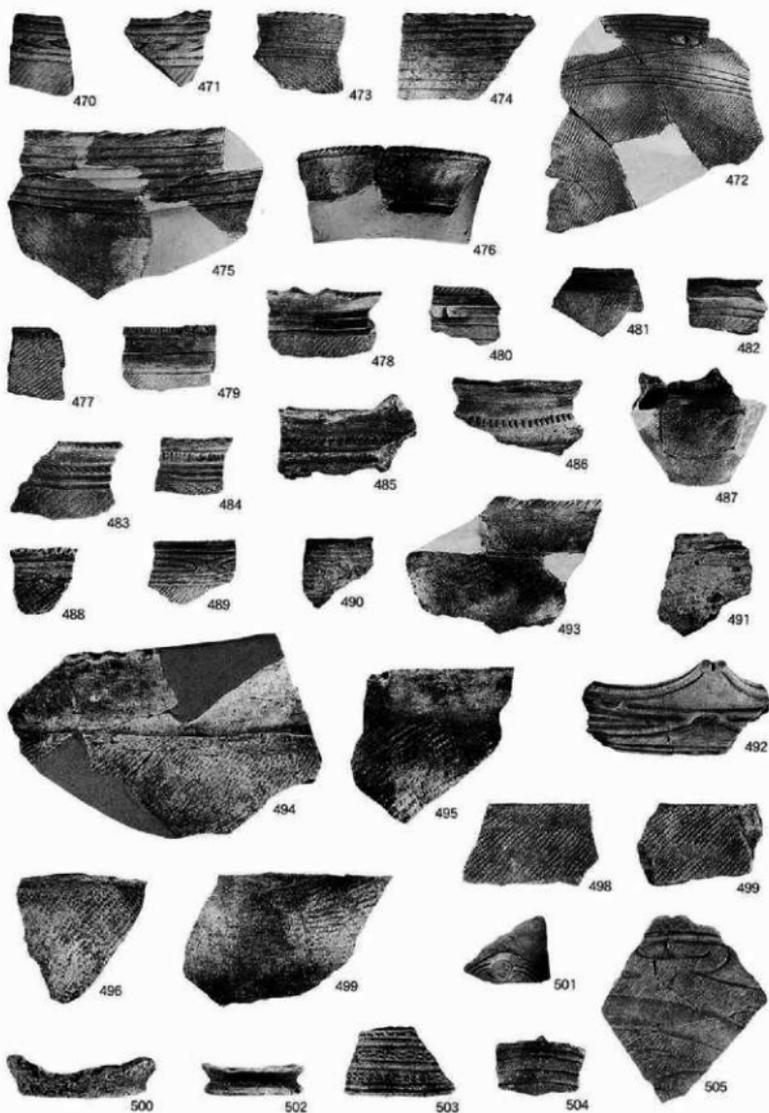
写真回版41 遺構外出土遺物7 (土器13)



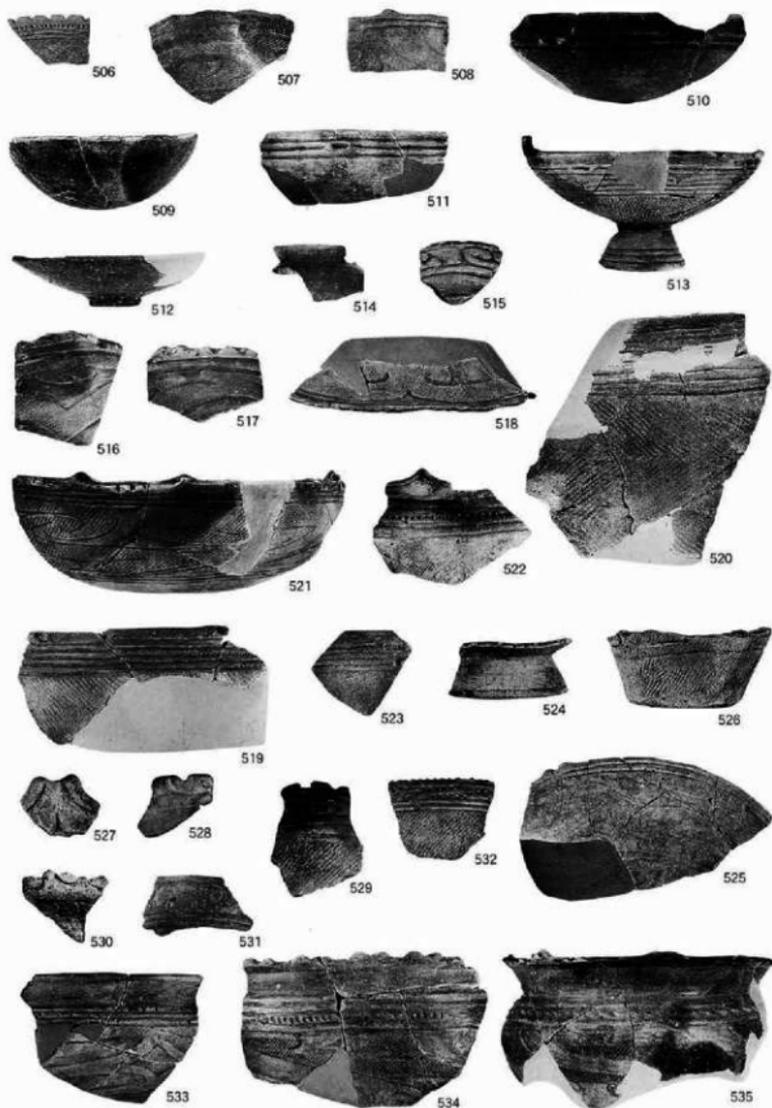
写真図版42 遺構外出土遺物8 (土器14)



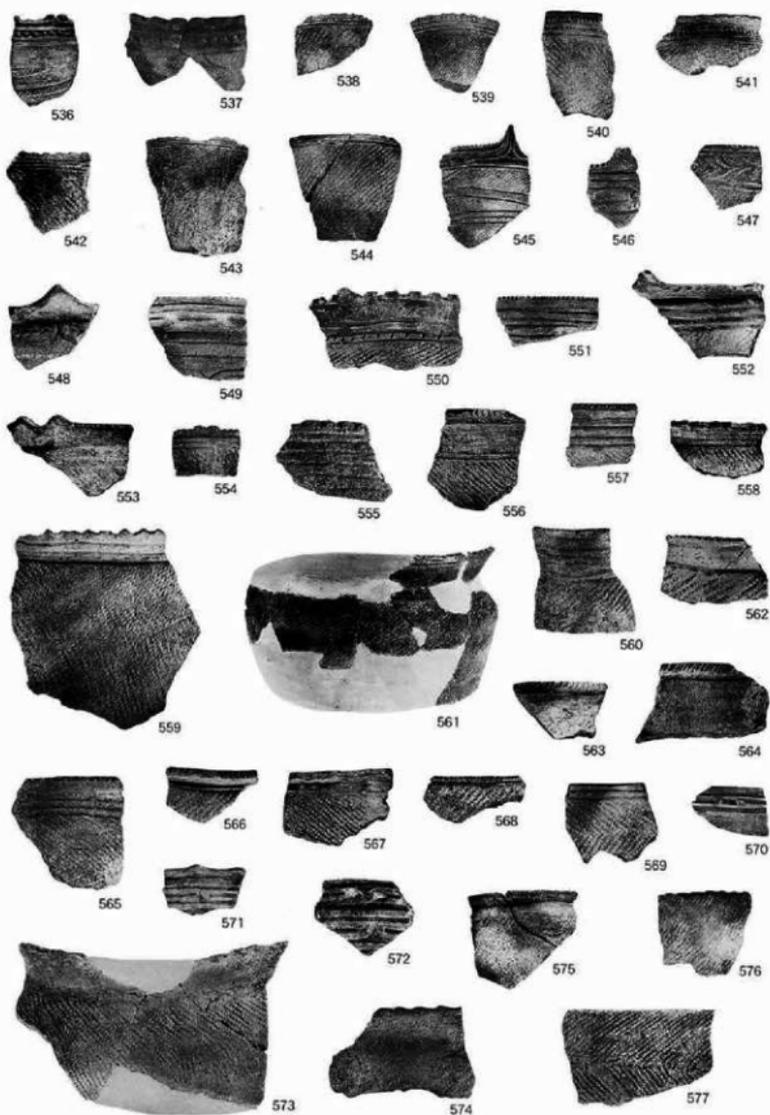
写真図版43 遺構外出土遺物9 (土器15)



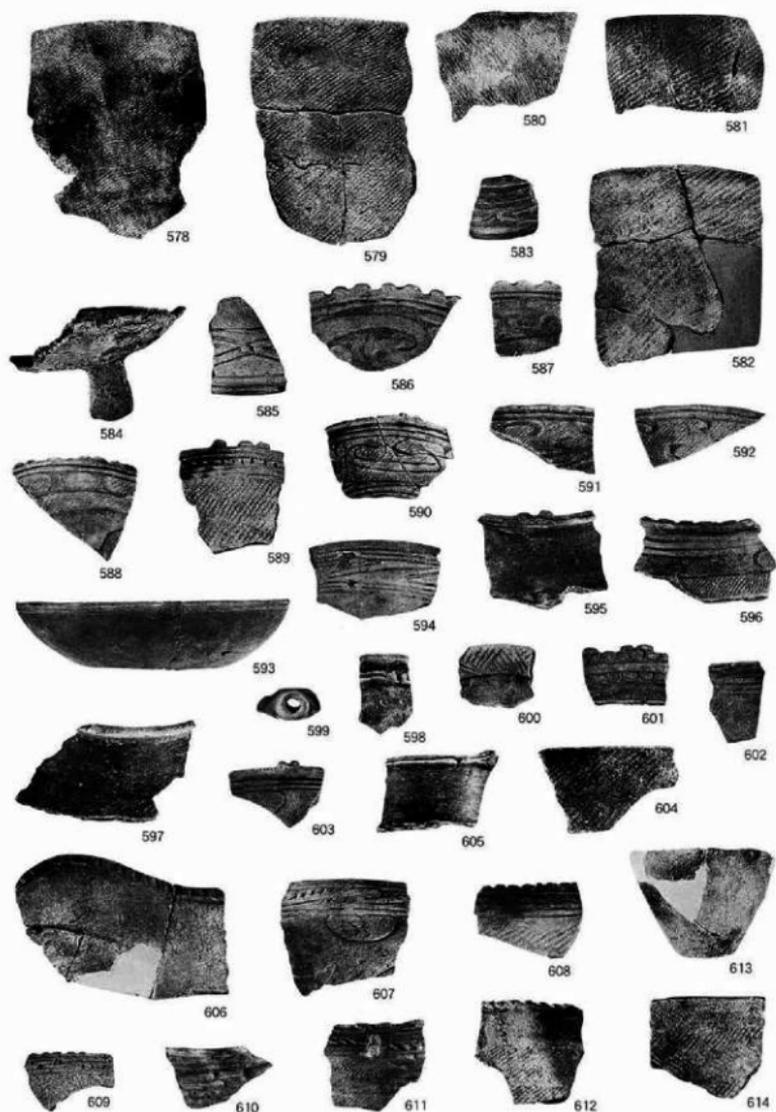
写真図版44 遺構外出土遺物10 (土器16)



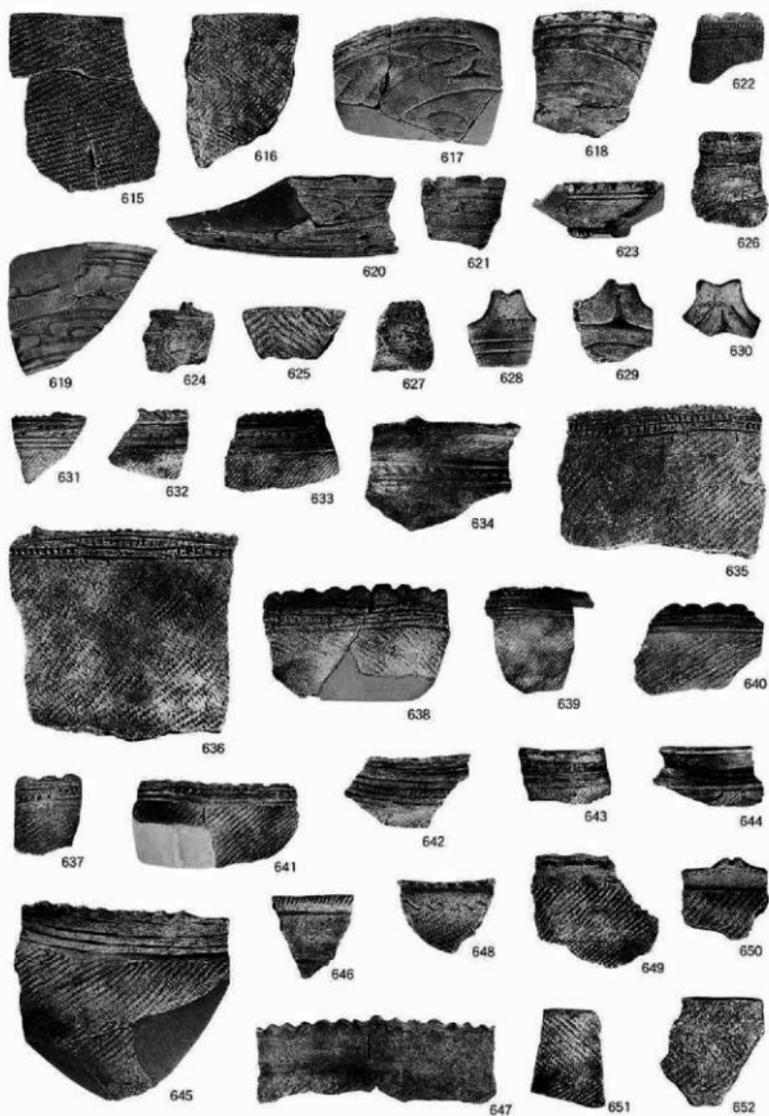
写真図版45 遺構外出土遺物11 (土器17)



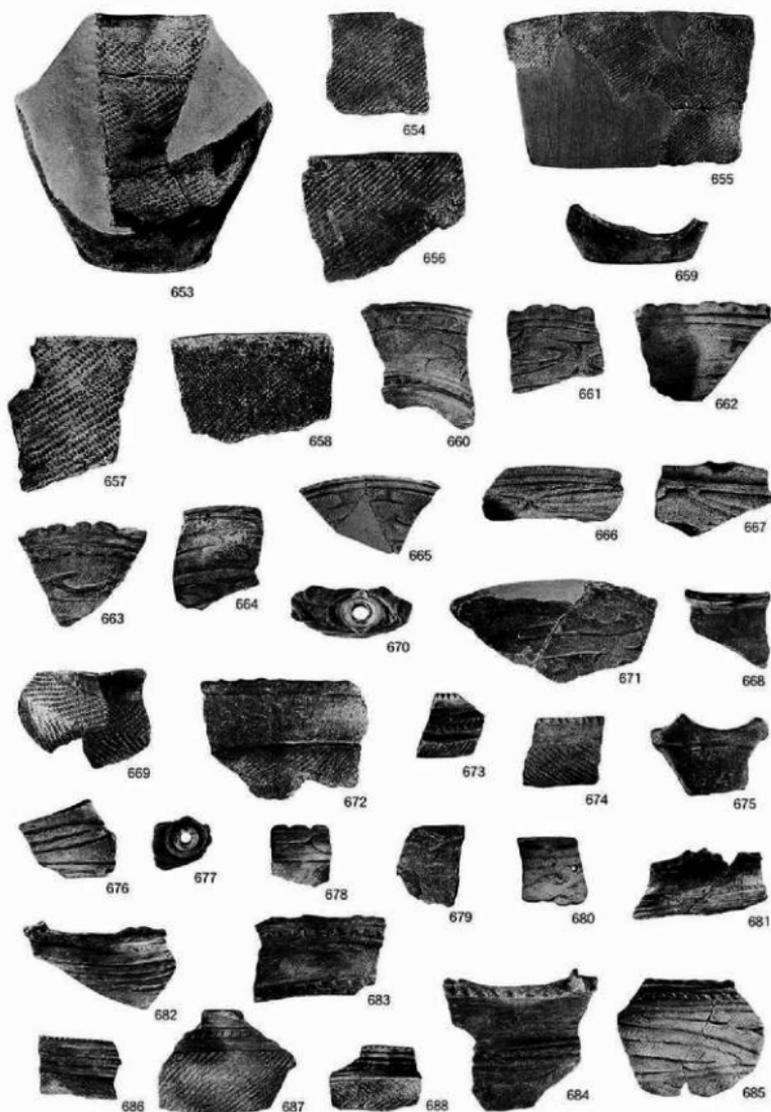
写真図版46 遺構外出土遺物12(土器18)



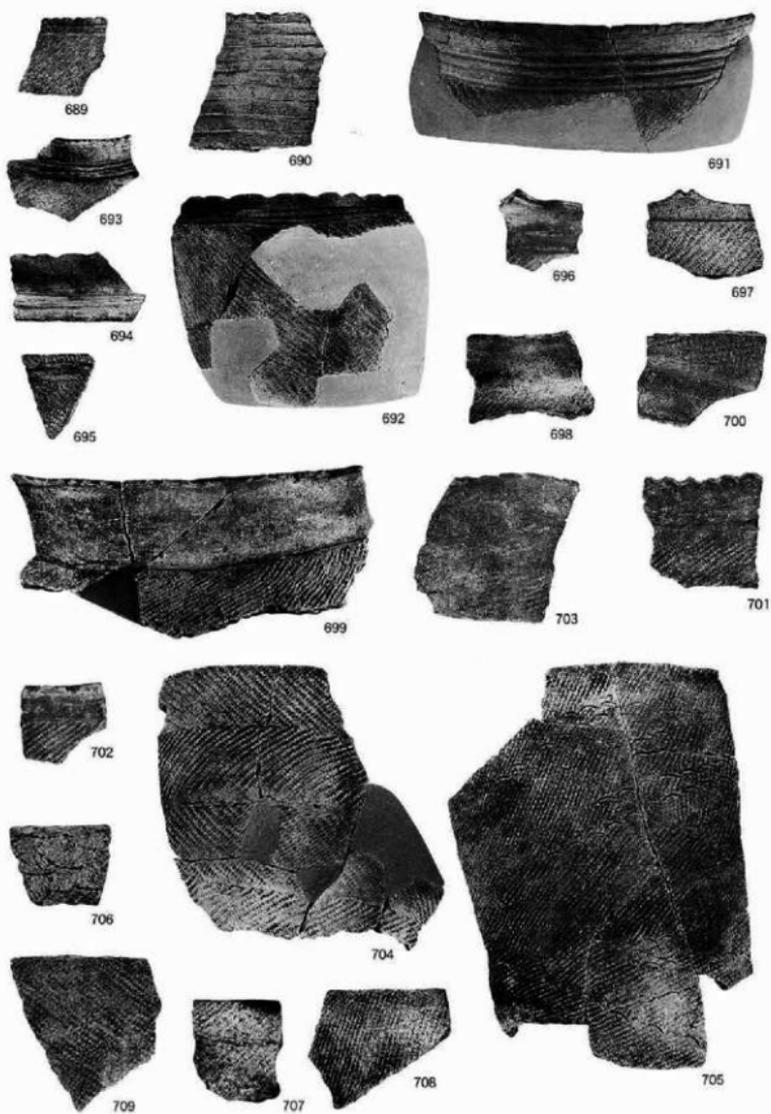
写真図版47 遺構外出土遺物13 (土器19)



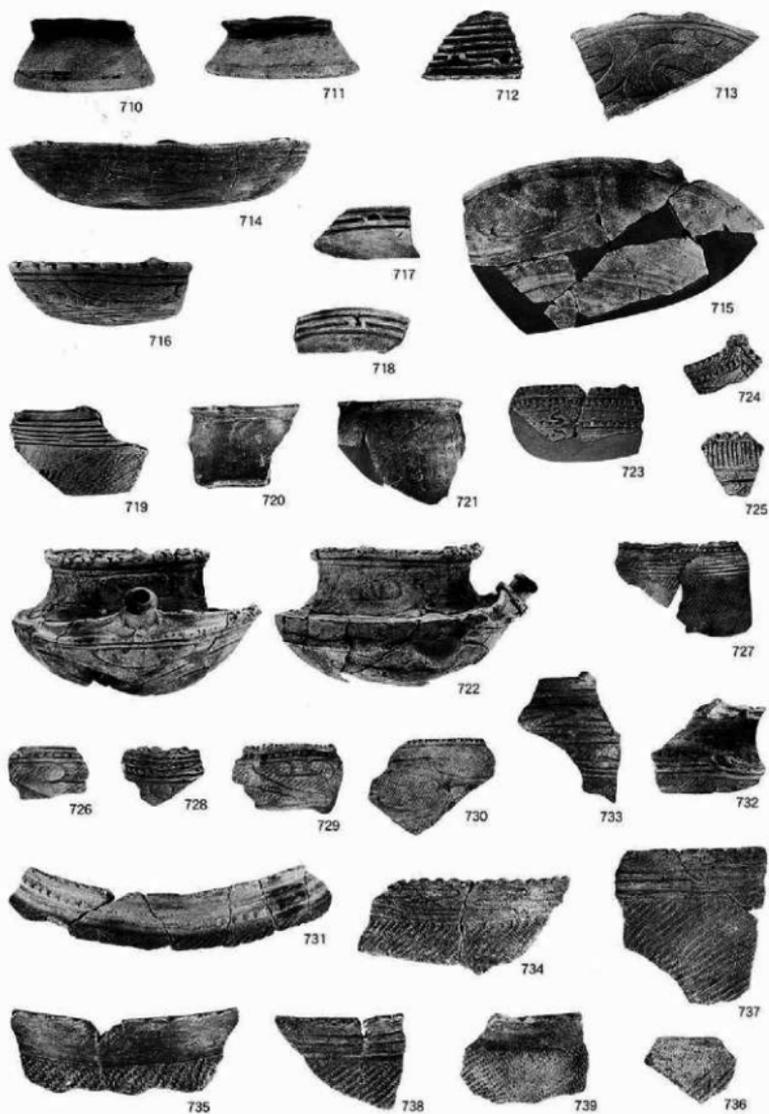
写真図版48 遺構外出土遺物14 (土器20)



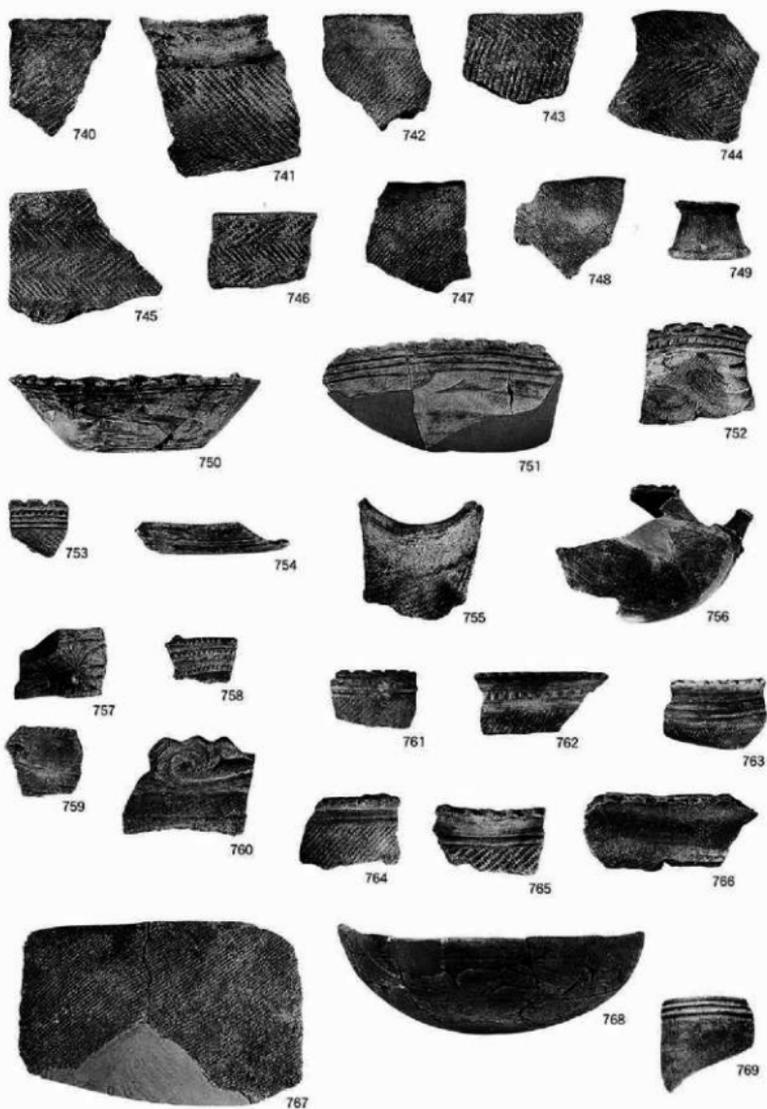
写真図版49 遺構外出土遺物15 (土器21)



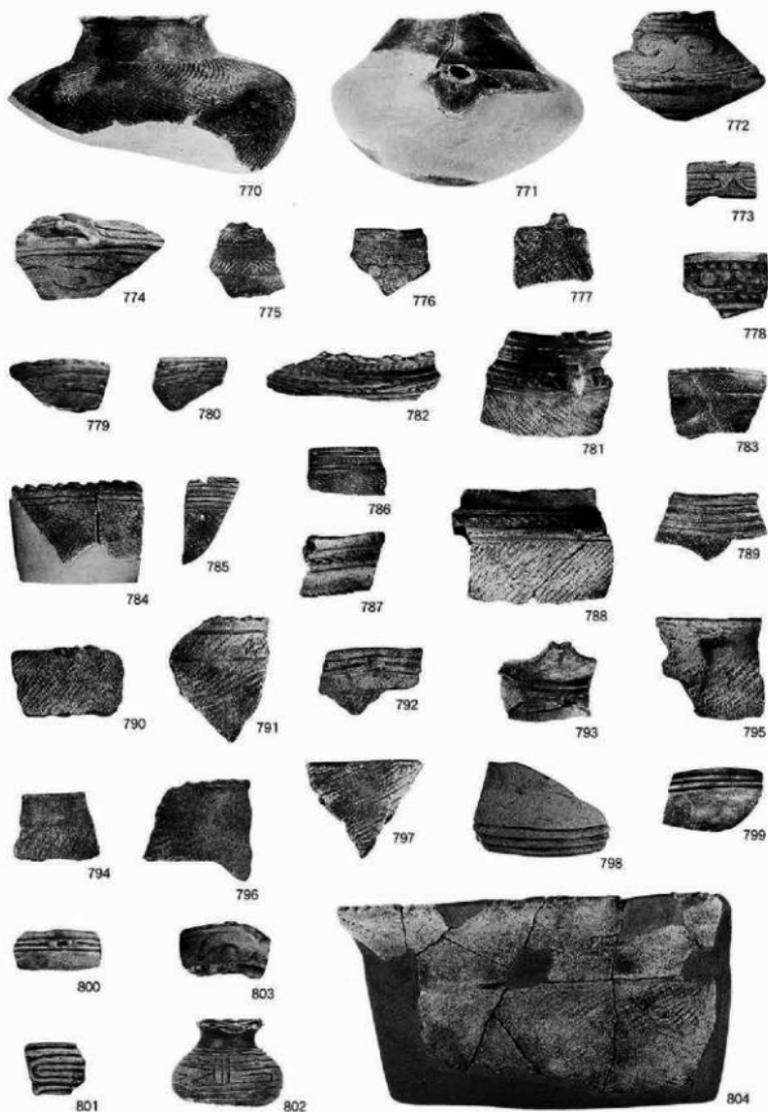
写真図版50 遺構外出土遺物16 (土器22)



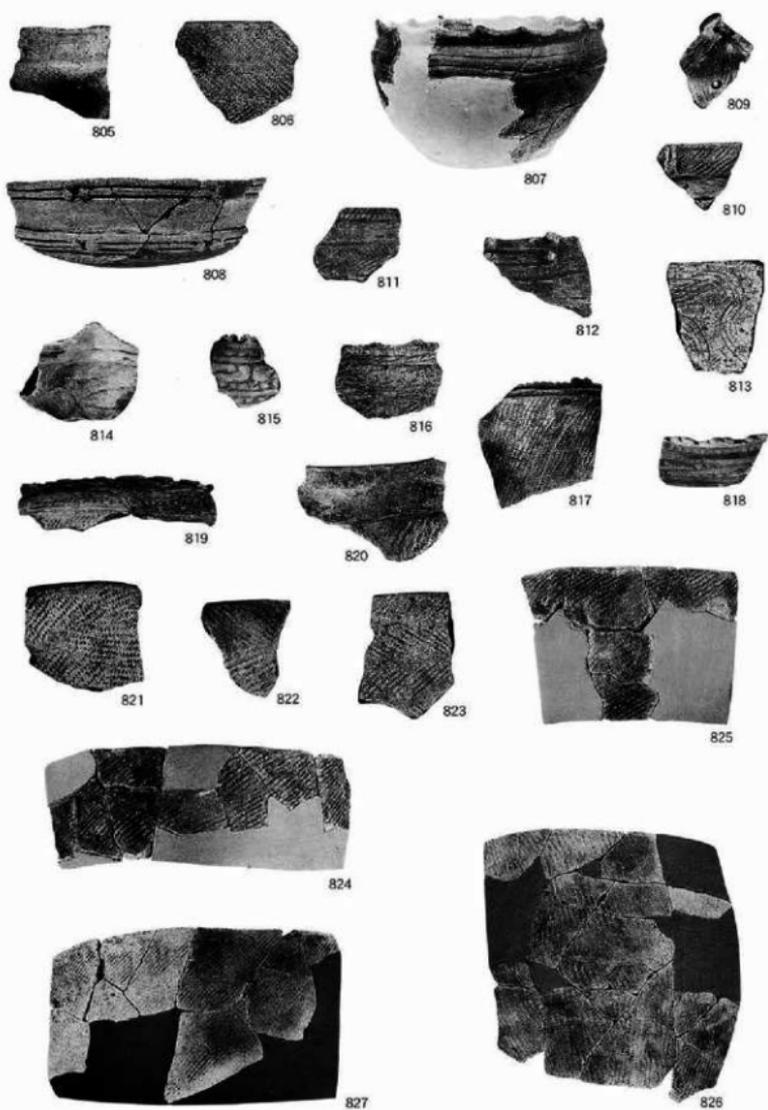
写真図版51 遺構外出土遺物17 (土器23)



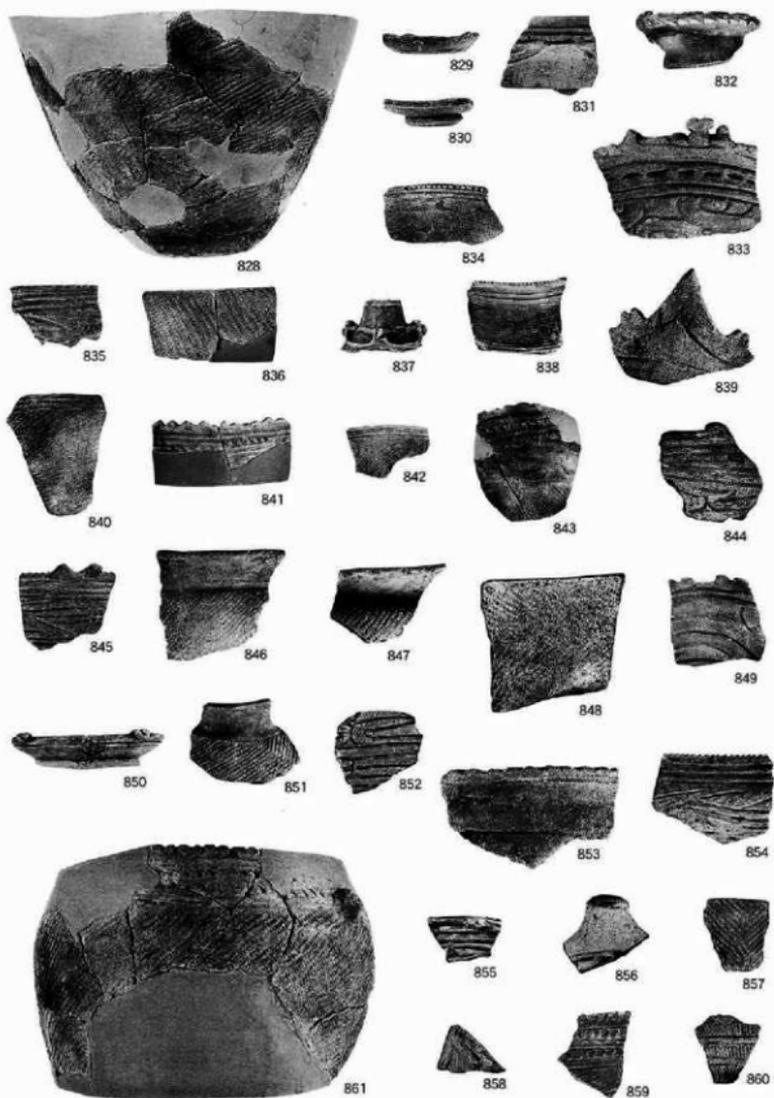
写真図版52 遺構外出土遺物18 (土器24)



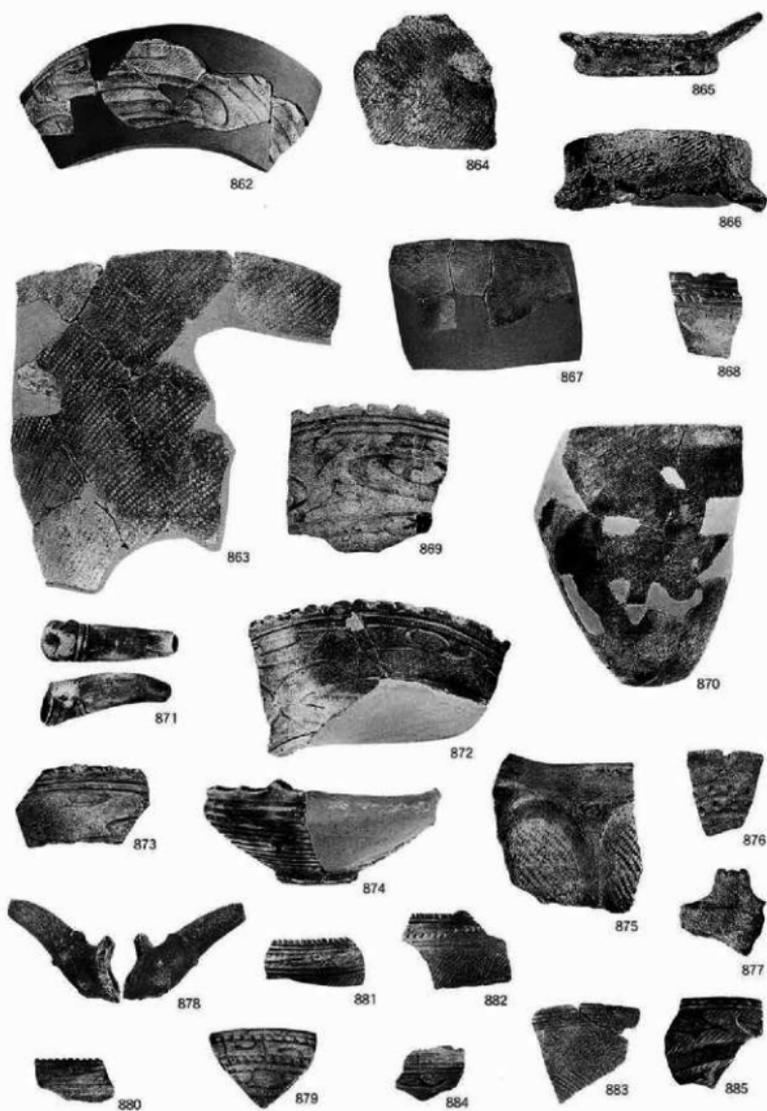
写真図版53 遺構外出土遺物19 (土器25)



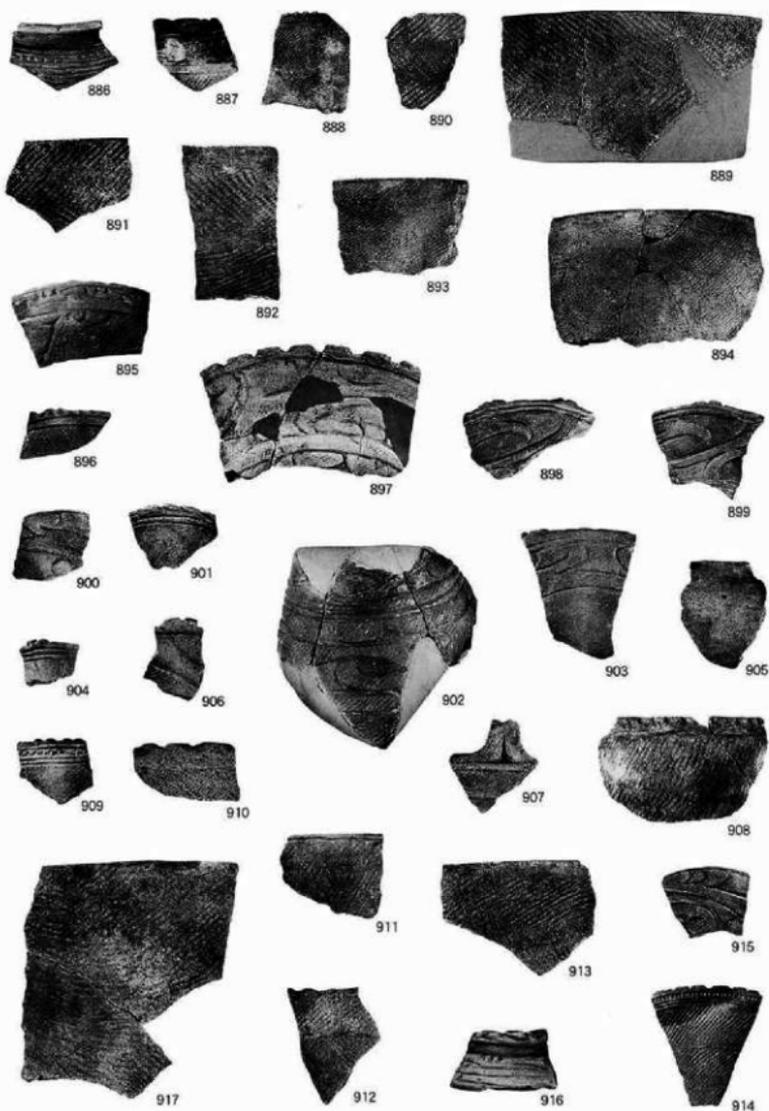
写真図版54 遺構外出土遺物20 (土器26)



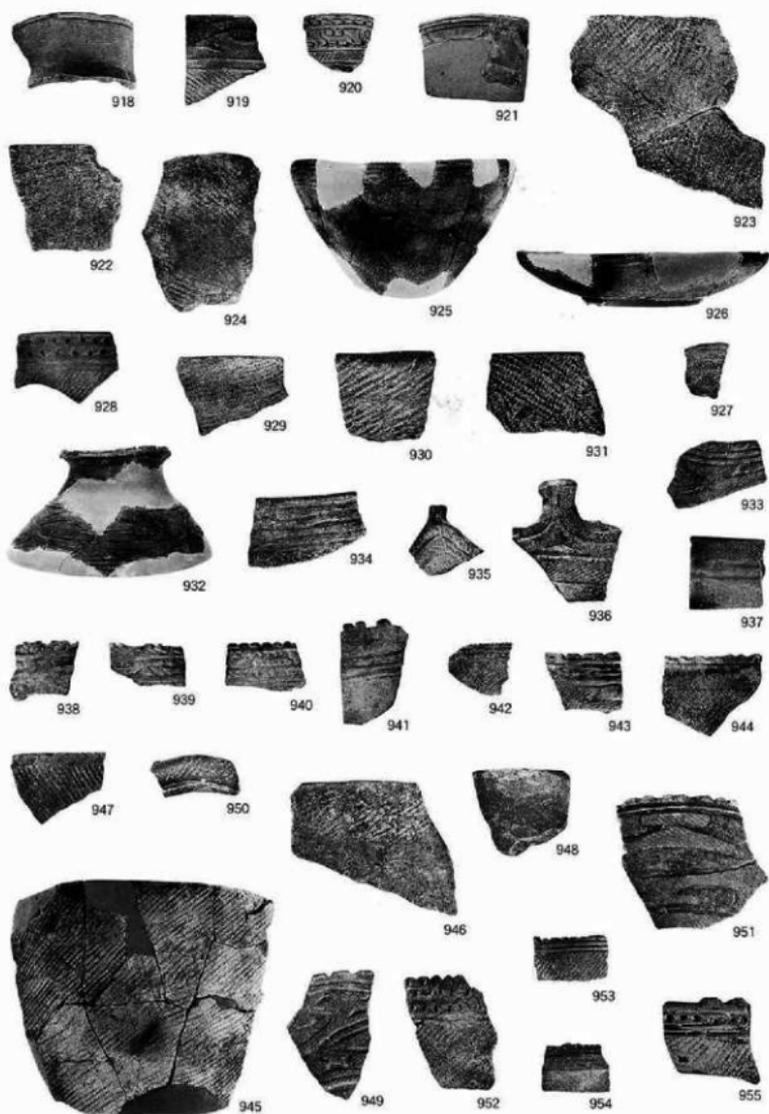
写真図版55 遠構外出土遺物21 (土器27)



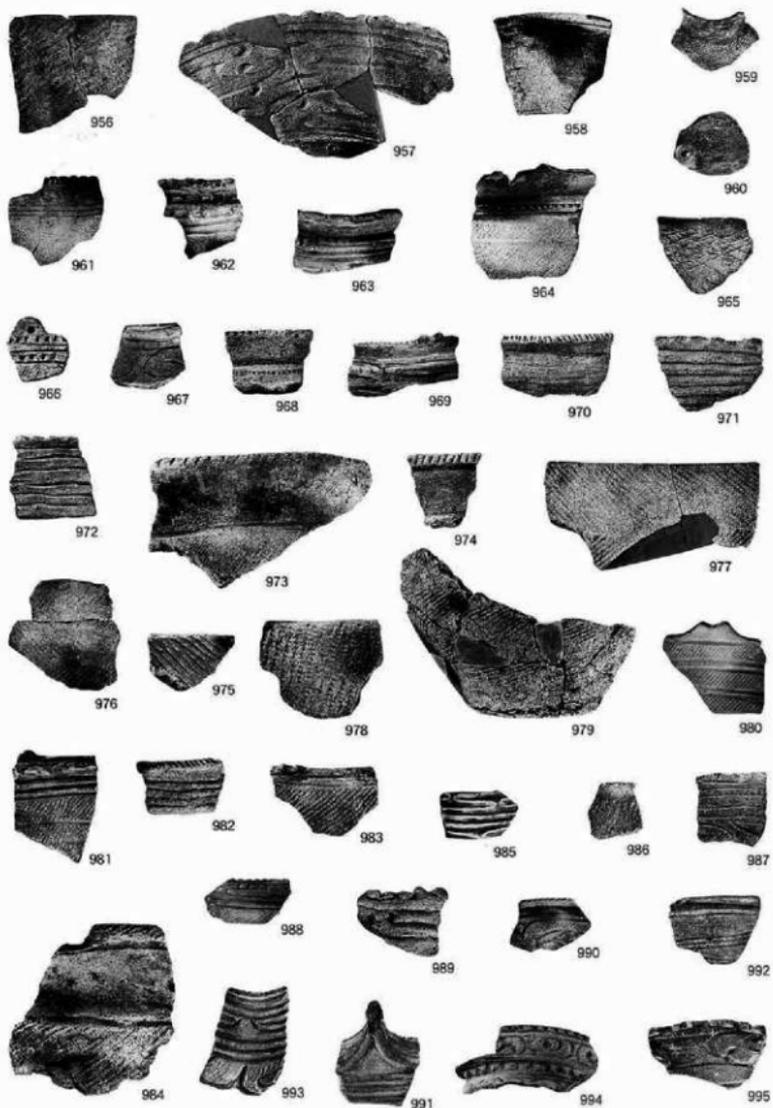
写真回版56 遺構外出土遺物22 (土器28)



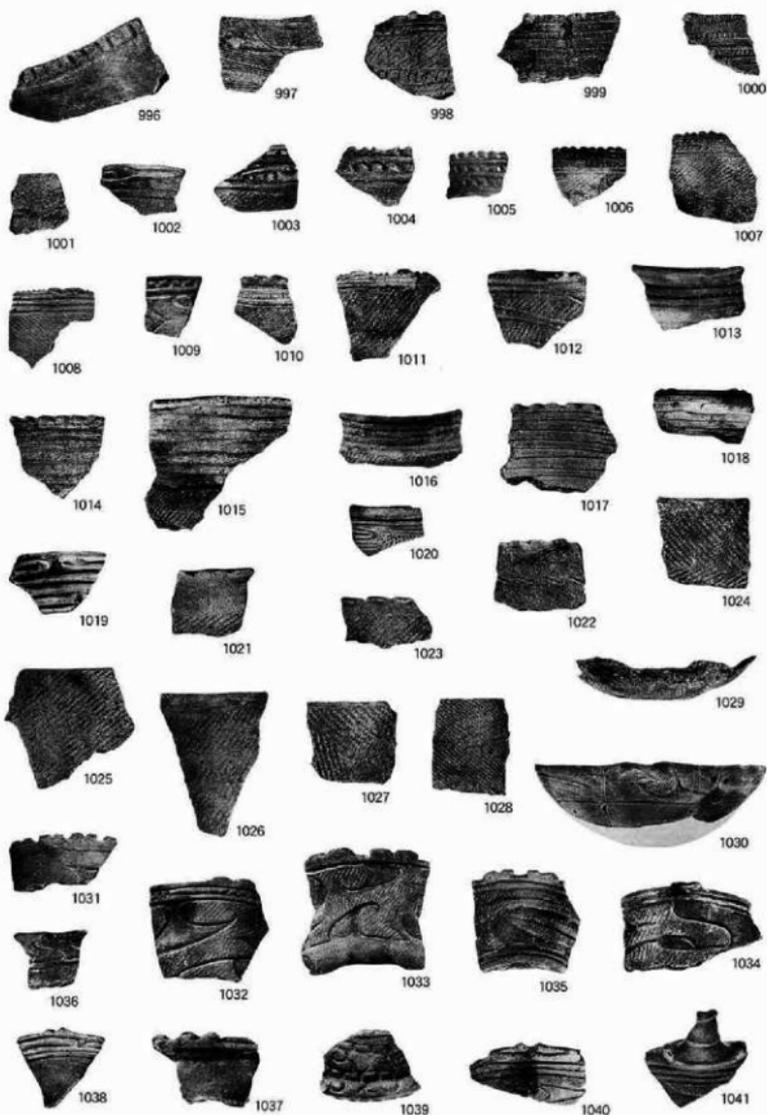
写真回版57 遺構外出土遺物23 (土器29)



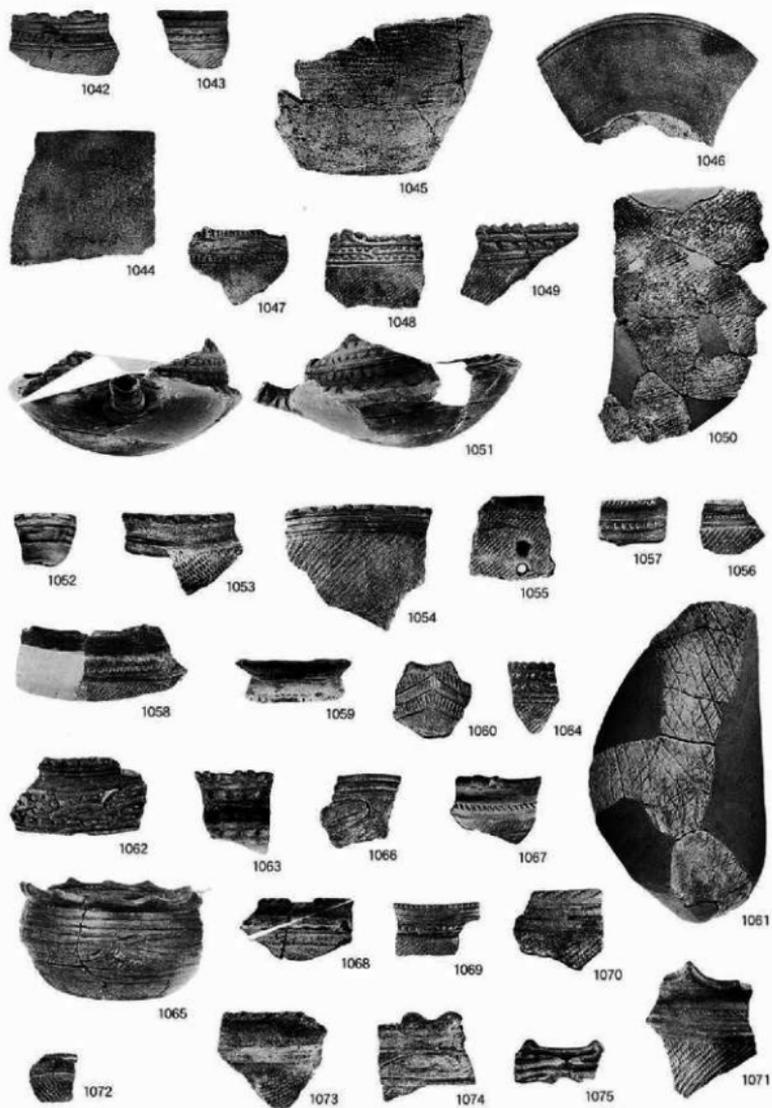
写真図版58 遺構外出土遺物24 (土器30)



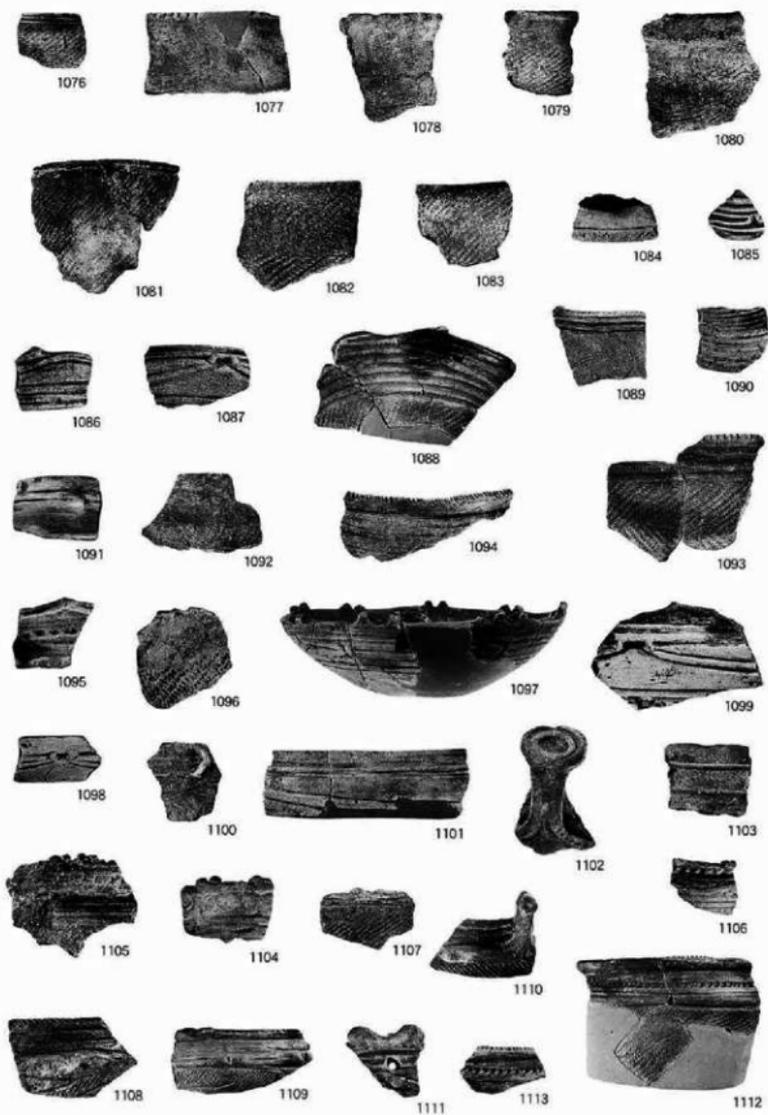
写真図版59 遺構外出土遺物25 (土器31)



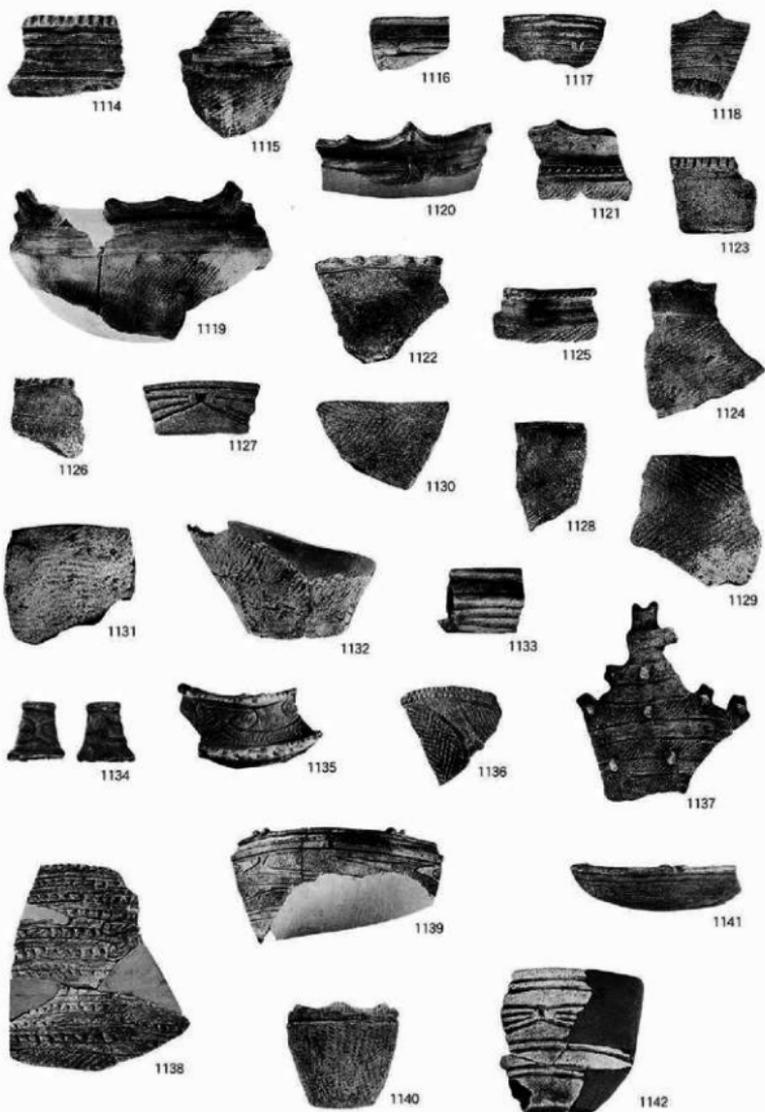
写真図版60 遺構外出土遺物26 (土器32)



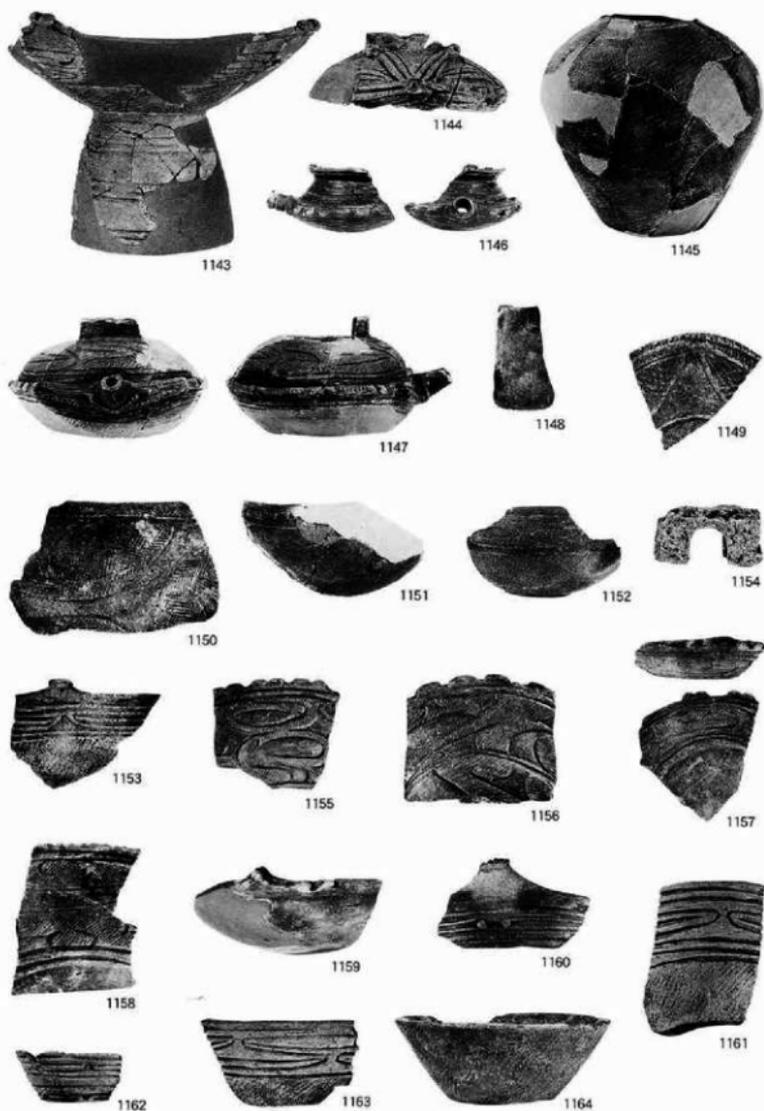
写真図版61 遺構外出土遺物27 (土器33)



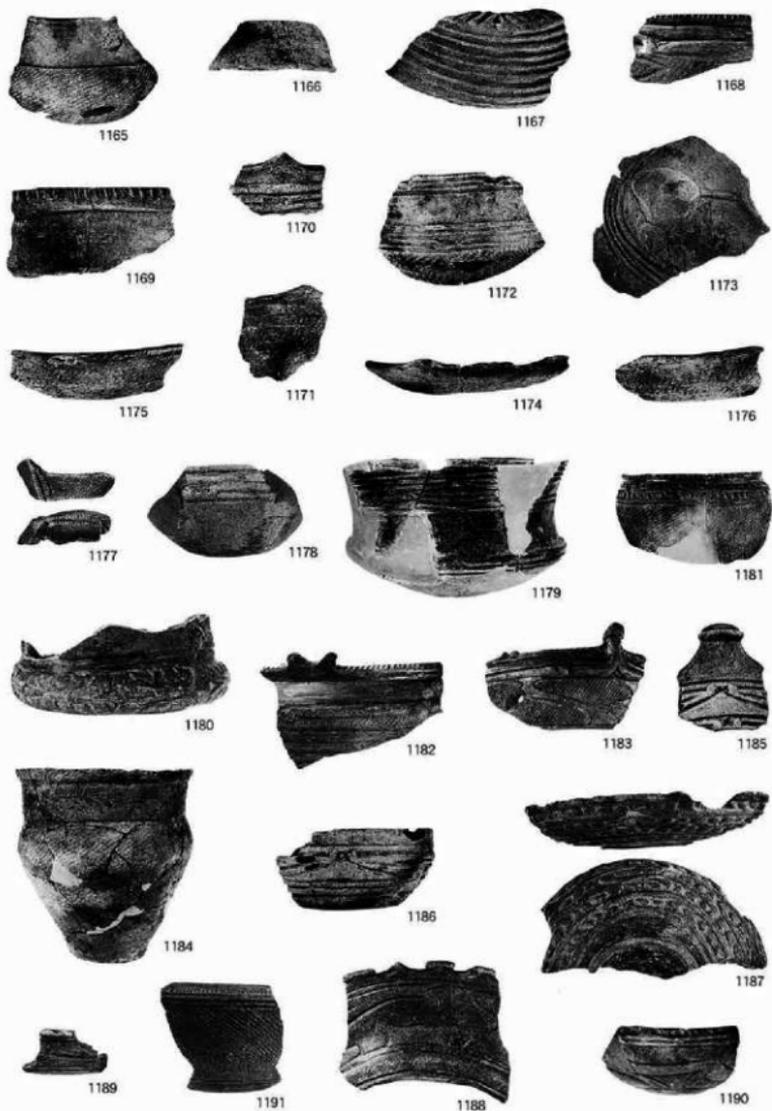
写真図版62 遺構外出土遺物28 (土器34)



写真図版63 遺構外出土遺物29 (土器35)



写真図版64 遺構外出土遺物30 (土器36)



写真图版65 遺構外出土遺物31 (土器37)



1192



1193



1194



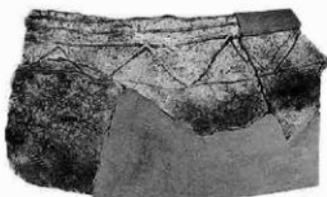
1195



1196



1197



1198



1199



1201



1200



1202



1203



1204

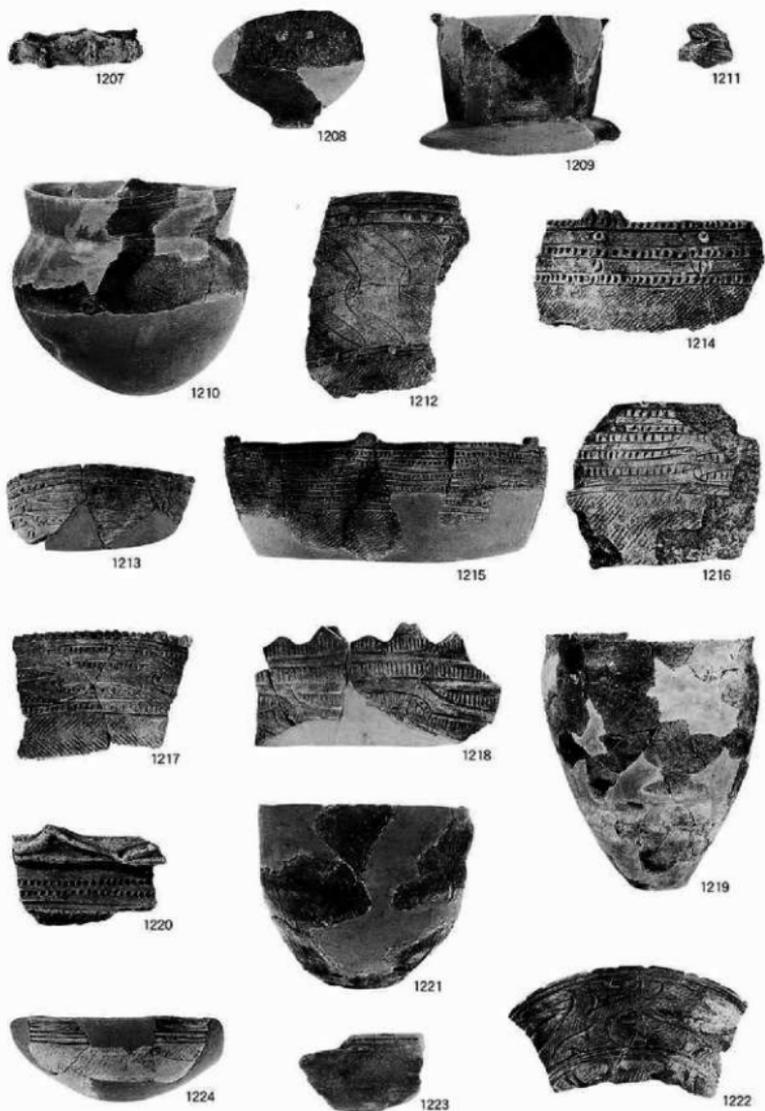


1205

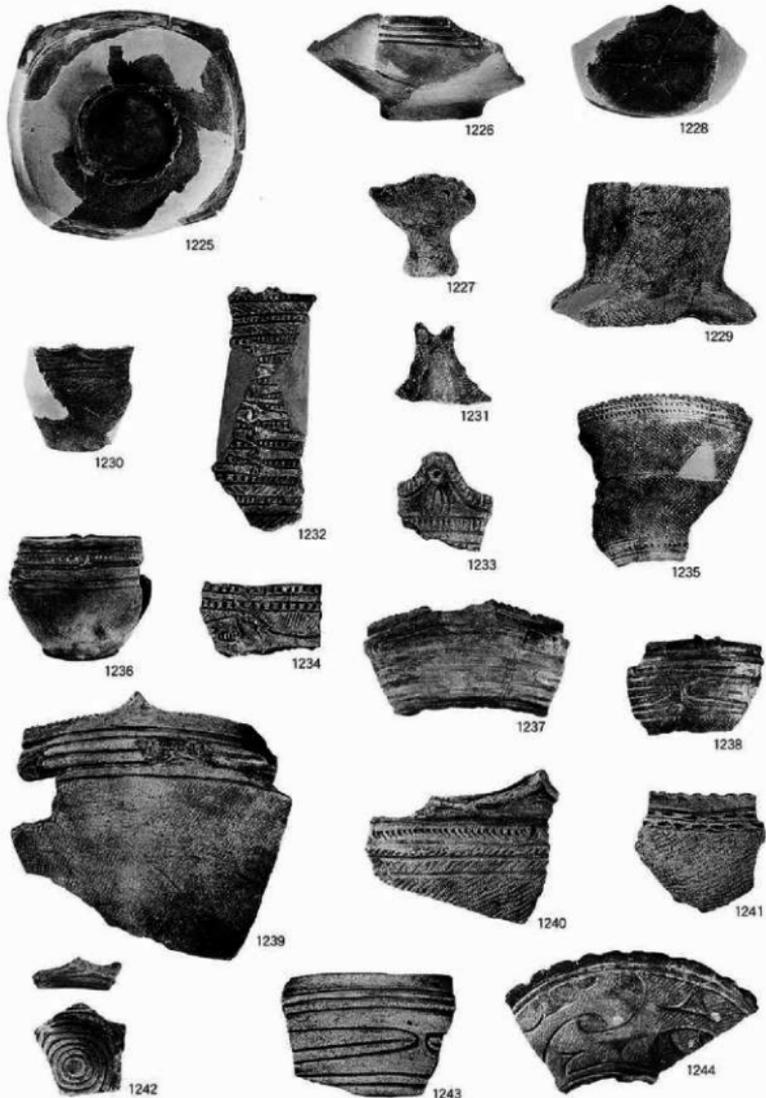


1206

写真図版66 遺構外出土遺物32 (土器38)



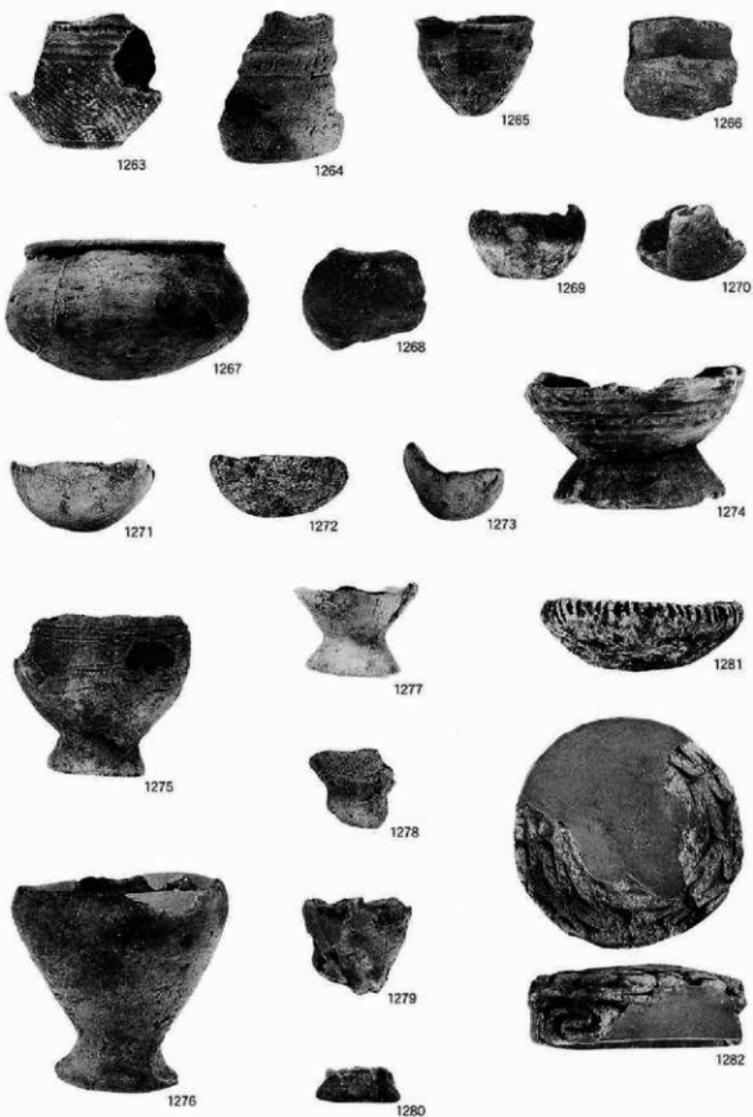
写真図版67 遺構外出土遺物33 (土器39)



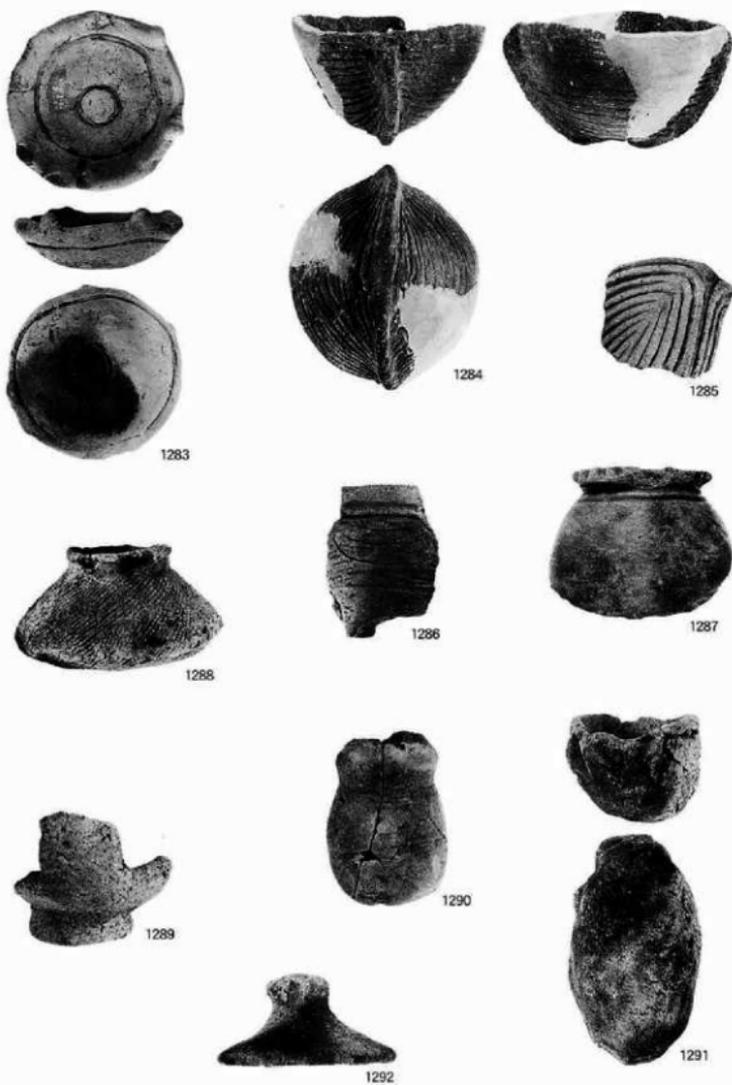
写真図版68 遺構外出土遺物34(土器40)



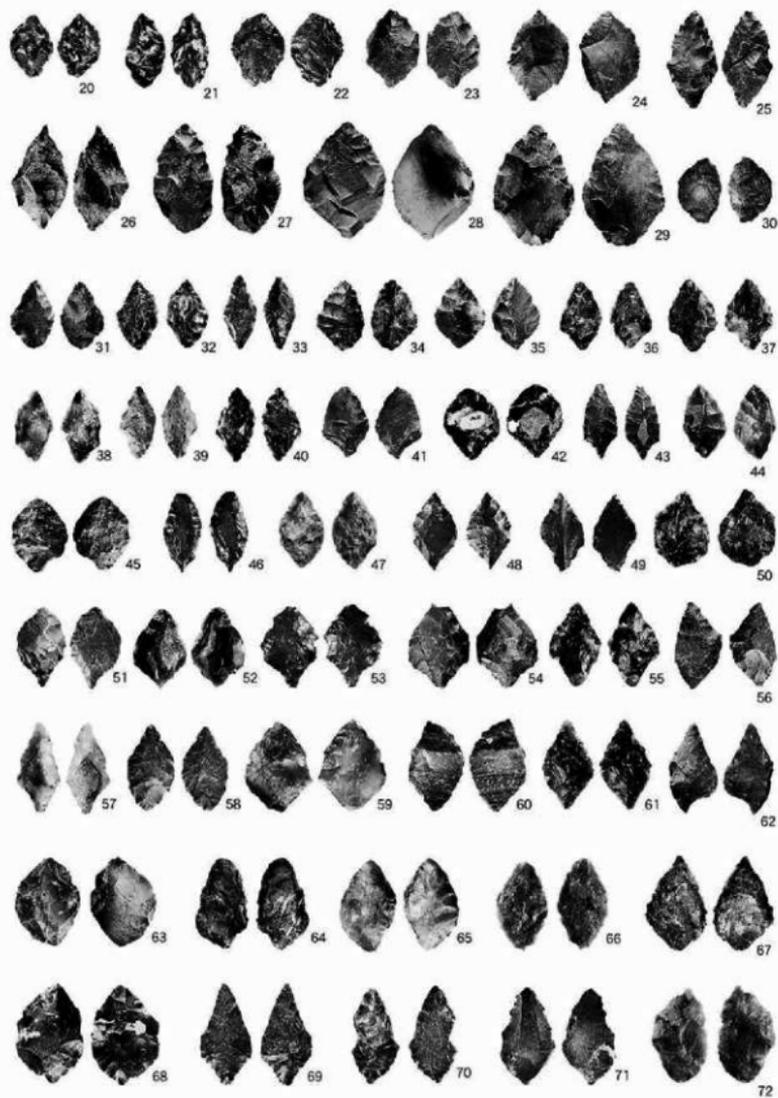
写真図版69 遺構外出土遺物35 (土器41)



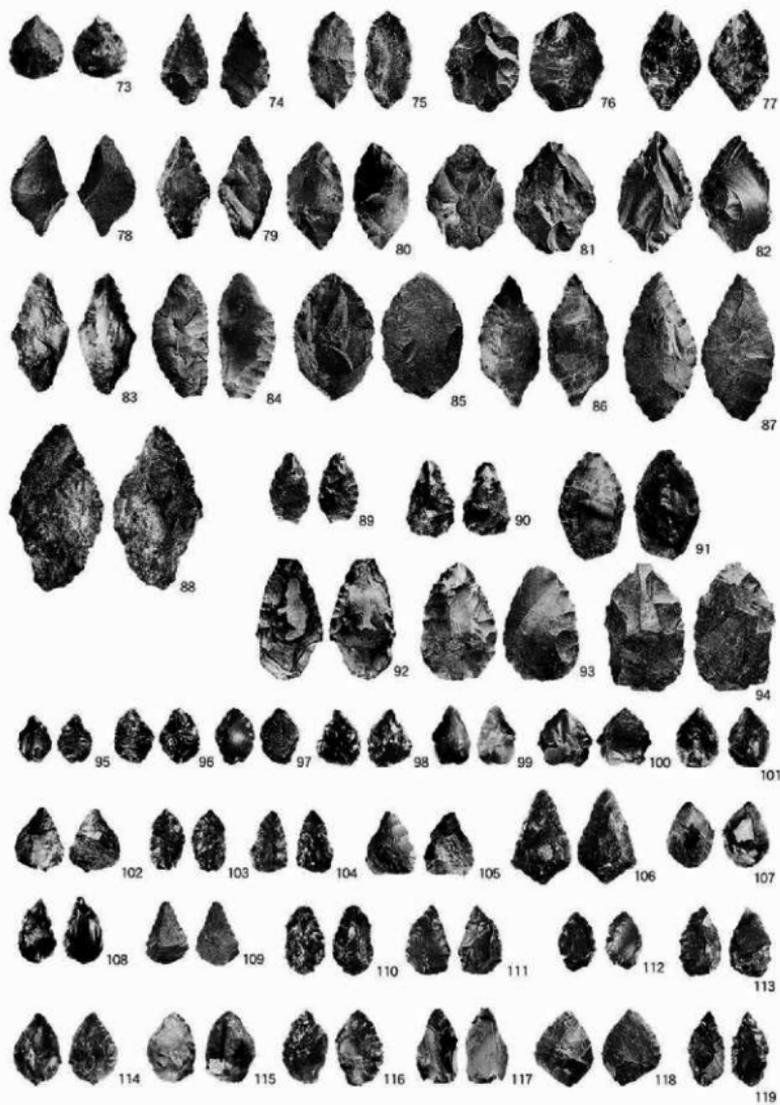
写真回版70 遺構外出土遺物36 (土器42)



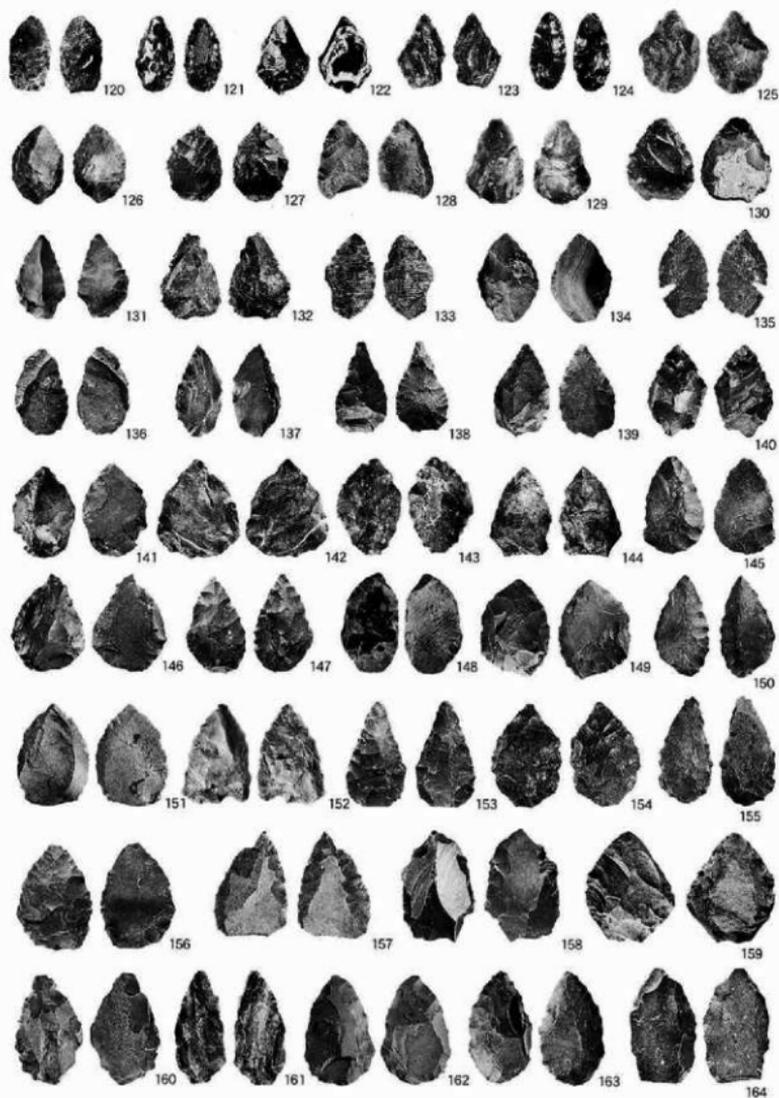
写真図版71 遺構外出土遺物37 (土器43)



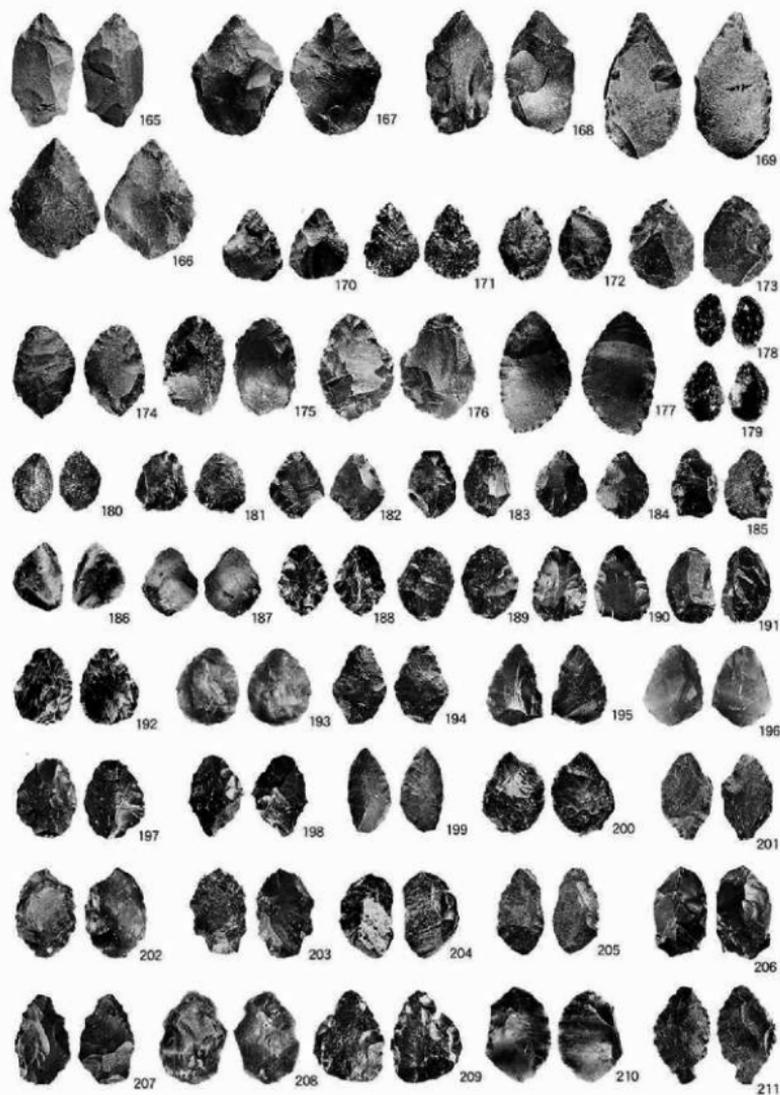
写真図版72 遺構外出土遺物38 (石器 1)



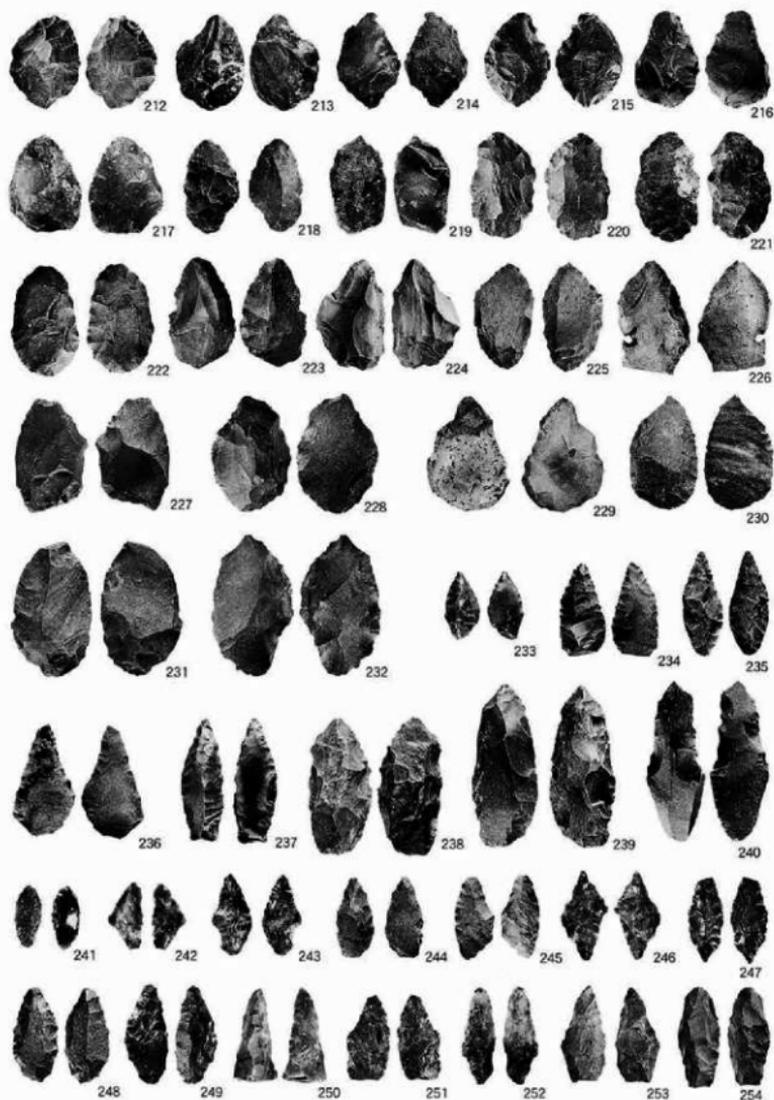
写真図版73 遺構外出土遺物39 (石器2)



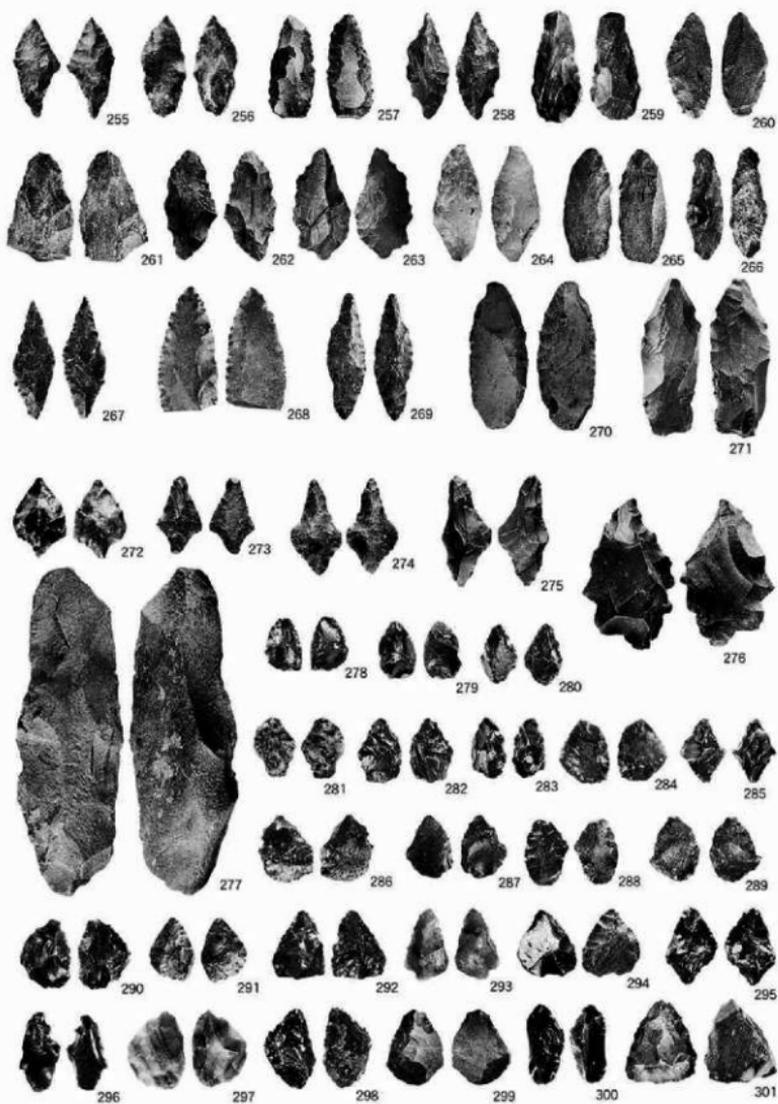
写真図版74 遺構外出土遺物40 (石器3)



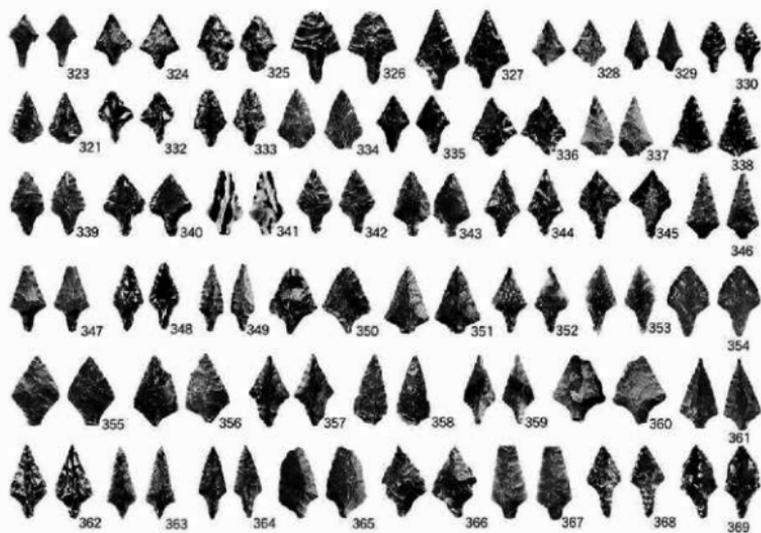
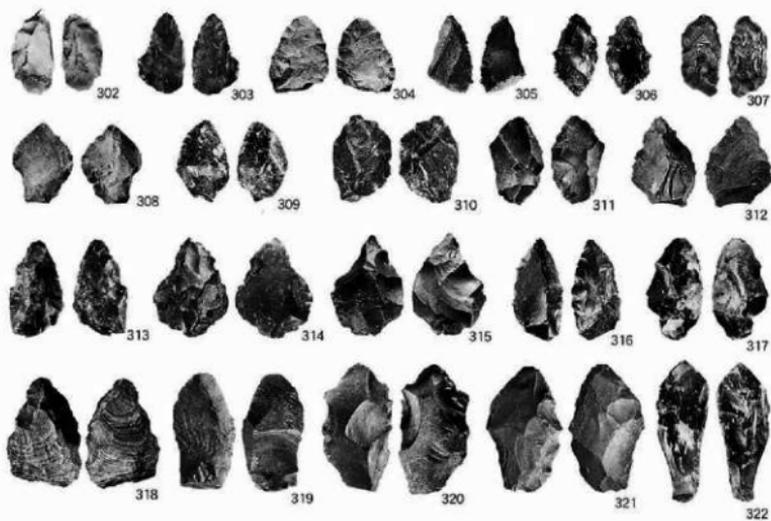
写真図版75 遺構外出土遺物41(石器4)



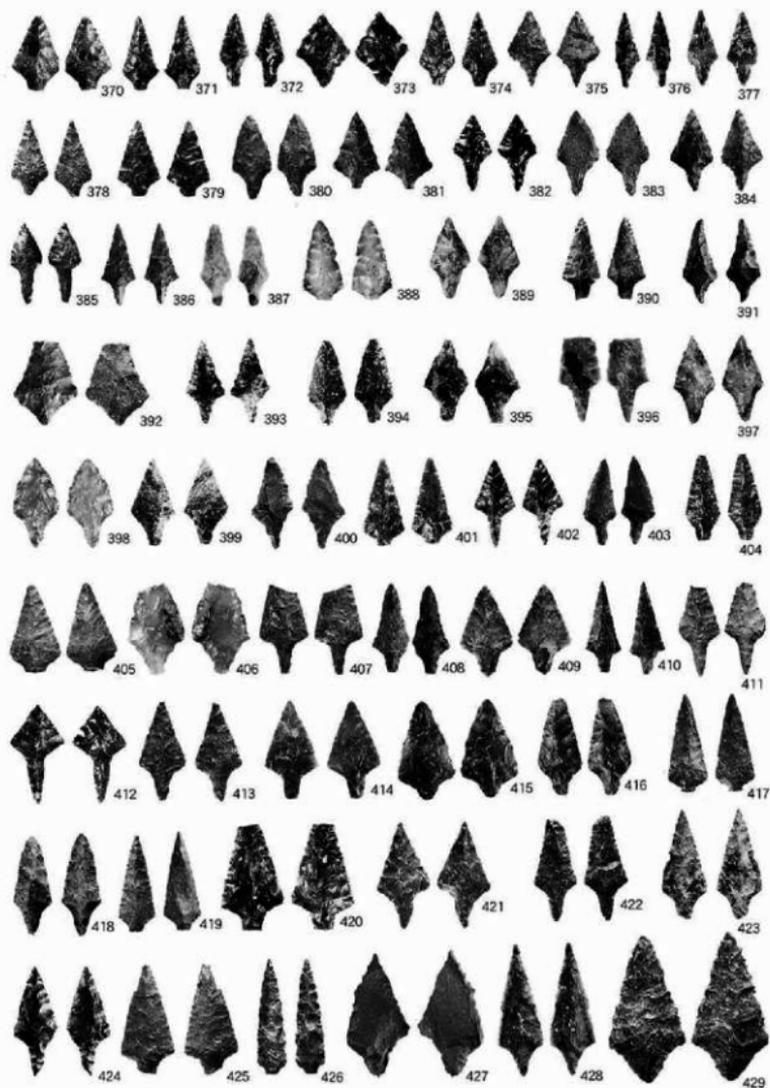
写真図版76 遠構外出土遺物42 (石器5)



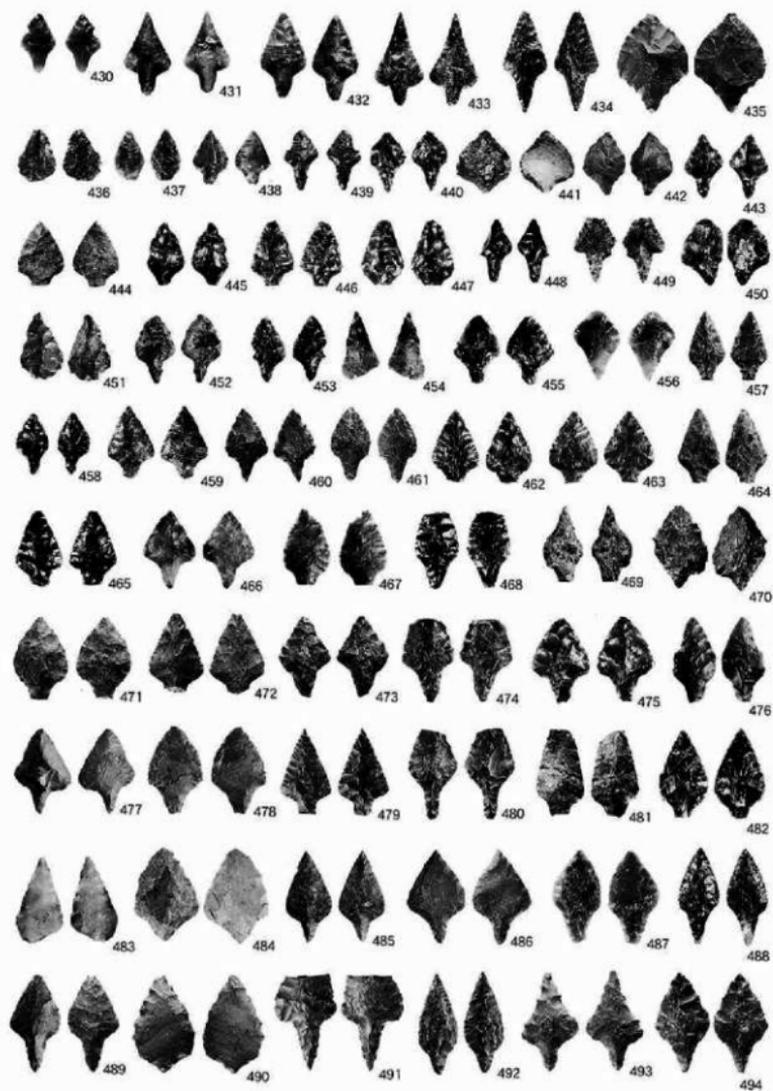
写真図版77 遺構外出土遺物43(石器6)



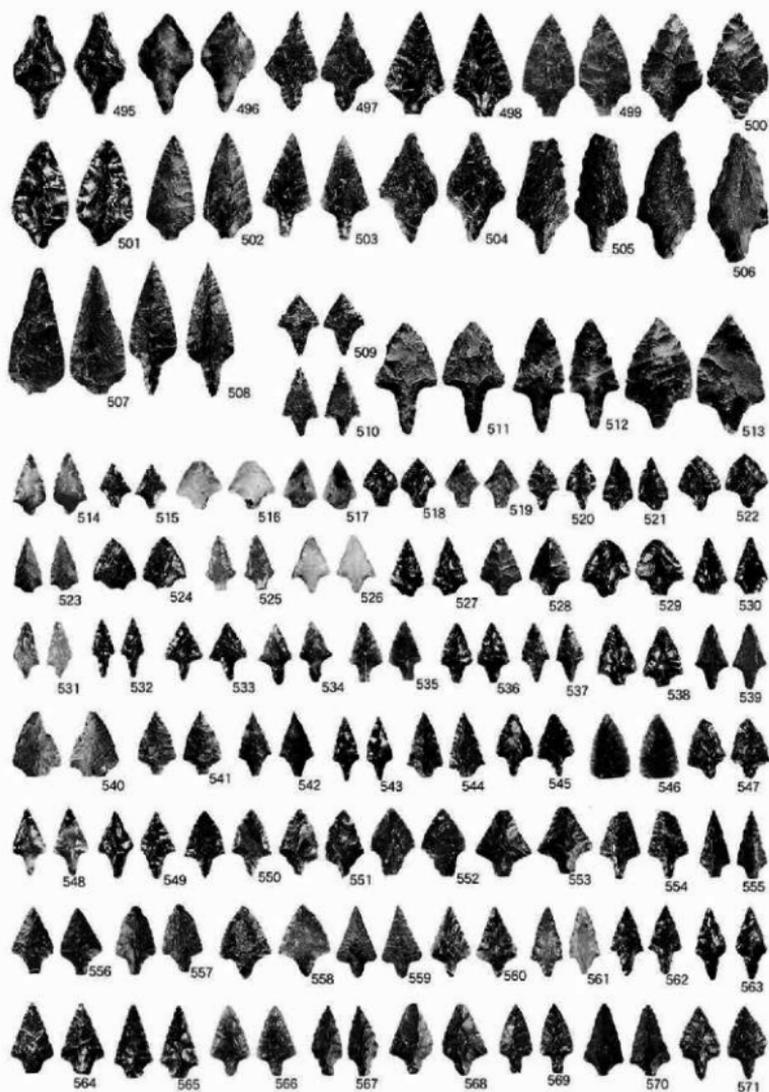
写真図版78 遺構外出土遺物44 (石器7)



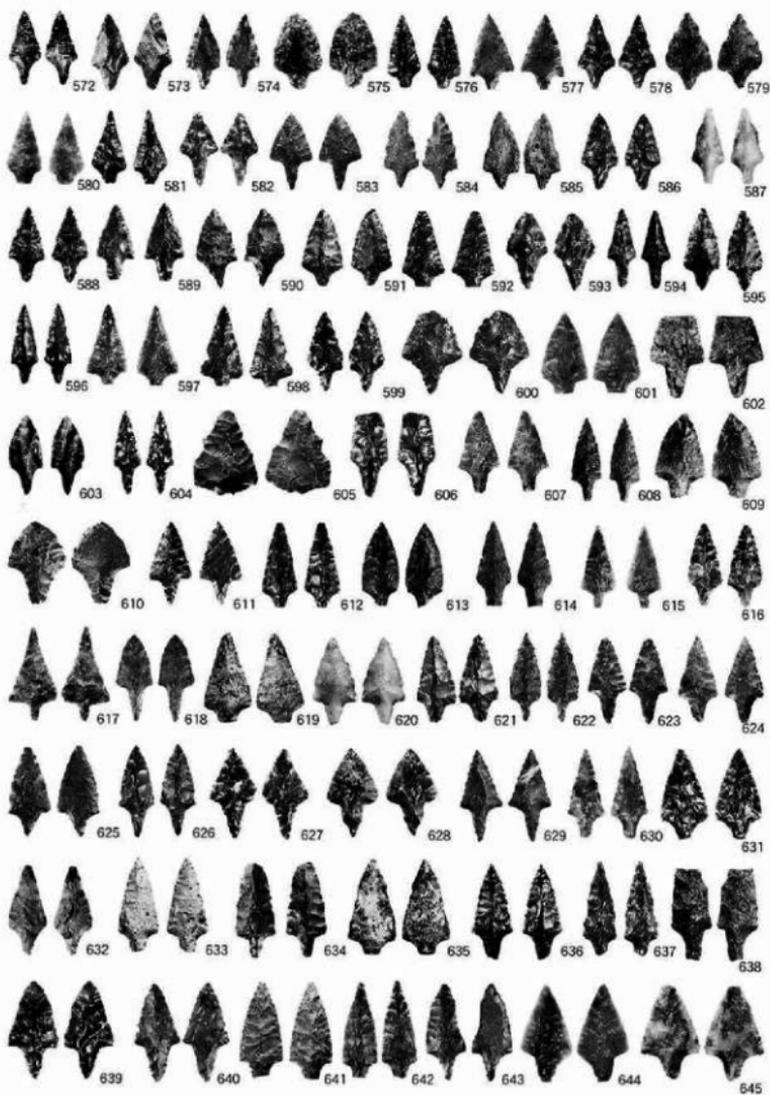
写真図版79 遺構外出土遺物45 (石器8)



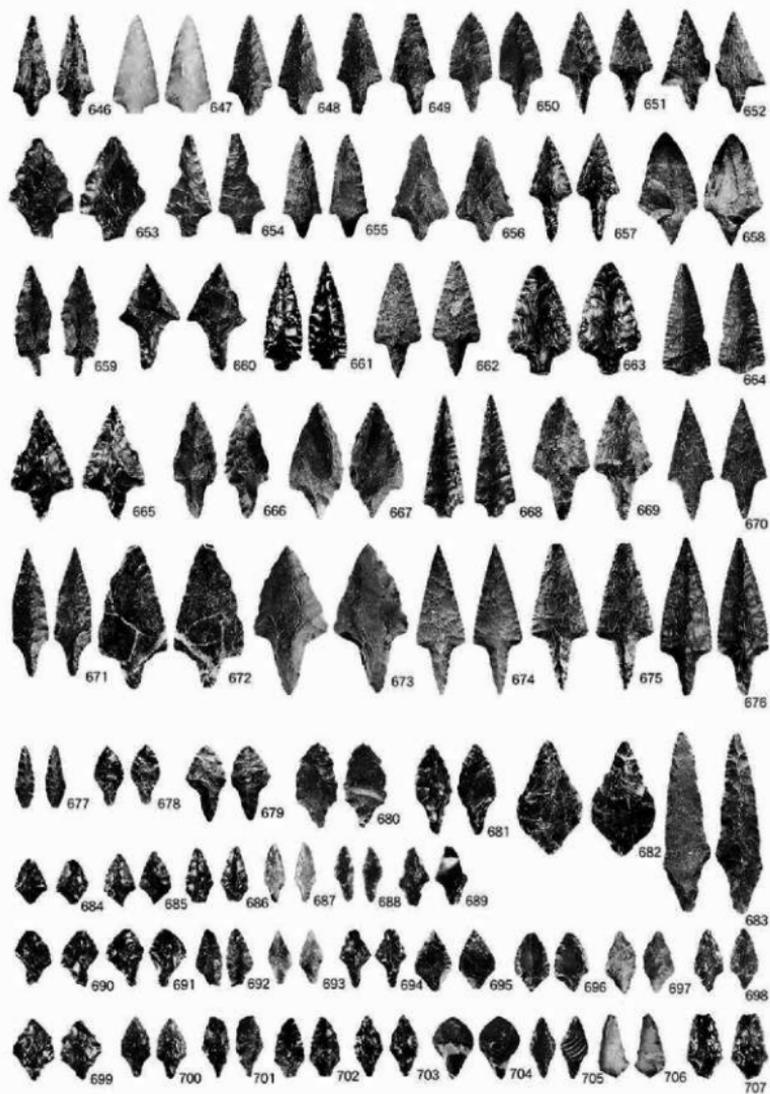
写真図版80 遠構外出土遺物46(石器9)



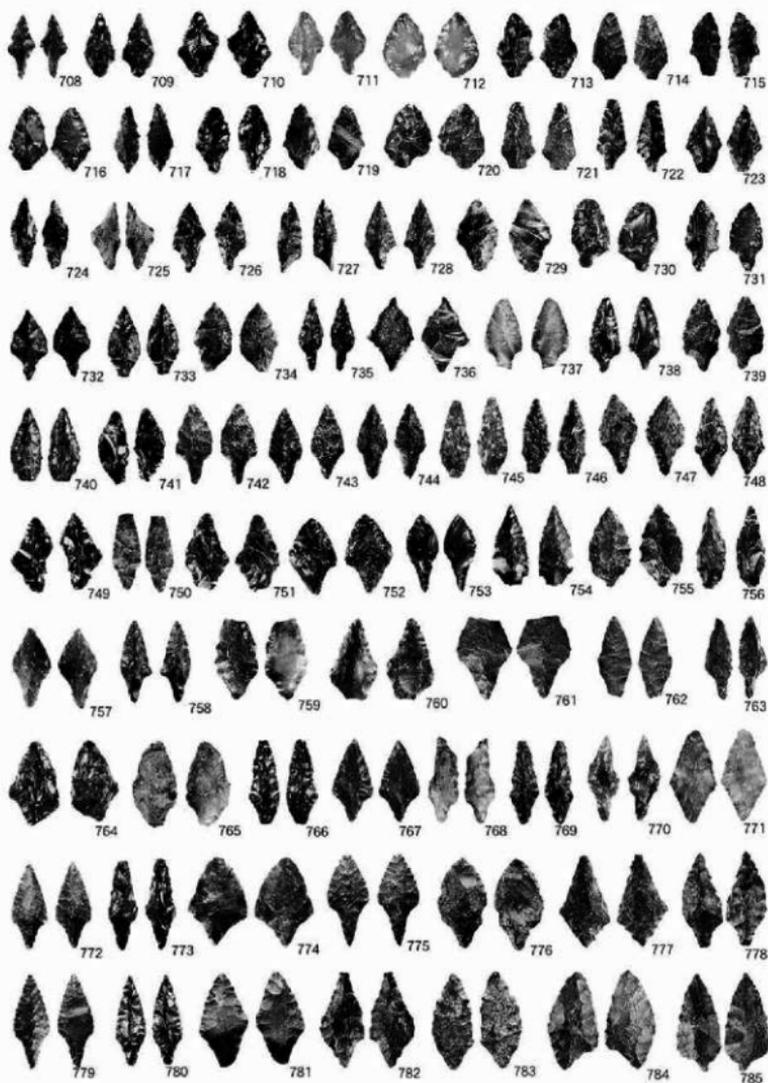
写真図版81 遺構外出土遺物47(石器10)



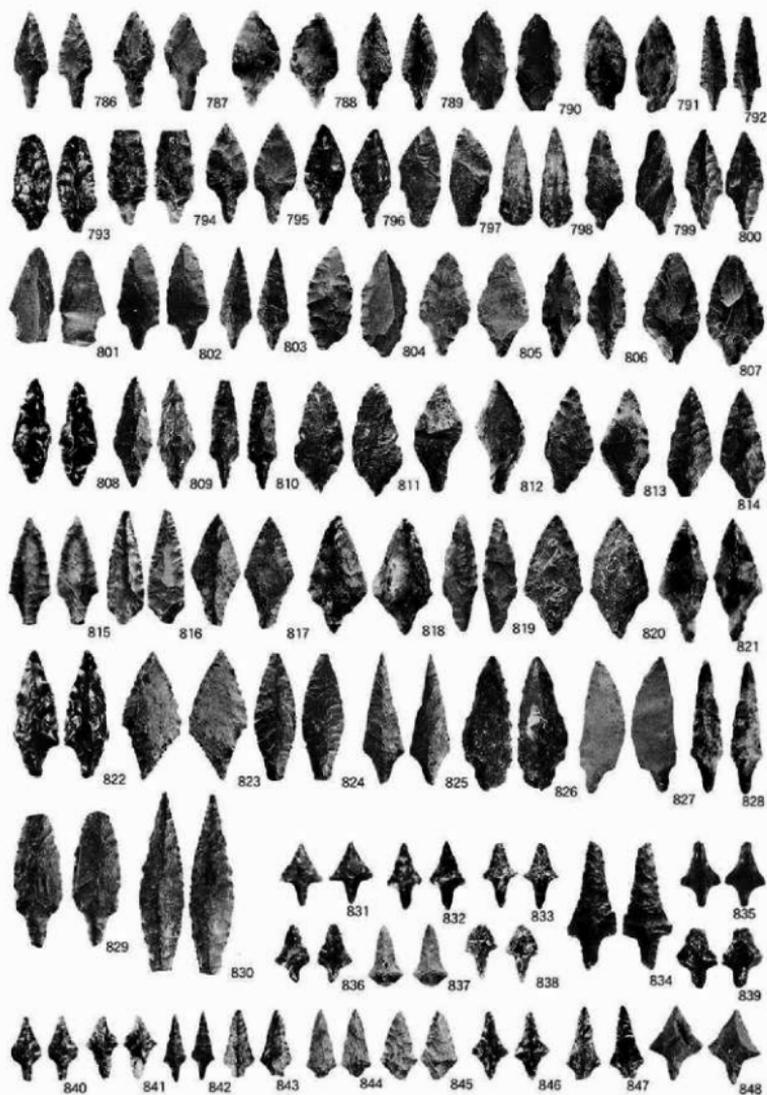
写真図版82 遺構外出土遺物48(石器11)



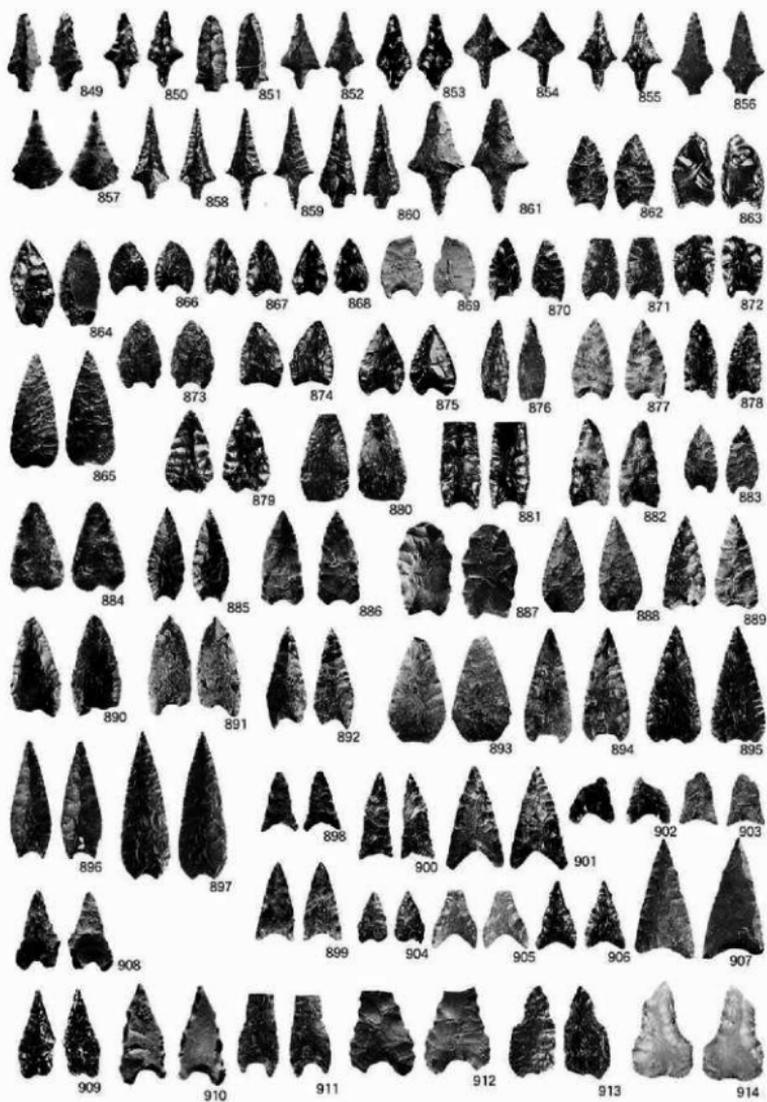
写真図版83 遺構外出土遺物49(石器12)



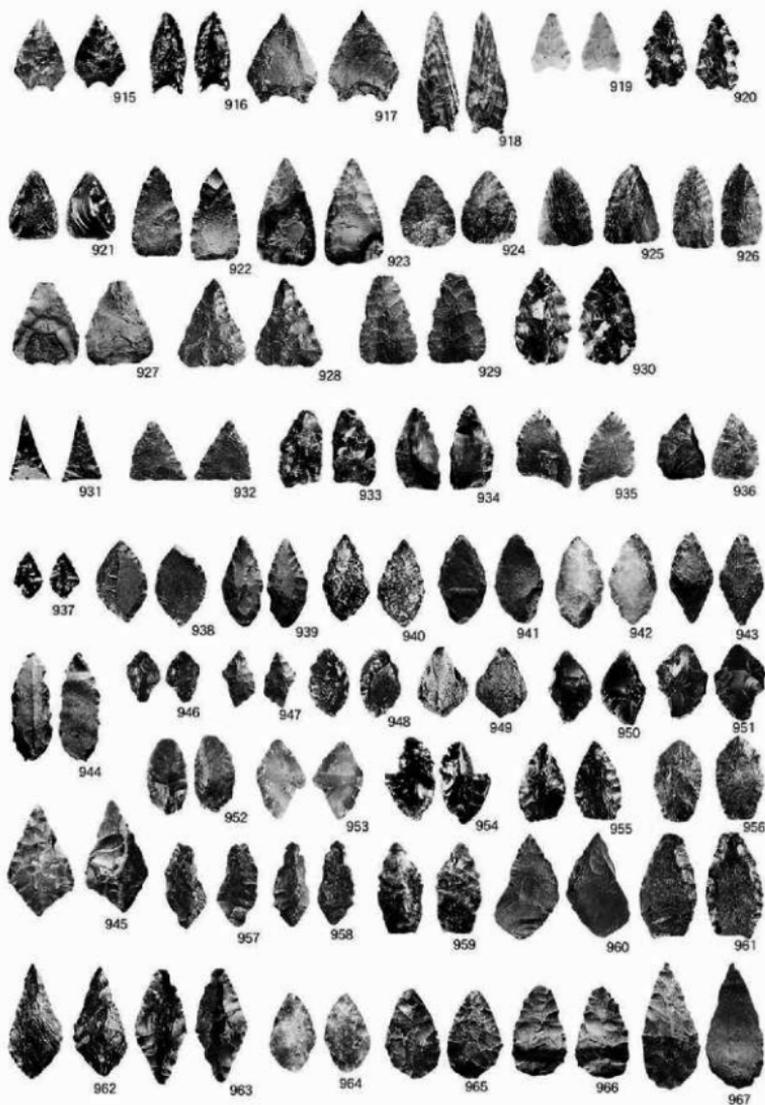
写真図版84 遺構外出土遺物50(石器13)



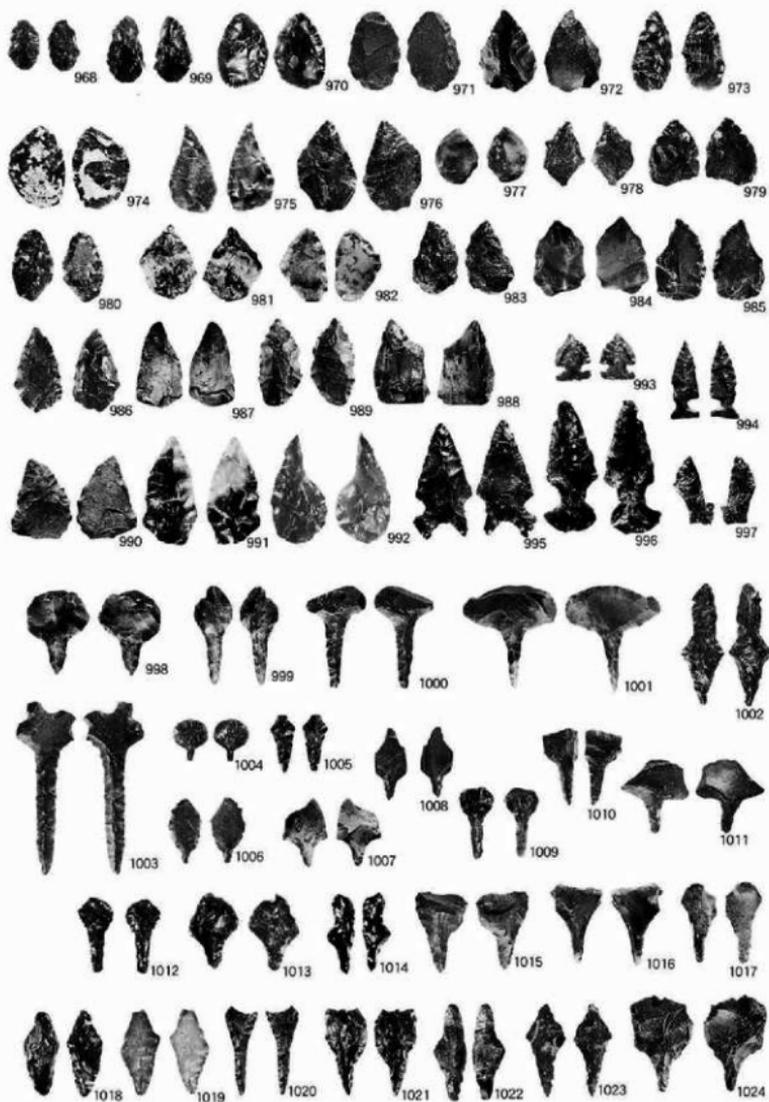
写真図版85 遠構外出土遺物51(石器14)



写真図版86 遠構外出土遺物52(石器15)



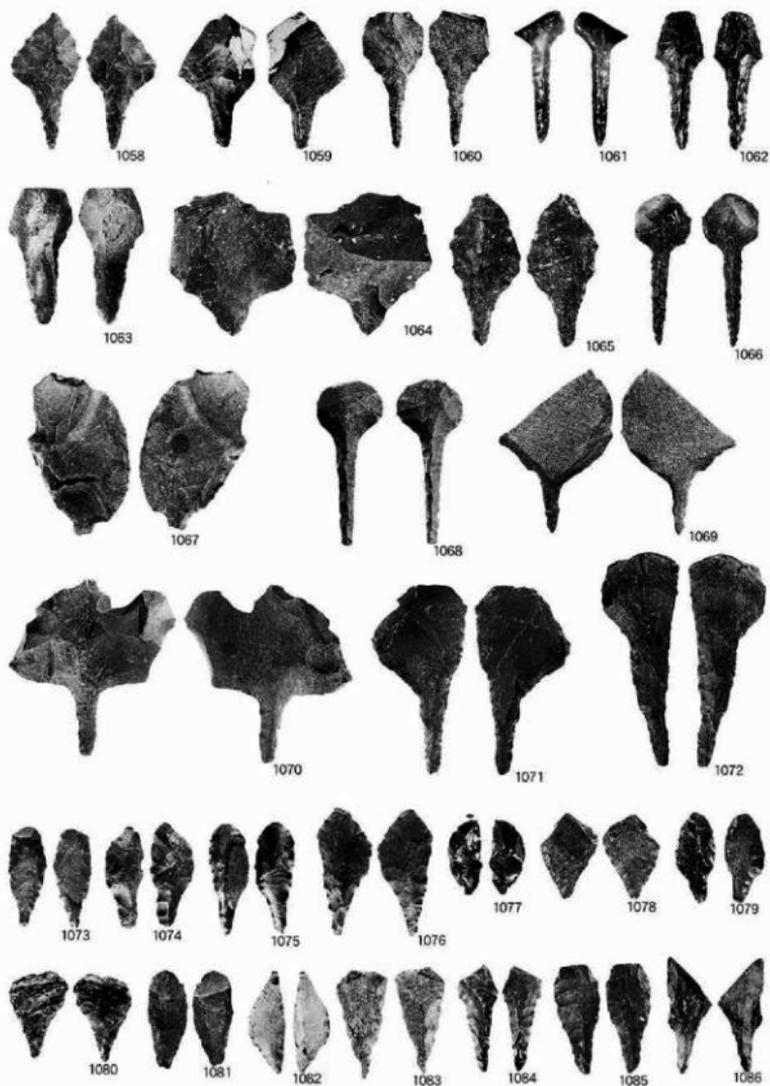
写真図版87 遺構外出土遺物53(石器16)



写真図版88 遺構外出土遺物54(石器17)



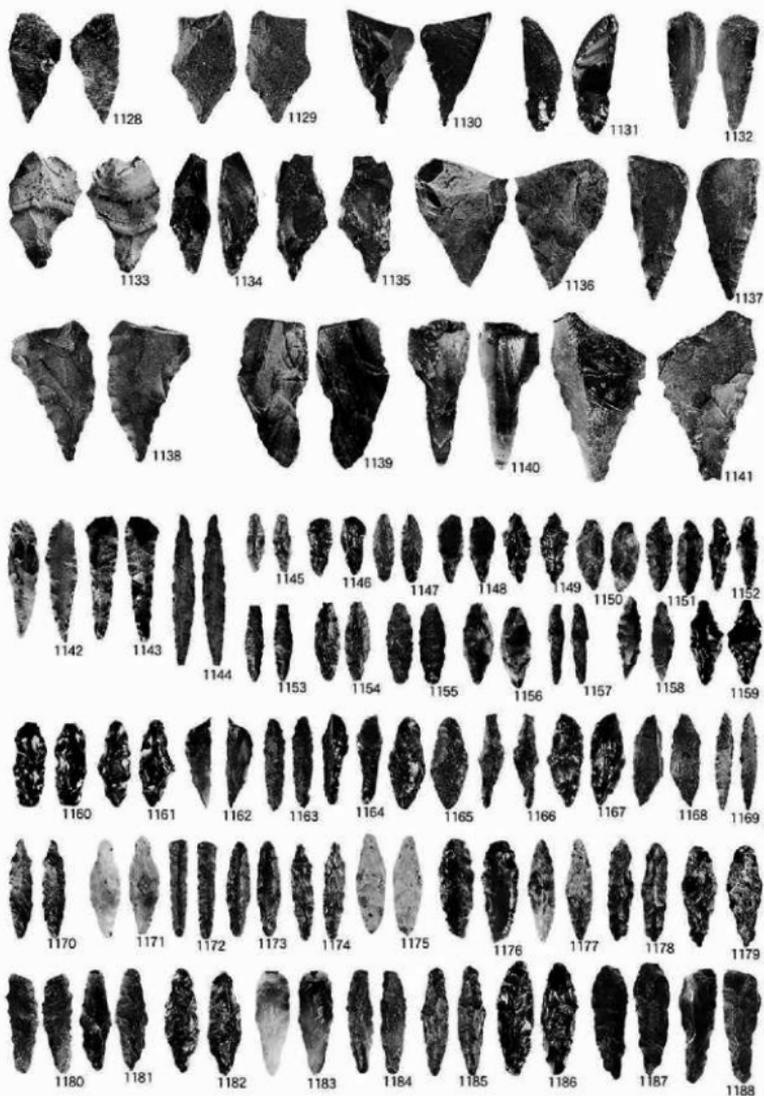
写真図版89 遺構外出土遺物55(石器18)



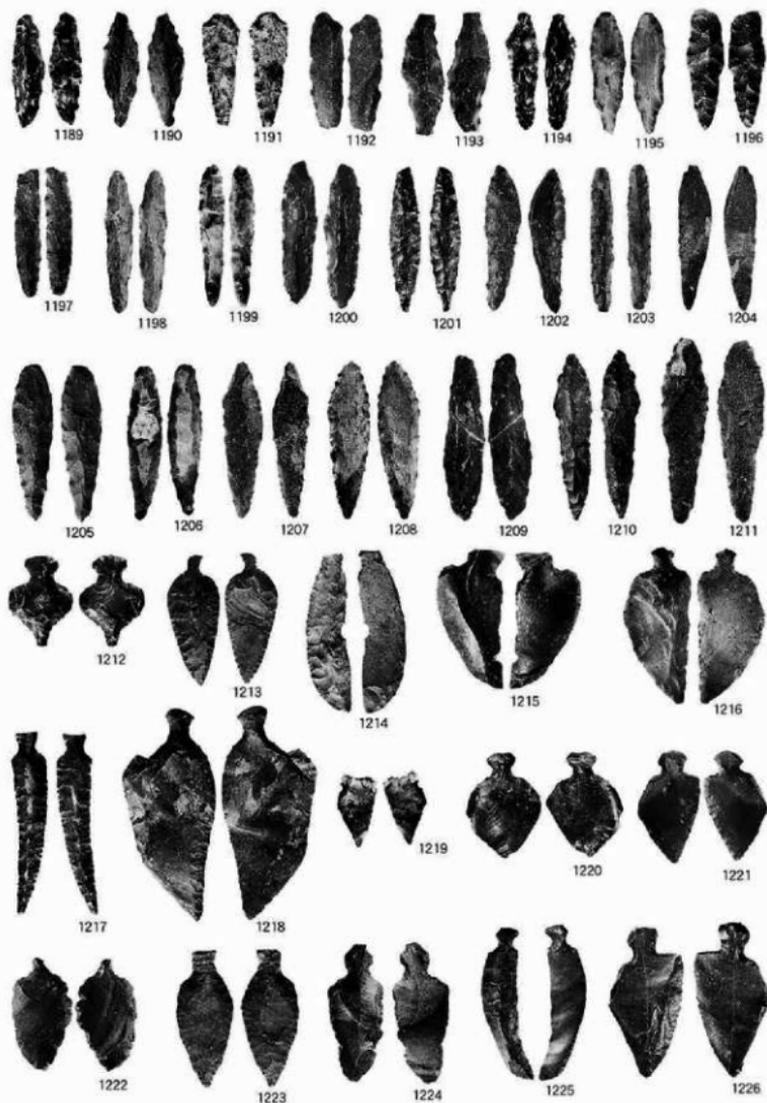
写真図版90 遺構外出土遺物56(石器19)



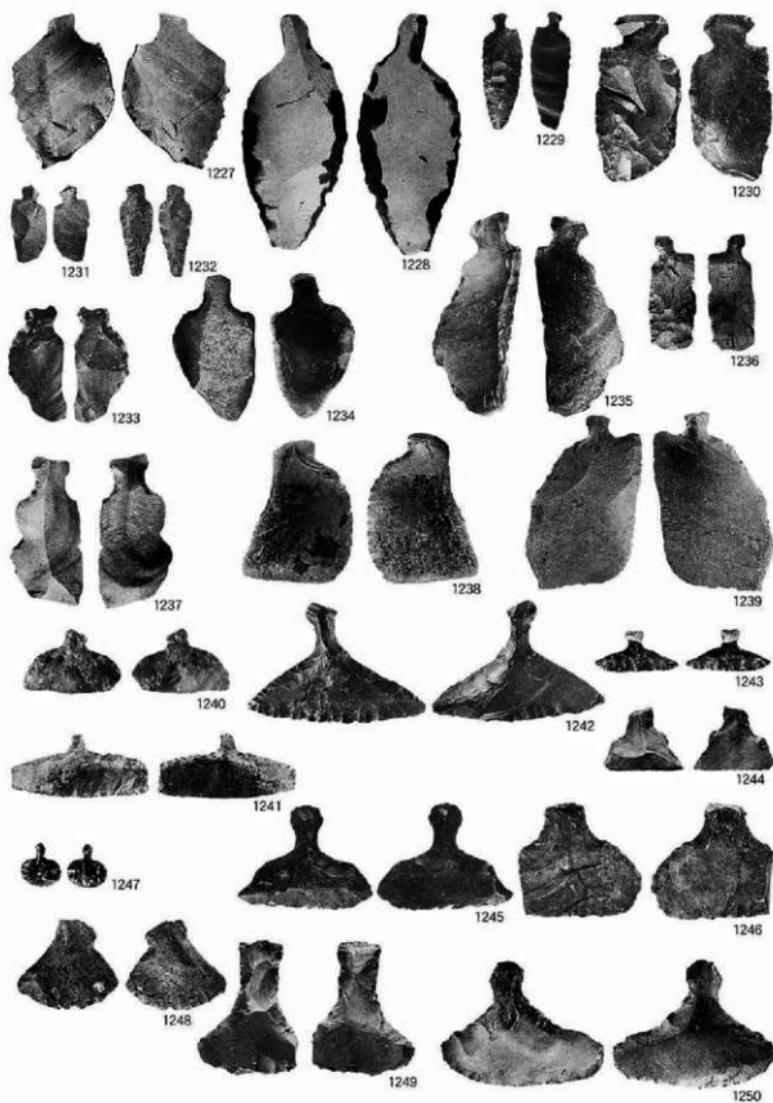
写真図版91 遺構外出土遺物57(石器20)



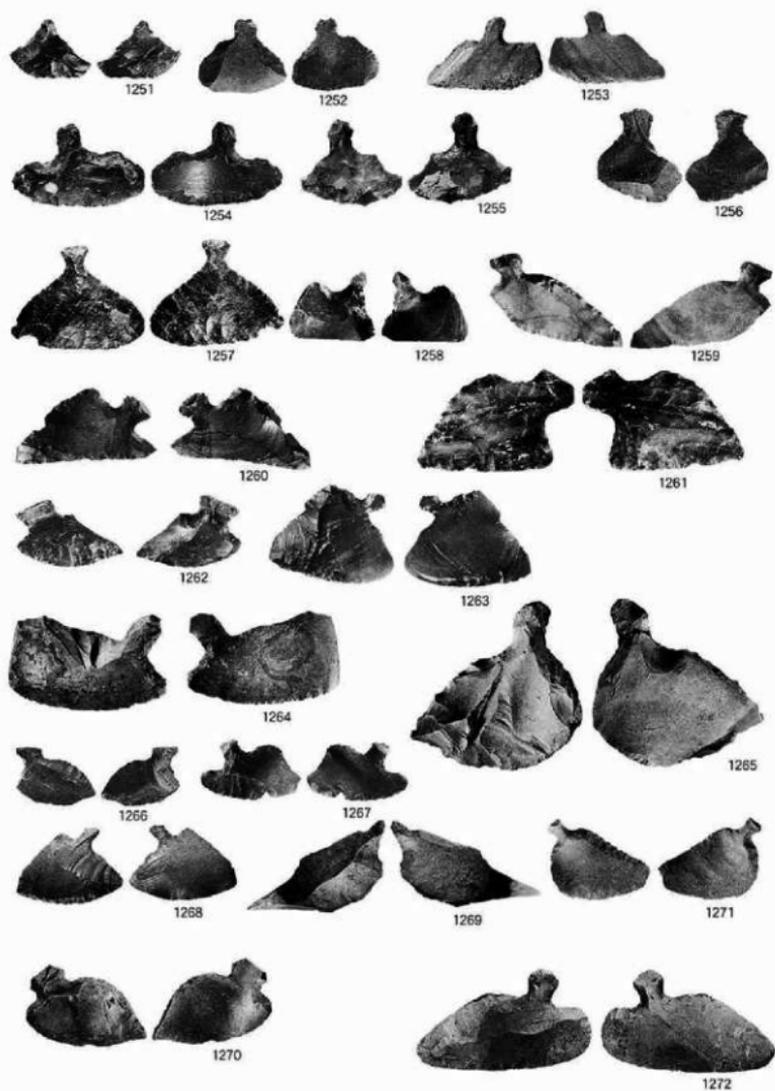
写真図版92 遺構外出土遺物58(石器21)



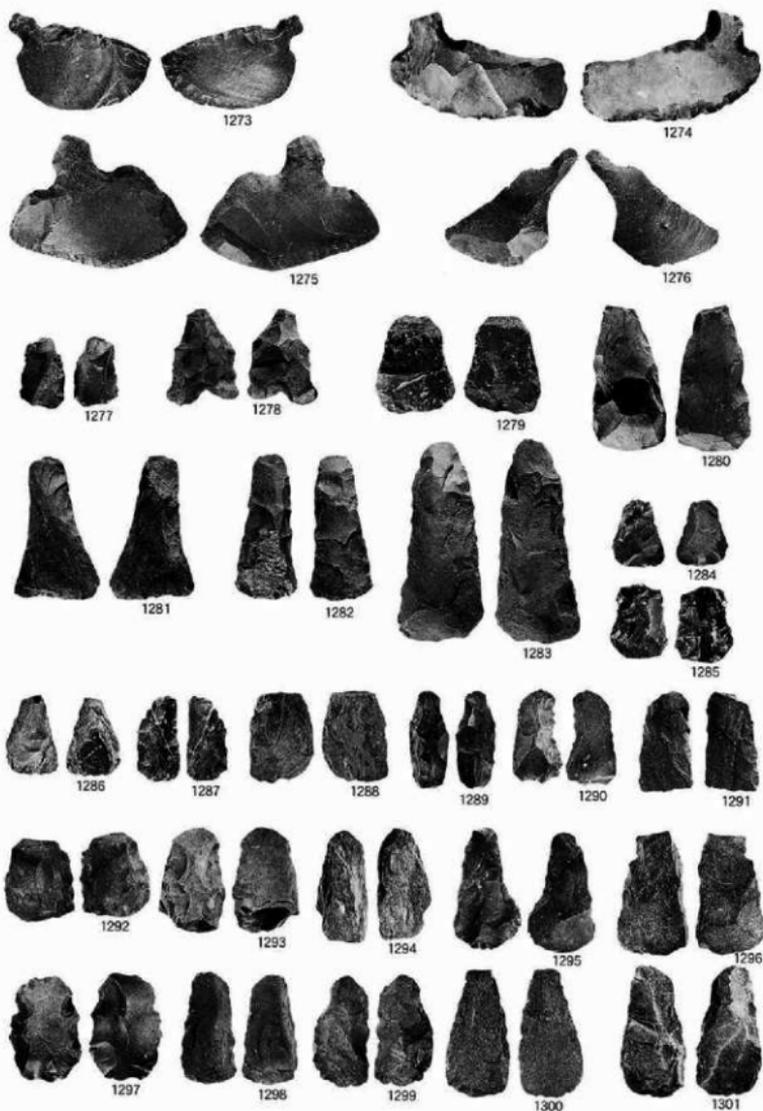
写真図版93 遺構外出土遺物59(石器22)



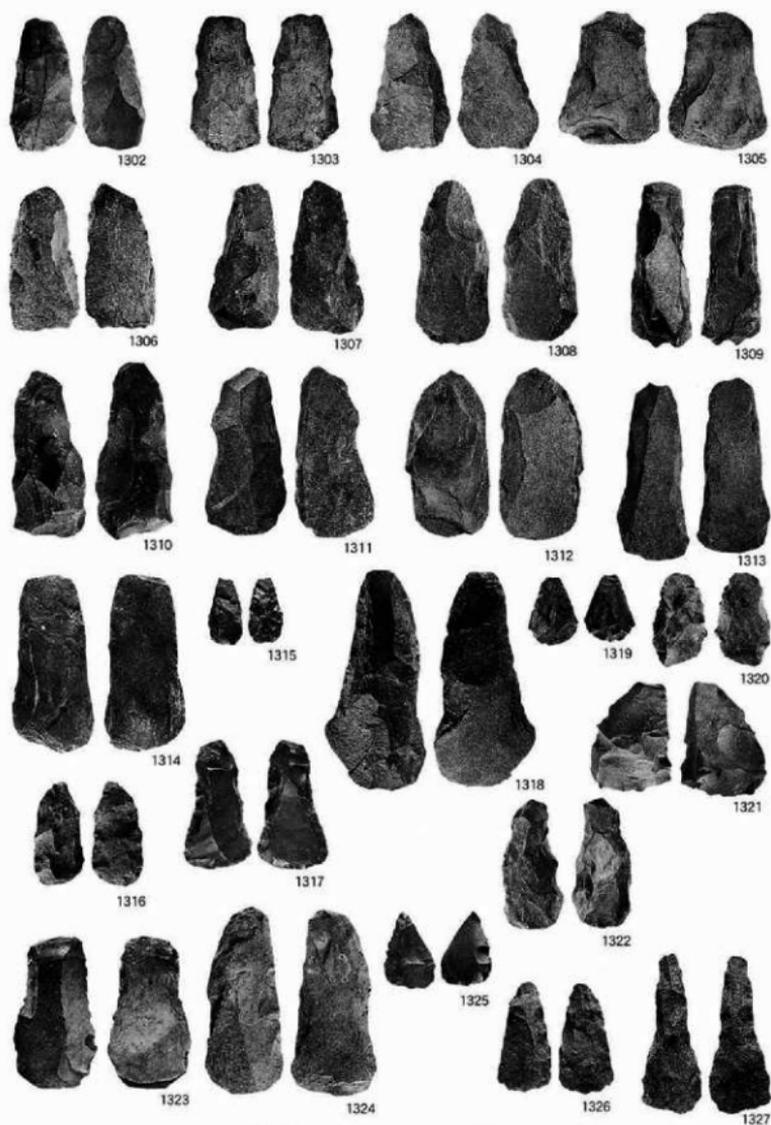
写真図版94 遺構外出土遺物60(石器23)



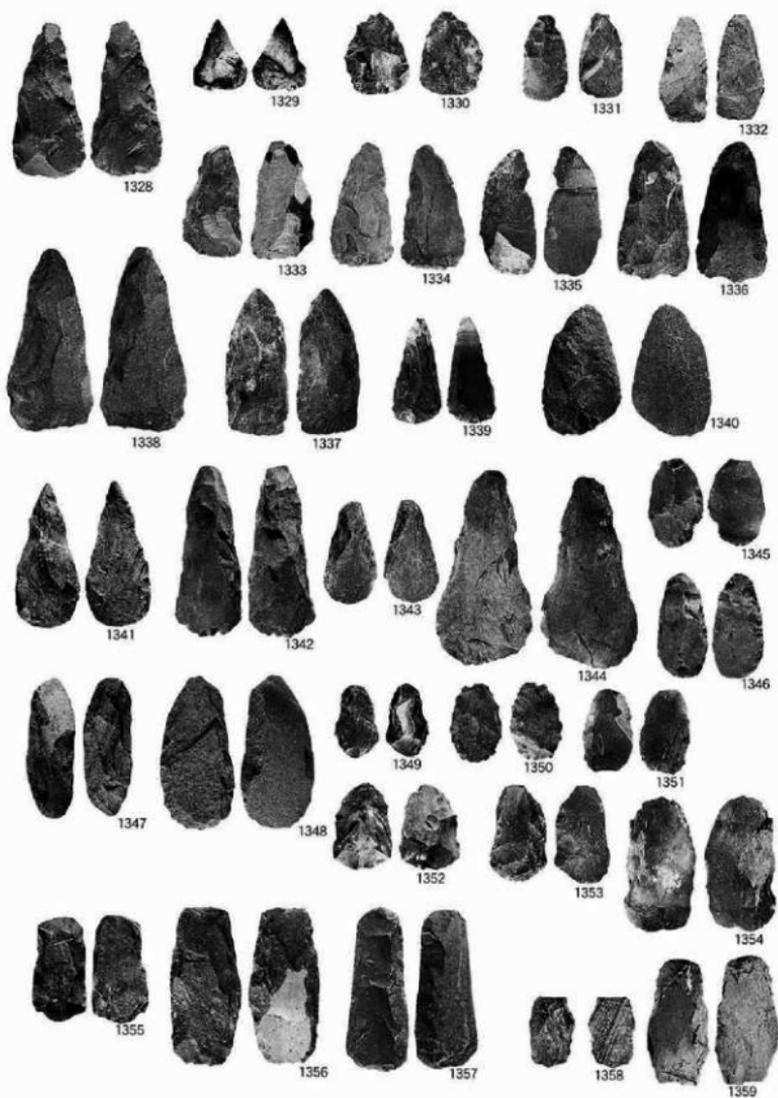
写真図版95 遺構外出土遺物61(石器24)



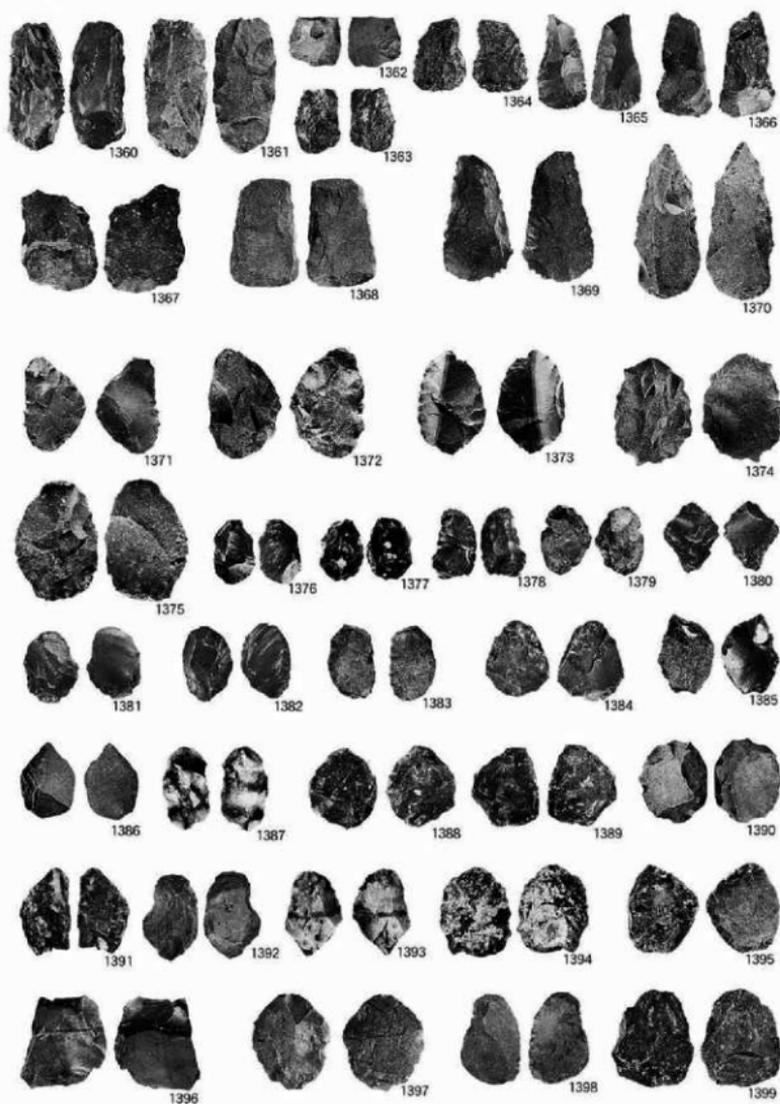
写真図版96 遺構外出土遺物62(石器25)



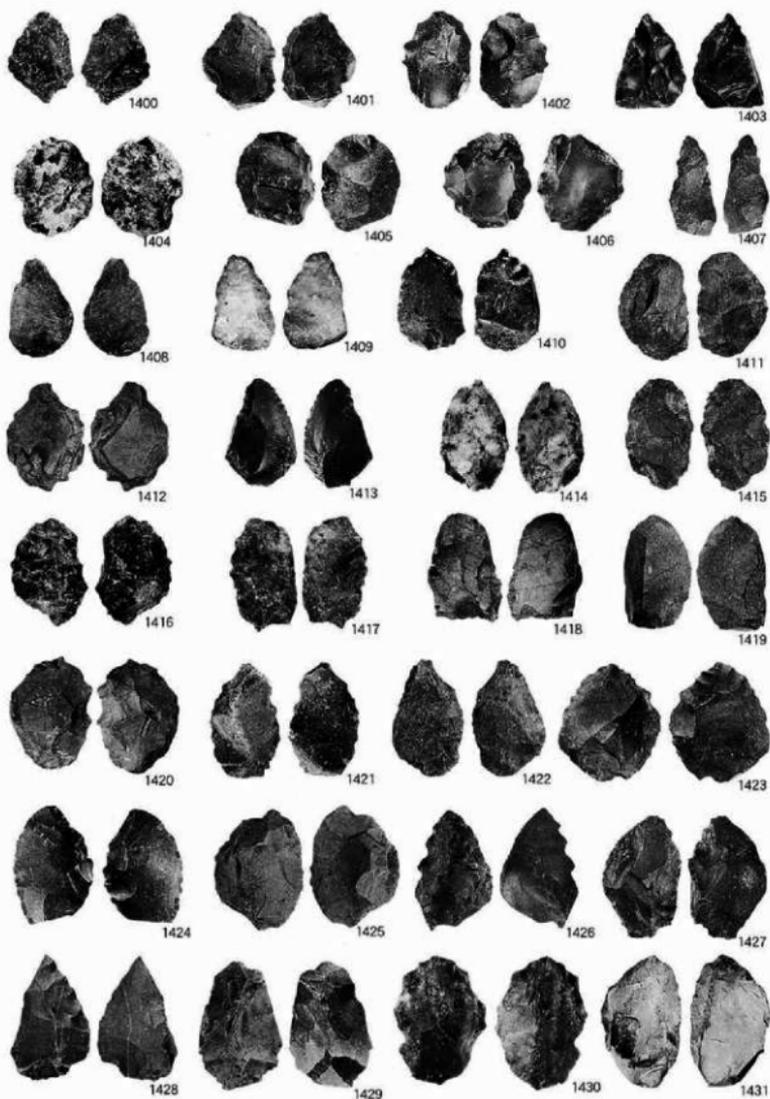
写真図版97 遠構外出土遺物63(石器26)



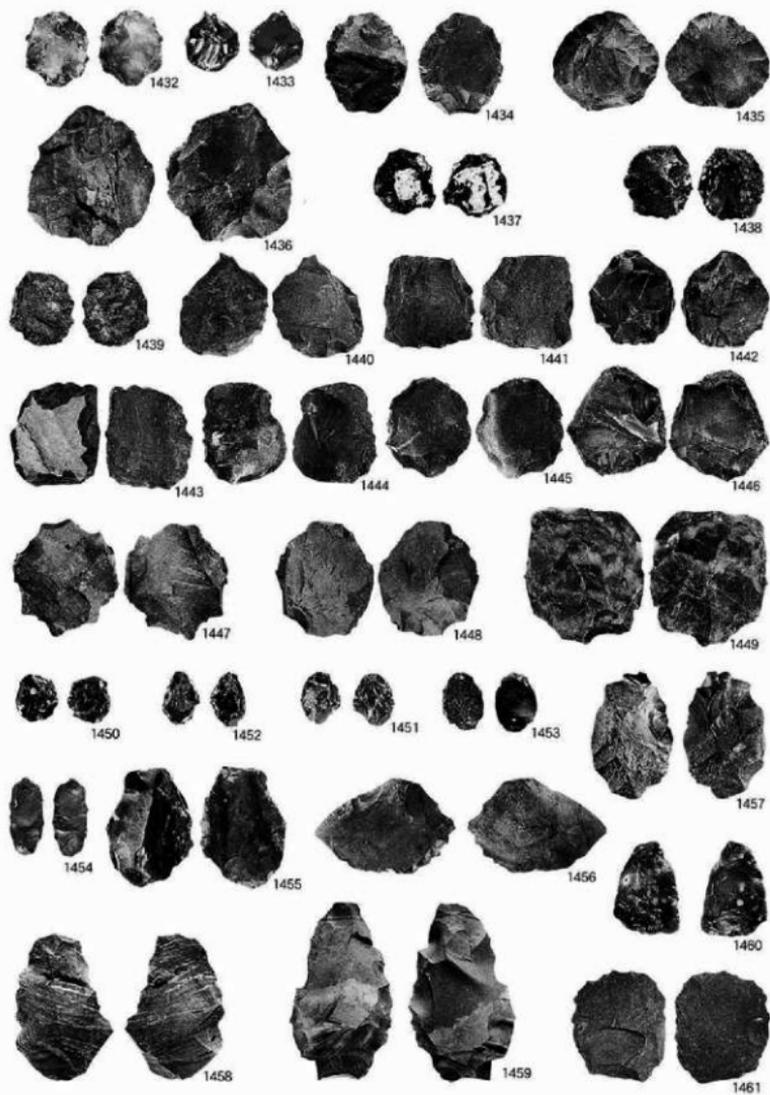
写真図版98 遺構外出土遺物64(石器27)



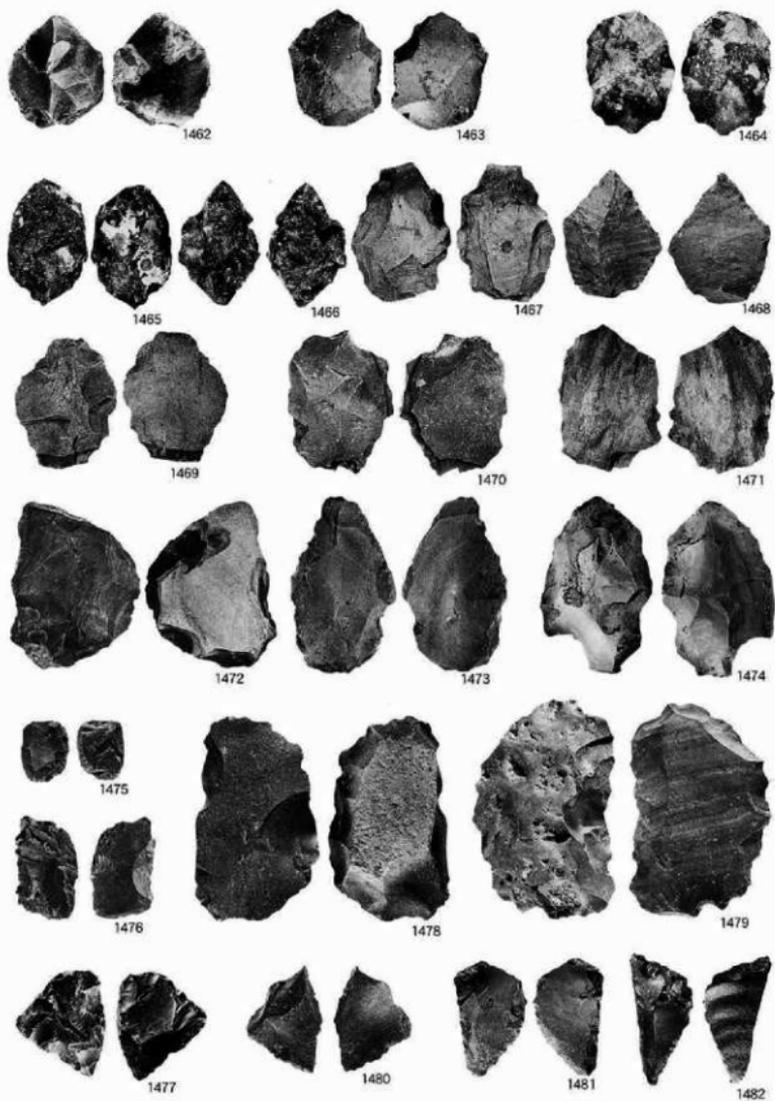
写真図版99 遺構外出土遺物65(石器28)



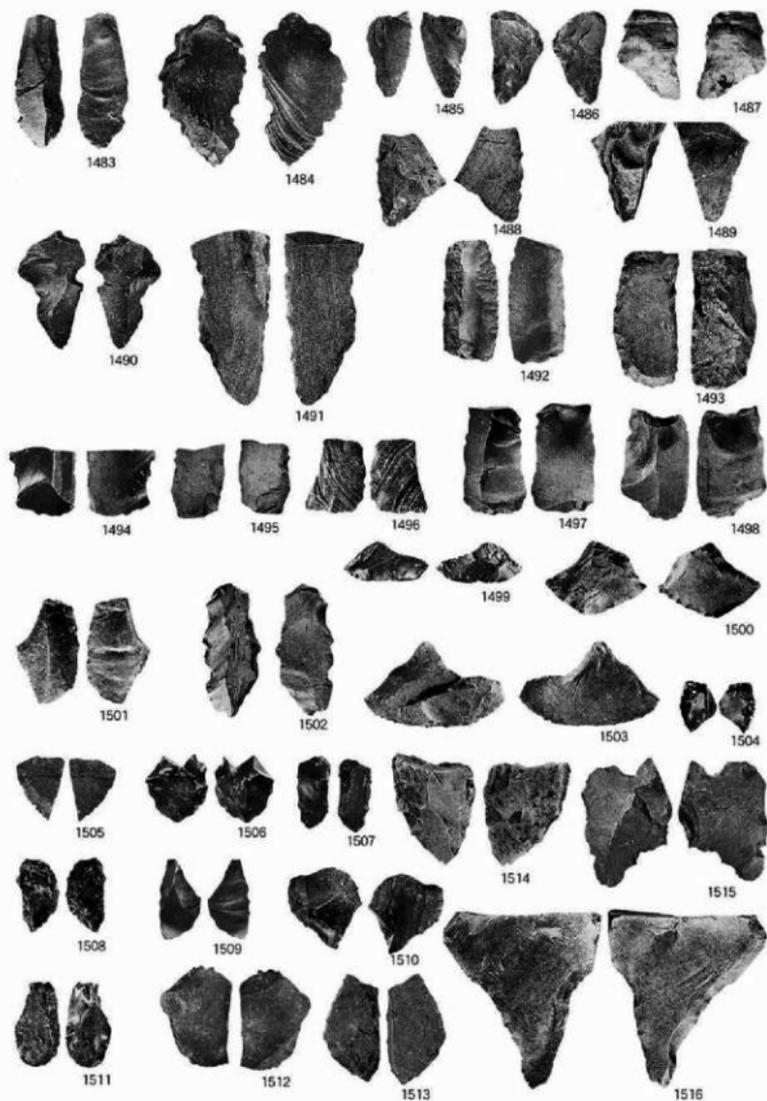
写真図版100 遺構外出土遺物66(石器29)



写真図版101 遺構外出土遺物67(石器30)



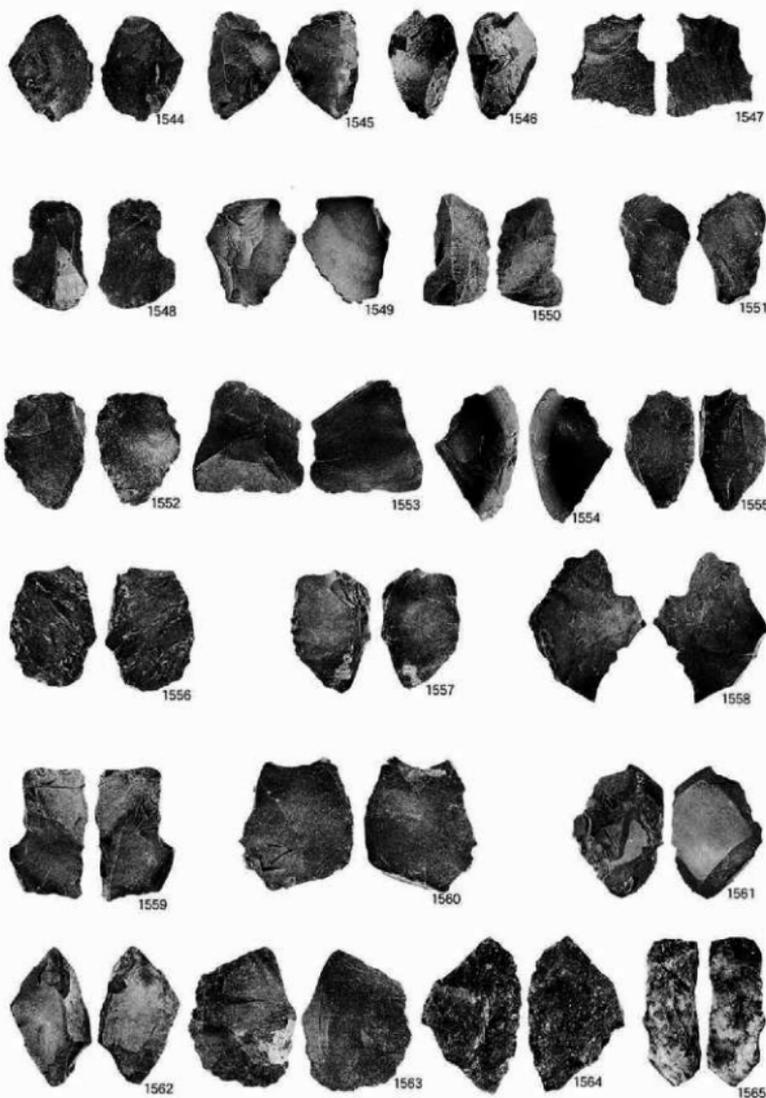
写真図版102 遺構外出土遺物68(石器31)



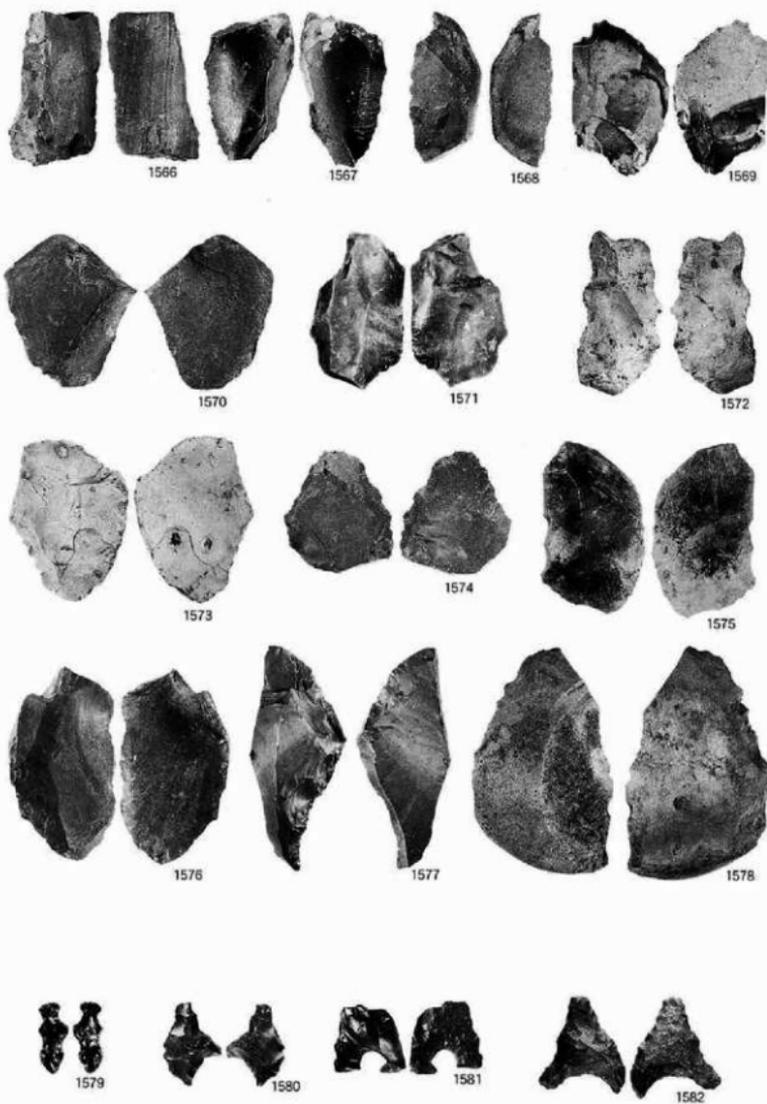
写真図版 103 遺構外出土遺物69(石器32)



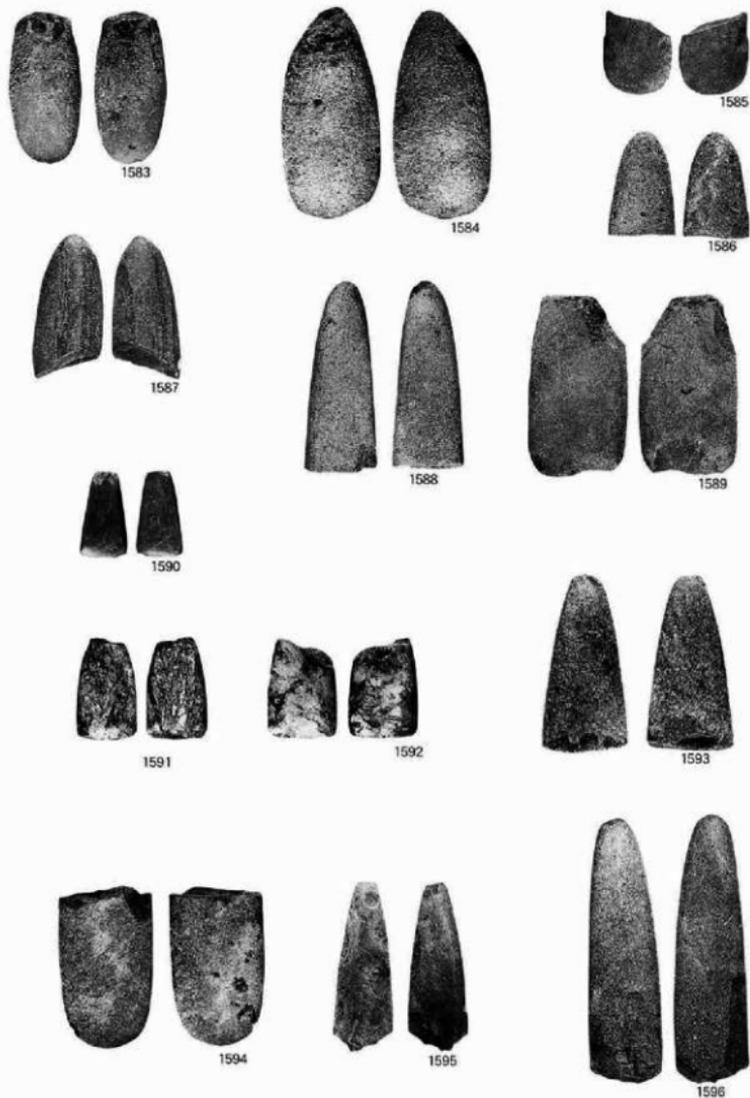
写真図版104 遺構外出土遺物70(石器33)



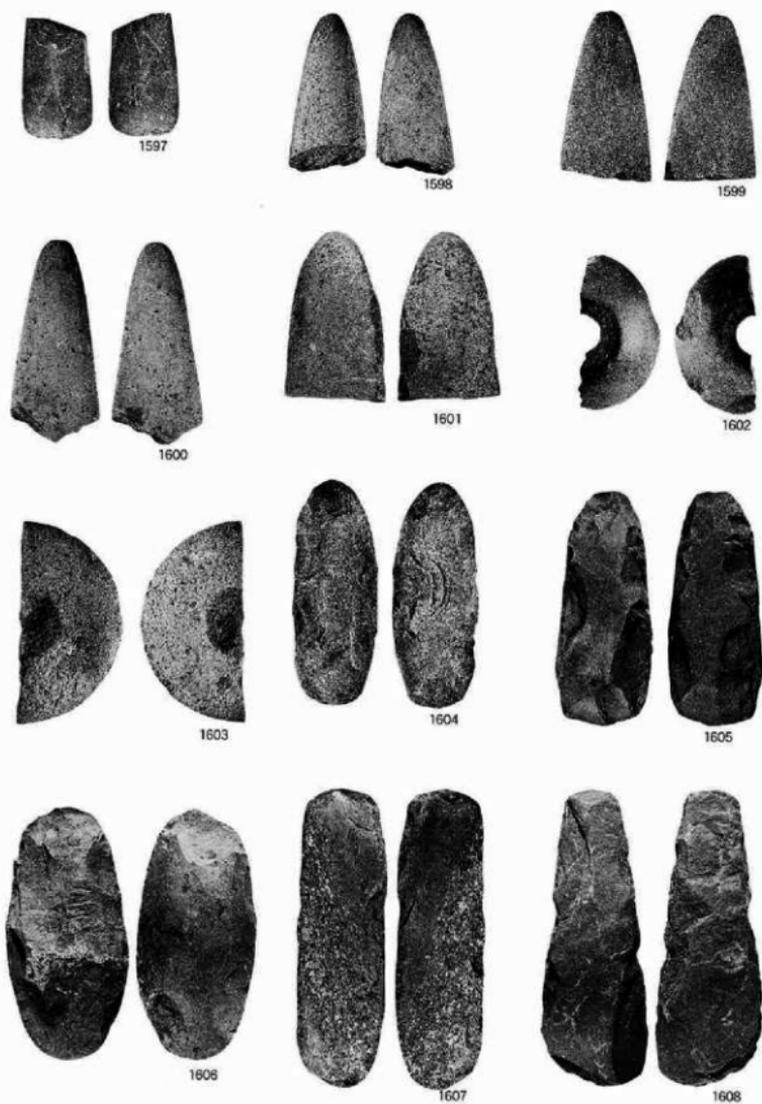
写真図版105 遺構外出土遺物71(石器34)



写真図版106 遺構外出土遺物72(石器35)



写真図版107 遺構外出土遺物73(石器36)



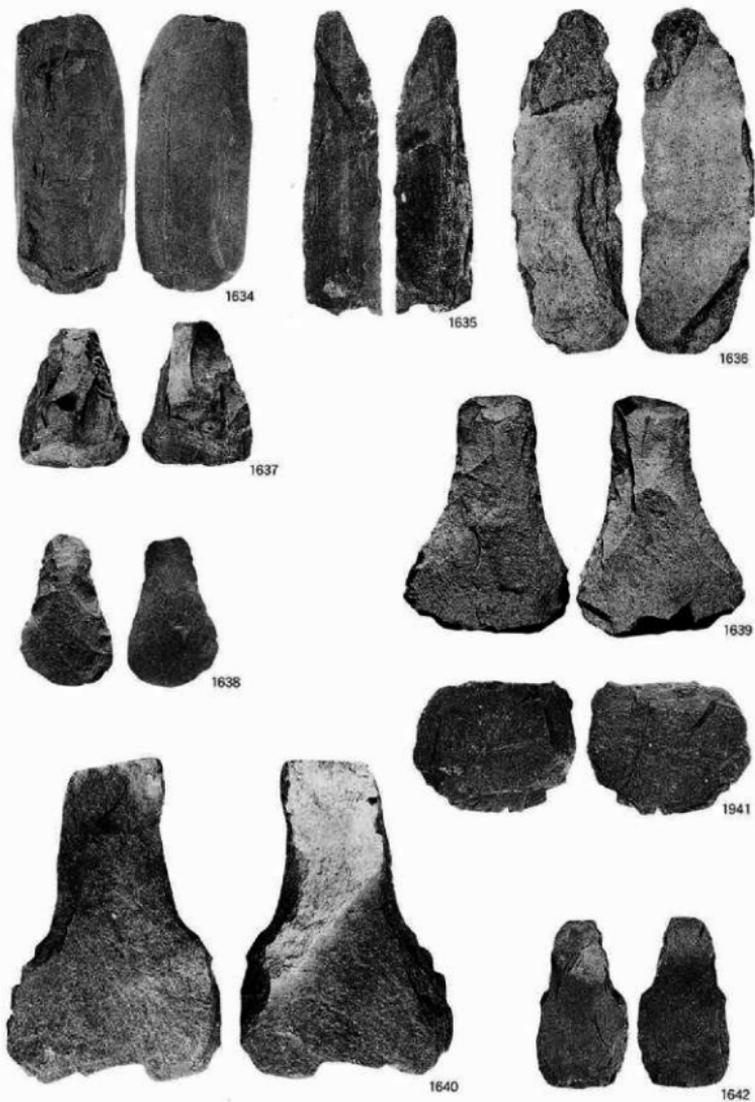
写真図版108 遺構外出土遺物74(石器37)



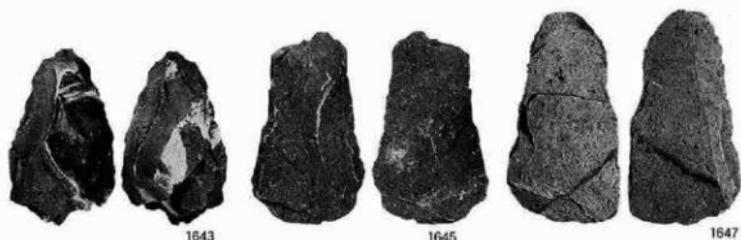
写真図版109 遺構外出土遺物75(石器38)



写真図版110 遺構外出土遺物76(石器39)



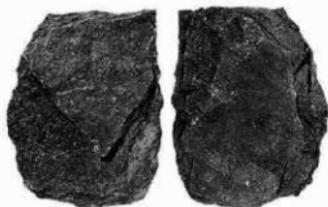
写真図版111 遺構外出土遺物77(石器40)



1643

1645

1647



1646



1644



1648



1649



1150



1651



1652

写真図版112 遺構外出土遺物78(石器41)



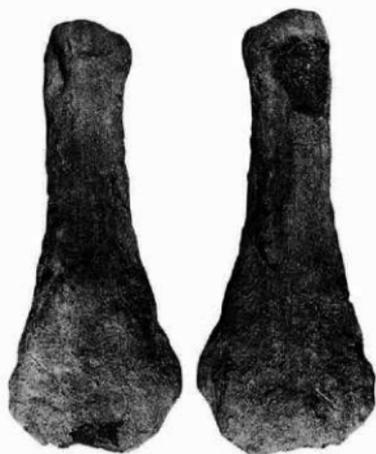
1653



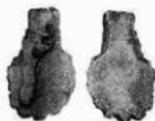
1654



1655



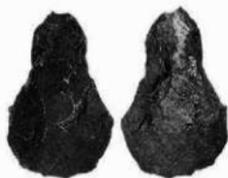
1656



1657



1659



1658

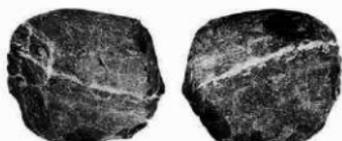
写真図版113 遺構外出土遺物79(石器42)



1660



1661



1662



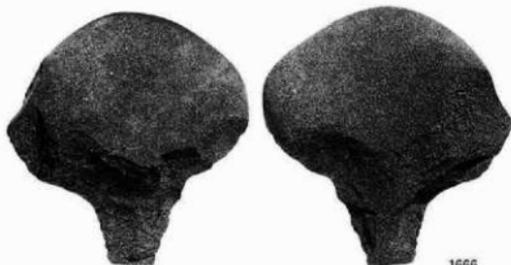
1663



1664

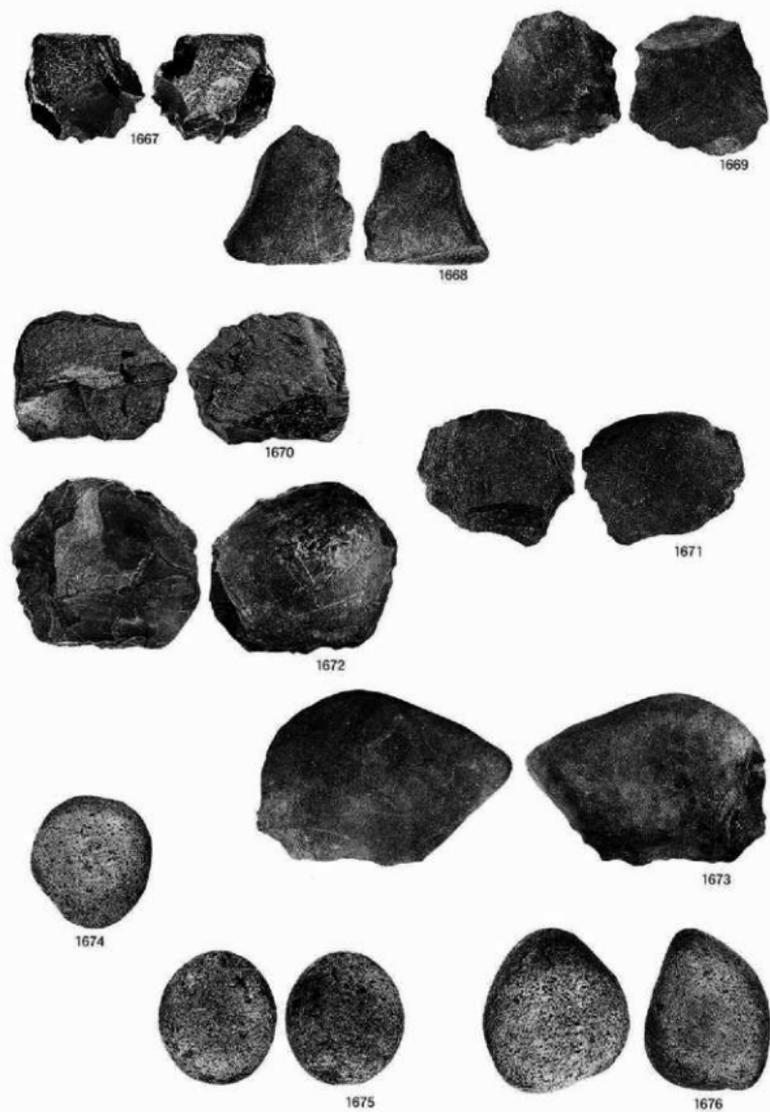


1665

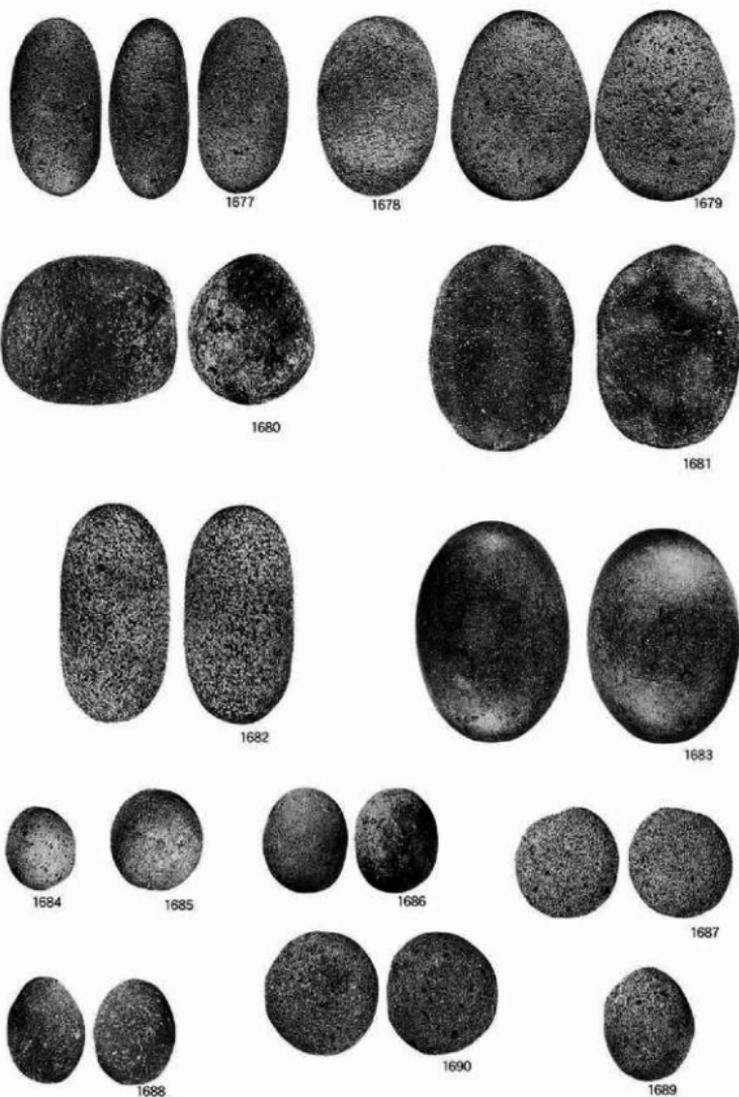


1666

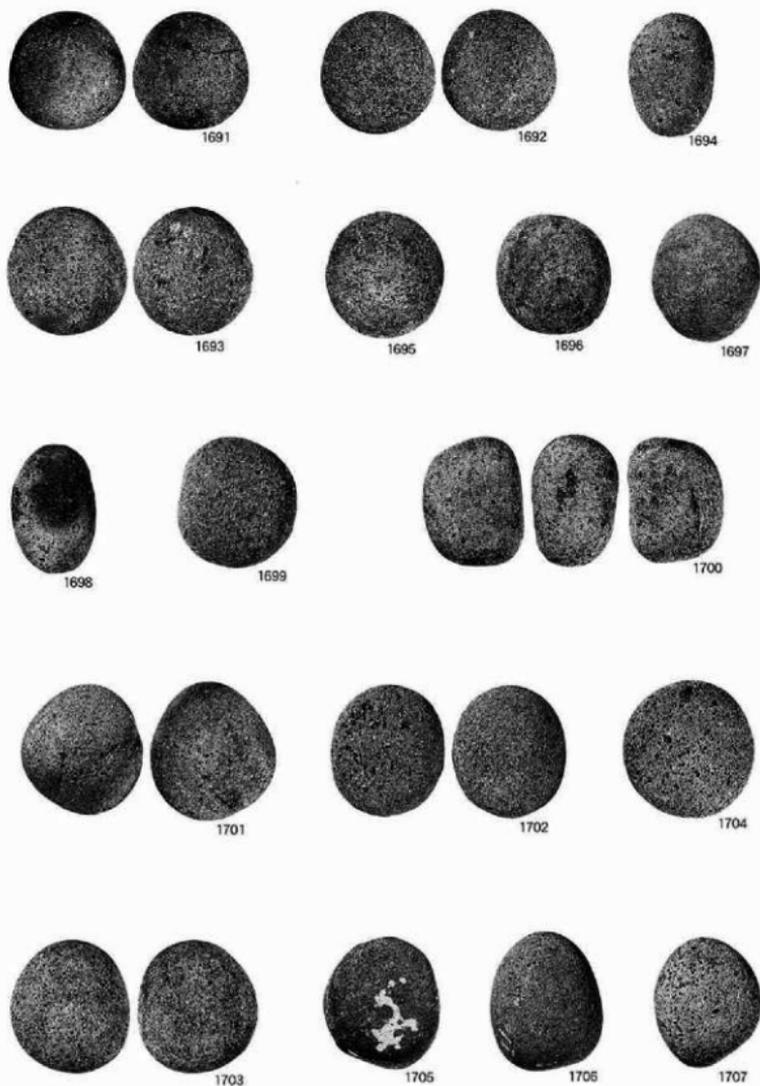
写真図版114 遺構外出土遺物80(石器43)



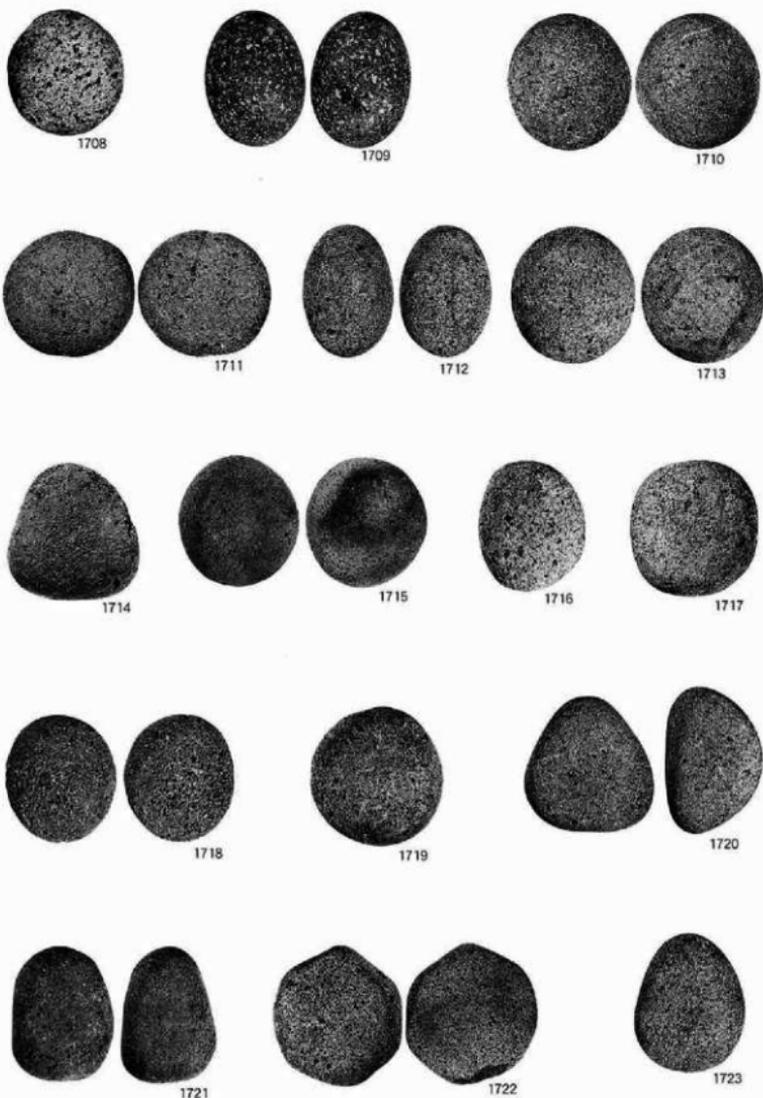
写真図版115 遺構外出土遺物81(石器44)



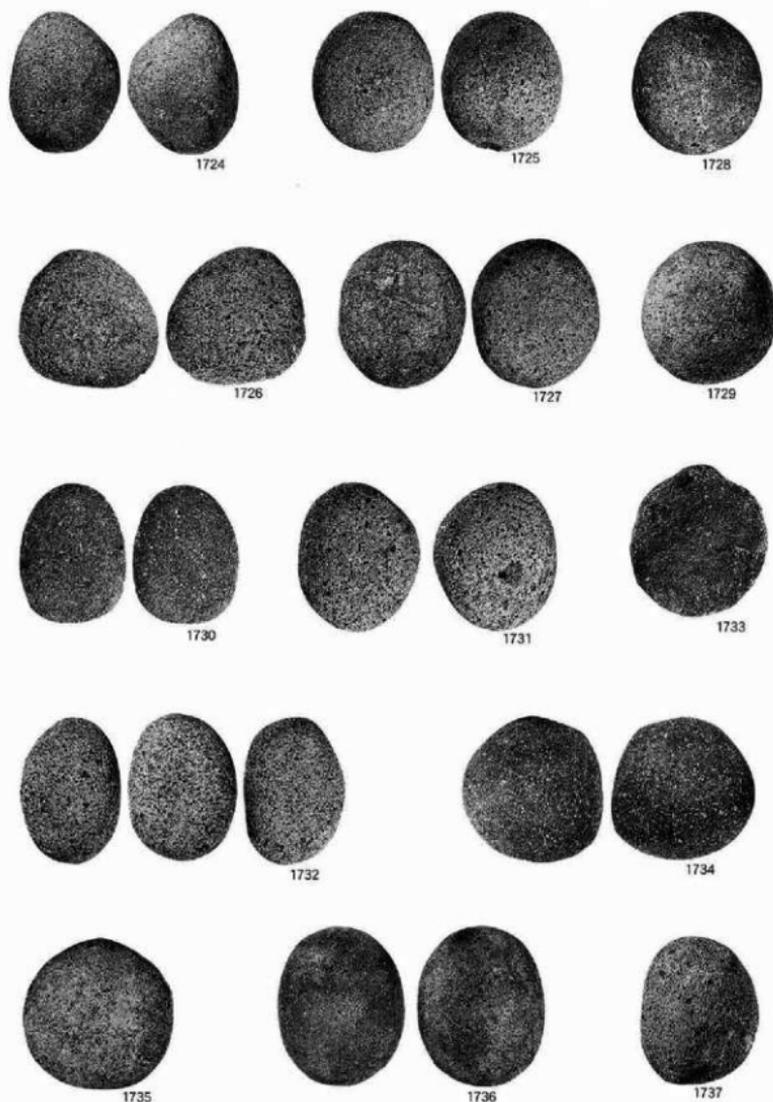
写真図版116 遺構外出土遺物82(石器45)



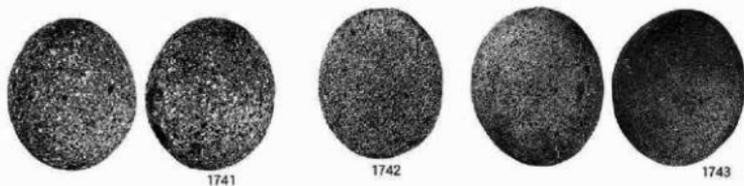
写真図版117 遺構外出土遺物83(石器46)



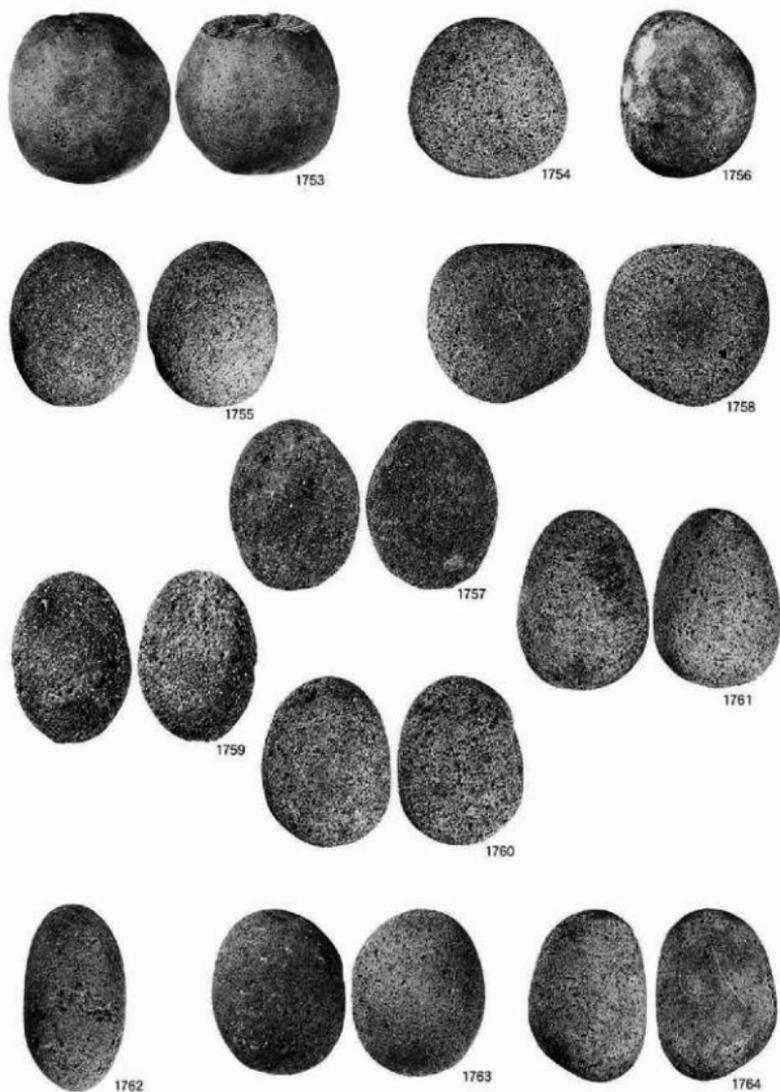
写真図版118 遺構外出土遺物84(石器47)



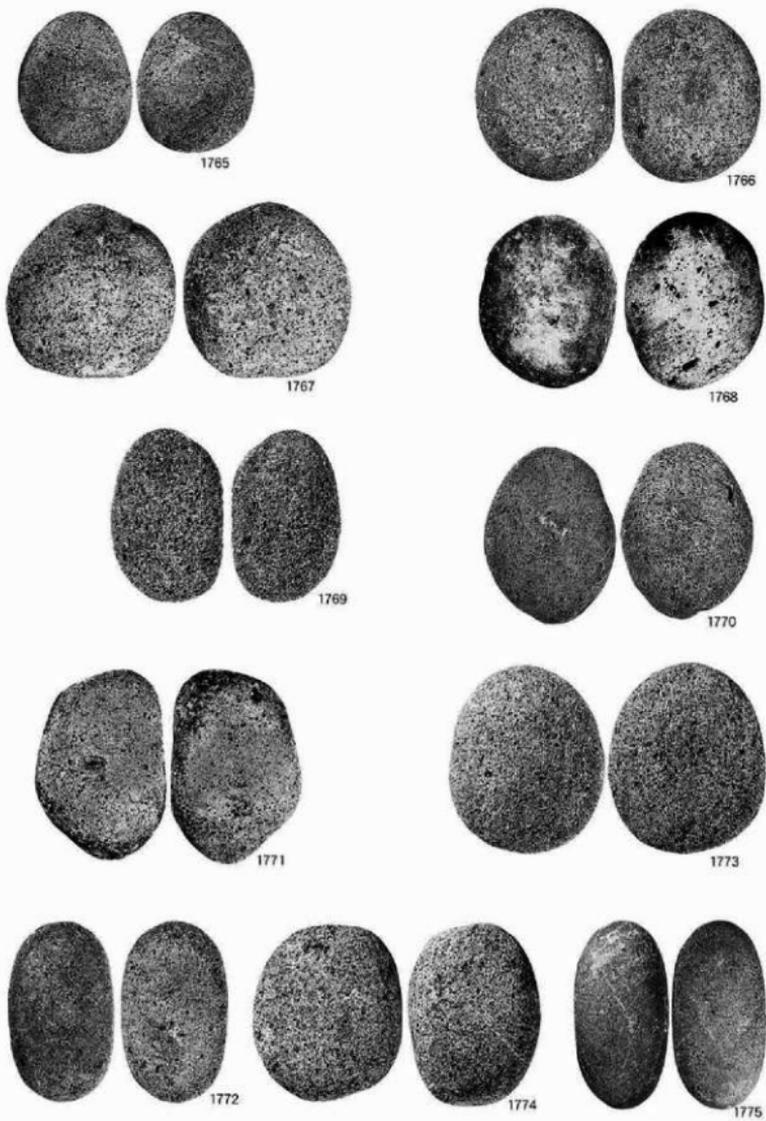
写真図版119 遺構外出土遺物85(石器48)



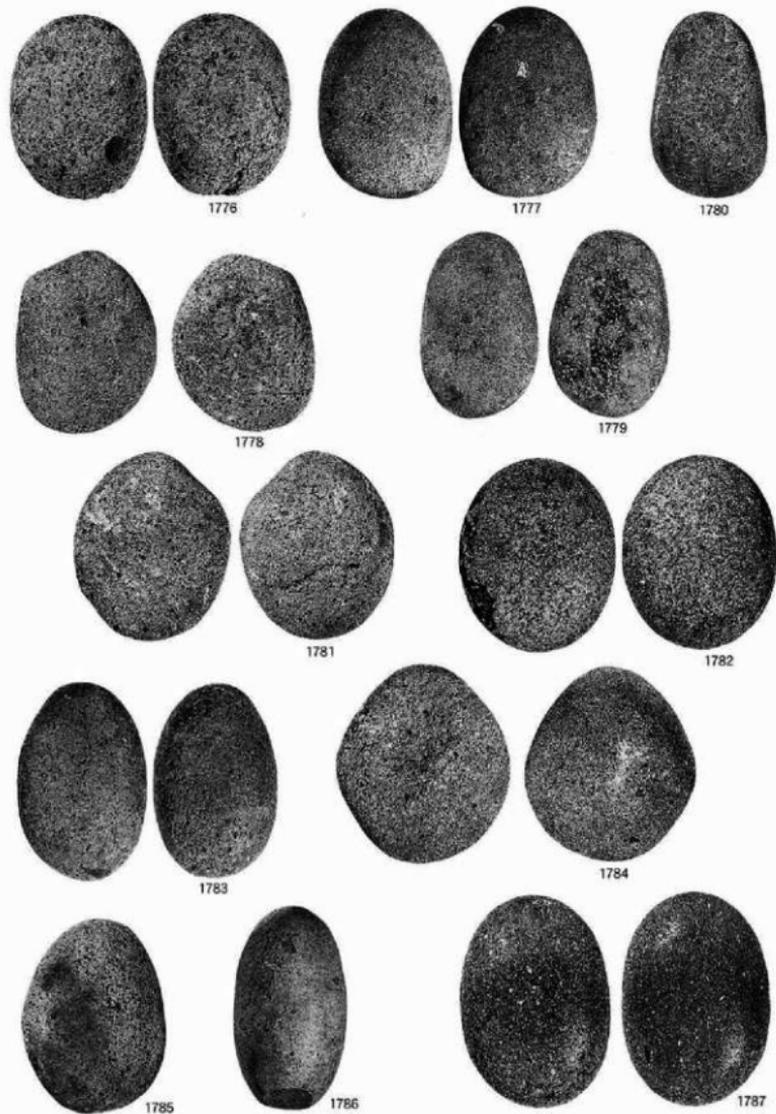
写真図版120 遺構外出土遺物86(石器49)



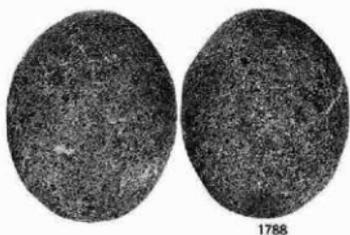
写真図版121 遺構外出土遺物87(石器50)



写真図版122 遺構外出土遺物88(石器51)



写真図版123 遺構外出土遺物89(石器52)



1788



1789



1790



1791

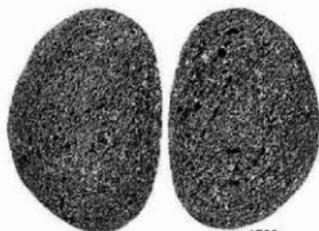


1792



1795

1794



1793



1796

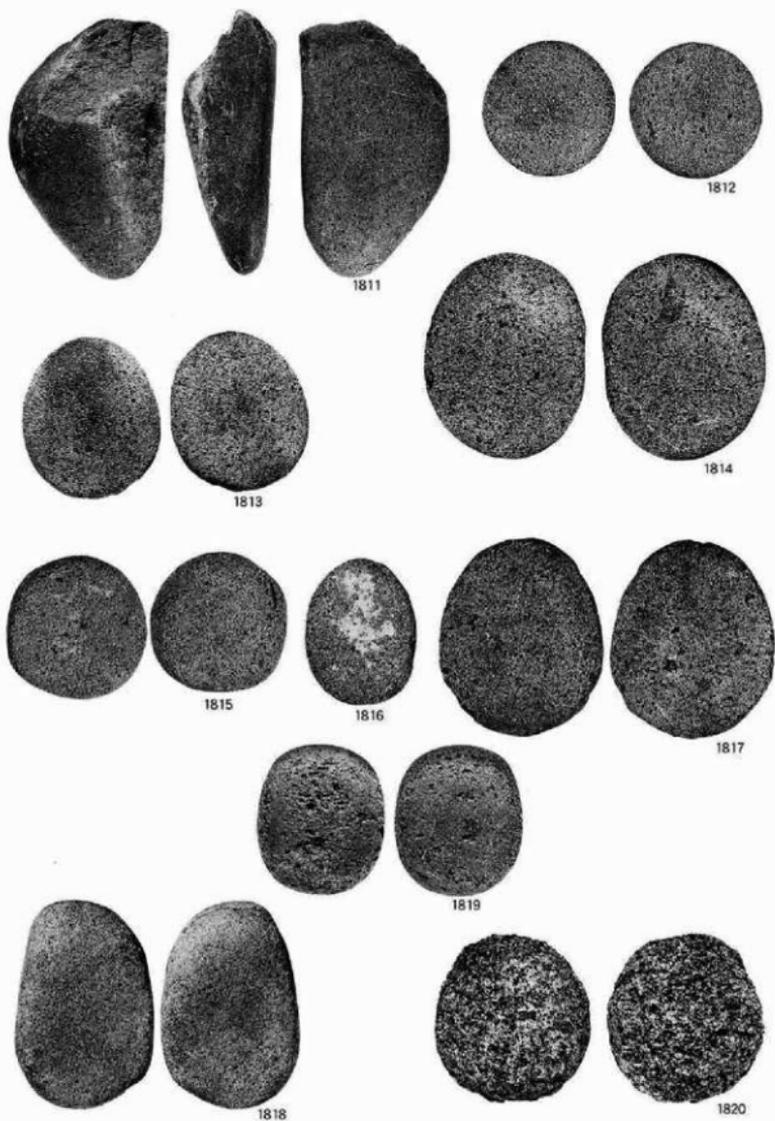


1797

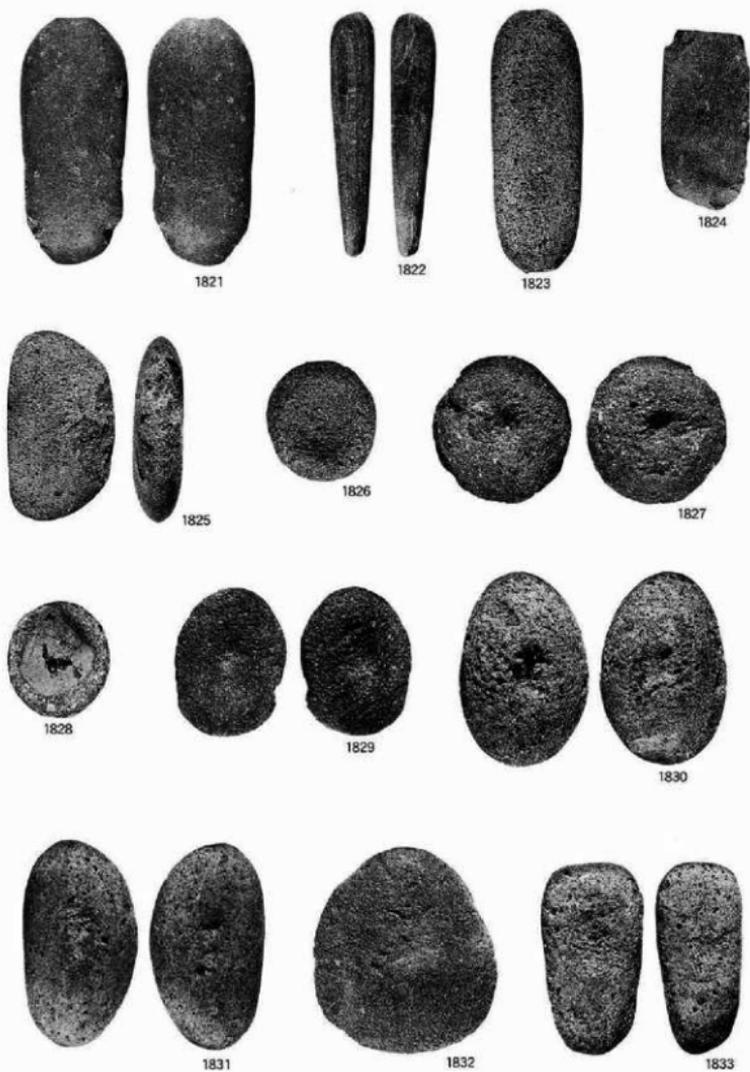
写真図版124 遺構外出土遺物90(石器53)



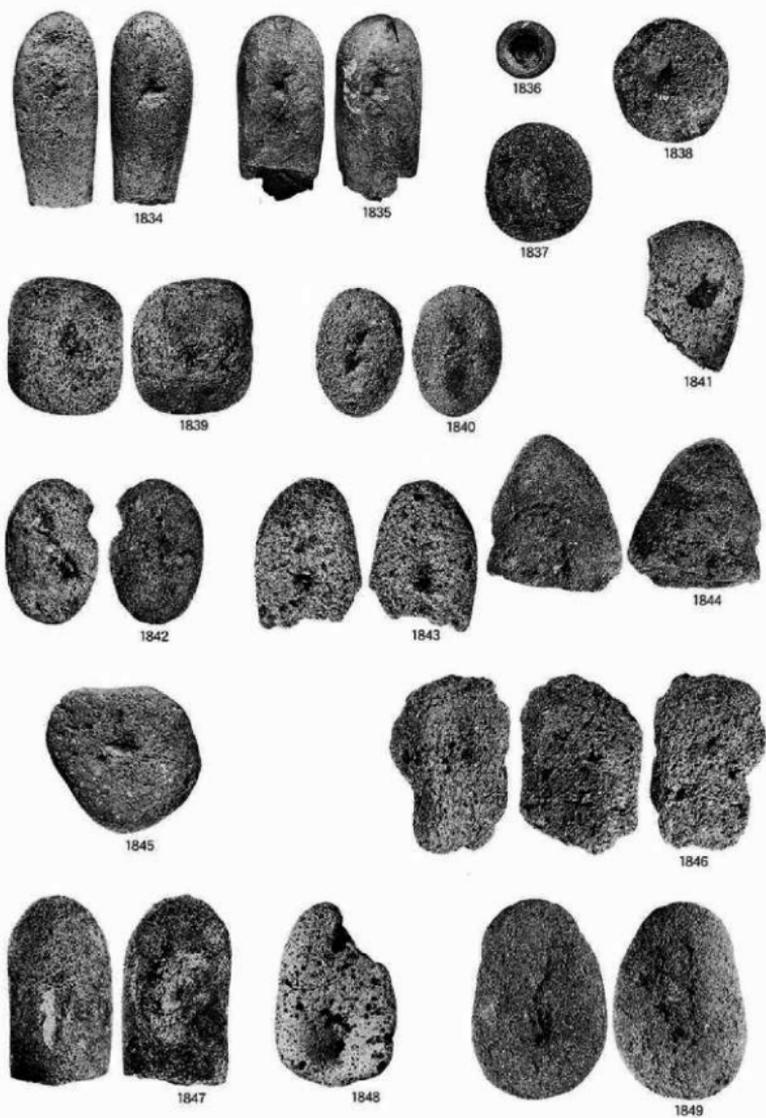
写真図版125 遺構外出土遺物91(石器54)



写真図版126 遺構外出土遺物92(石器55)



写真図版127 遺構外出土遺物93(石器56)



写真図版128 遺構外出土遺物94(石器57)



1850



1852



1851



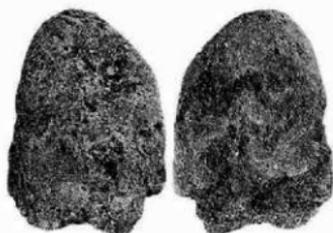
1853



1854



1856



1855



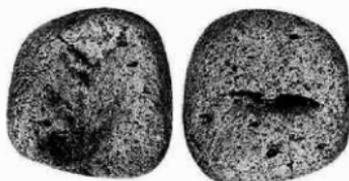
1857



1858



1859

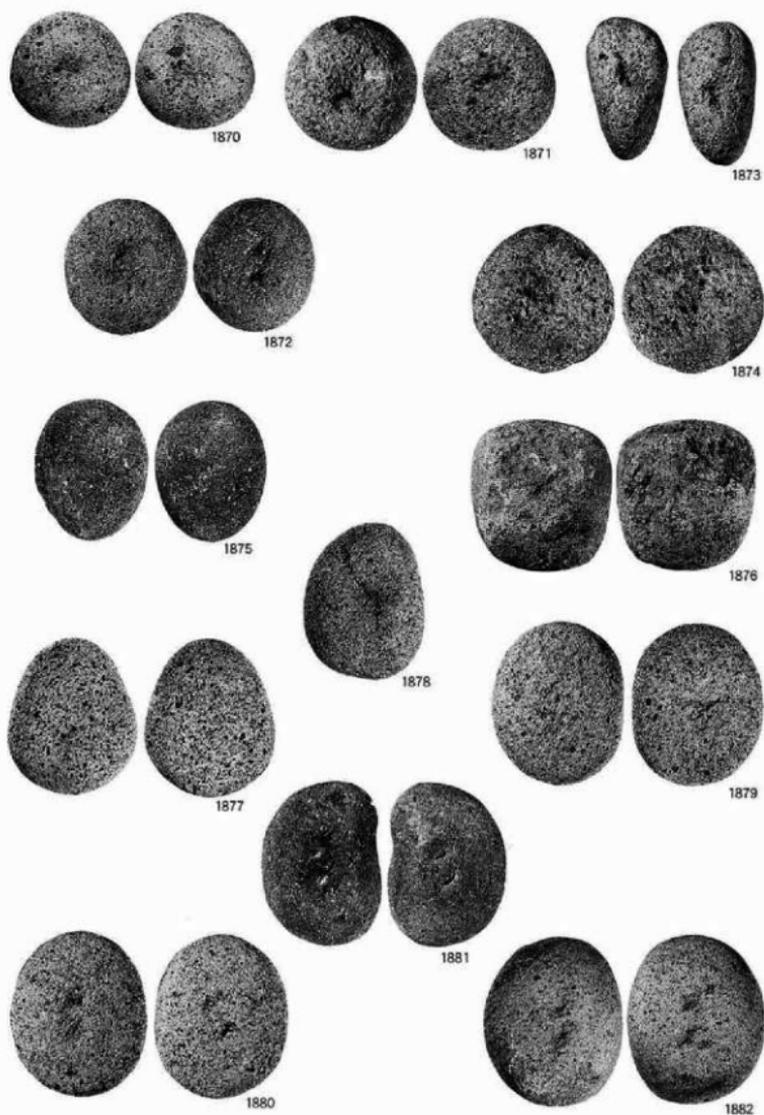


1860

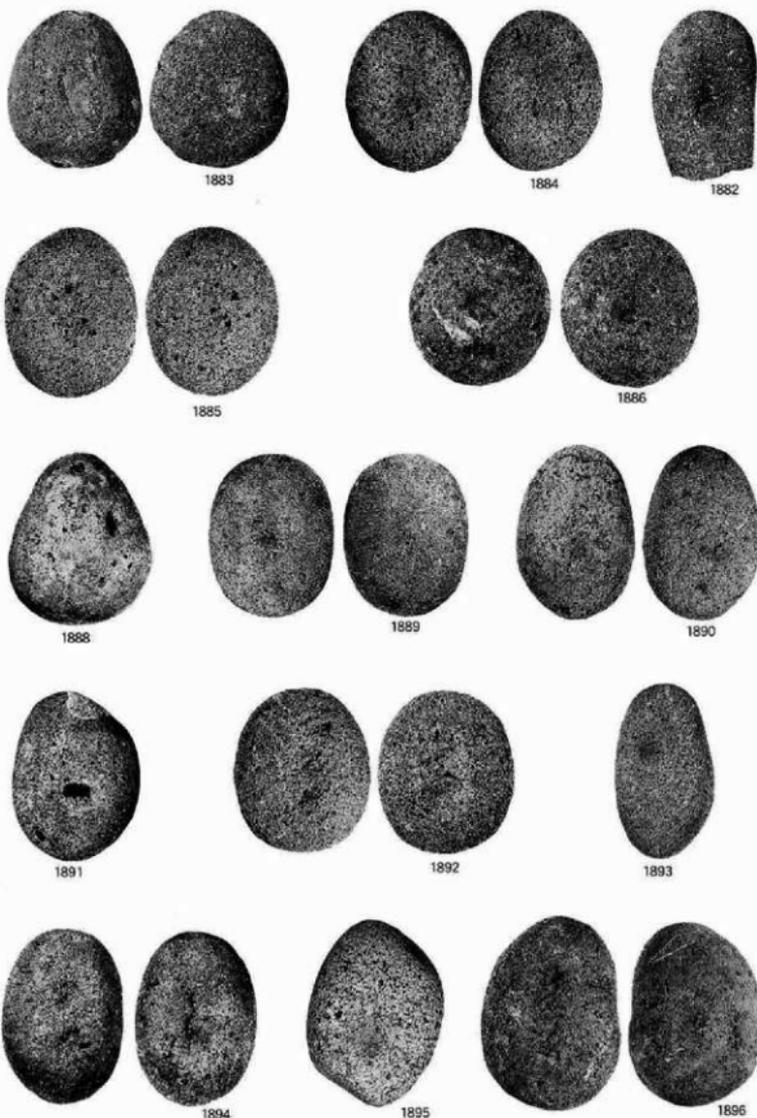
写真図版129 遠構外出土遺物95(石器58)



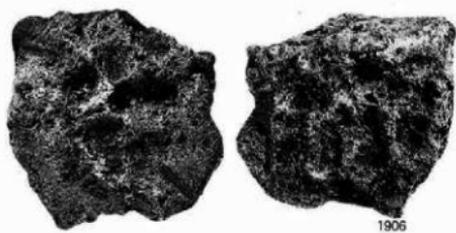
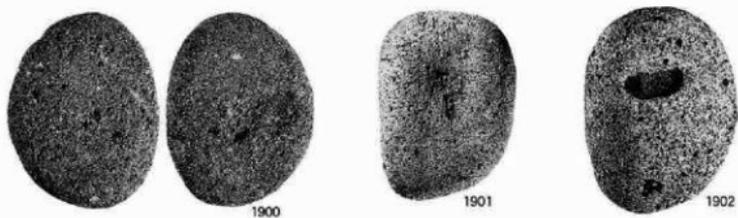
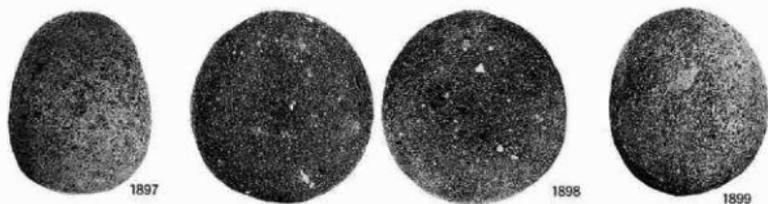
写真図版130 遺構外出土遺物96(石器59)



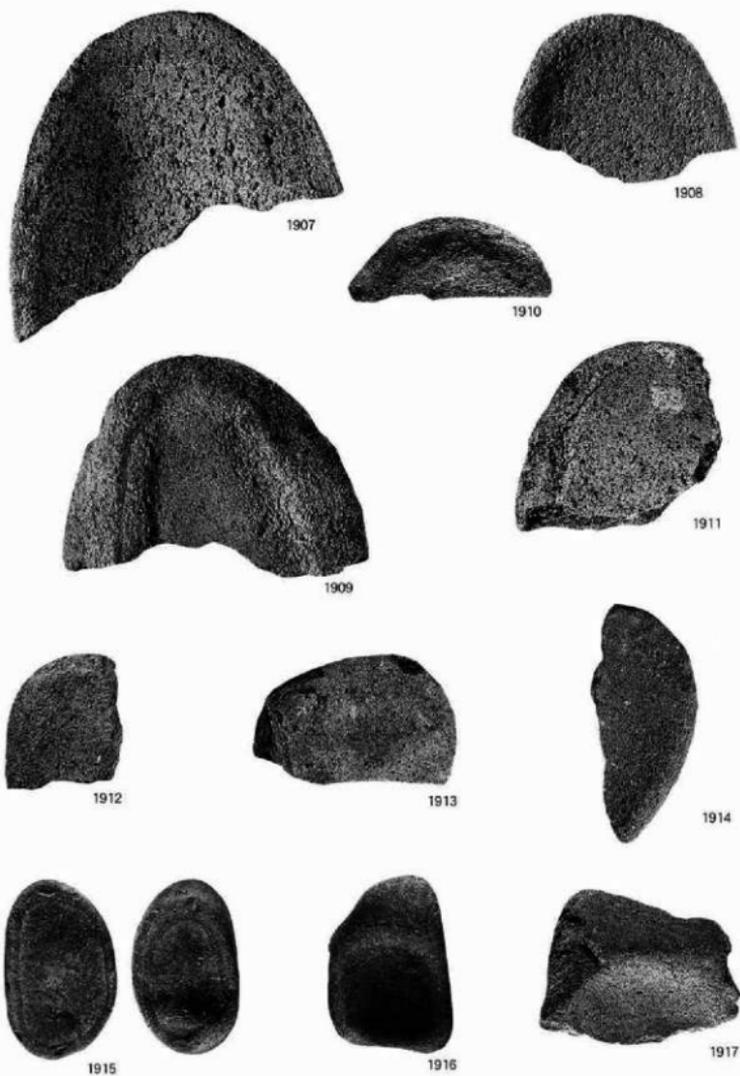
写真図版131 遺構外出土遺物97(石器60)



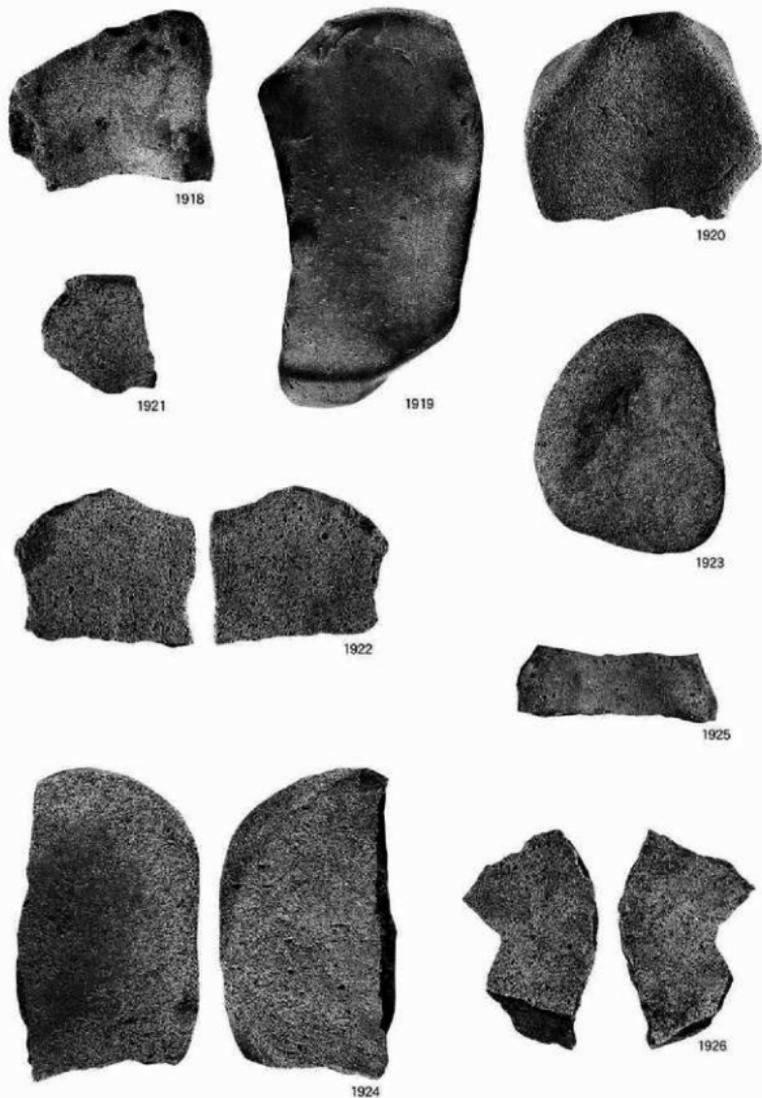
写真図版132 遺構外出土遺物98(石器61)



写真図版133 遺構外出土遺物99(石器62)



写真図版134 遺構外出土遺物100(石器63)



写真図版135 遺構外出土遺物101(石器64)



1927



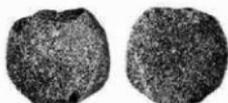
1928



1929



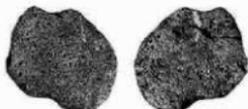
1930



1932



1931



1933



1935

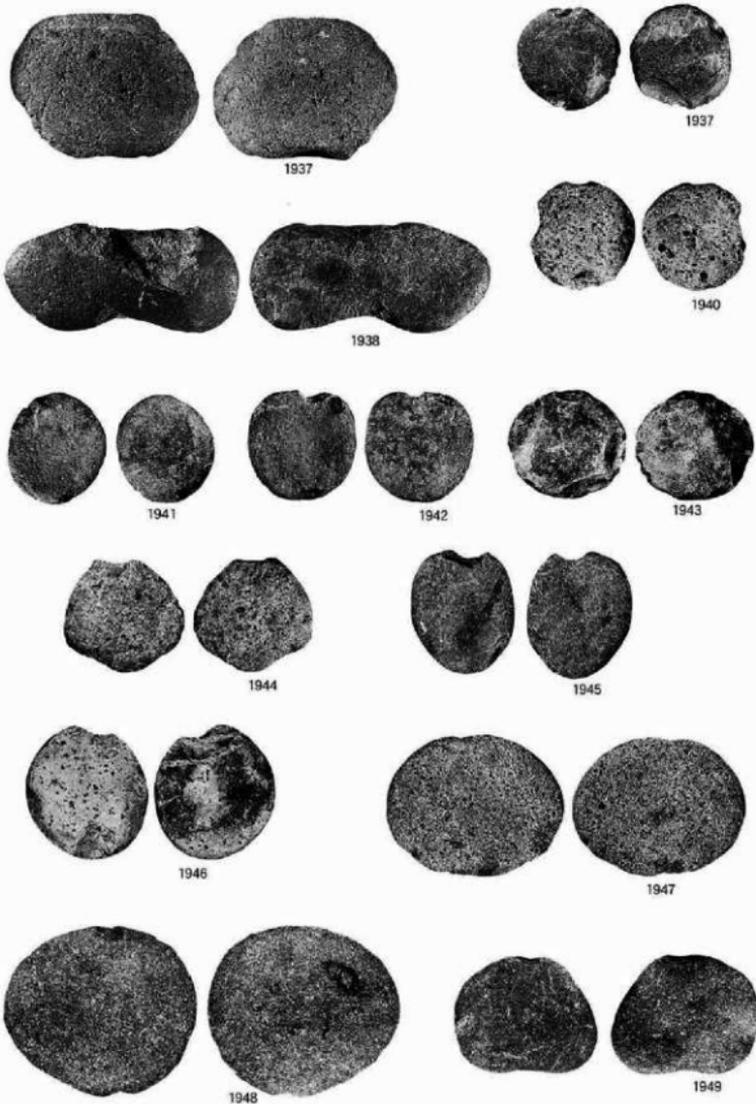


1934

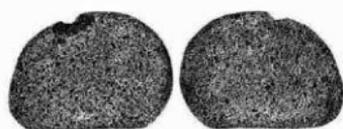


1936

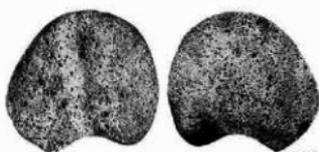
写真図版136 遺構外出土遺物102(石器65)



写真図版137 遺構外出土遺物103石器(66)



1950



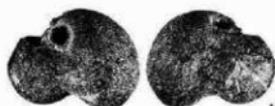
1952



1951



1953



1954



1955



1956



1957

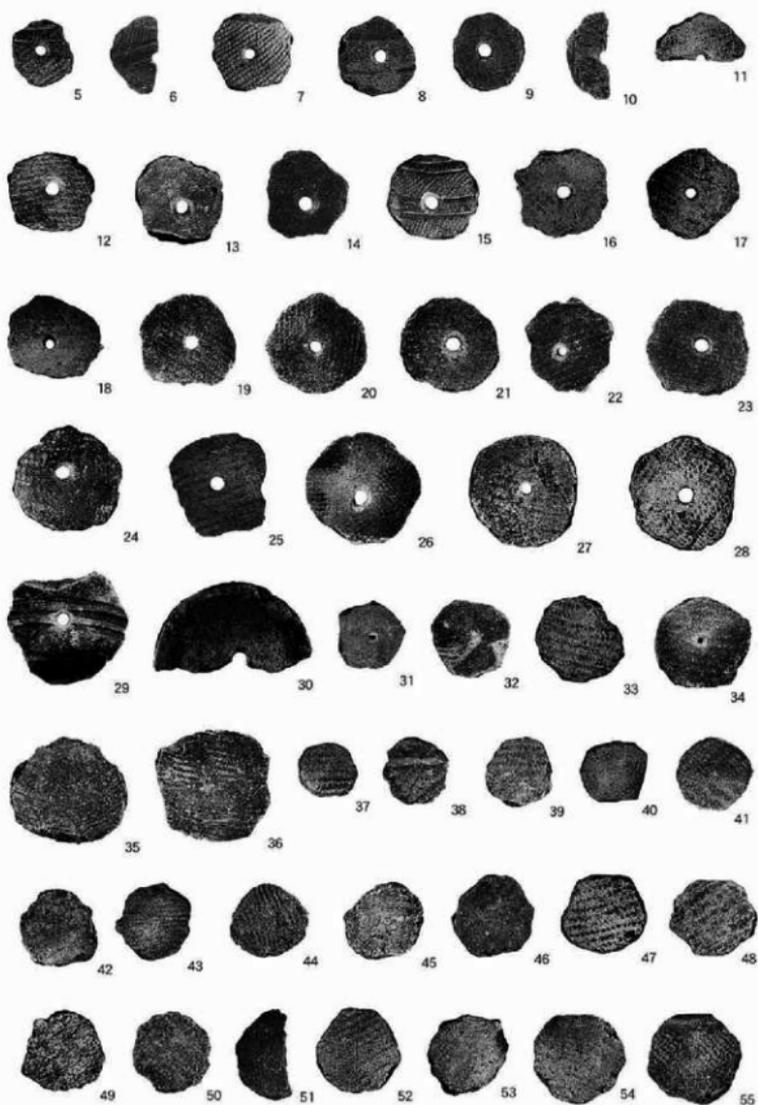


1958

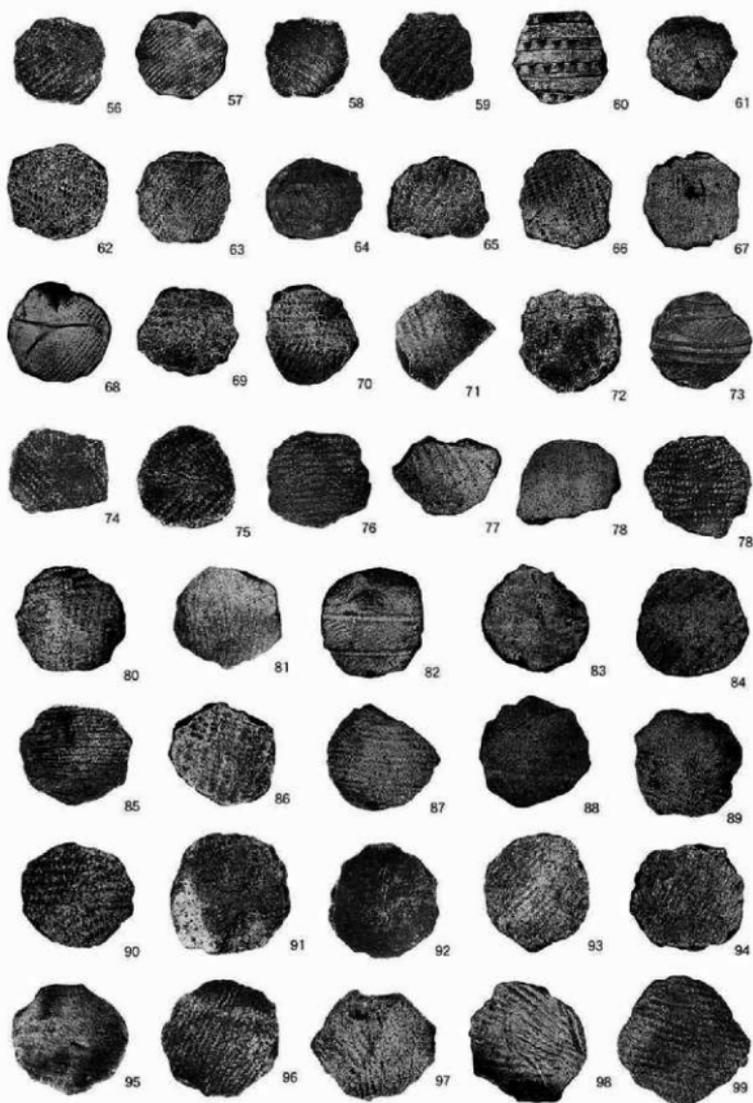


1959

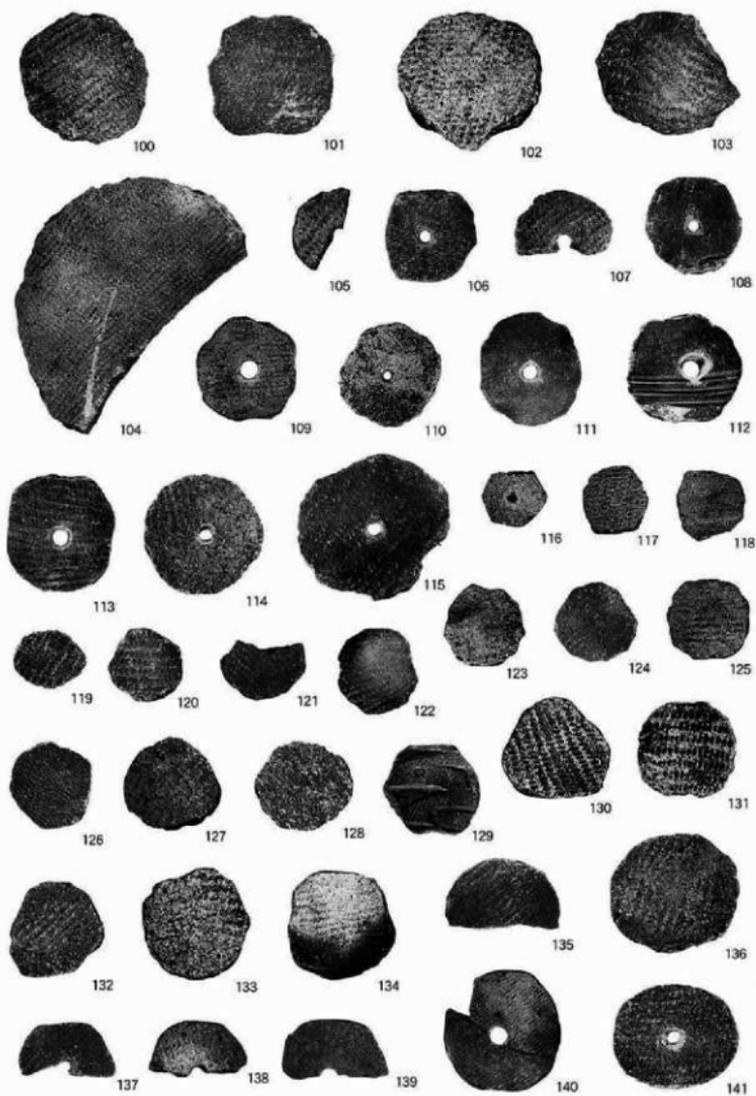
写真図版138 遺構外出土遺物104(石器67)



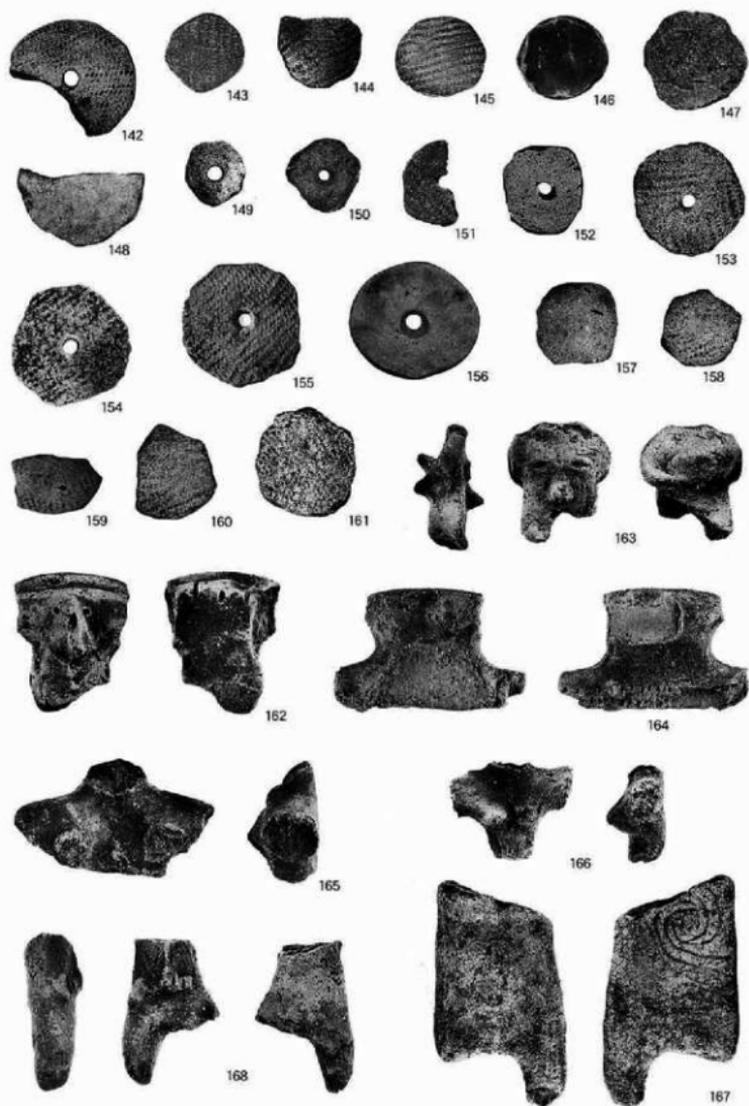
写真図版139 遺構外出土遺物105(円盤状土製品1)



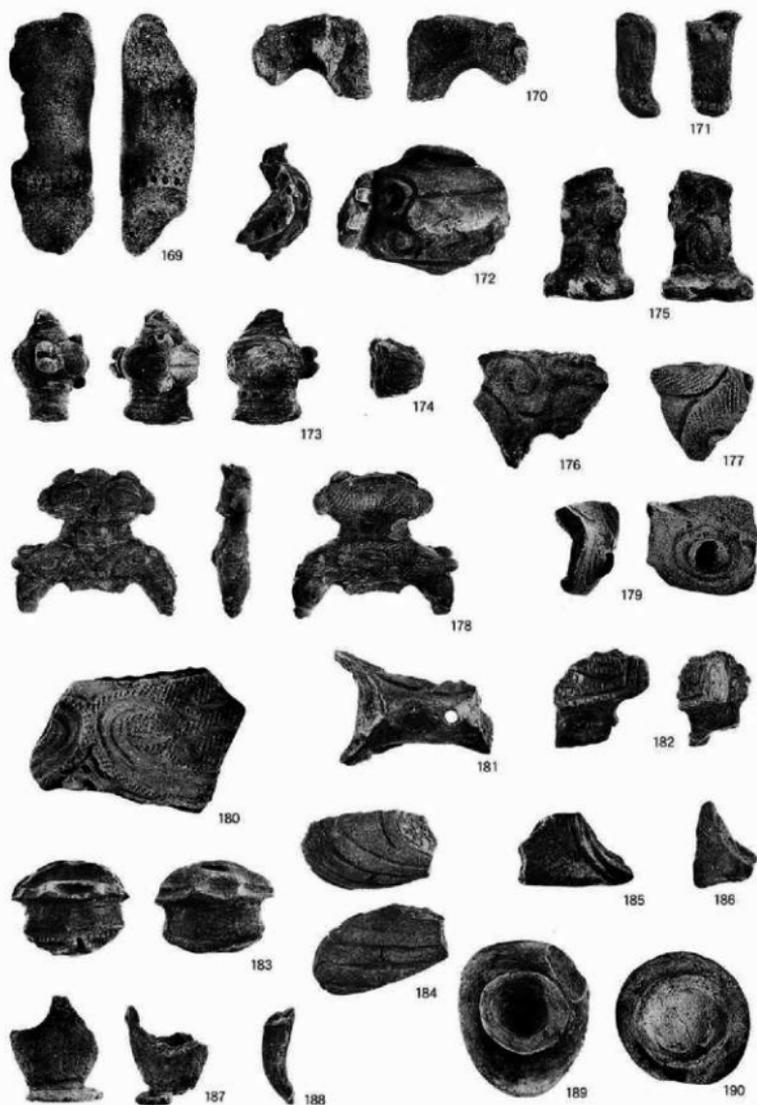
写真図版140 遺構外出土遺物106(円盤状土製品2)



写真図版 141 遺構外出土遺物108(円盤状土製品3)



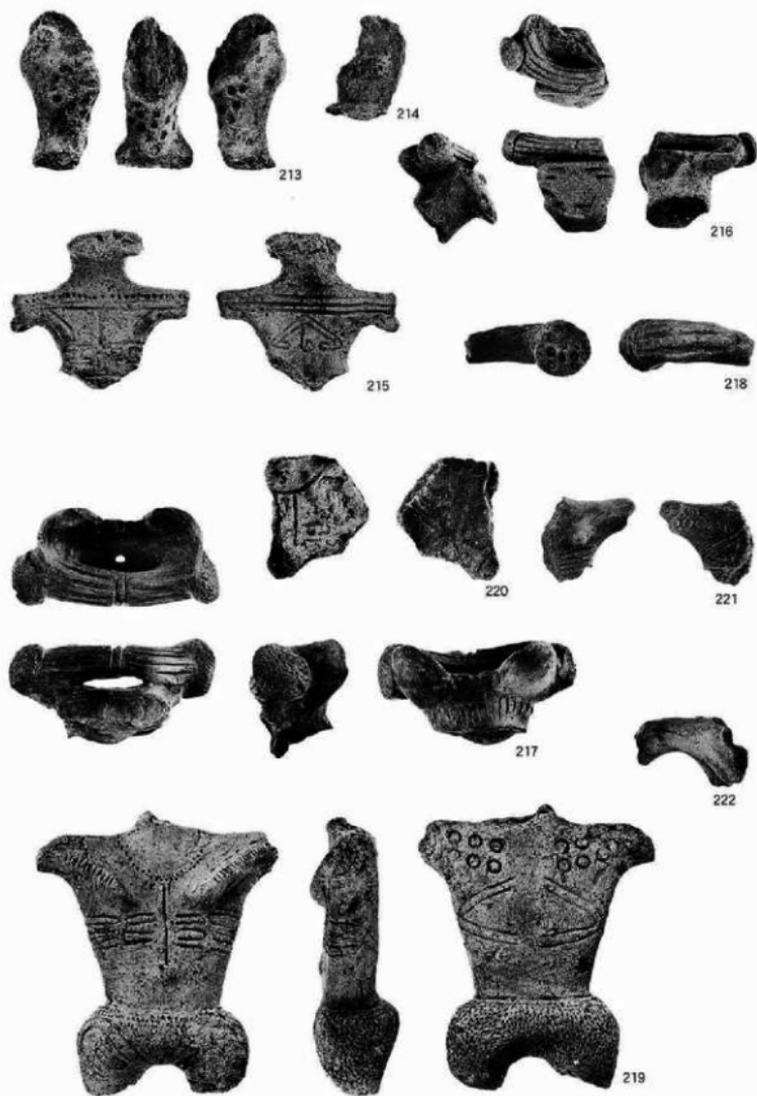
写真図版142 遺構外出土遺物108(円盤状土製品4・土偶1)



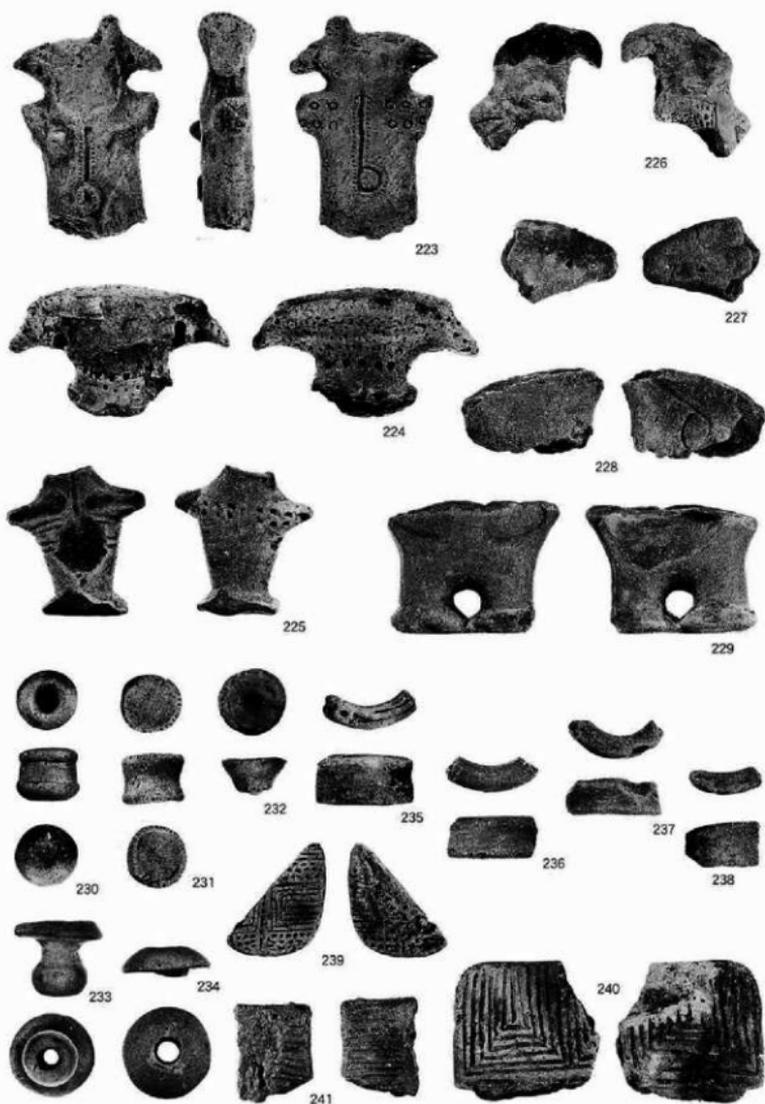
写真図版143 遺構外出土遺物109(土偶2)



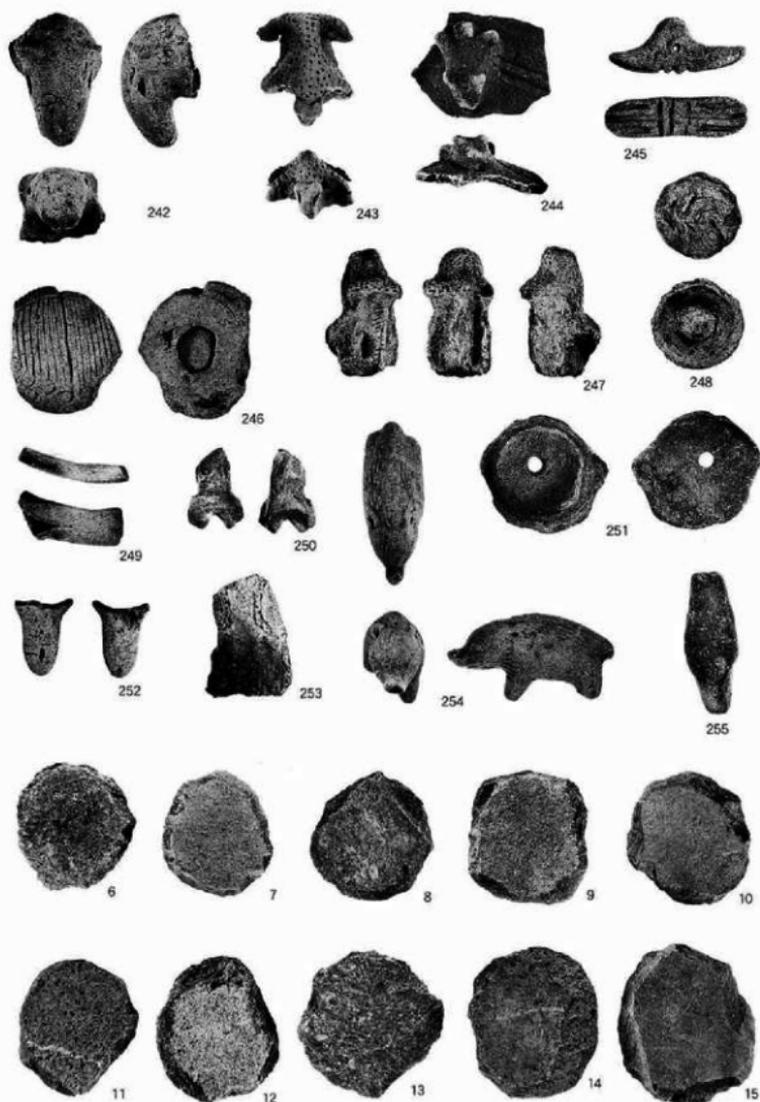
写真図版144 遺構外出土遺物110(土偶3)



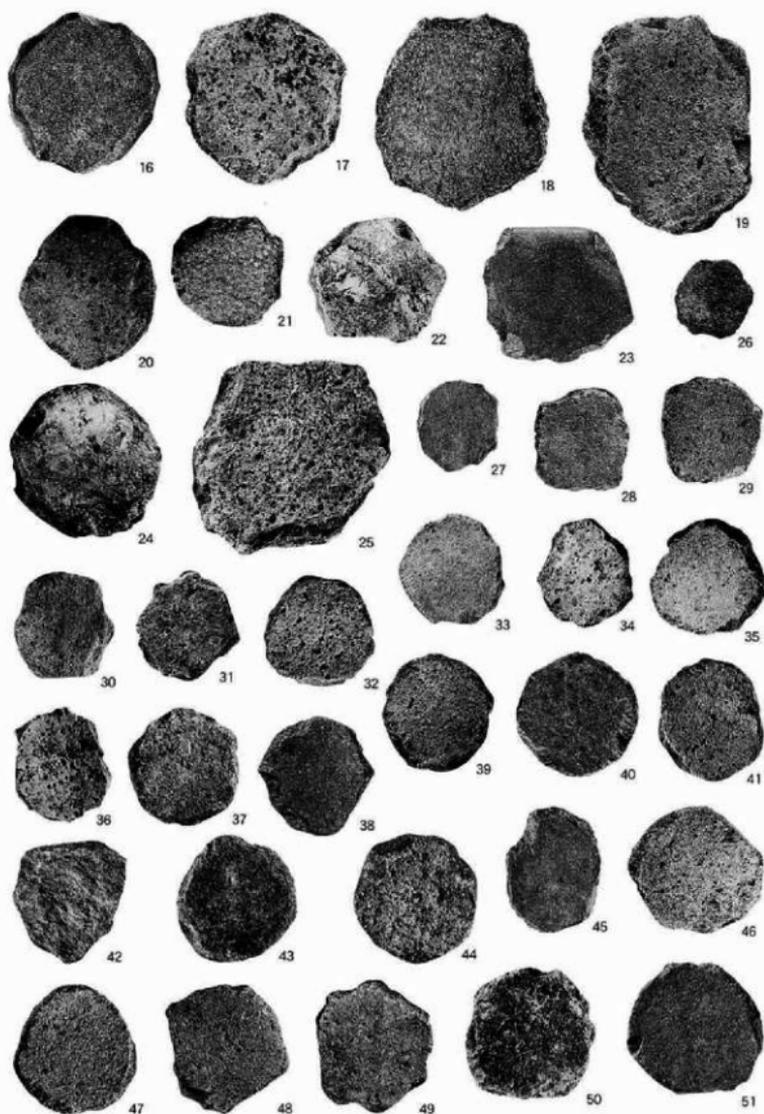
写真図版145 遺構外出土遺物111(土偶4)



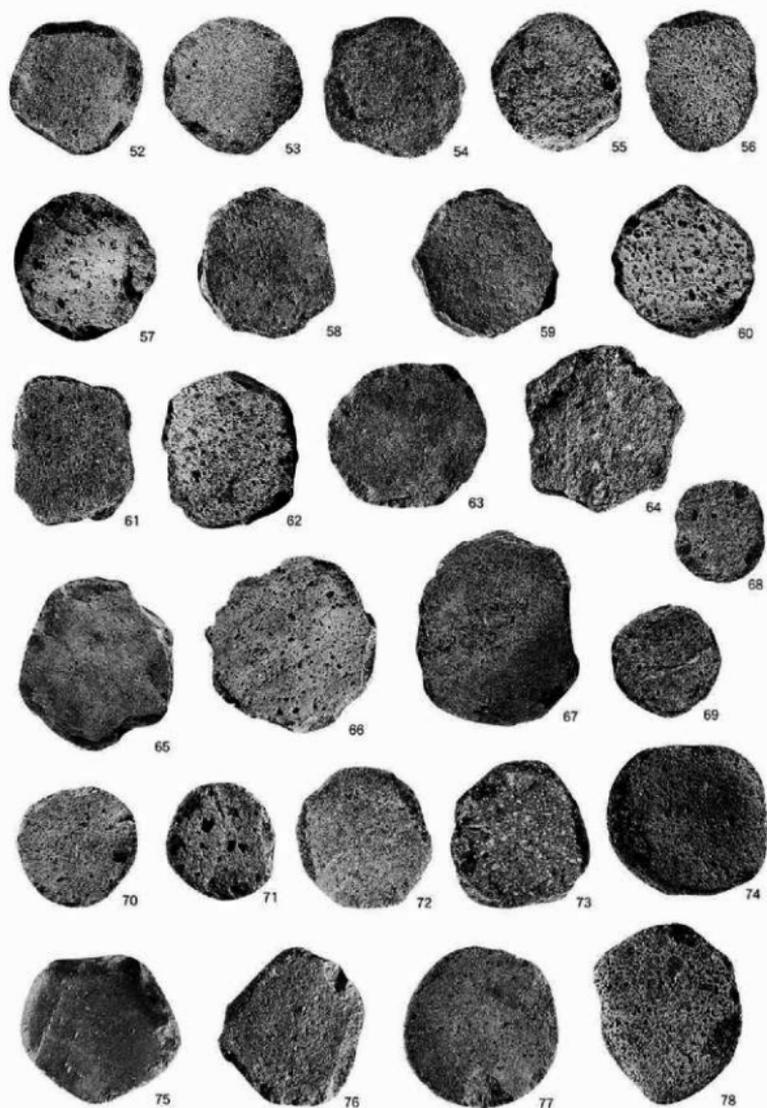
写真図版146 遺構外出土遺物112(土偶5.その他土製品1)



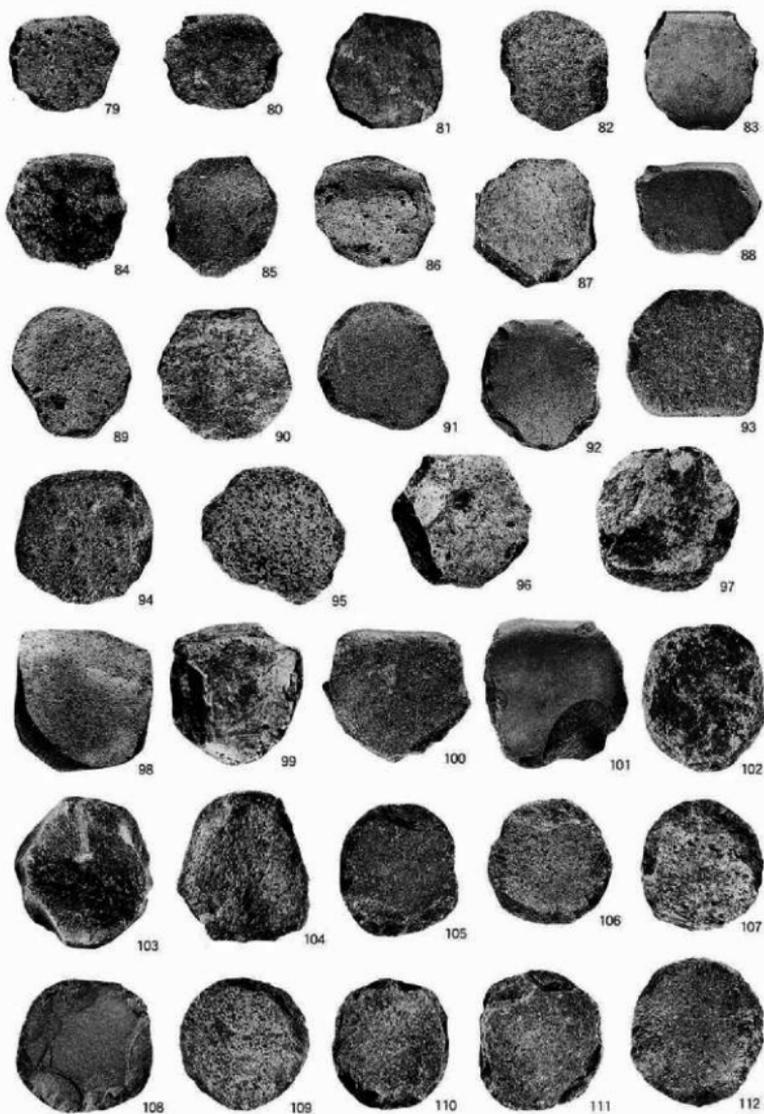
写真図版147 遺構外出土遺物113(その他土製品2・円盤状石製品1)



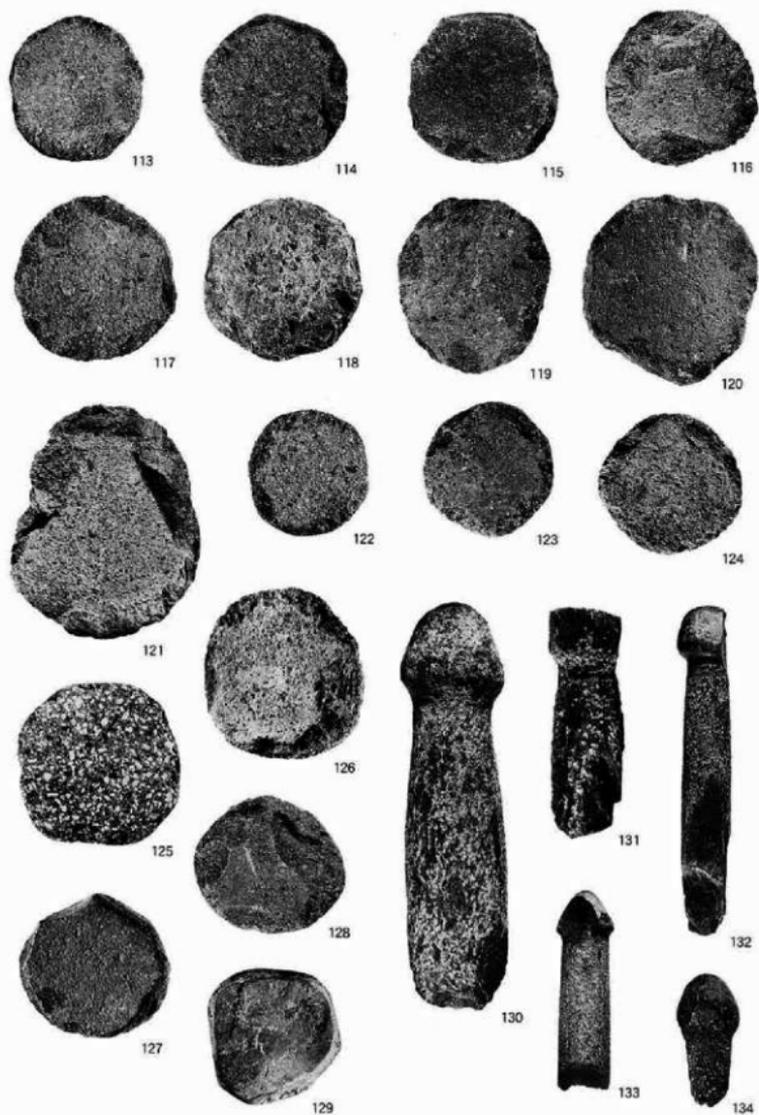
写真図版148 遺構外出土遺物114(円盤状石製品2)



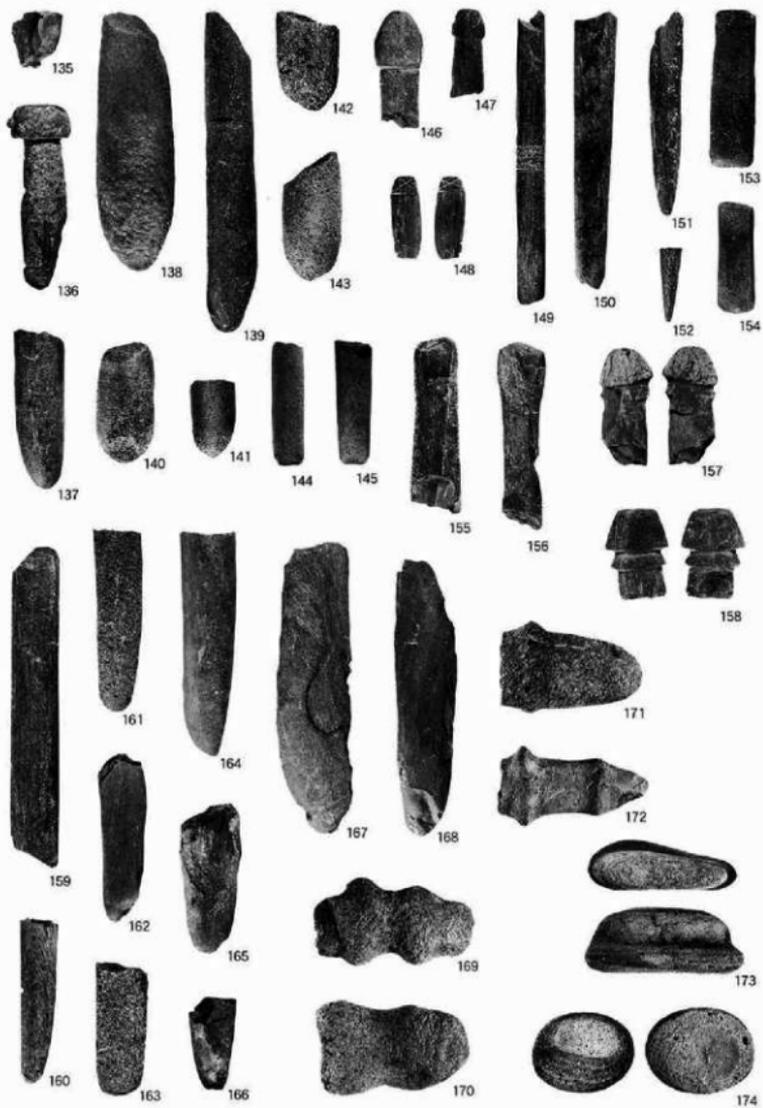
写真図版149 遺構外出土遺物115(円盤状石製品3)



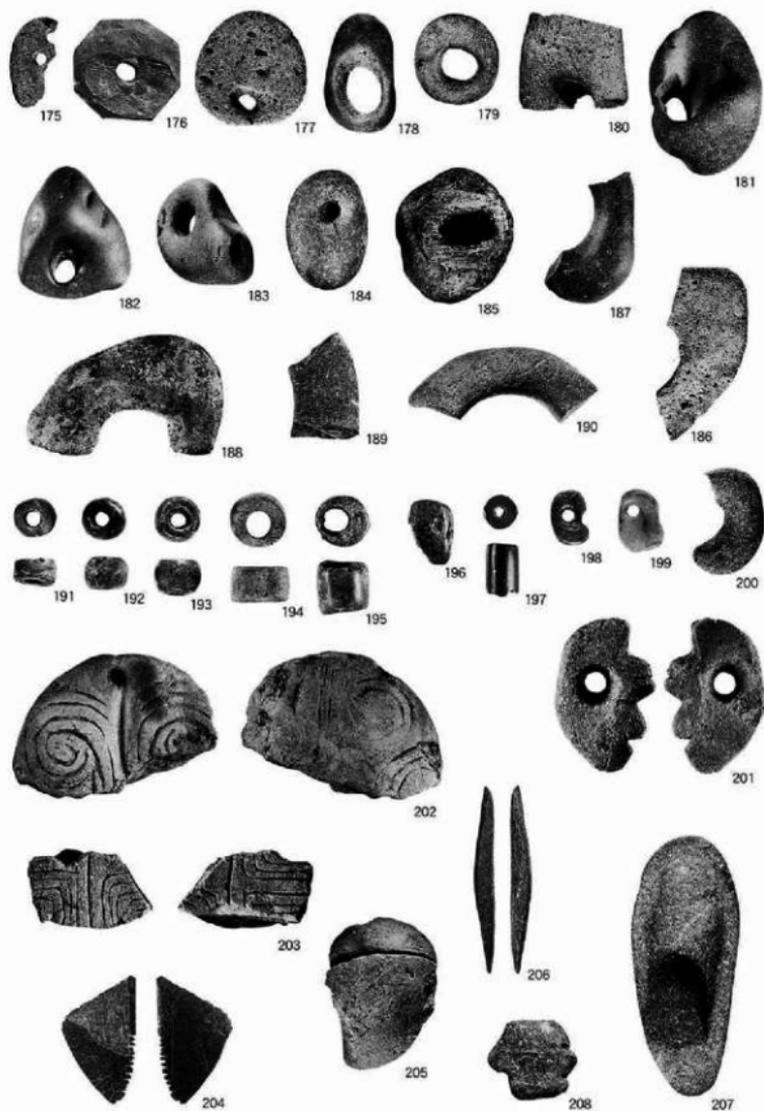
写真図版150 遺構外出土遺物116(円盤状石製品4)



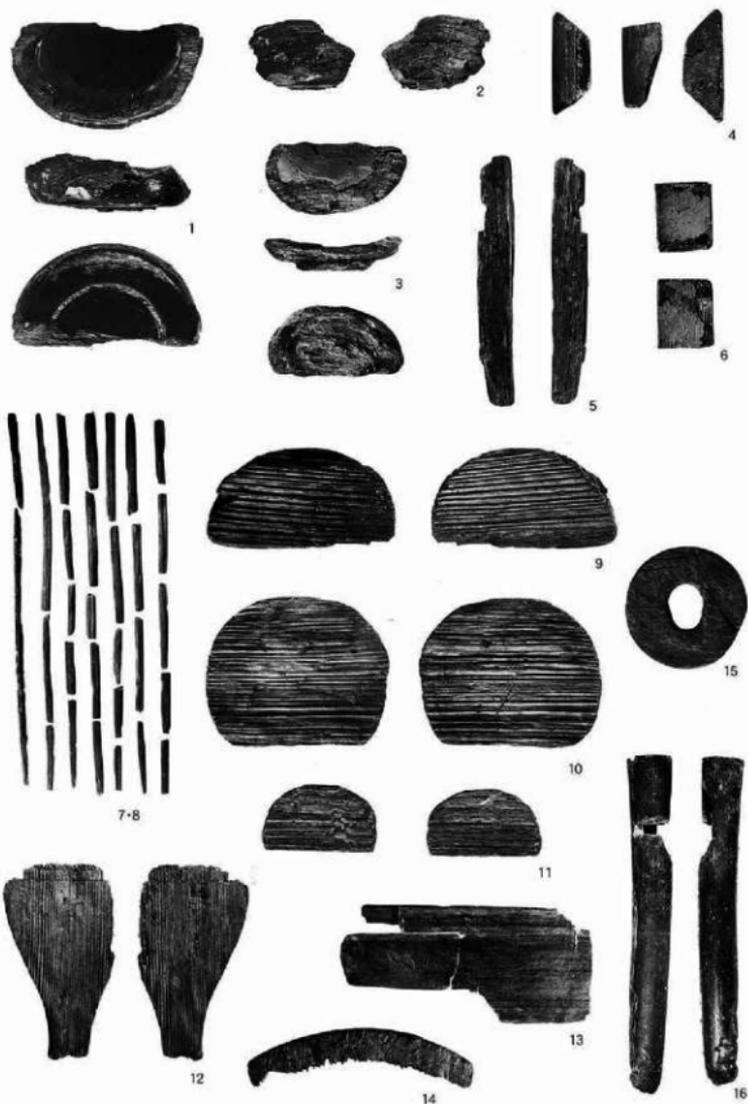
写真図版151 遺構外出土遺物177(円盤状石製品5・石棒1)



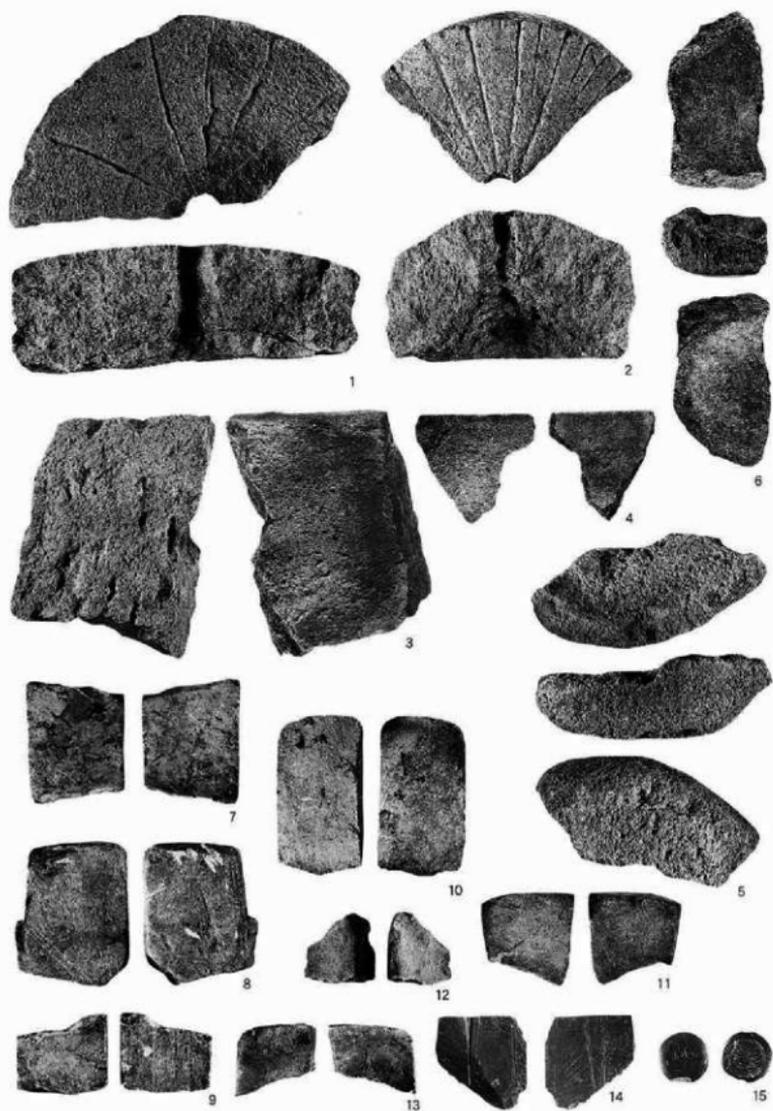
写真図版152 遺構外出土遺物118(石棒・石剣・石刀・独鈷石・石冠)



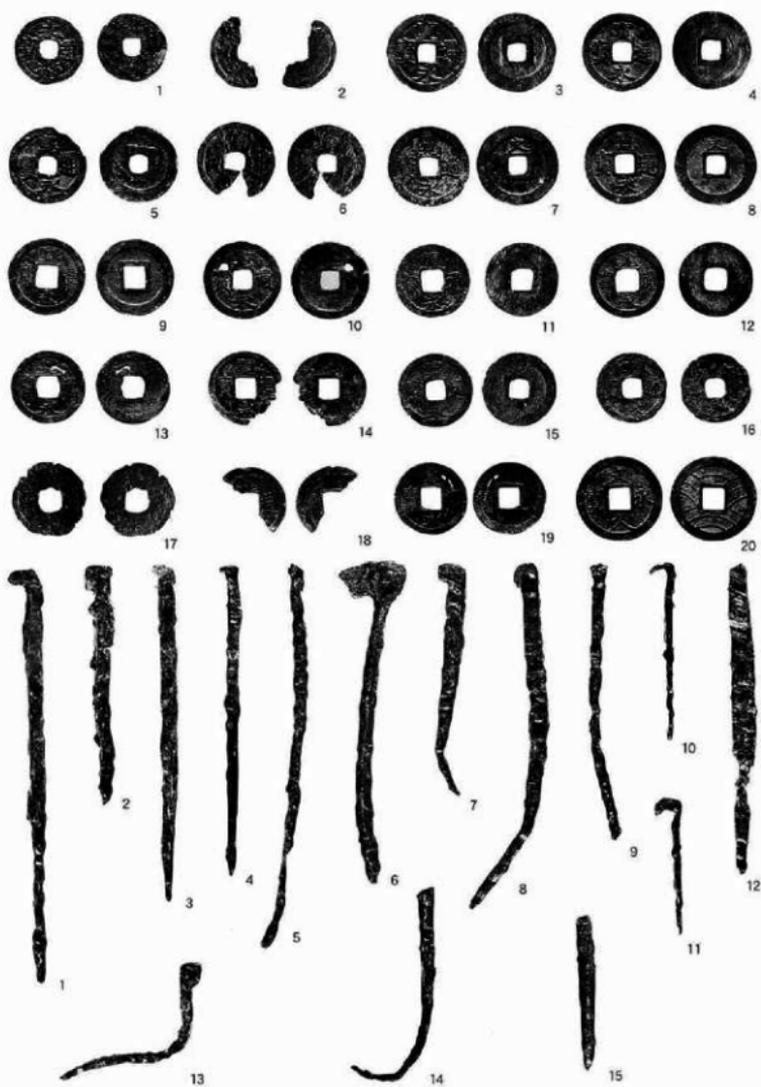
写真図版153 遺構外出土遺物119(有孔・環状石製品・玉類・岩版・その他)



写真図版154 近世遺物1(木製品)



写真図版155 近世遺物2(石製品)



写真図版156 近世遺物3(金屬製品1)



写真図版157 近世遺物4(金属製品2)

報告書抄録

ふりがな	かわぎしば いせきはつくつちようさほうこくしょ							
書名	川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書							
副書名	北上川上流改修事業・白山地区築堤							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化調査報告書							
シリーズ番号	第317集							
編著者名	小山内 透							
編集機関	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化センター							
所在地	〒020-0853 盛岡市下飯岡11-185 ☎(019) 638-9001・9002							
発行年月日	西暦2000年3月24日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因	
かわぎしば 川岸場Ⅱ	いわてけんいせきはつくつちようさほうこくしょ 岩手県胆沢郡前沢町 しらやまあざのかわぎしば 白山字川岸場35-2外			39度 4分 14秒	141度 10分 10秒	19960711~ 19961105 19970707~ 19971121	4,000 2,000	北上川上流改修事業・白山築堤
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
川岸場Ⅱ	集落遺物 包含層	縄文時代 晩期~	竪穴住居跡 4棟 土坑 10基	縄文土器(晩期) 弥生土器(前・中期)			縄文時代晩期末の埋設七器の5基は倒立の大型浅鉢、	
	環濠屋敷 御蔵場	近世~ 近代	埋設土器 10基 掘立柱建物跡14棟 建物跡 6棟 竪穴状遺構 2基 土坑 15基 地跡 4条 土塁 2条 石垣 2カ所 配石遺構類 17基 湧水池 2カ所 道状遺構 1カ所 柱穴 400基 畝間状遺構 3カ所	石器(尖頭器・石鎌・石匙・石錐・石笥・異形石器・磨製・打製・環状石斧・磨石・蔽石・凹石・石皿・砥石など) 土製品(土偶・円盤・動物・土版・スタンブ状など) 石製品(石棒・石剣・円盤・岩版・独結石・垂飾品・玉類など) 土師器・須恵器・土甕 磁器(青・白磁・染付・色絵) 陶器(肥前・瀬戸・美濃系・京信楽 大塚相馬など) 木製品(漆器類・底板・櫛など) 石製品(石臼・石鉢・砥石) 金属製品(古銭・釘・金具など)			ペンガラと骨片出土 約400年続いた大肝入の屨敷跡 近世伊達藩の御蔵場跡 肥前陶磁器多量出土	

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長	佐 藤 基	(調査第2課)			
副 所 長	伊 藤 直 司	課 長	高橋	與右衛門	
(管理課)		課 長 補 佐	中 川	重 紀	
課 長	川 浪 清 徳	主任文化財	高 橋	義 介	
主 査	立 花 多加志	専門調査	古 館	部 貞 眞	
主 事	日 影 睦 夫	調 査	阿 松	尾 方 眞	
嘱 託	藤 島 恵 子	"	小 原	藤 一 徹	
"	新 田 卜 三	"	工 藤	田 稔	
"	佐々木 光 重	"	金 子	佐知子	
(調査第1課)		"	岩 淵	計 悟	
課 長	小出野 哲 憲	"	早 坂	雅 光	
課 長 補 佐	佐々木 清 文	"	佐々木	山 雅 之 球	
主任文化財	酒 井 宗 孝	"	晴 山	昭 太 郎	
専門調査員	小山内 透 迪	"	星 雅	浩 二 郎	
文 化 財	中 田 充 勉	"	佐々木	北 村 忠 昭	
専門調査員	吉 田 健 一 郎	"	杉 沢	金 子 昭 彦	
"	鎌 田 達 人	"	瀬 田		
"	小笠原 健 一 郎	"	北 村		
"	鳥 居 達 人	"	金 子		
"	濱 田 宏 悦	期 限 付	佐 藤	続 了	
"	佐々木 進 由 紀 夫	専 門 職 員	平 田	めくみ 敷 敦	
"	安 藤 俊 子	"	北 田	林 弘 卓	
"	木戸口 正 之 則	"	江 藤	小 原 幸 香	
"	阿 部 勝 正 彦	"	小 平	澤 里 聡 彦	
"	千 葉 正 人 晃	"	鈴 木 谷 口	義 俊 規 恵	
"	羽 柴 貞 一 男	"	布 山 熊 吉	田 里 和 徳	
"	高 木 淳 靖 武 彦	"	吉 原 川		
"	佐 藤 淳 靖 武 彦	"			
"	菅 原 雄 大 拓	"			
"	半 澤 倉 池 貴 拓	"			
"	朝 倉 池 貴 拓	"			
"	村 上 多 準 一 郎	"			
"	本 村 直 美 治	"			
"	丸 山 浩 治	"			

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第317集

**川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書**

—北上川上流改修事業（白山築堤）に係る発掘調査—

印刷 平成12年3月20日

発行 平成12年3月24日

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡1地割185番地

電話 (019)638-9001・9002

FAX (019)638-8563

印刷 株式会社富士屋印刷所

〒020-0841 盛岡市羽場13-30-10

電話 (019)637-6391(代)

---

